フルカラー版

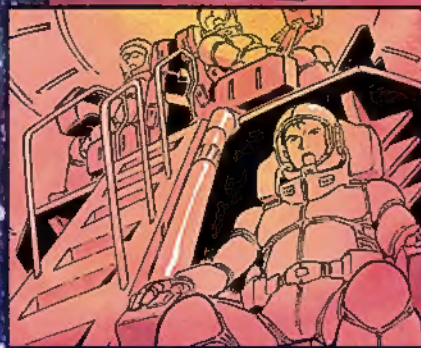
機動戦士ガンダム THE ORIGIN 23

—めぐりあい宇宙編—

安彦良和

原案
矢立肇・富野由悠季

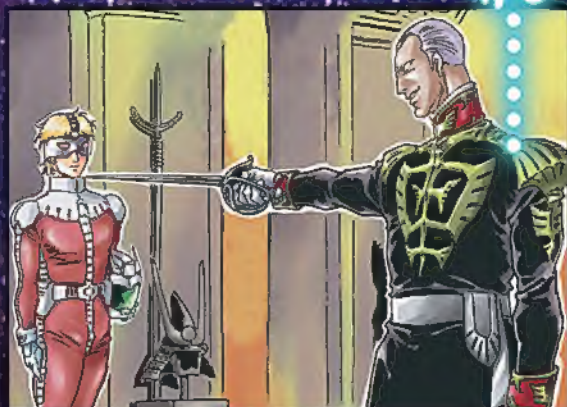
メカニックデザイン
大河原邦男

これまでのあらすじ

ア・バオア・クー攻防戦は熾烈な殲滅戦となった

人類が増えすぎた人口を宇宙に移民させるようになって、すでに半世紀が過ぎていた。人工の大地スペースコロニーは、人類第二の故郷となり、数億の人々がそこで子を産み、育て、そして死んでいった。宇宙世紀〇〇七九、地球から最も離れたコロニー群サイド3は、ジオン公国を名乗り、地球連邦政府に対し独立戦争を挑んだ。開戦後一ヵ月あまりで、人類はその総人口の半分を死に至らしめ、戦争は膠着状態に入り八ヵ月あまりが過ぎた……。

赤い彗星の異名をもつシャア少佐に率いられたジオンMS部隊が連邦軍の極秘計画V作戦を探るべく中立コロニー・サイド7に侵入した。コロニー内部で勃発したジオン軍と守備隊の戦闘に巻き込まれた少年アムロは、実父が開発した新型MS"ガンダム"に搭乗し、卓越な操縦技量の片鱗をみせる。

新造艦ホワイトベースに収容されたアムロたちは地球へと降下、ジオンを統べるザビ家の末子ガルマを討つ殊勲をあげた。ジオン軍の最精鋭による猛攻を退け南米ジャブローの総司令部に辿りついたホワイトベース隊は、オデッサの大反攻作戦に参加したのち再び宇宙へと戻る。

ギレンに近づいたシャアはジオングを手に入れ……

突如ギレンを射殺した
キシリアは麾下の
グラナダ軍団を動かし
ア・バオア・クーを制圧
最終勝者たらんとした

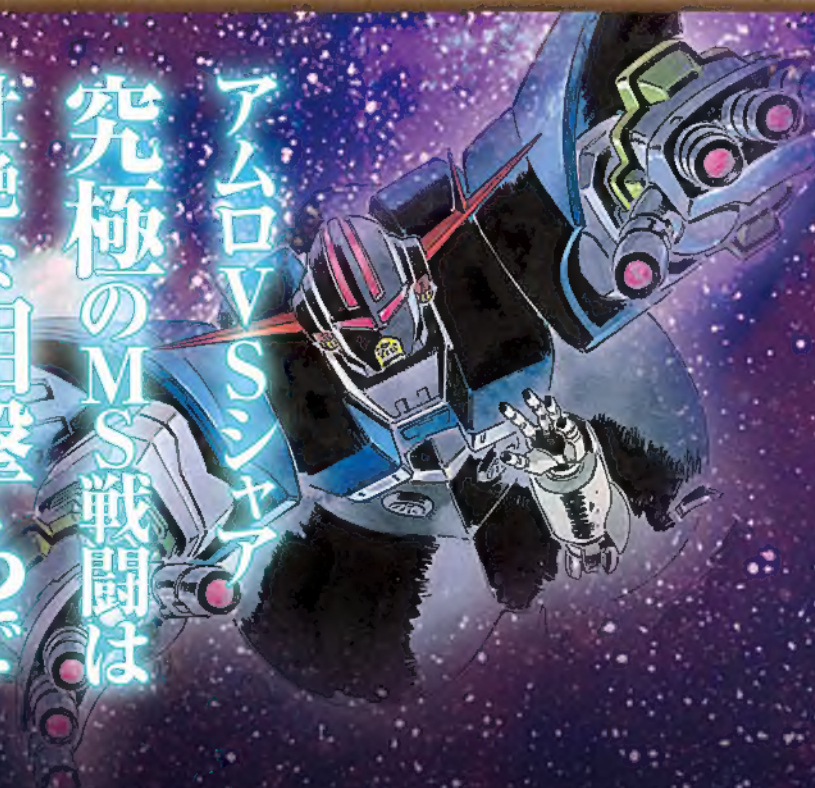
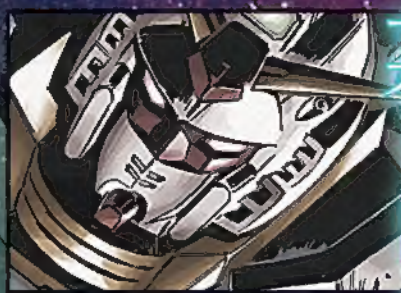
激闘はついに最終局面を迎える——

父との離別、運命の少女ララァとの出逢いを経てニュータイプとして覚醒したアムロだったが、宿敵シャアの操る新型MSゲルググに敗れ、ガンダムを大破させてしまった。

戦局が最終段階へ向かいつつあるなか、ジオンの月面駐留軍司令キシリアの内報を受けたギレン総帥は、父親であるデギン公王ごと連邦宇宙軍の主力艦隊を灼きつくし壊滅させる。窮地に陥った連邦軍はギレンの拠るア・バオア・クーの直接攻略に残存兵力のすべてを賭けた。

再びガンダムに乗り組んだアムロは、激戦の中でシャアを守ろうと身を挺したララァをその手にかけてしまう。悲劇が連鎖する激戦のなか捕虜となってしまったセイラは、自らの素性を明らかにしジオン兵を糾合、ザビ家に叛旗を翻した。ギレンを手に掛け実権を握ったキシリアは、蜂起した叛乱兵を要塞ごと爆砕するよう非情な命令をくだす。

ニュータイプの存在はヒトの未来を拓く可能性であるはずだった——しかし過酷な現実は、彼らに優秀な兵器としての役割のみを求めるのだった。

アムロVSシャア
究極のMS戦闘は
壮絶な相撃ちで
幕を降ろした

機動戦士ガンダム THE ORIGIN 23 ―めぐりあい宇宙編―

CONTENTS

―めぐりあい宇宙編―
SECTION
I

ゴオオオオオオ…

キシリア様に
刃向かう
連中を
許すな！
グラナダ魂を
見せつけて
やれ!!

なんだあ？
やけに静かになっちゃったな……

なァハヤト

この状況下でこんなにオヒマになっちゃって
いいのかな？

それよりカイさん
アムロですけど

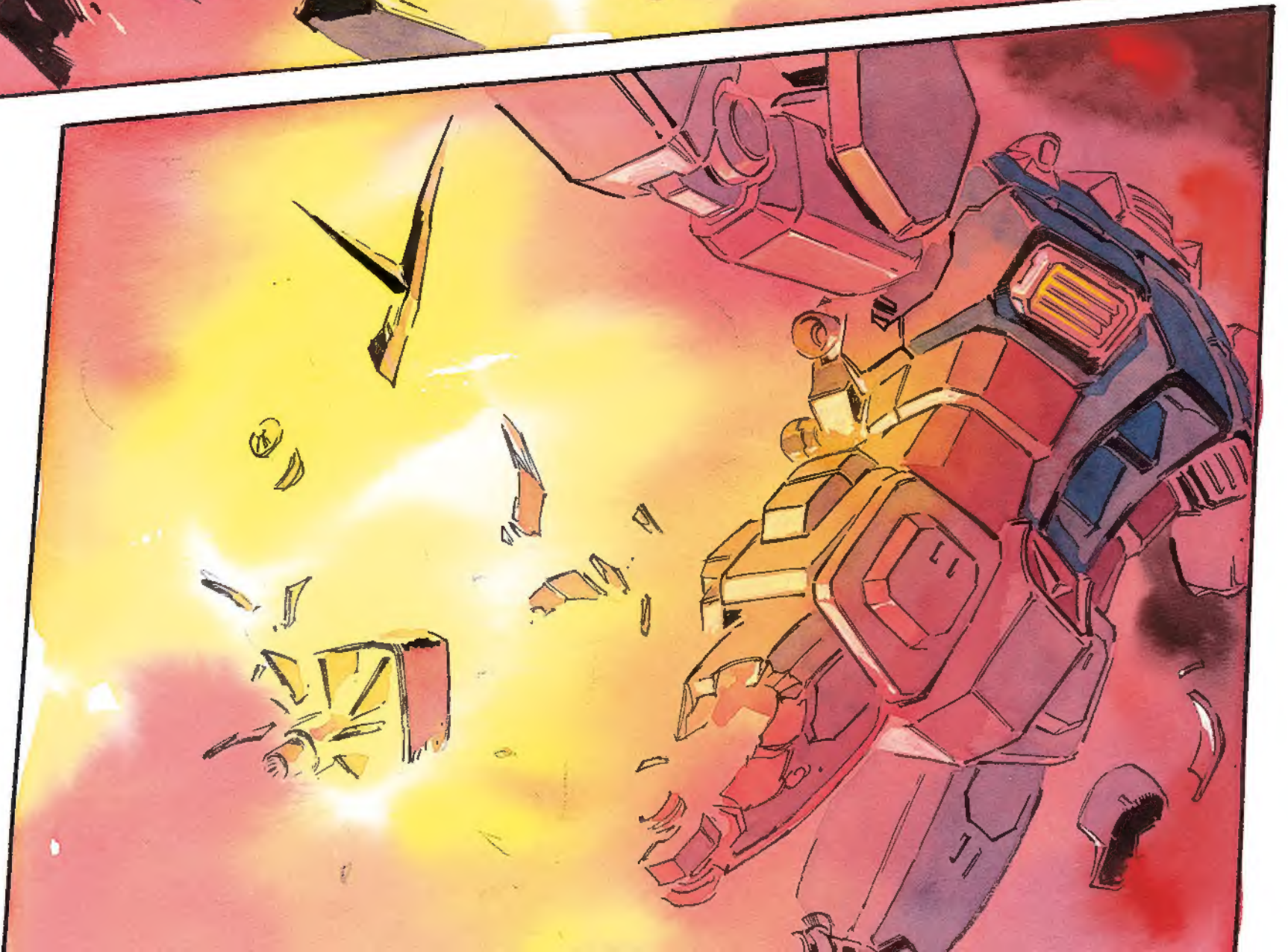
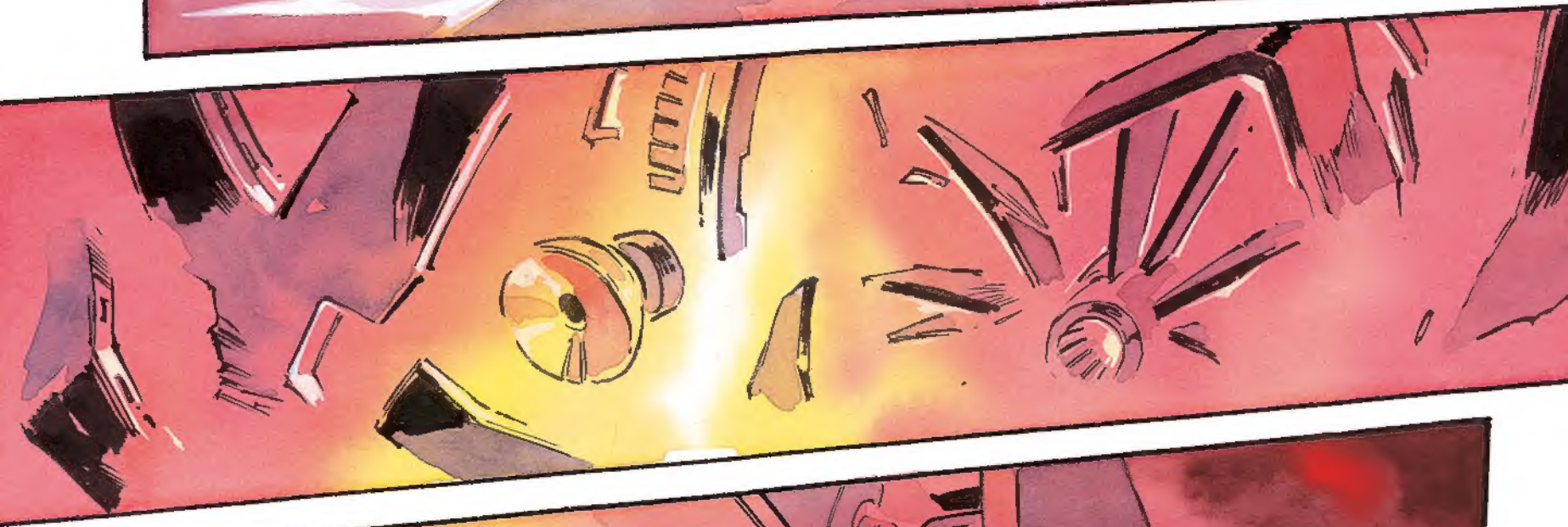
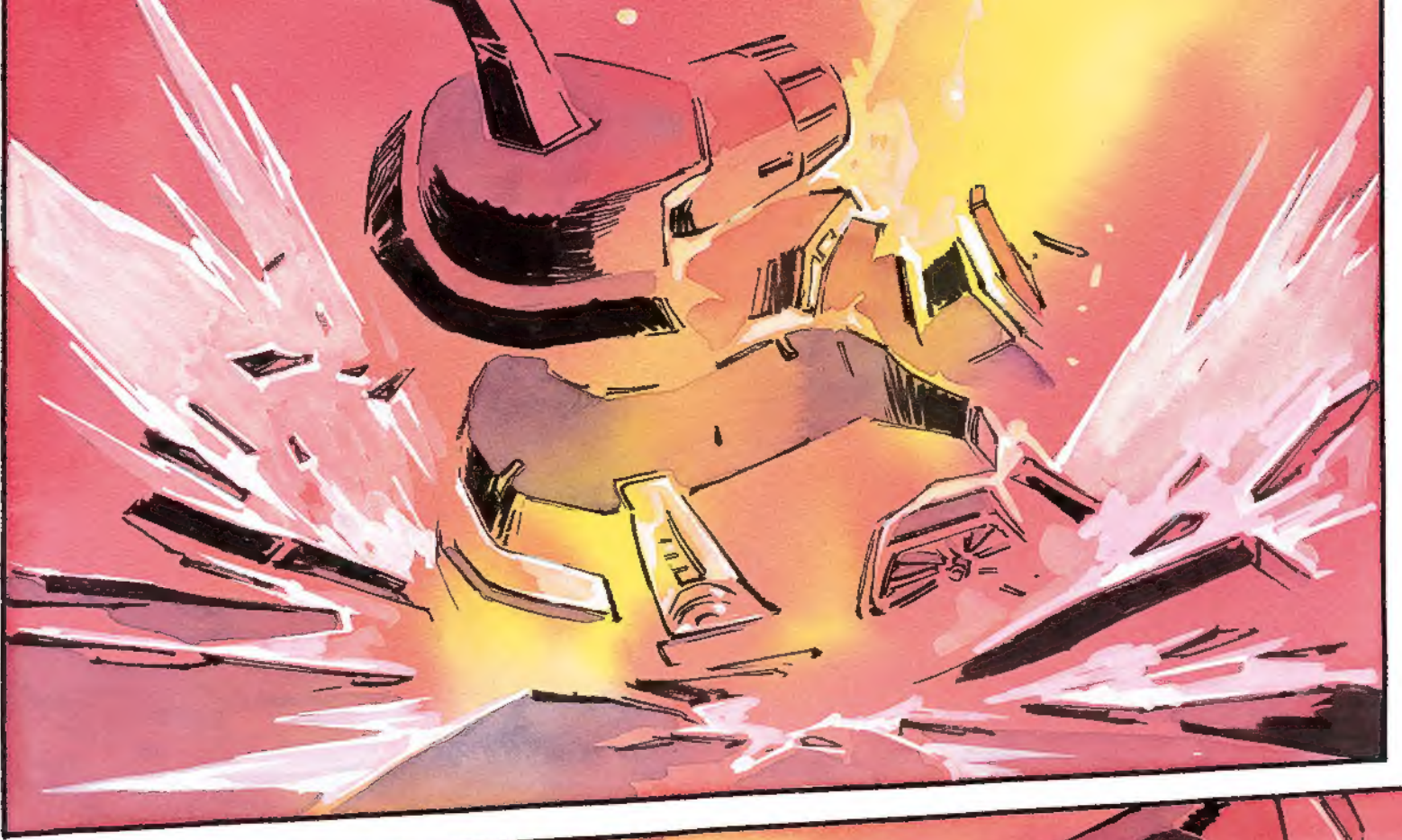
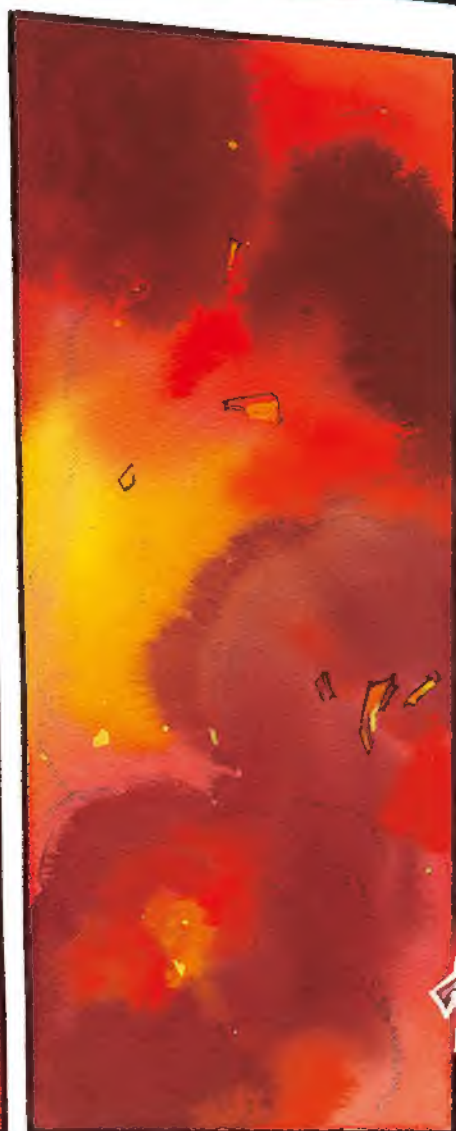
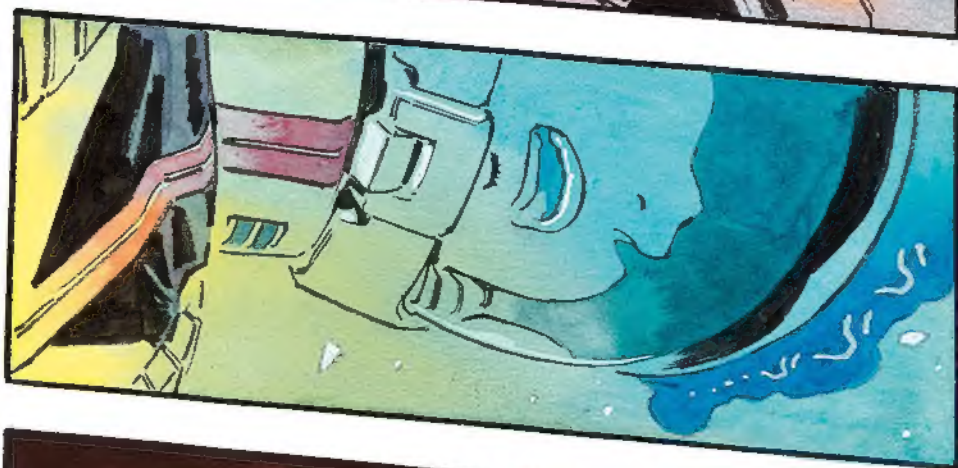
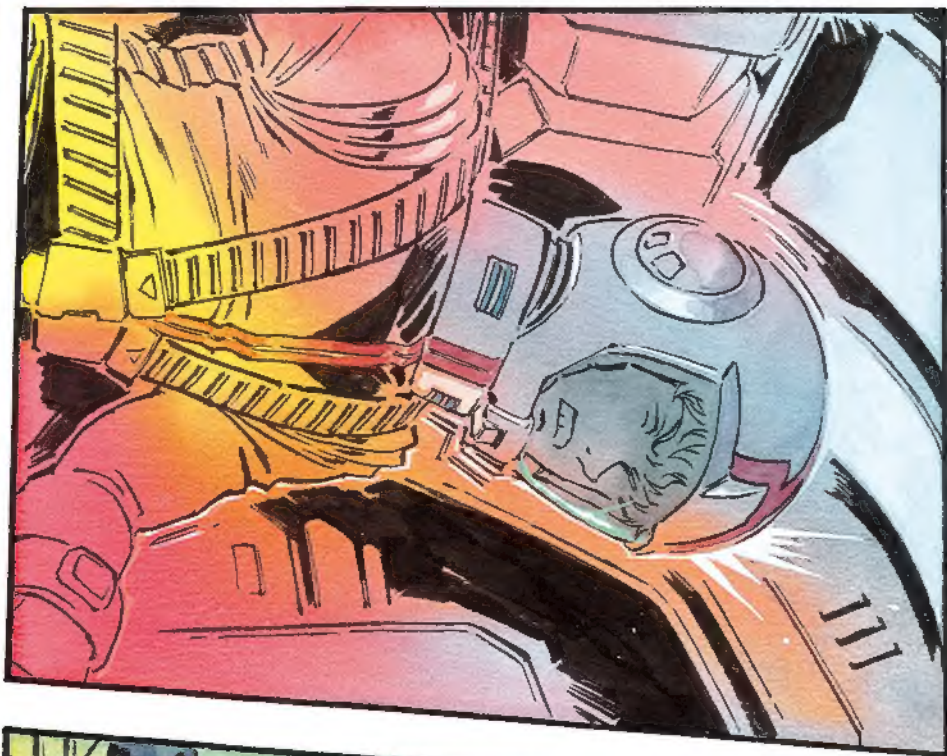
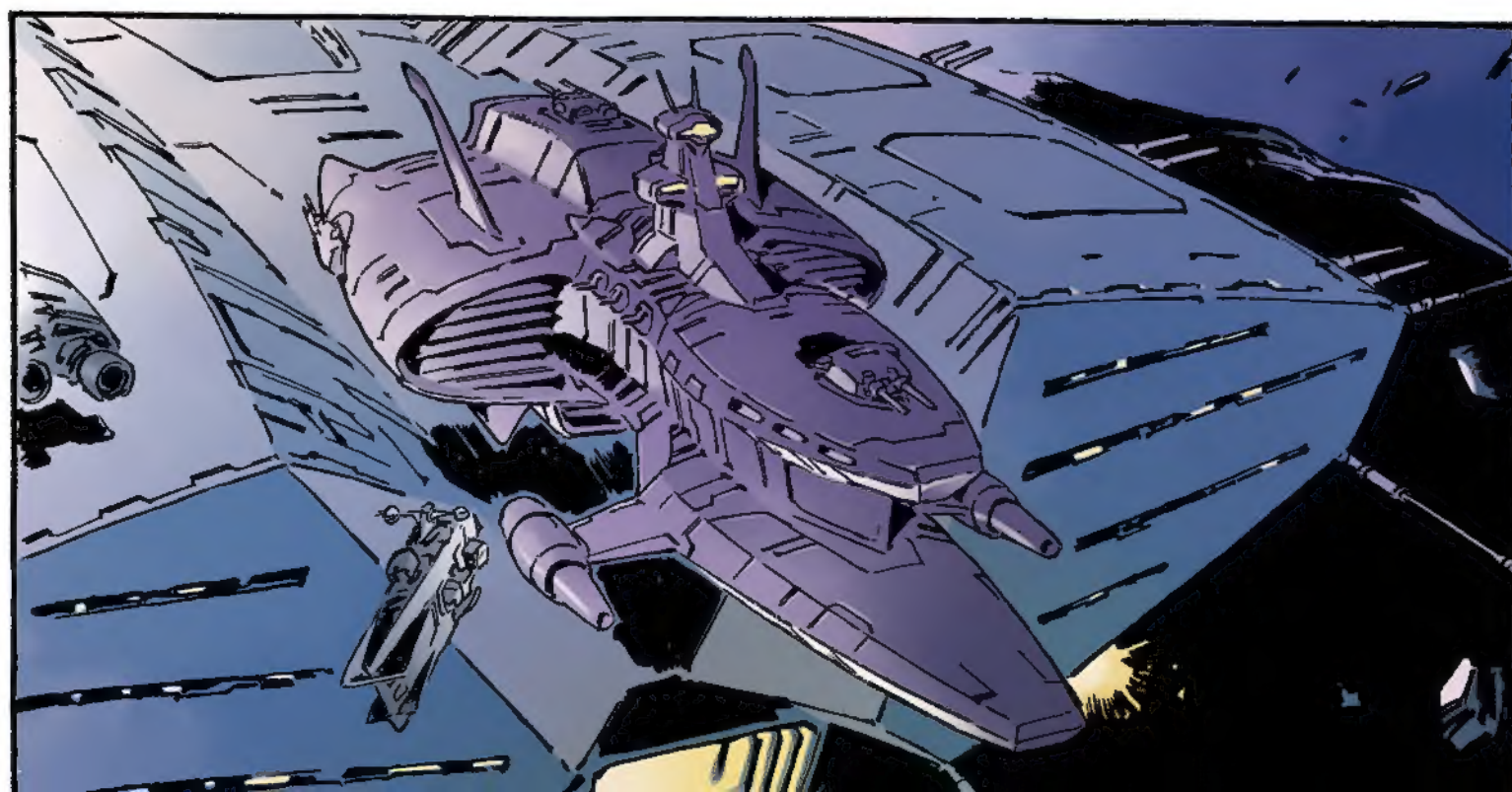
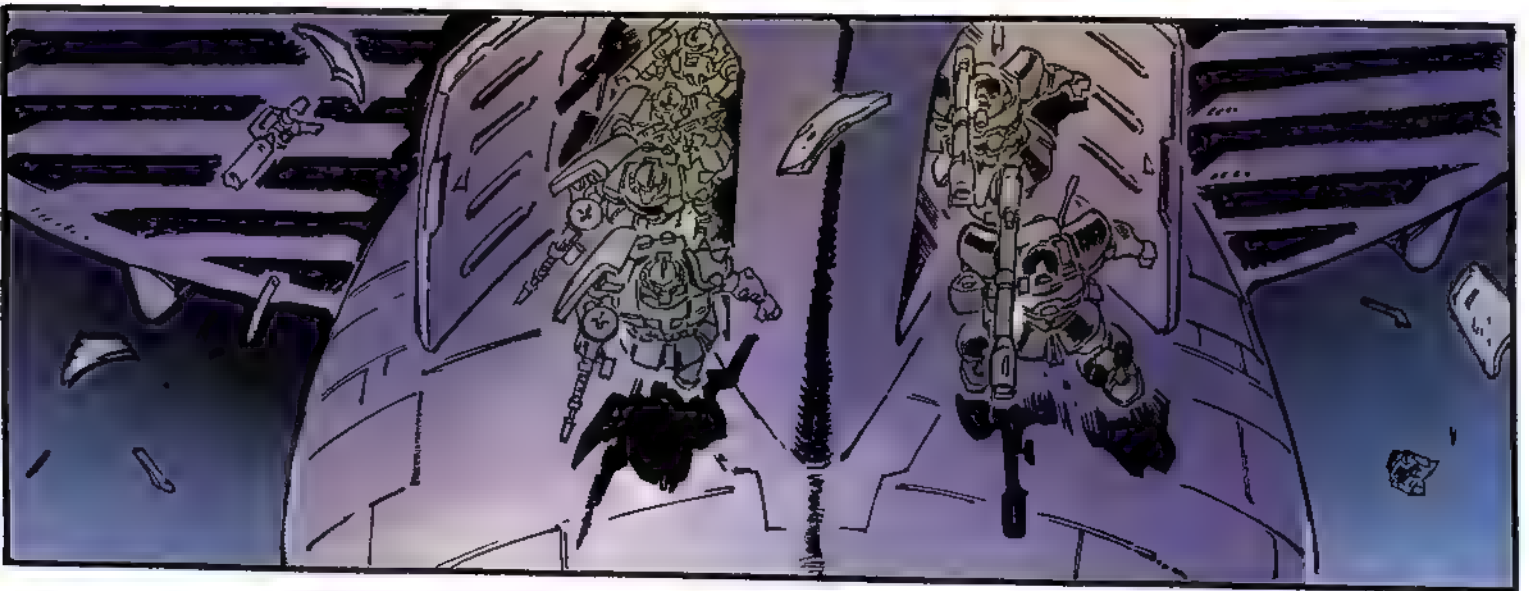
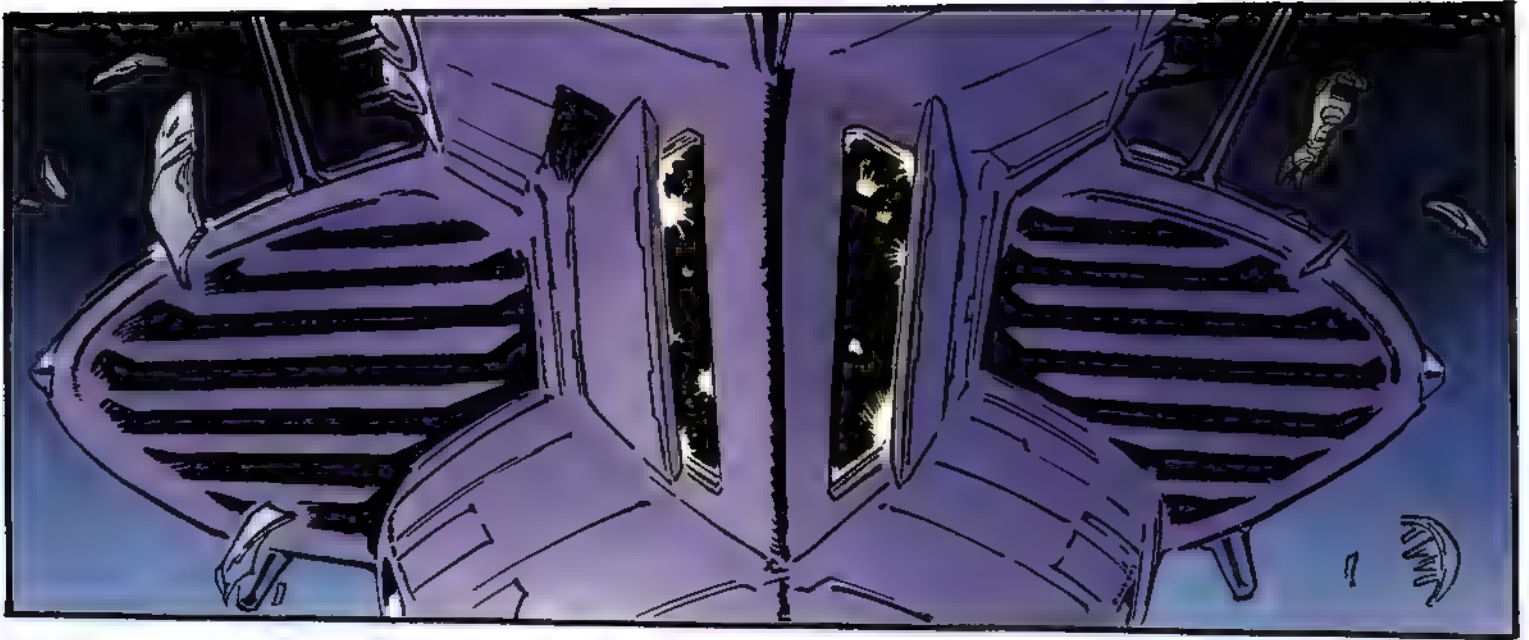
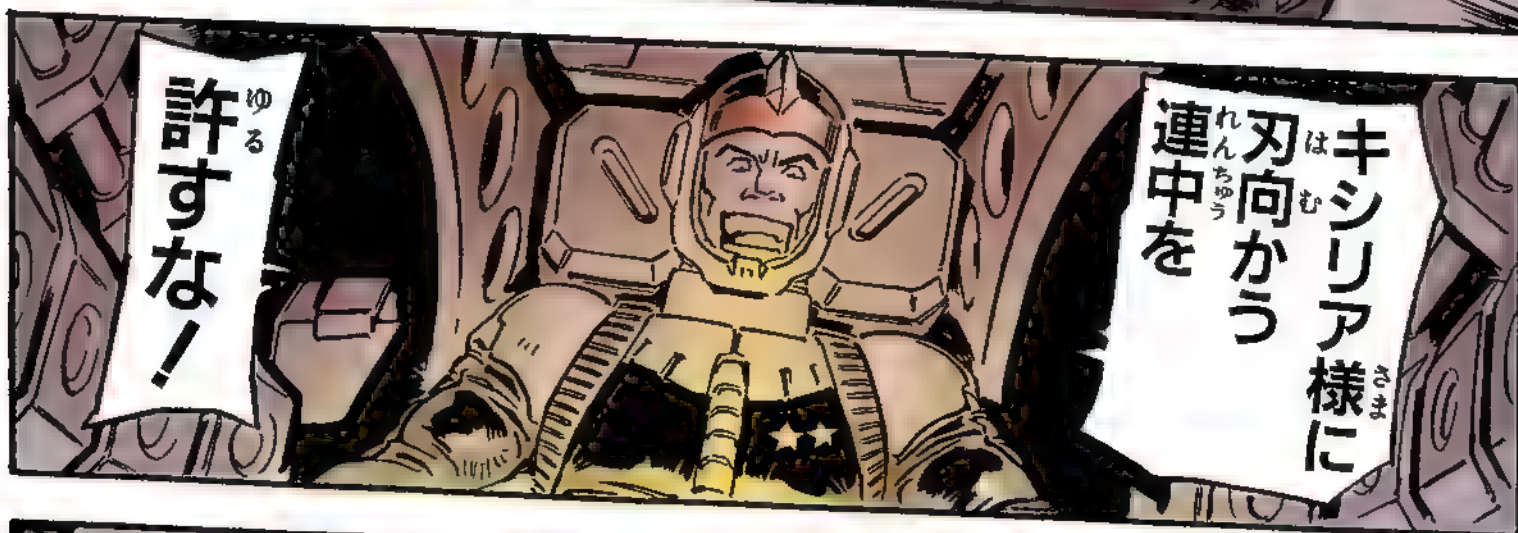
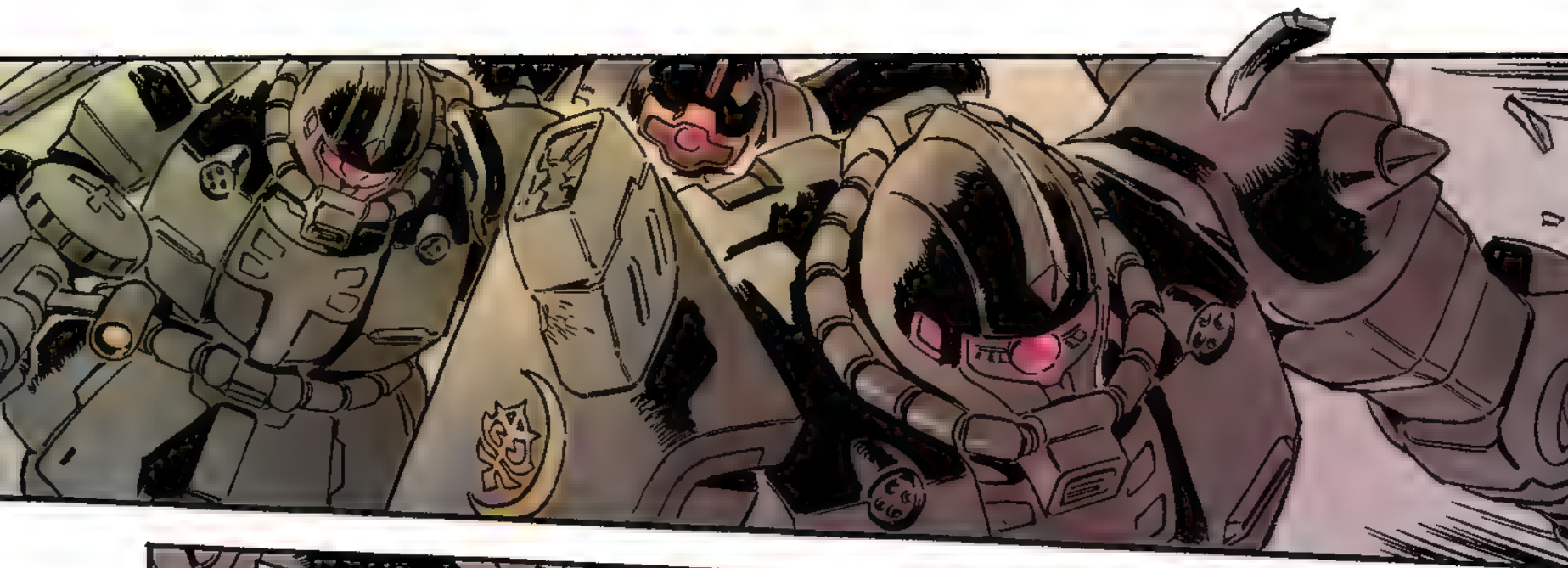
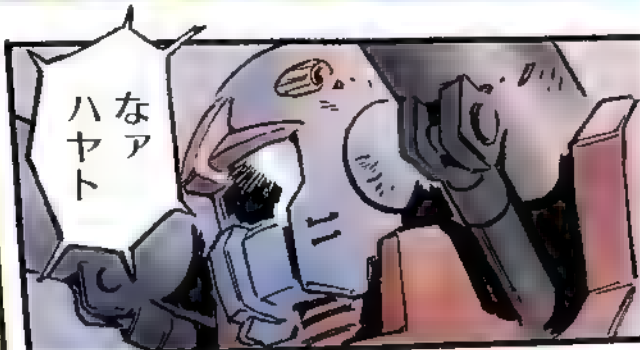
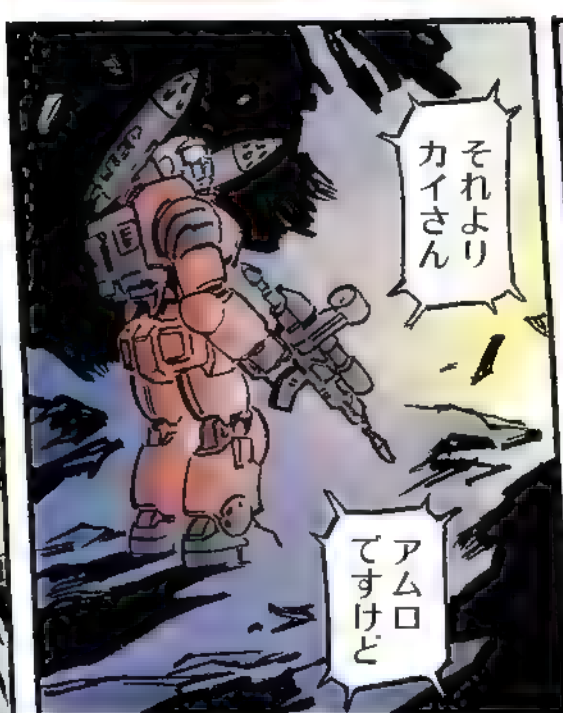
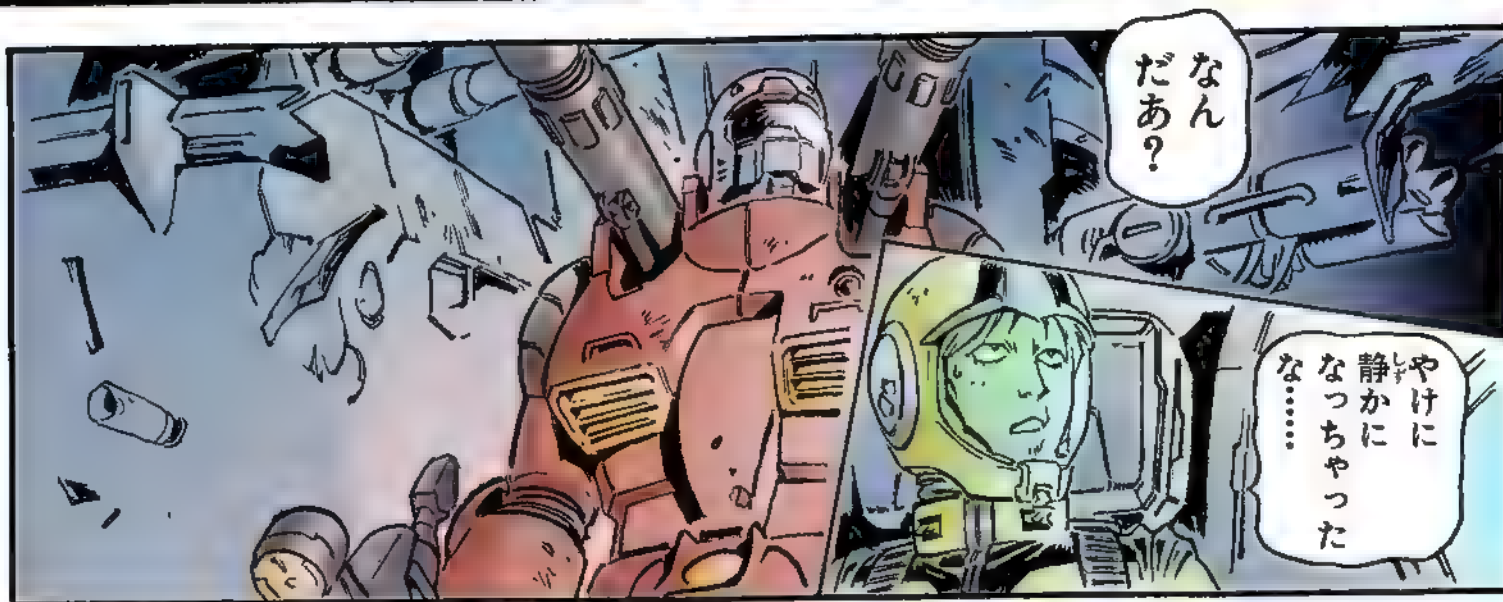
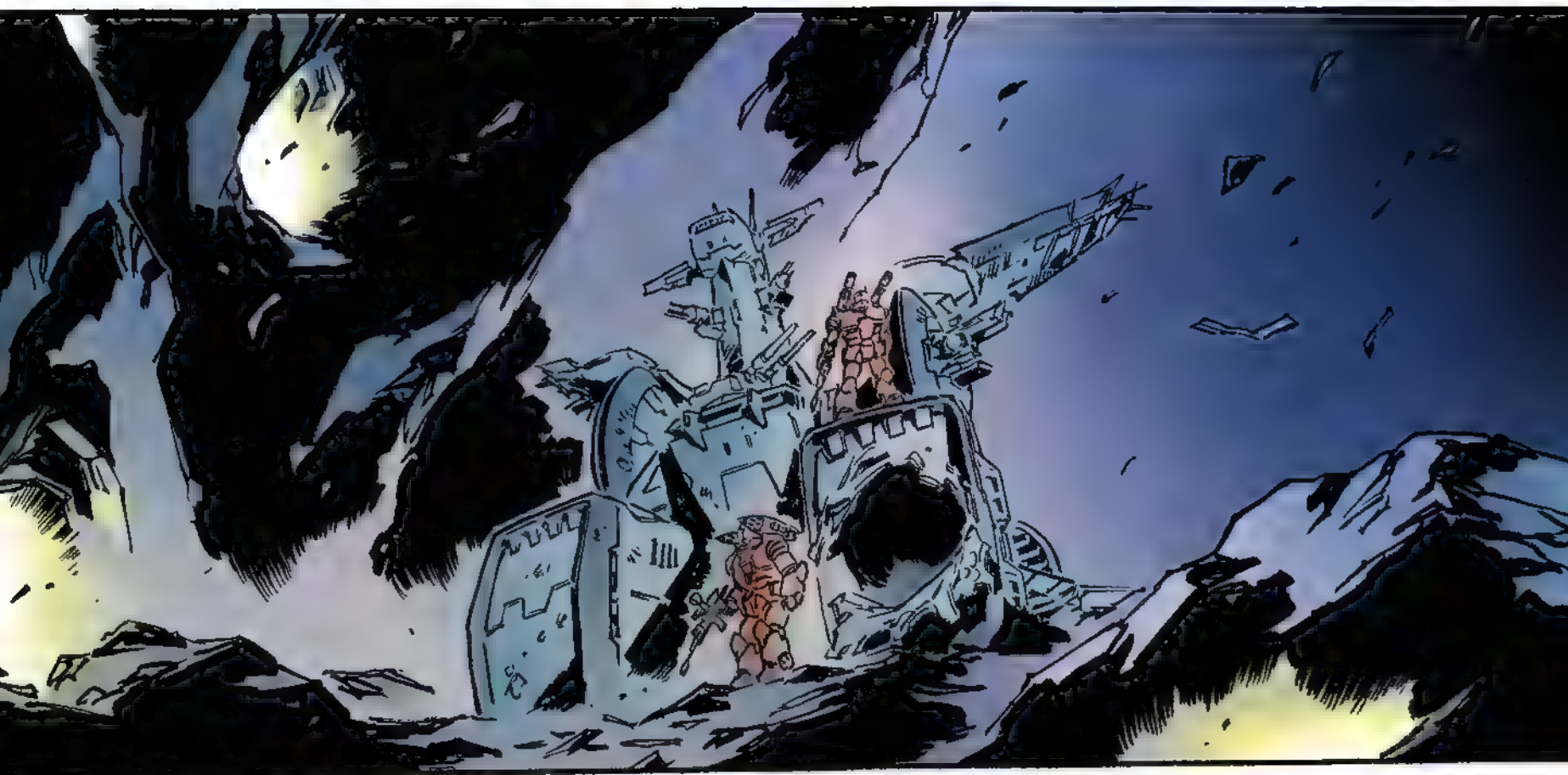
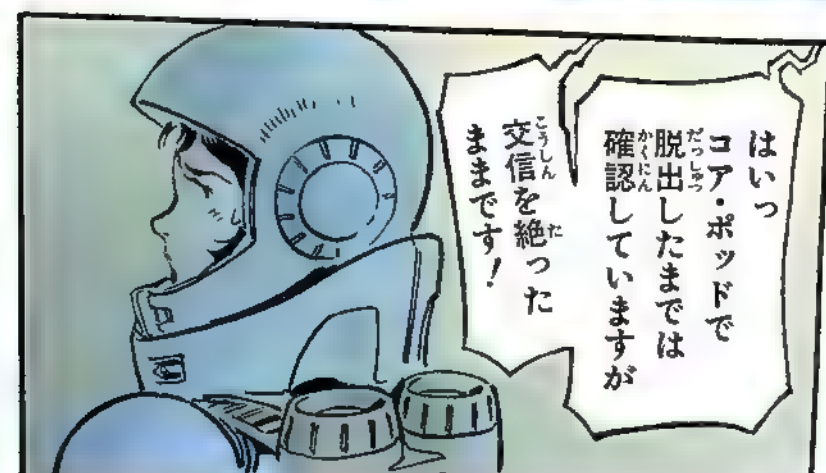
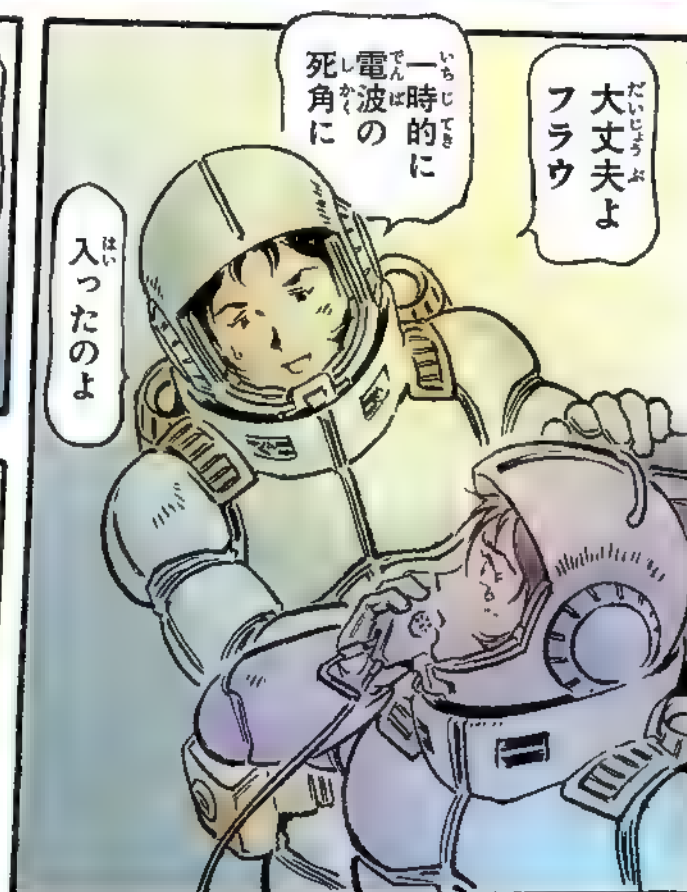
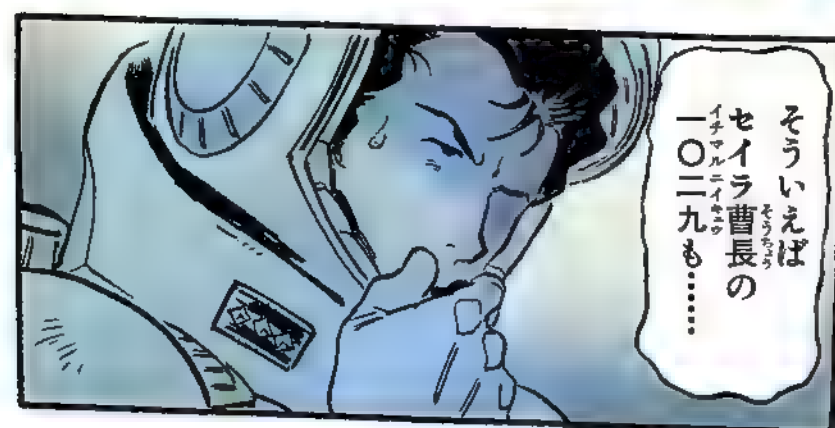
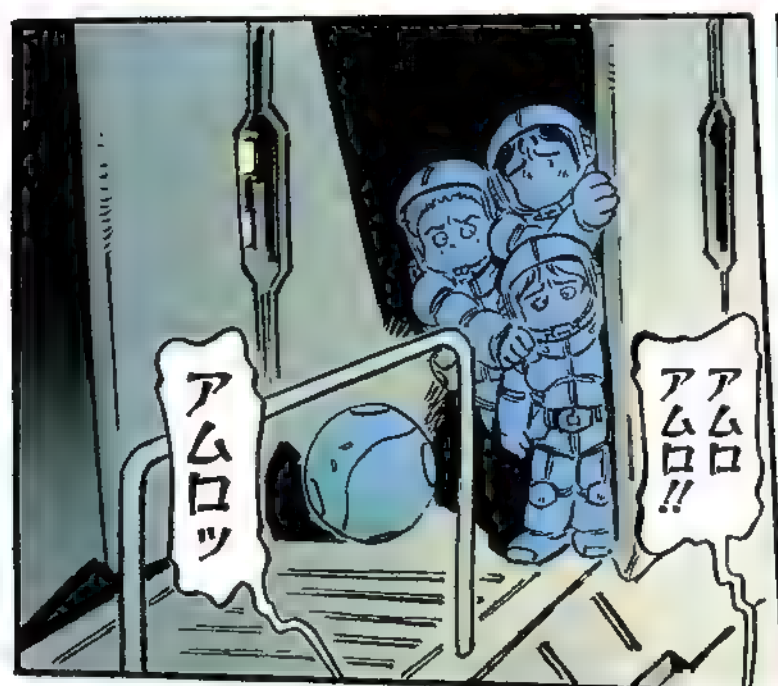
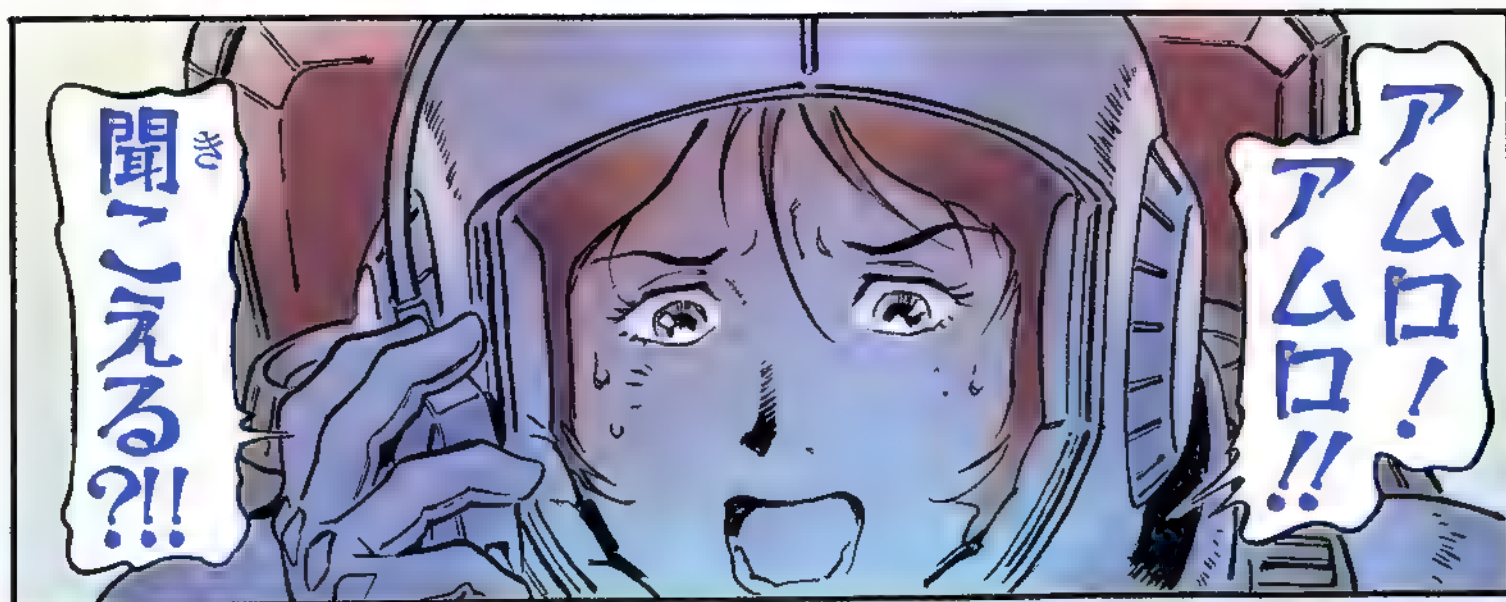
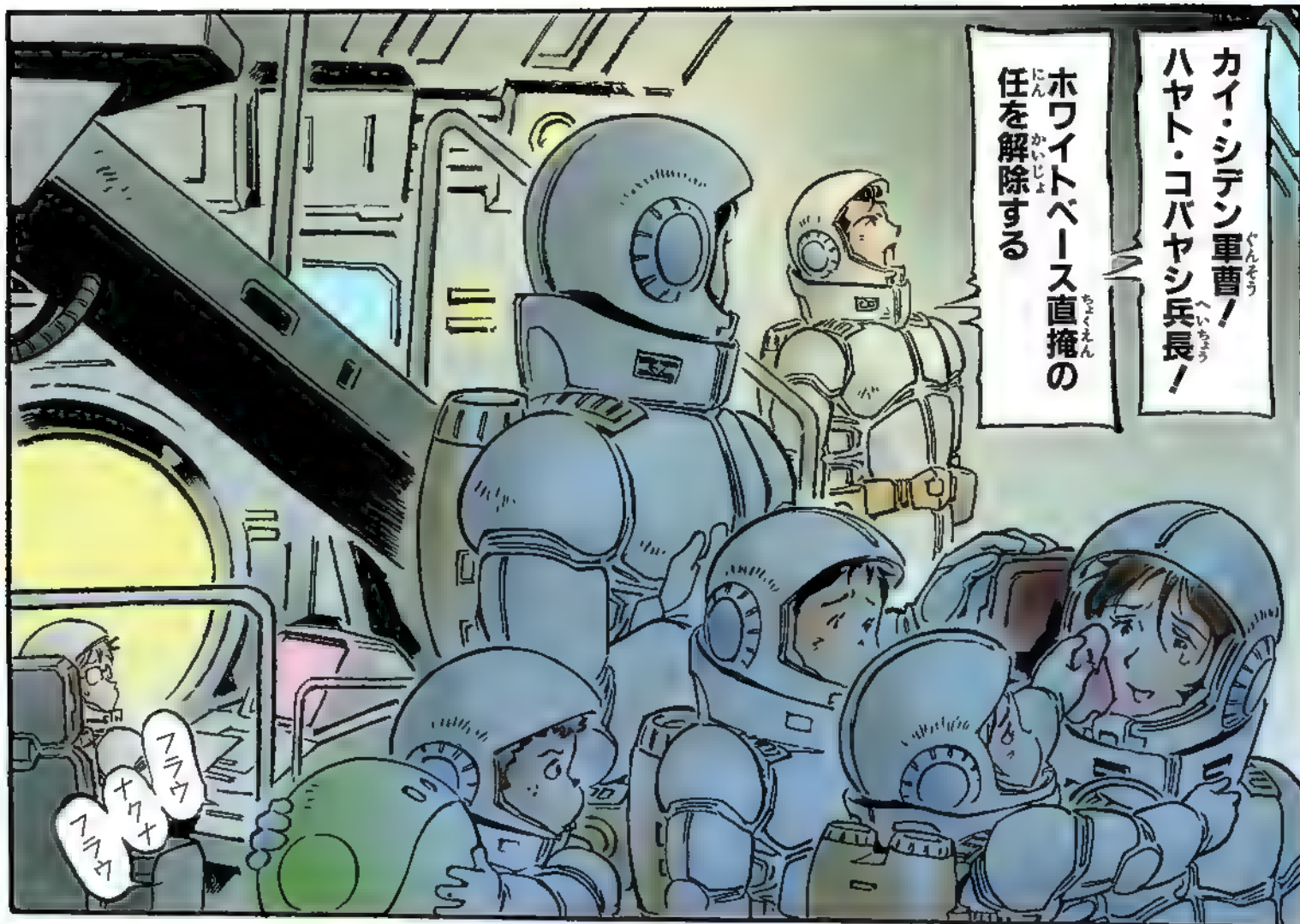
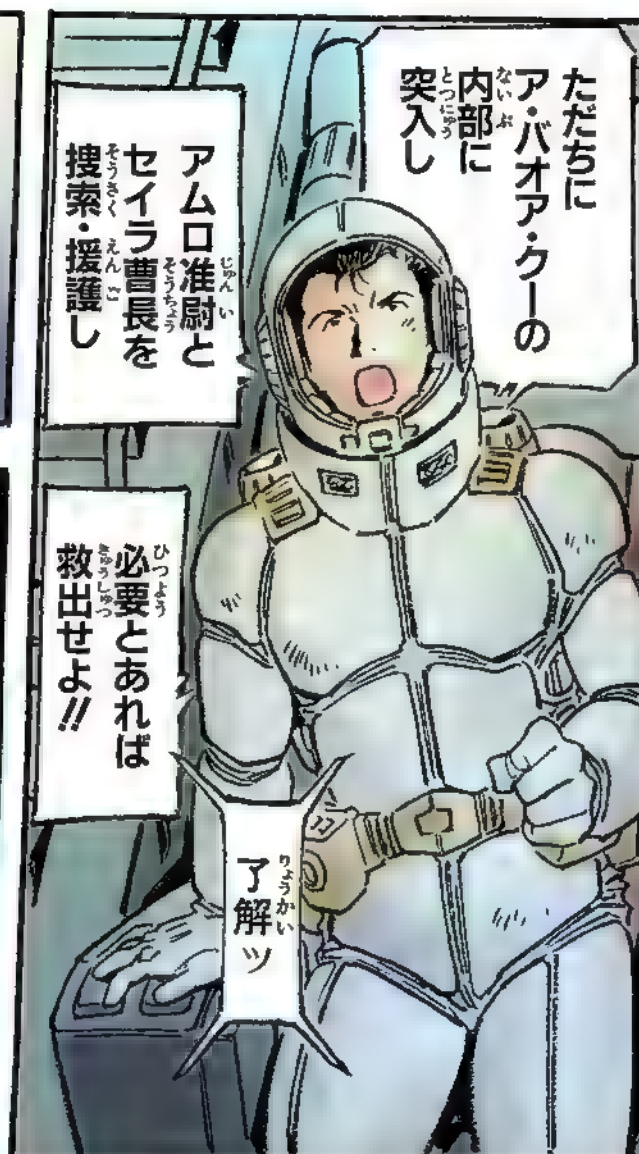
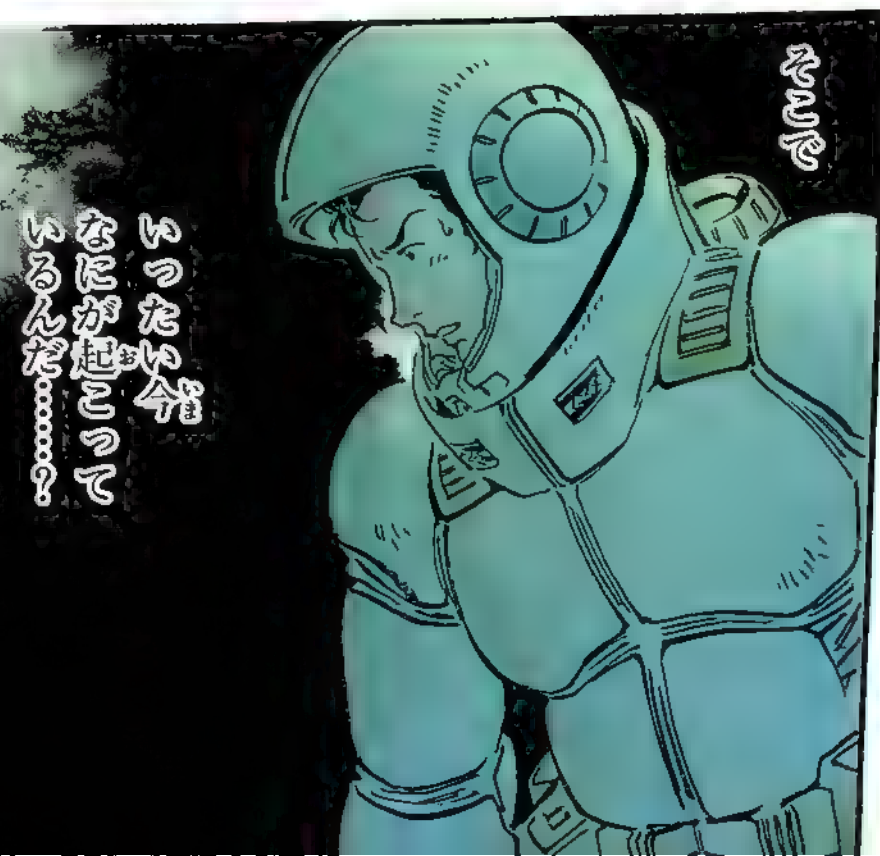
どうなったんでしょうねえ

ザァァ‥
LOST

ガンダム確認出来ません！
ガガガ
敵の機体と共に
ザザザ
反応が消えました

要塞のかなり内部まで追跡していったようなんですが……

あああアムロ……

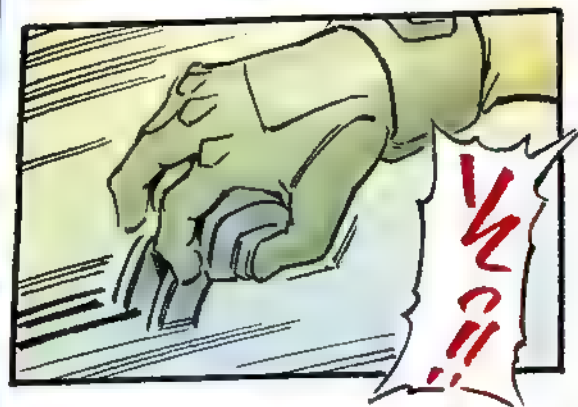
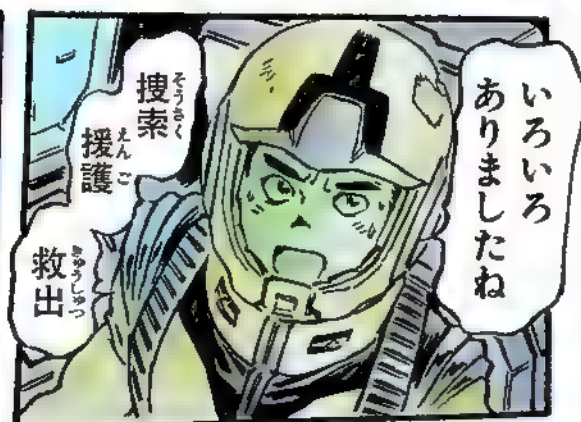
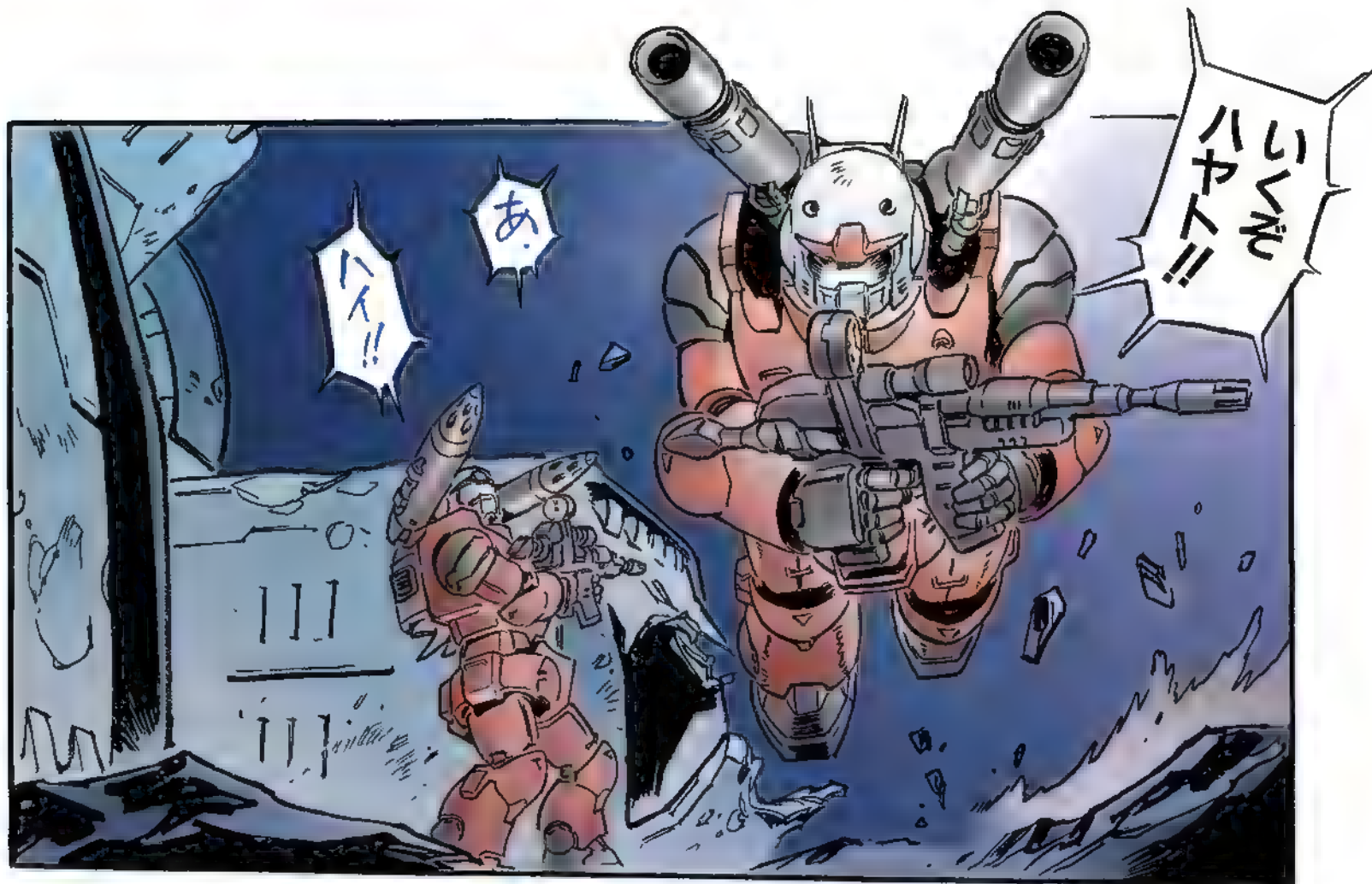
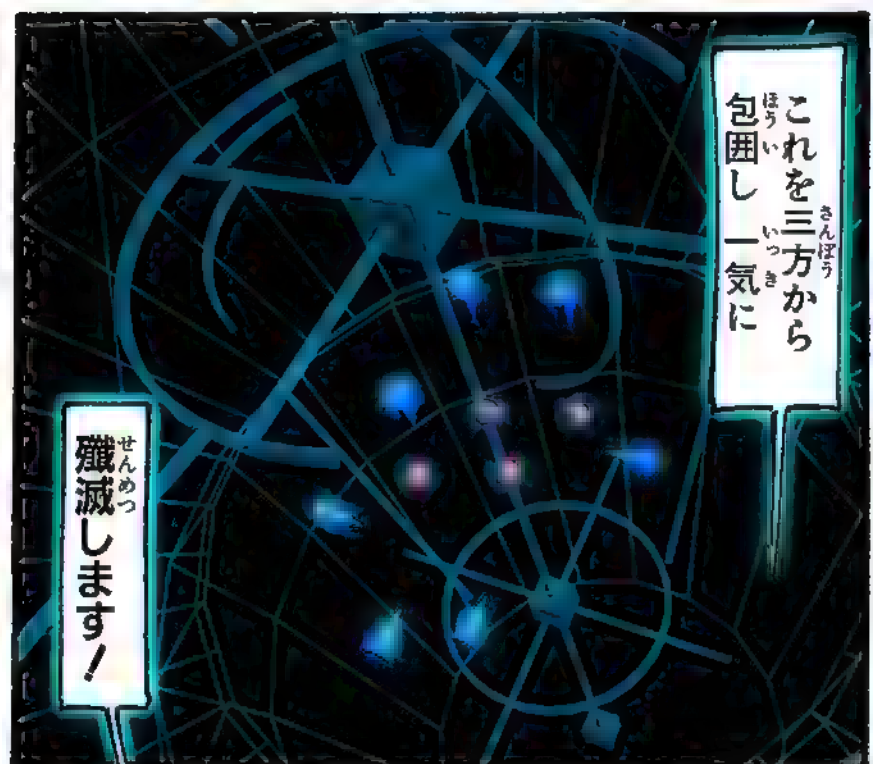
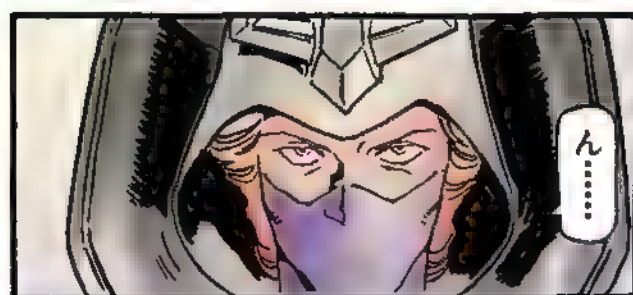
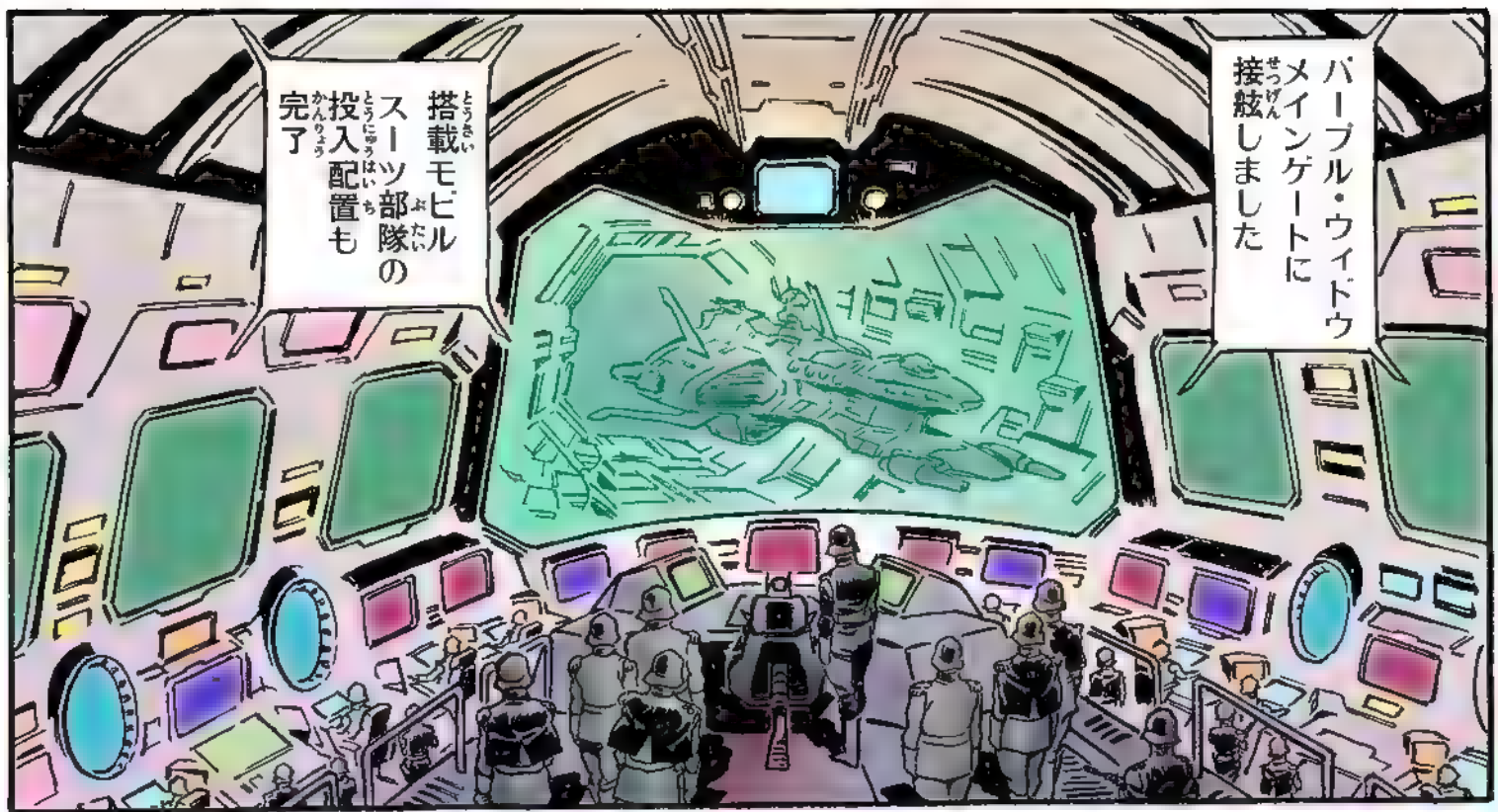
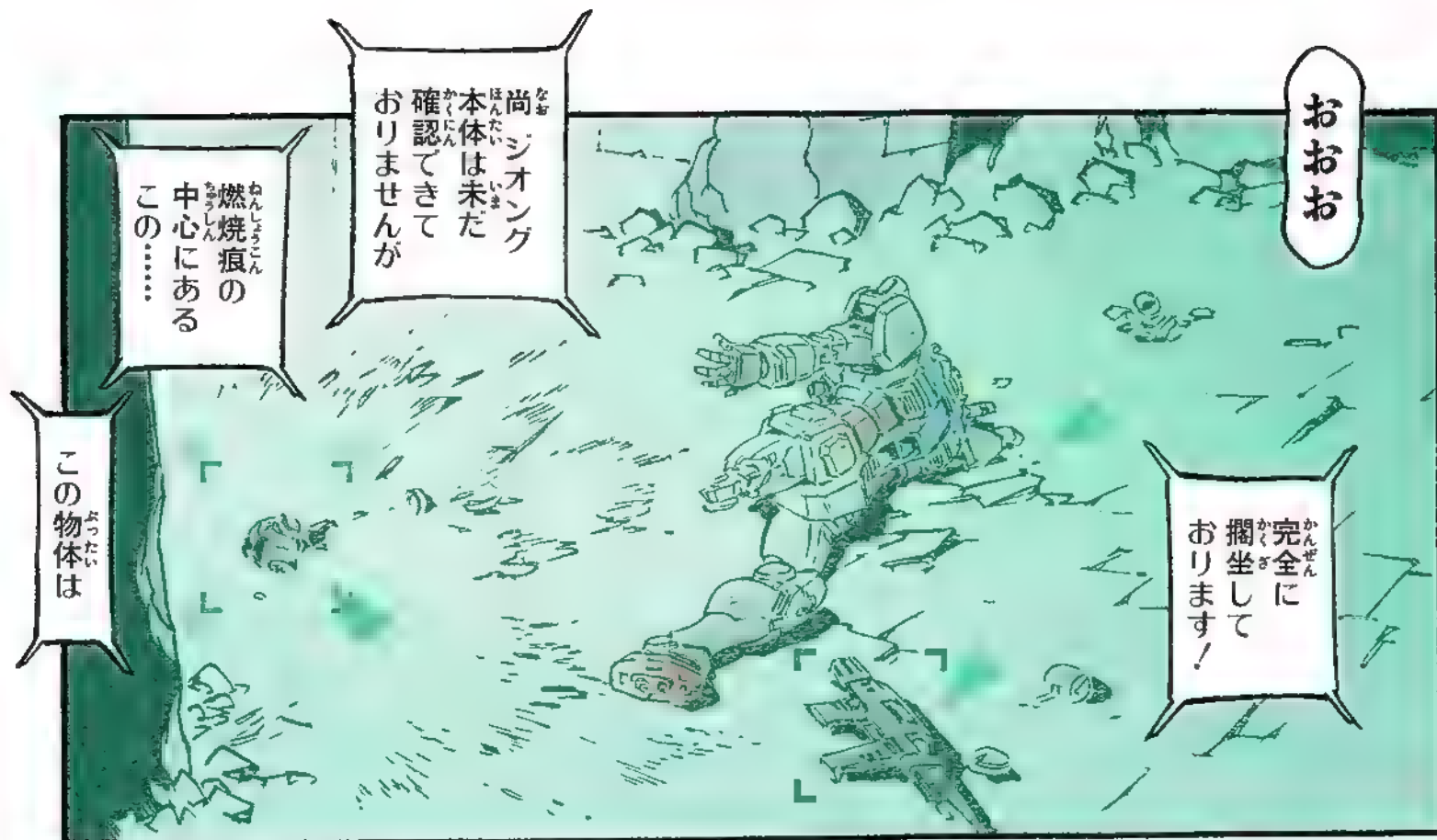
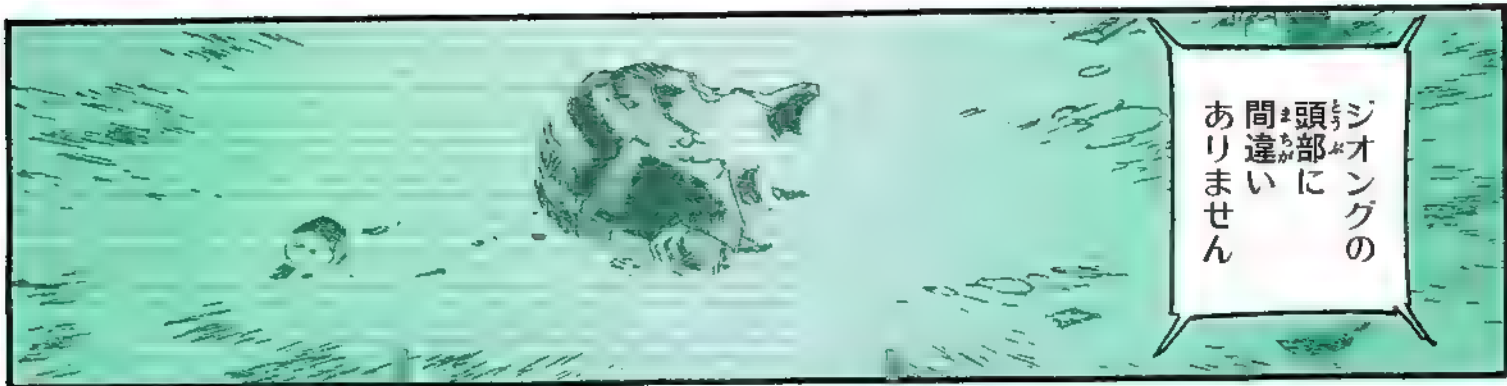
アムロ！アムロ!!
聞こえる?!!
どこにいるの?!
聞こえていたら応答して!!
アムロアムロ!!
アムロッ
大丈夫よフラウ
一時的に電波の死角に
入ったのよ
そういえばセイラ曹長の一〇二九も……
はいっコア・ポッドで脱出したまでは確認していますが
交信を絶ったままです！

カイ・シデン軍曹！ハヤト・コバヤシ兵長！
ホワイトベース直掩の任を解除する
フラウ
ナクナ
フラウ

いくぞハヤト!!
あ.
ハイ!!

いろいろありましたね
捜索
援護
救出

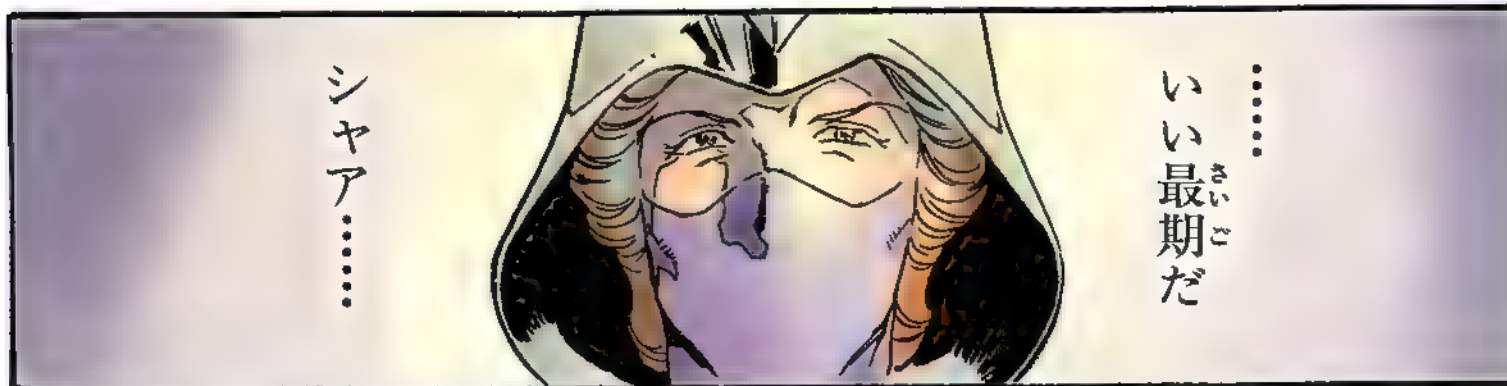
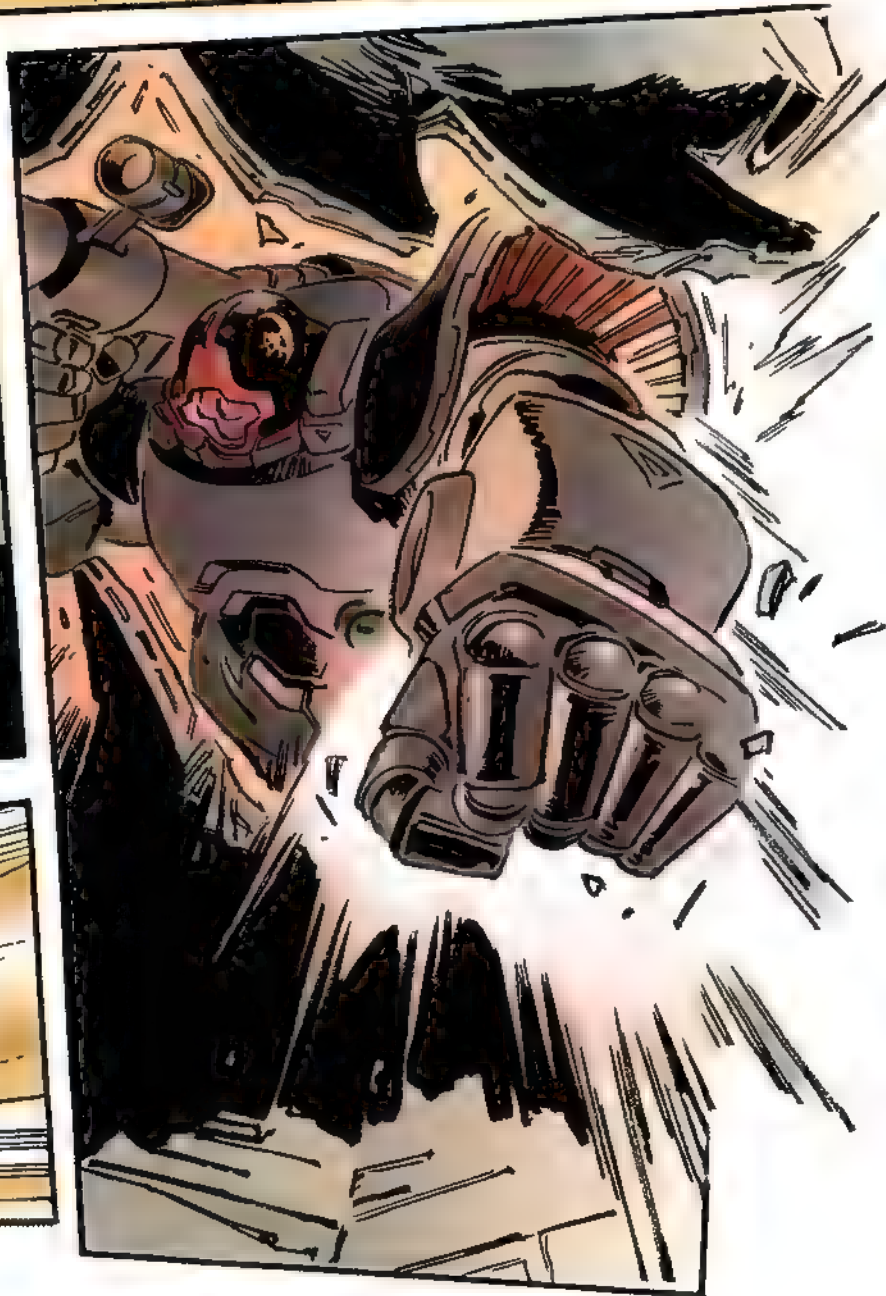
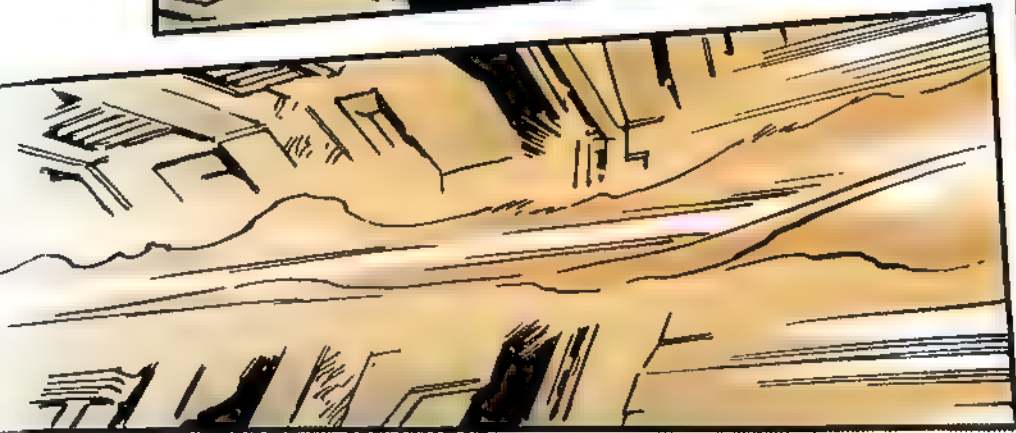
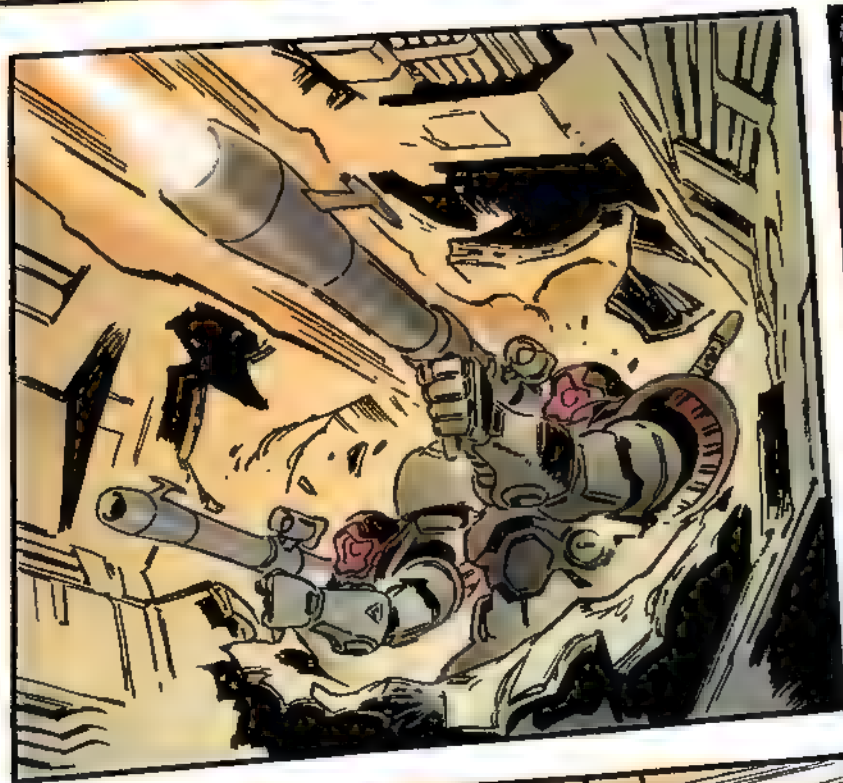
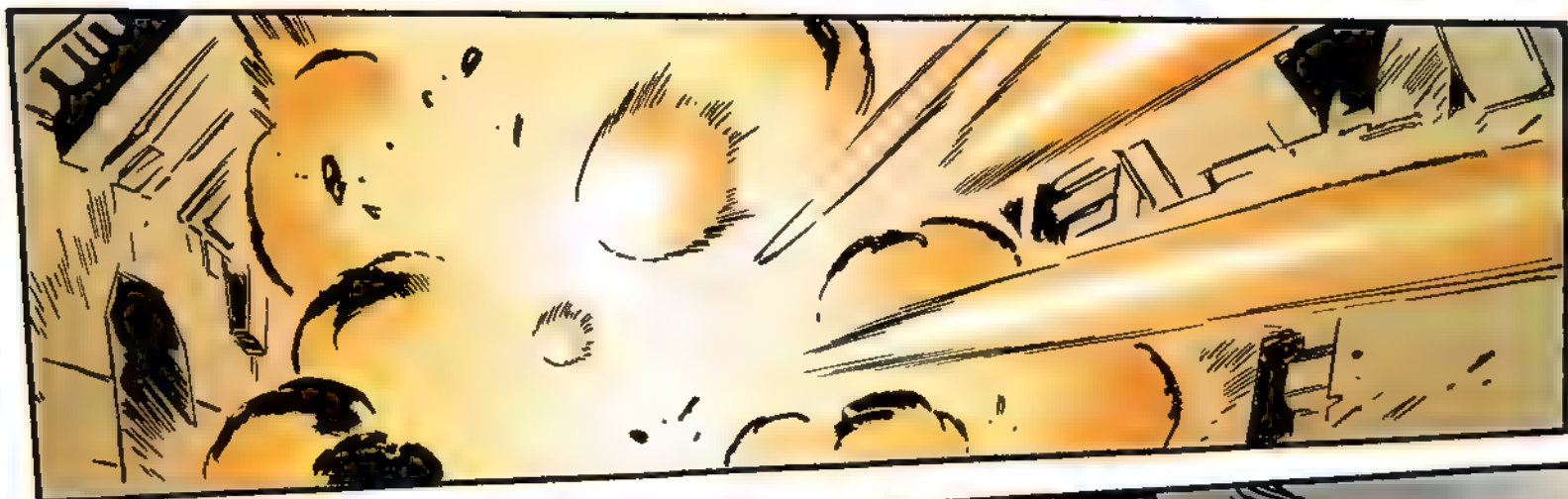
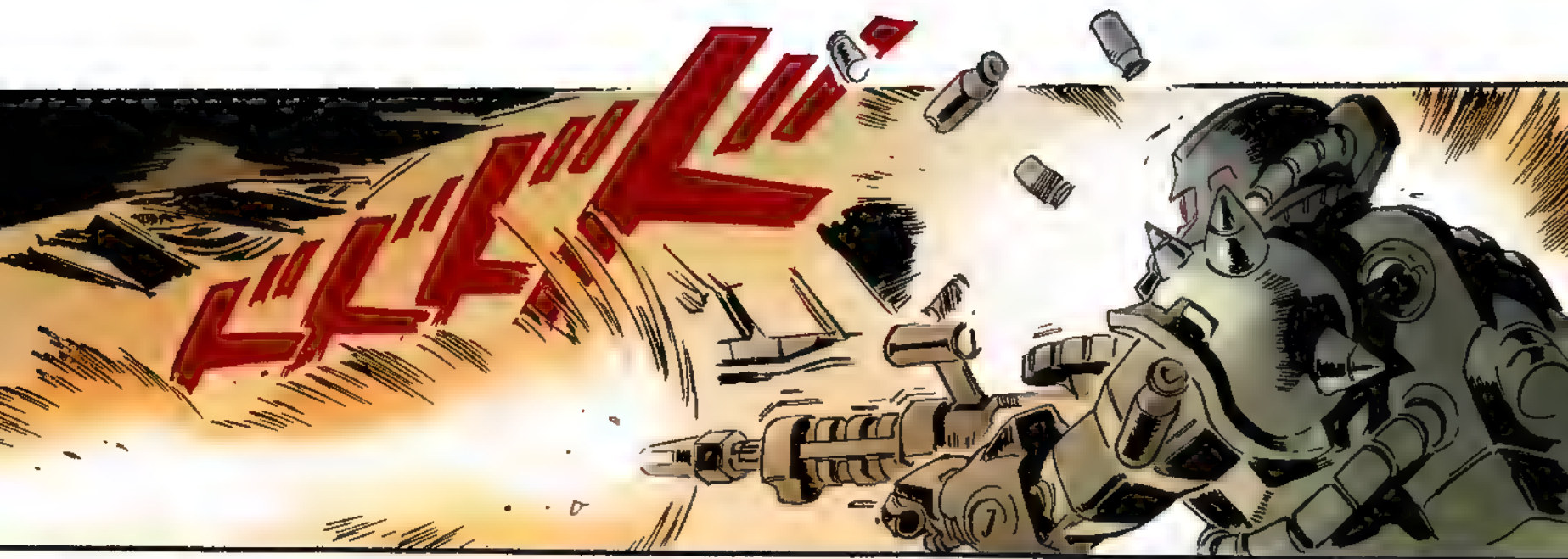
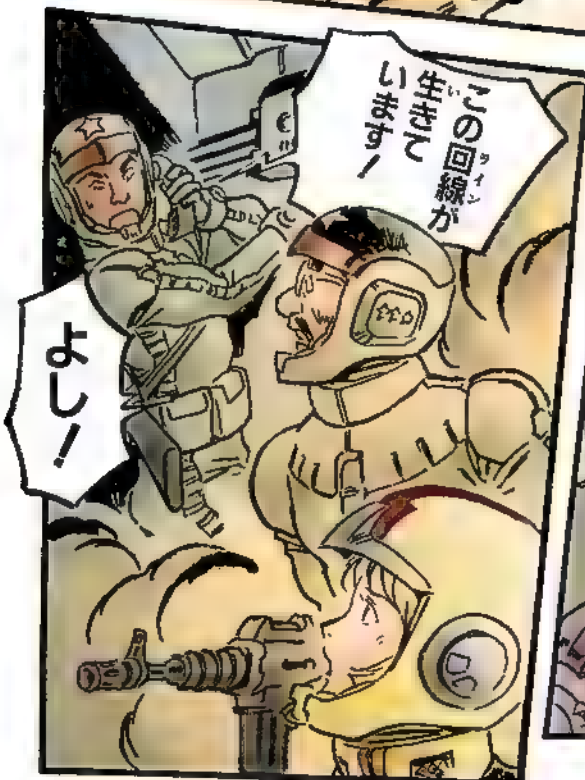
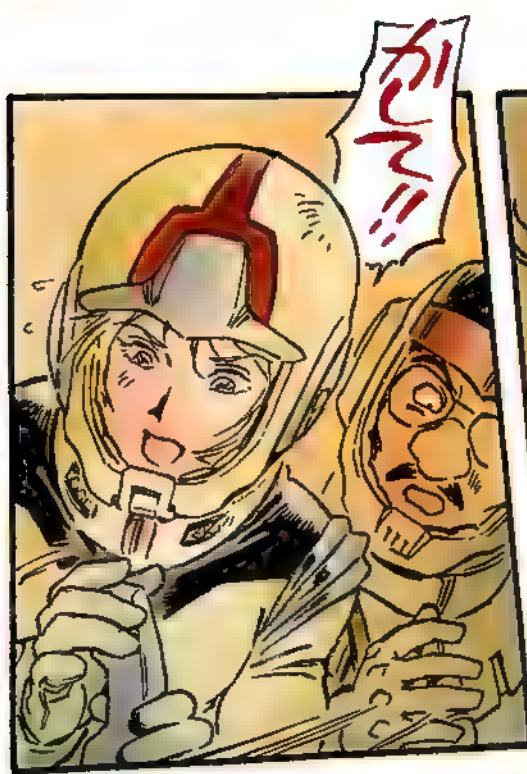
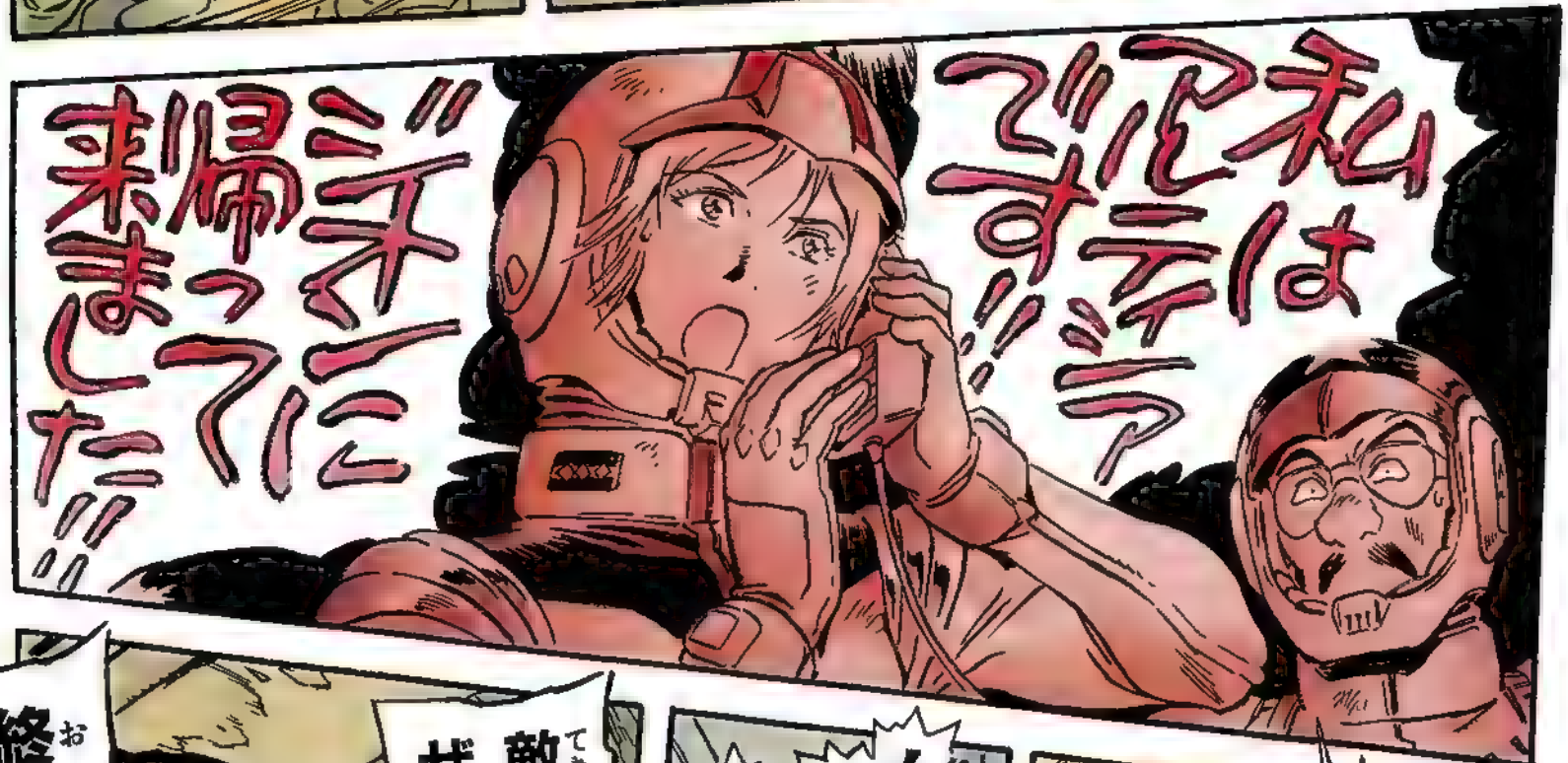
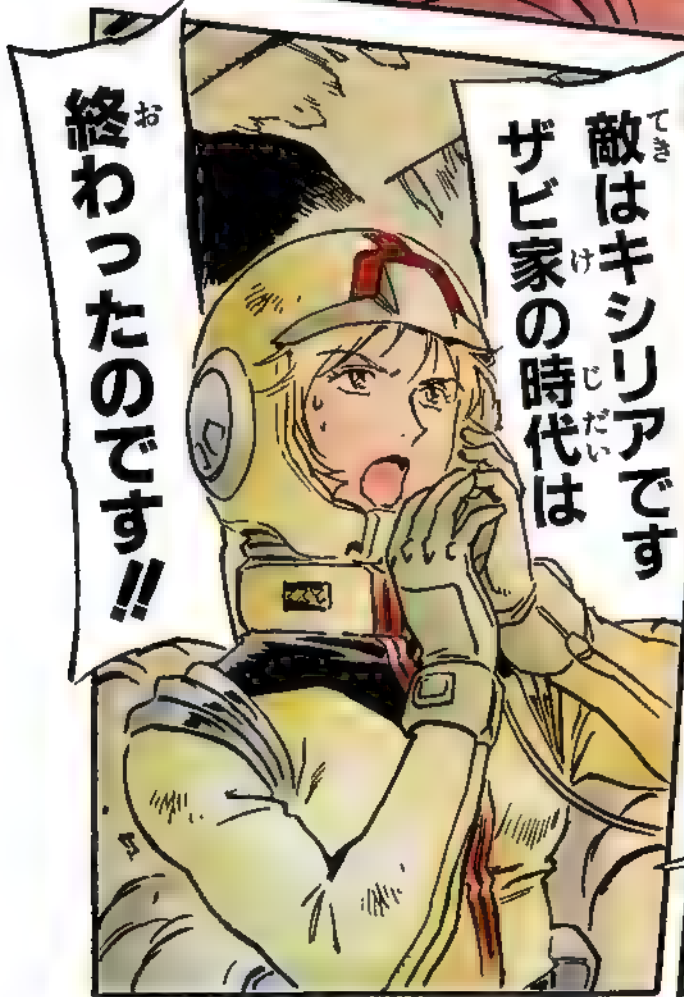
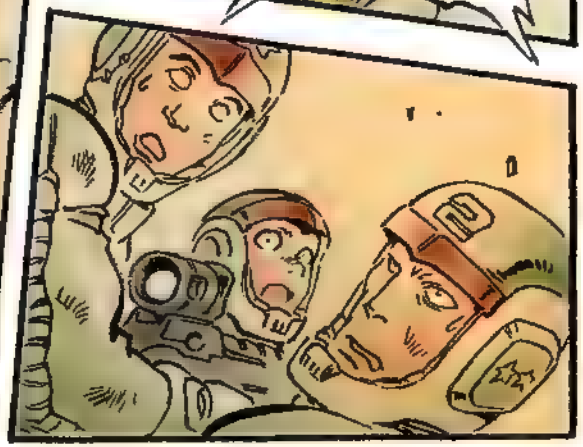
ウチの艦長殿に
そう……なんでしょうか?
バカ! 真に受けるんじゃねエのっ!

そっ!!

信頼が厚いのサ! 俺達!!

パープル・ウィドウ メインゲートに接舷しました
搭載モビルスーツ部隊の投入配置も完了
ただちに反乱部隊への攻撃に当たらせます
うむ
現在奴等はこの司令部からメインゲート内の通路を遮断する形で
小部隊を展開し抵抗を続けておりますから
これを三方から包囲し一気に
殲滅します!
ん……
"白い奴"を確認しました
メインに転送します!

おおお
完全に擱坐しております！
尚ジオング本体は未だ確認できておりませんが
燃焼痕の中心にあるこの……
この物体は
ジオングの頭部に間違いありません
おおッ!!
するとやはりシャア大佐は
敵と刺し違えて
……いい最期だ
シャア……

ジオン十字勲章で報いてやる
私を悪く思うな

この回線が生きています!
よし!
くそォ
キシリア側のモビルスーツだな!
大尉殿ッ
同じジオン軍なのにッ

私は司令部警護隊のドノバン大尉だ！これを聞いている者は闘え!!
相手はギレン総帥を殺した謀反人の
キシリア少将だ!!
かして!!
私はアルテイシアです!!
ジオンに帰って来ました!!
キシリアと戦ってください！
ザ
ガガ
連邦の工作員が潜入している！
敵の煽動に乗せられるな
敵はキシリアです
ザビ家の時代は
終わったのです!!

真のジオニストなら
ジオン公国の
国民なら
今こそ
起ちあがりなさい
!
バチ!バチ!
うわあ!!
こっちからも来たあ!!
バチ!
バチッ

ズ
わっ
?!
もうダメだ…!

ズズン…!
ド…ド…
ドーン…!

ガコン

行ってやる!!
待ってろシャア!!
ギギ

めぐりあい宇宙編
SECTION
II

この裏切り者共オオ

どけえ
独裁者の手先!!

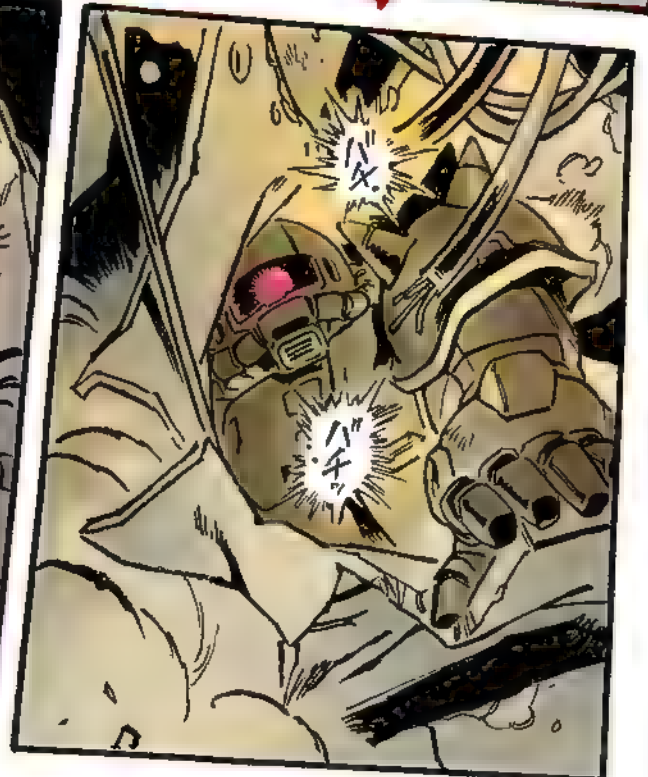
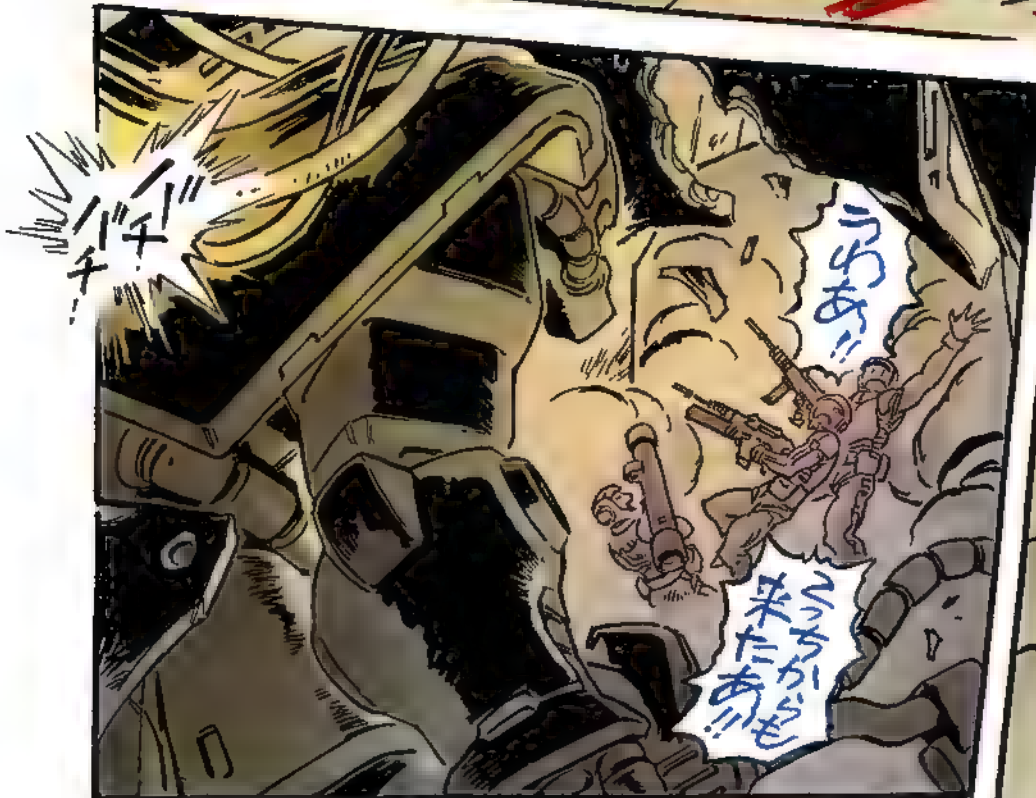
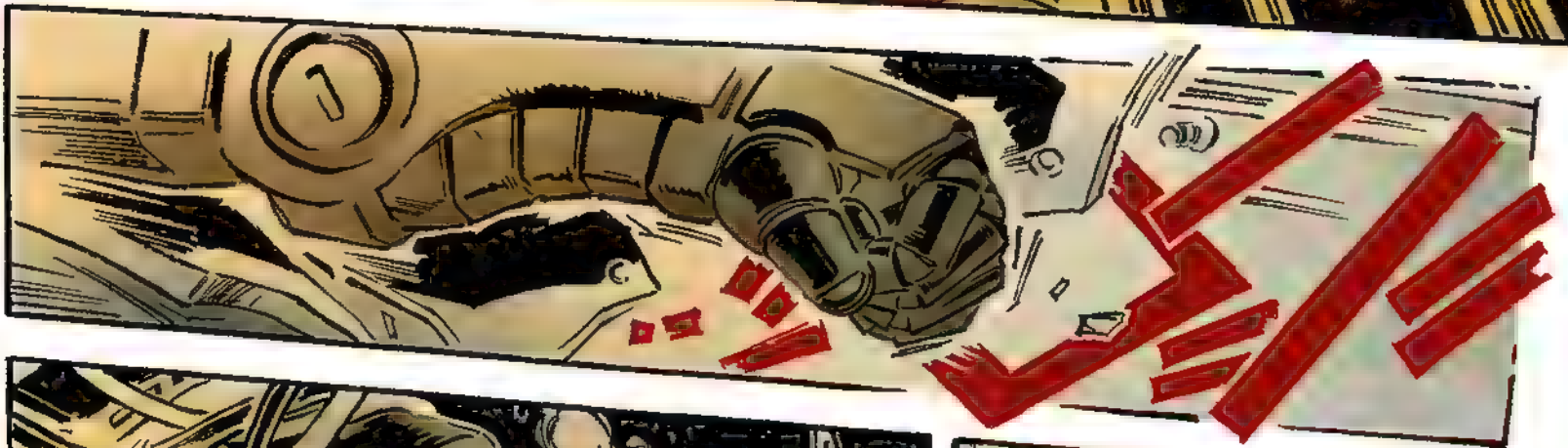
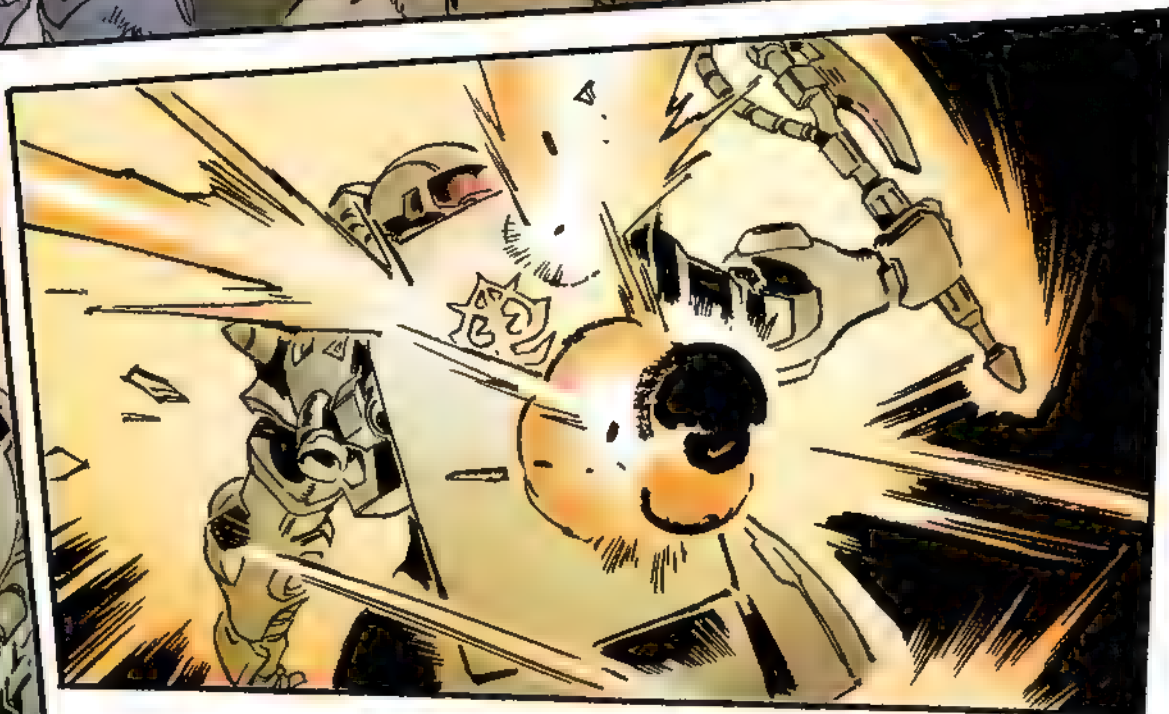
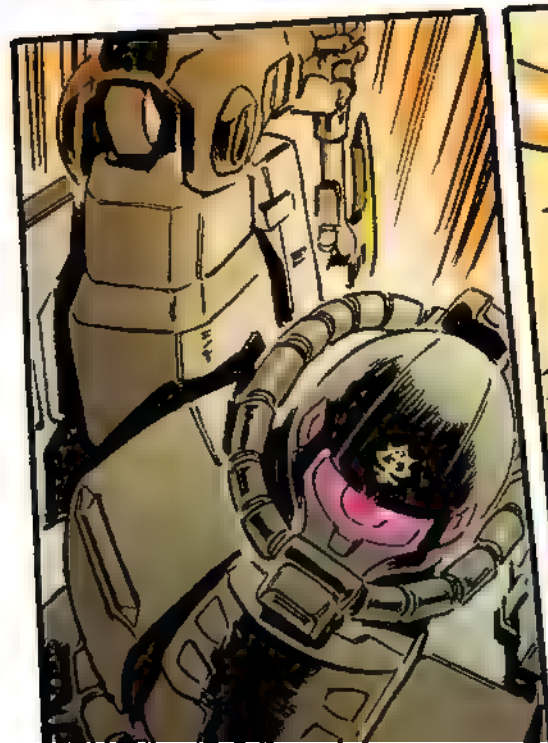
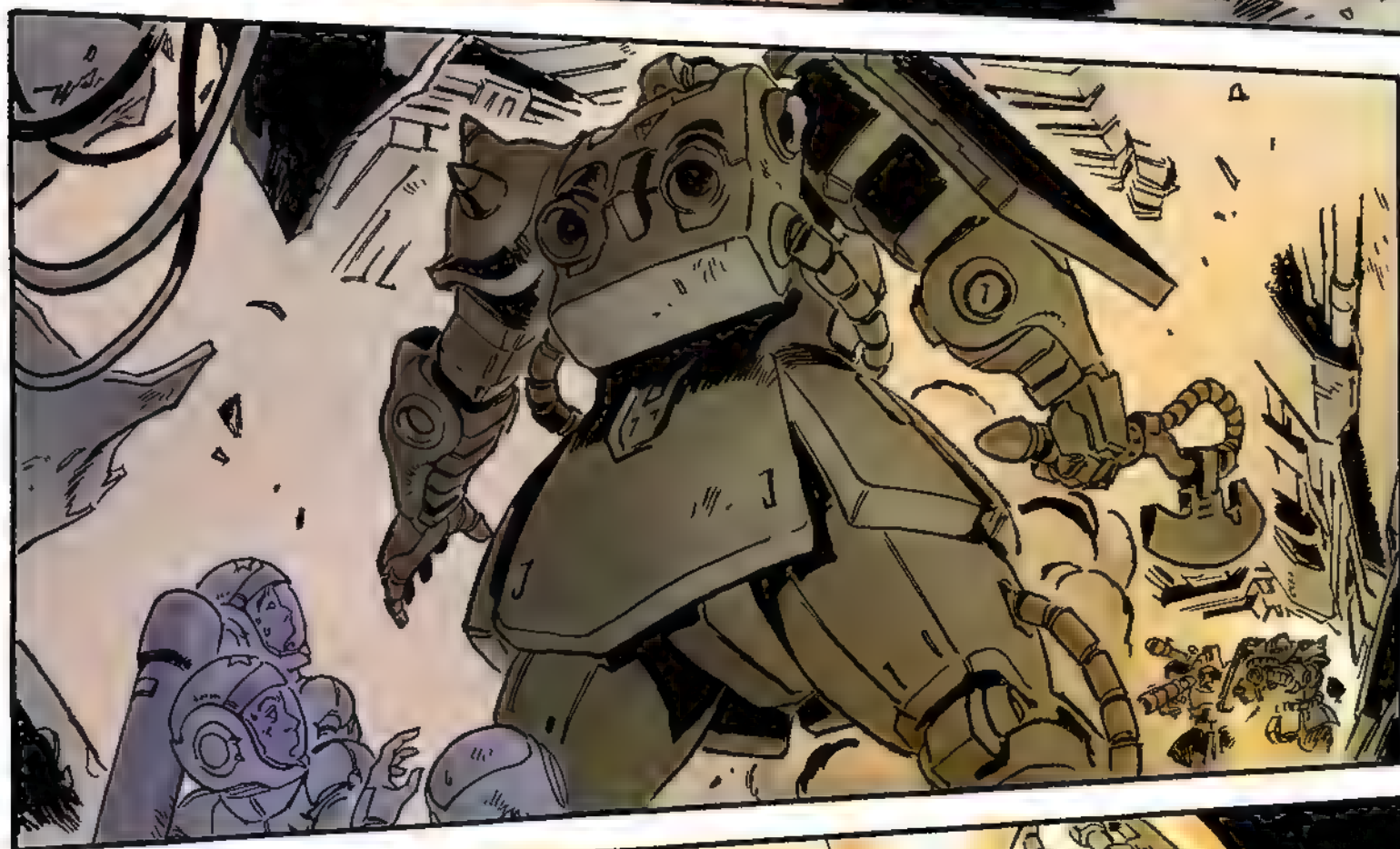
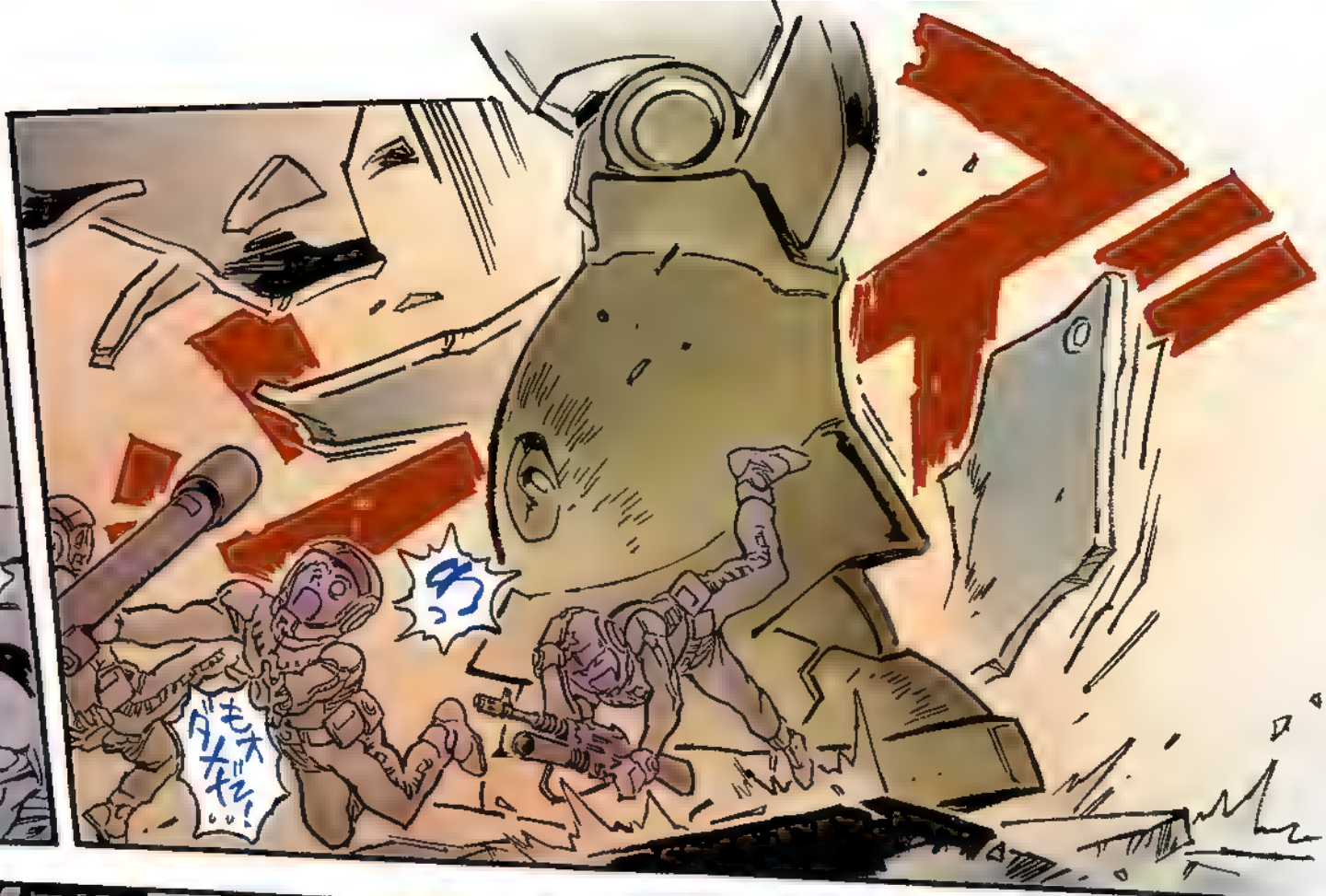
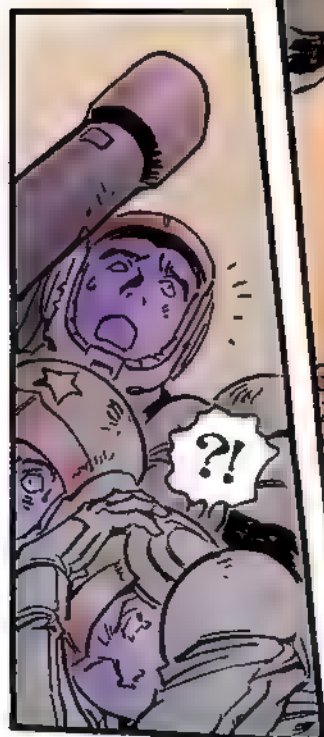
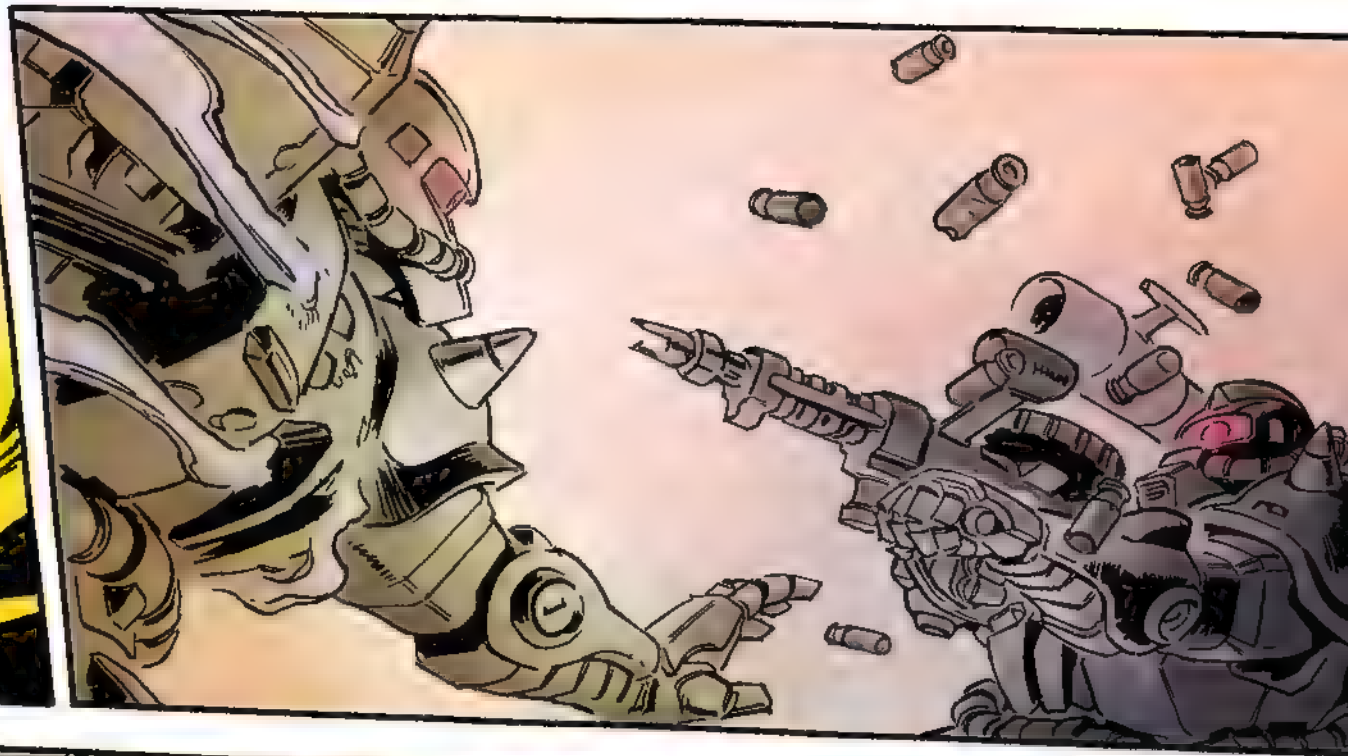
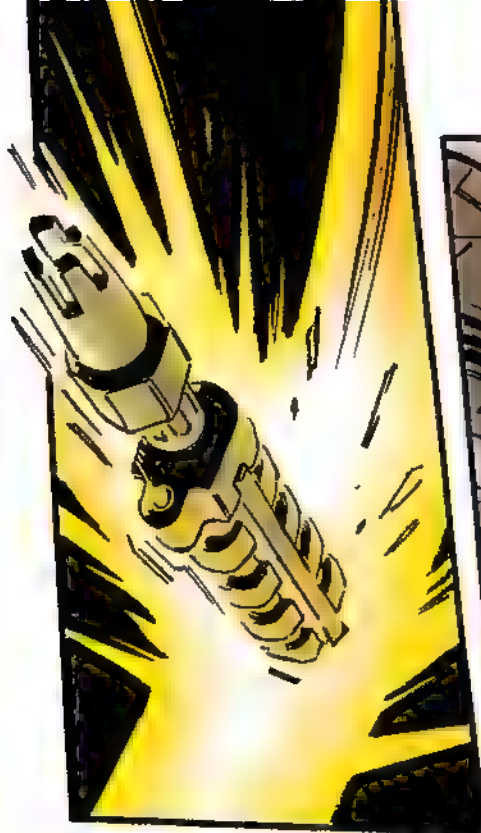
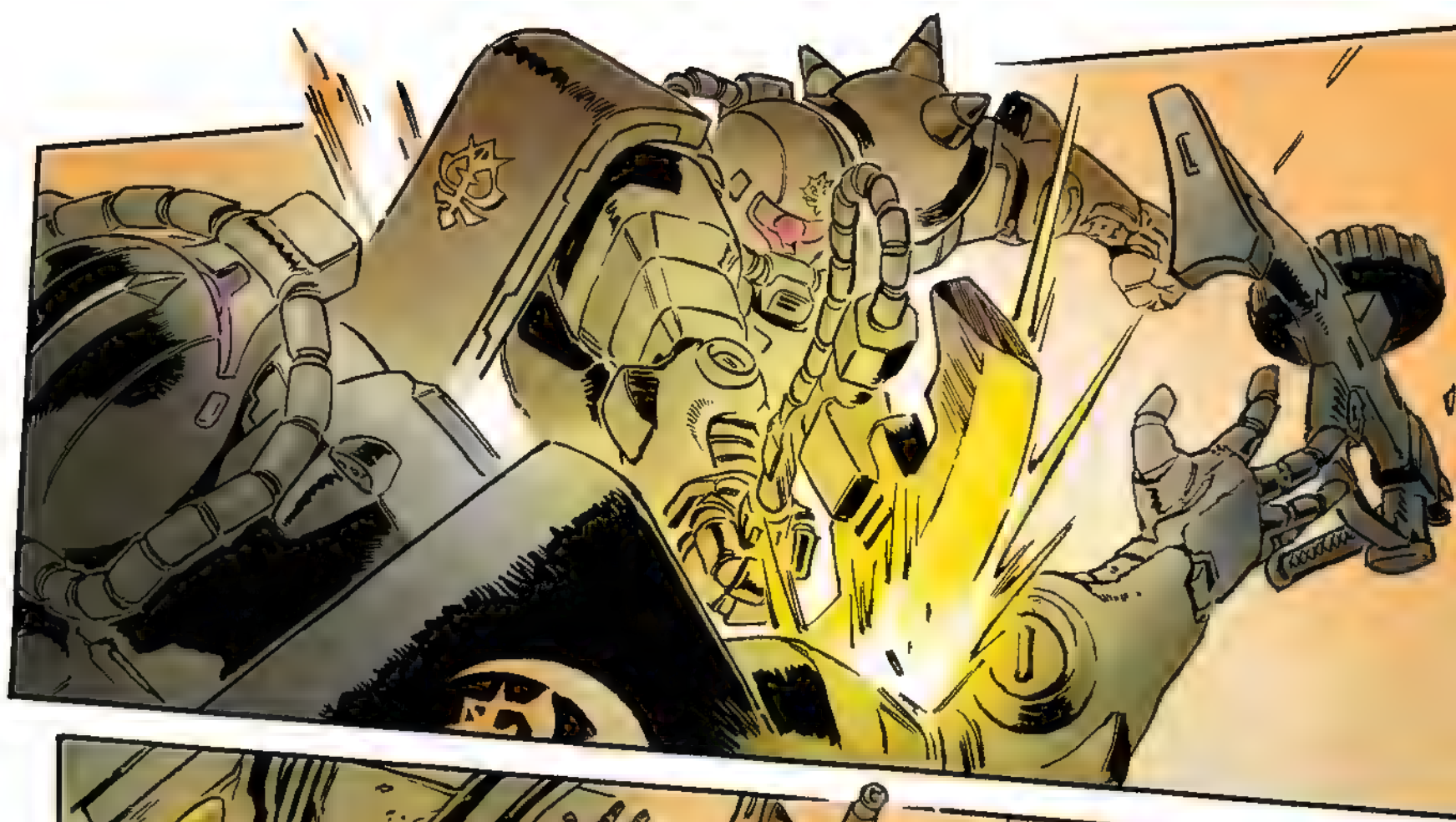
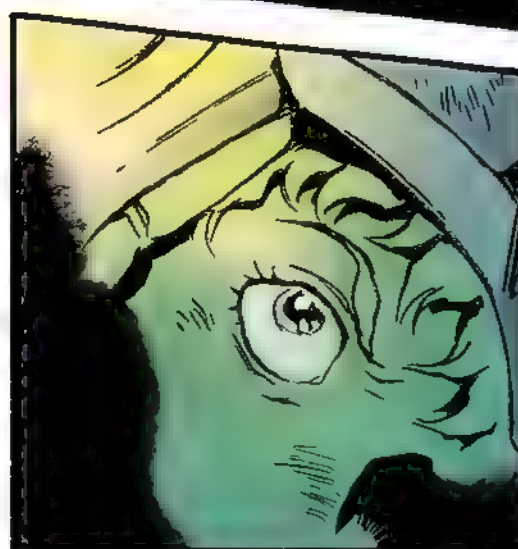
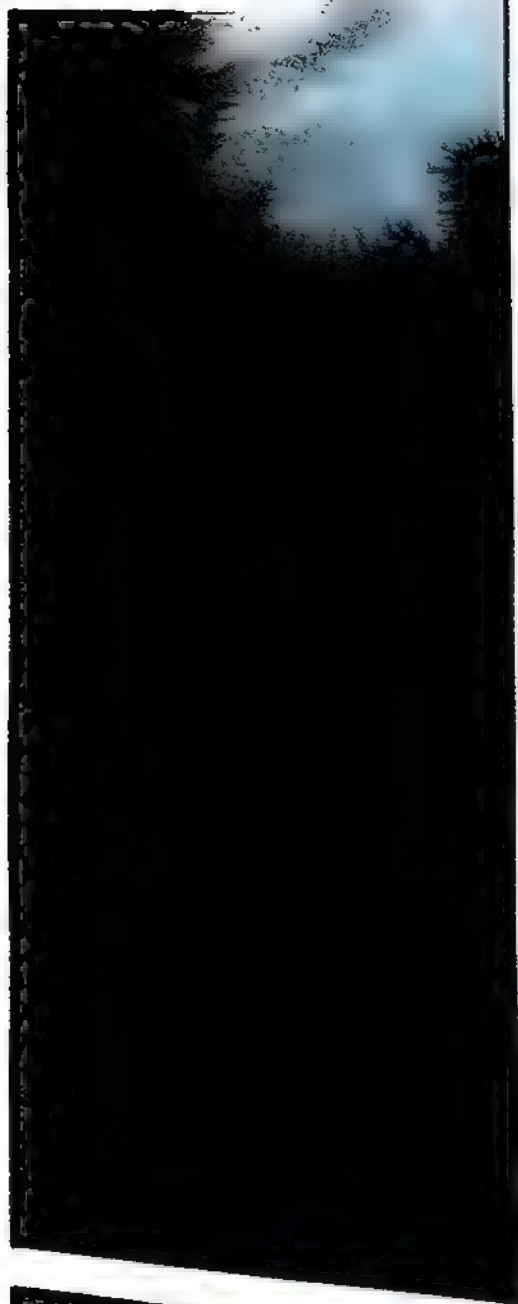
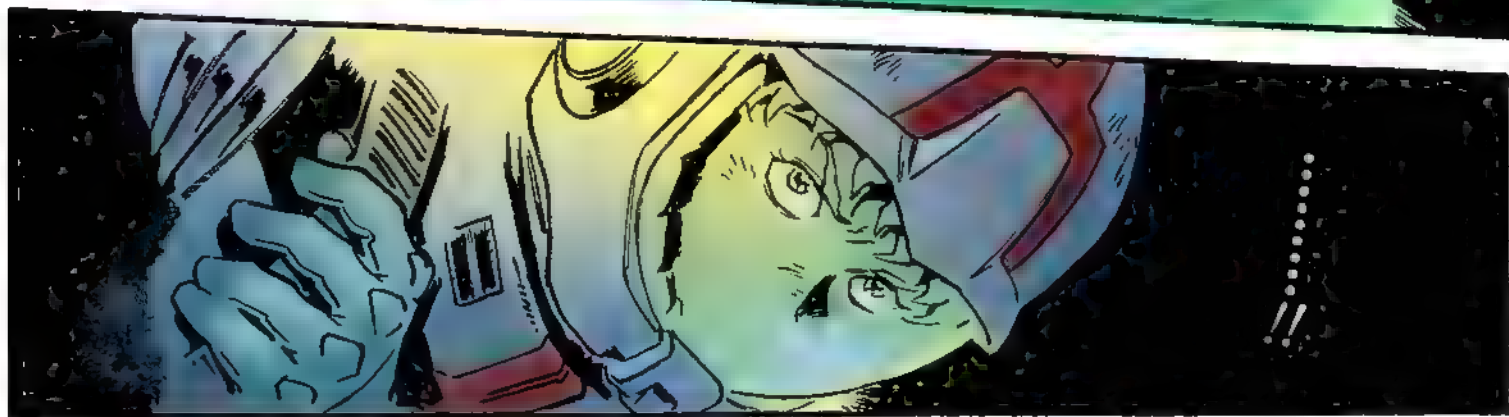
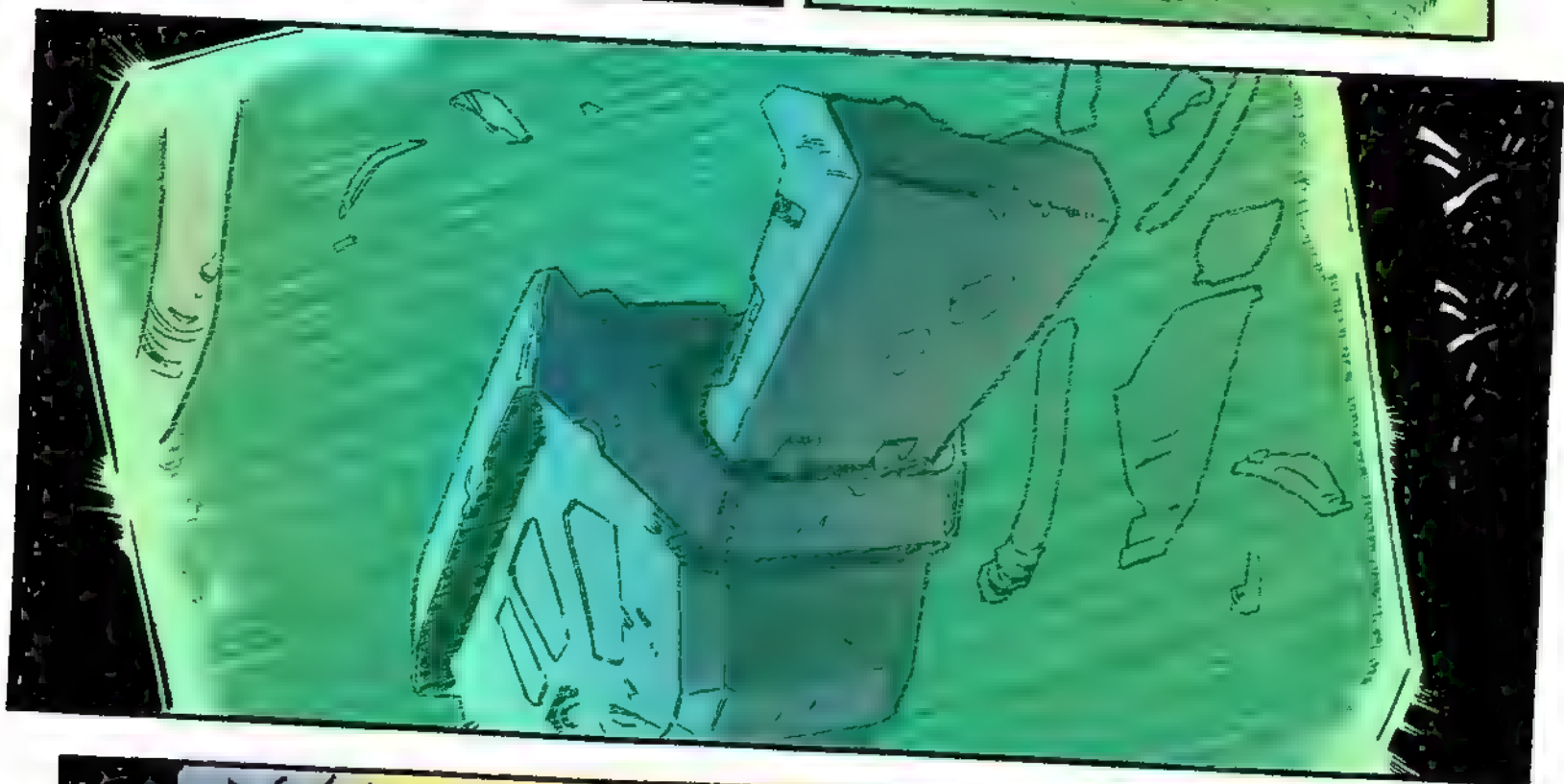
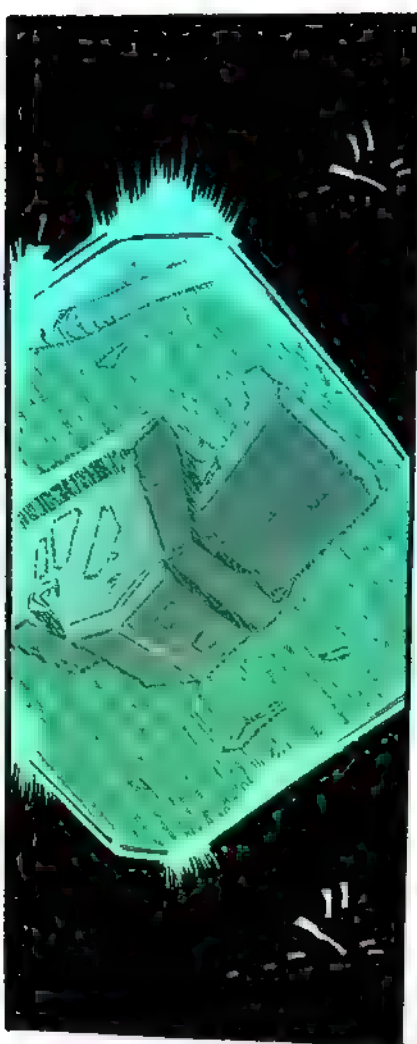
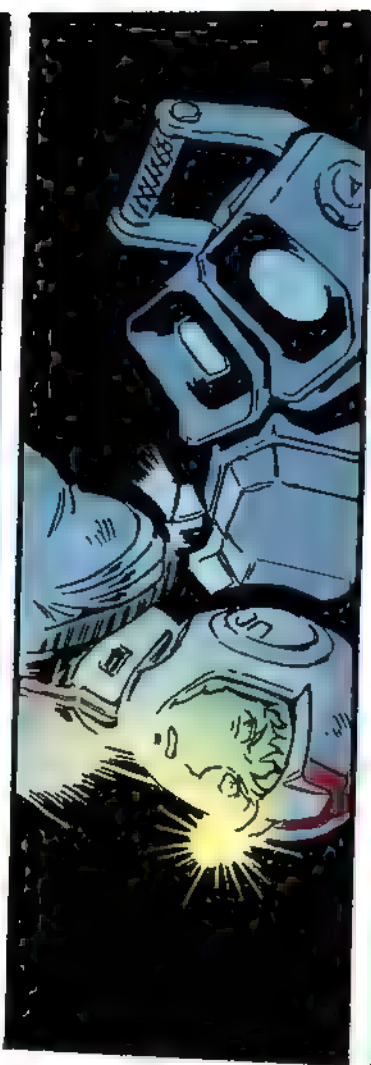
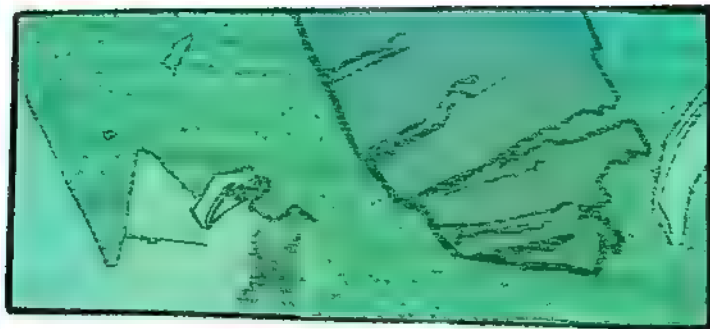
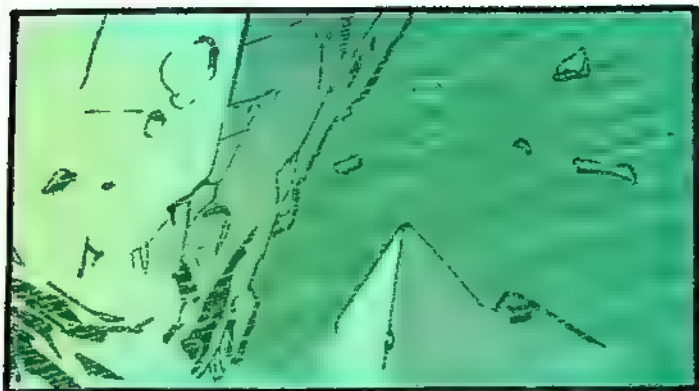
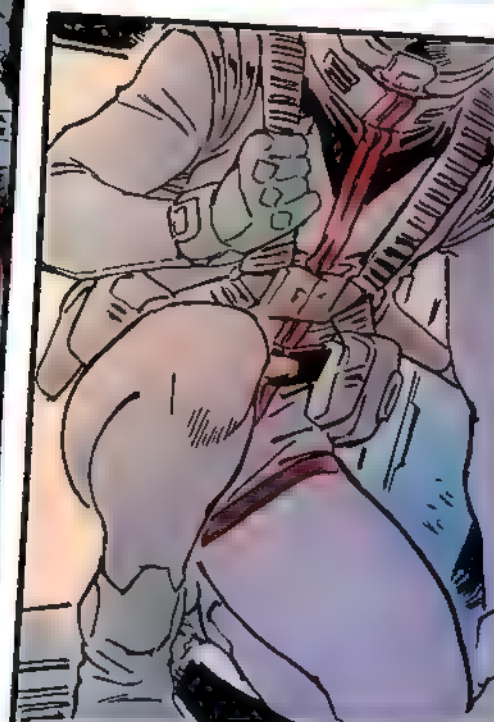
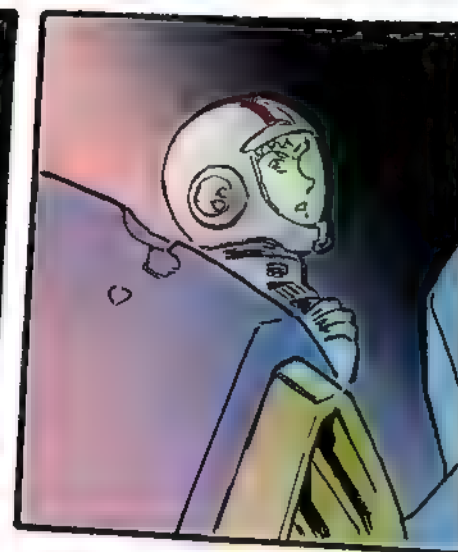
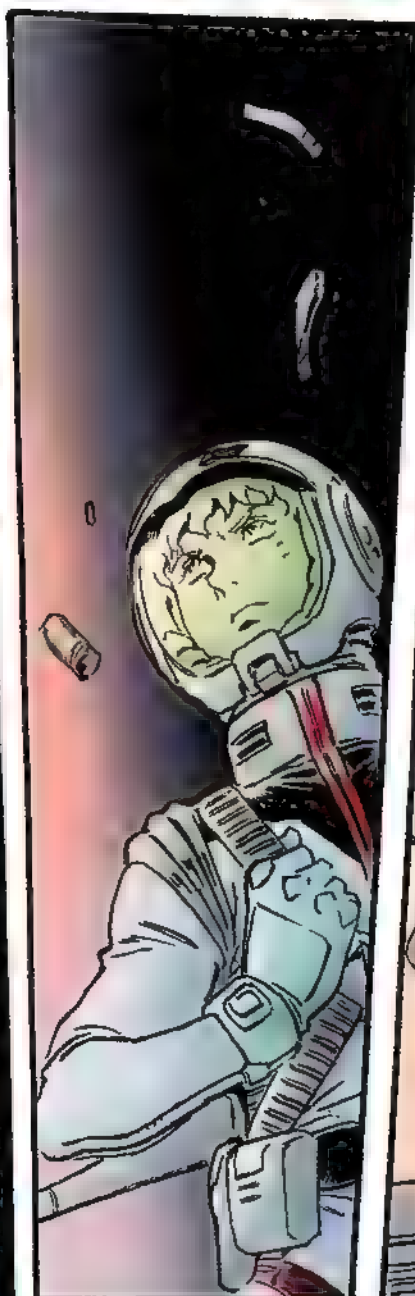
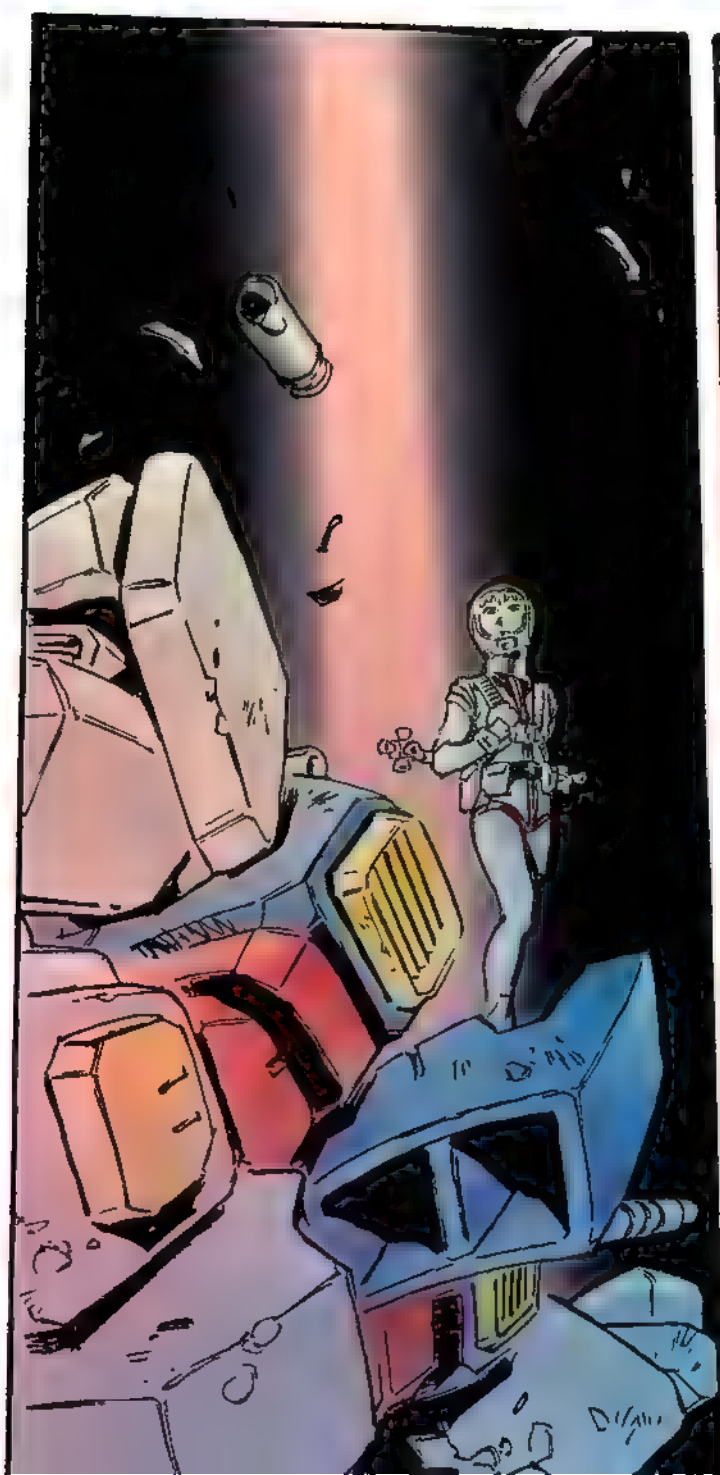
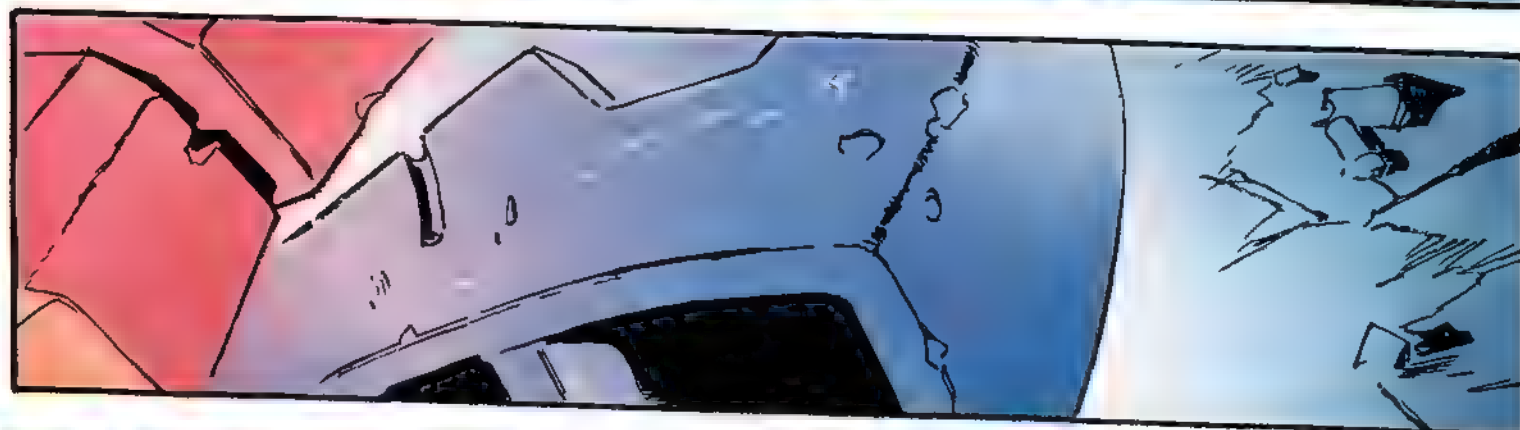
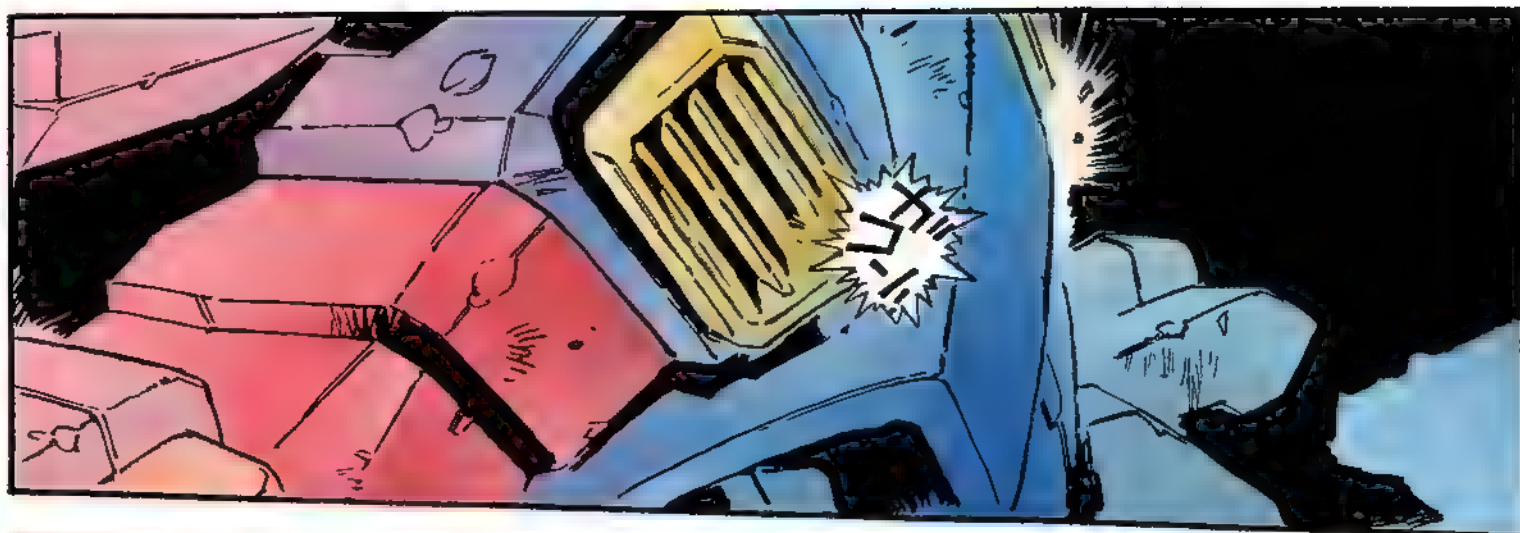
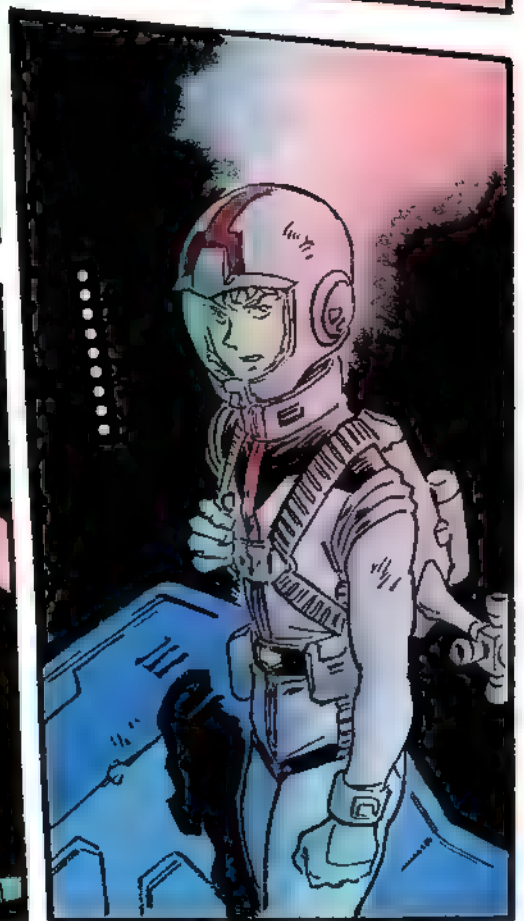
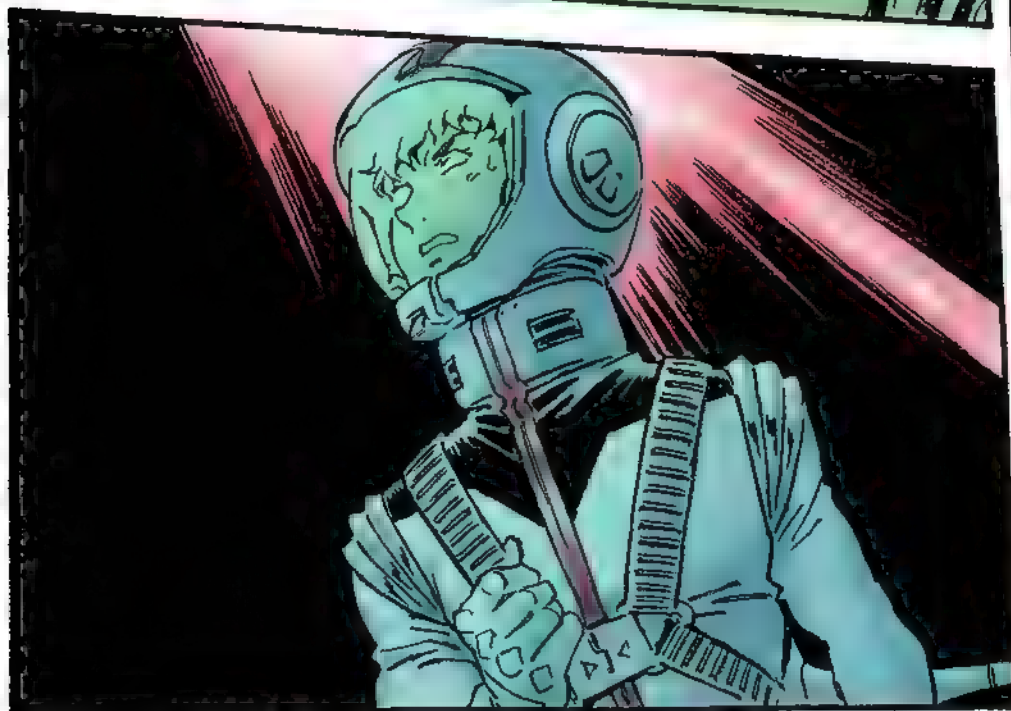
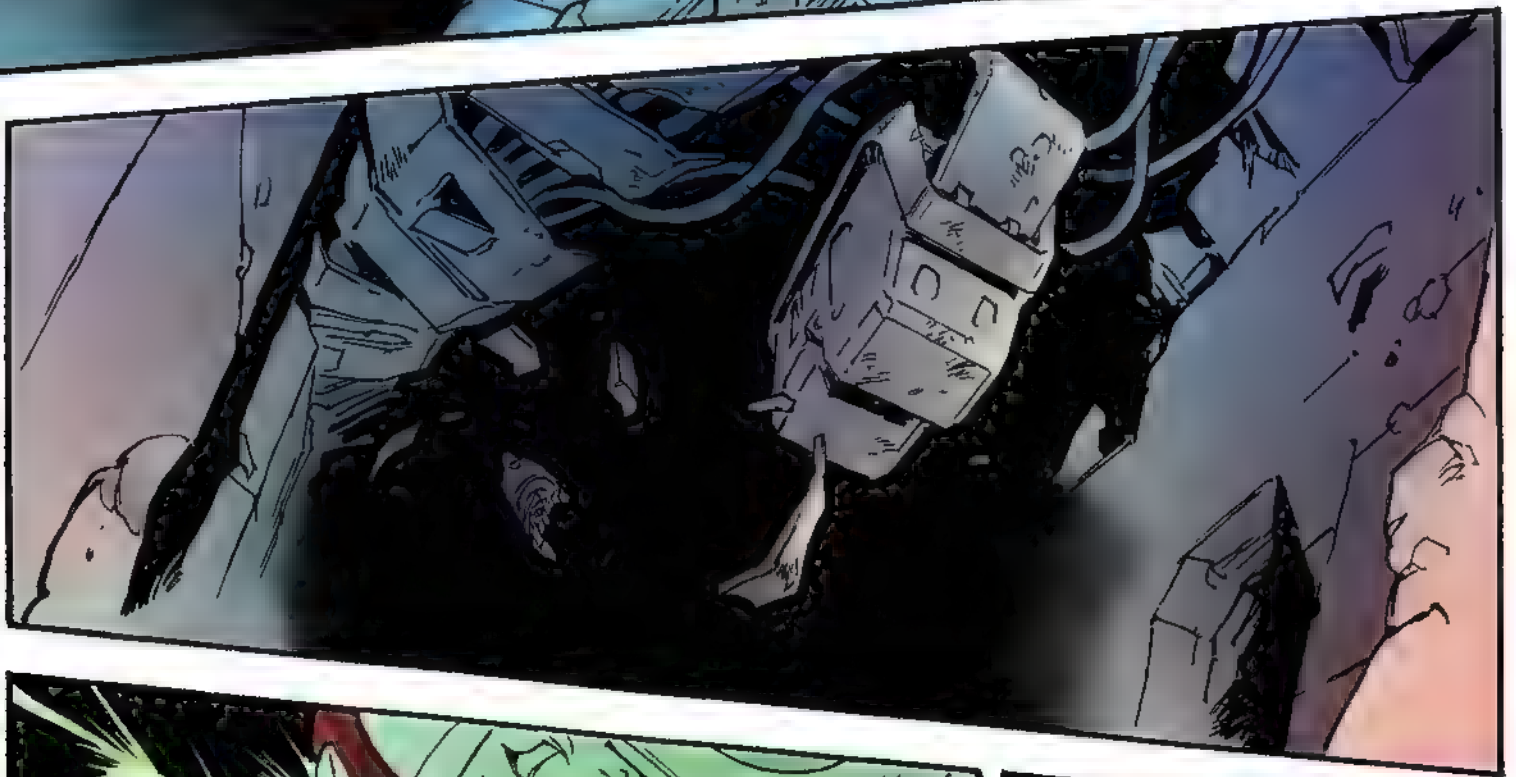
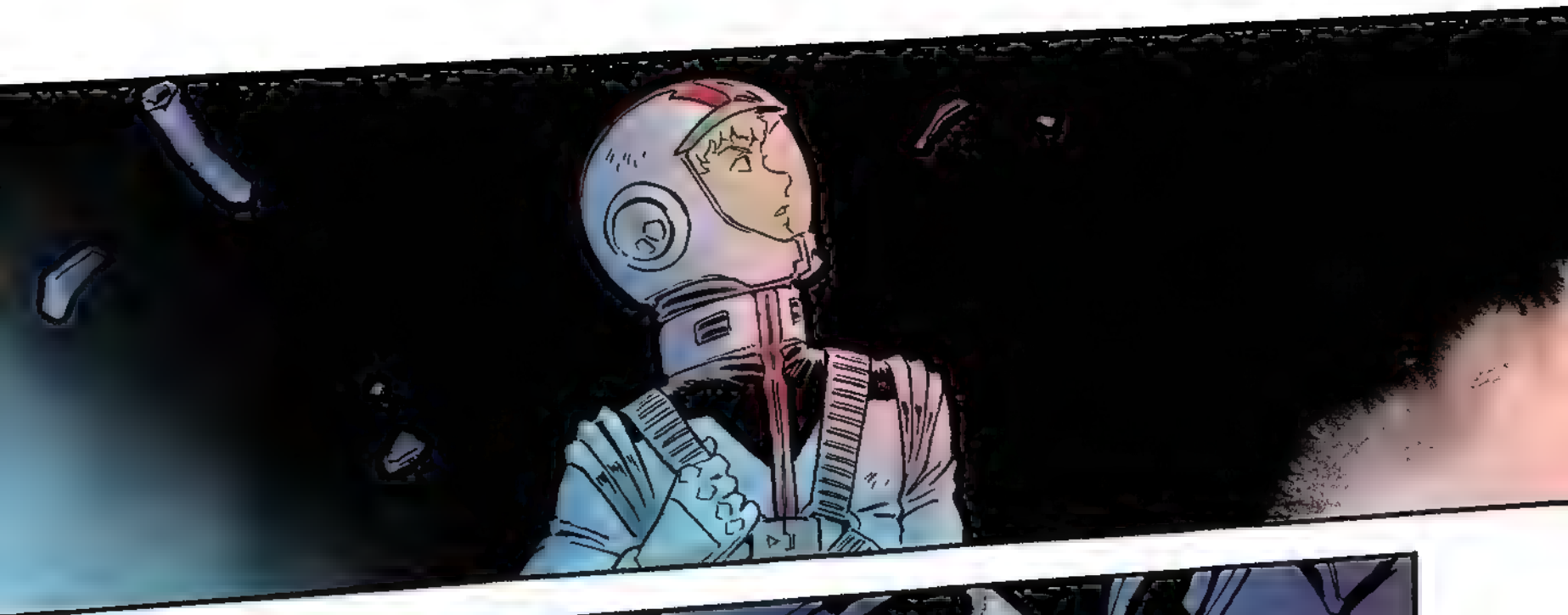
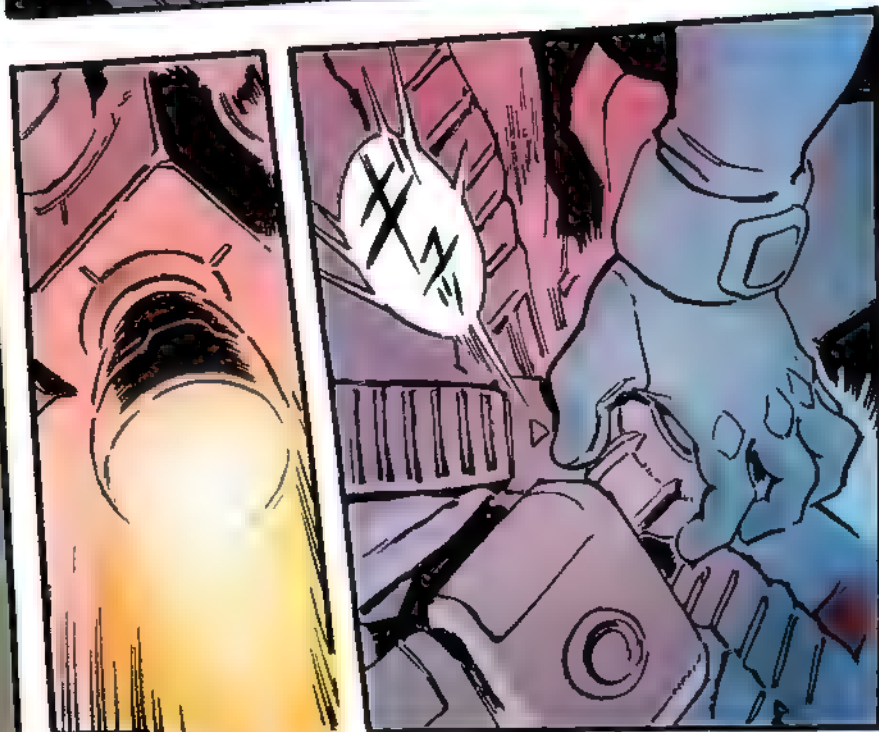
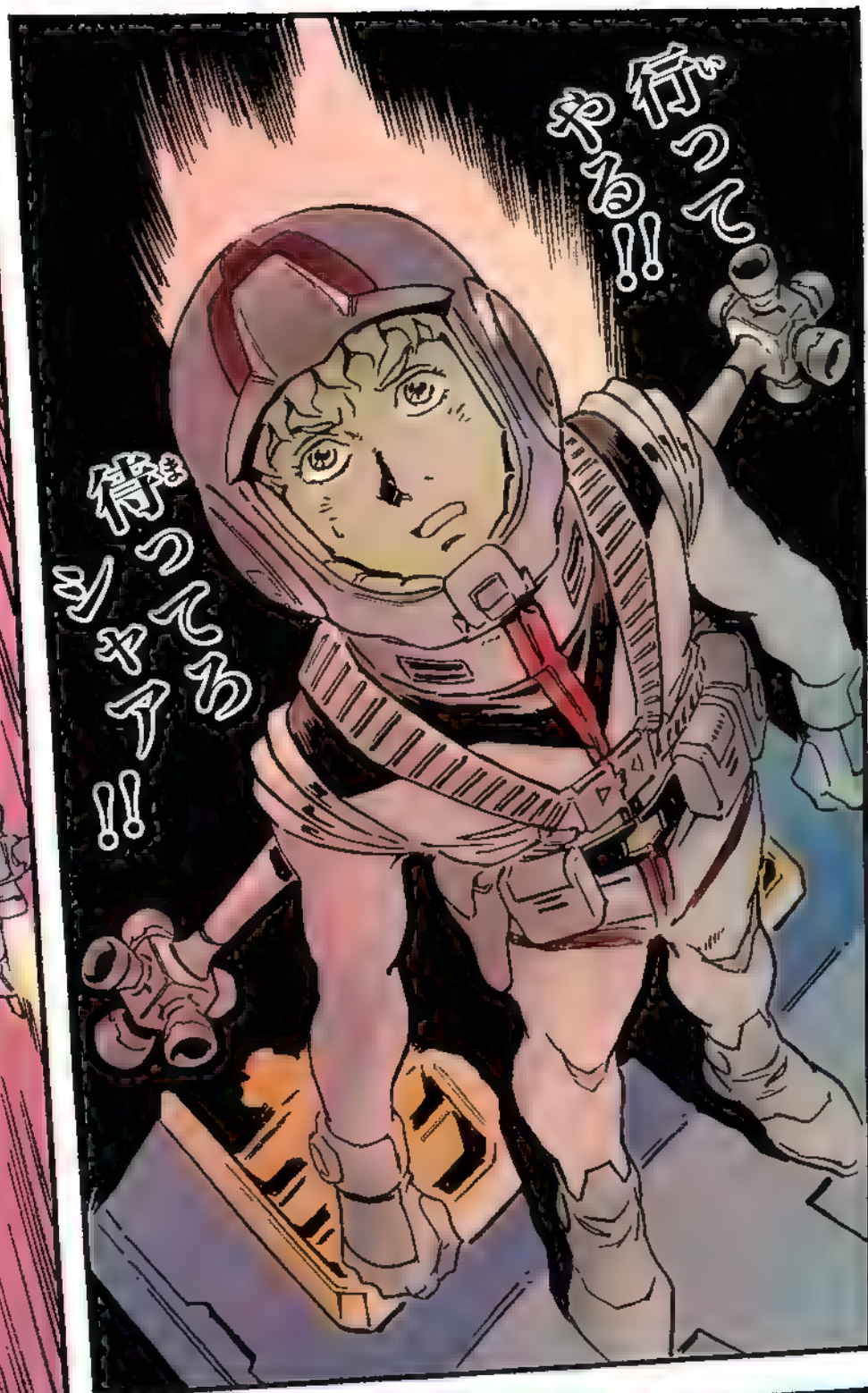
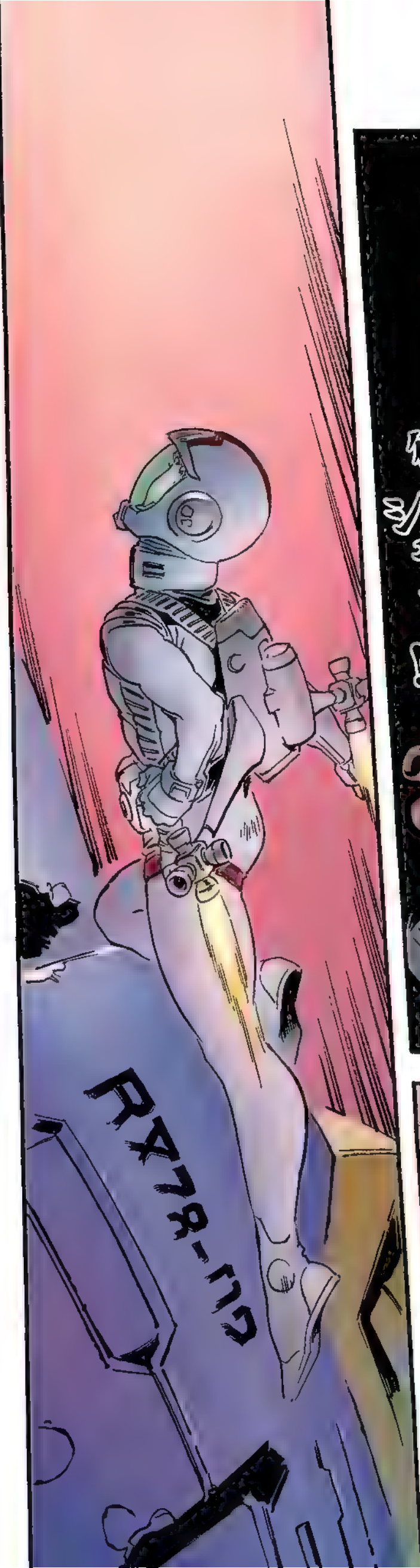
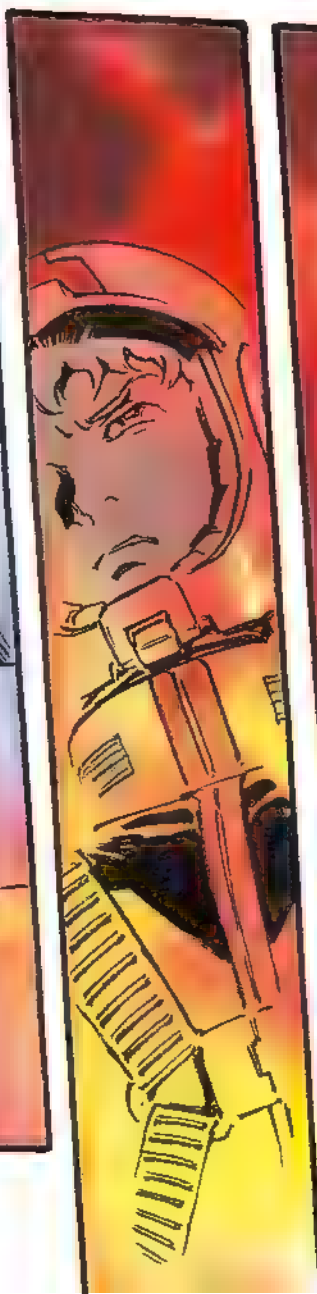
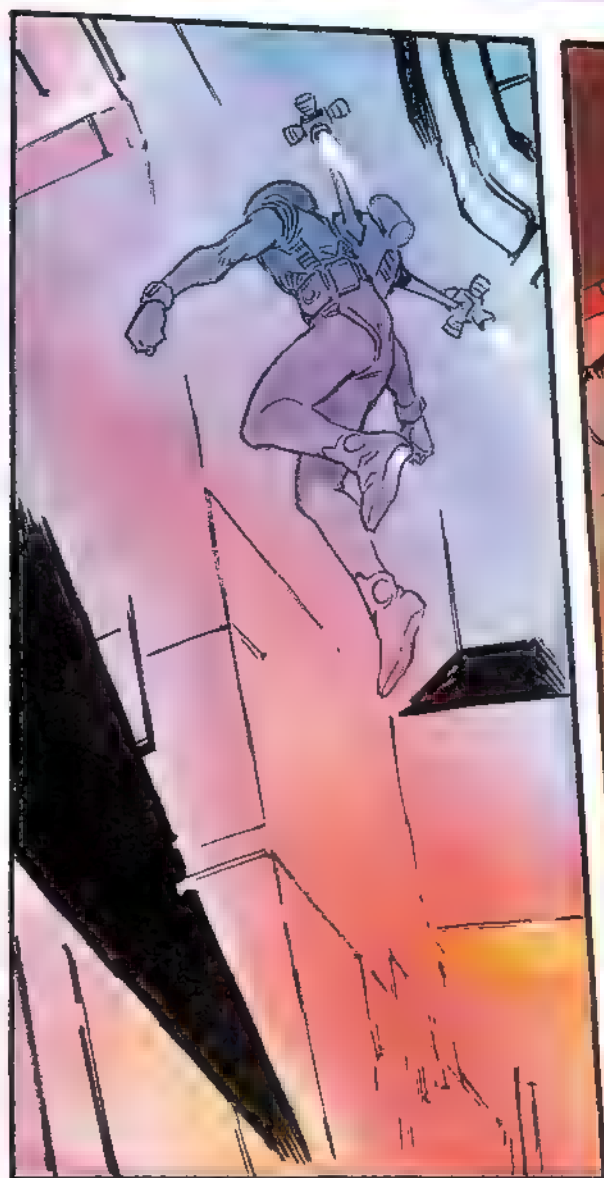
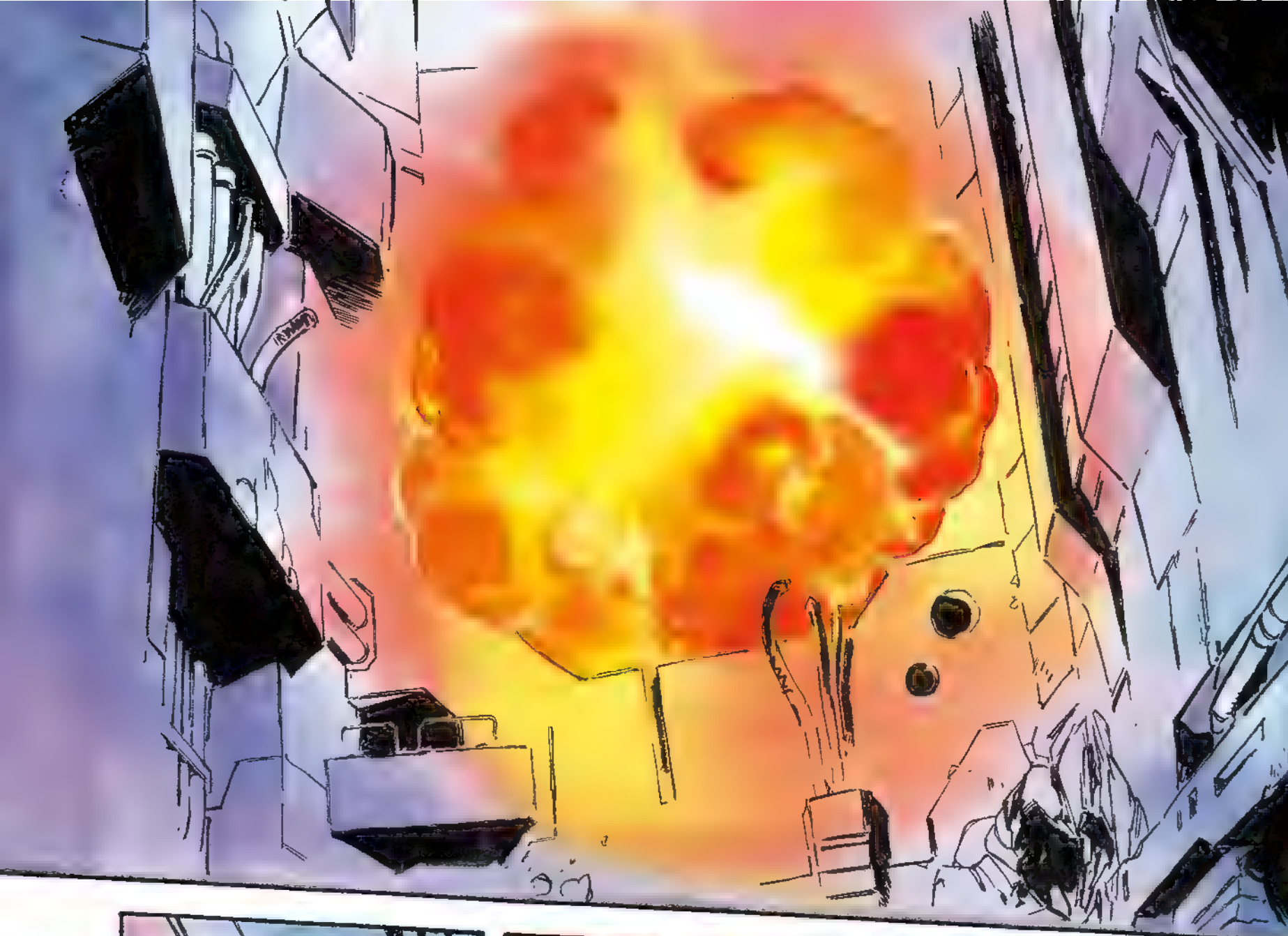
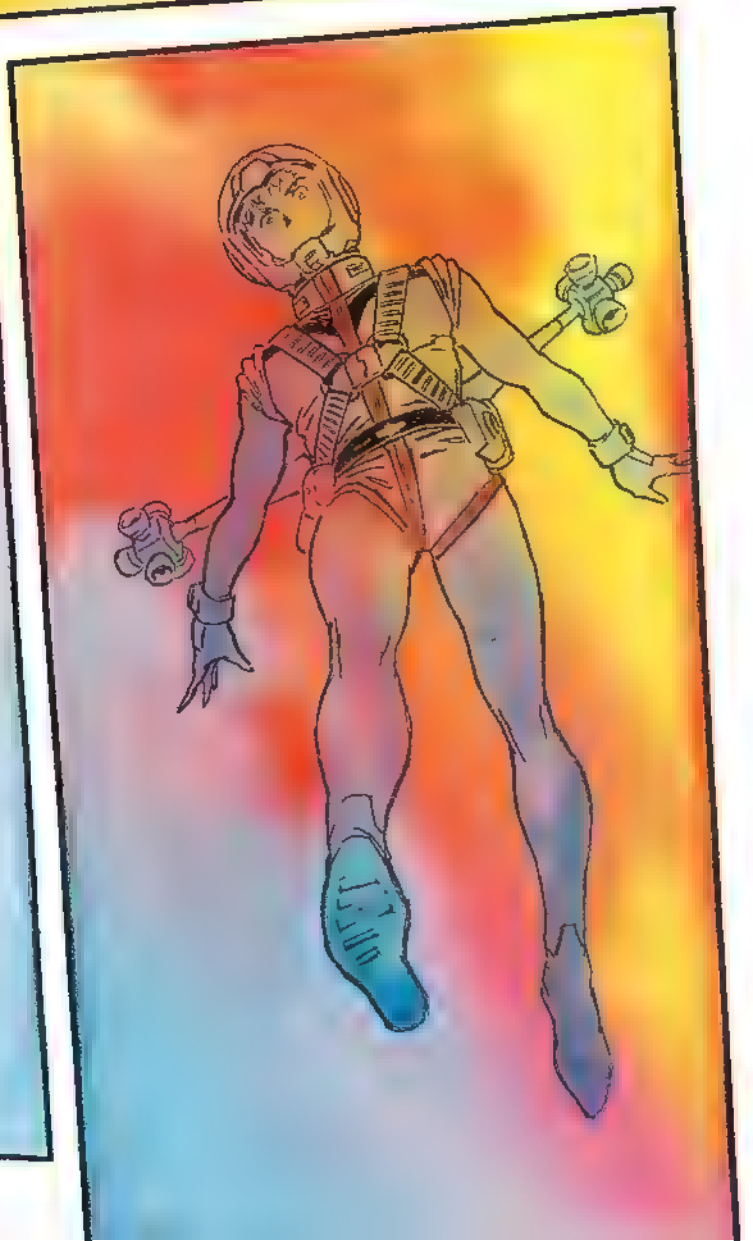
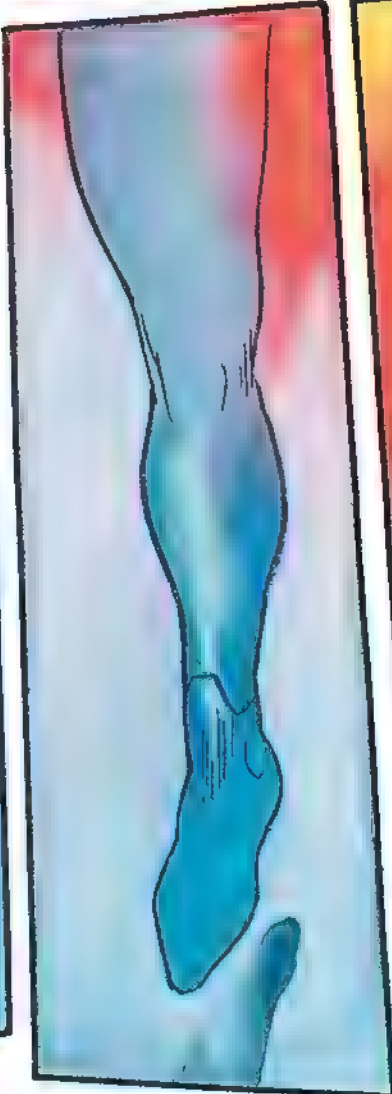
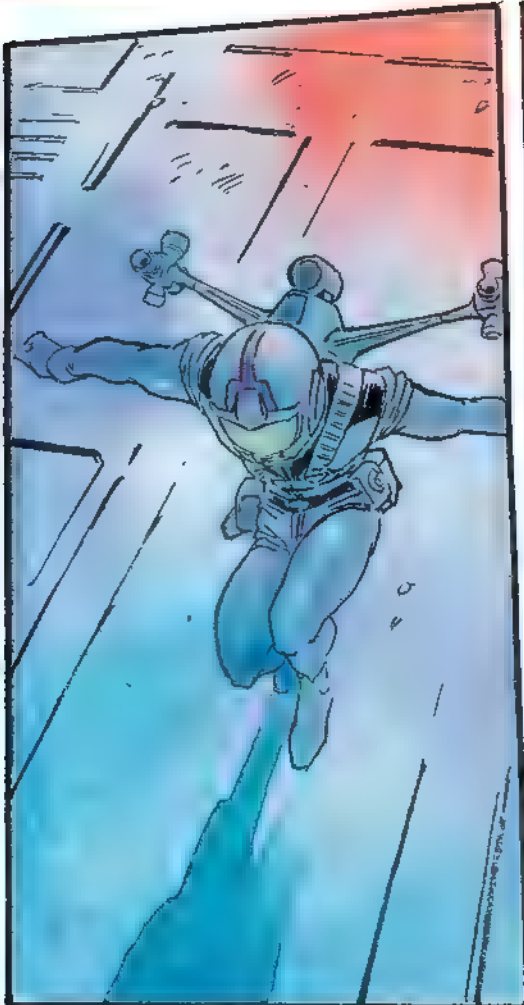
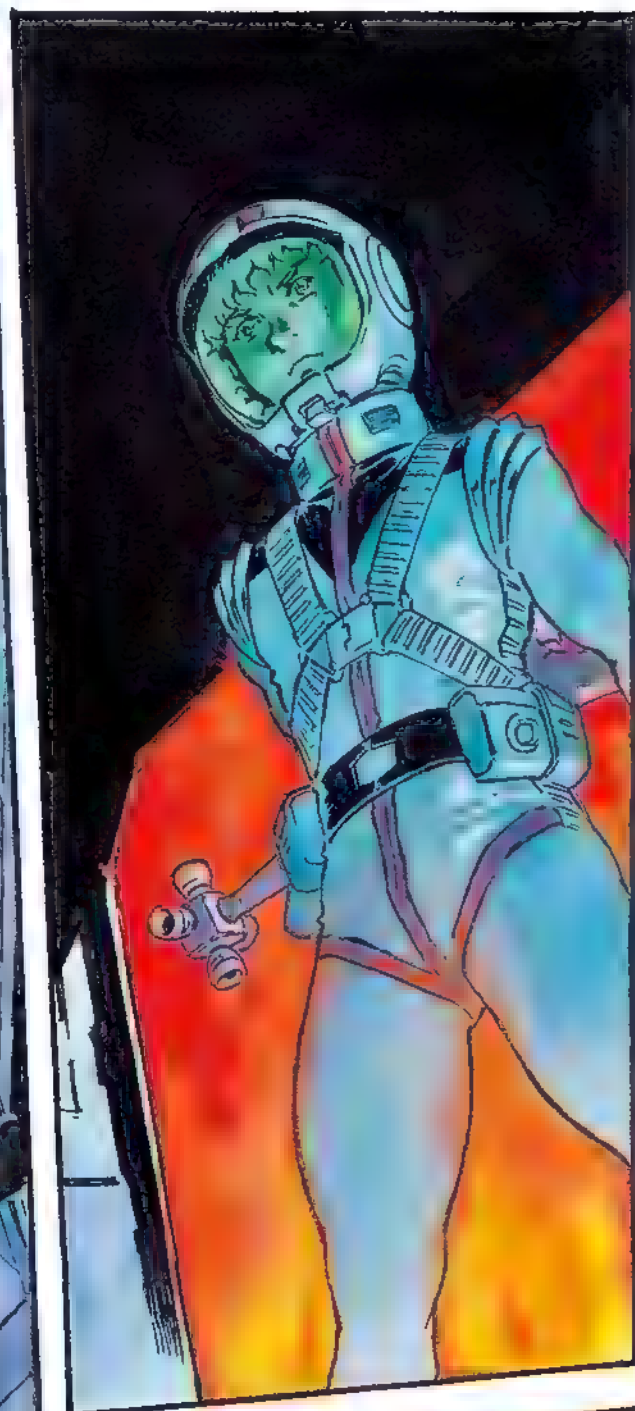
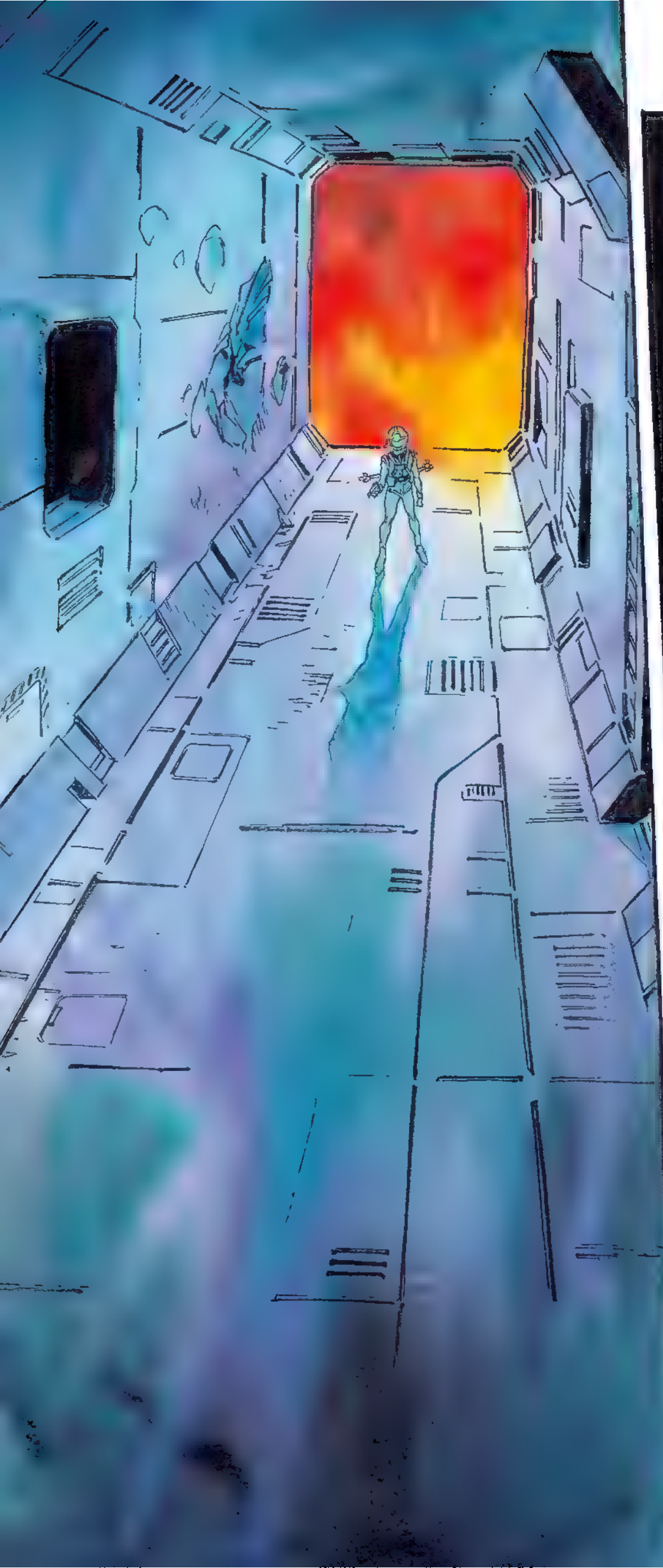
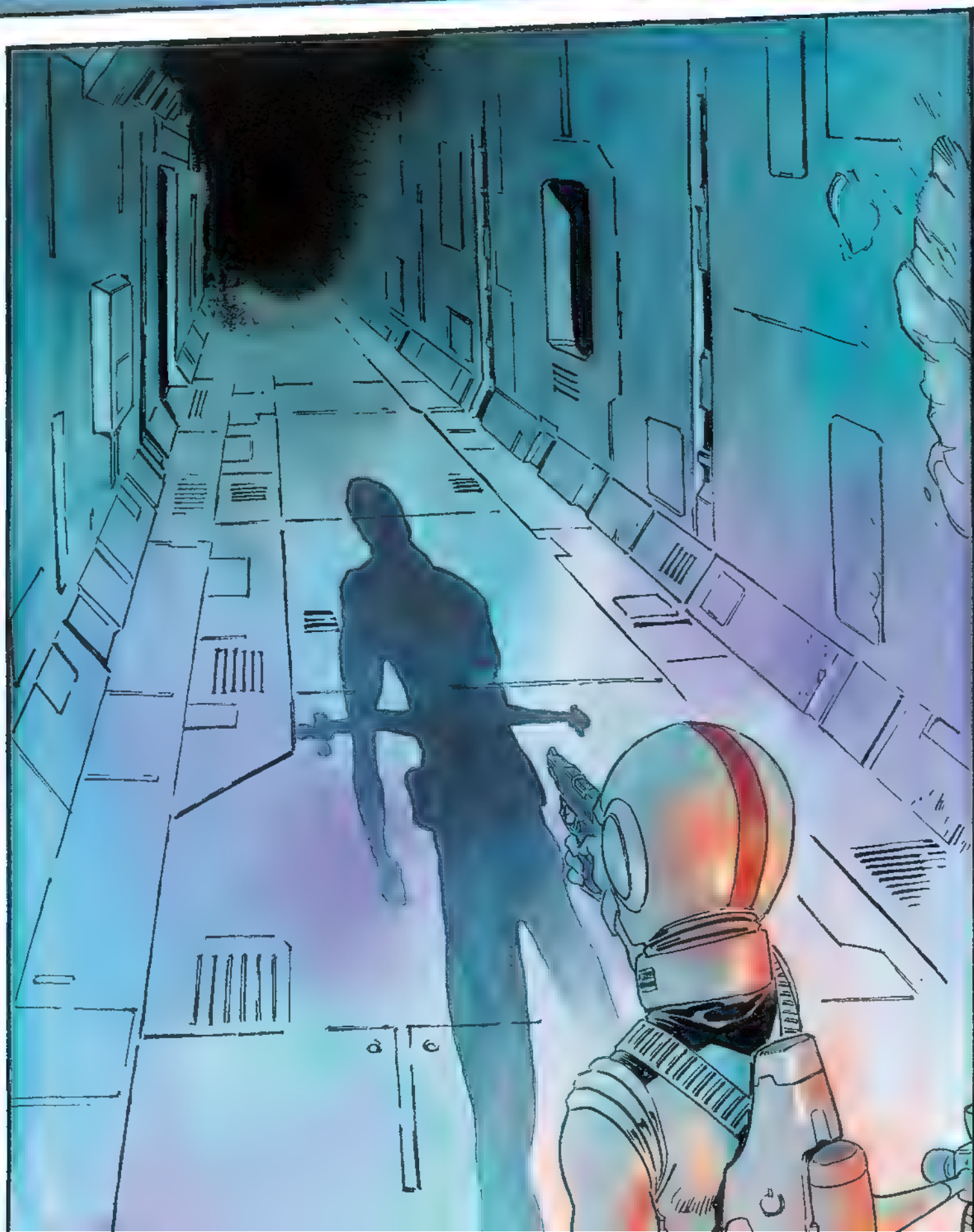
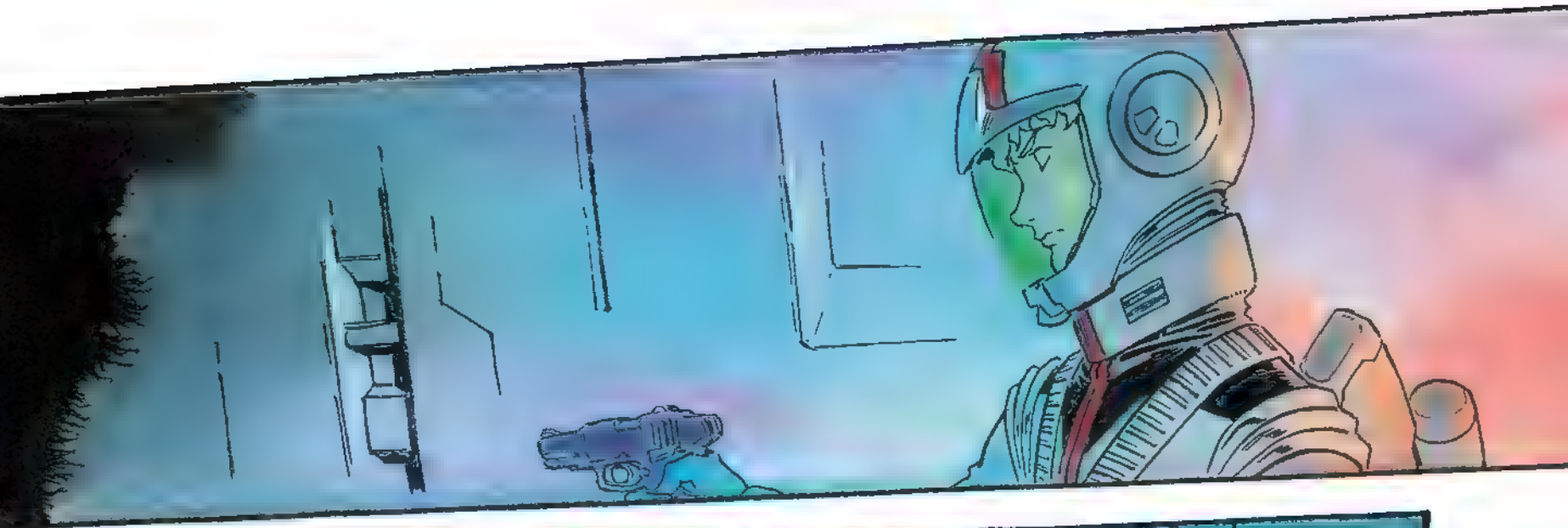
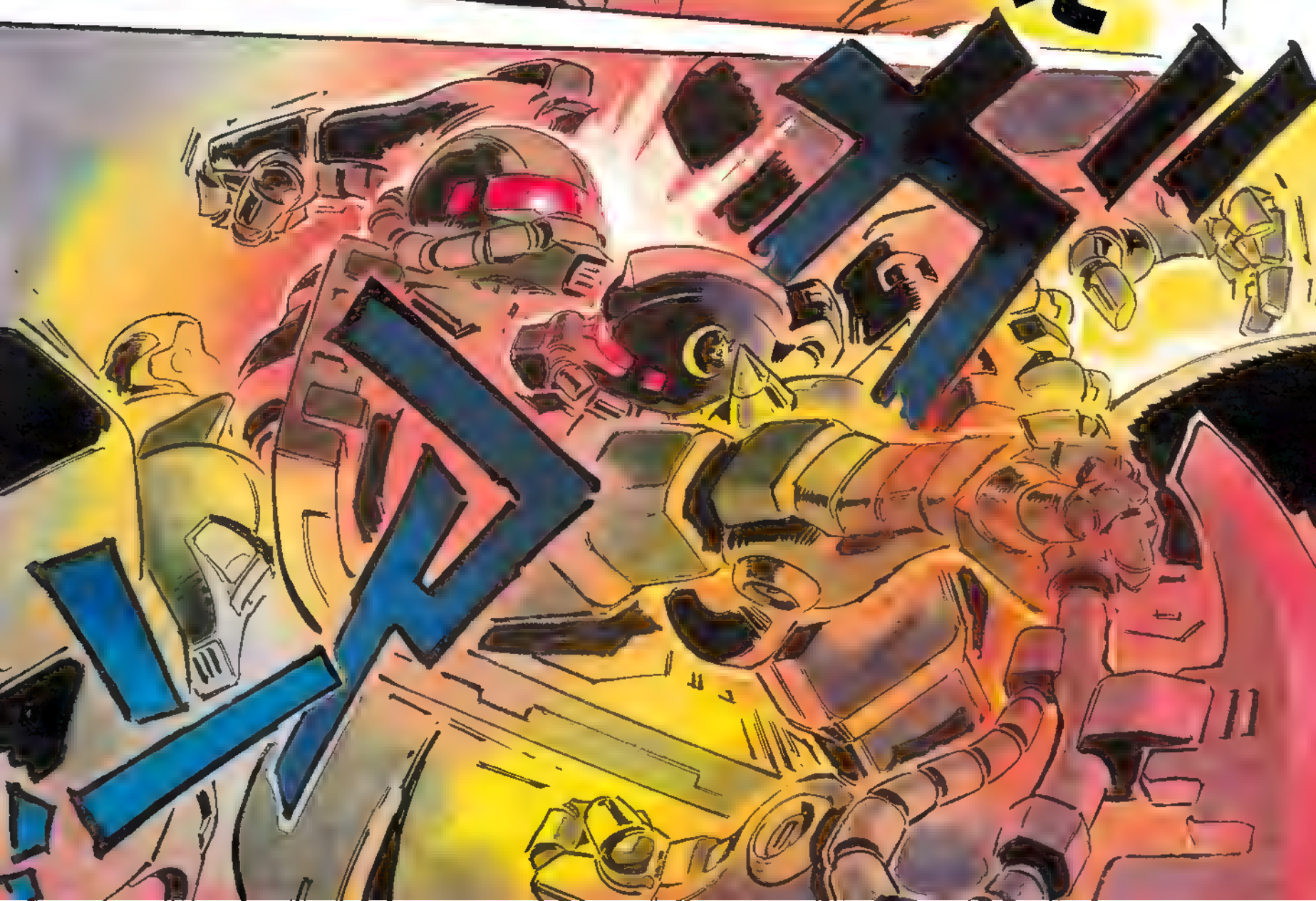
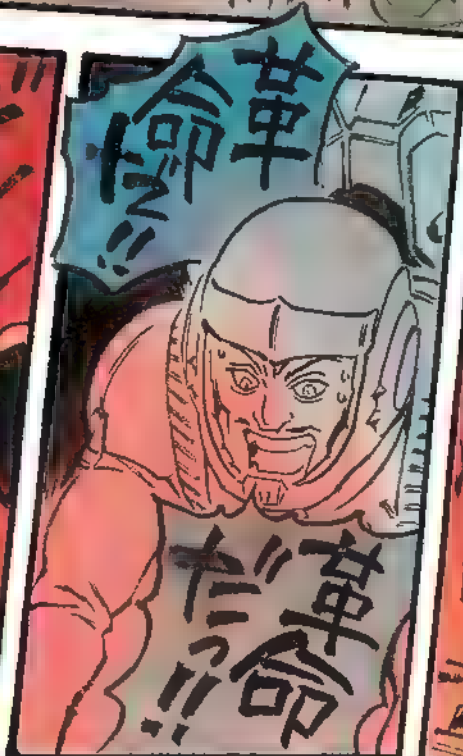
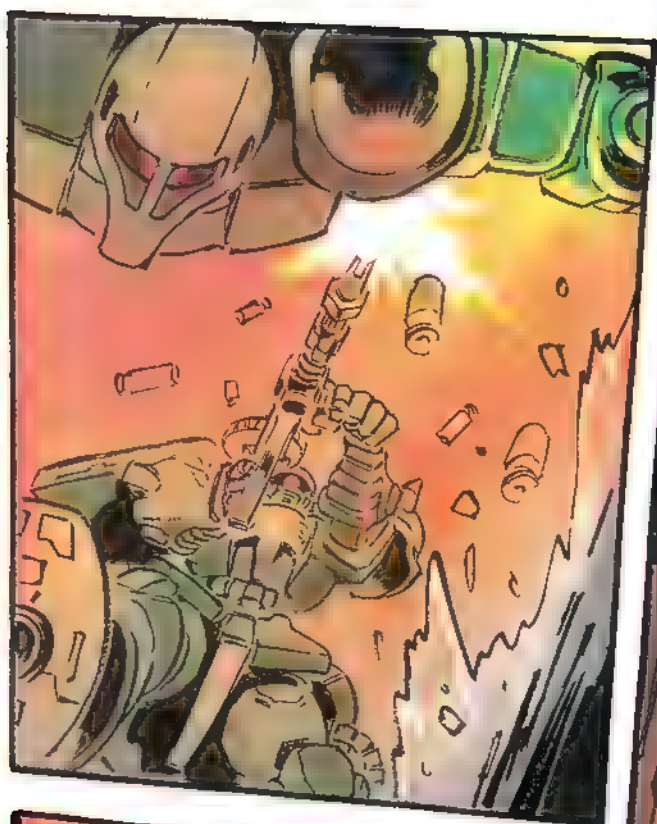
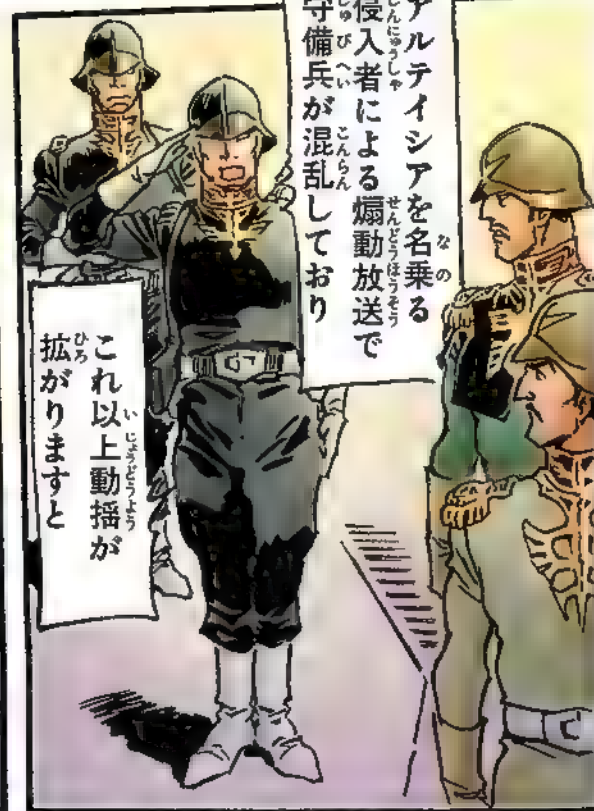
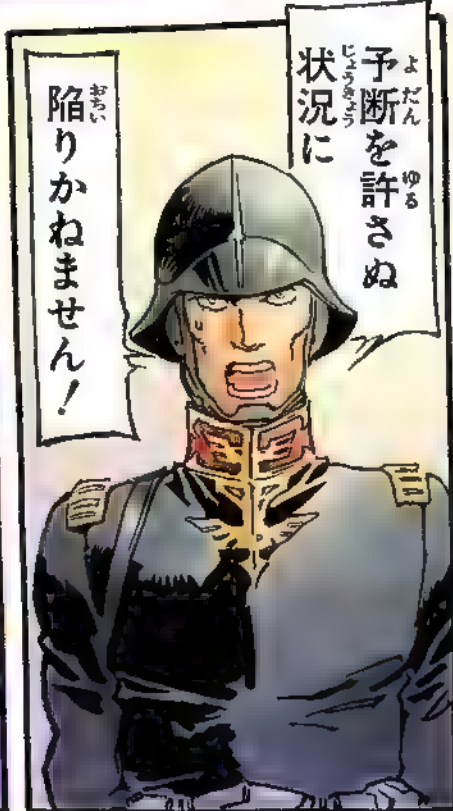
ジーク ジオン!!
革命だぞ!!
革命だっ!!
オレ〜総帥の
仇!!
アルティシア
万才!!!

総帥派も
モビルスーツで反撃してきています!

まもなくメイン通路確保の見込みですが損耗が増大中
指揮官から増援要請!

アルテイシアを名乗る侵入者による煽動放送で守備兵が混乱しており
これ以上動揺が拡がりますと

予断を許さぬ状況に
陥りかねません!

ふ……
アルテイシア…か

今思えば
シャアばかりに
少々
かまけすぎた

アルテイシアが
連邦軍に紛れて
いることは把握していたが

ここまでやるとは……
さすがに
ダイクンの
遺児

撤収する!

迅速かつ
果敢に
だ!!

ただちに
行動に
かかれ

はっ!

ここの処理もぬかるな！
心得ております
閣下

キシリア様！
お待ちを!!

私は永くこの要塞を任されてきました
撤退は忍び難くあります

お言葉ですが
地の利を生かしここを死守して

立派な忠誠心だ!
同じ志を持つ者は同じようにここで死ぬがいい

望み通りにな
私についてくる必要はない

ドドドドド
タタタタタタ

そのホールの先が司令室ですが……

妙……ですな
まったく応射がない……

もしかして
既に……

やはり
撤収した後か……

ジ……
ザザ…
ズ……

ブブブ…
ヴウゥン

ヴヴン…
ヴゥン…

モニターはほとんど全部生きているのね……

ザ
ザ
ザ
ザ

ザ
ザ
ザザ
ザァァ…
要塞内の監視映像ですナ
ザァァァ…
ザザ…
かなりのカメラがもう死んでいる……
ザァァ…
ザ
ザ
それにしても奴等
相当慌てて撤退したとみえる

ザザ
ザザ
ザァァ
誰か!
誰か来て!!
この映像は何処?!
カメラはどうやって操作するの!?
これは…総帥閣下の居室に向かう通路ですな
もっと拡大して
早くっ!
はい
ジジジ…
ええと

大尉殿！
放送設備も生きています！
そうかっ
ではただちに放送開始だ
"キシリア一派を倒せ"
"ドロスに向かうキシリアを阻止せよ"
了解！

馬鹿なっ!! ありうるかっ
あのキシリアがこんな迂闊な!
しまったあああ
罠だ
アルテイシア様!!
逃げ!!

ゴオオオ…
アルティシア様…
面目ない
完全な油断です

ゴバッ
古兵あがりの私と
したことが
お羞ずかしい……
どうか…
……
ご無事で……
ビチャ

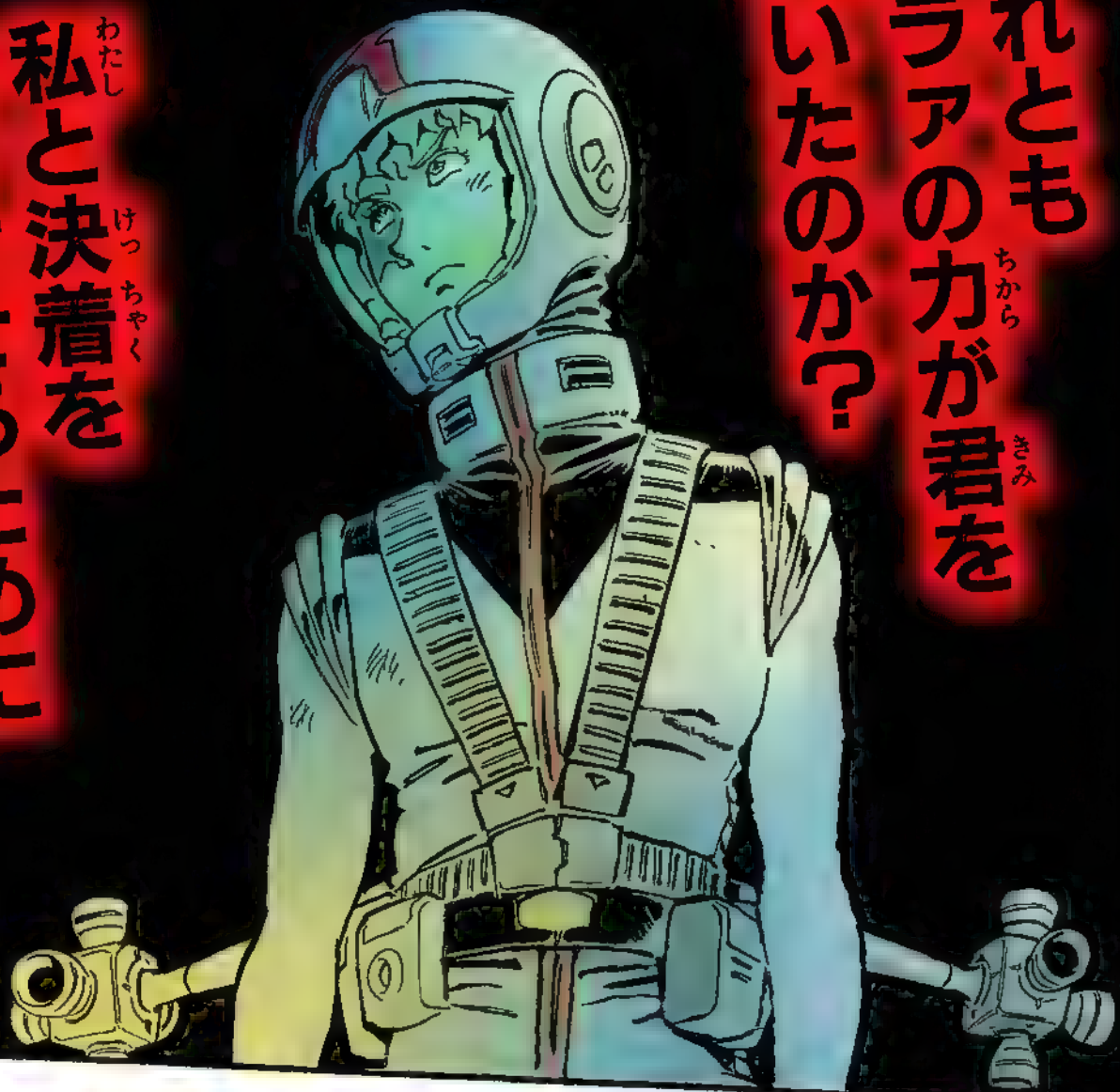
ドドド
ドドド
マッチョ中尉殿
やめてください
うおおおおおお
ありがとう
大尉……
あなたのおかげで……

カァァァ

ドオオオオン

何故だ

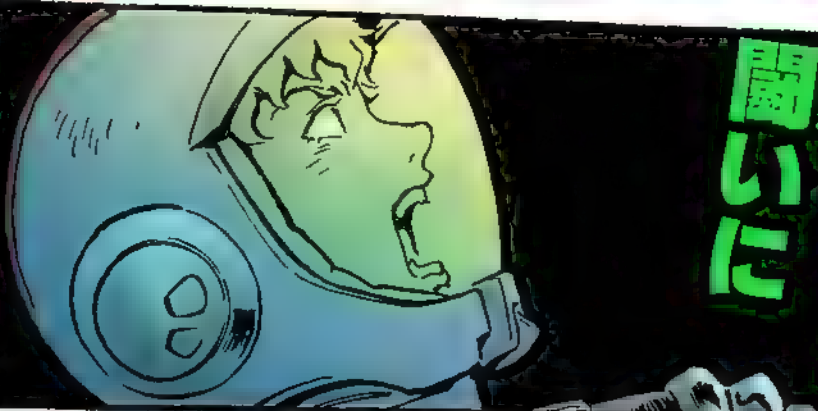
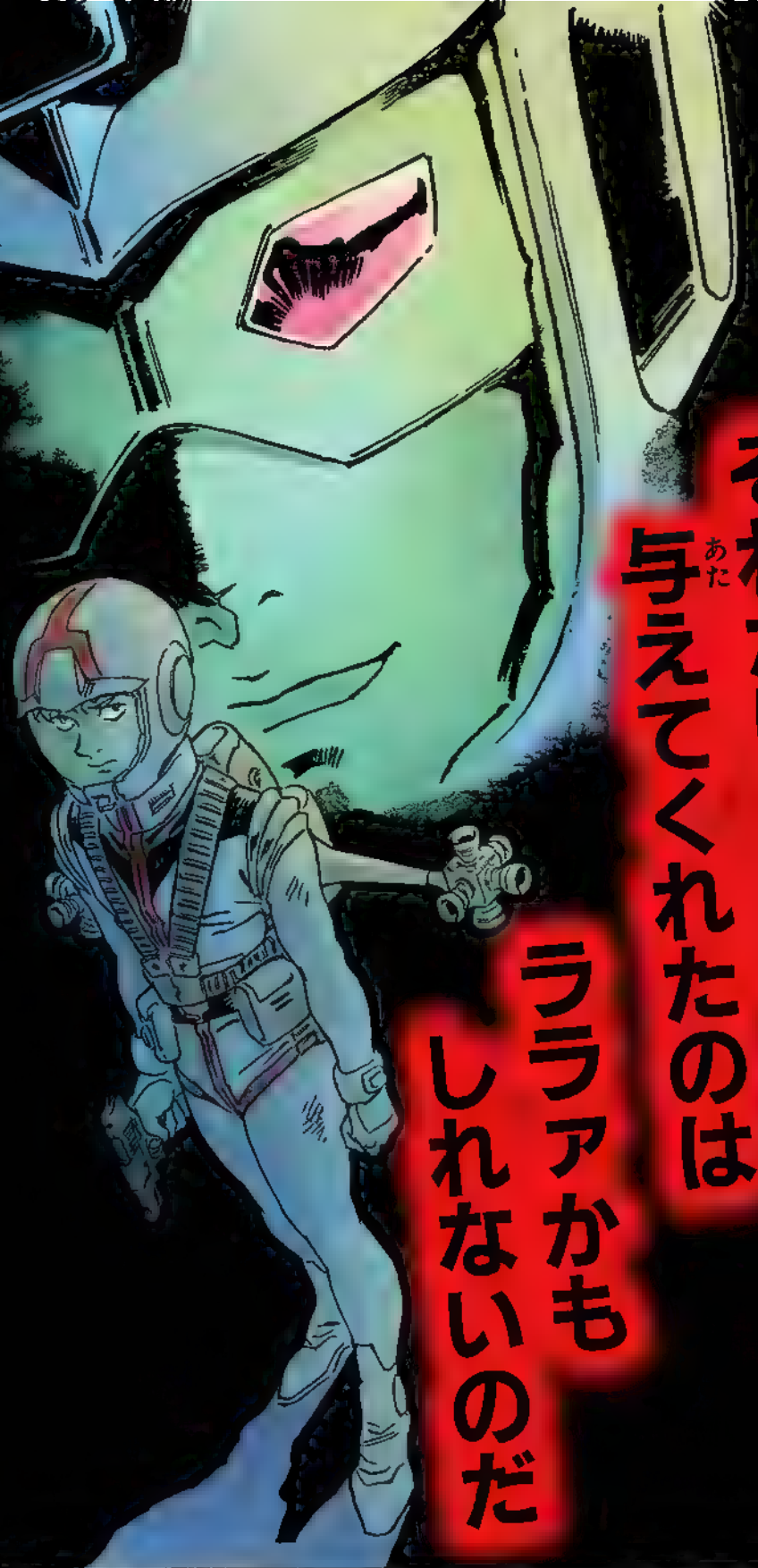
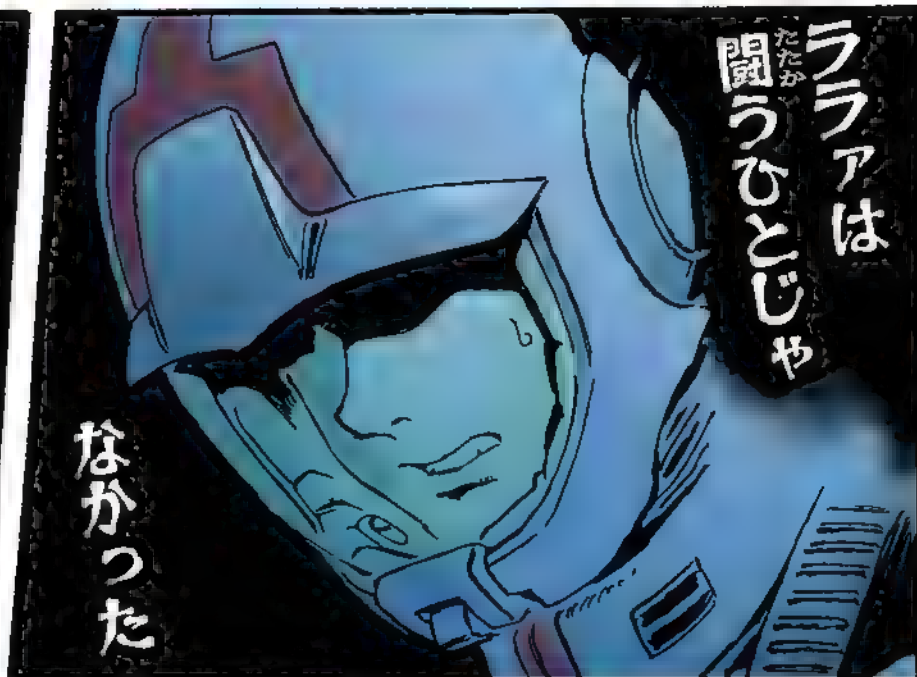
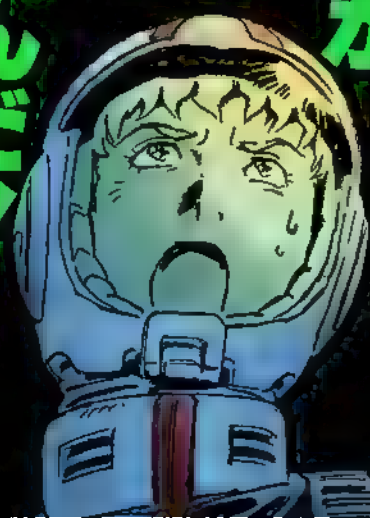
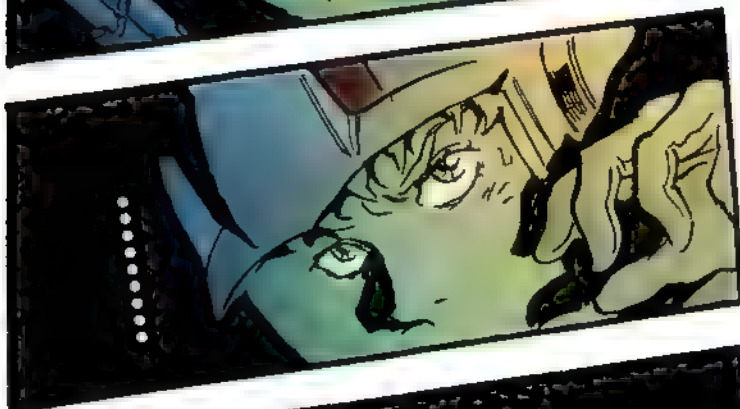
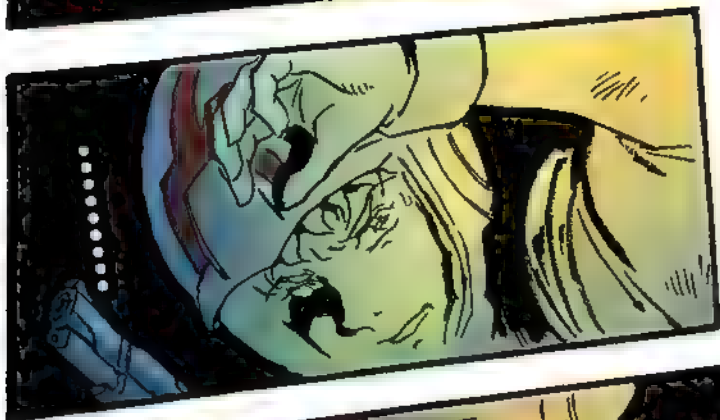
オドド
あのままあそこから逃れれば……
生き延びられたかもしれないのに

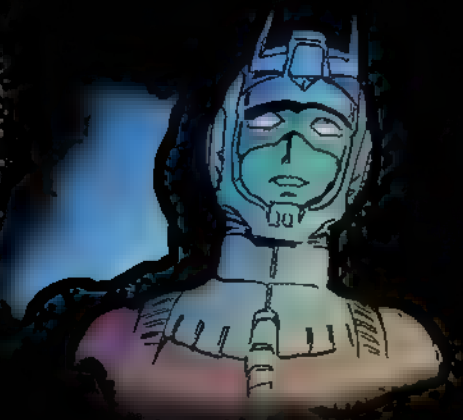
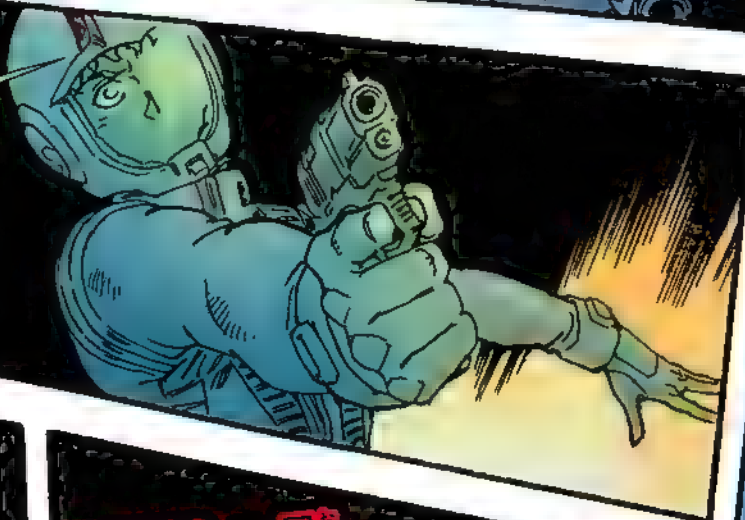
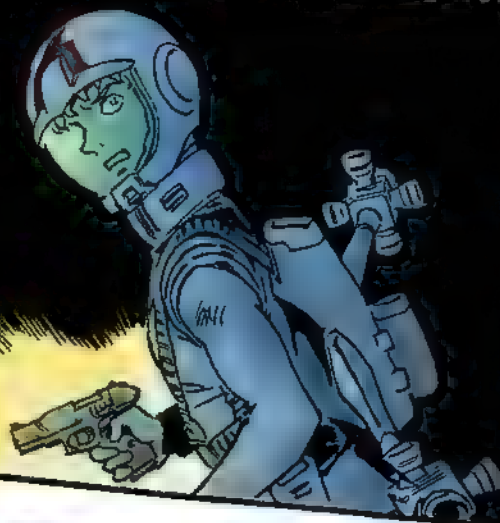
それとも
ララァの力が君を
導いたのか？

私と決着を
つけさせるために

今のその
物言いは
君らしく
ないな……

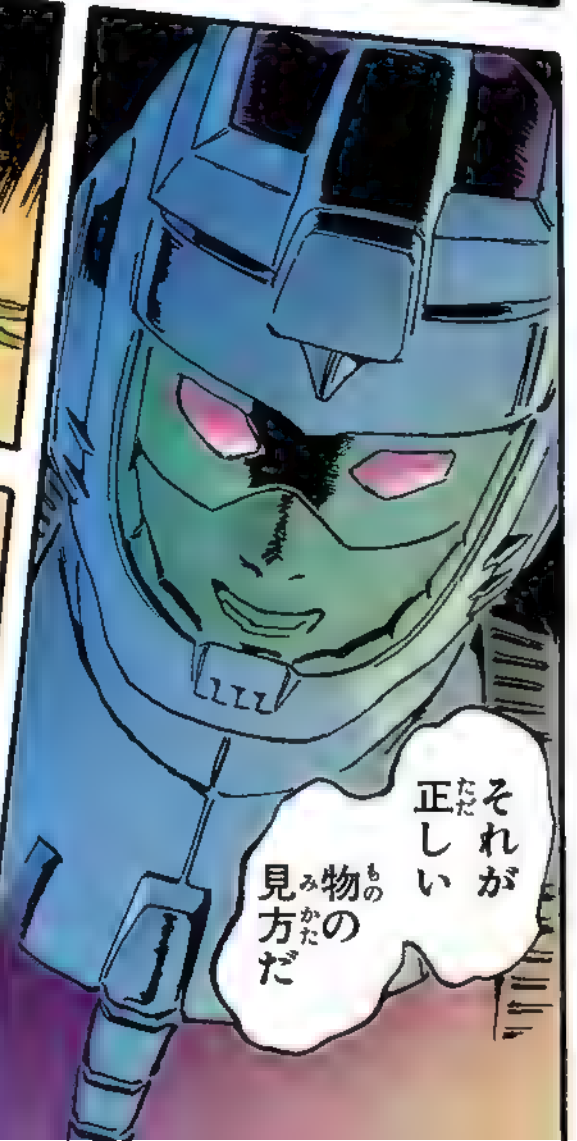
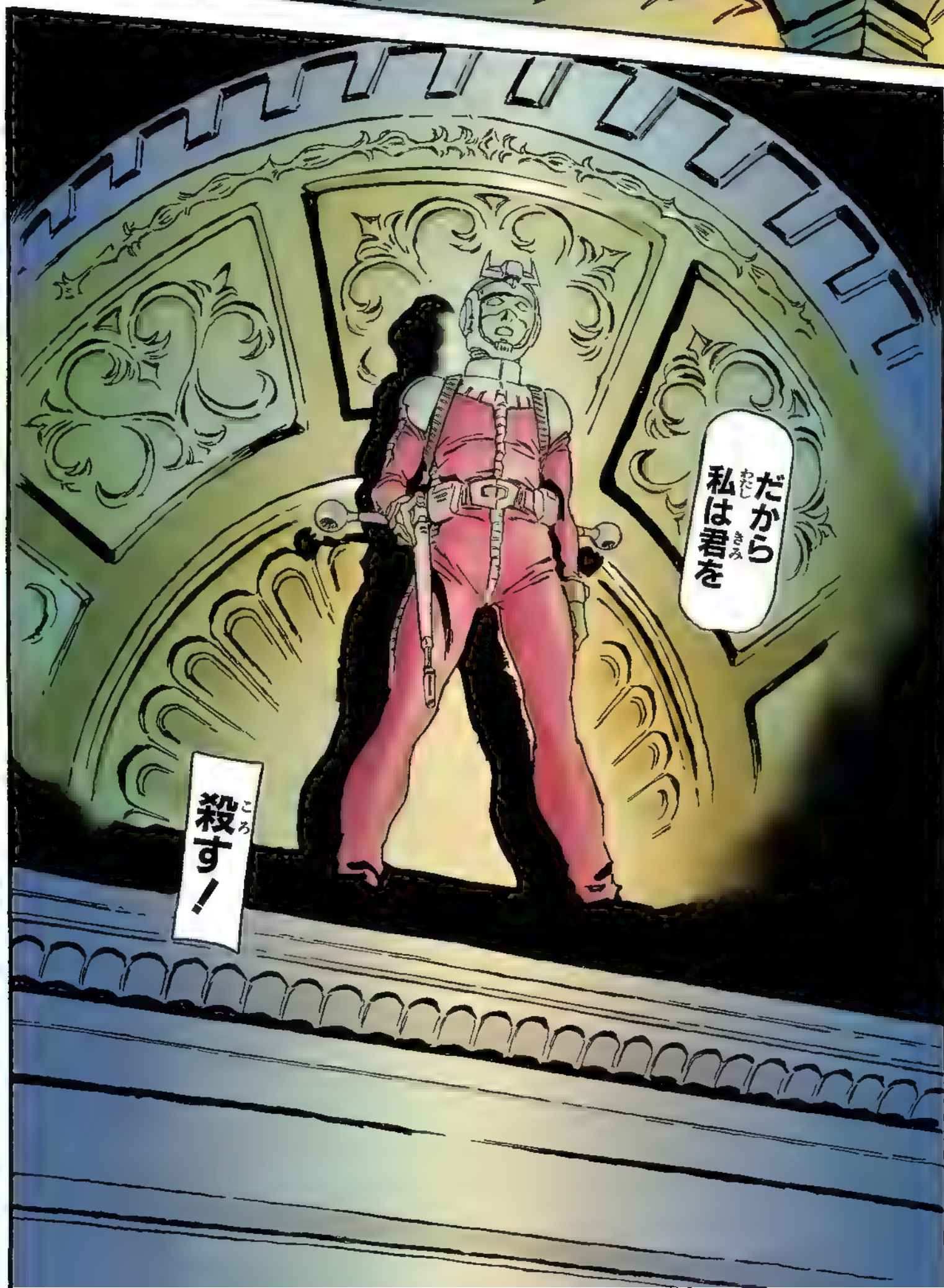
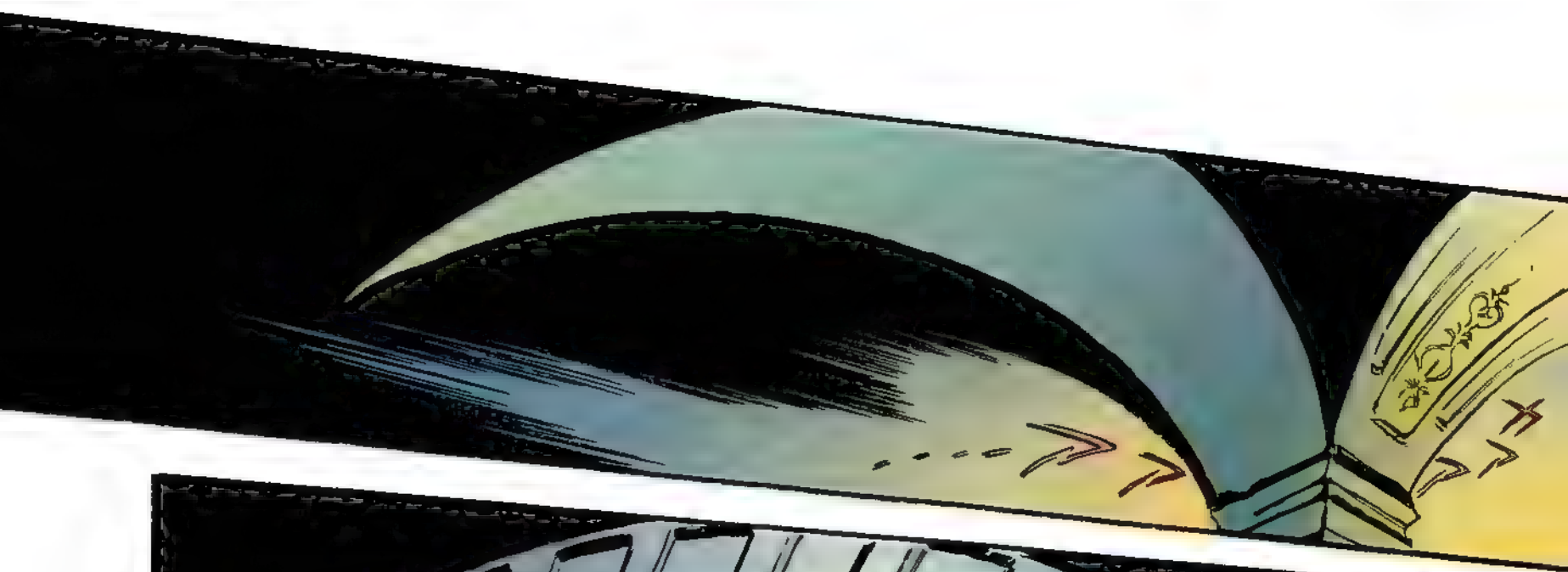
それだけの力を
与えてくれたのは
ララァかも
しれないのだ

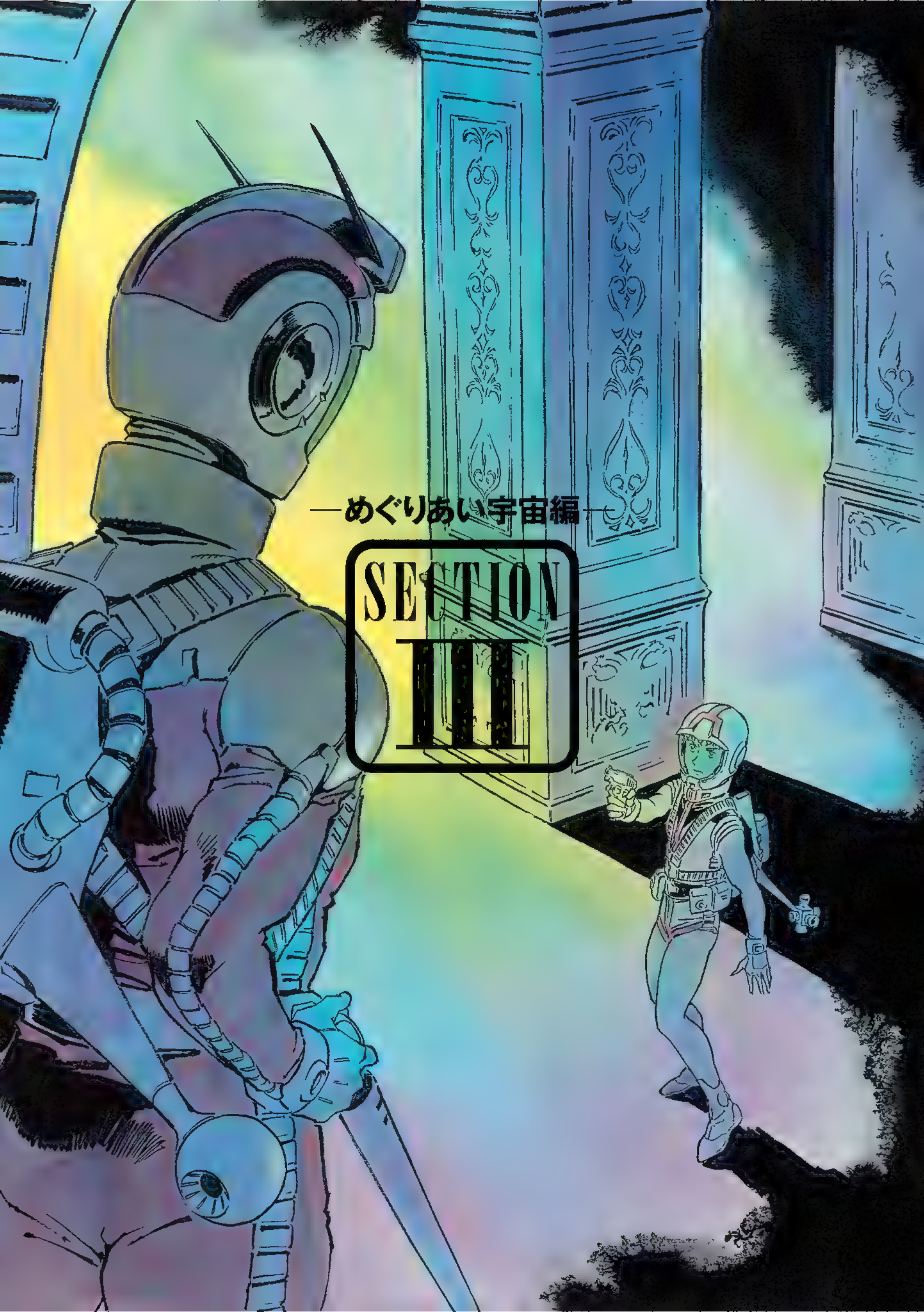
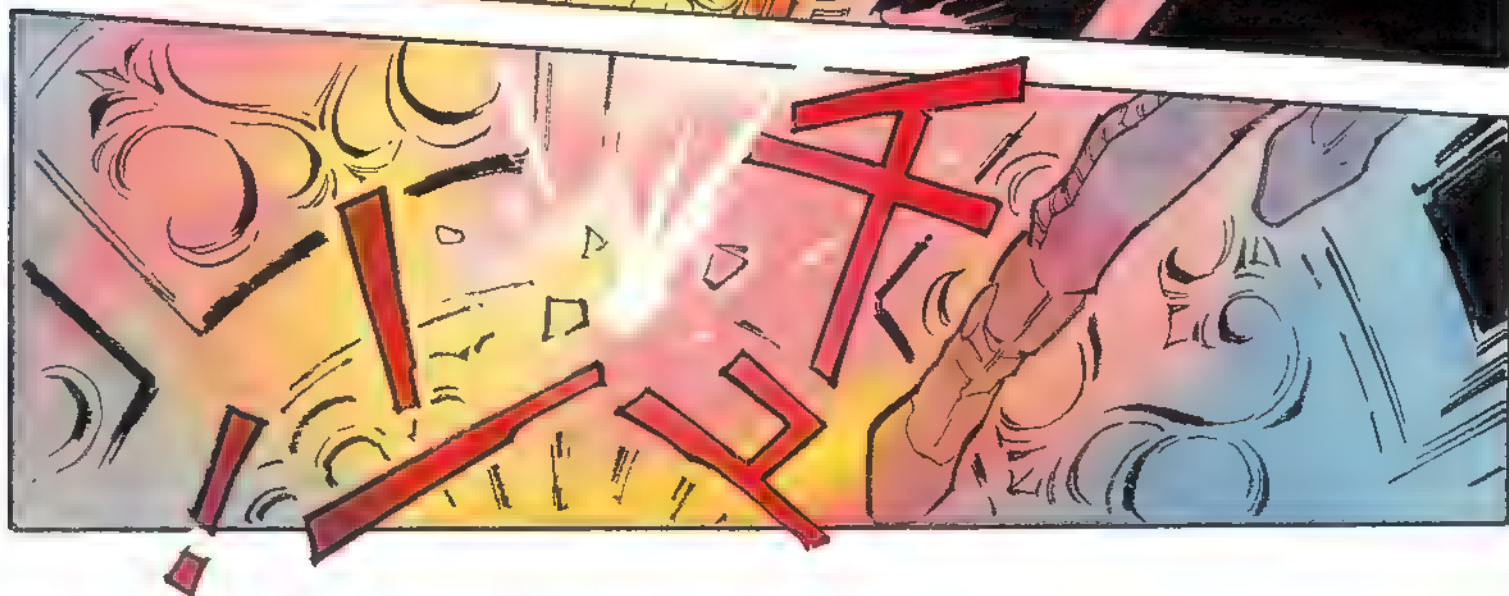
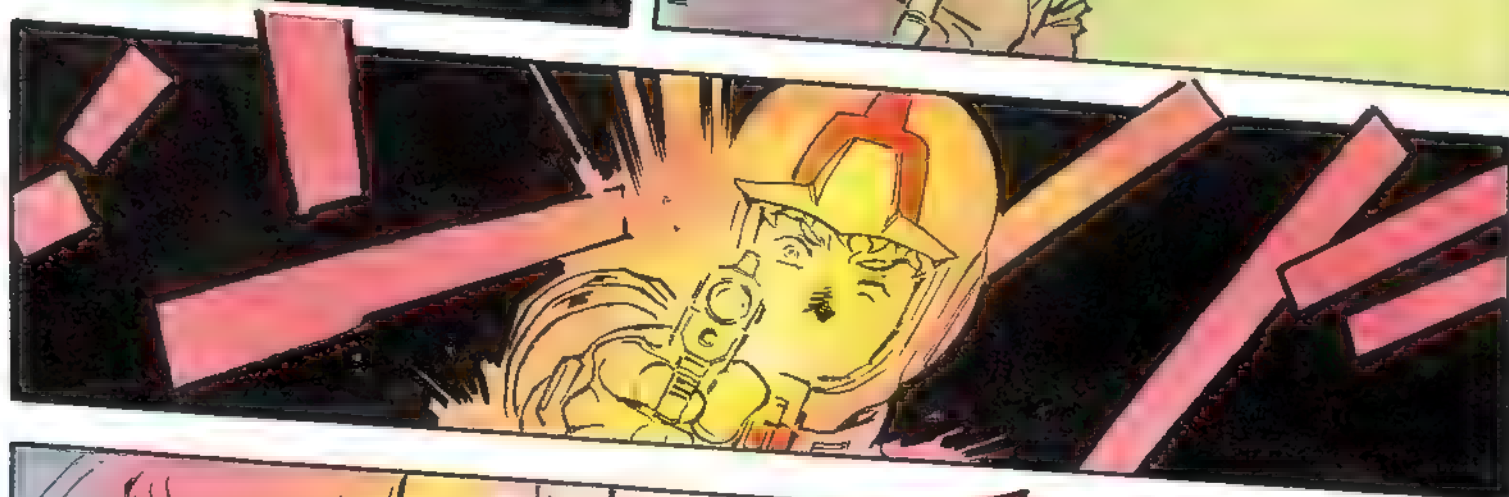
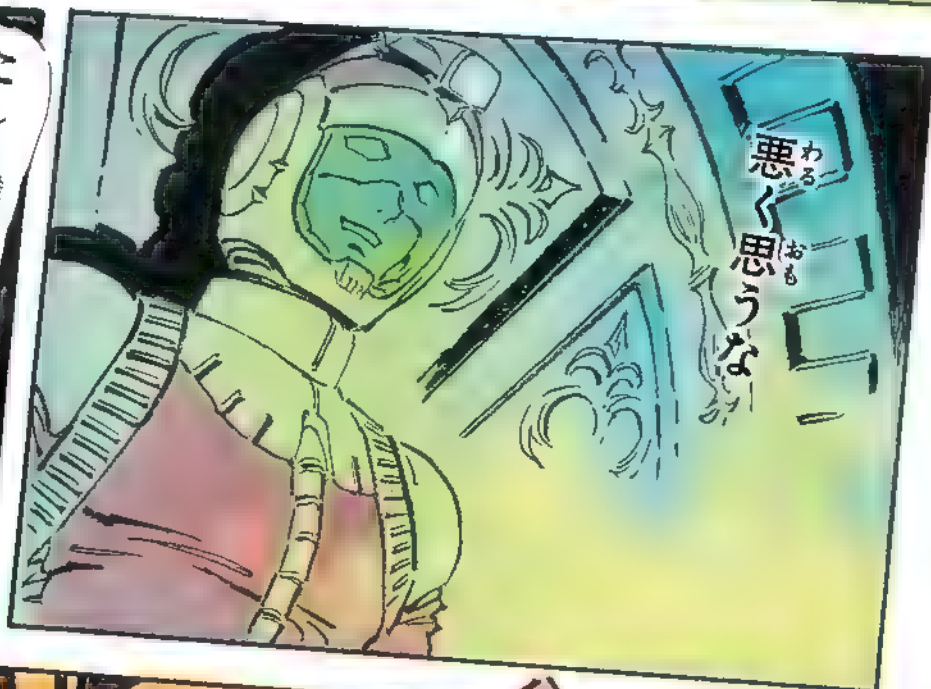
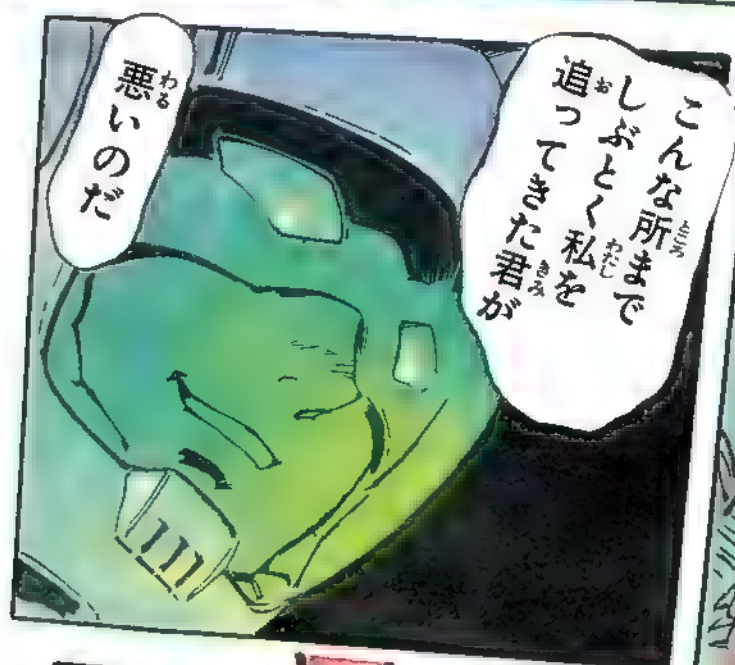
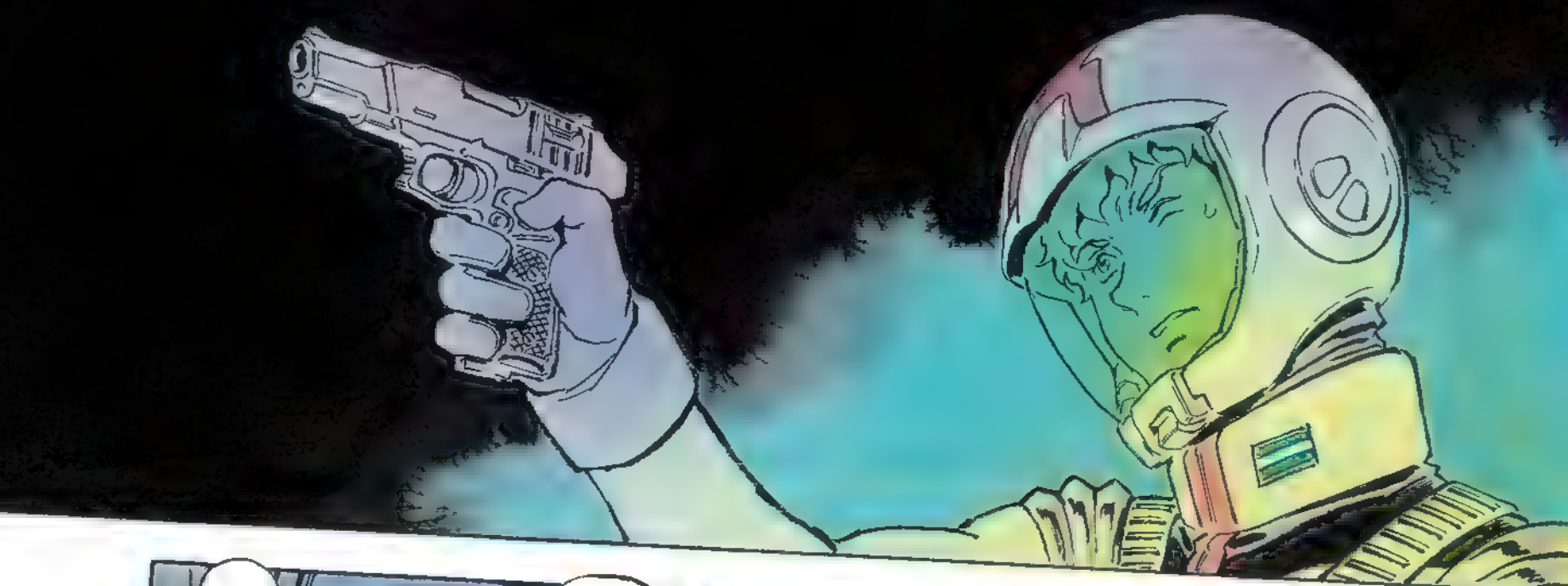
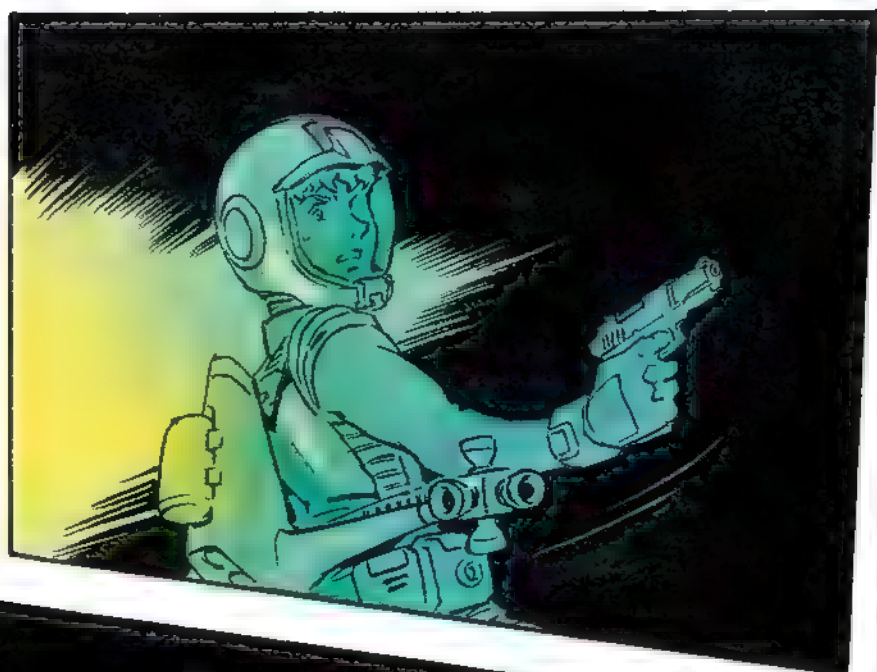
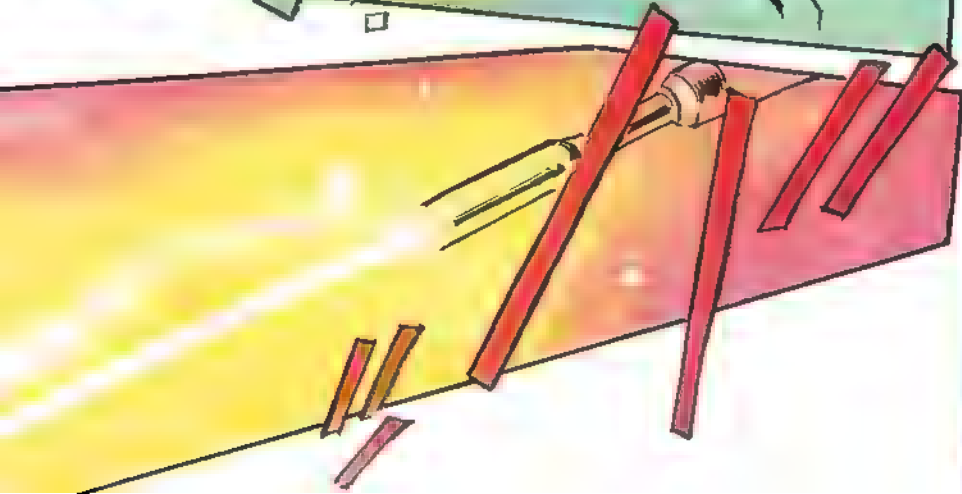
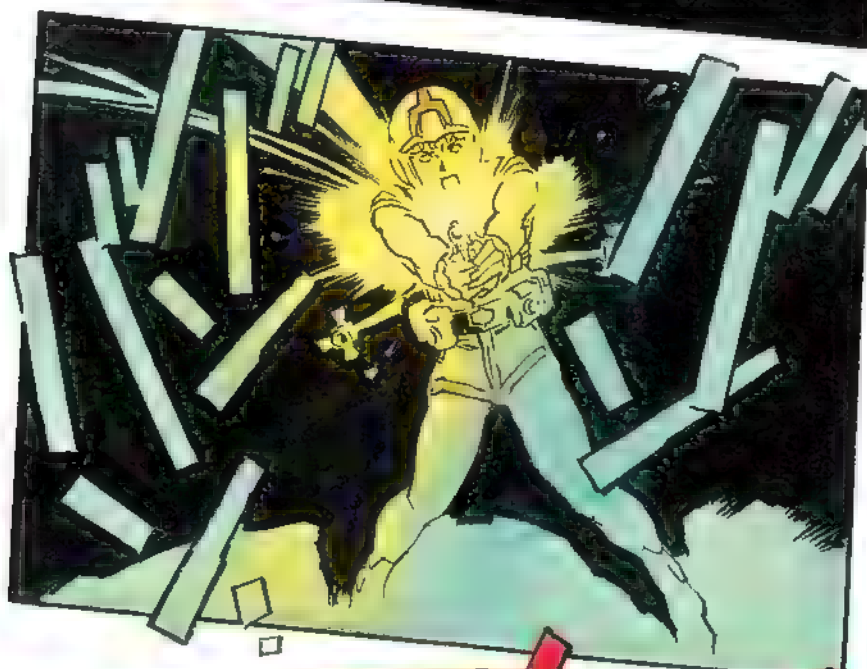
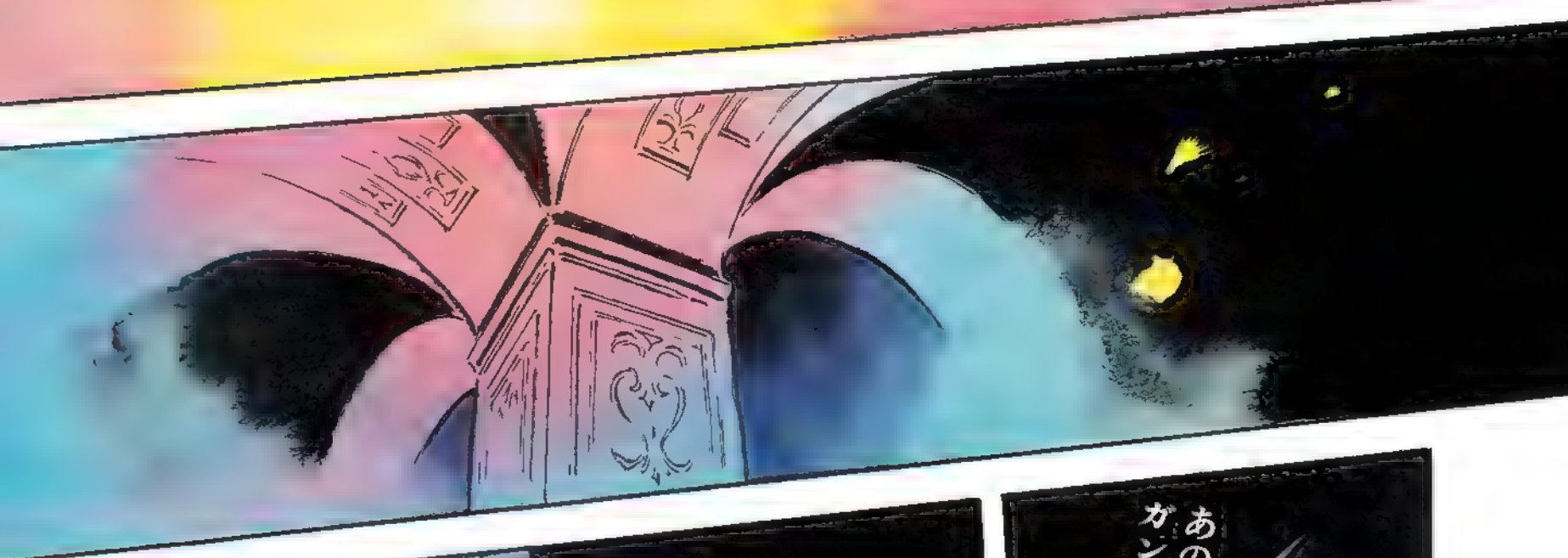
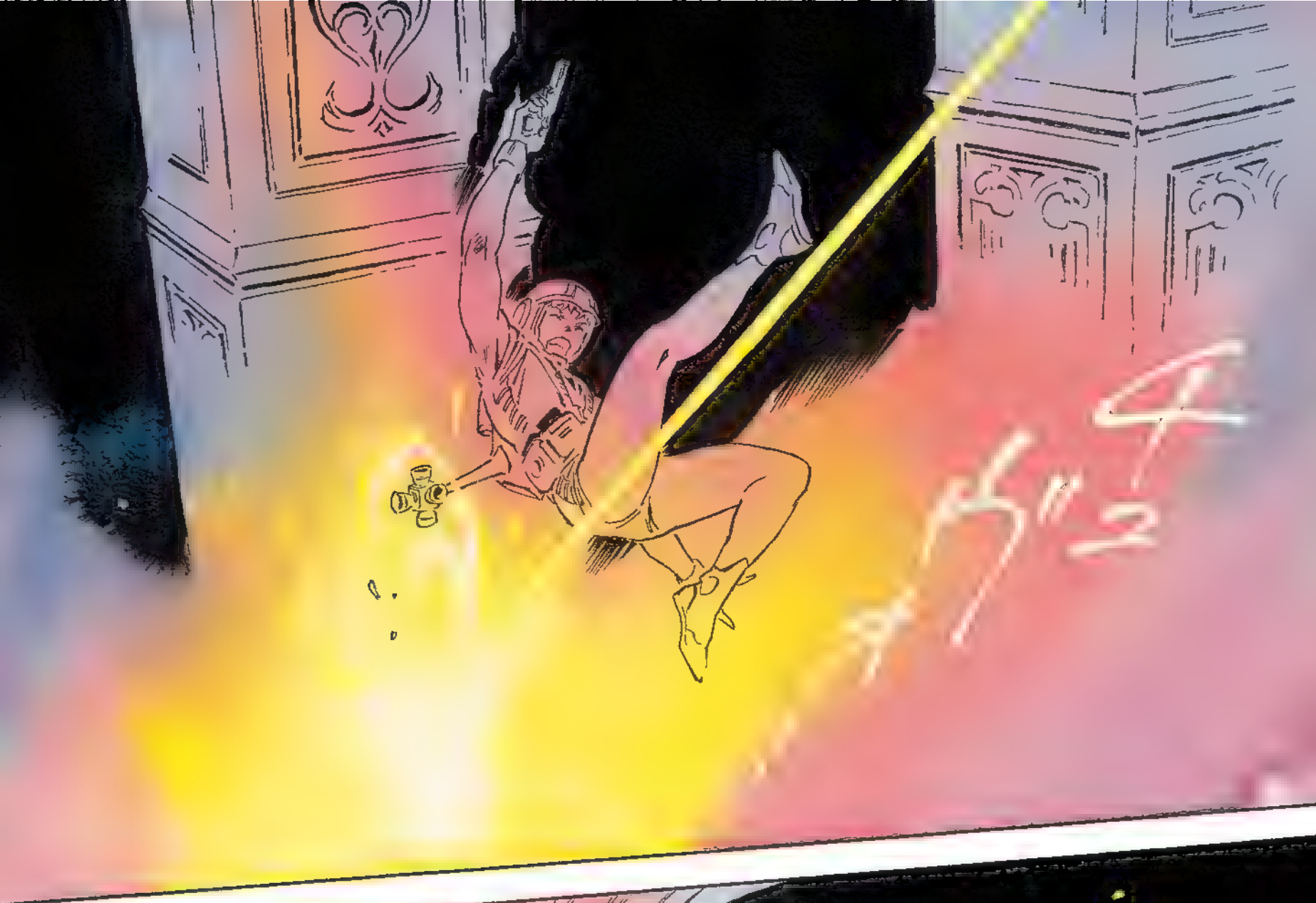
ありがたく
思うのだな!

オオオ
闘いの場にララァを連れ出したことが許せんというのなら……
それは間違いだな
アムロ君……
ドドド

戦争がなければ
ララァのニュータイプへの目覚めもなかった

なに?!

それが正しい物の見方だ

同じニュータイプとして覚醒しながら君は
なにも判っていない

君は危険な人間だ!

だから私は君を
殺す！

—めぐりあい宇宙編—
SECTION
III

悪く思うな
こんな所までしぶとく私を追ってきた君が
悪いのだ

ダメだ

そんなウデではとても……

あのガンダムのパイロットとは思えん
所詮は！モビルスーツあっての〝最強の兵〟よ

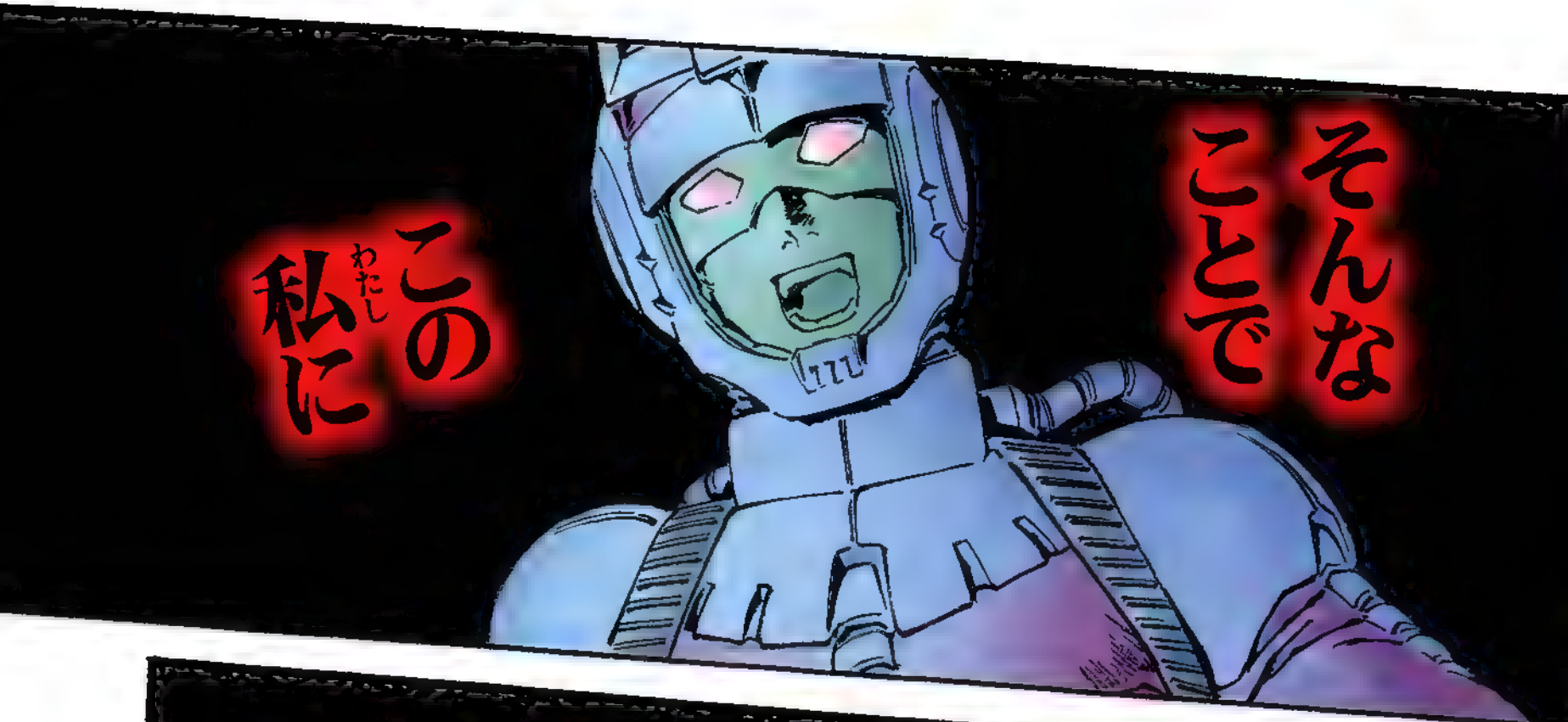
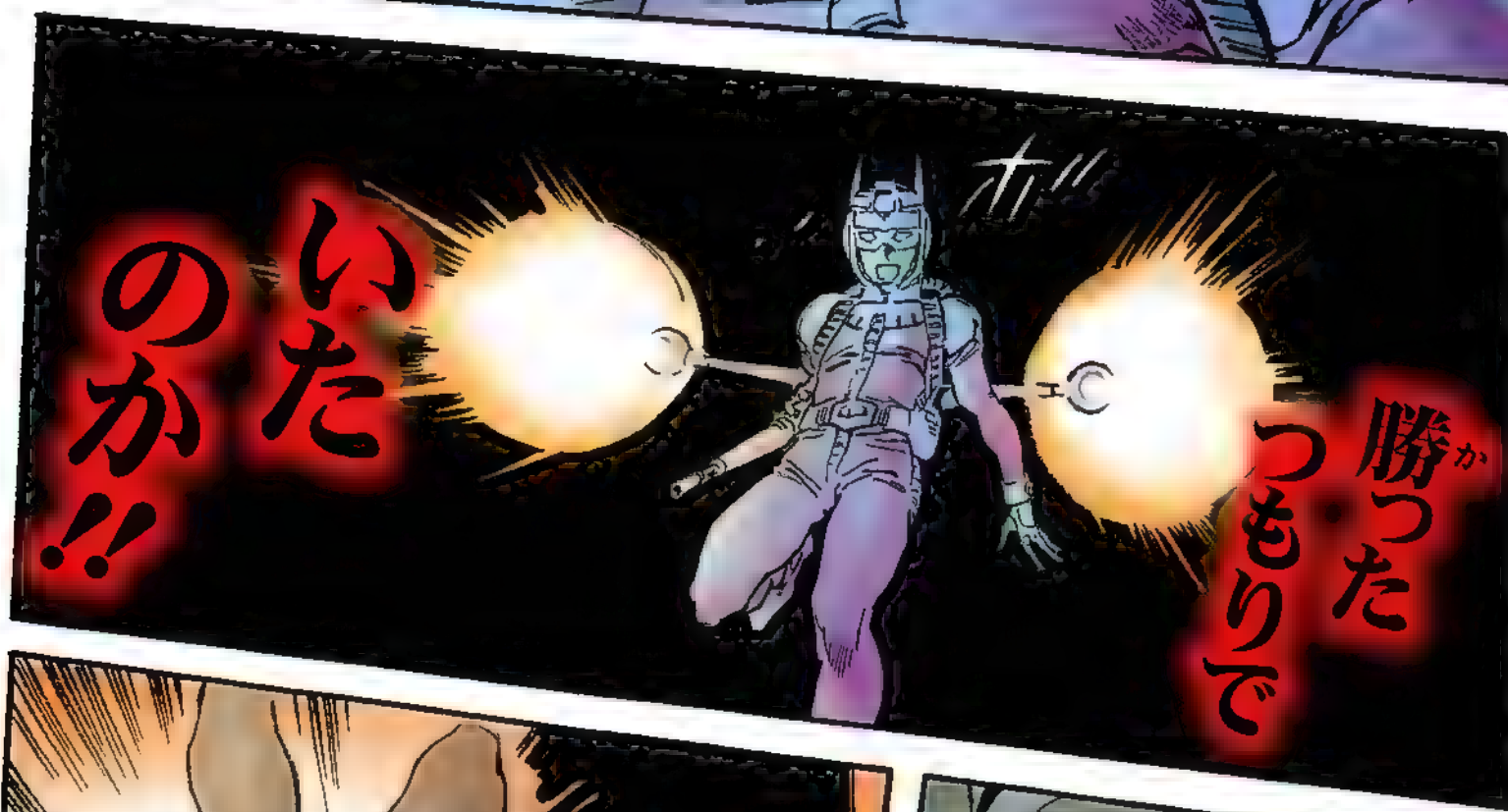
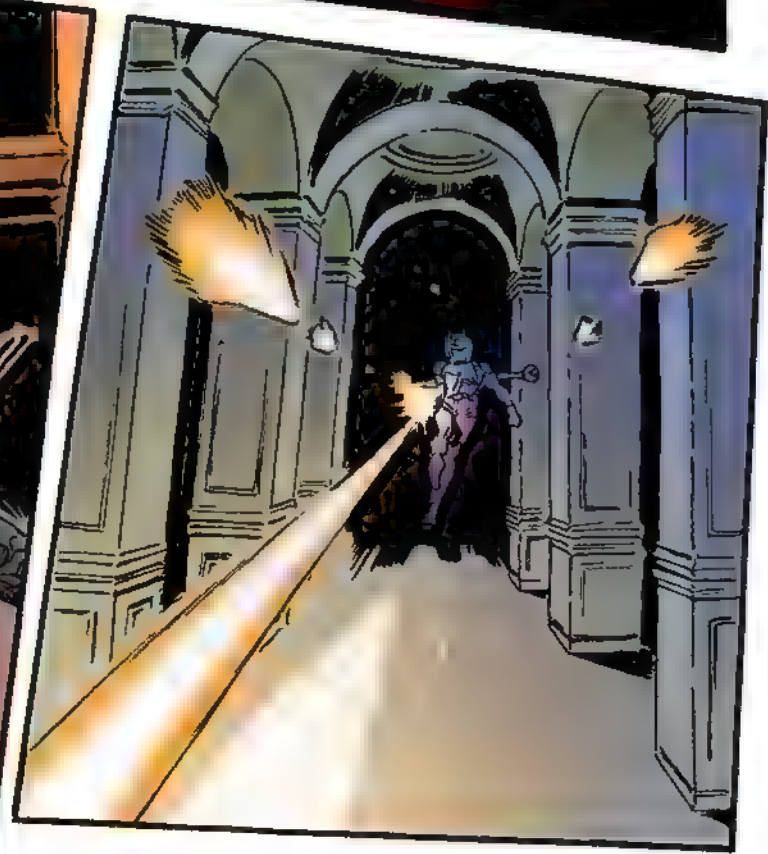
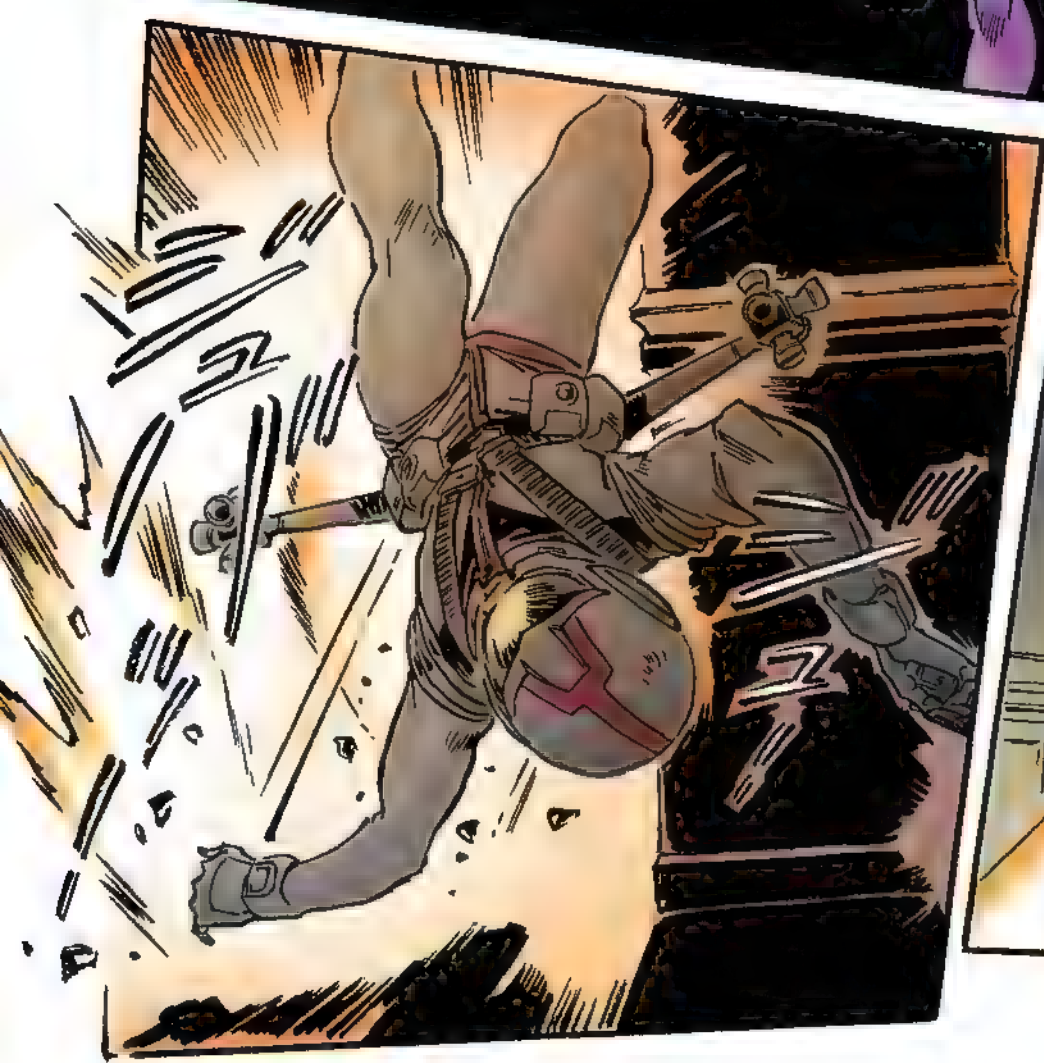
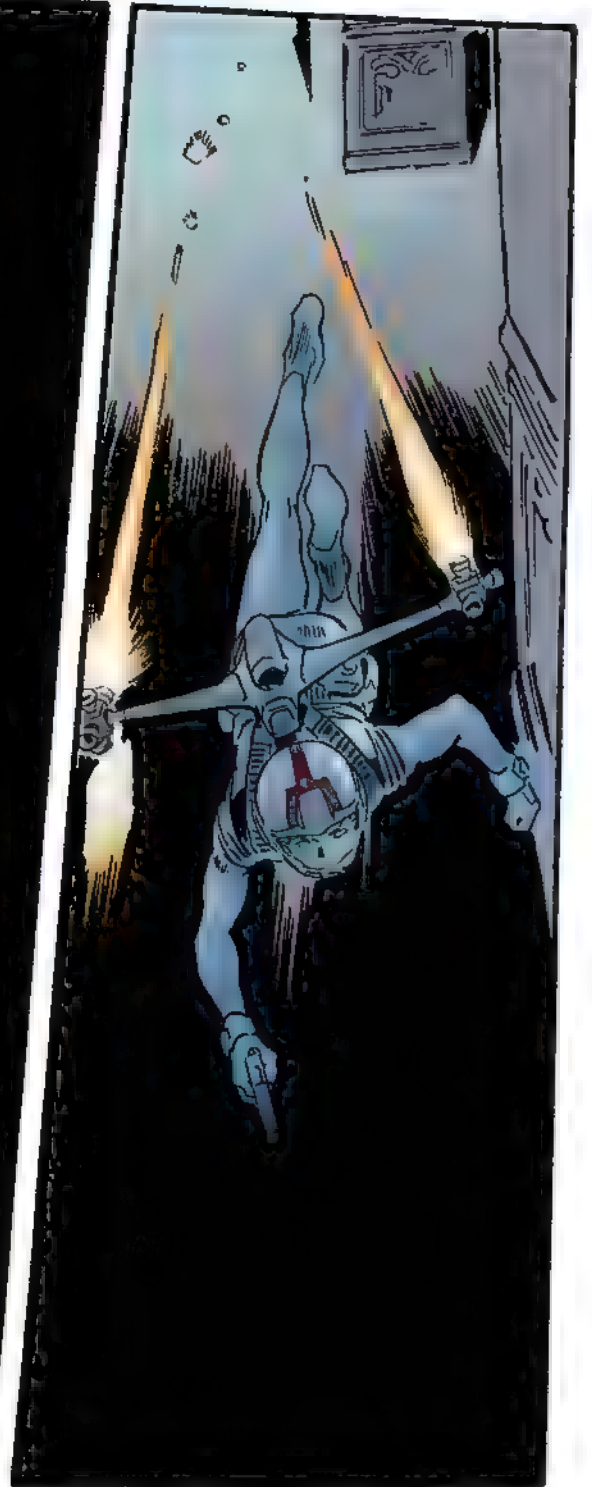
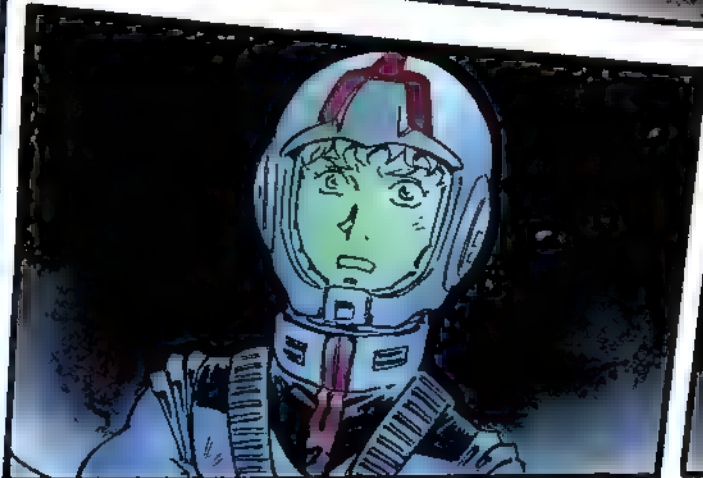
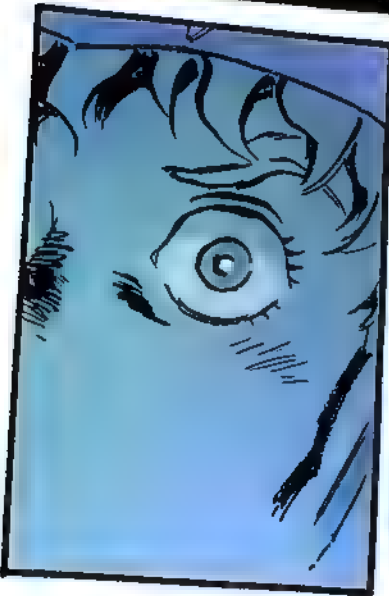
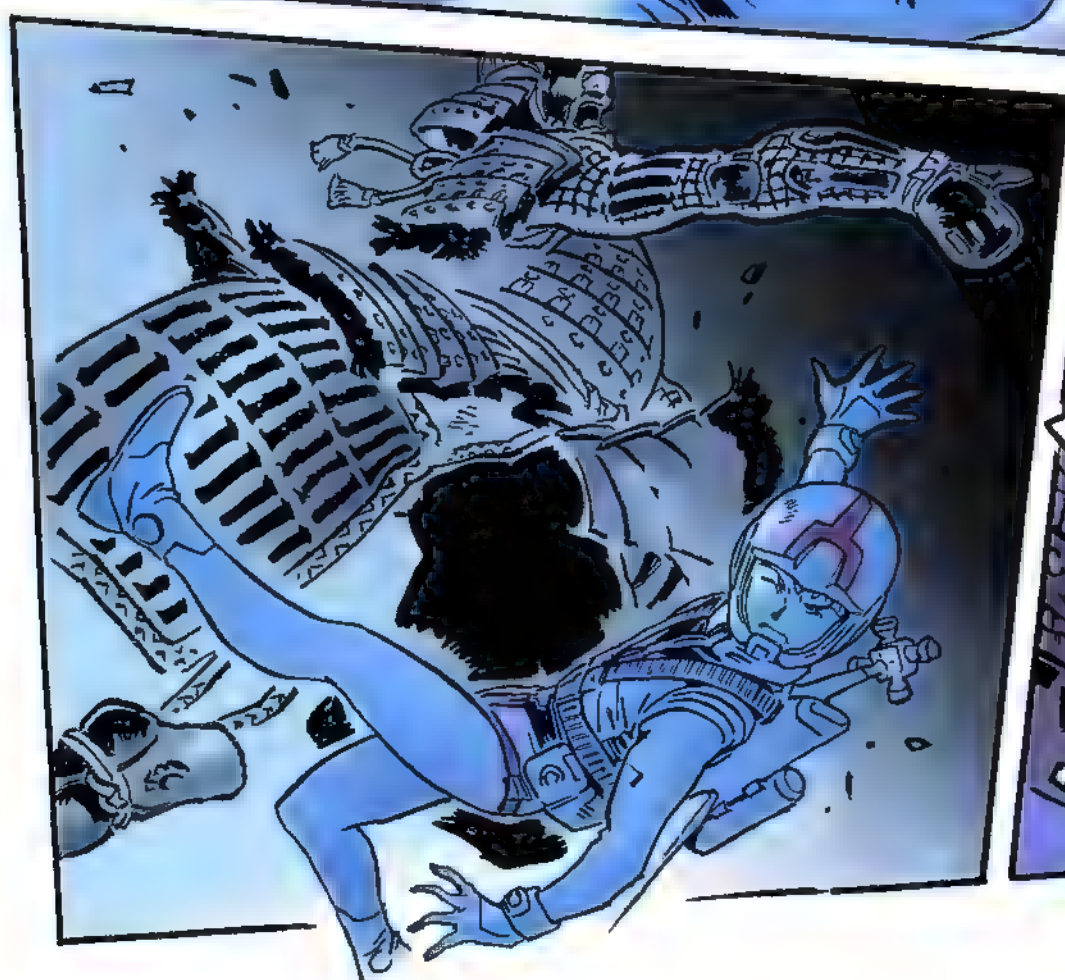
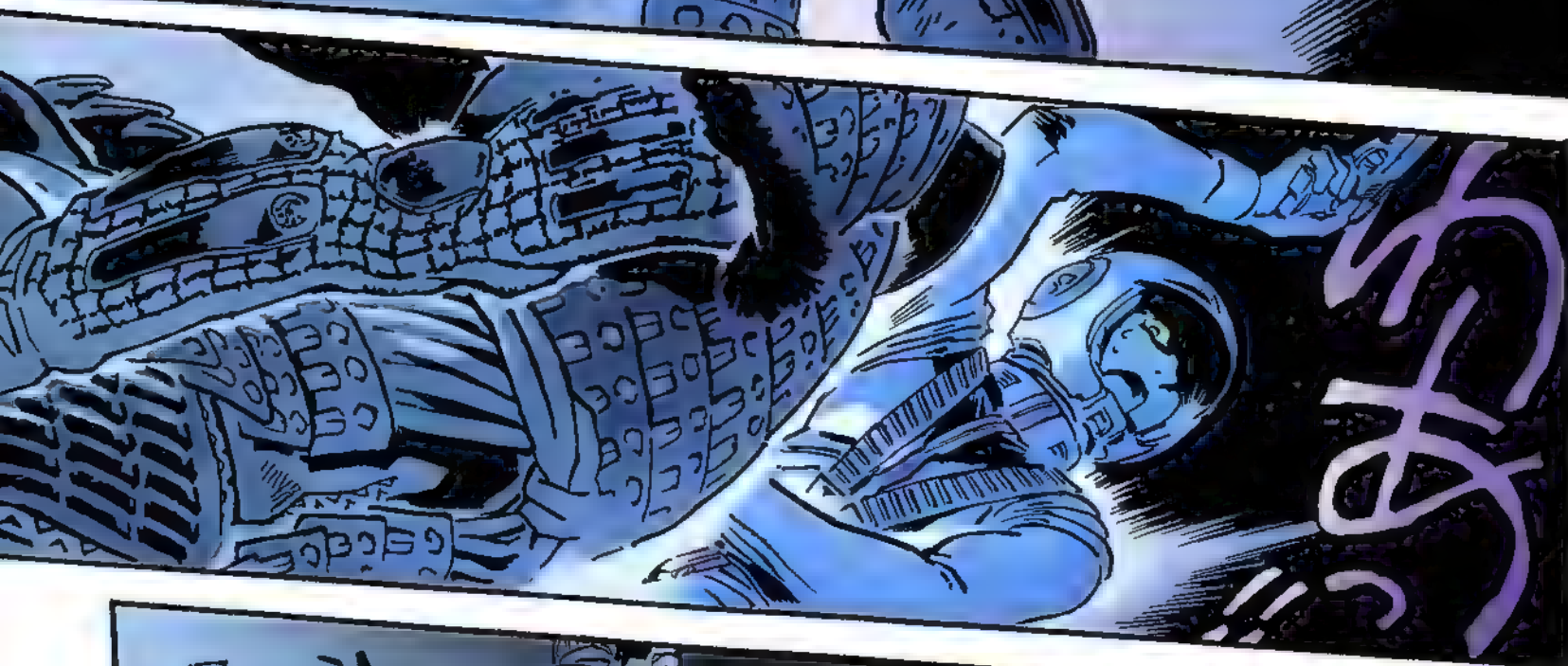
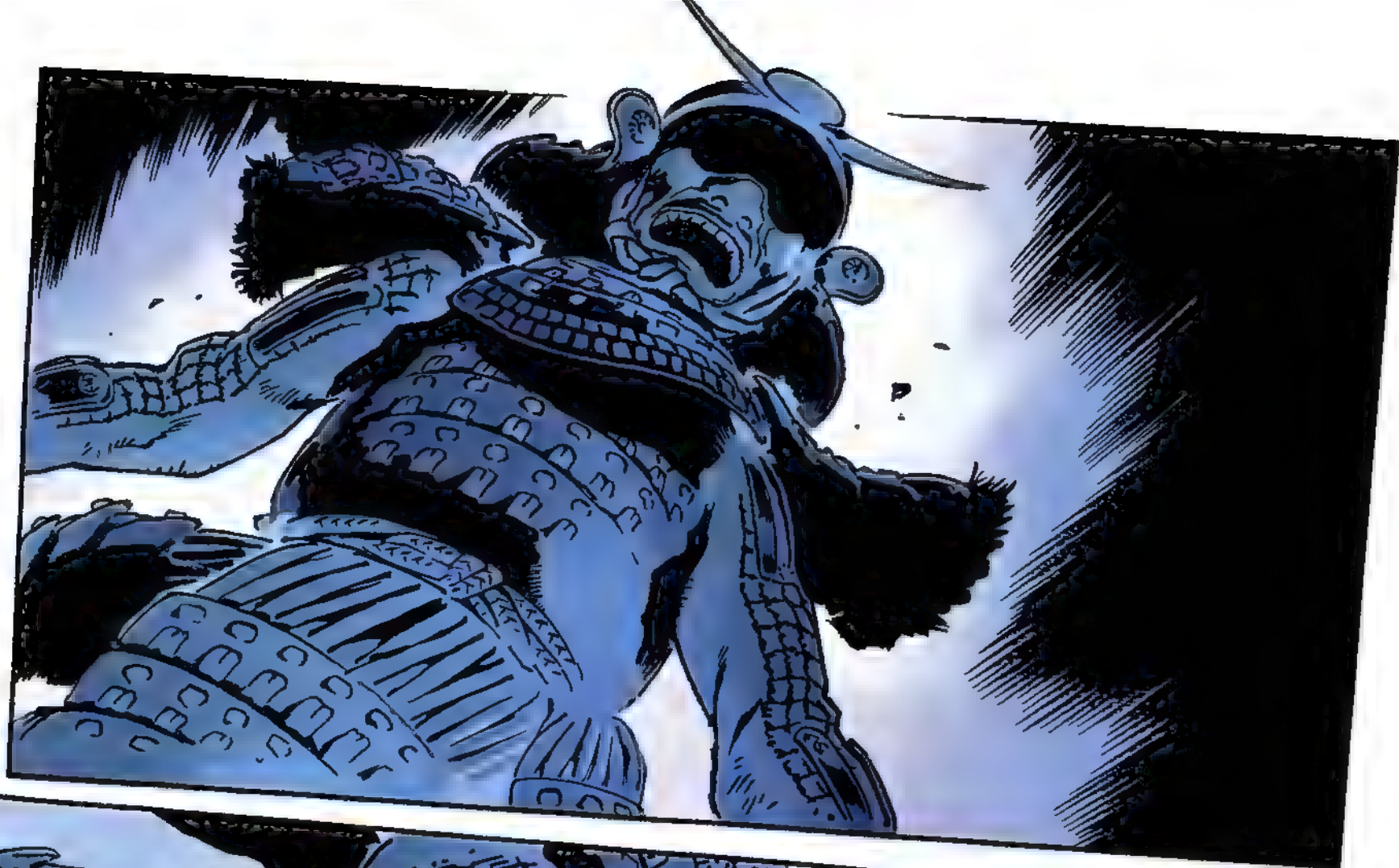
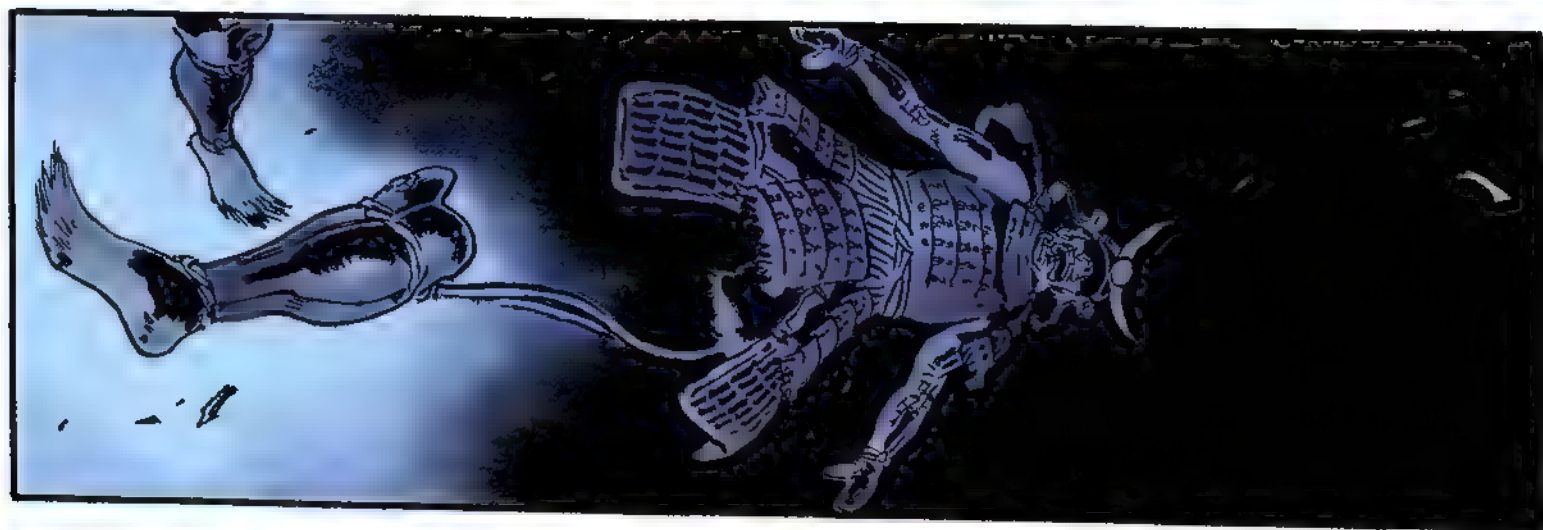
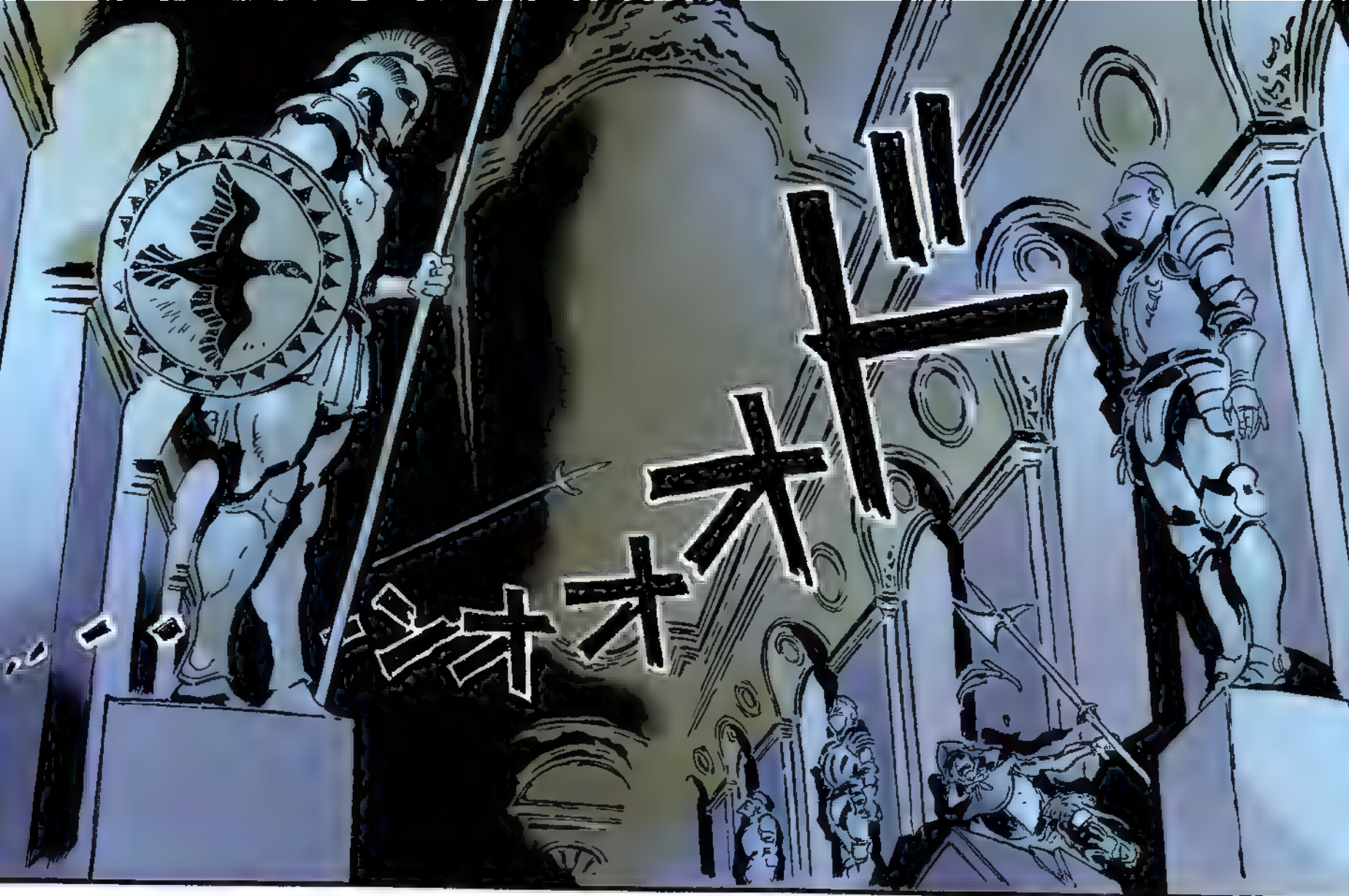
そんなことで
この私に
勝ったつもりで
いたのか!!
ホ
シュ
ュ

まて!!

まだ来るのか
フフン……

ゴ

ドオオン

ニュータイプといえども
所詮人間だ

躯を使った技は訓練した者に及ばぬ
そのことが
今のでよく判った……

使いたまえ

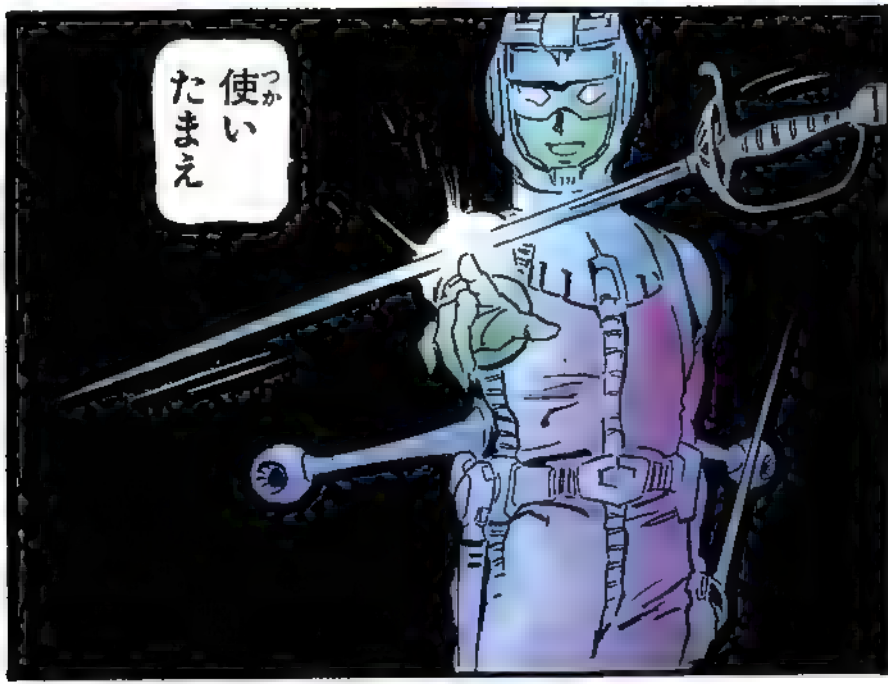
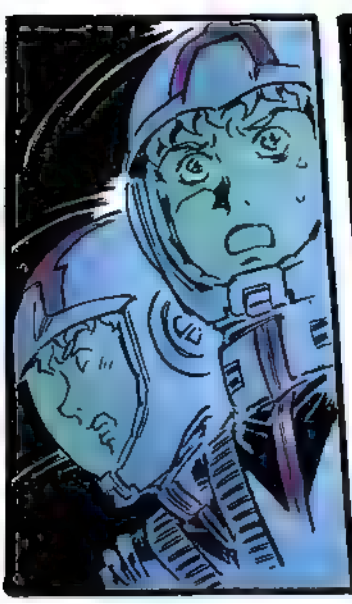
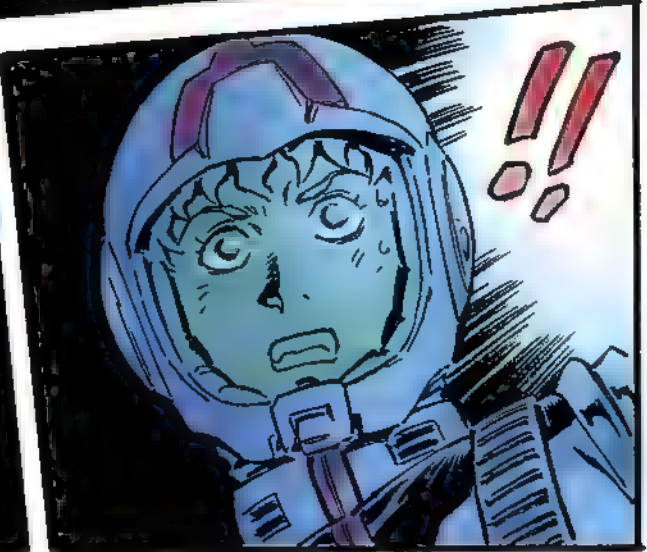
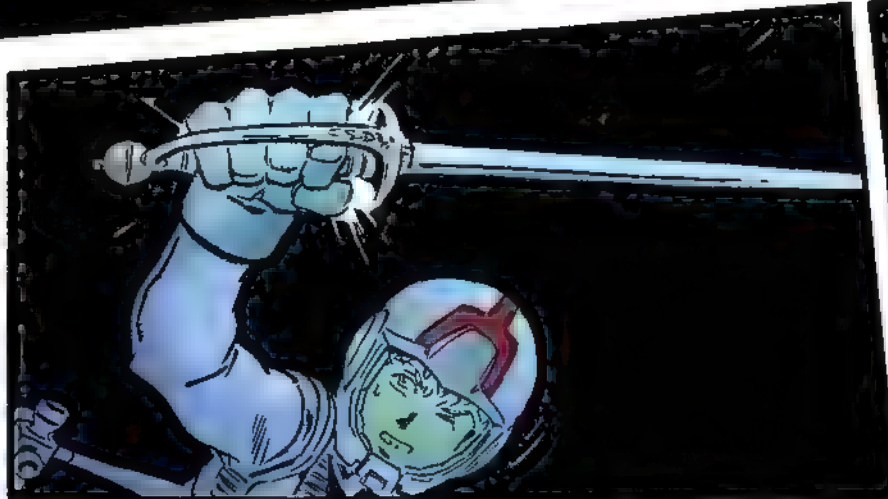
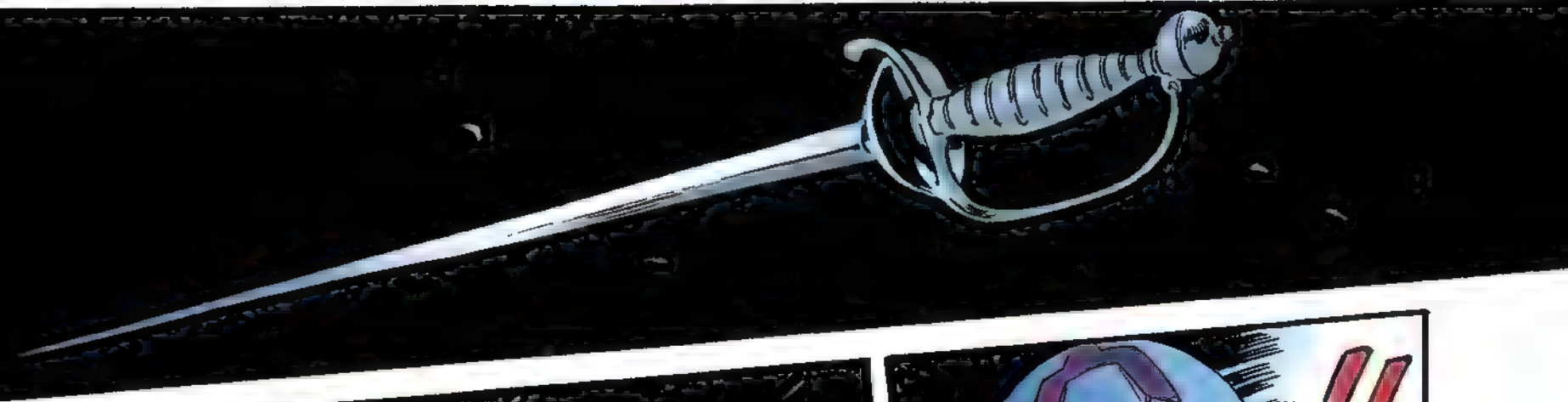
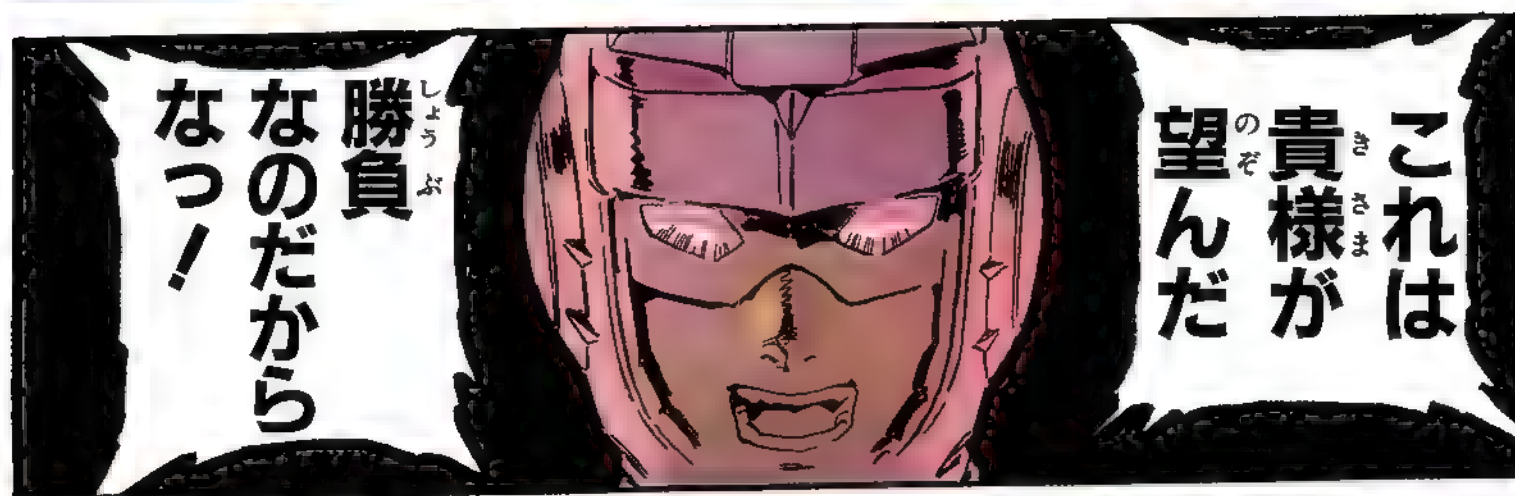
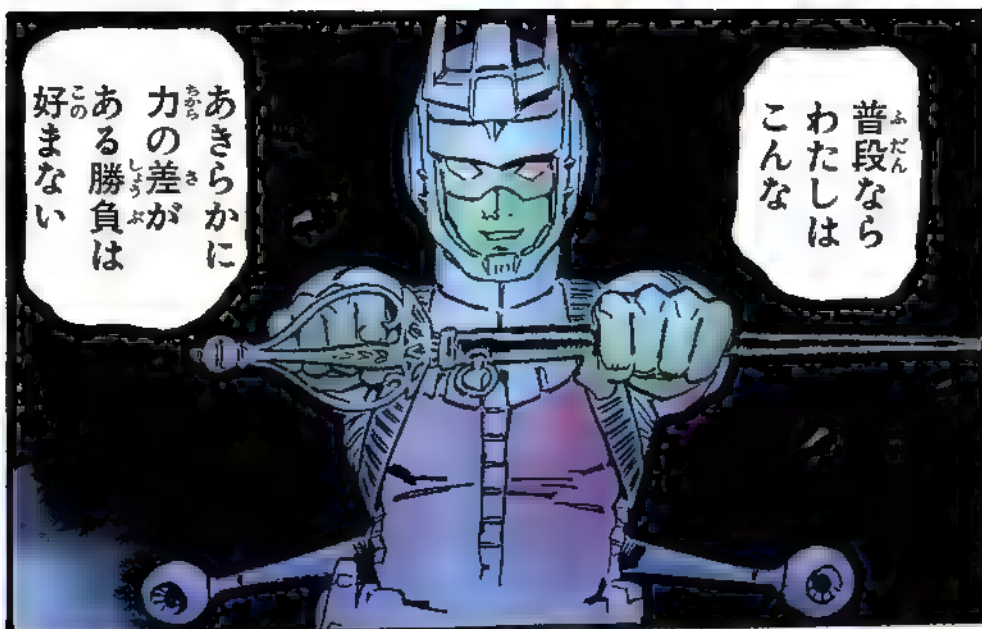
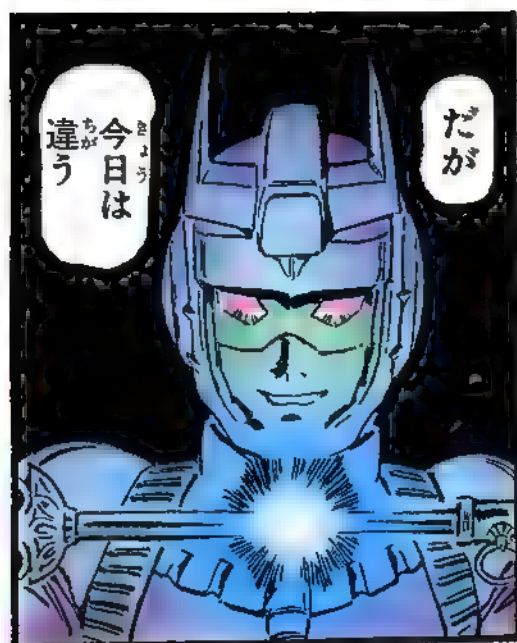
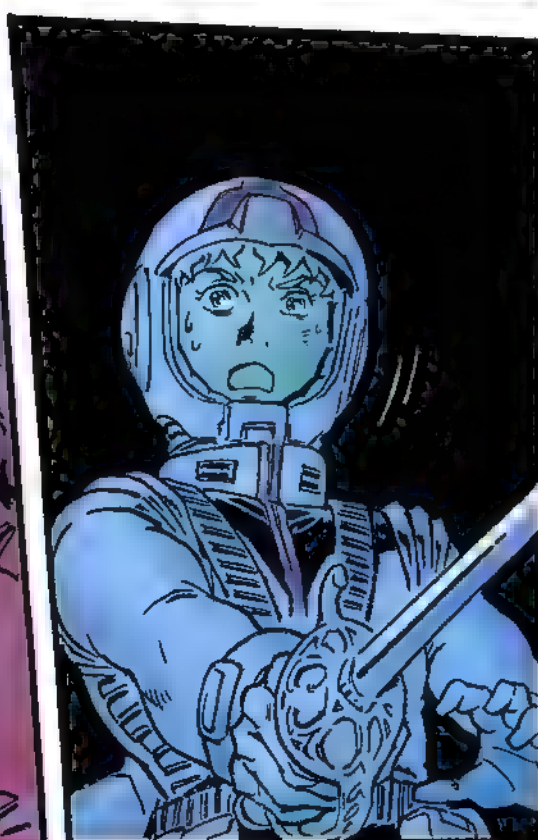
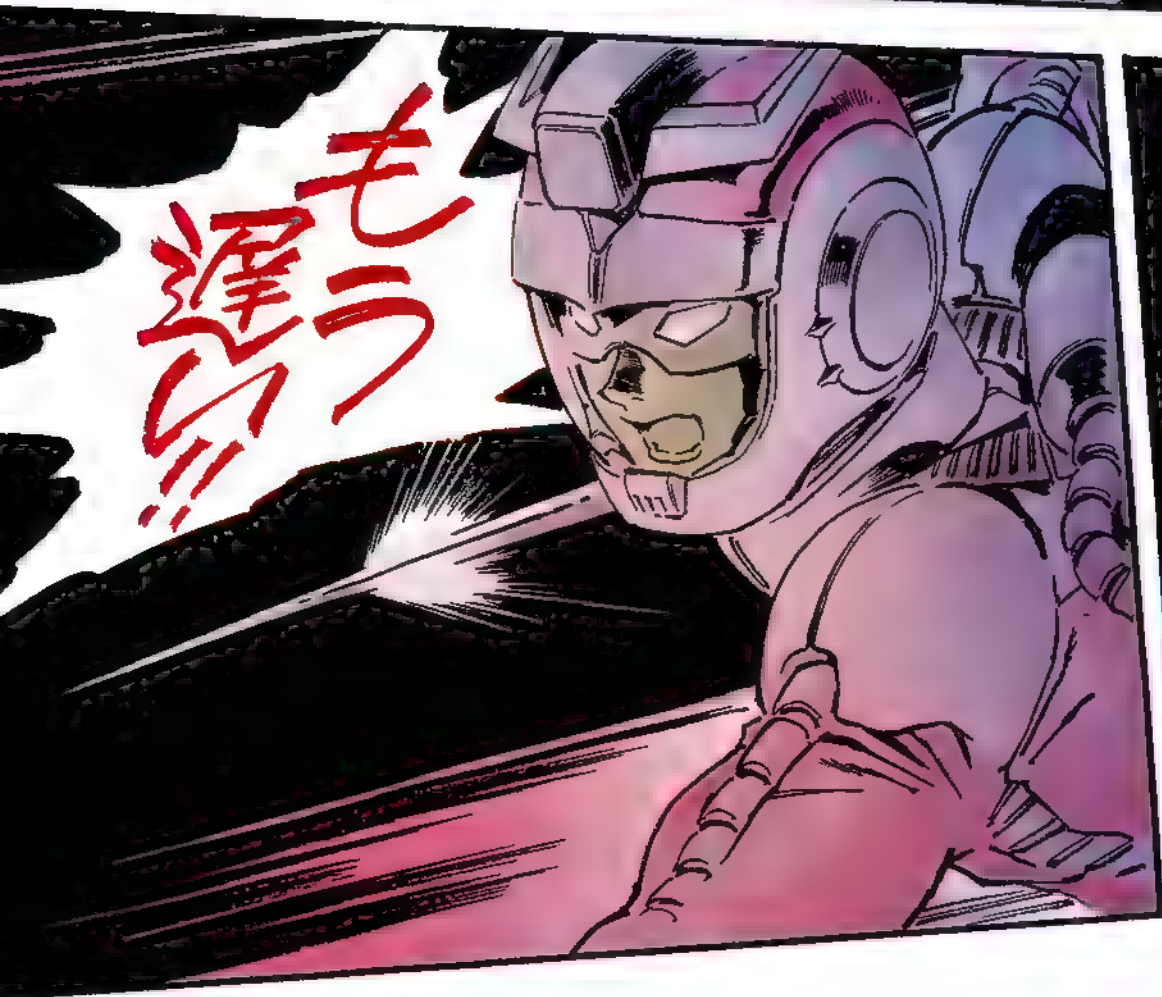
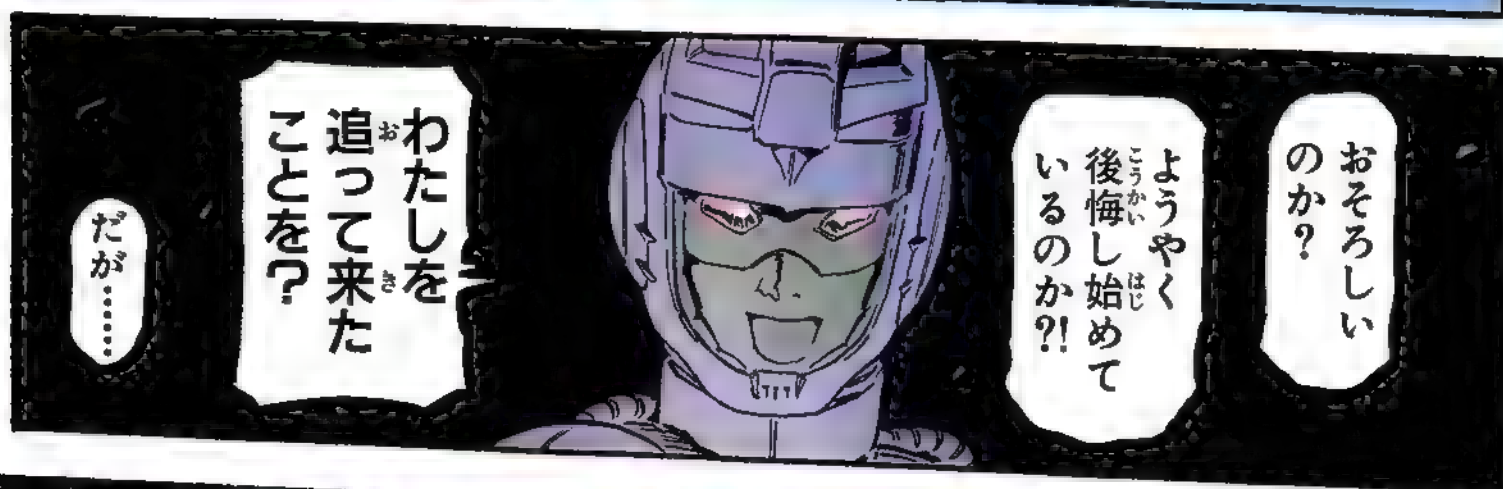
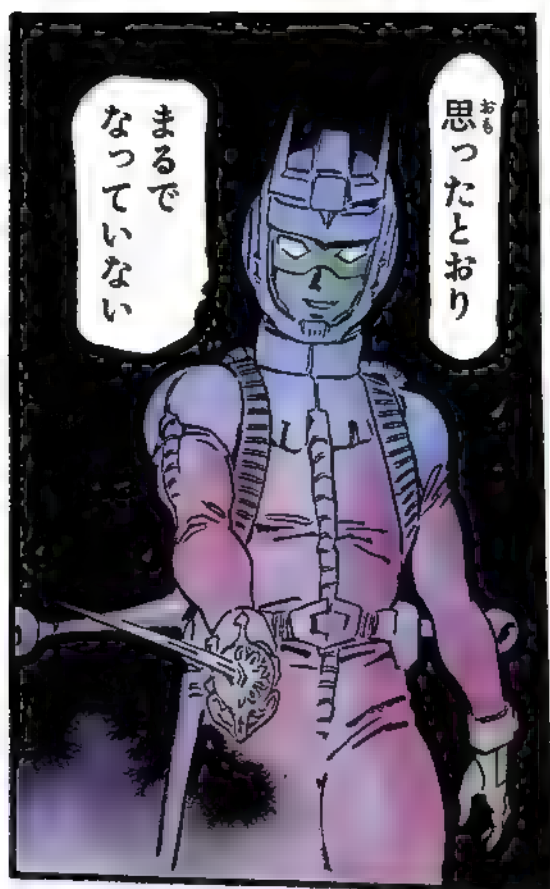
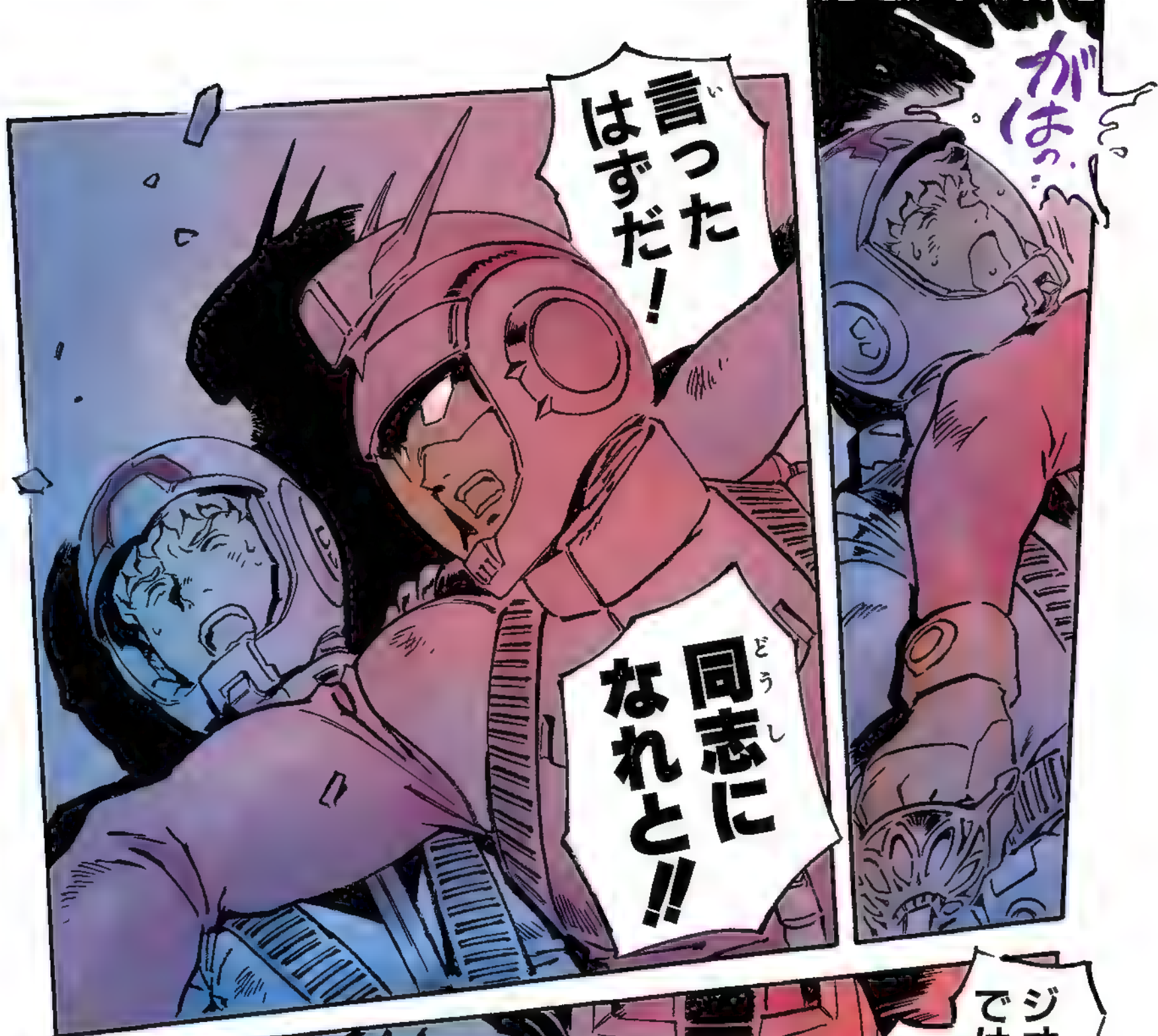
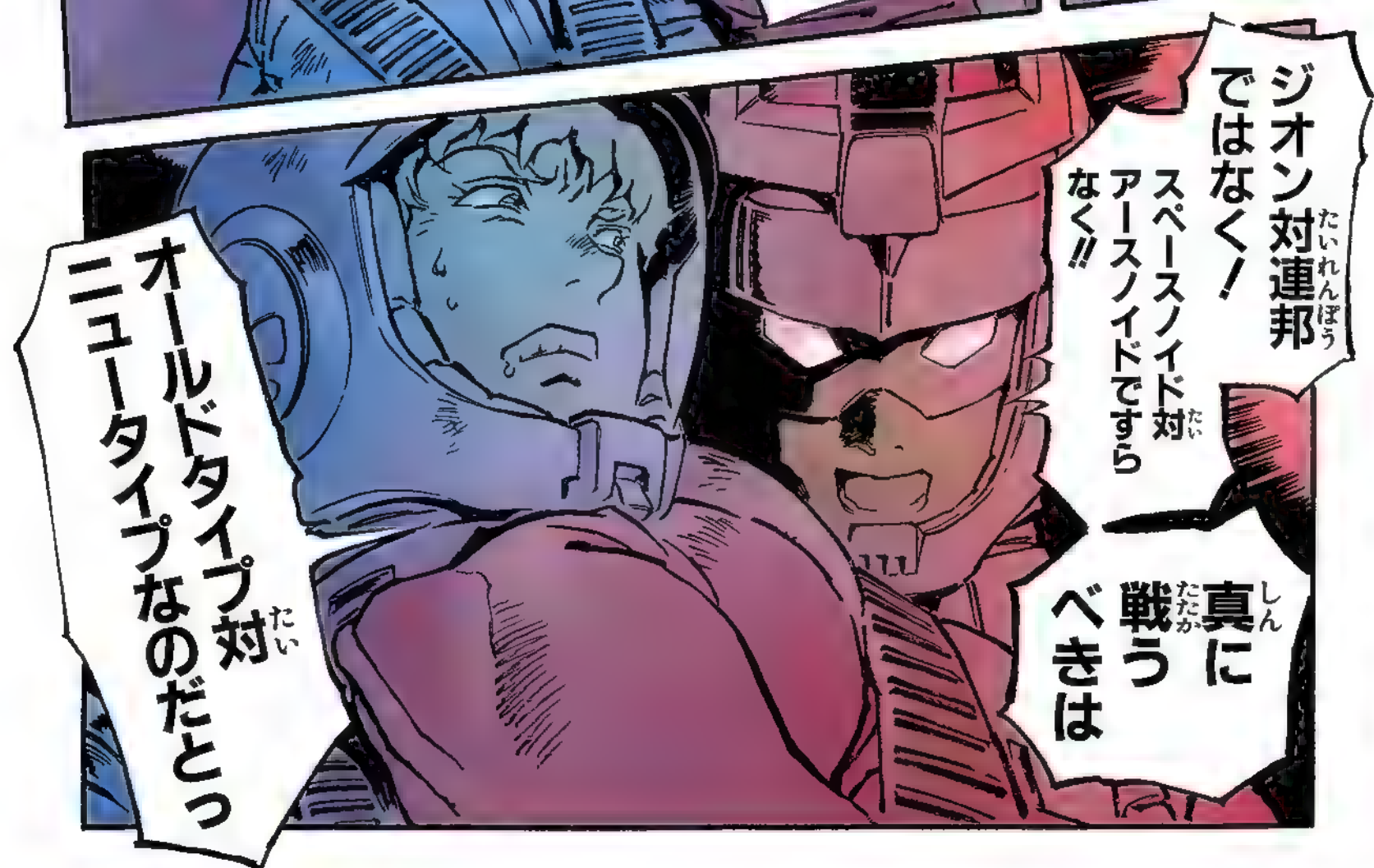
普段ならわたしはこんな
あきらかに力の差がある勝負は好まない

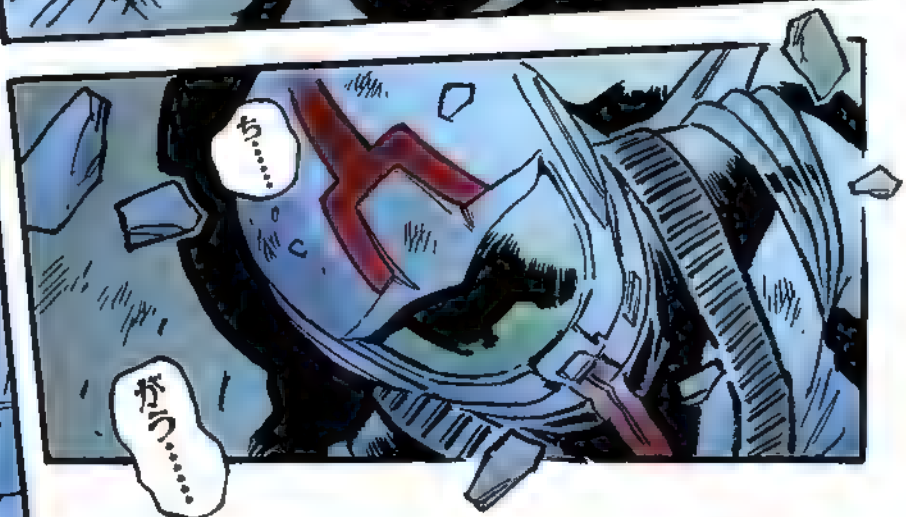
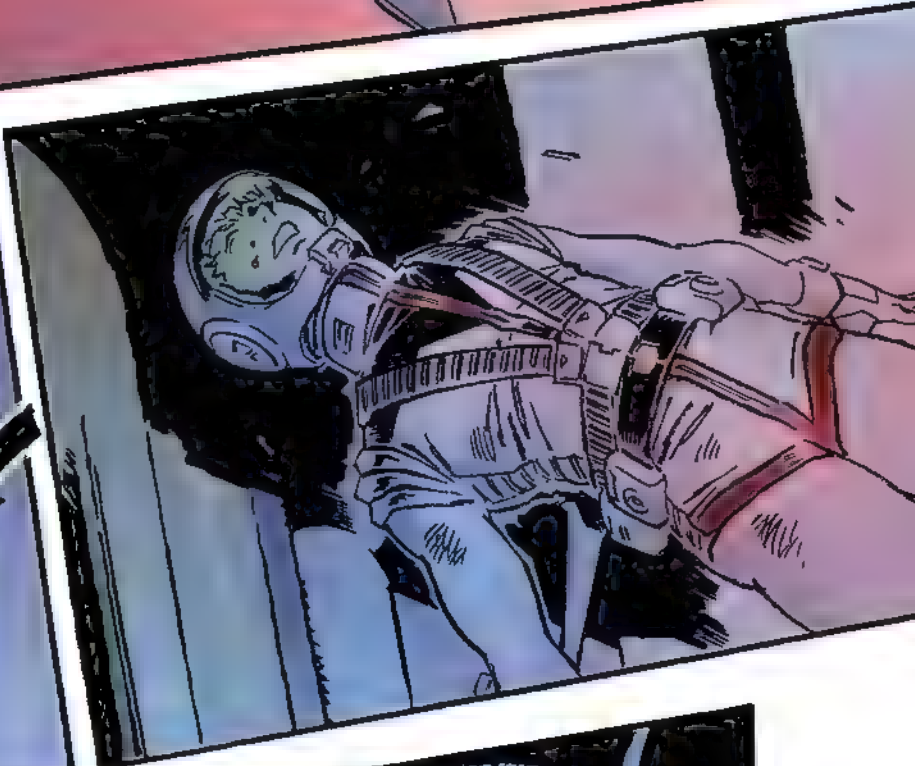
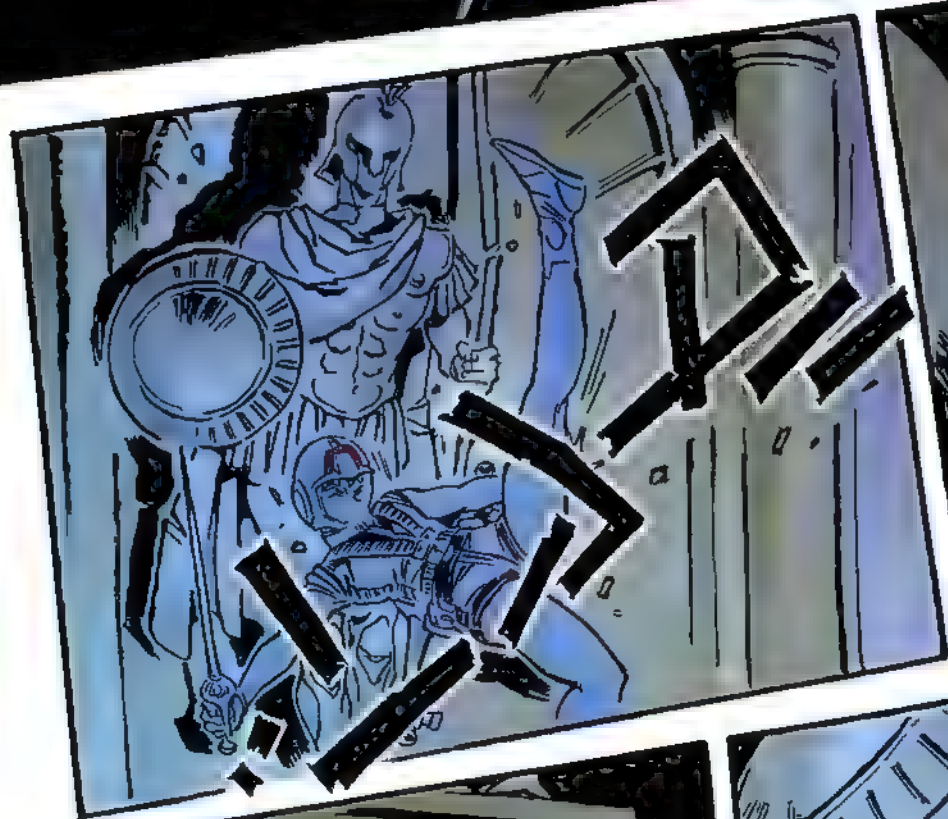
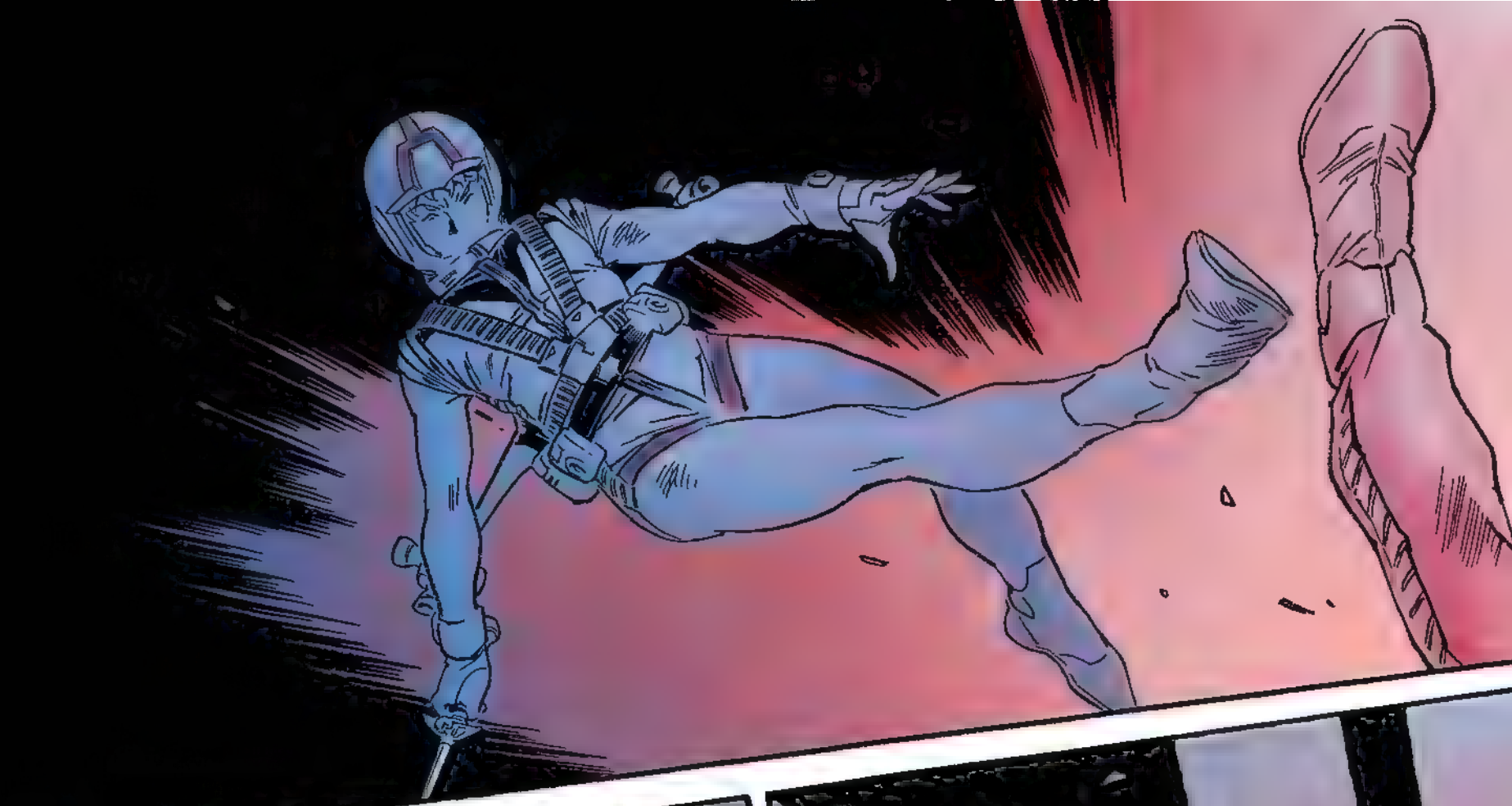
だが
今日は違う

これは貴様が望んだ
勝負なのだからなっ!

ドドオオン
ド

……
思ったとおり
まるでなっていない
おそろしいのか？
ようやく後悔し始めているのか?!
わたしを追って来たことを？
だが……
もう遅い!!

ば
ど

がはっ
言ったはずだ！
同志になれと‼
ジオン対連邦ではなく！
スペースノイド対アースノイドですらなく‼
真に戦うべきは
オールドタイプ対ニュータイプなのだとっ

何故それが判らなかったのだあっ!!!

ち……
がう……
ニュータイプ
は……

戦うためにいるんじゃないっ!!

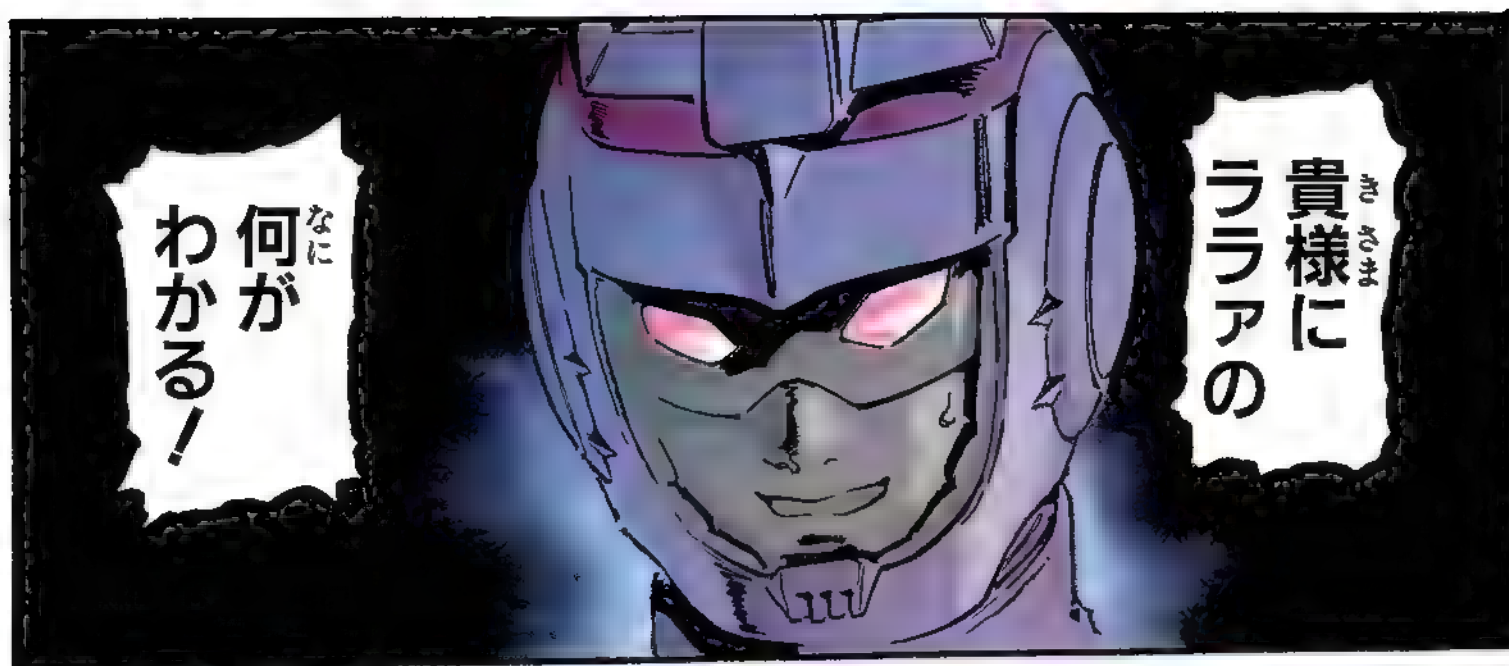
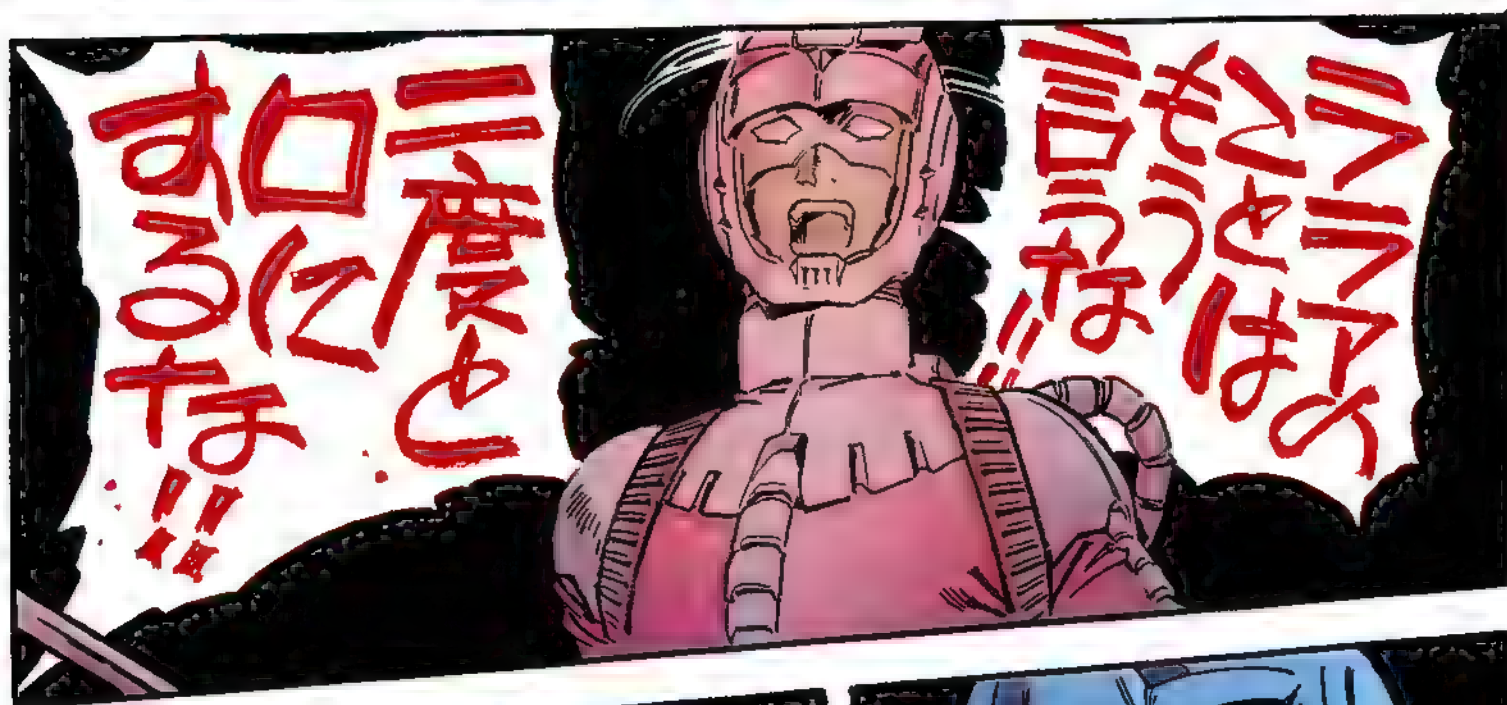
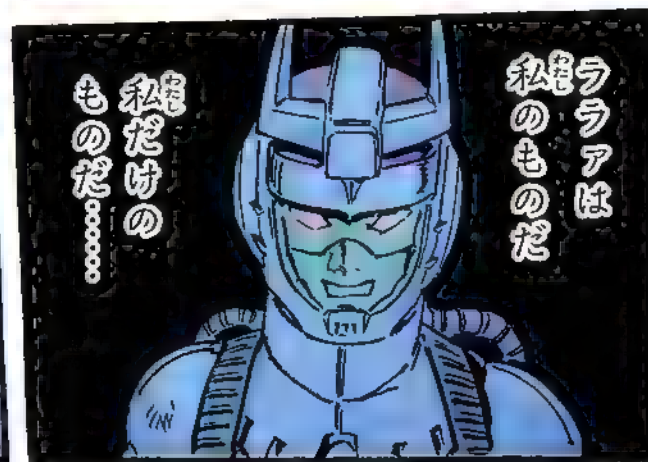
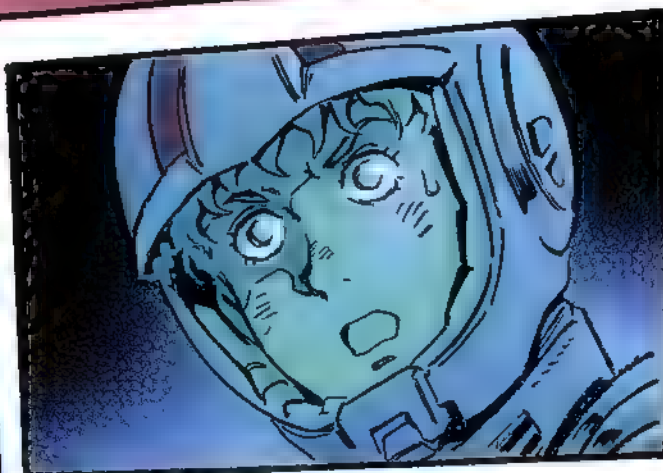
ニュータイプは判り合えるんだ
だから戦ったりしないっ
戦いの道具にもならないっ!

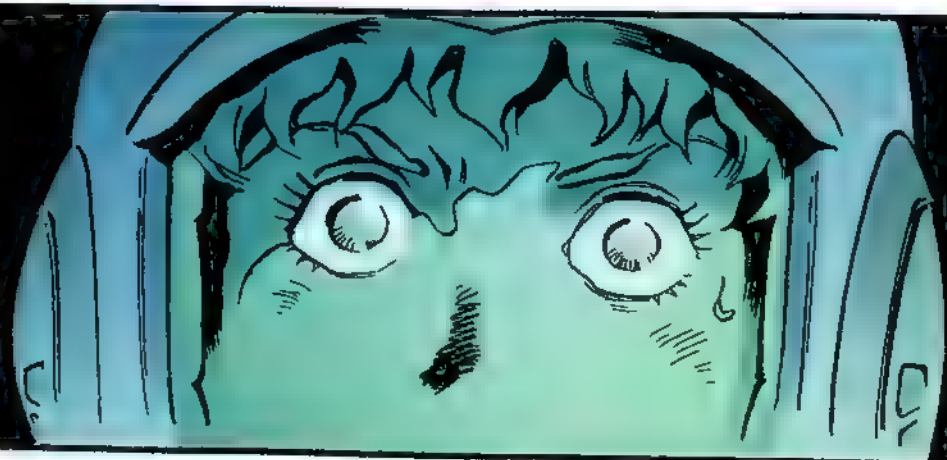
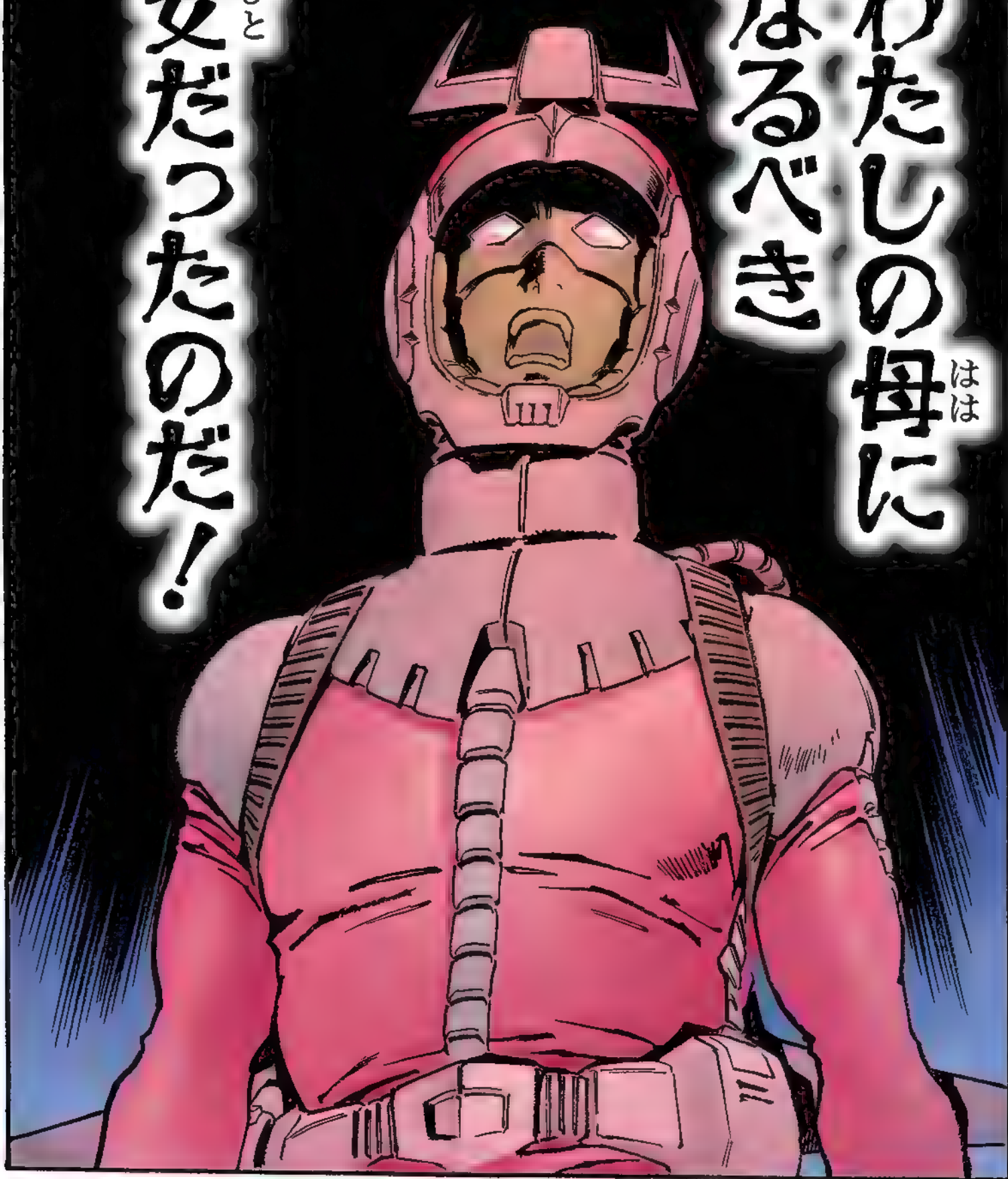
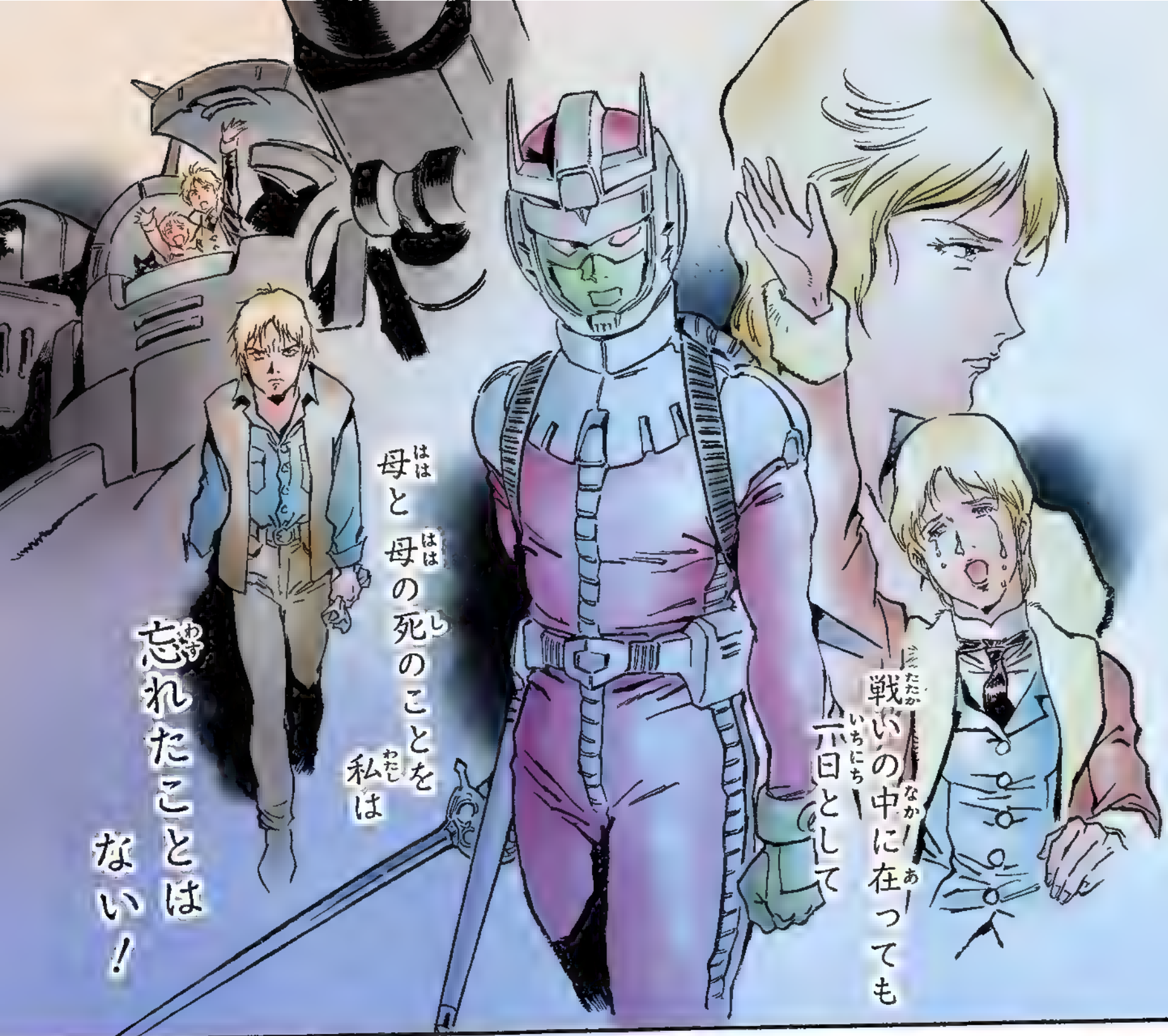
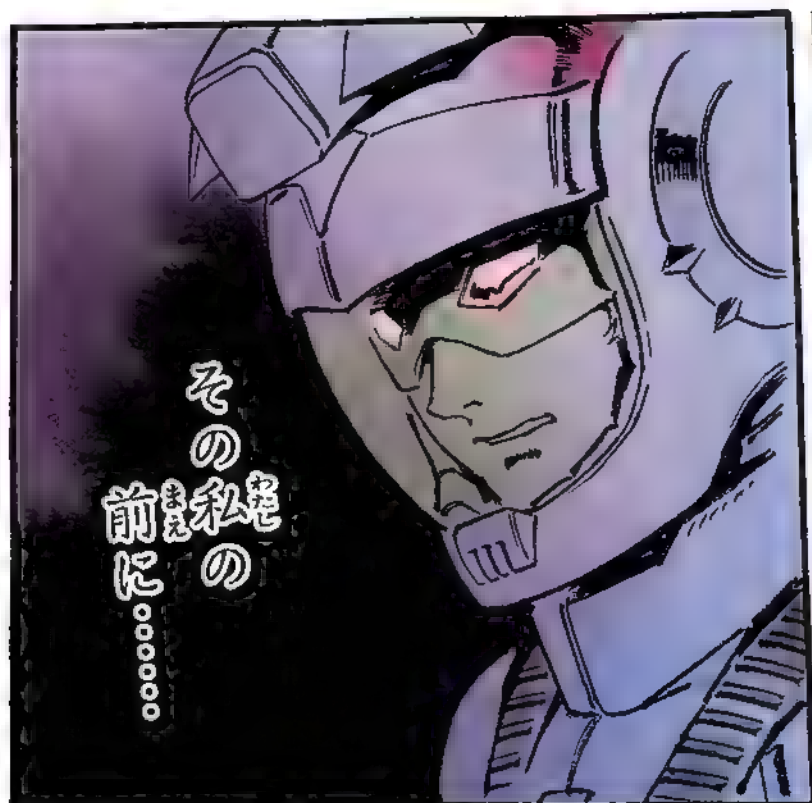
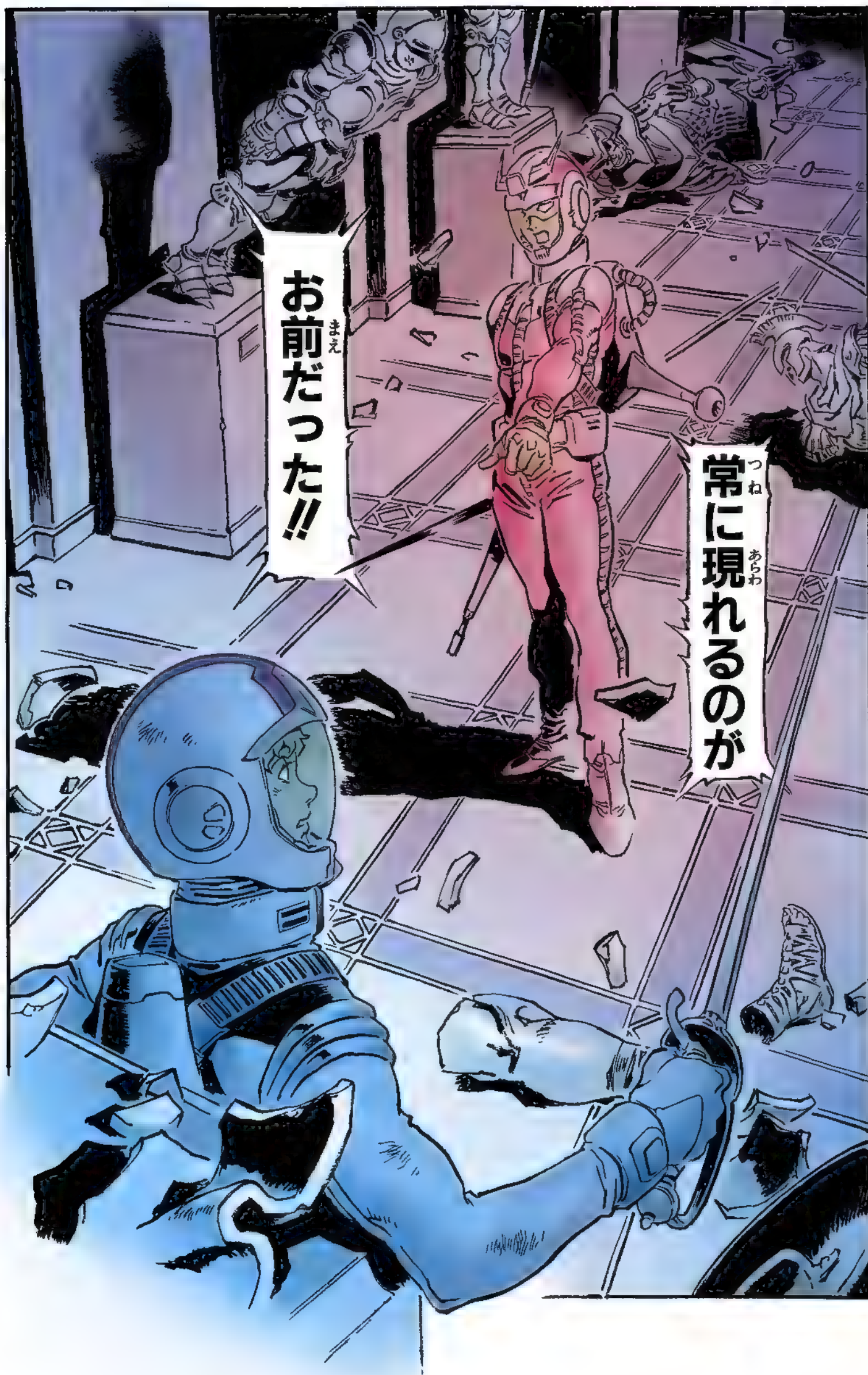
〃判り合えた〃だと？

フン！

笑わせるな

貴様にララァの
何がわかる！

ララァのことはもう言うな!!
二度と口にするな!!

なぜならララァは
ララァは……

ララァは私のものだ
私だけのものだ……

わたしの母になるべき
女だったのだ！

私の母は
アストライア・
トア・ダイクンは
ザビ家に
殺された――
旧い塔に
幽閉され
独り
病を癒すことも
許されず……
復讐する!
私は心に
決めた――

戦いの中に在っても
一日として
母と
母の死のことを
私は
忘れたことは
ない！

常に現れるのが
お前だった!!

ララァを私から
奪った
その報いを
受けろ!

ツイイイーン……
今の受けはいいな……
ふ……

その程度は
やってもらわなければ……
……
こちらも
面白くない
ズ
ウ
ウ
ウ

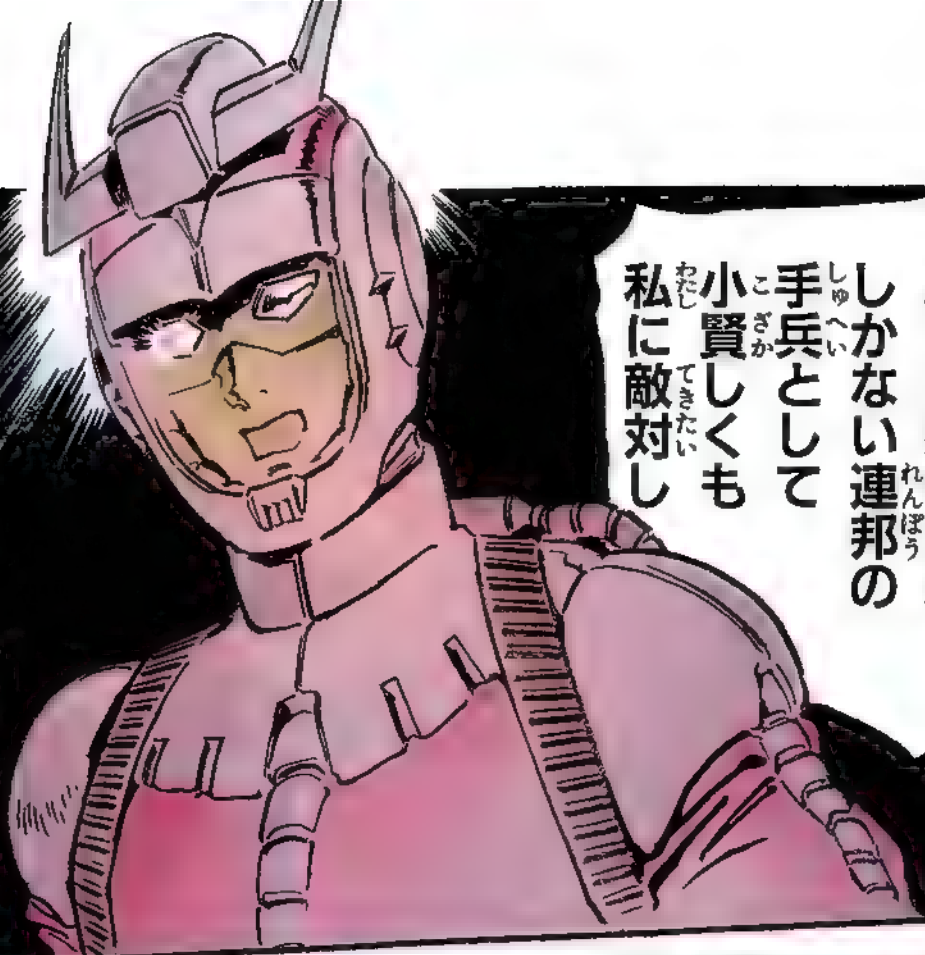
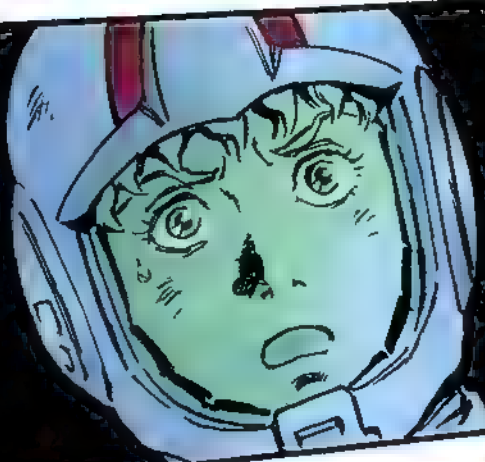
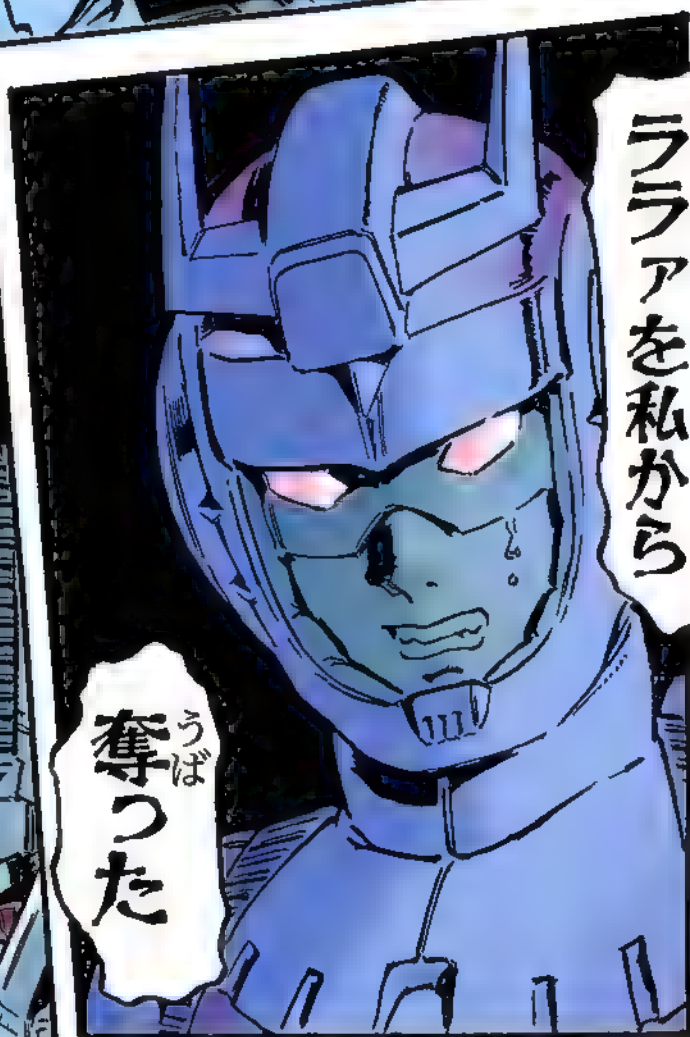
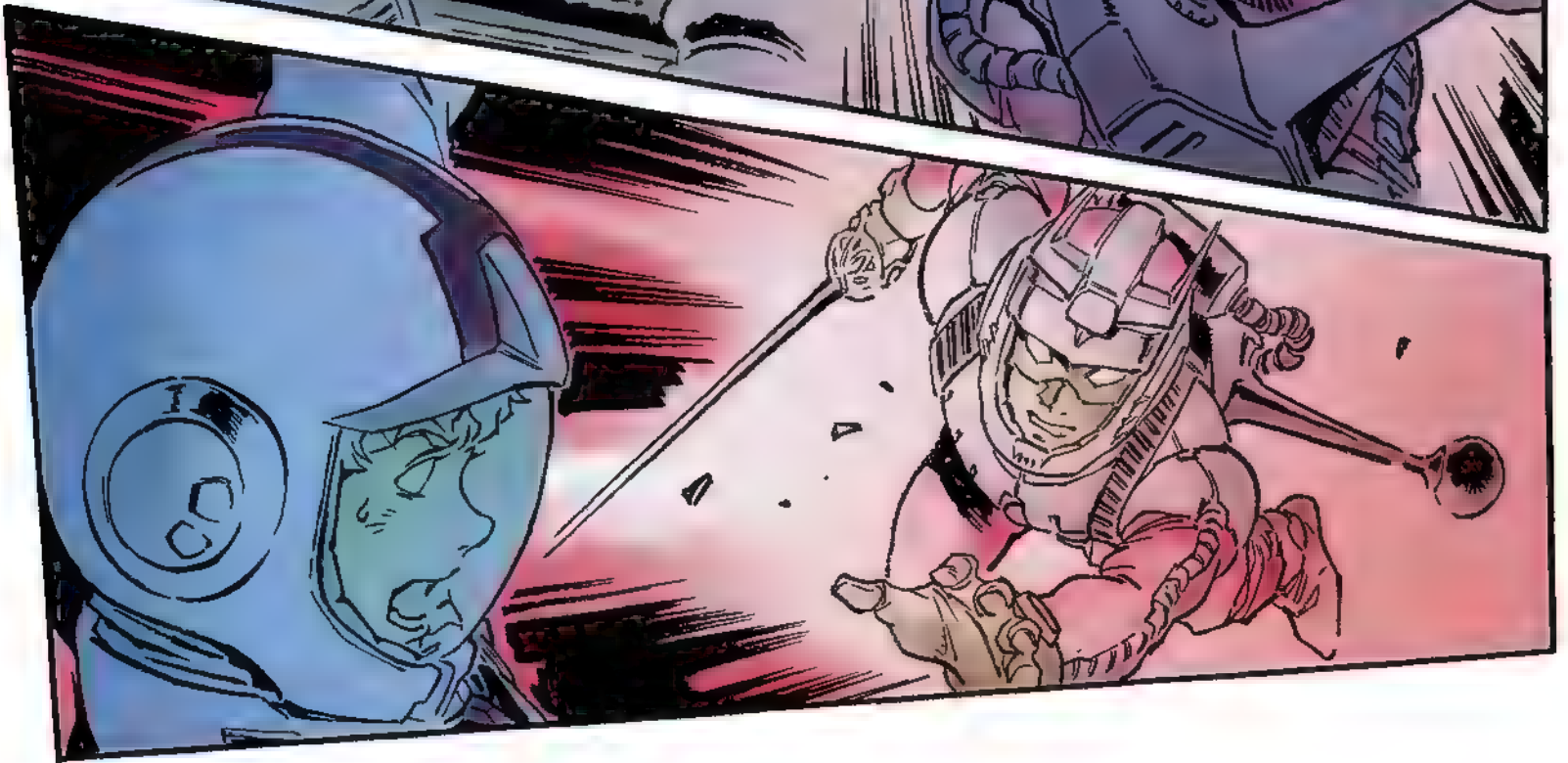
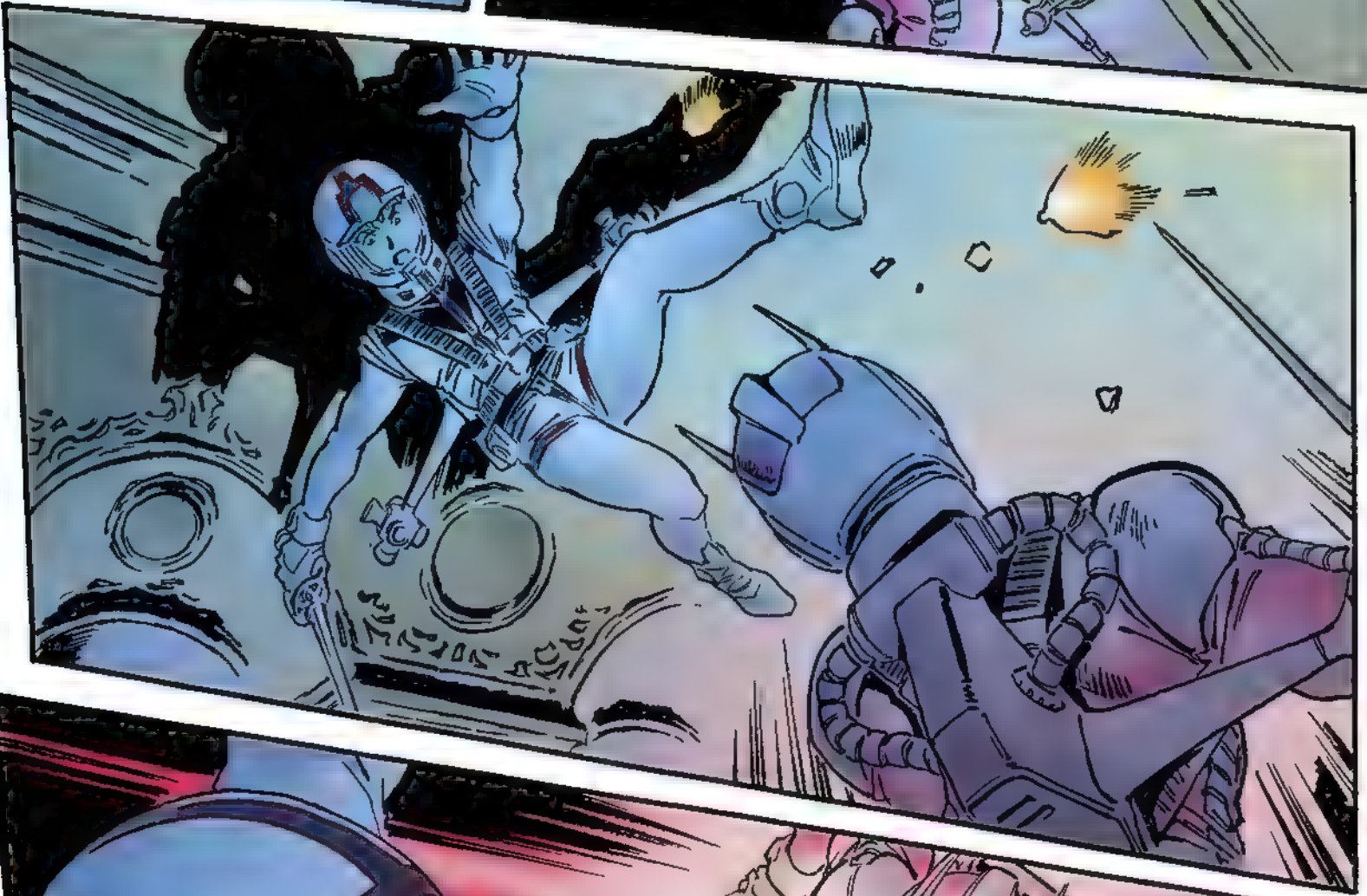
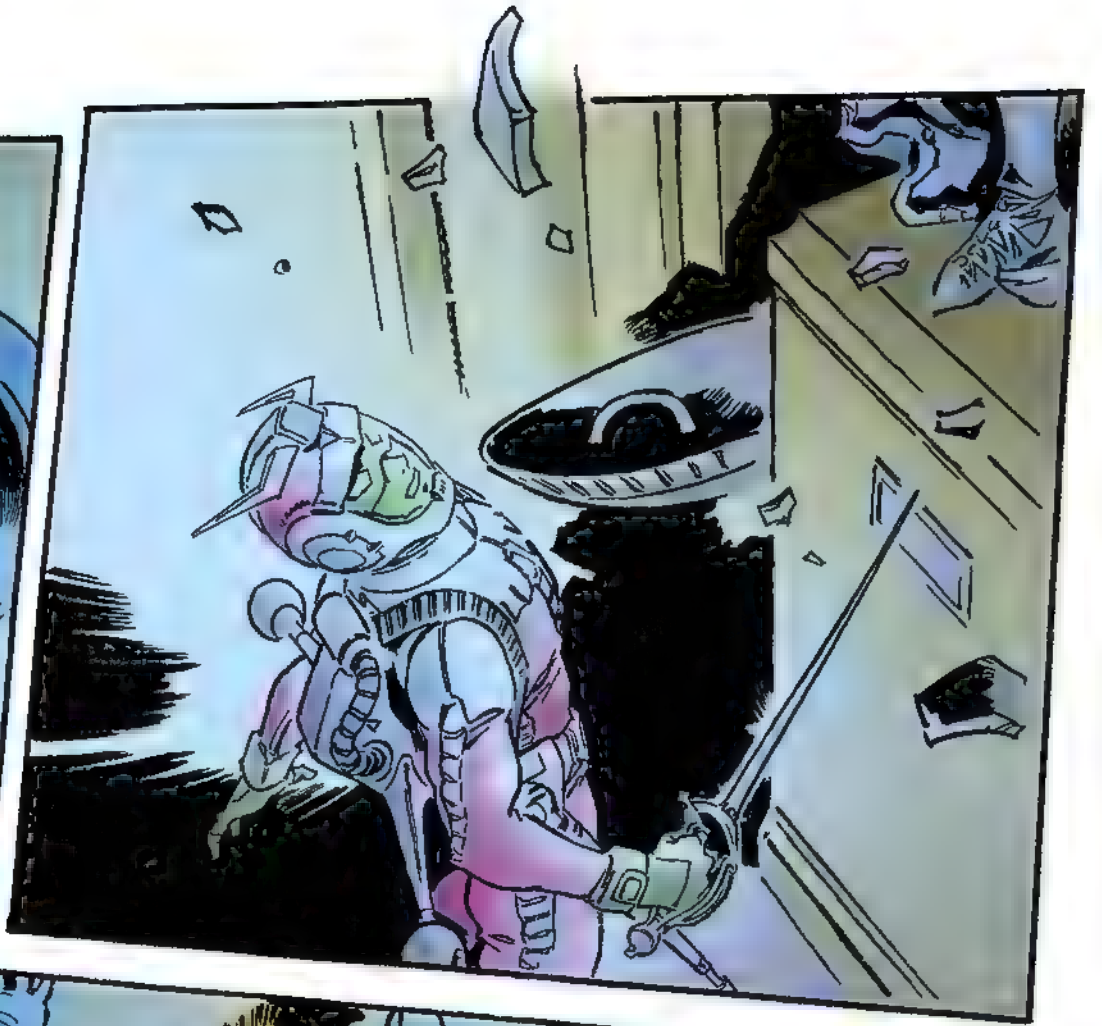
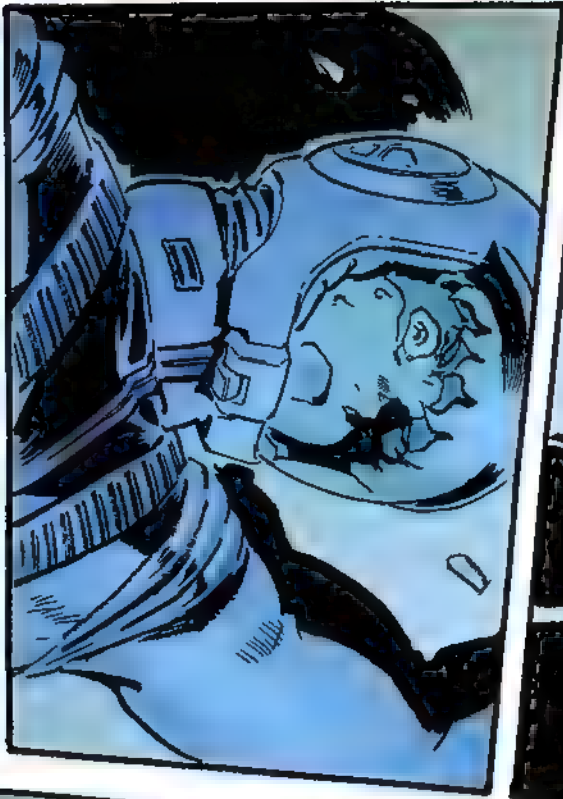
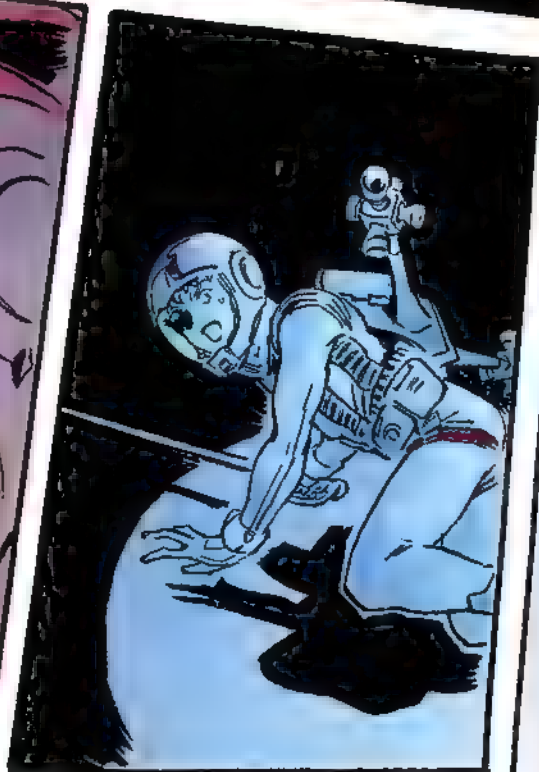
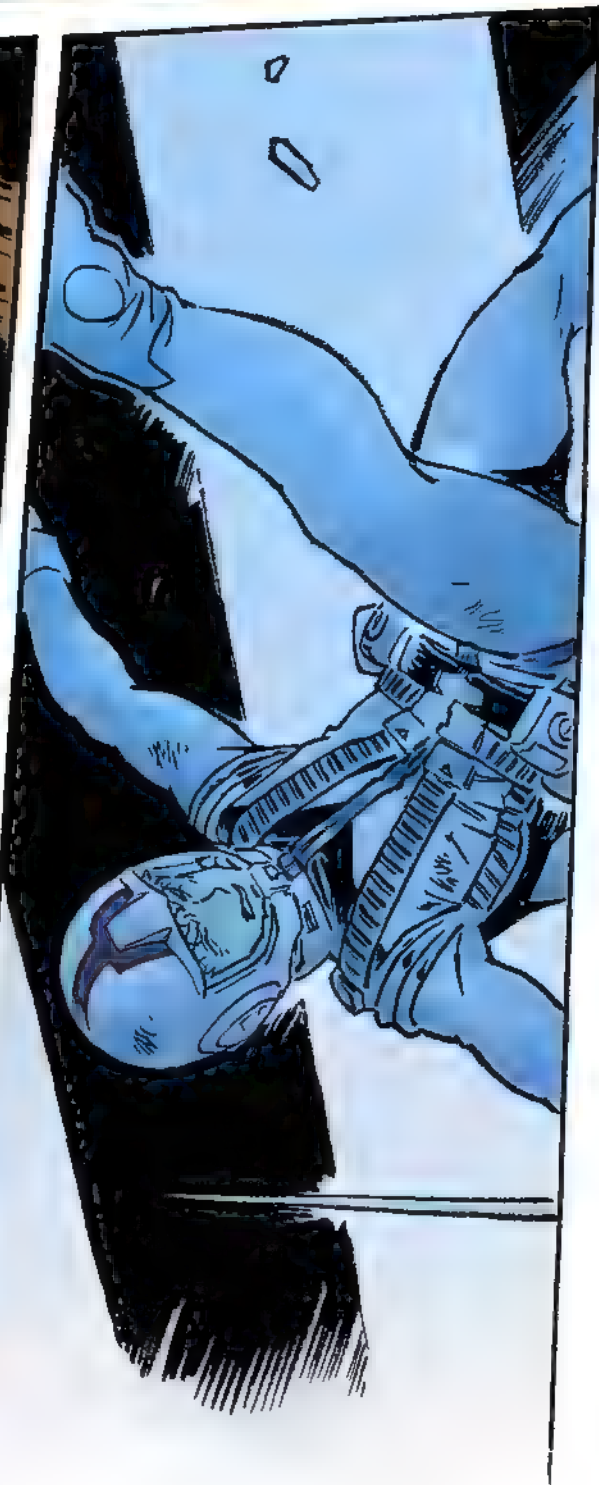
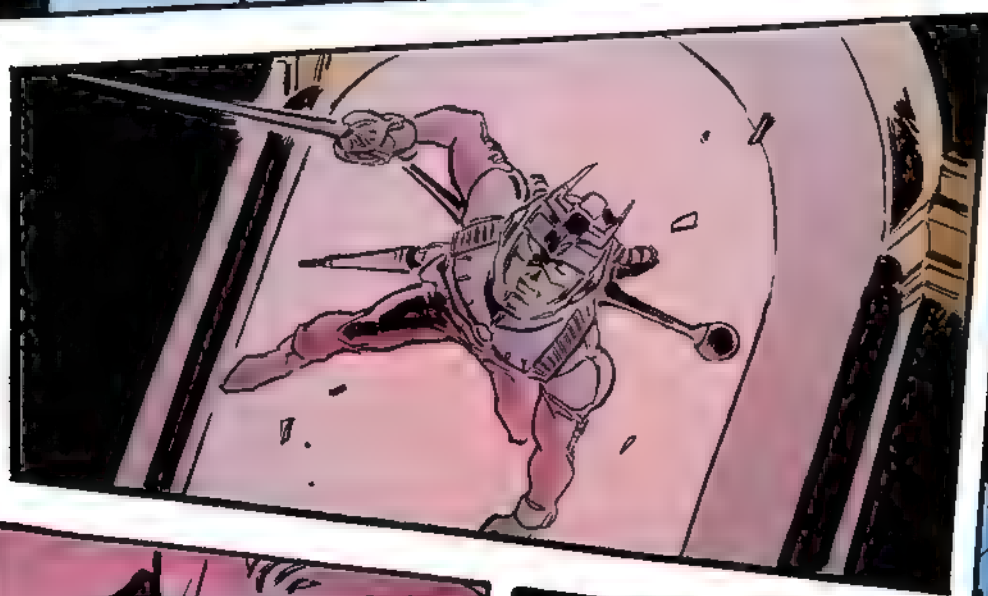
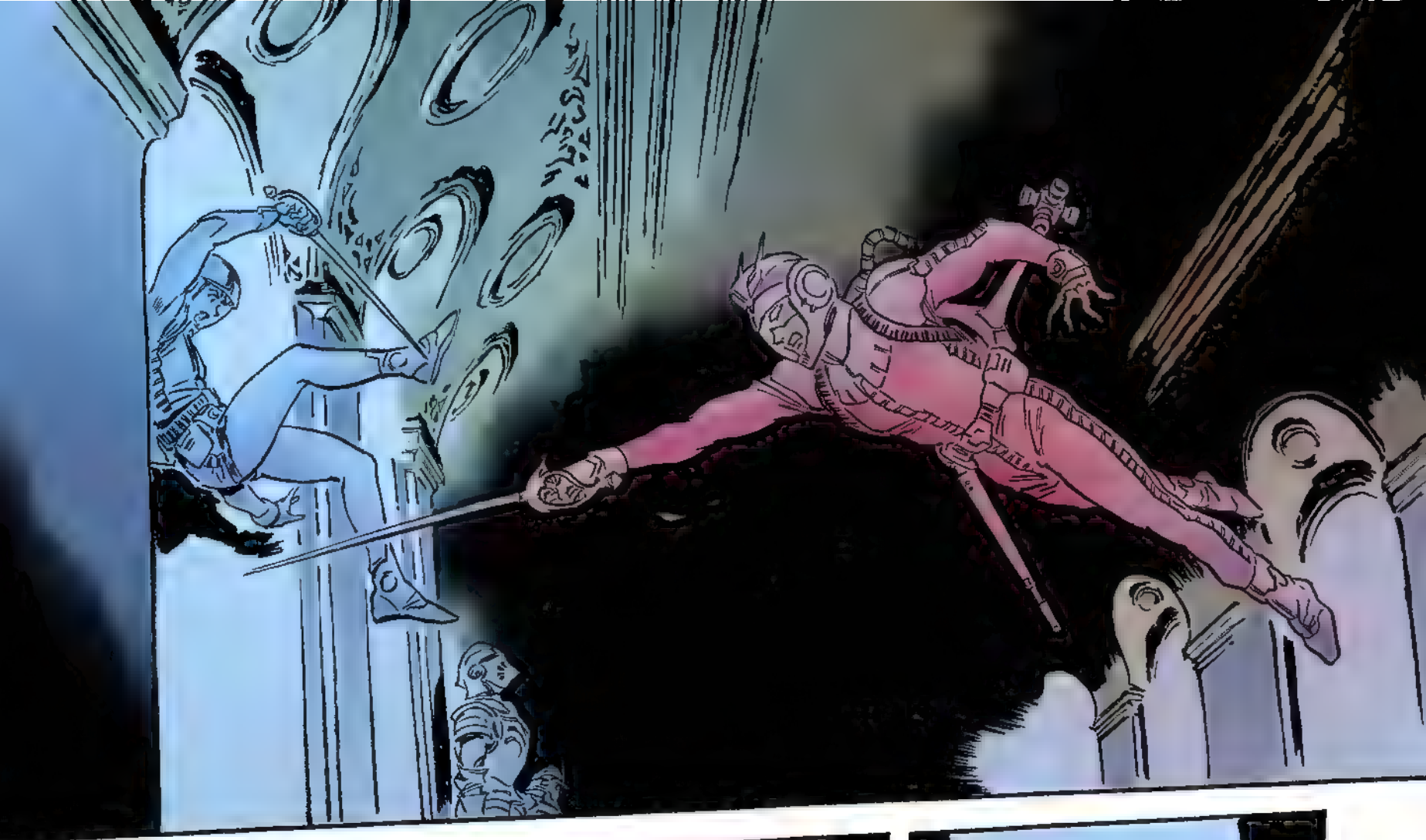
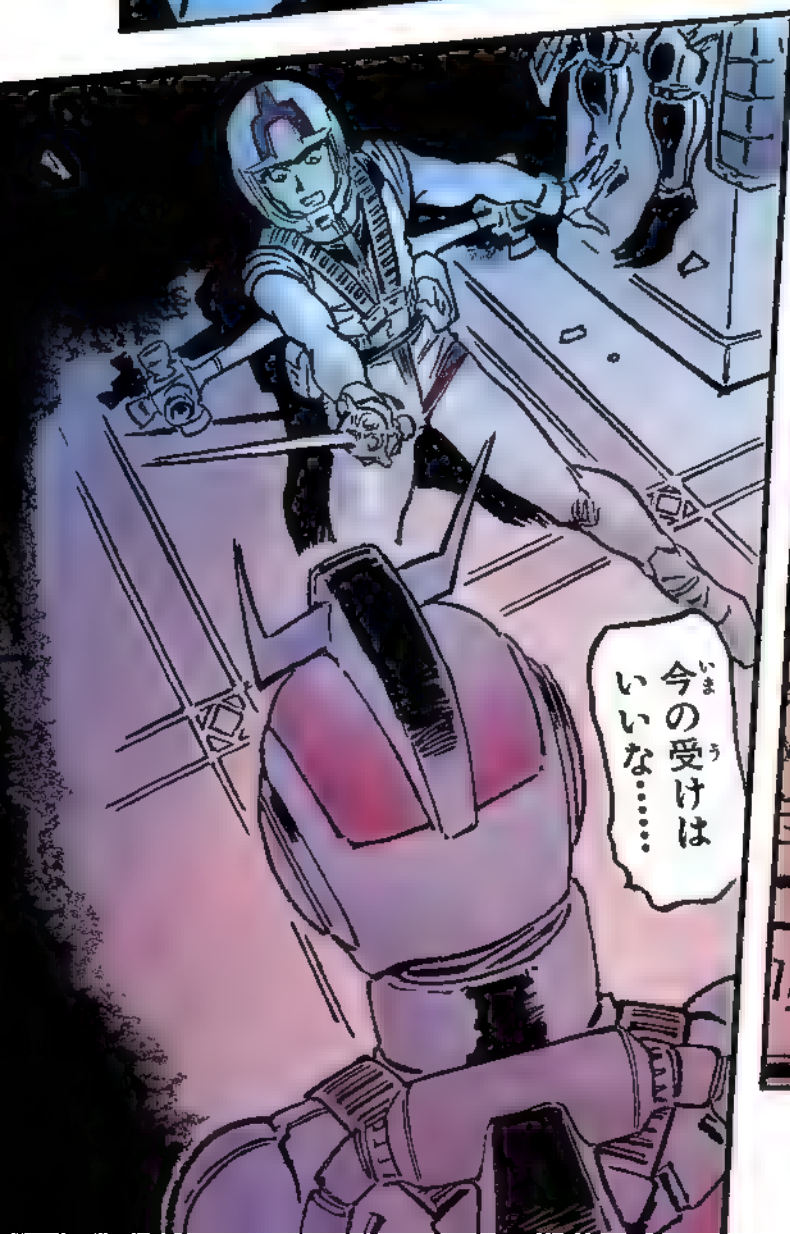
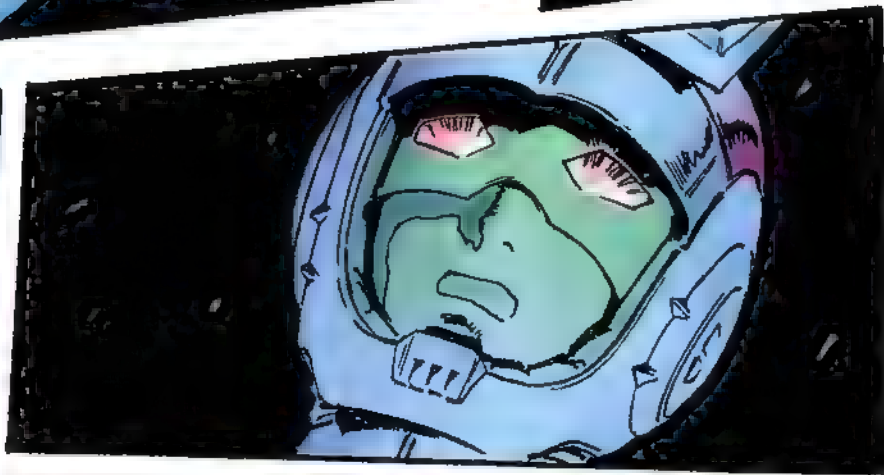
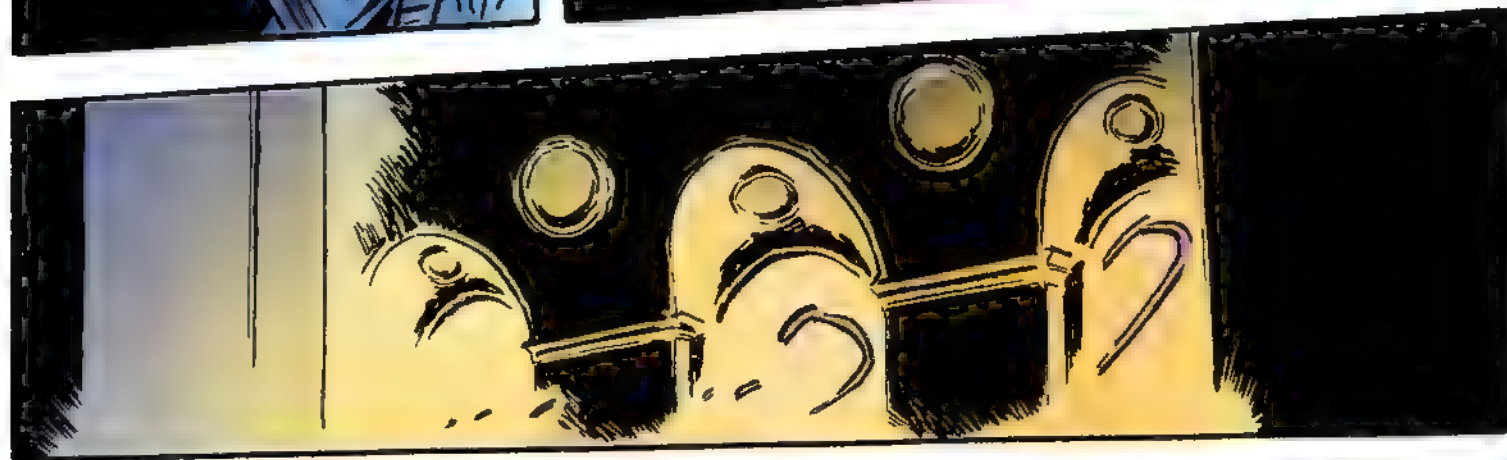
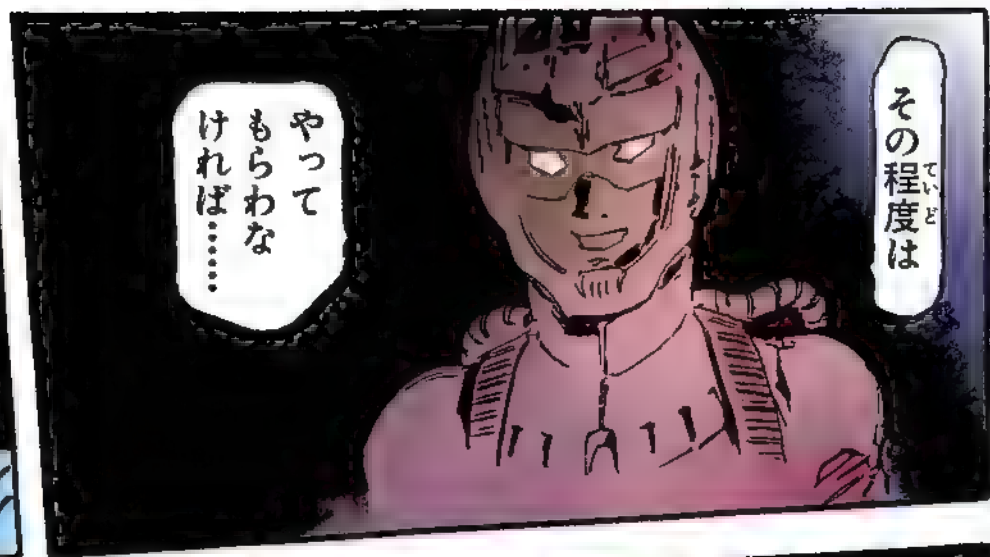
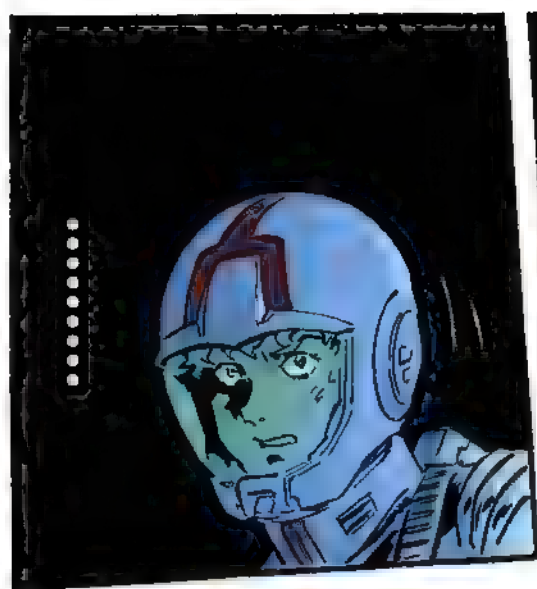
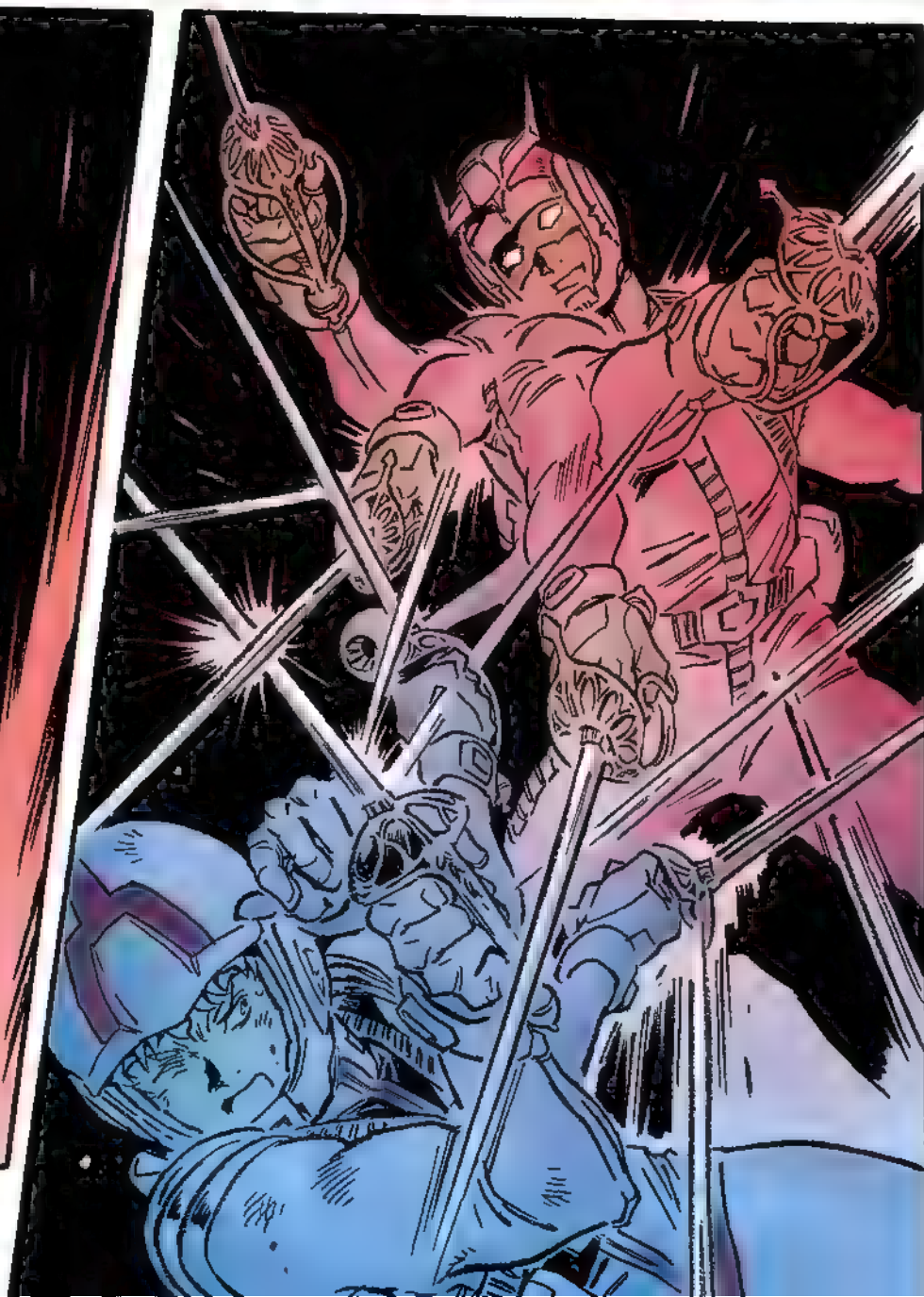
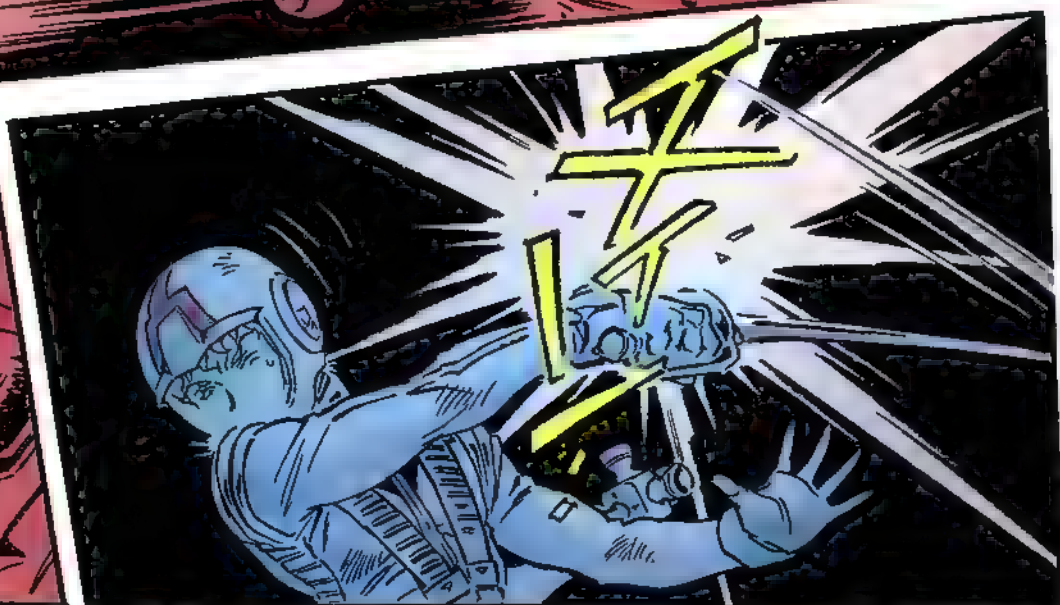
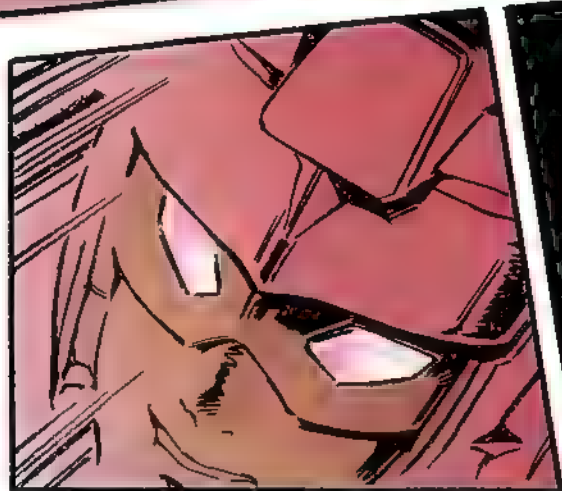
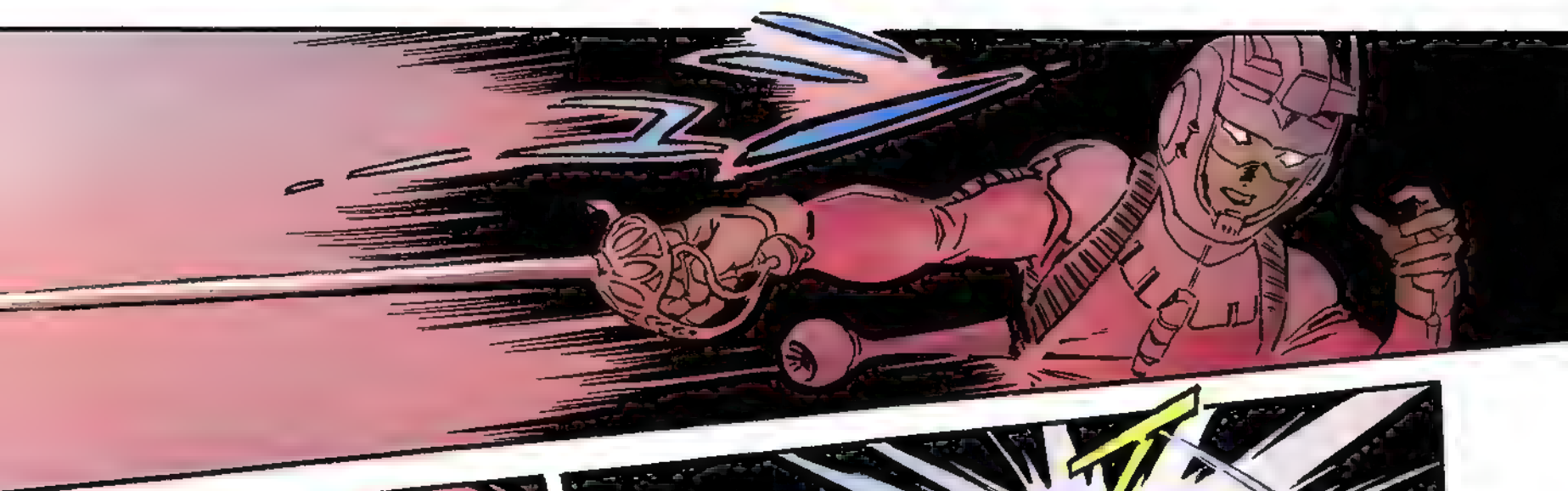
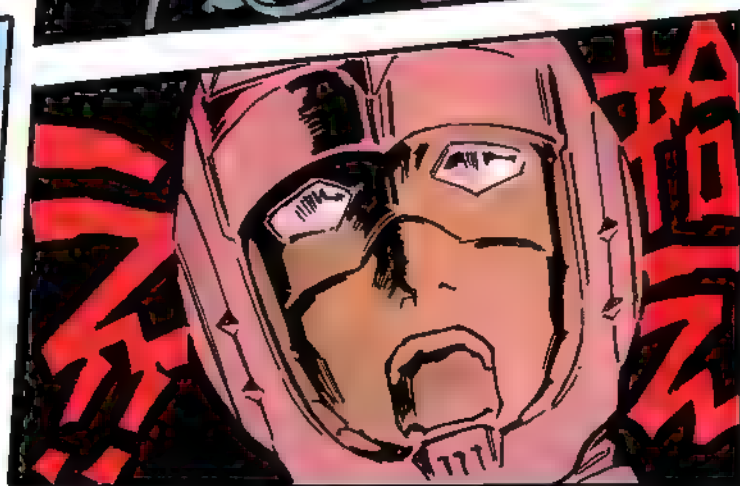
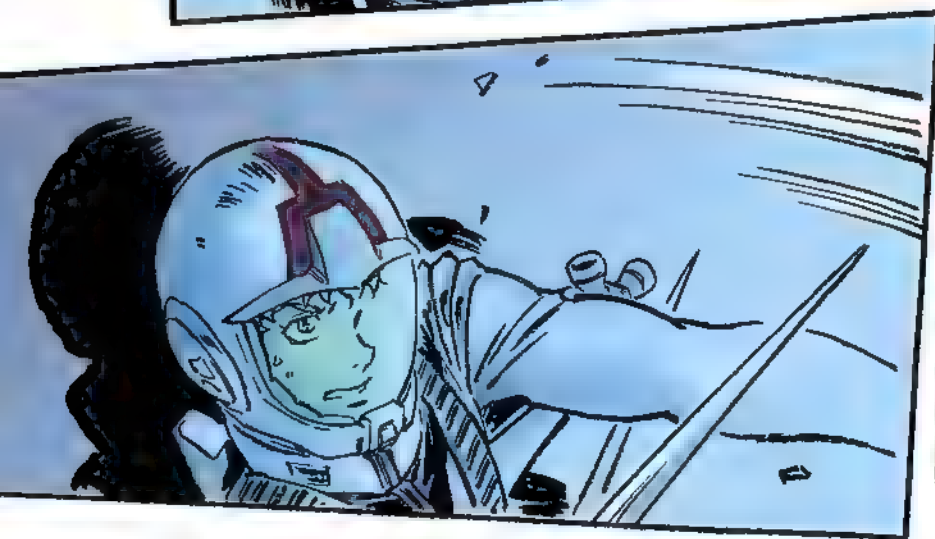
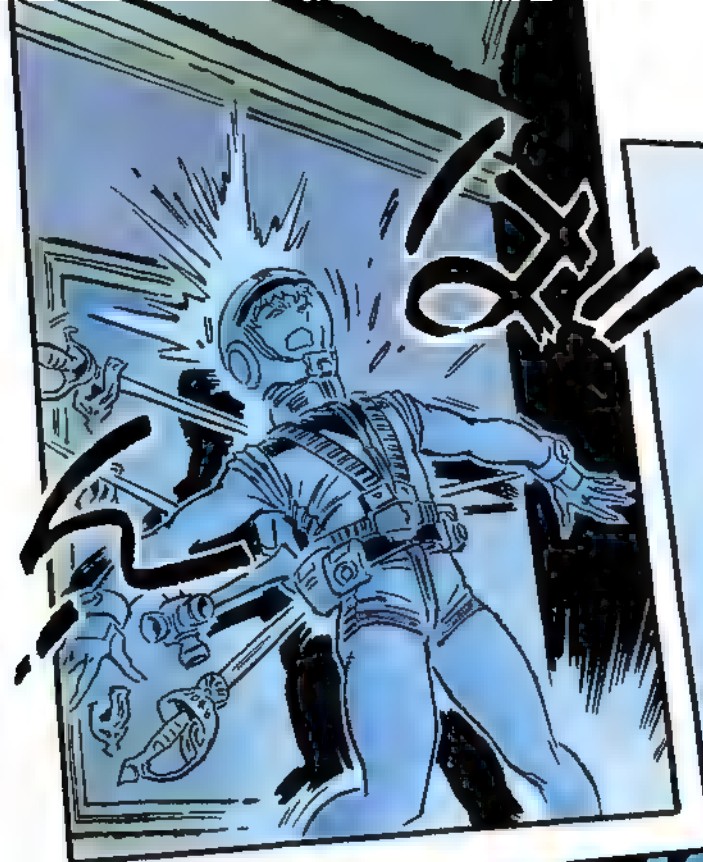
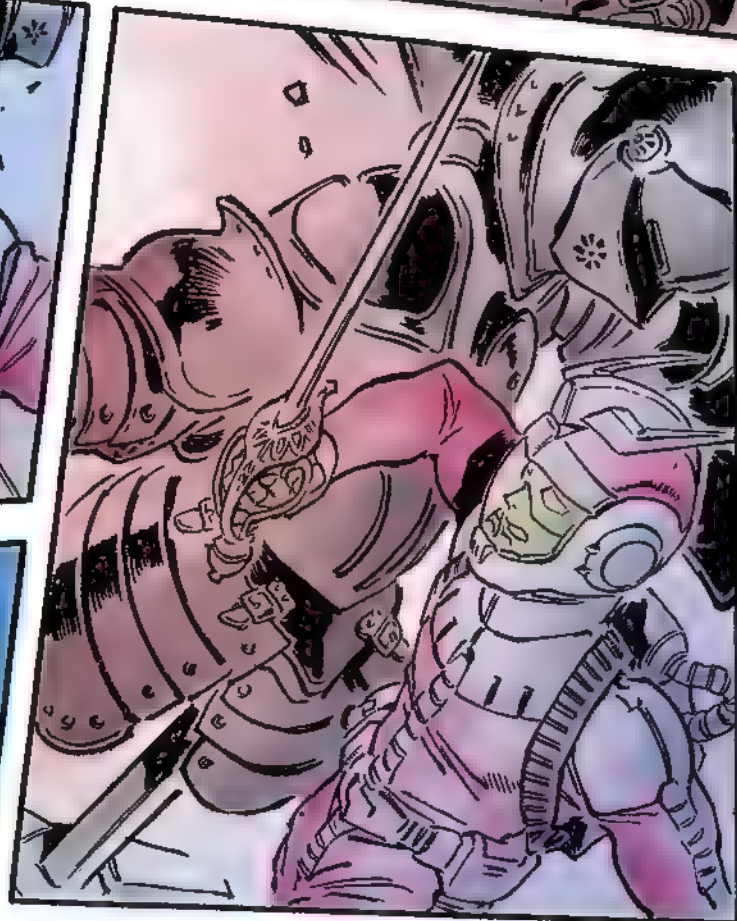
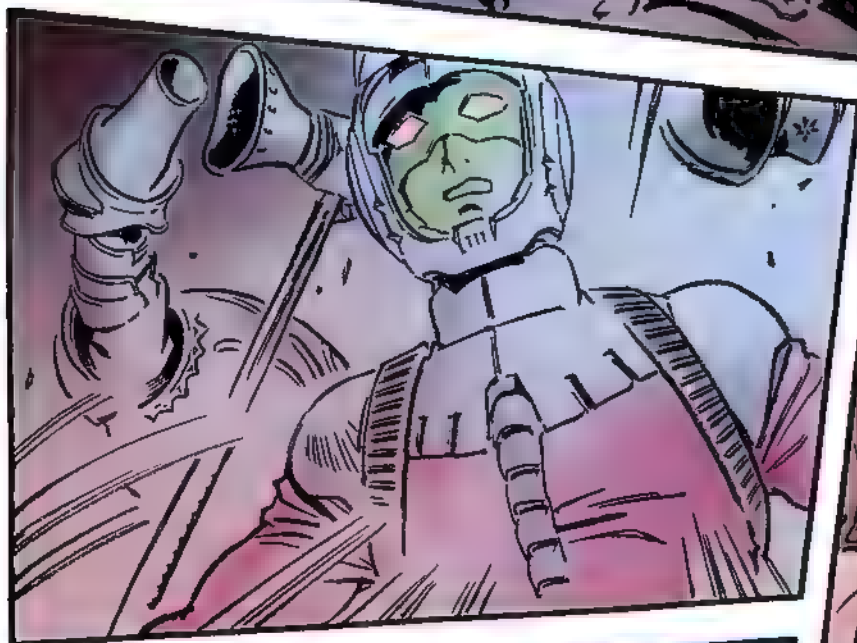
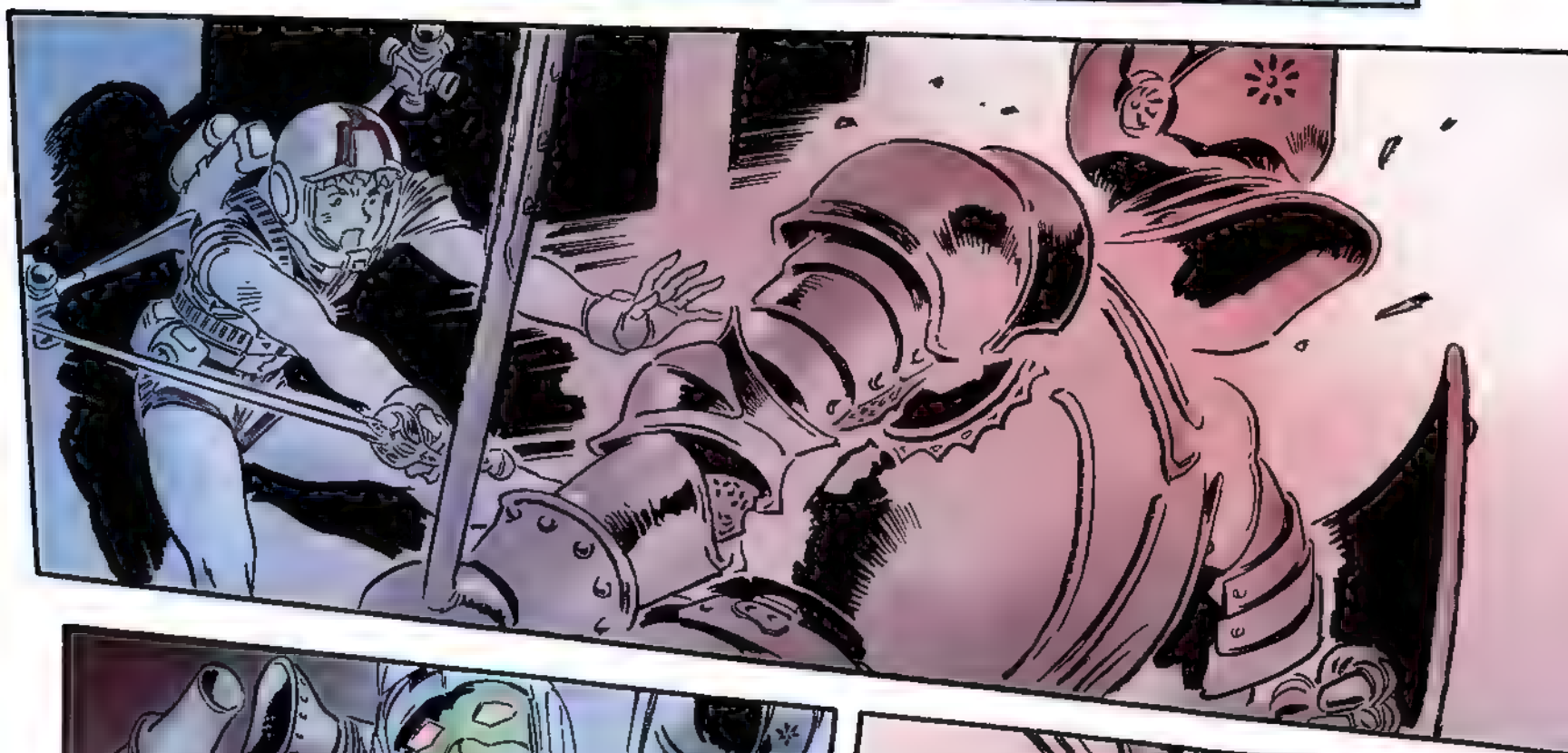
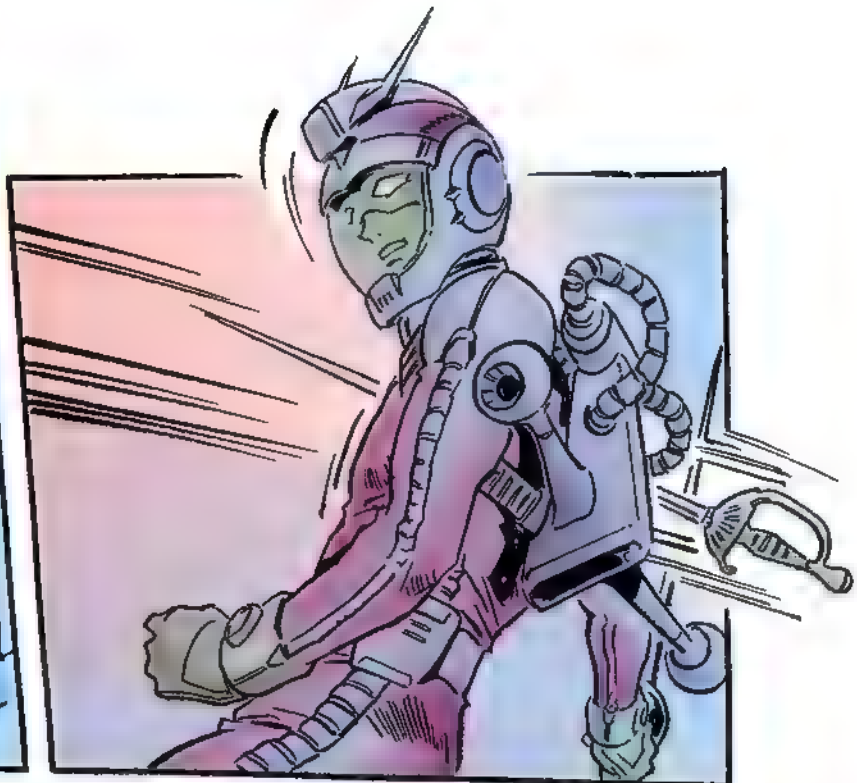
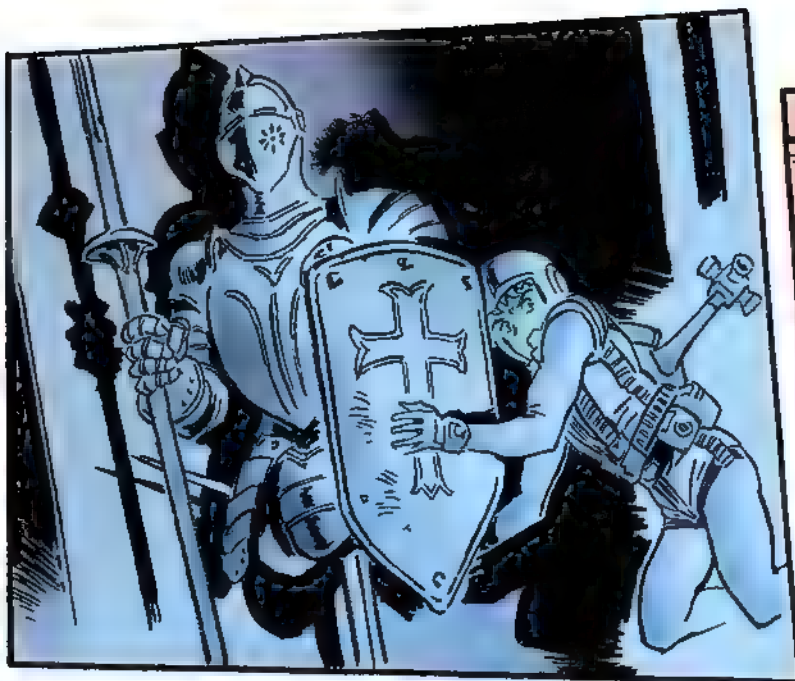
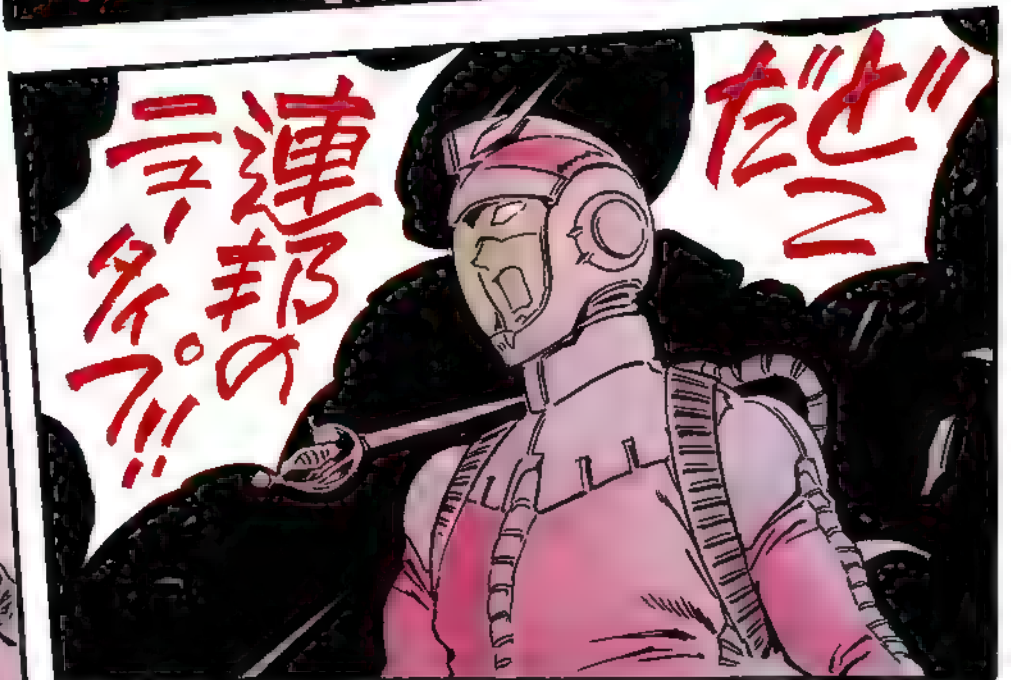
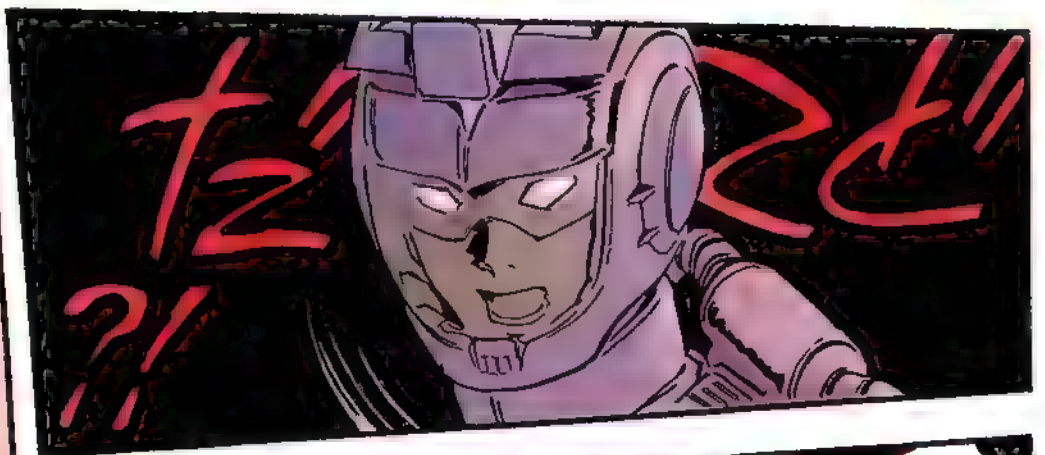
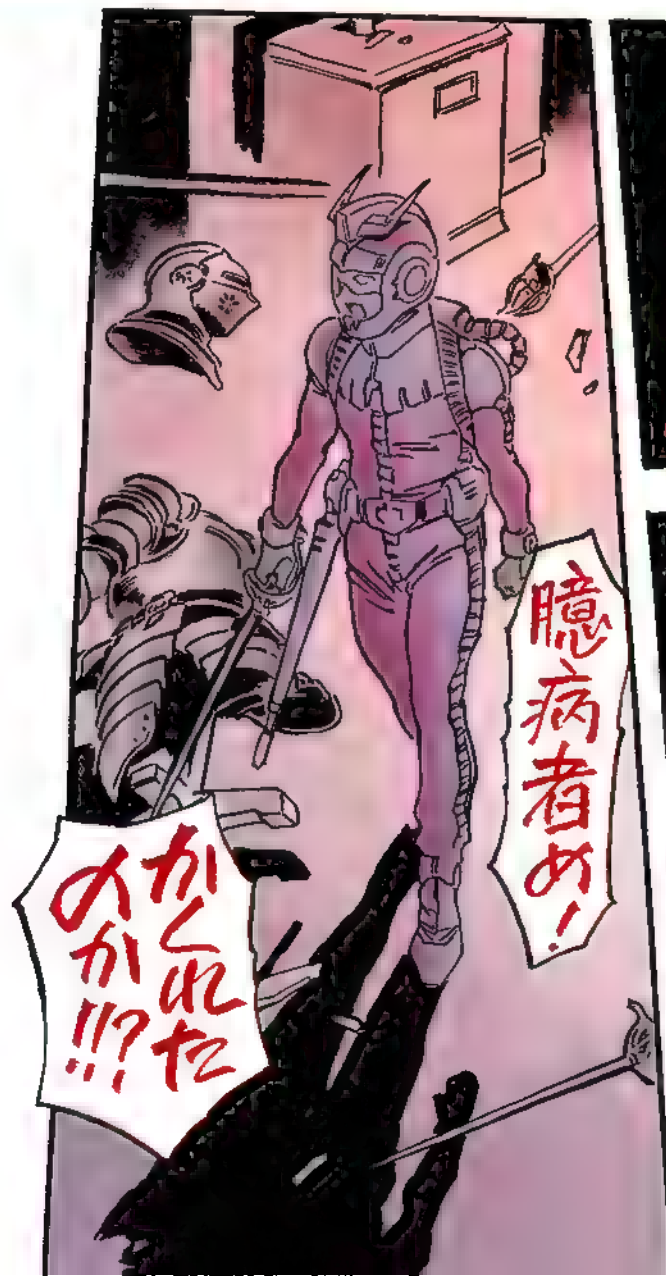
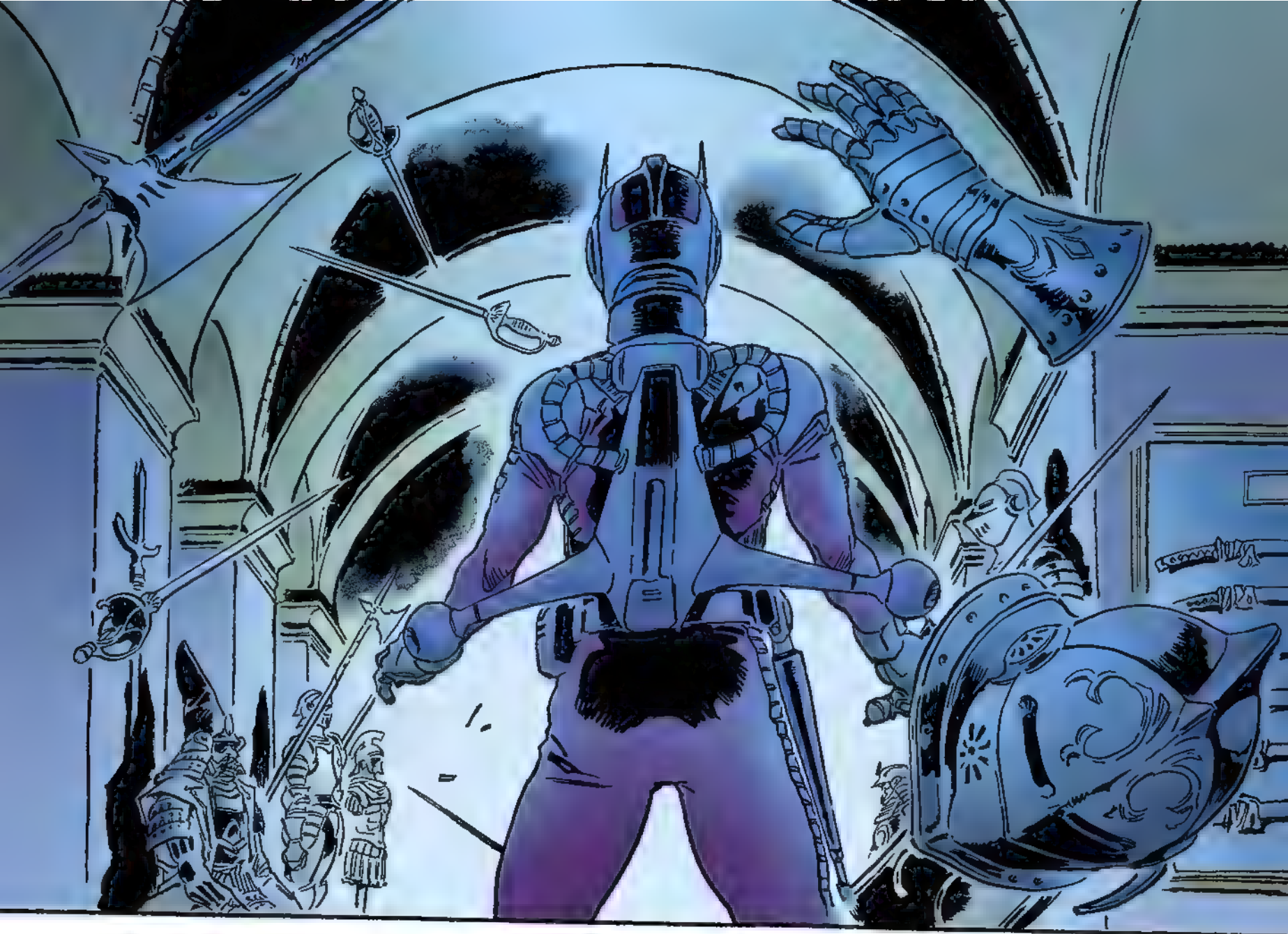
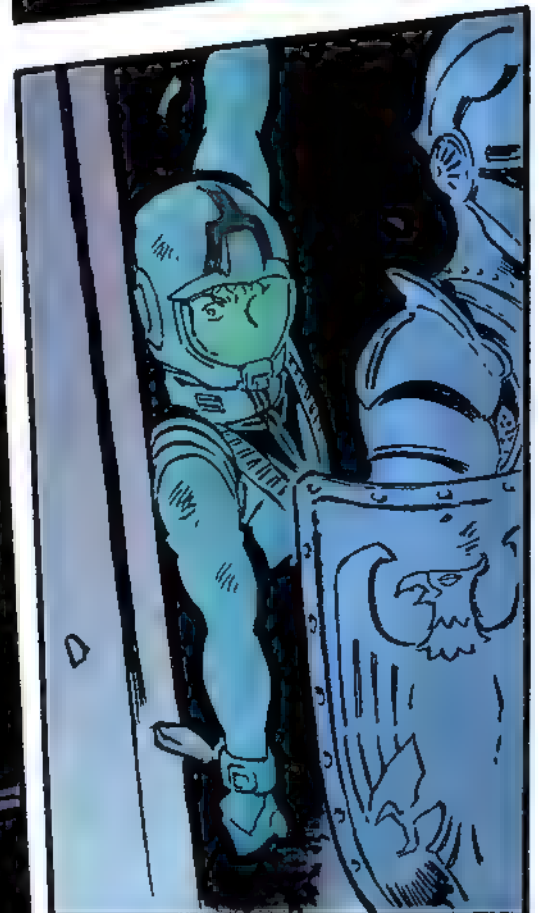
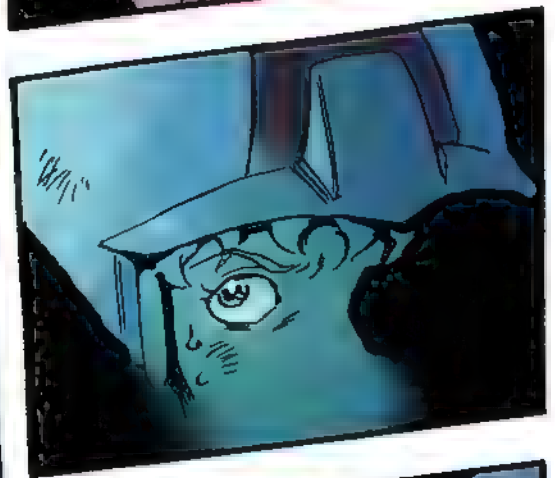
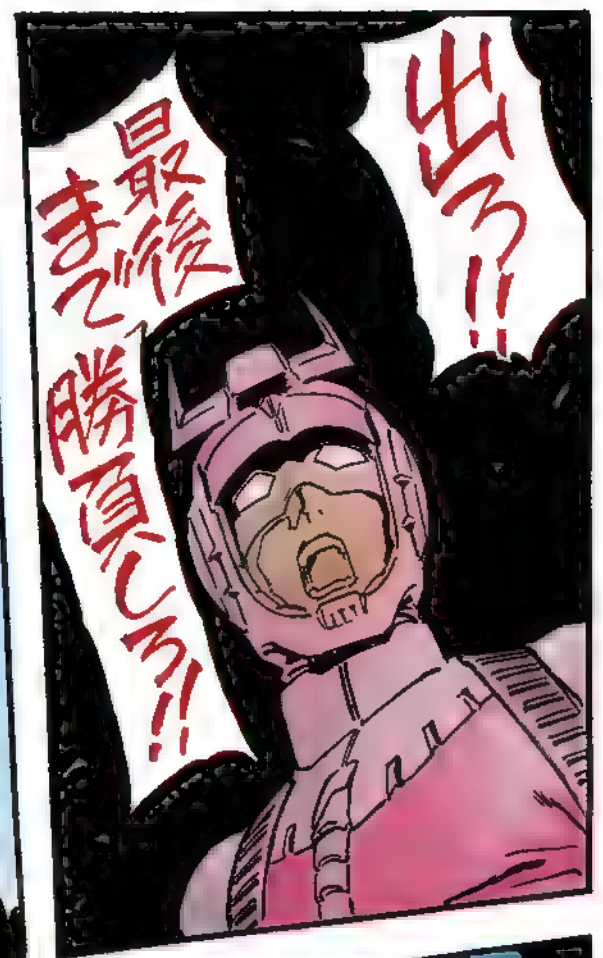
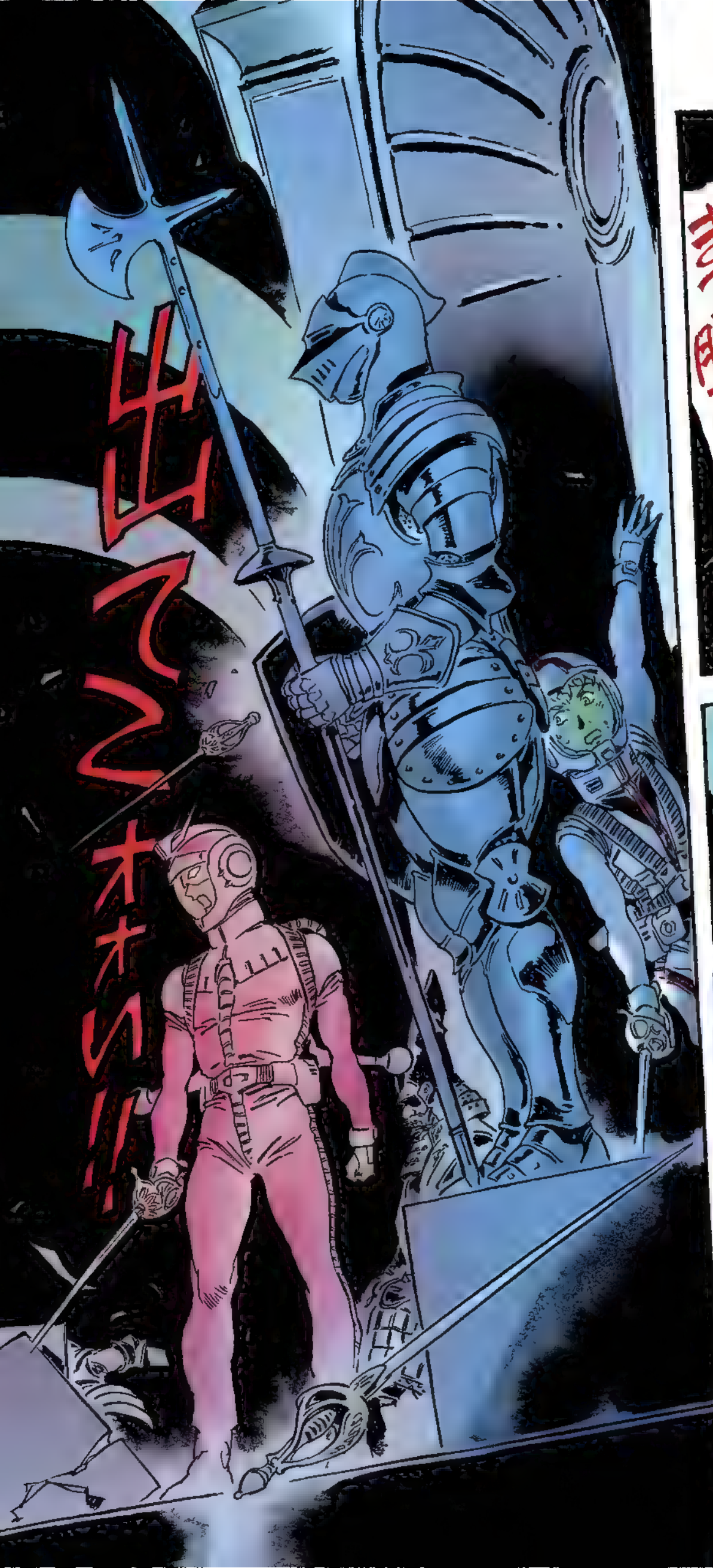
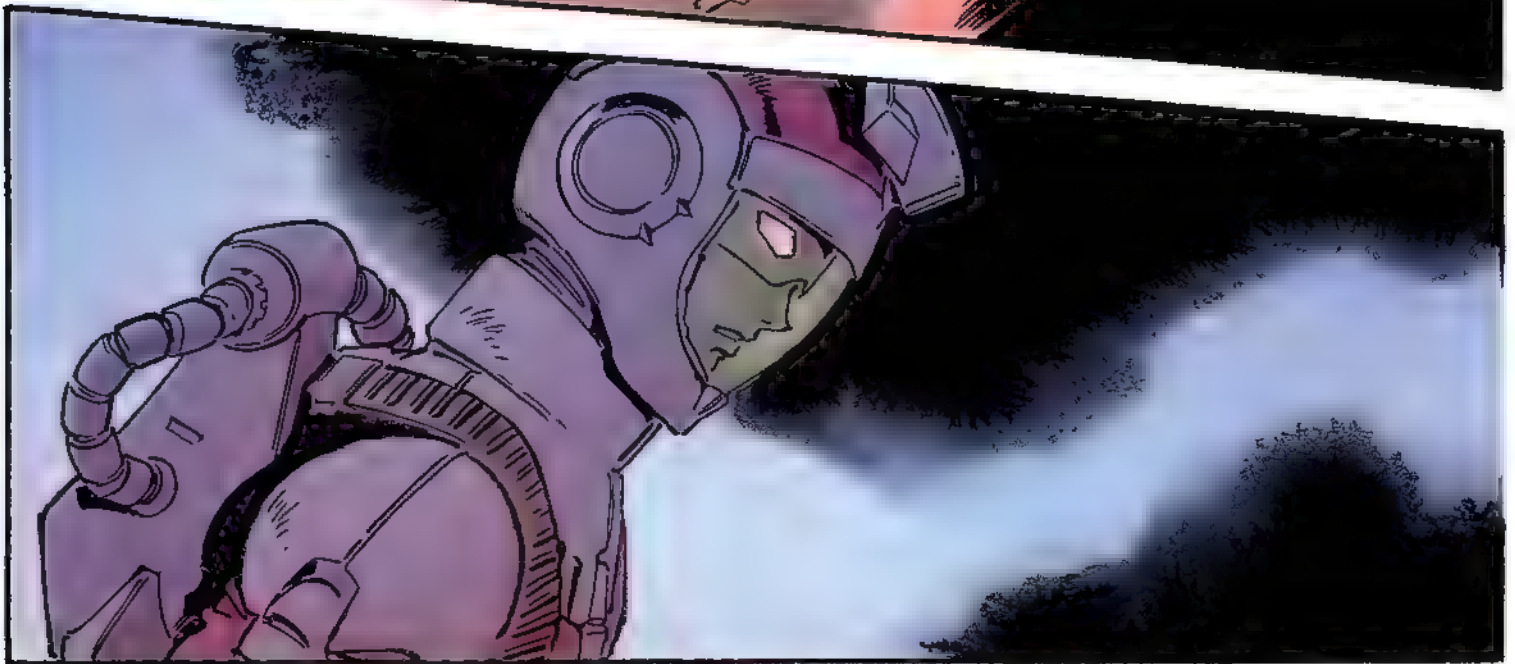
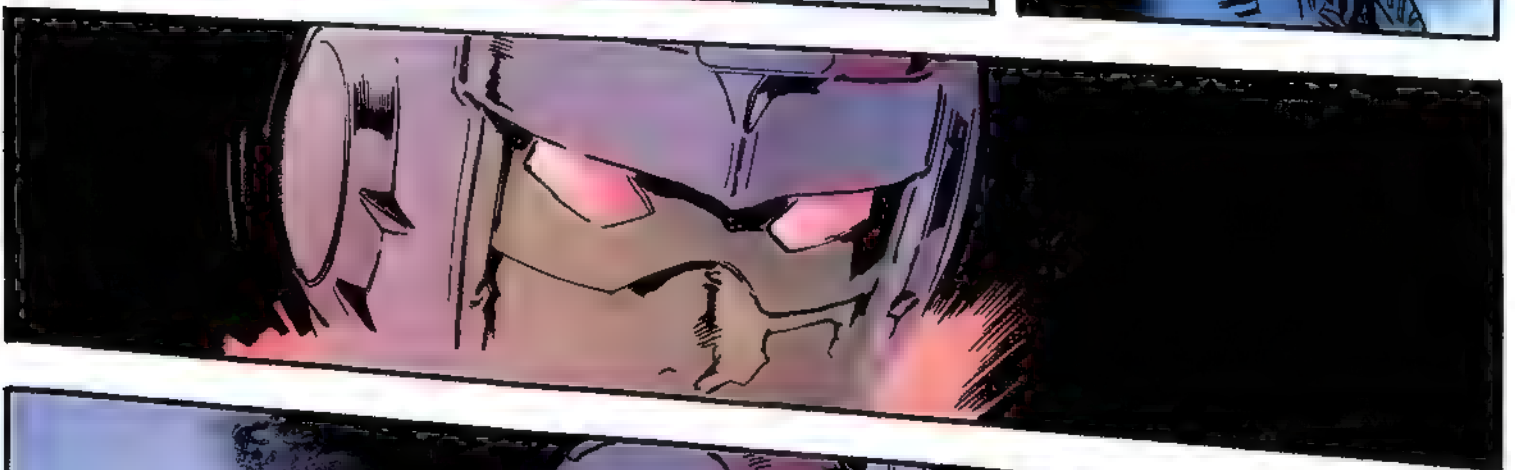
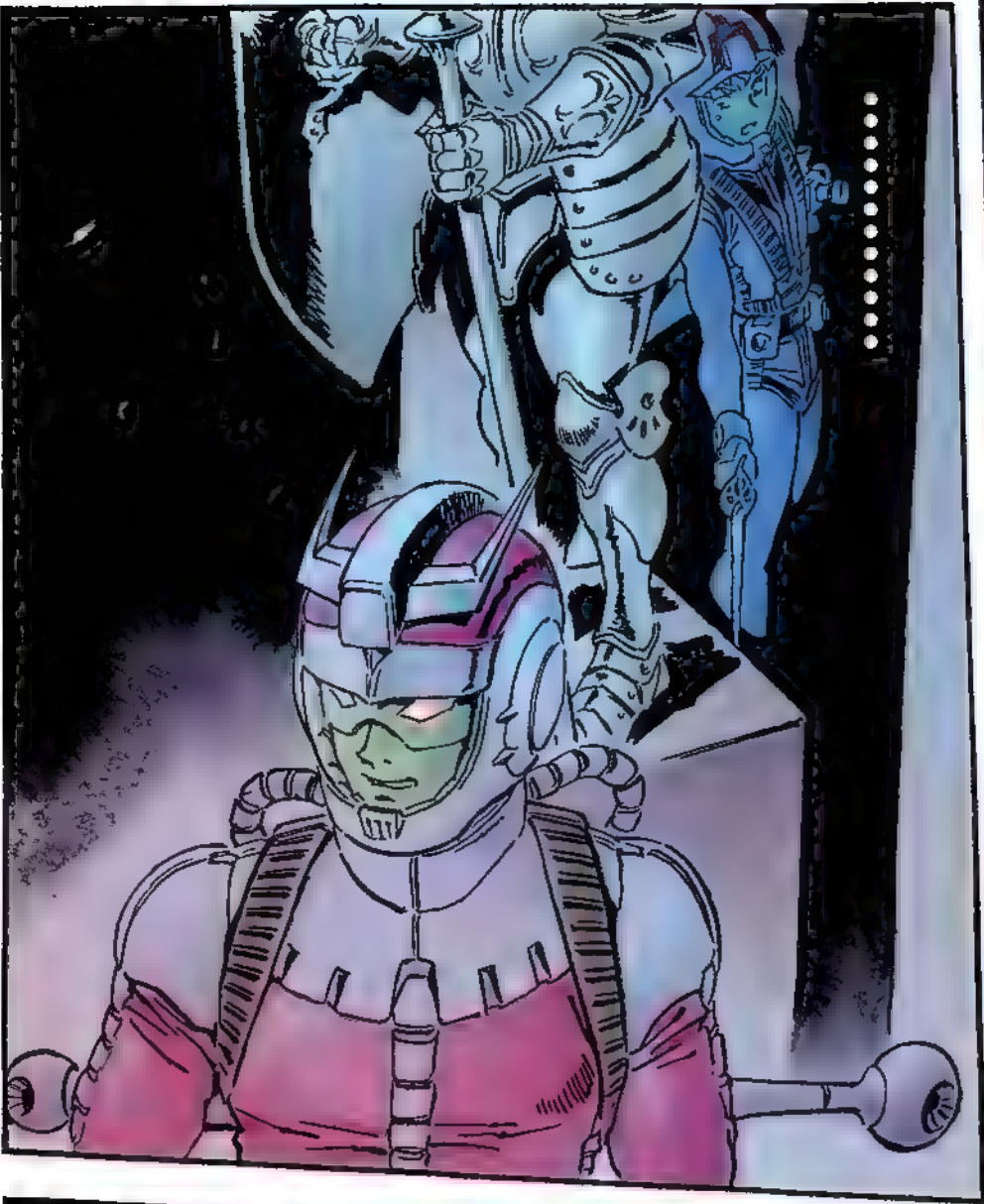
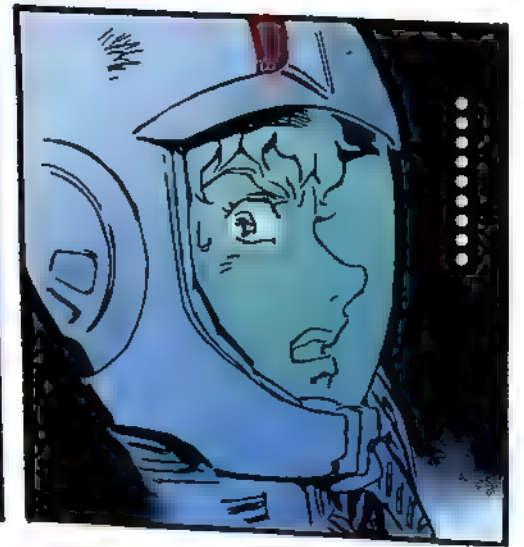
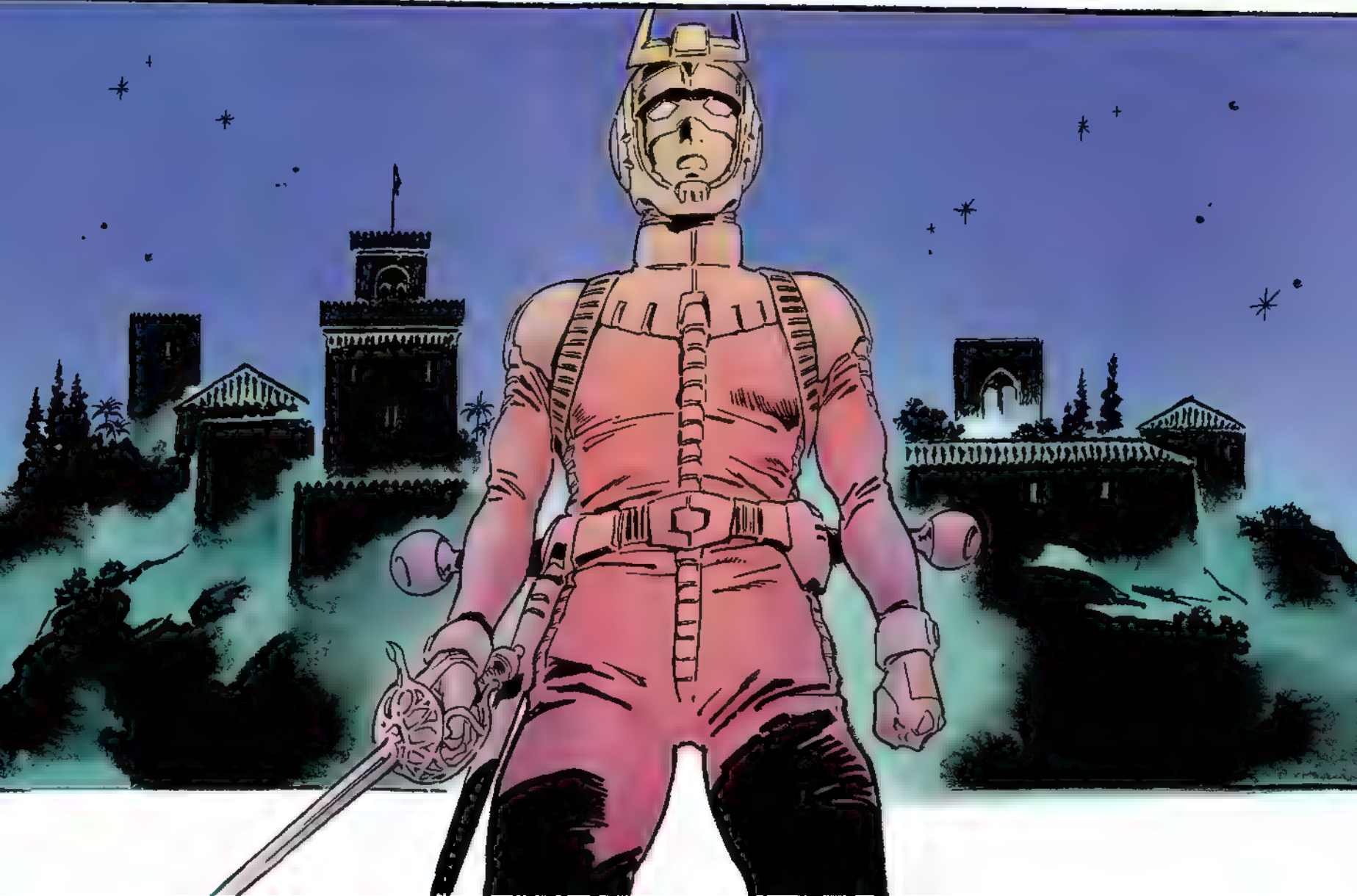
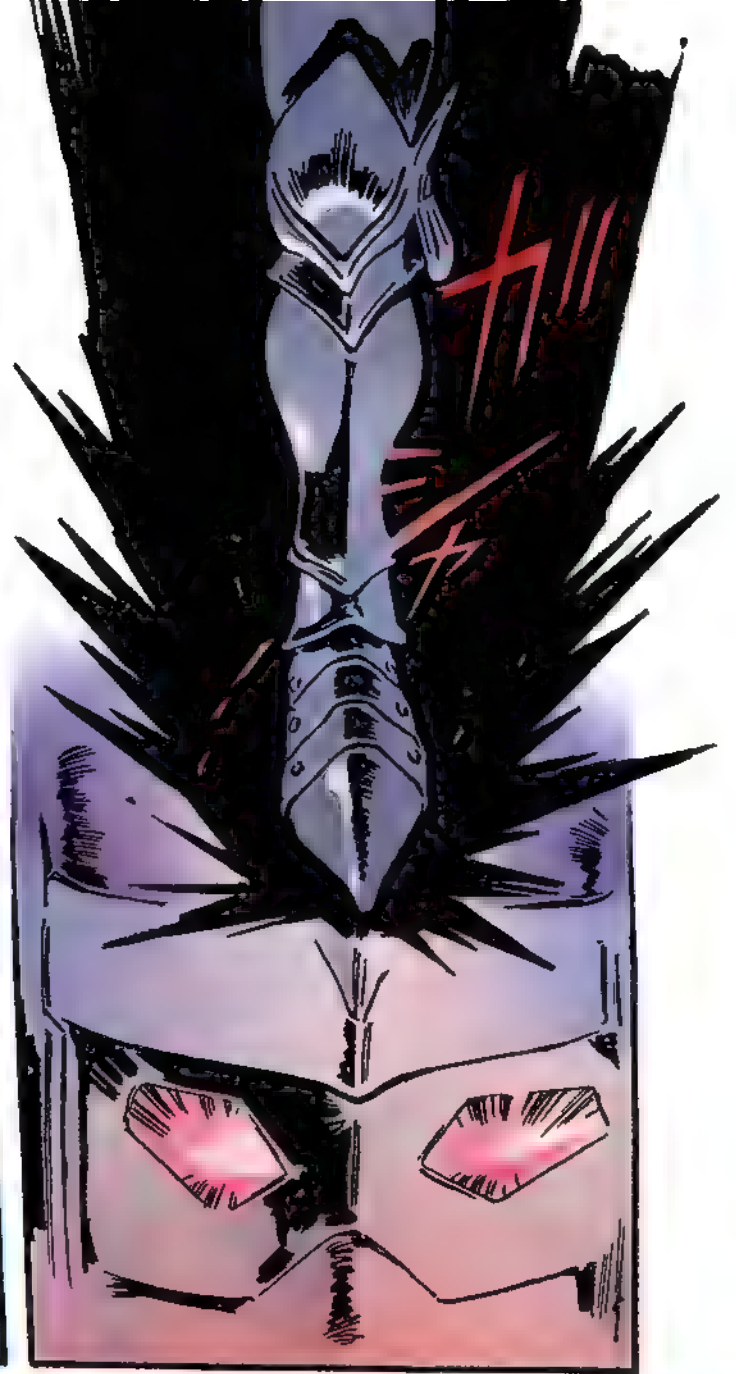
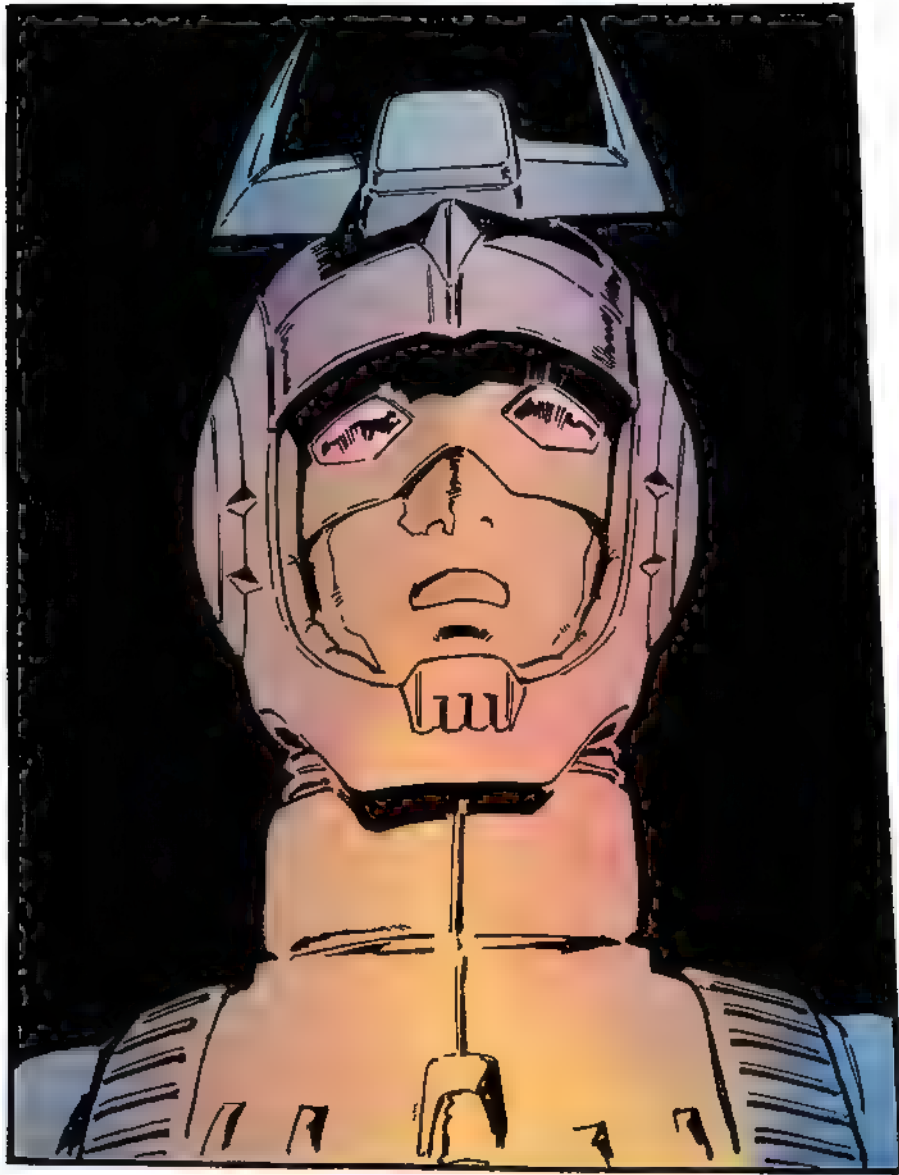
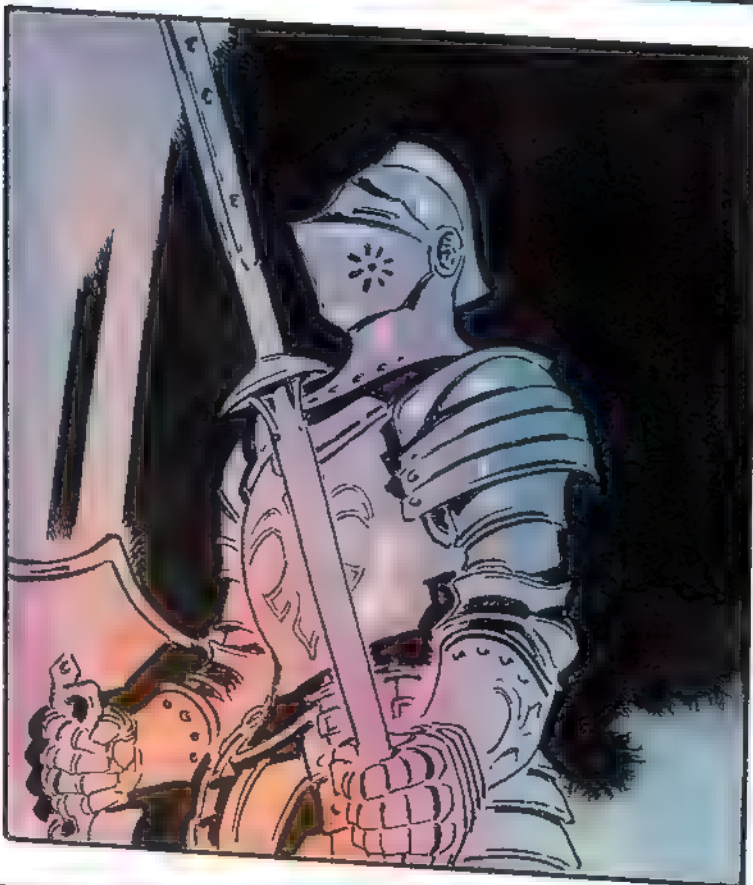
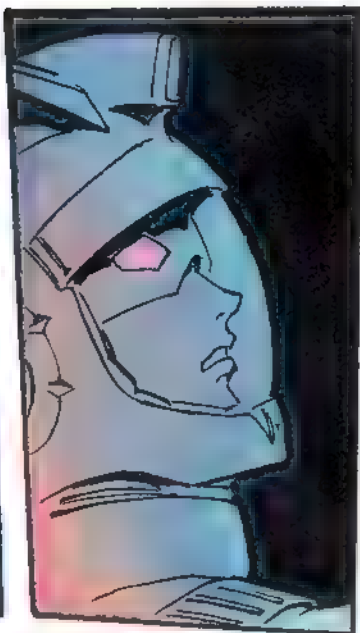
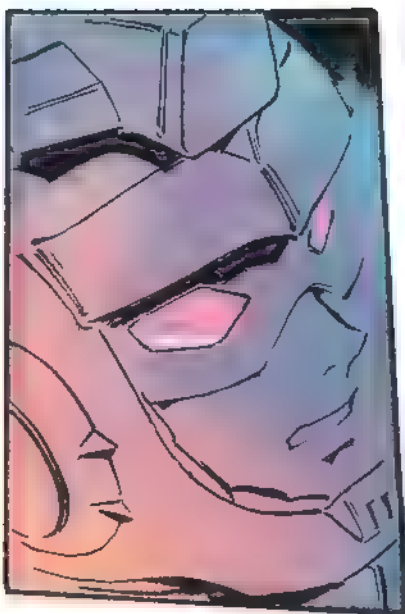
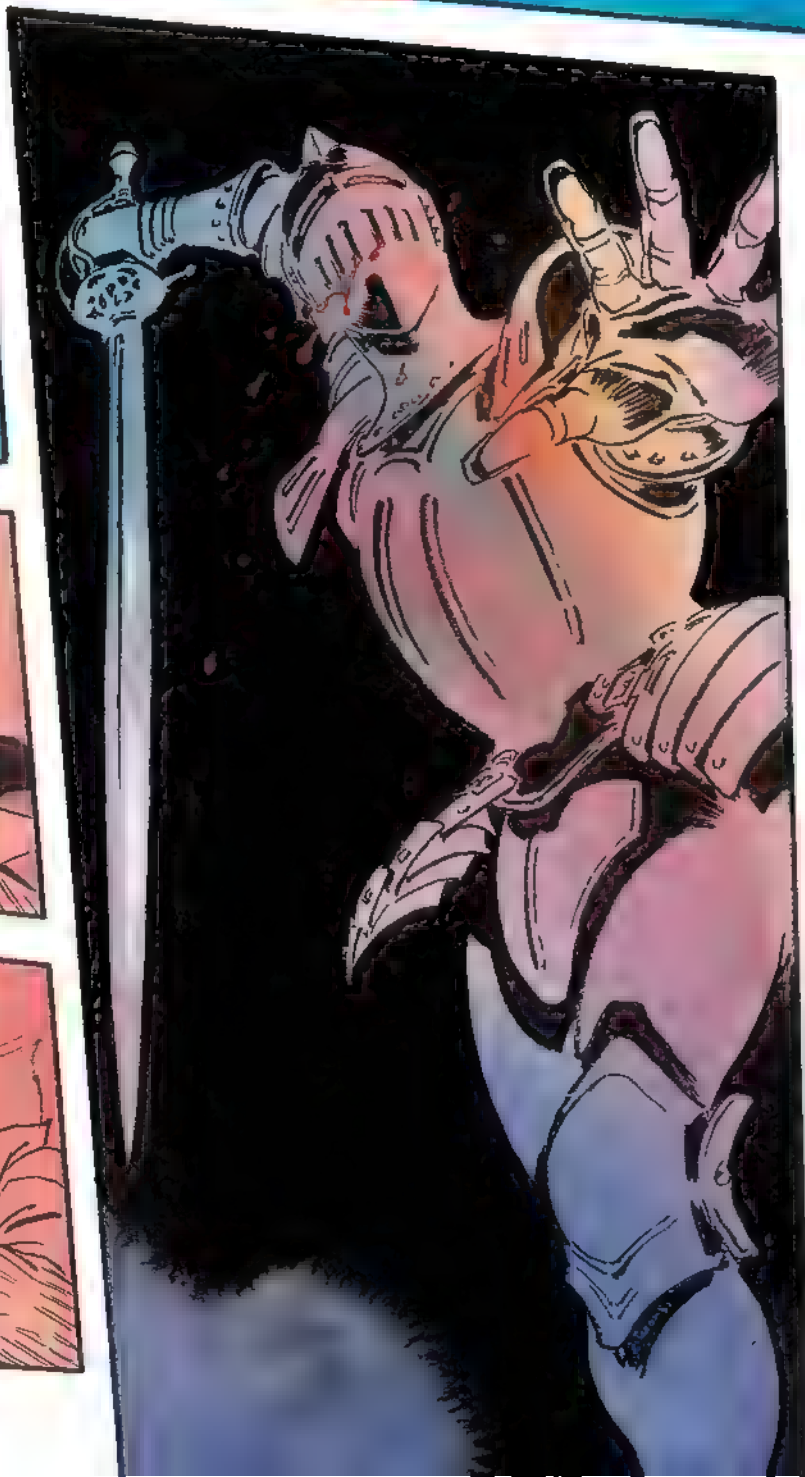
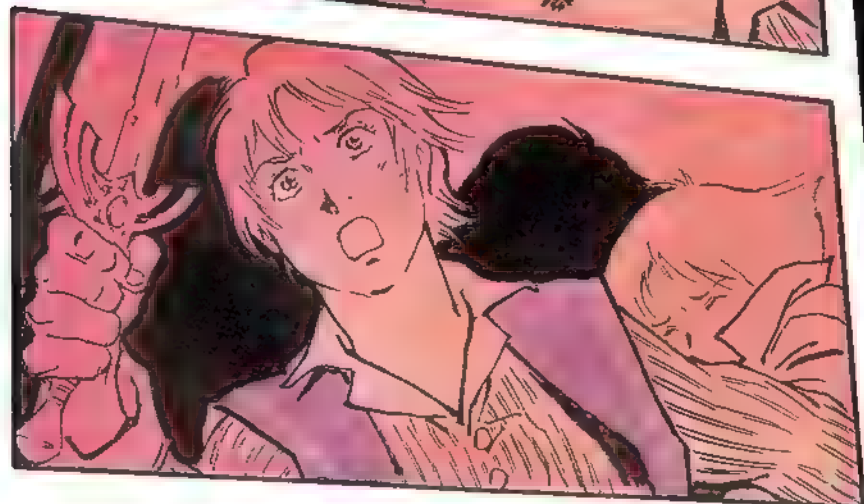
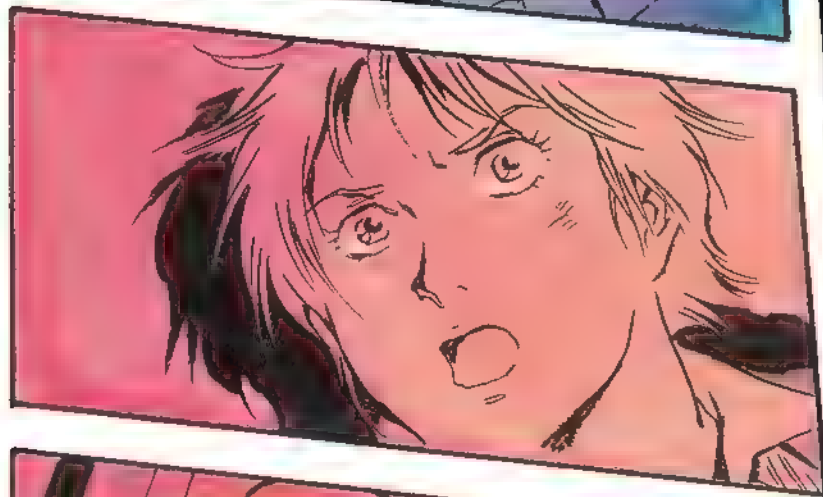
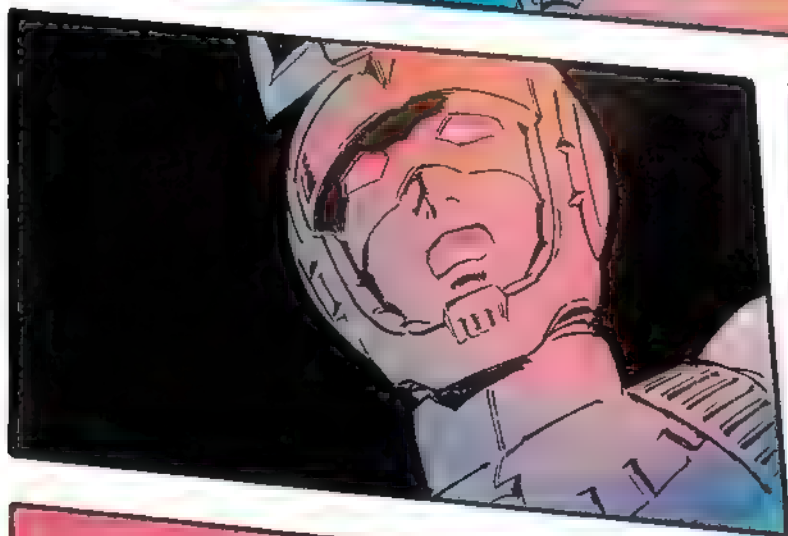
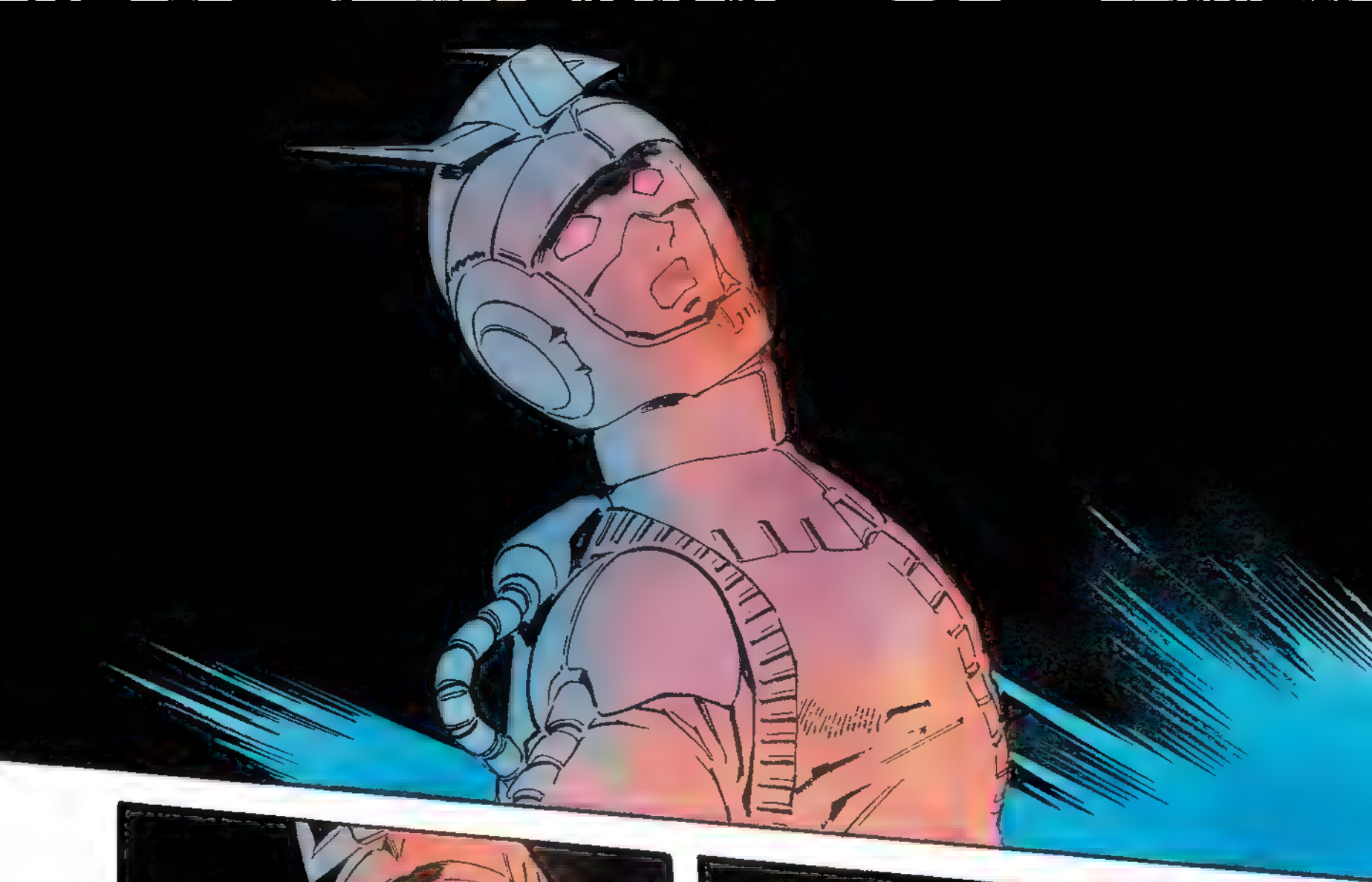
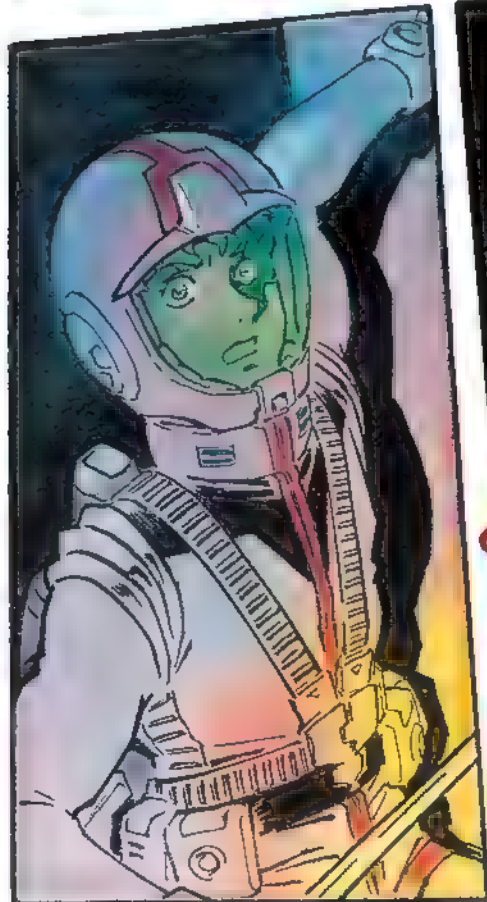
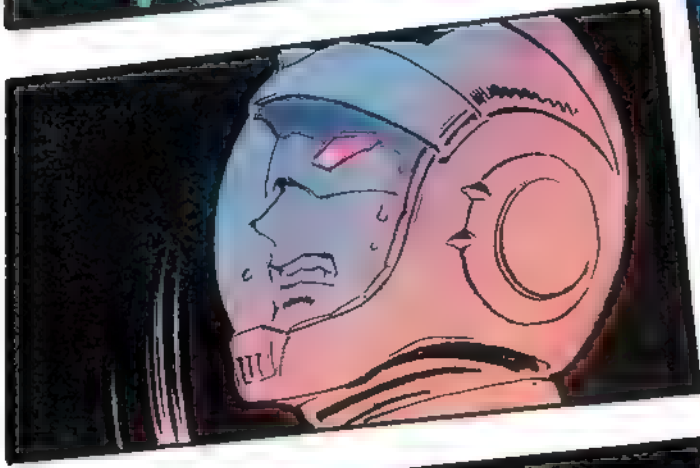
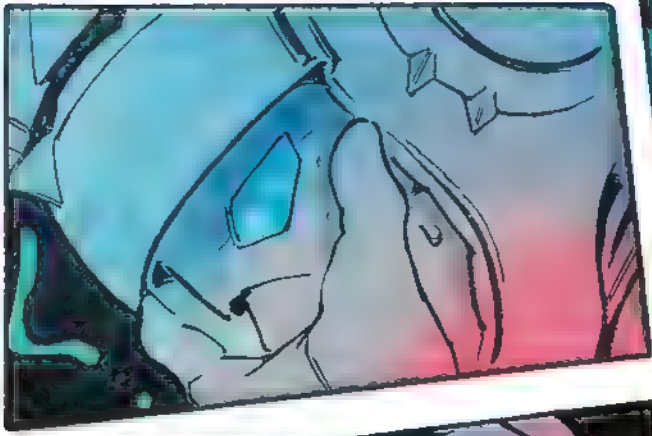
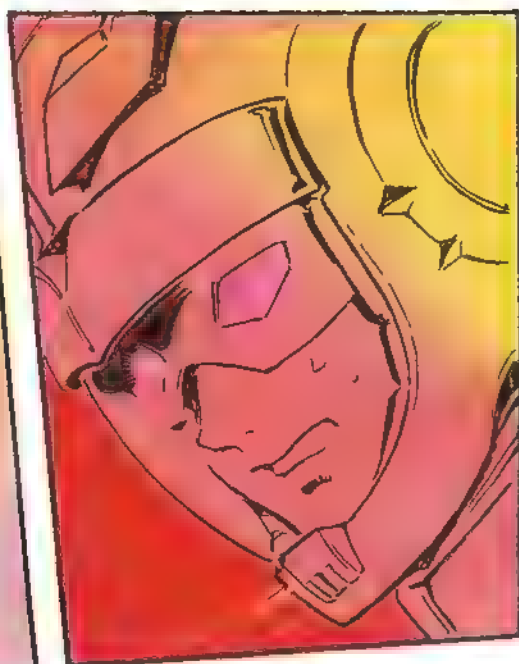
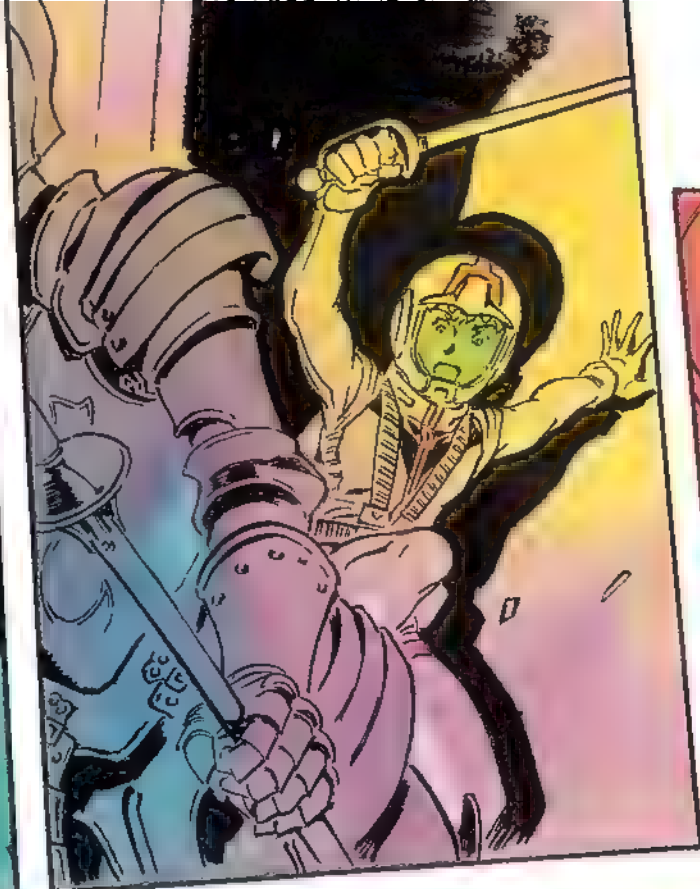
チィン

拾え

どこだ?!
どこだ
連邦のニュータイプ!!
臆病者め!
かくれたのか!!?

出ろ!!
最後まで勝負しろ!!
出てこォい!!

ガ

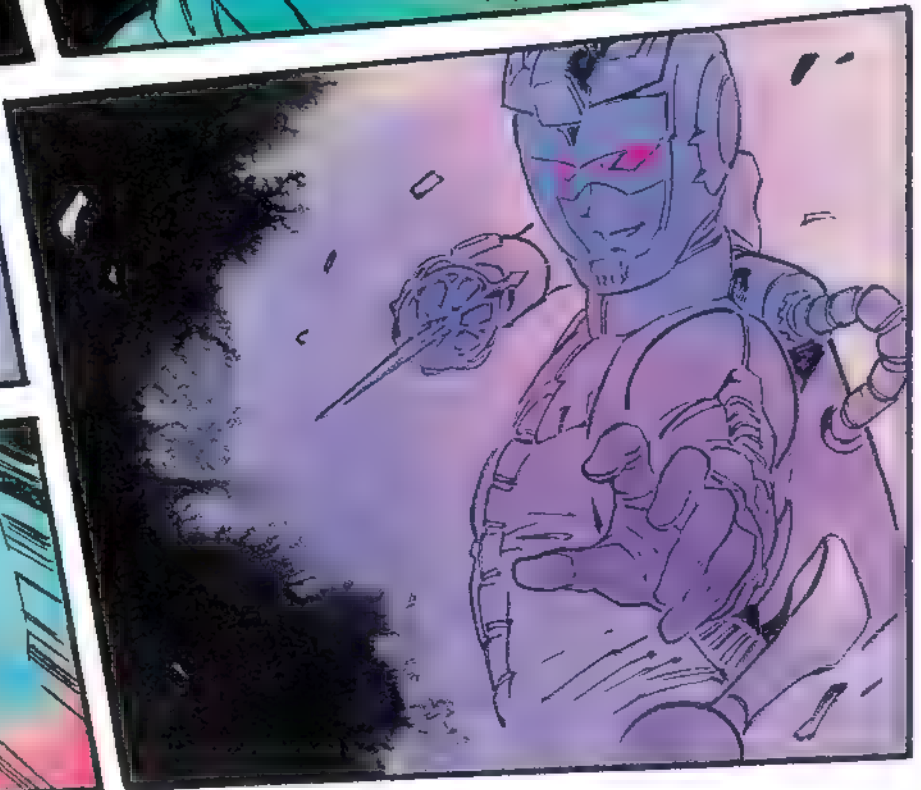
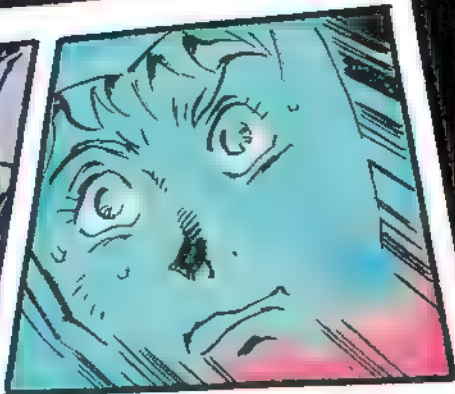
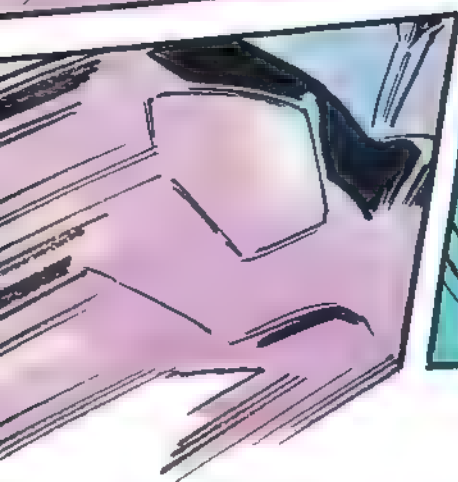
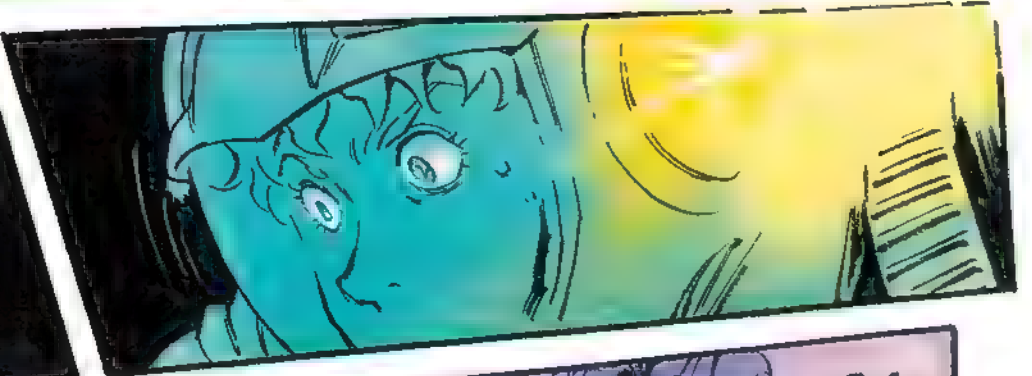
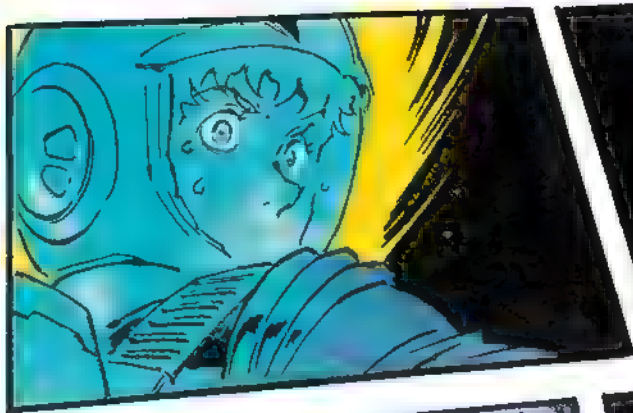
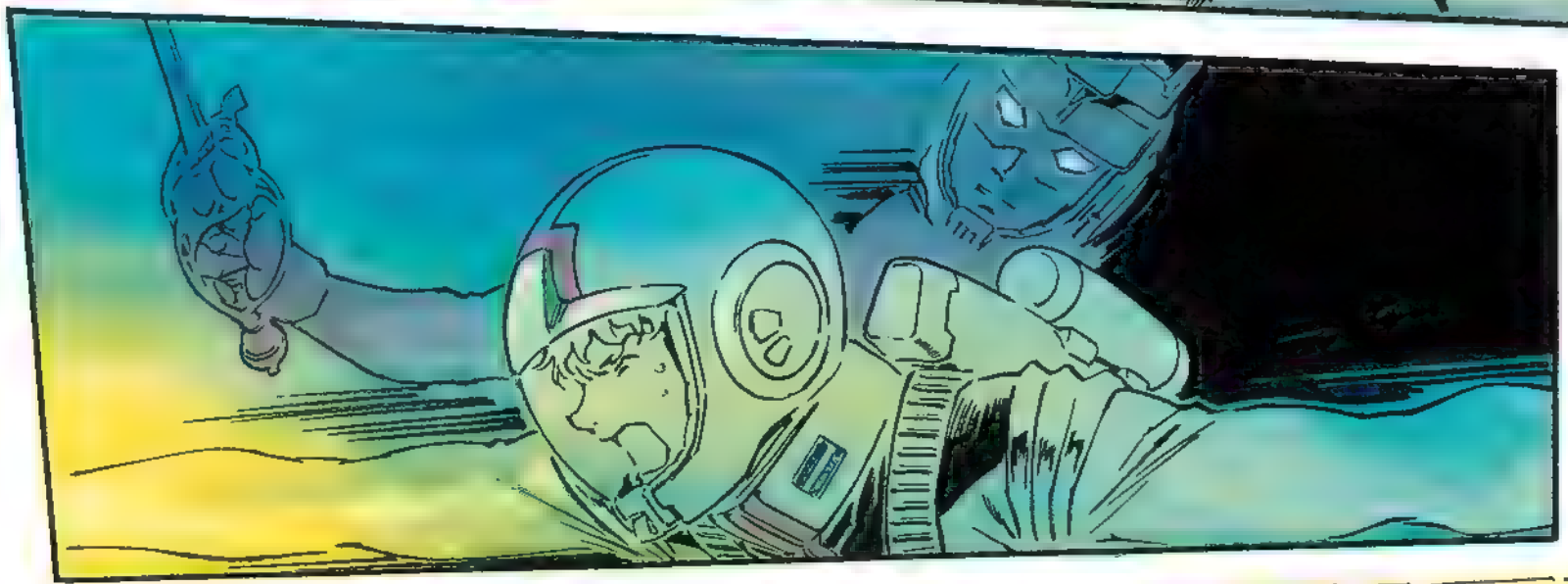
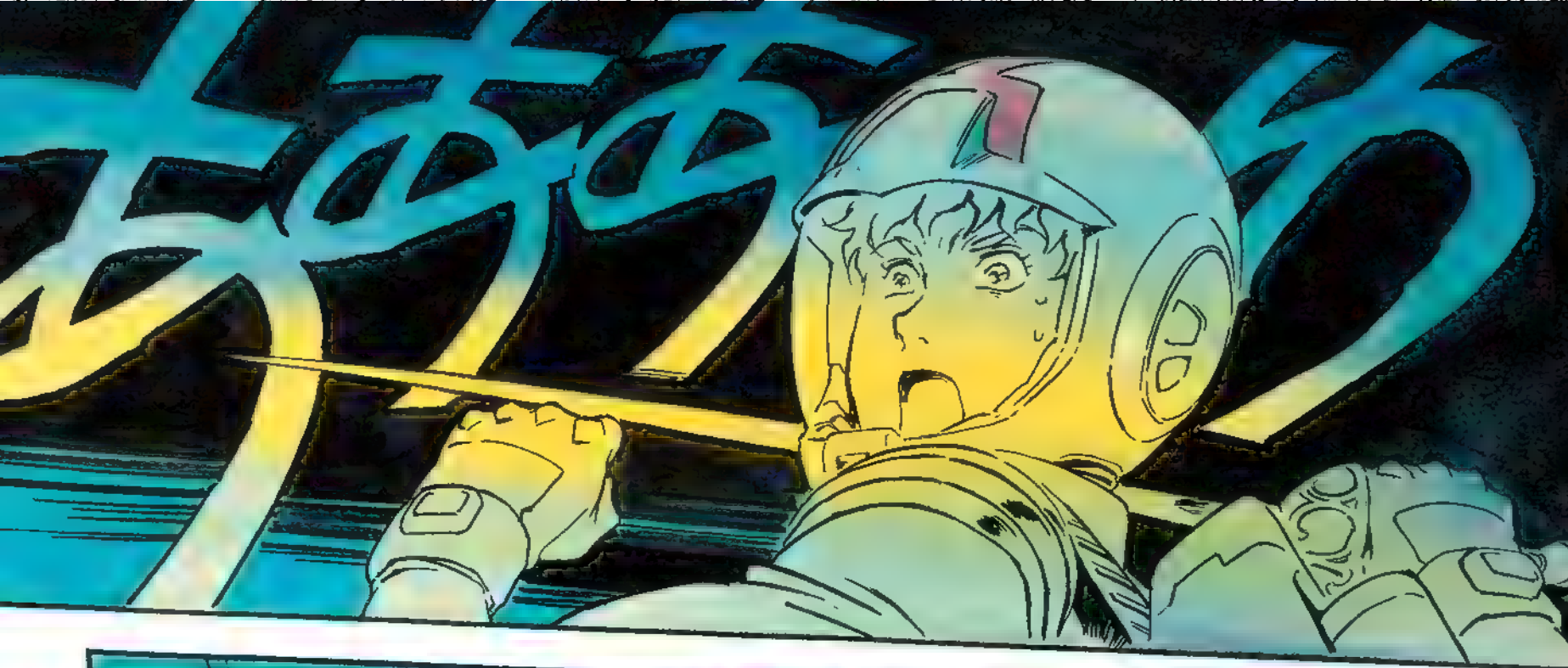
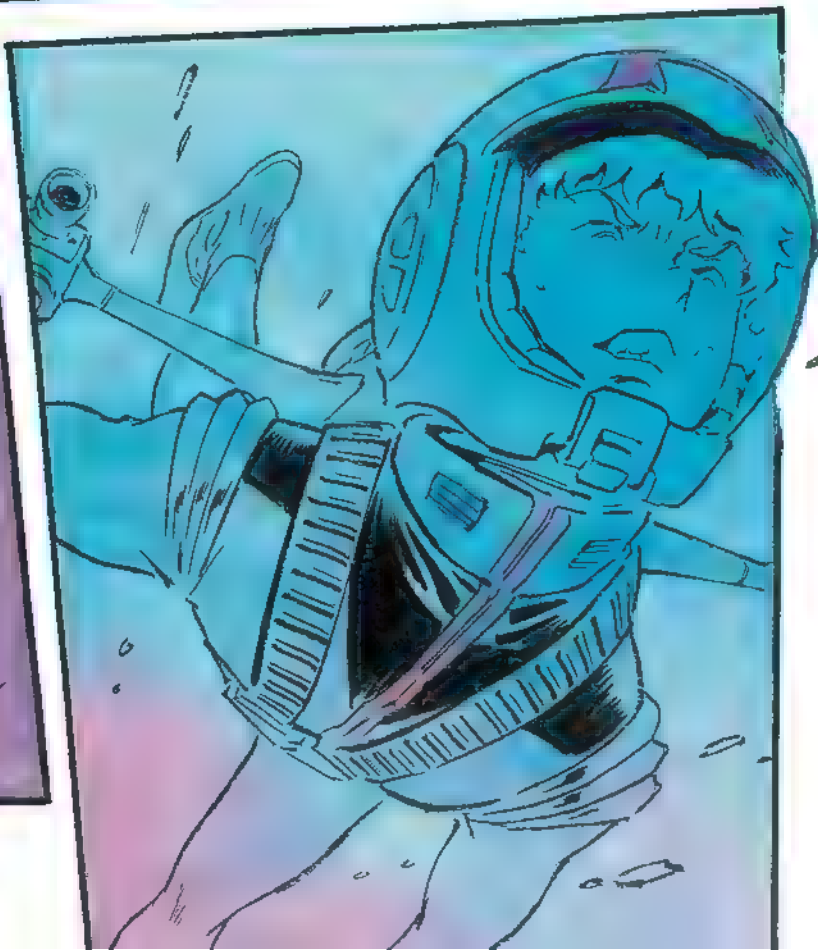
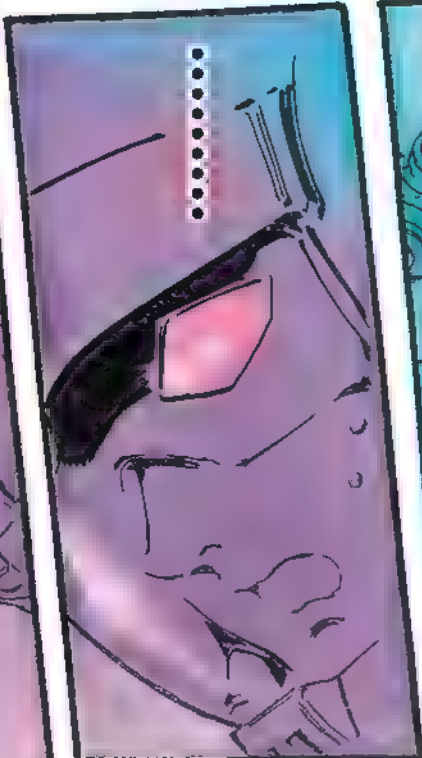
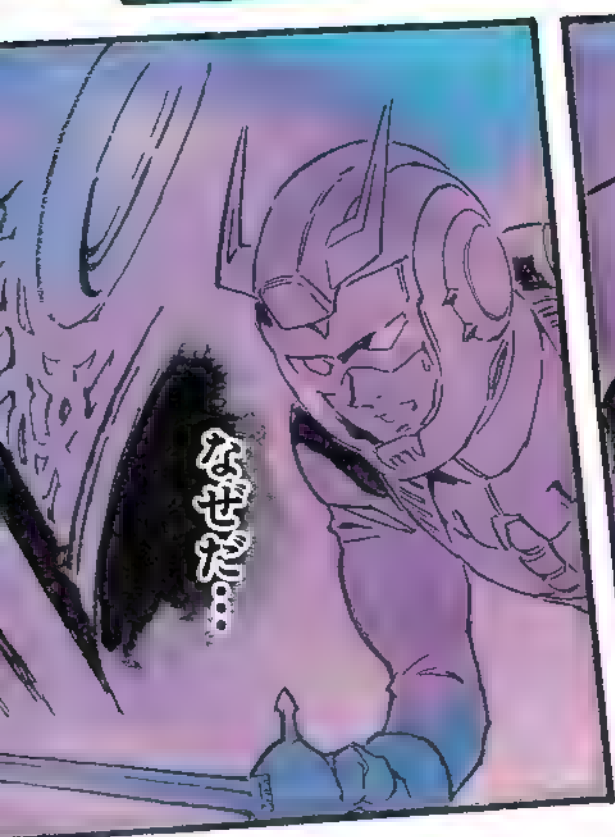
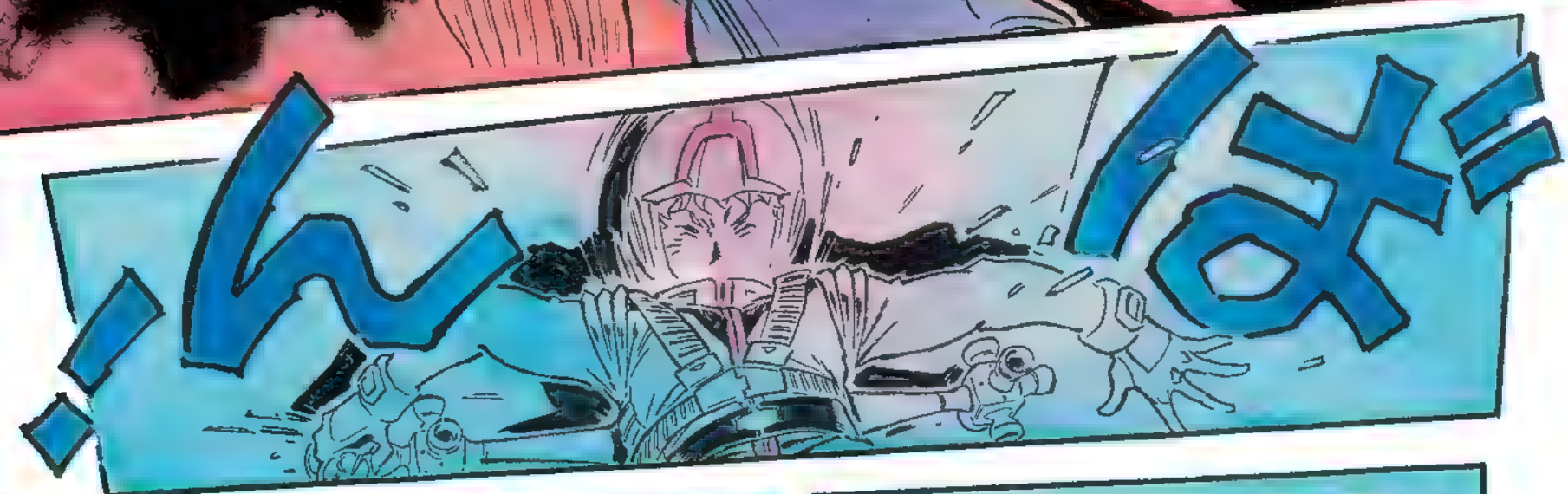
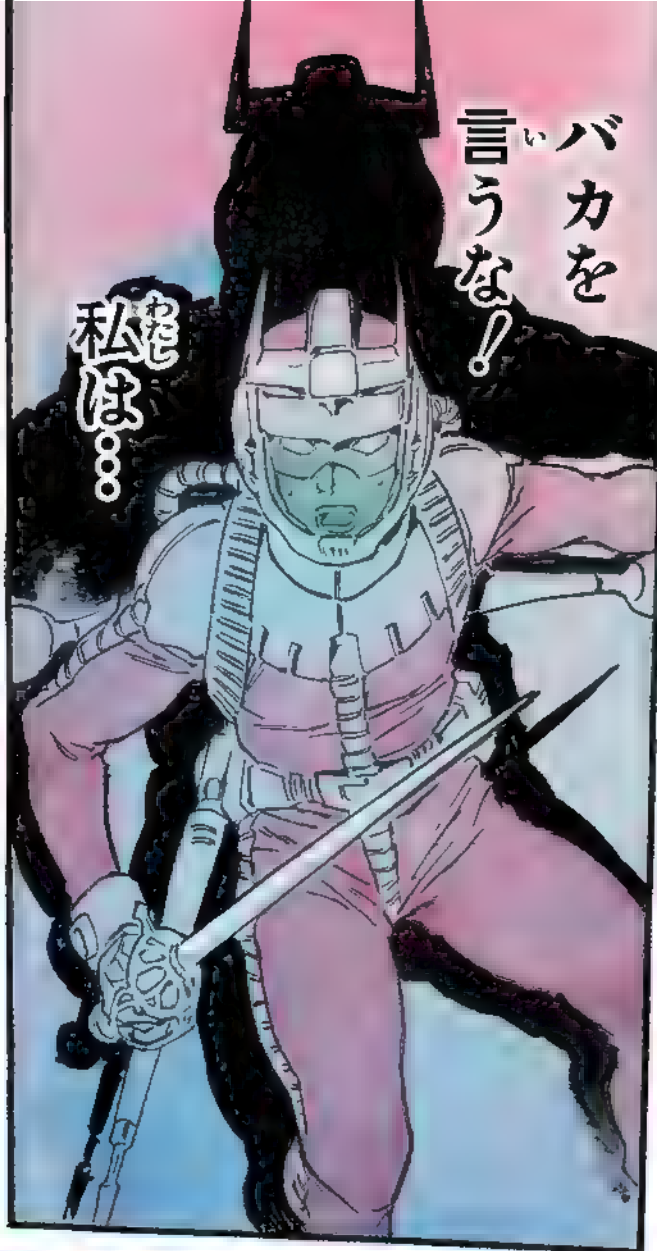
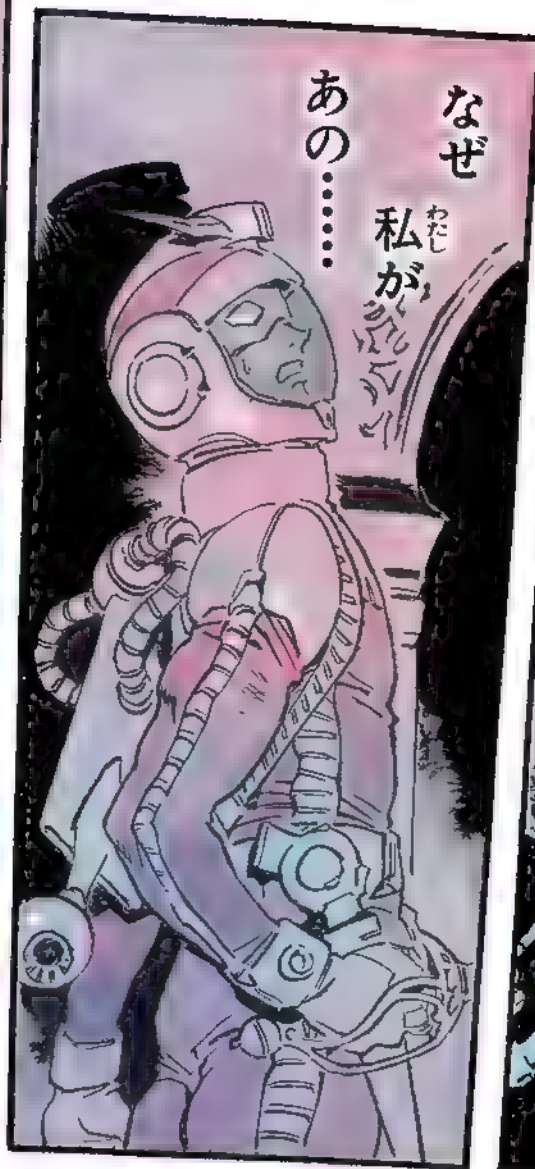
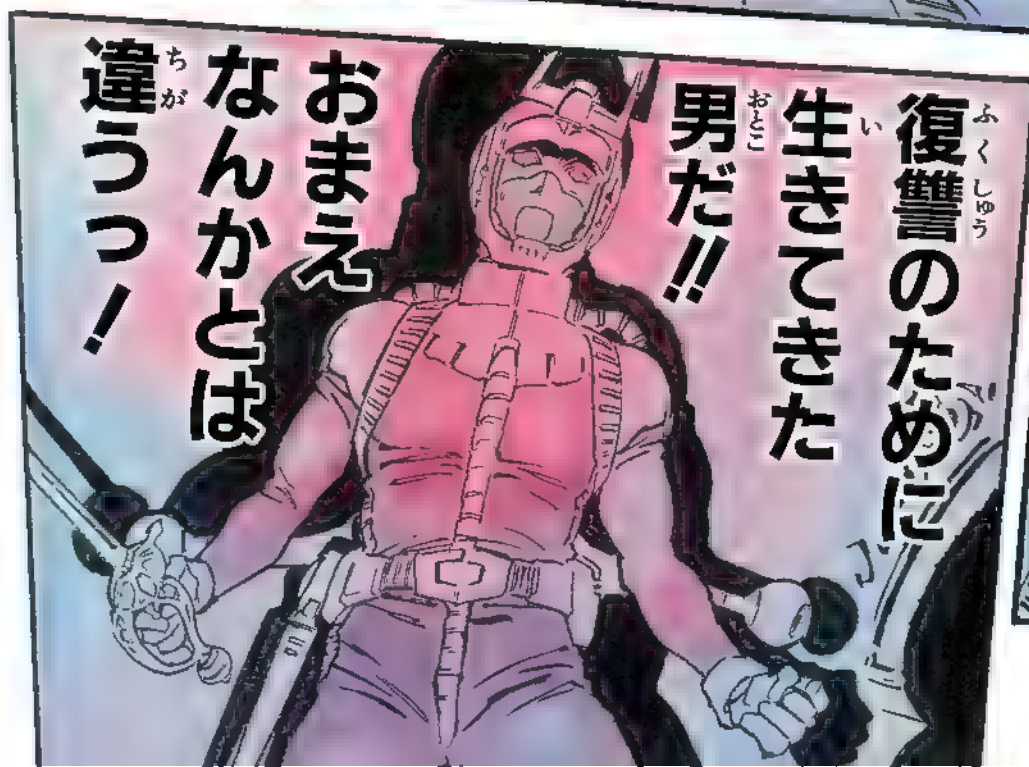
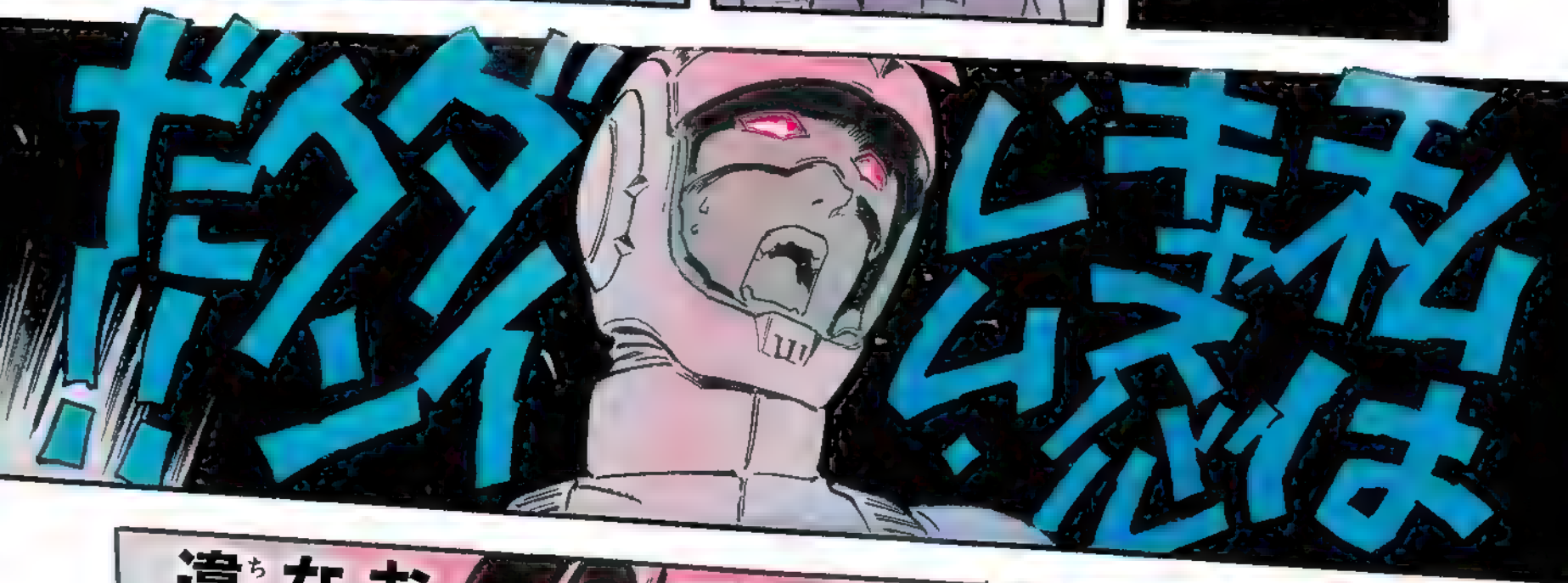
あお!
おおお!

―めぐりあい宇宙編―
SECTION
IV

ばん
……
なぜだ……

なぜ
私が
あの……

バカを
言うな!
私は…

私は
キャスバル・レム・ダイクン!!

?!!

復讐のために
生きてきた
男だ!!
おまえ
なんかとは
違うっ!

やめろオ!!!

おまえは私ではないっ!!
私の心を乱すな!

私の哀しみも恨みもなにも知らないくせに!!!

ガシャ

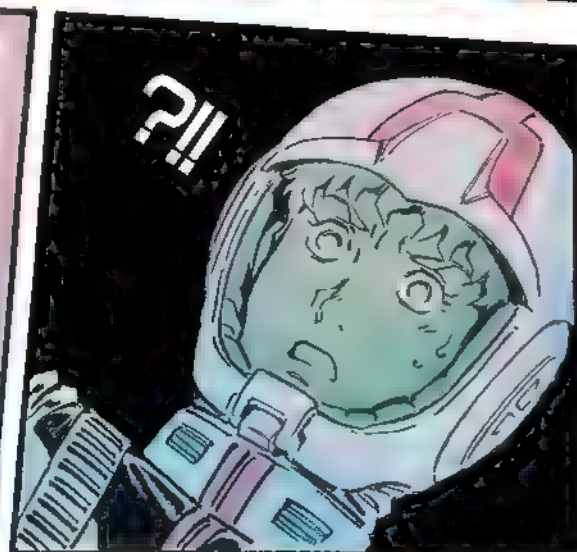
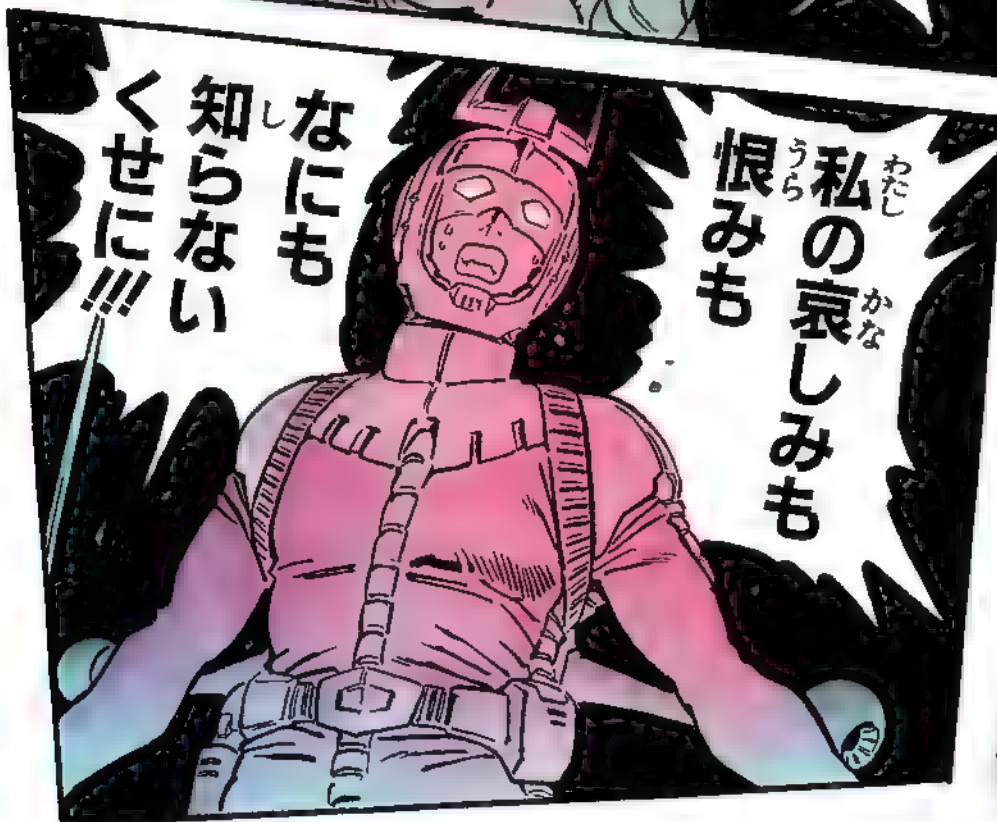
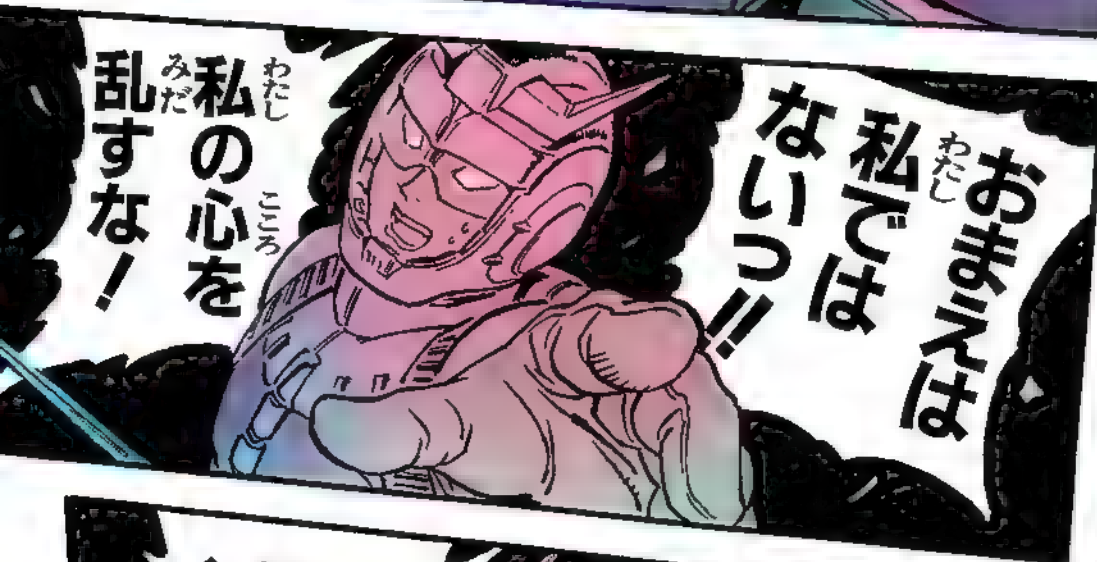
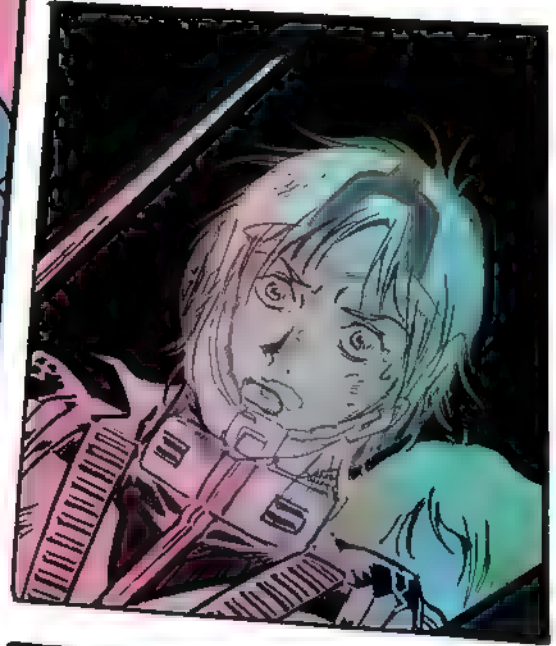
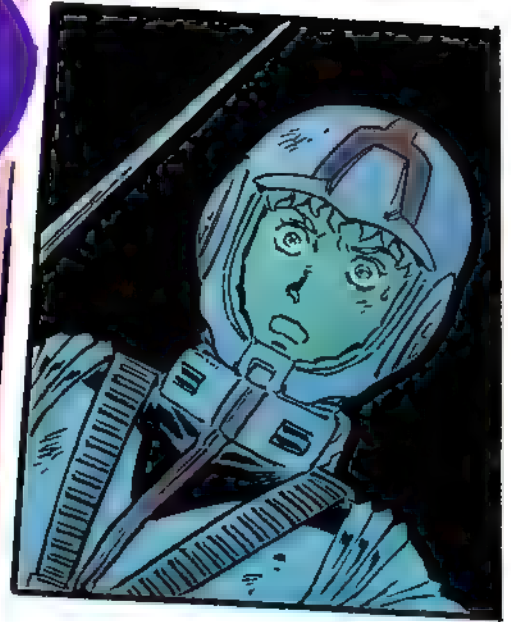
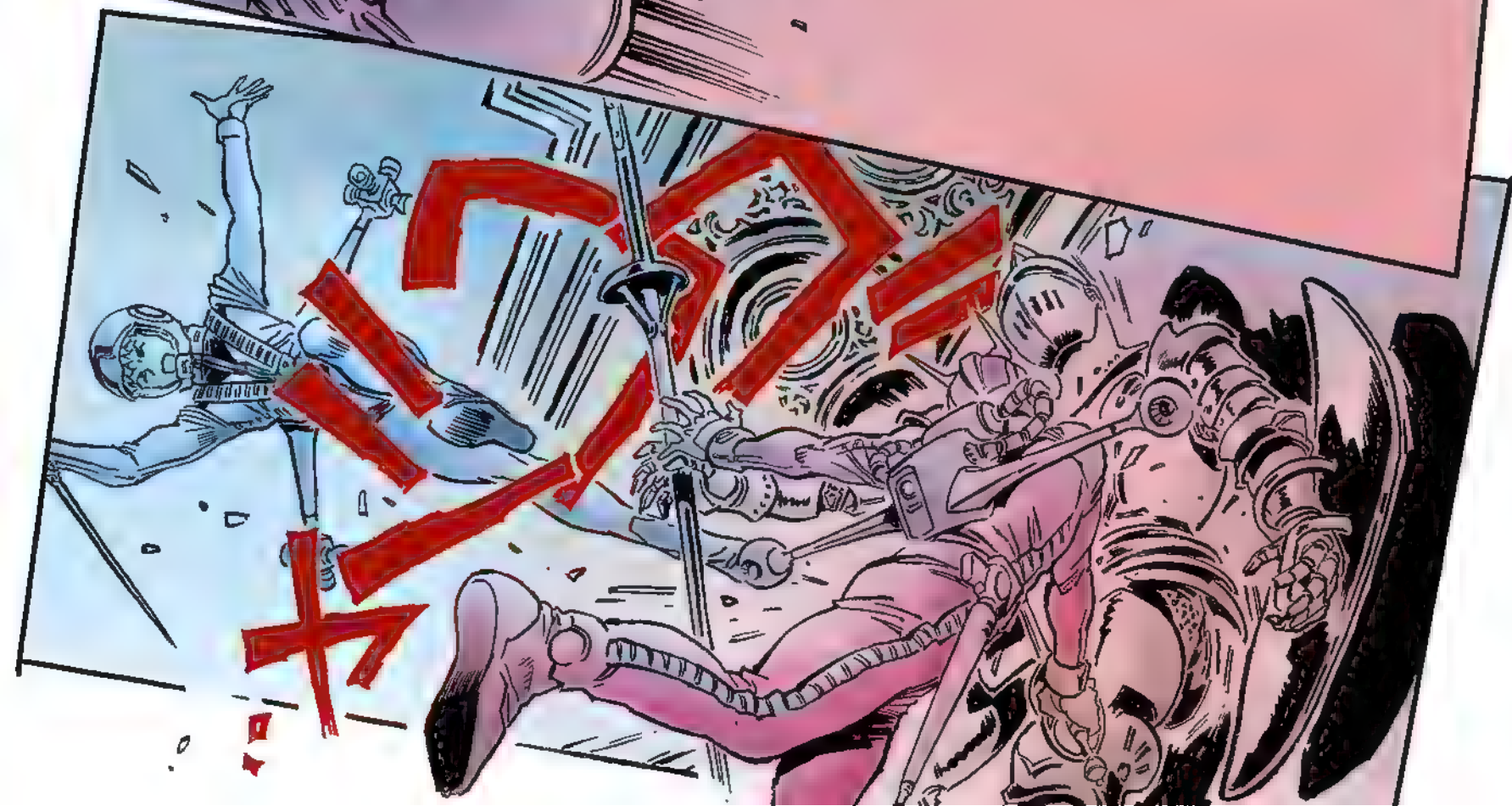
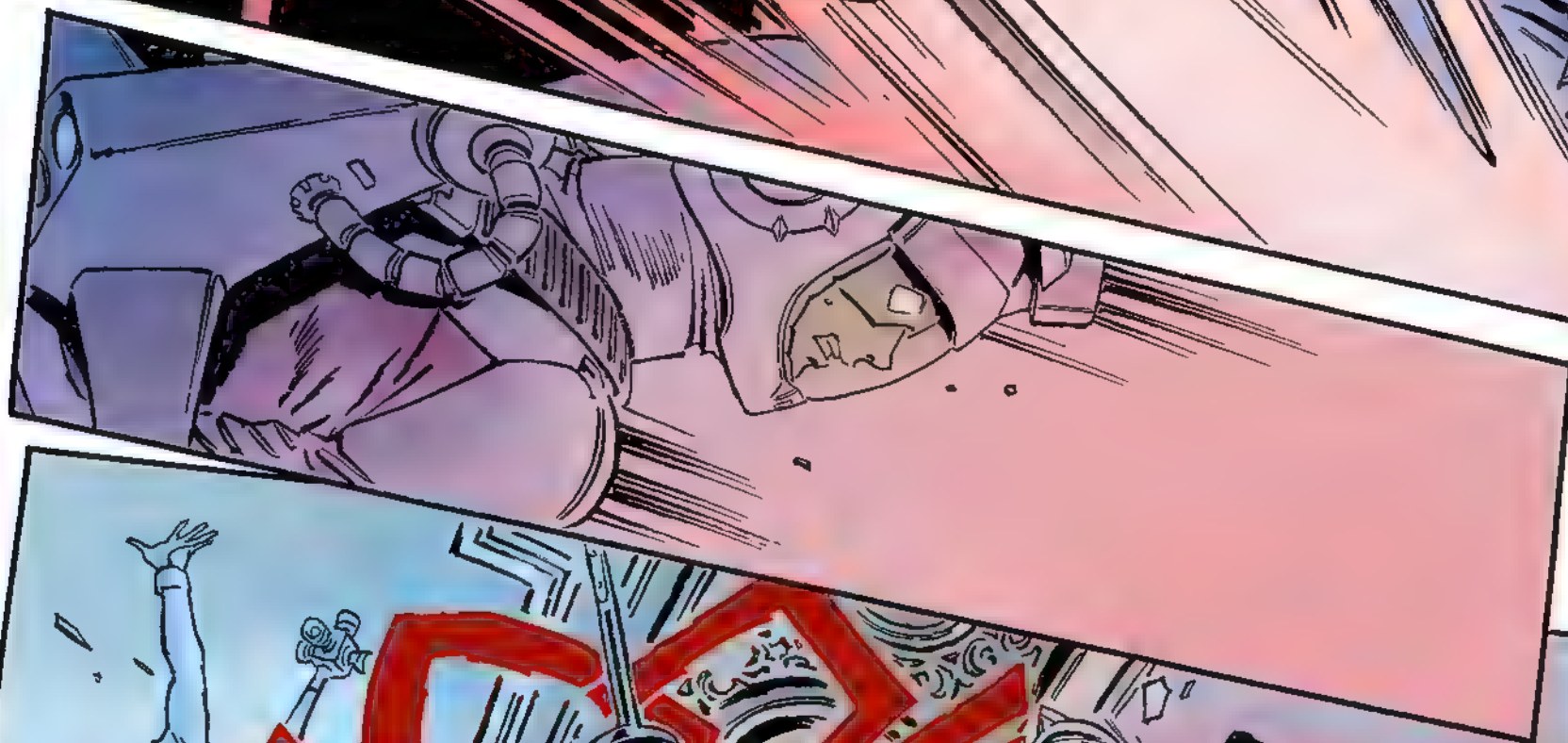
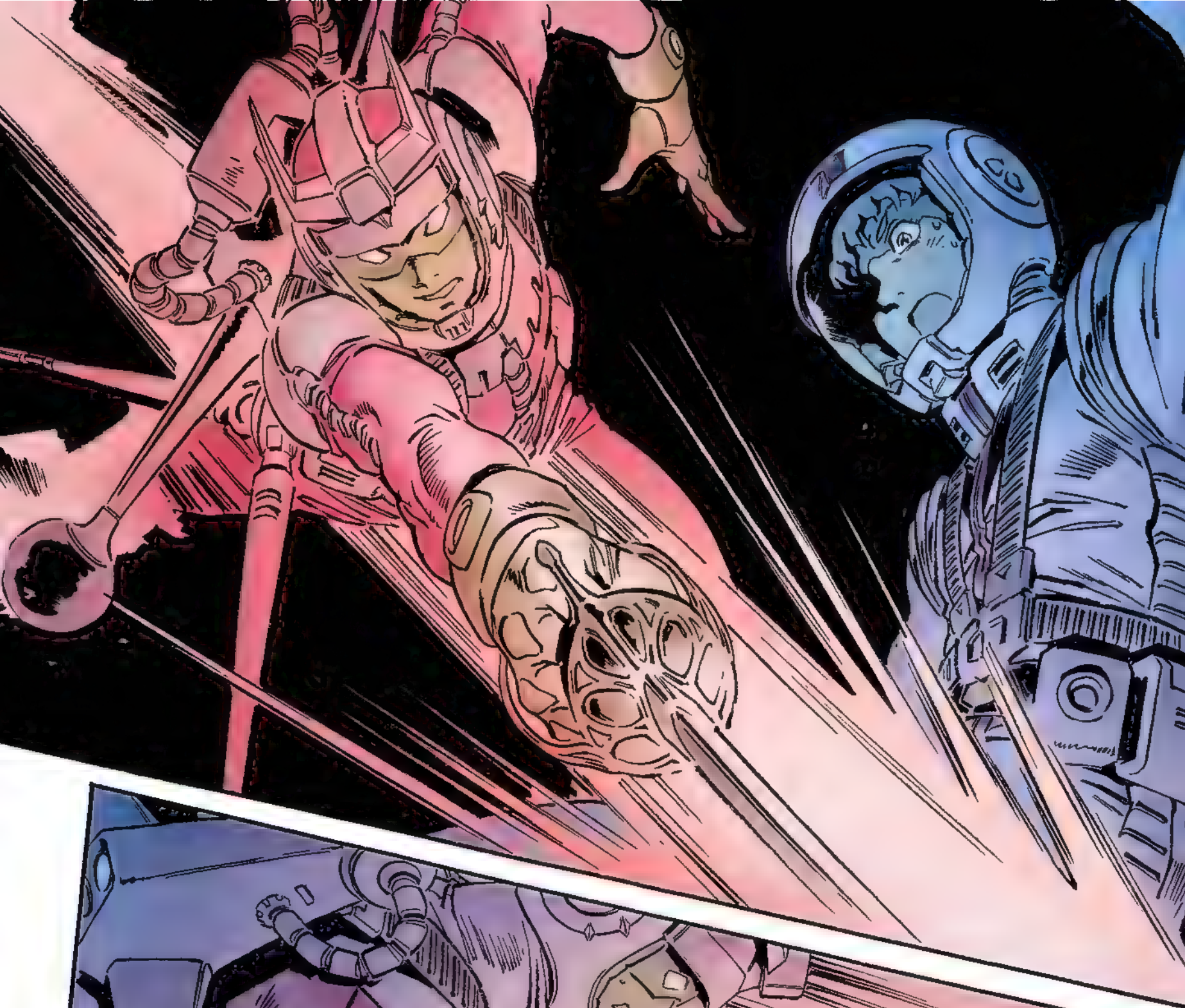
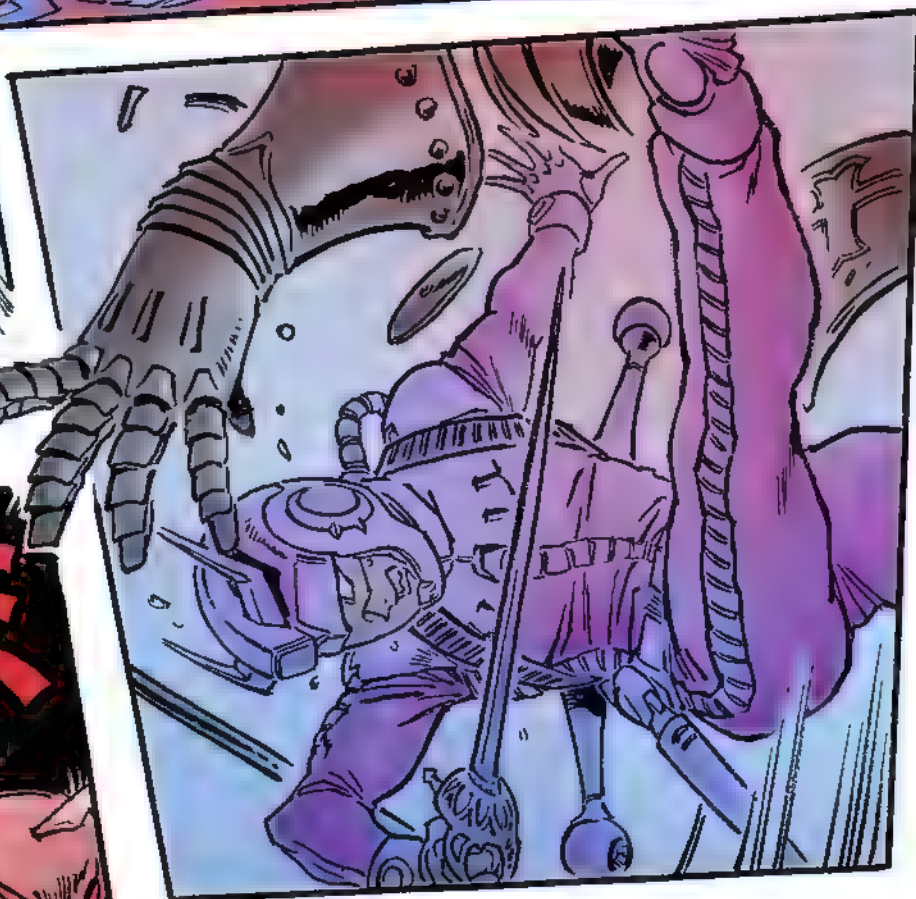
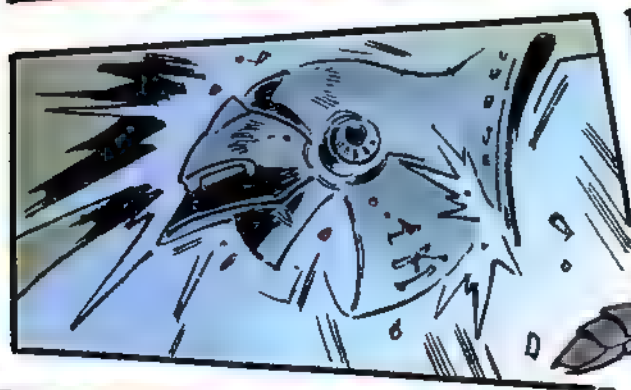
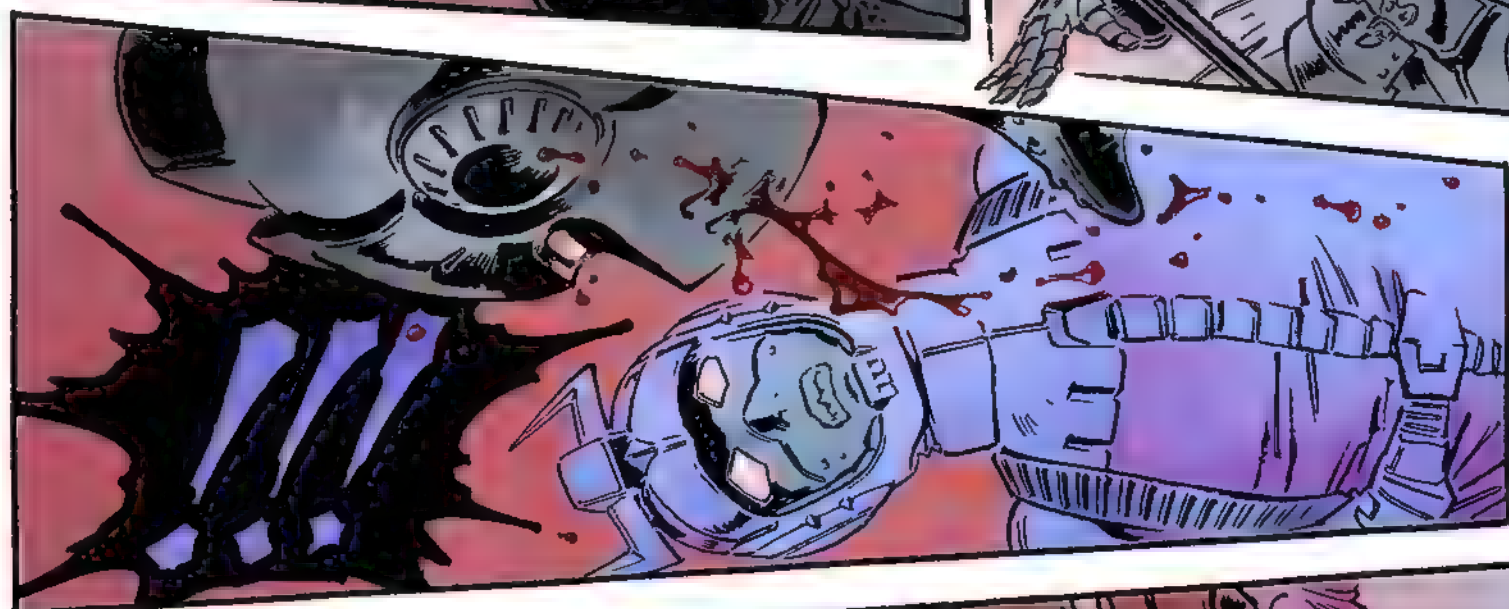
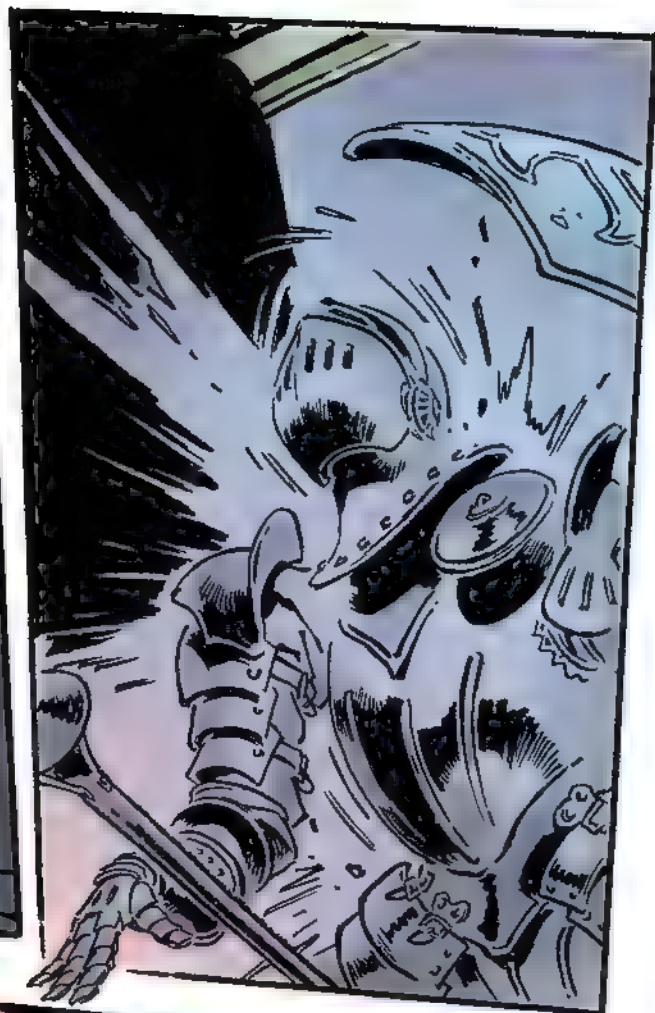
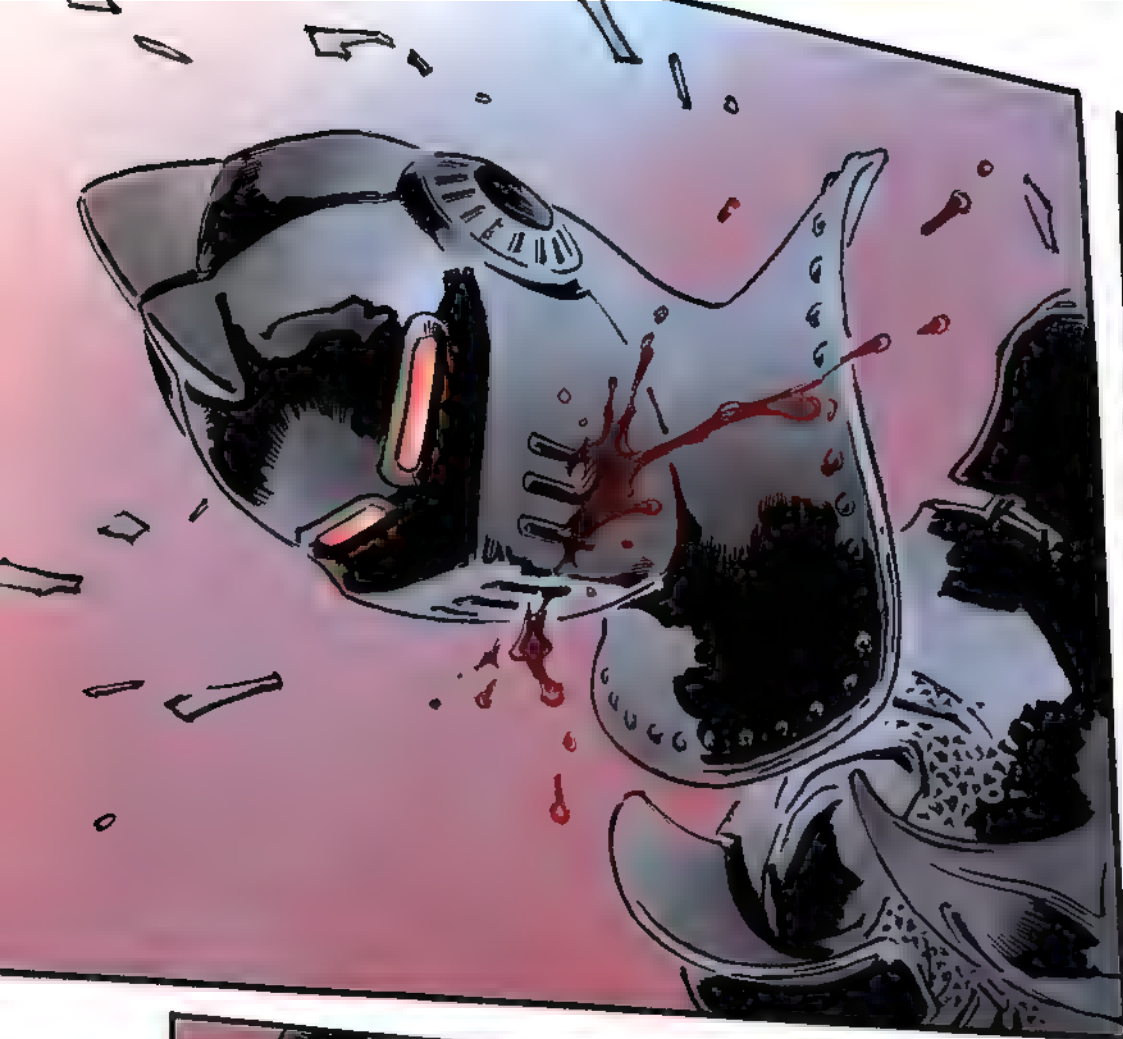
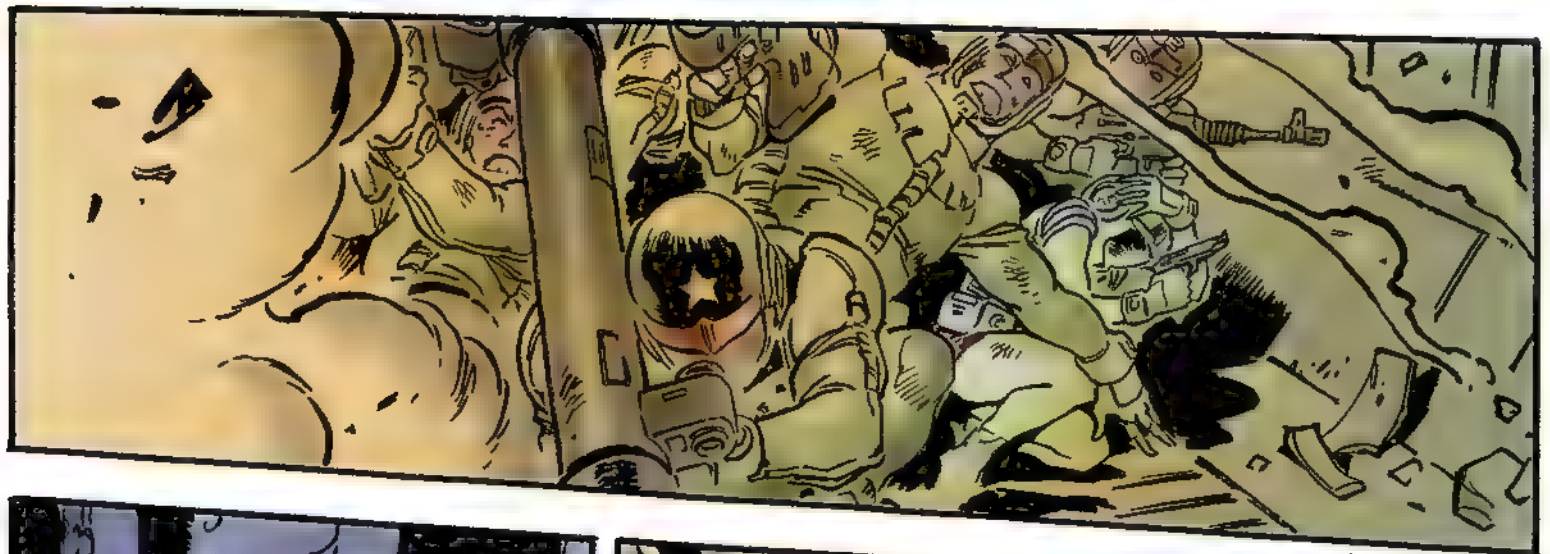
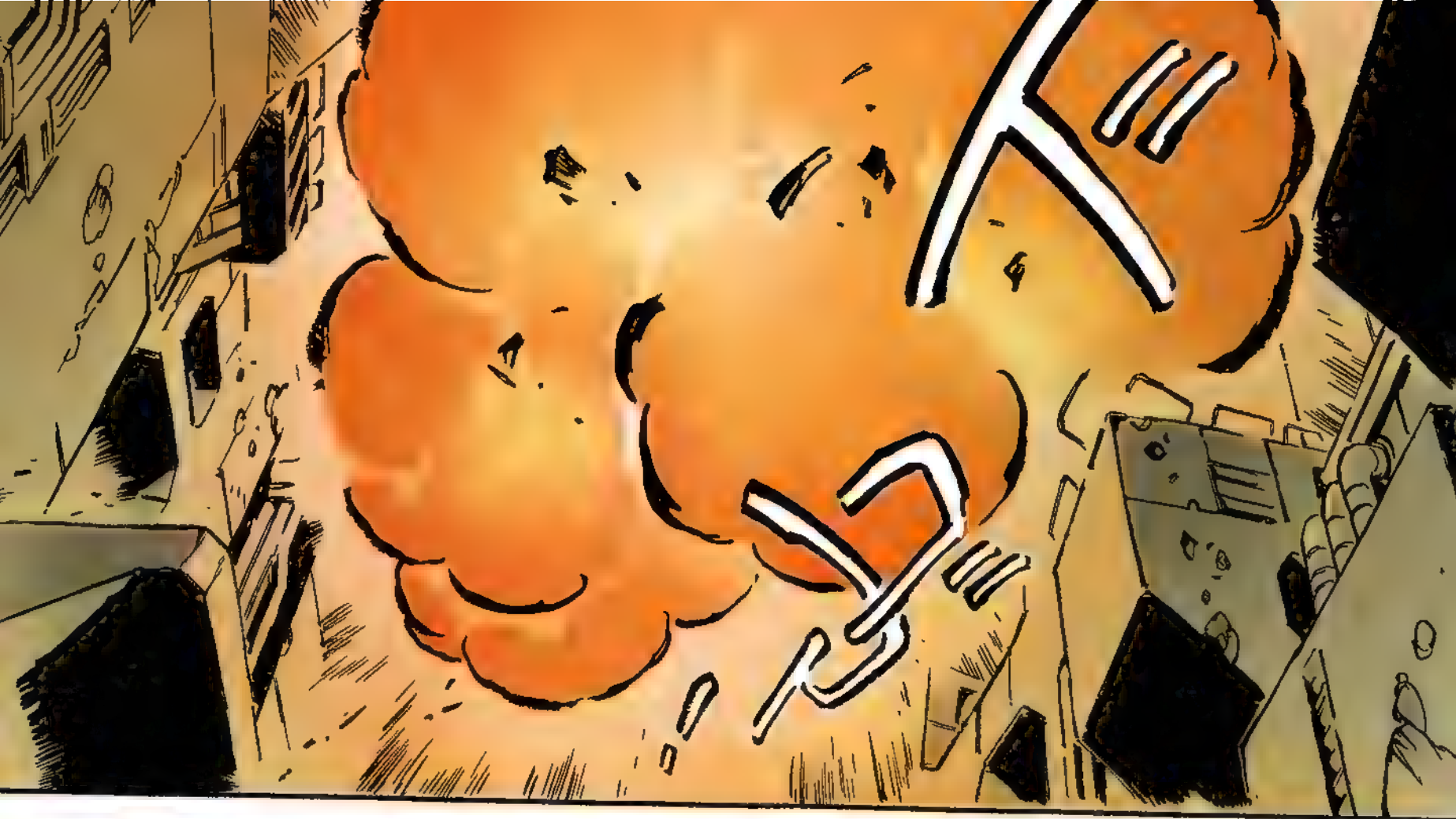
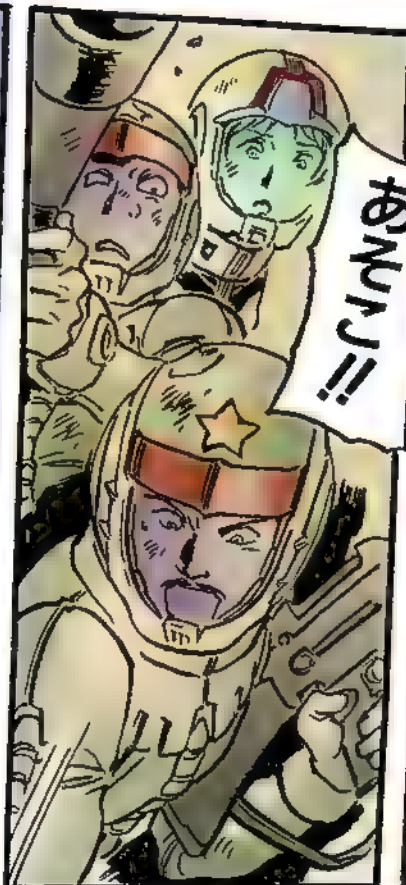
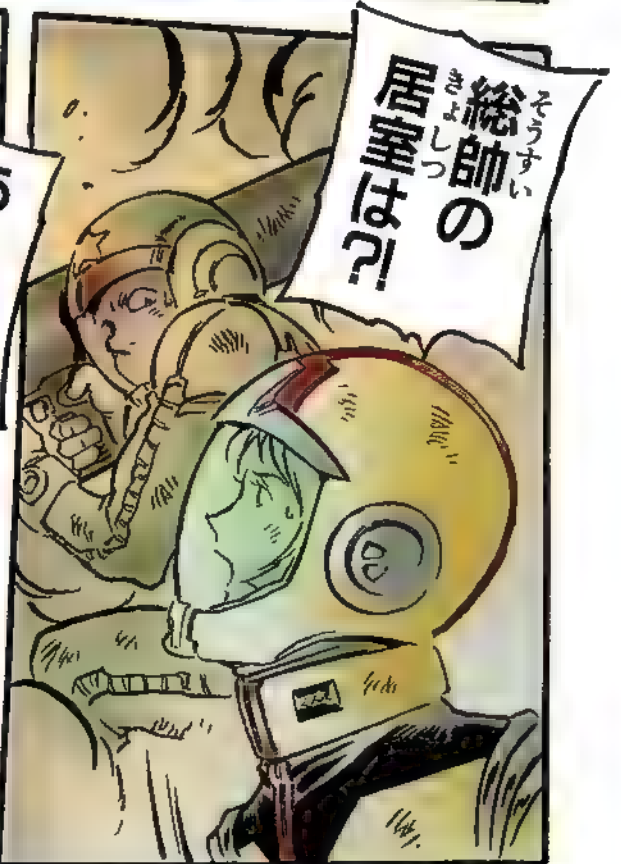
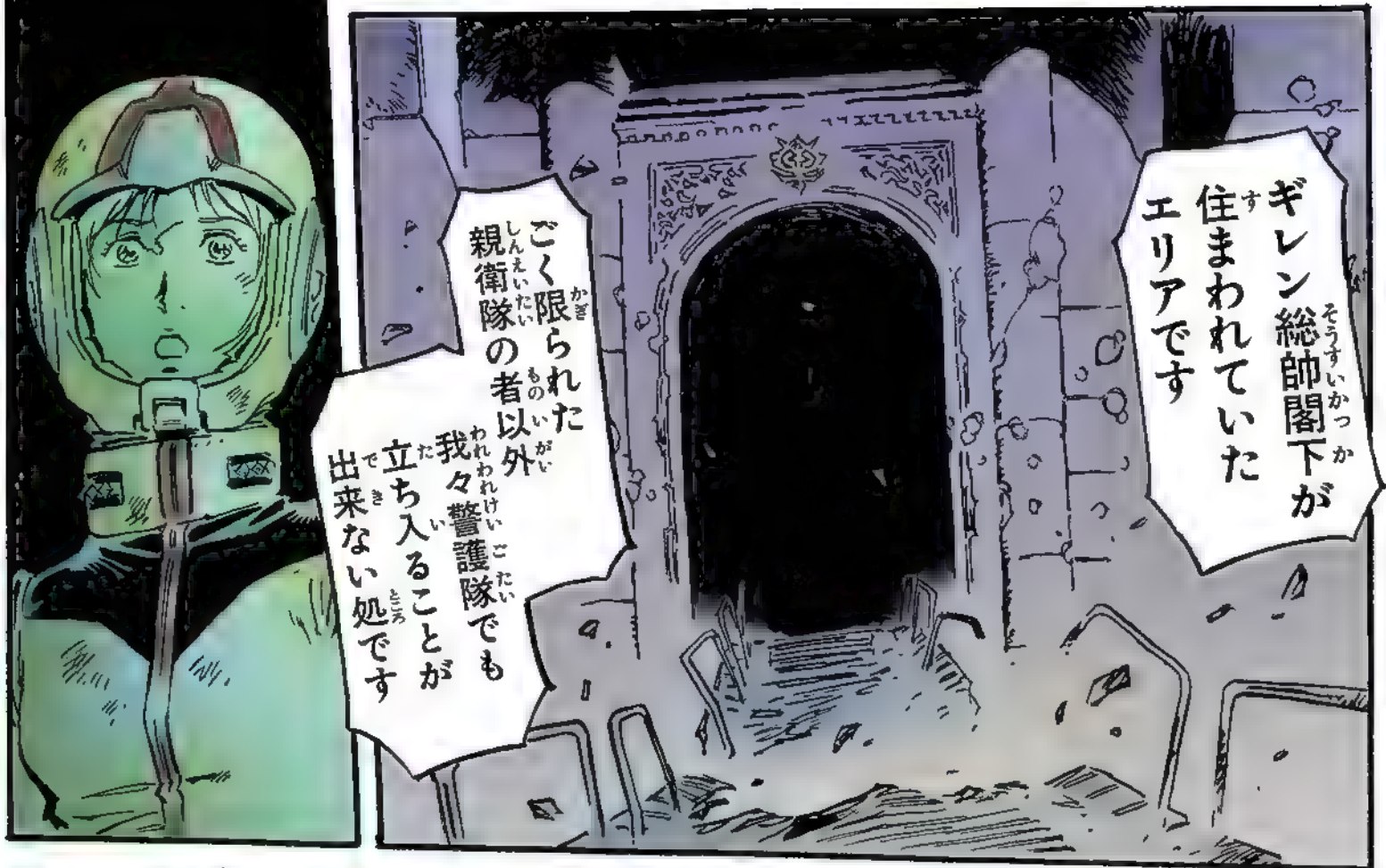
まス!!

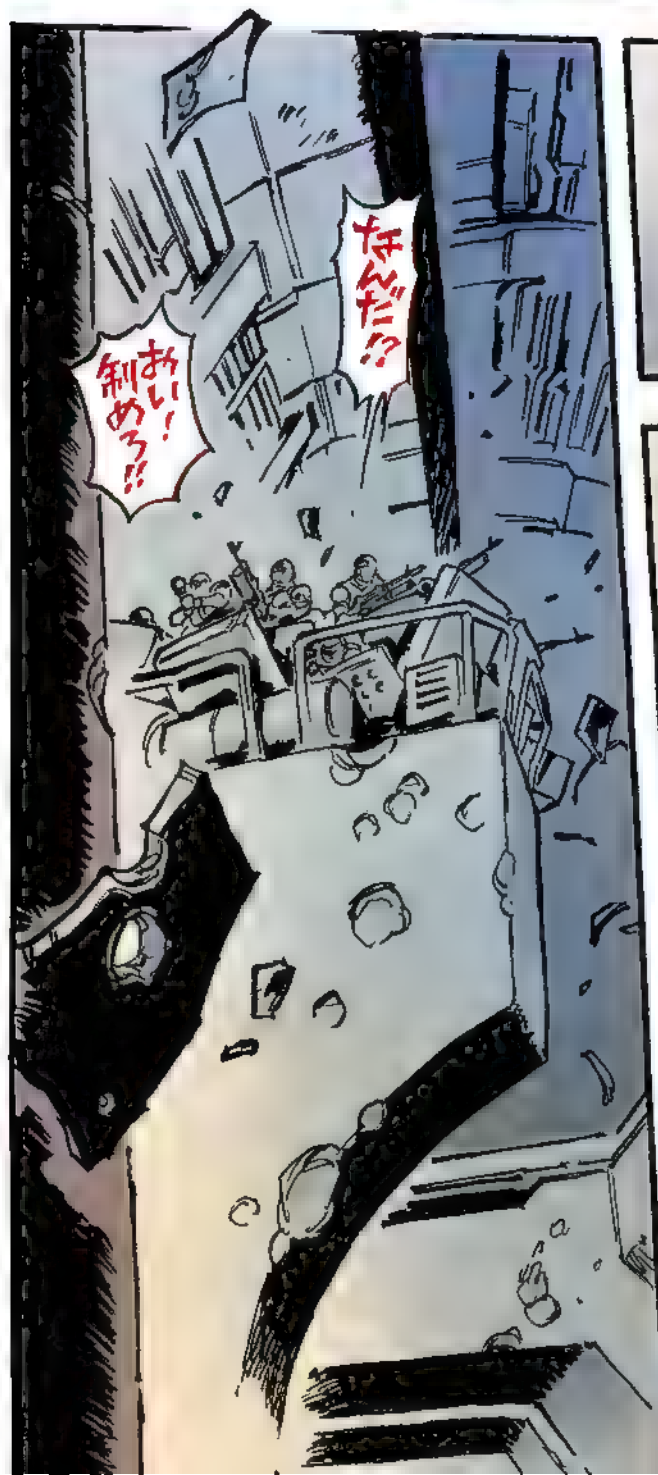
逃げるなぁ!!
連邦の狗!!
私と闘え!!

ドゴン

総帥の居室は?!

あそこ!!

あの
破断している通路から奥が

ギレン総帥閣下が住まわれていたエリアです

ごく限られた親衛隊の者以外我々警護隊でも立ち入ることが出来ない処です

連邦の兵士だ
撃て!
撃て!!

この
魔外道どもオオ!!
ダダダダ
ドドドド
ダイクン万才!!
キシリア打倒!!
ドドド
よくもアルテイシア様にむかって!!
ドーバー大尉の仇をうてえぇ!!

あ
あはは
おまえは独りだ 連邦のニュータイプ
……
私にはアルテイシアがいる!
アルテイシアがいたからこそ
私は闘ってくることができた!!

闘うことは即ちアルテイシアを護ることでもあった！

だから

だから私は!!

僕だって

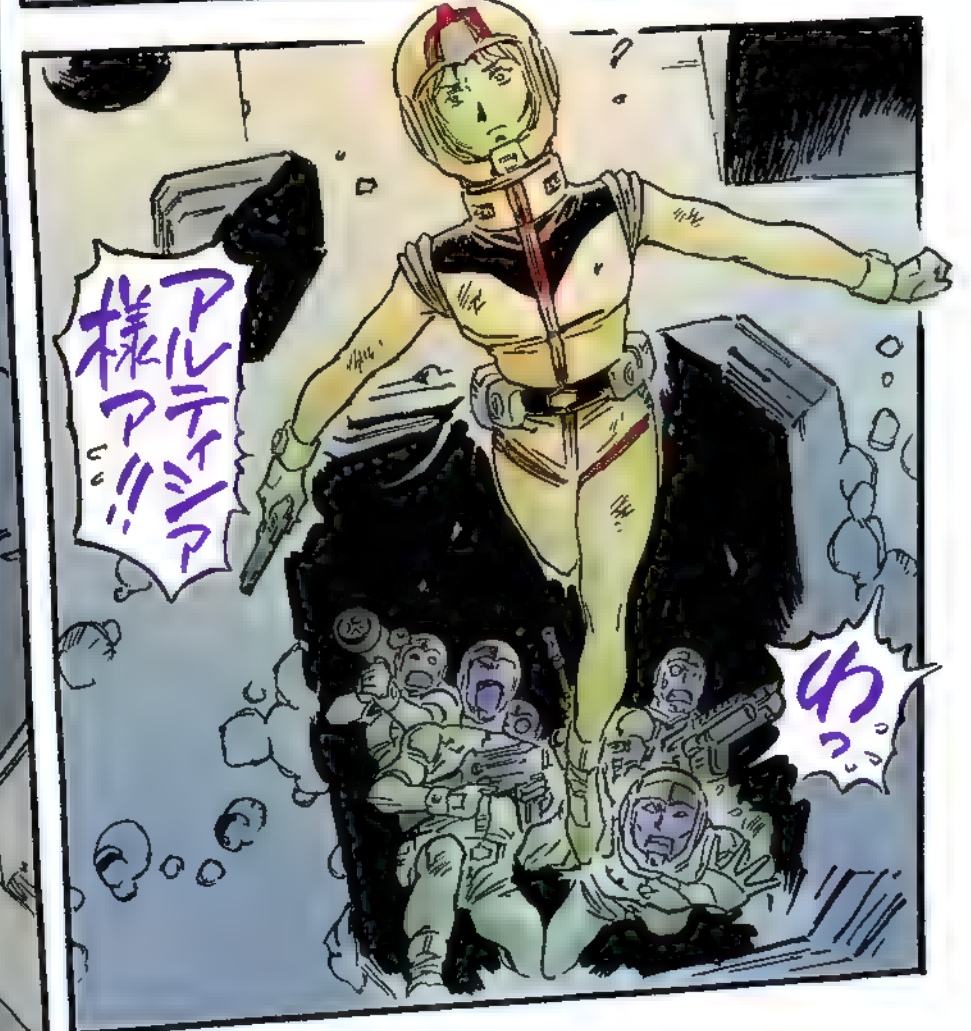
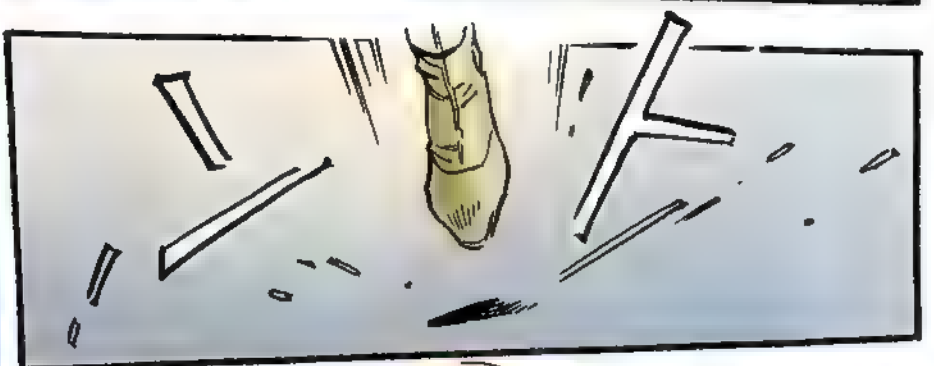
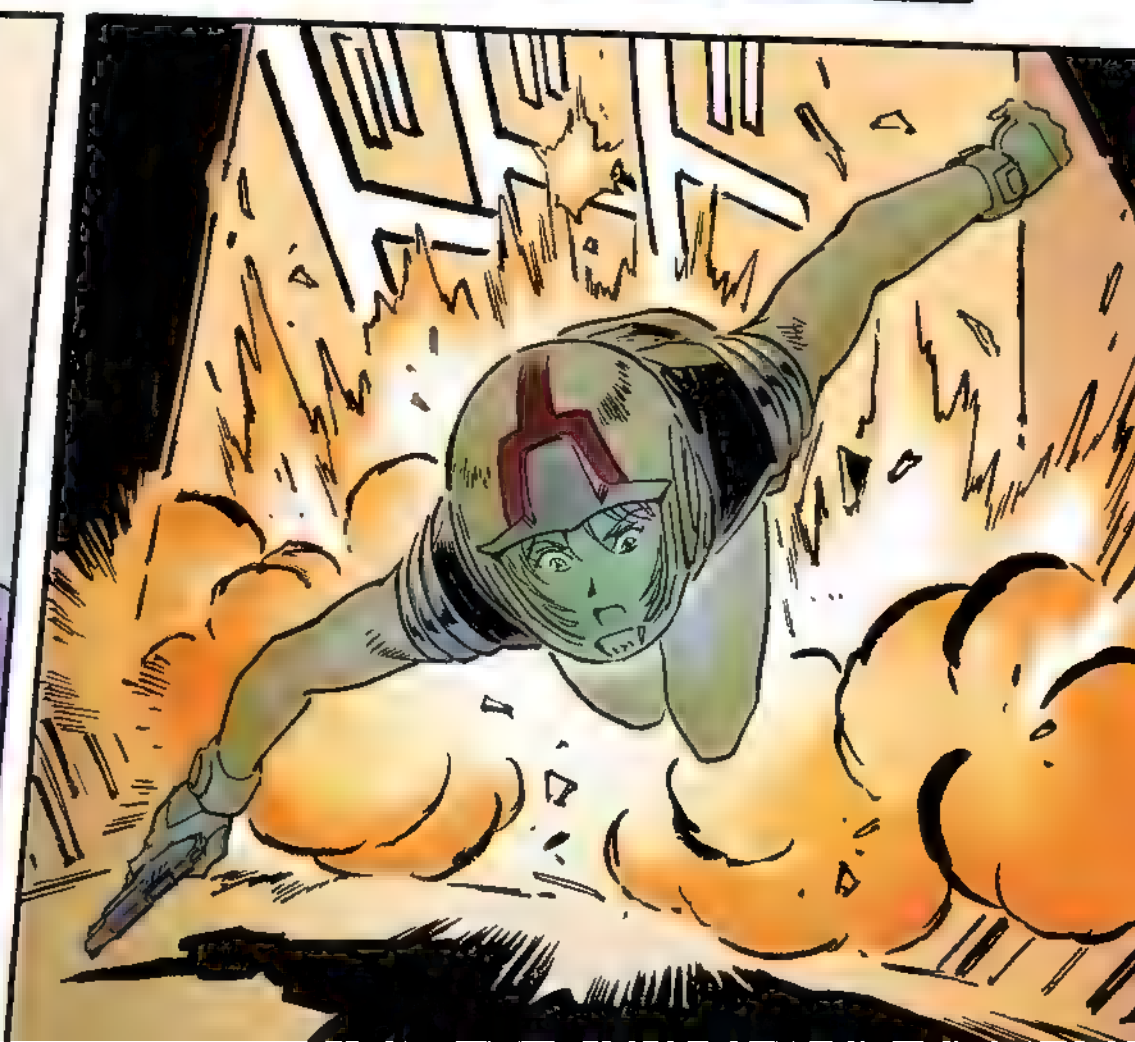
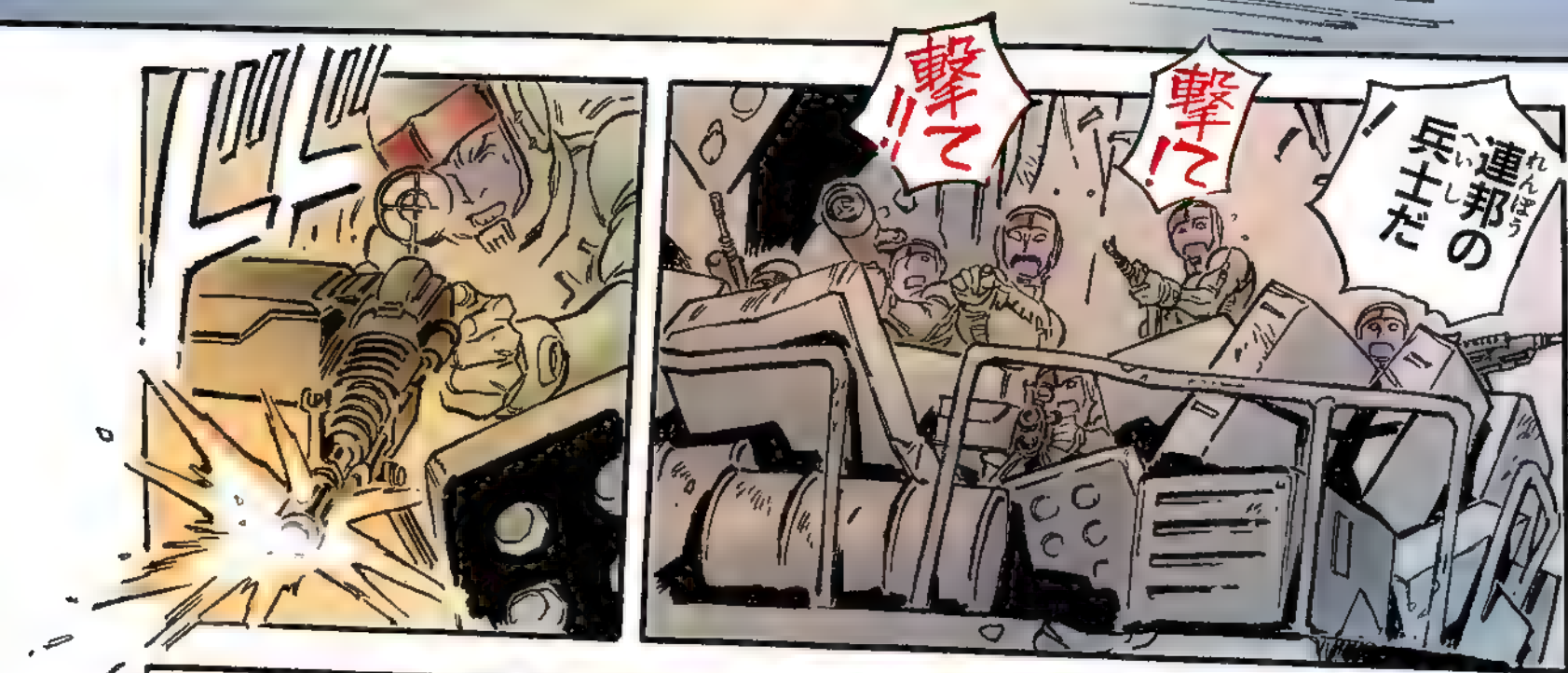
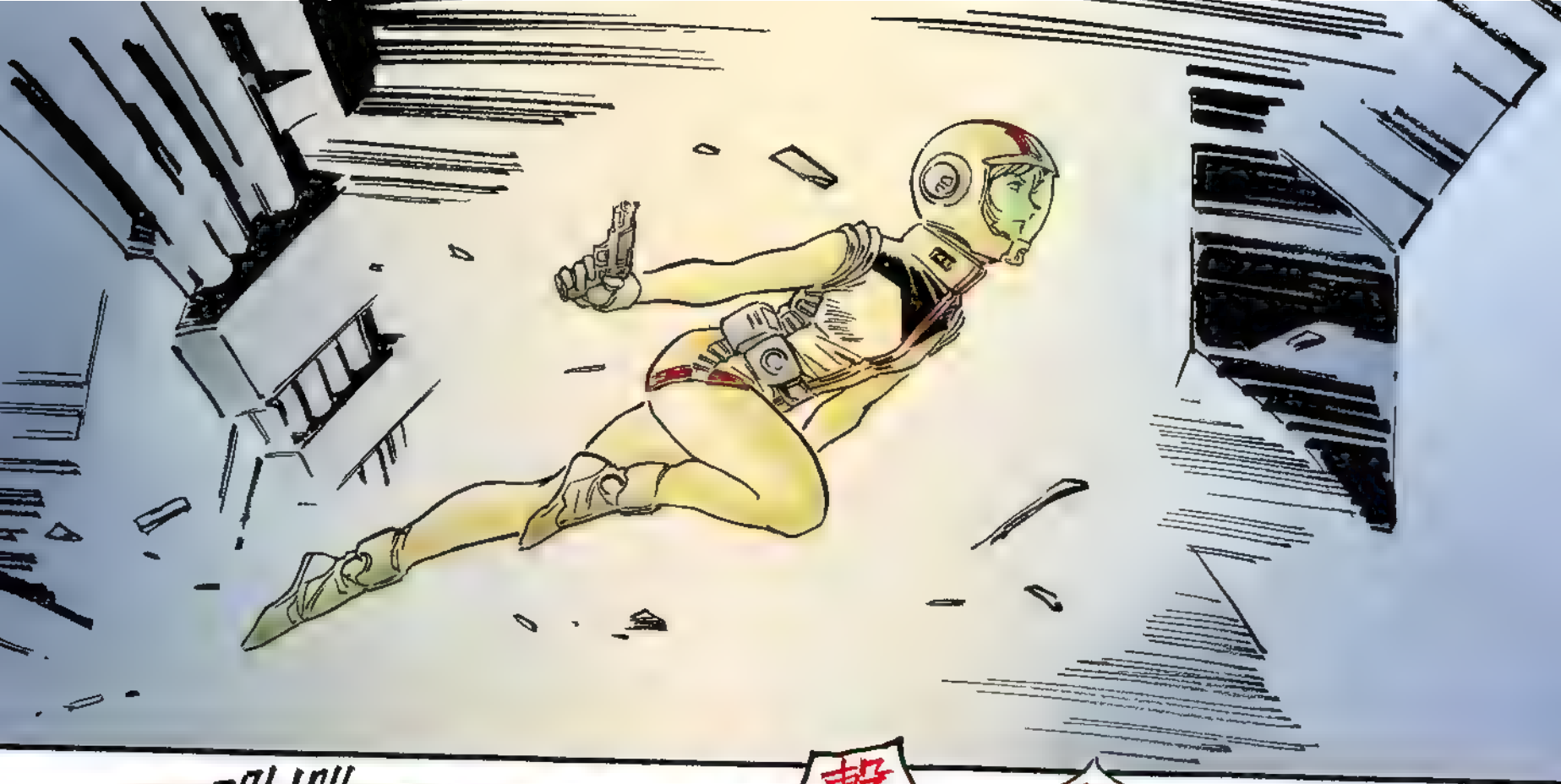
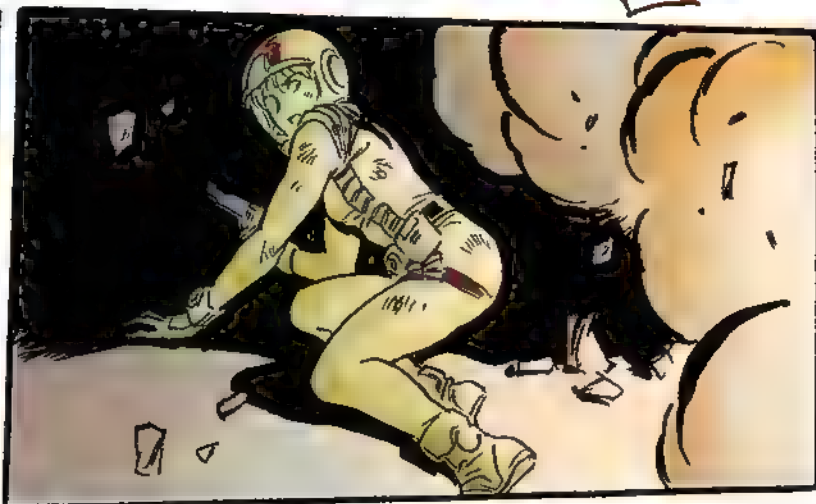
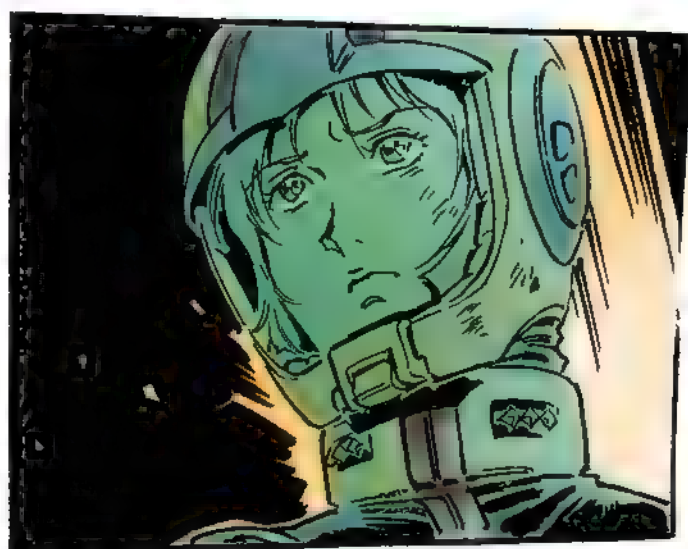
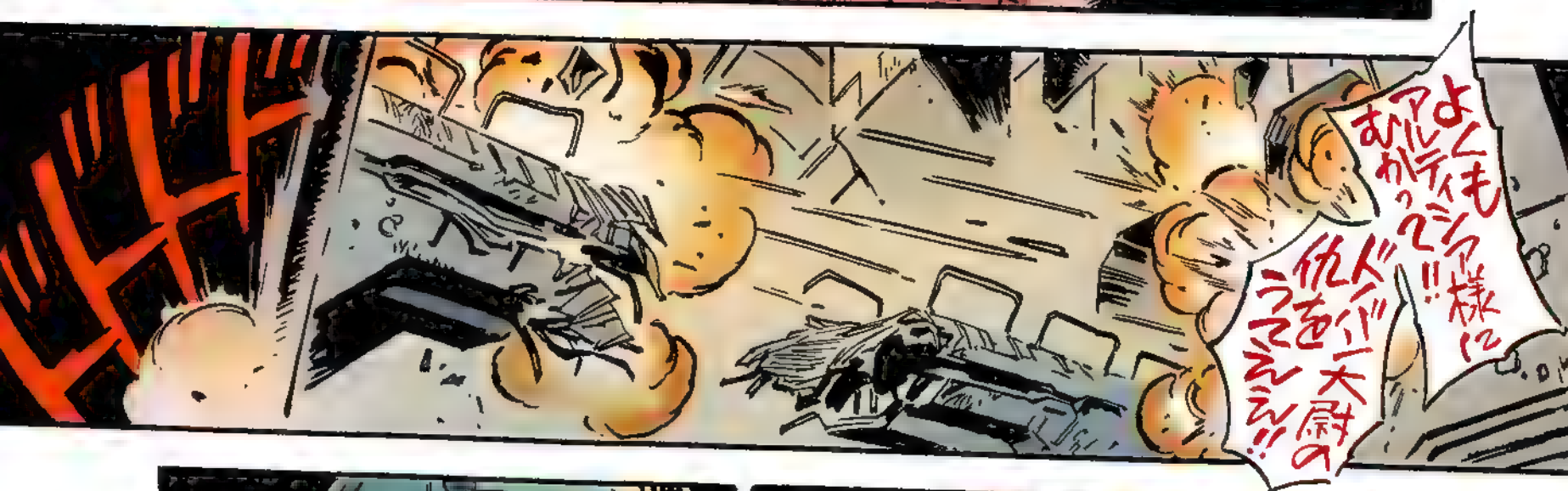
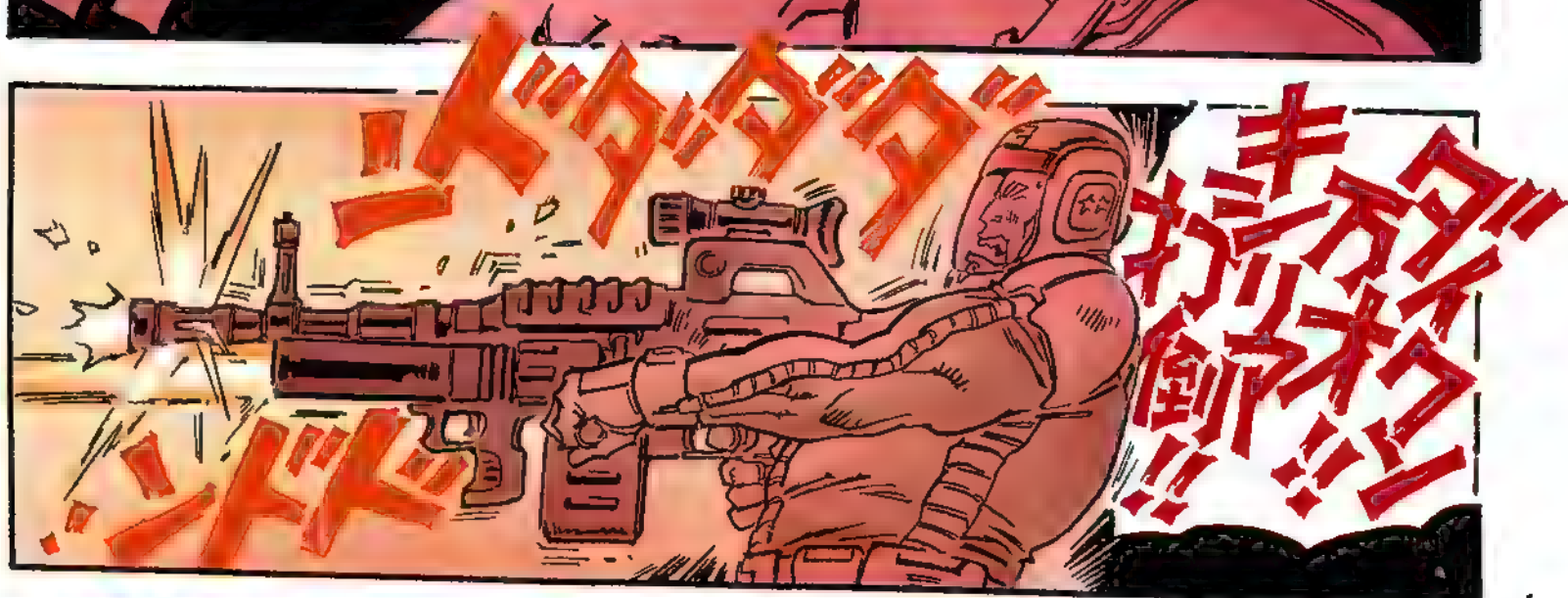
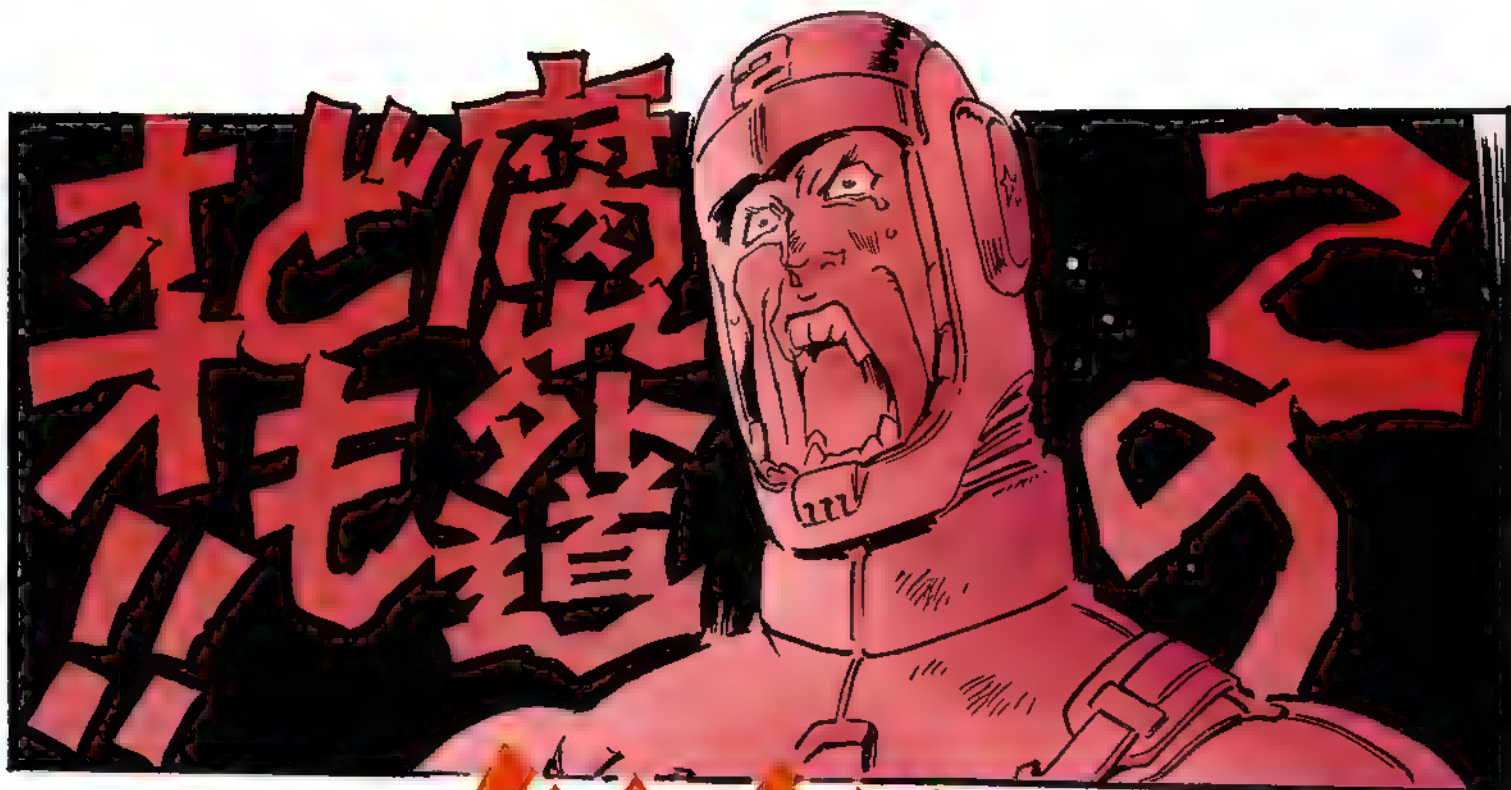
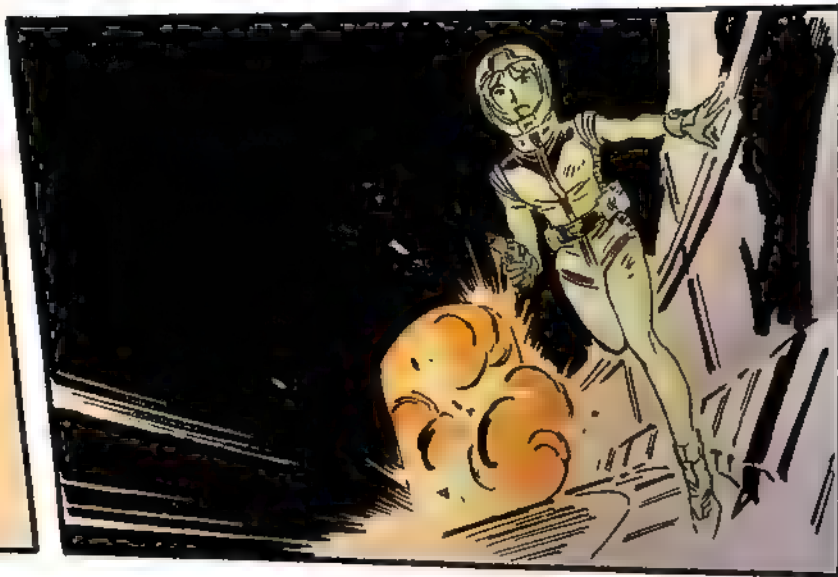
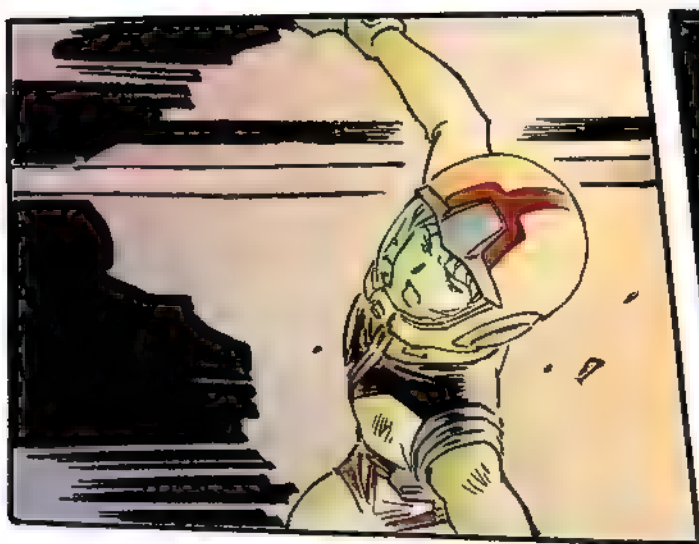
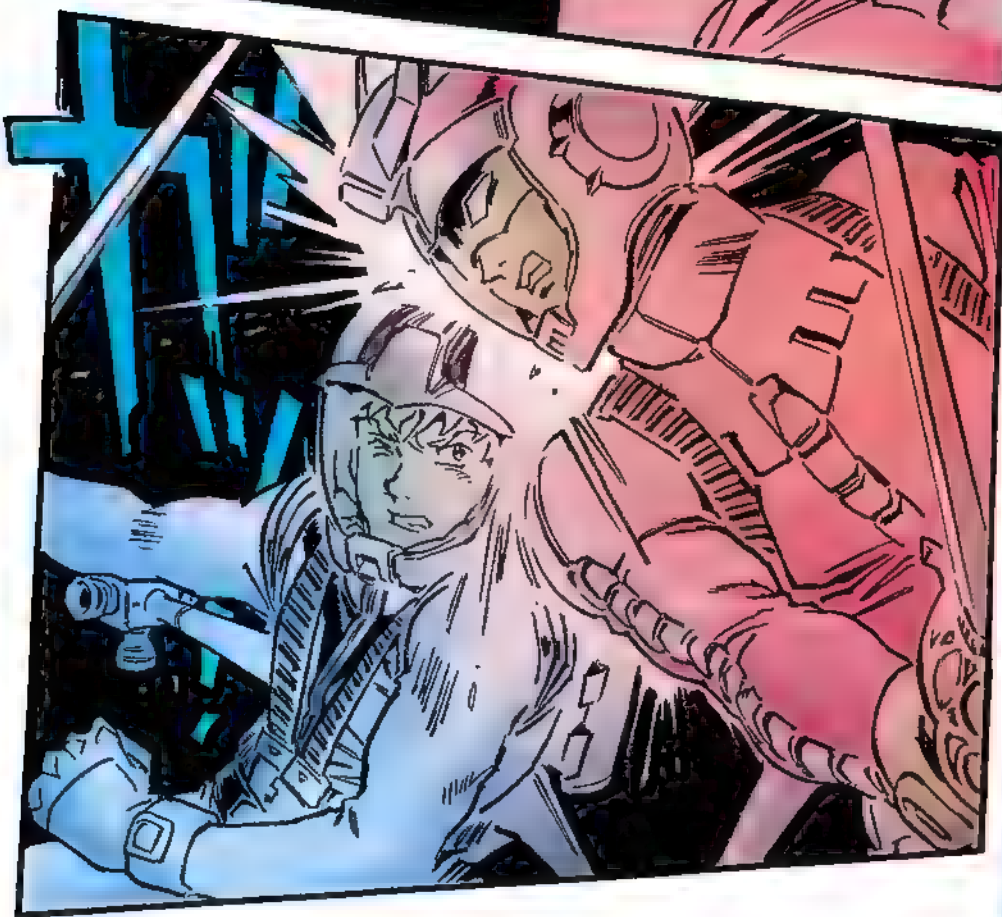
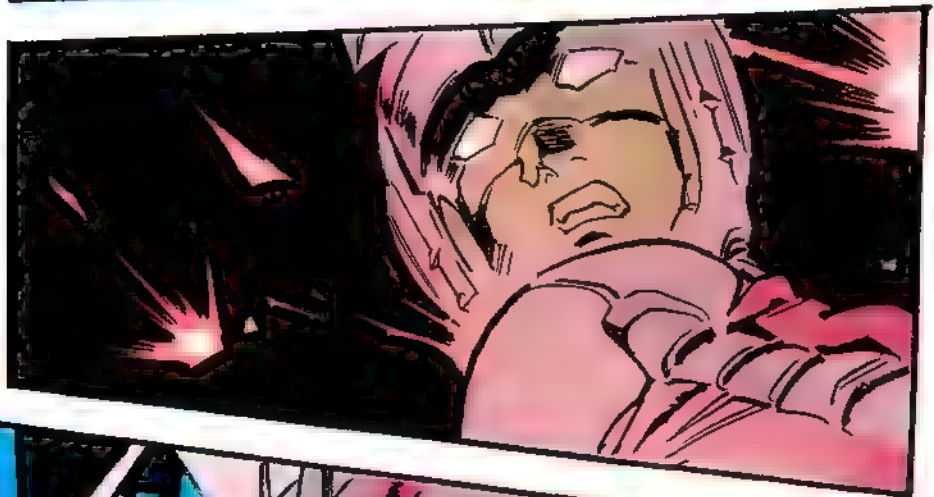
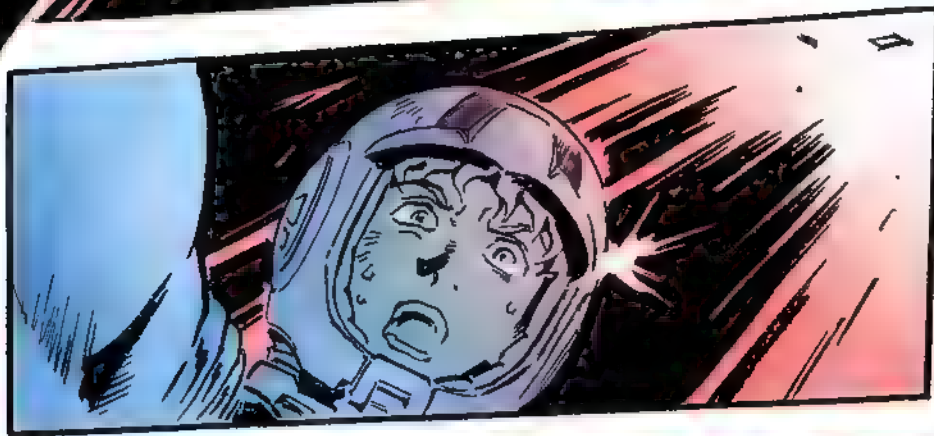
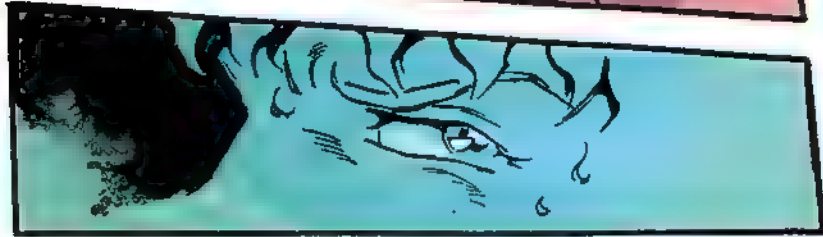
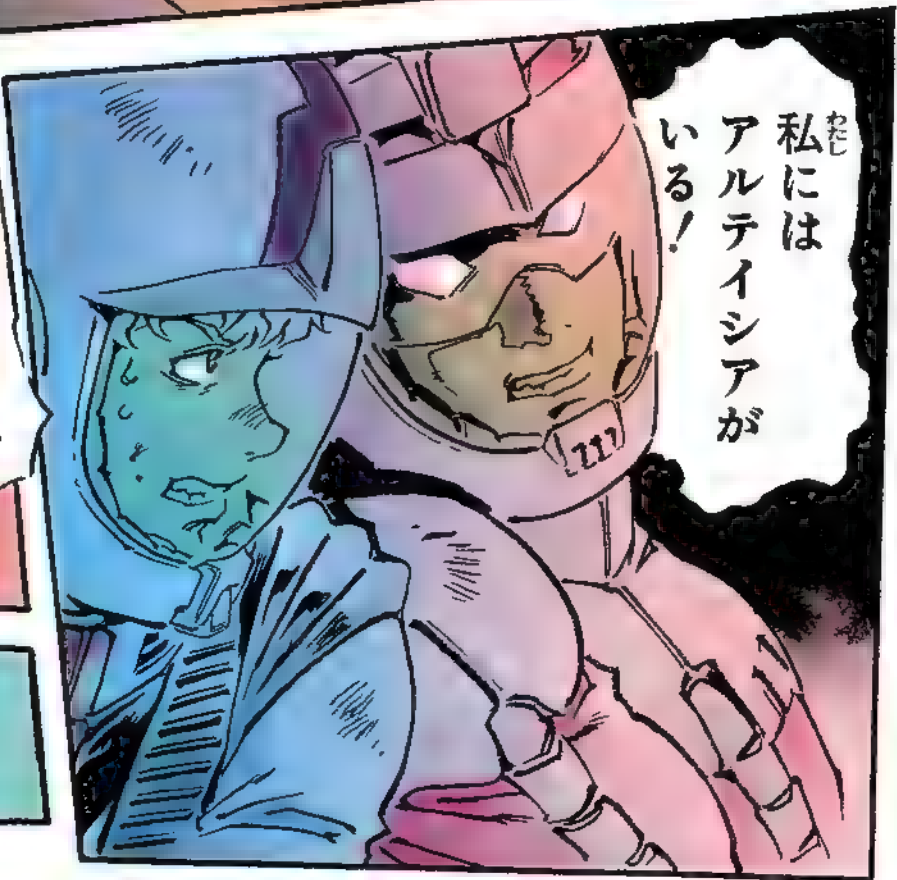
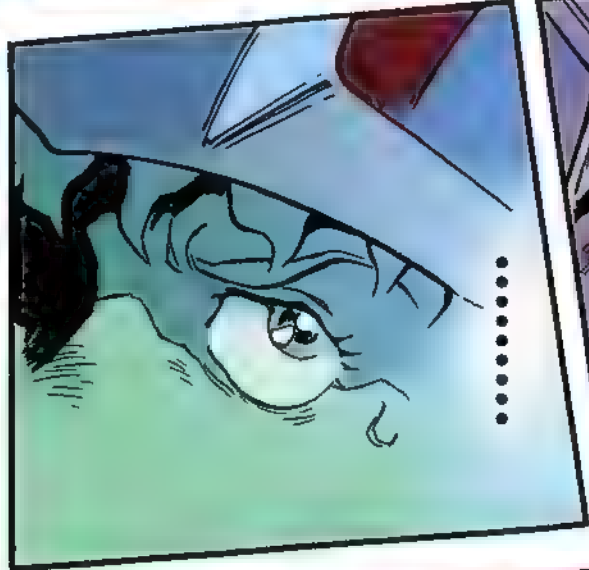
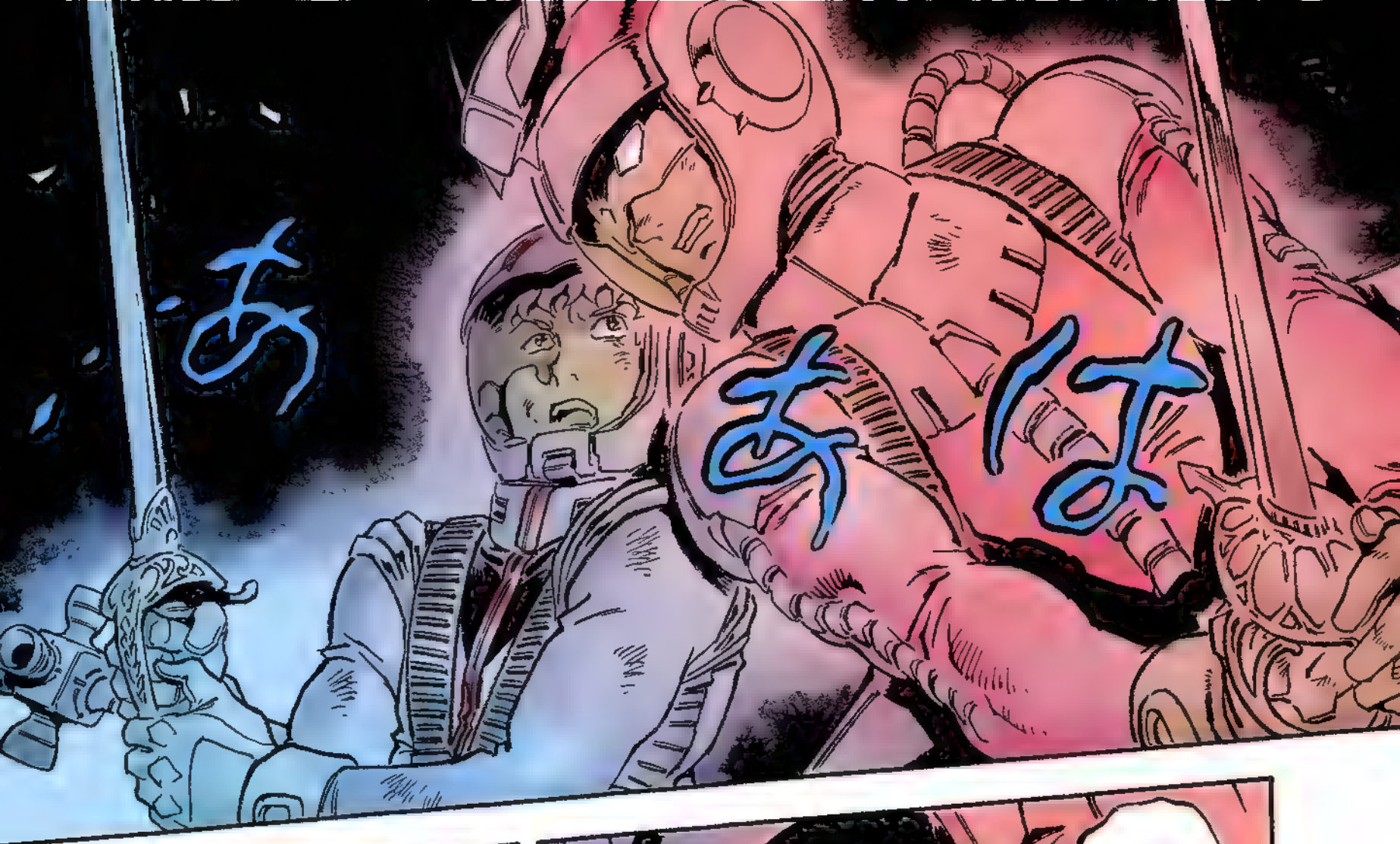
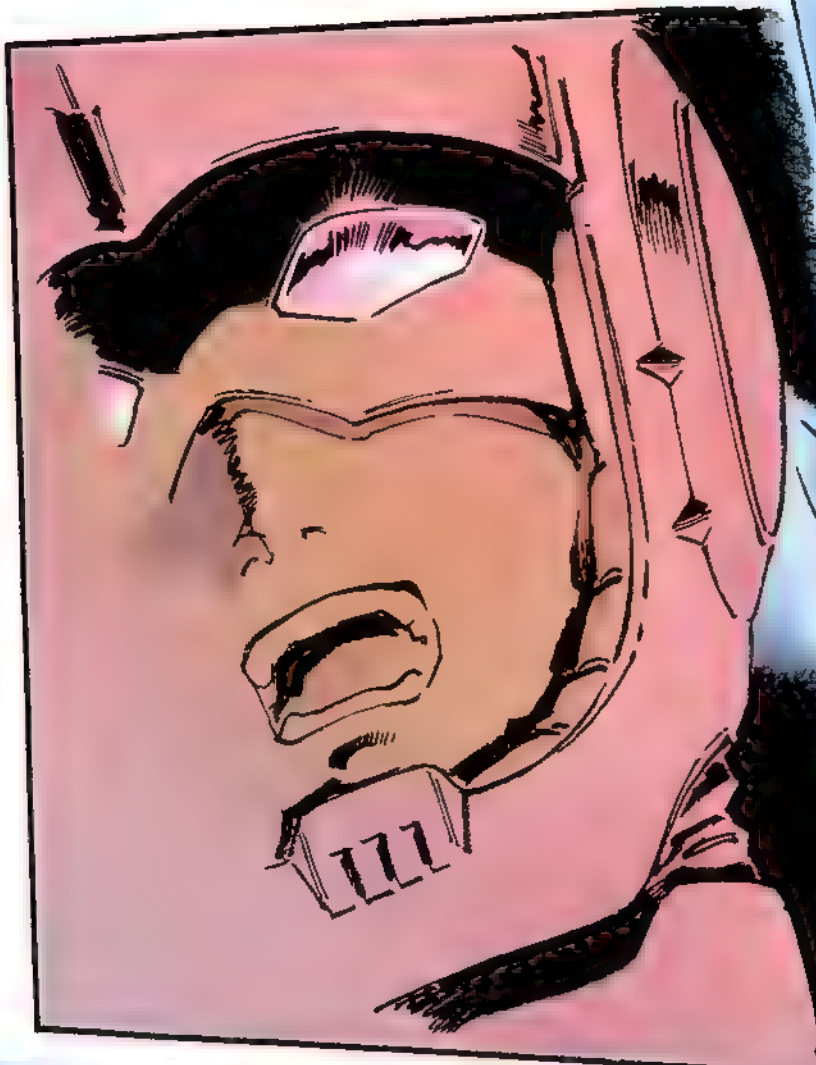
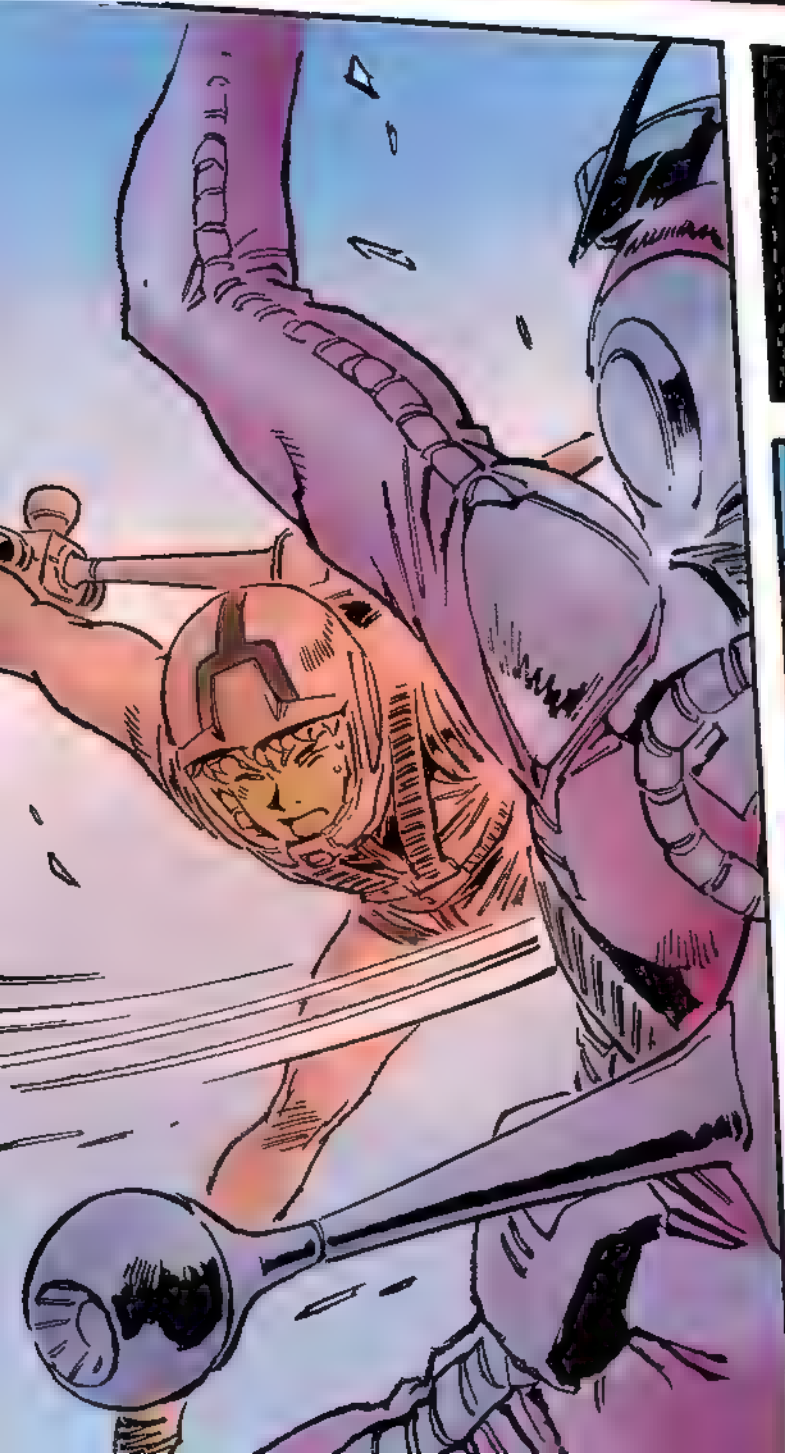
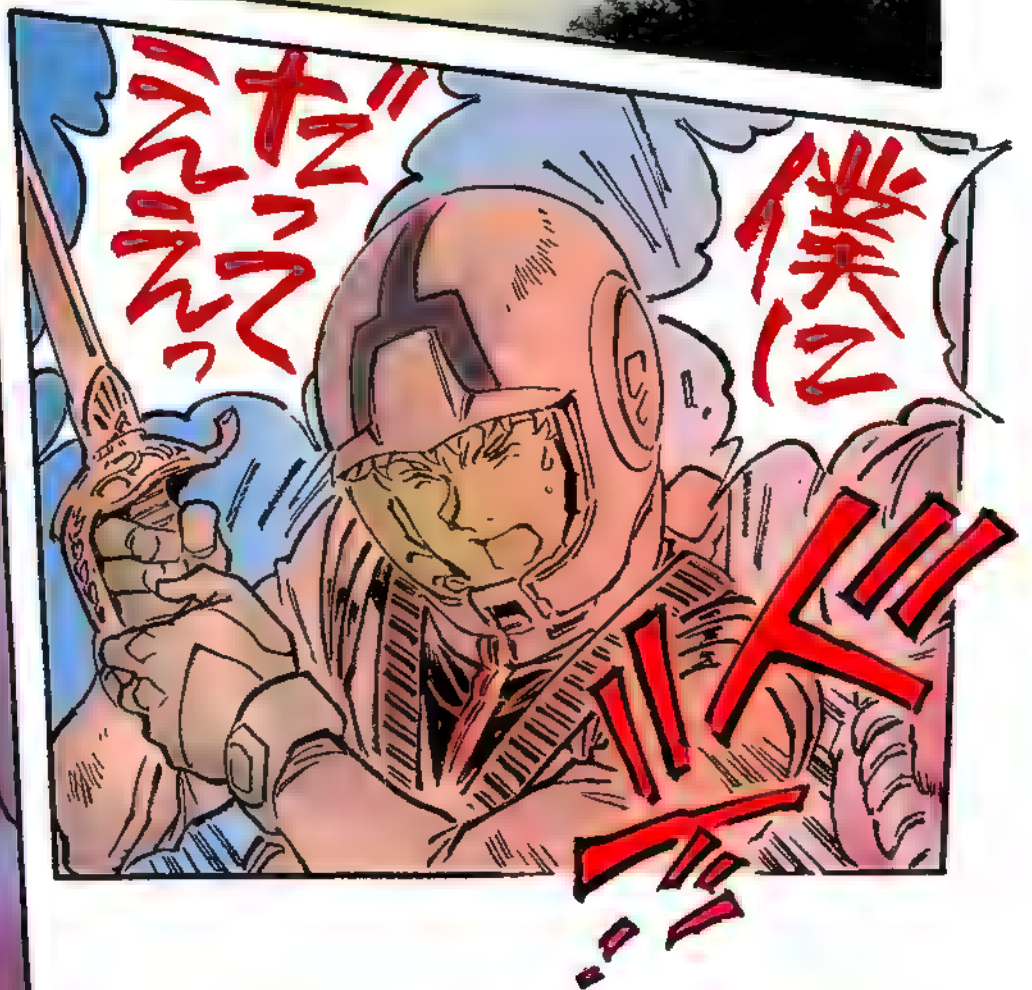
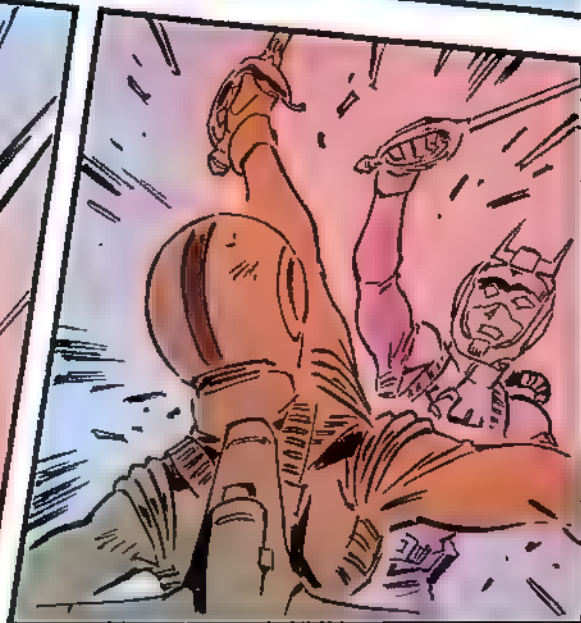
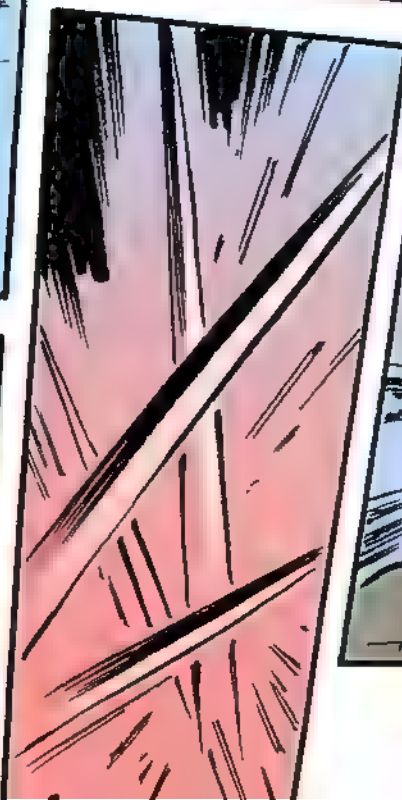
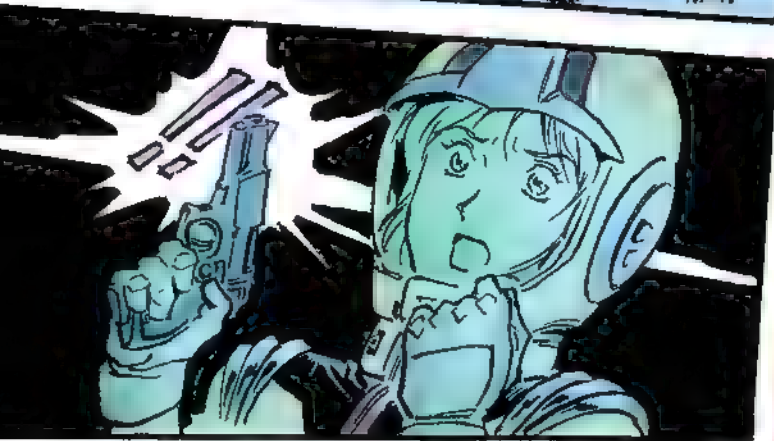
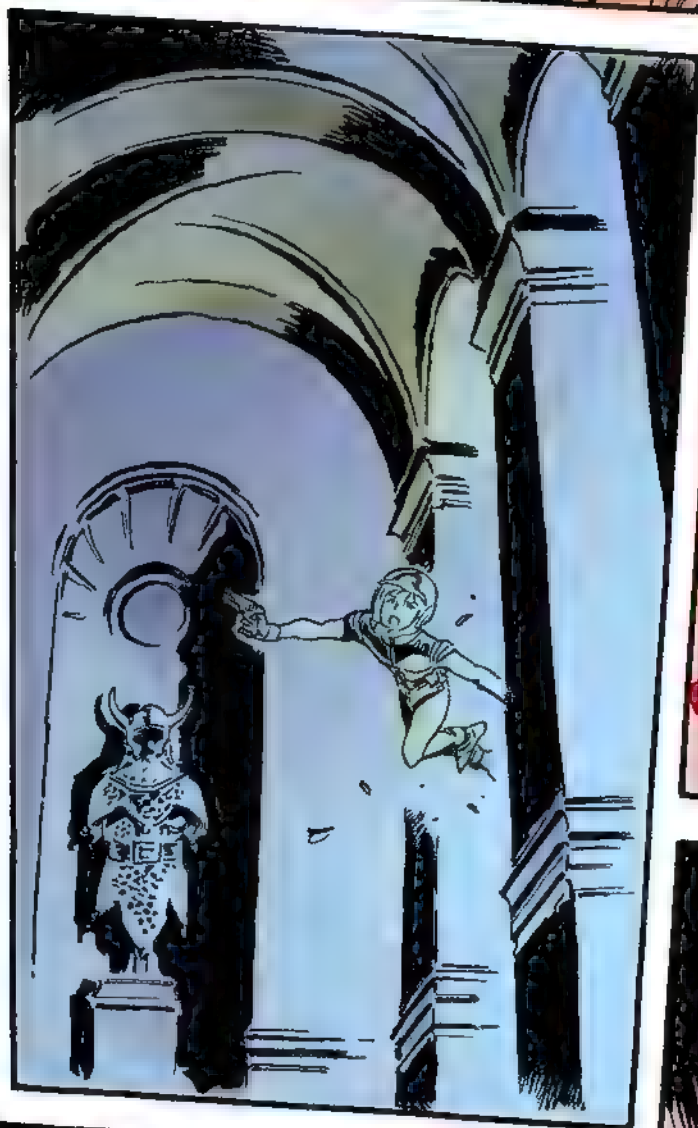
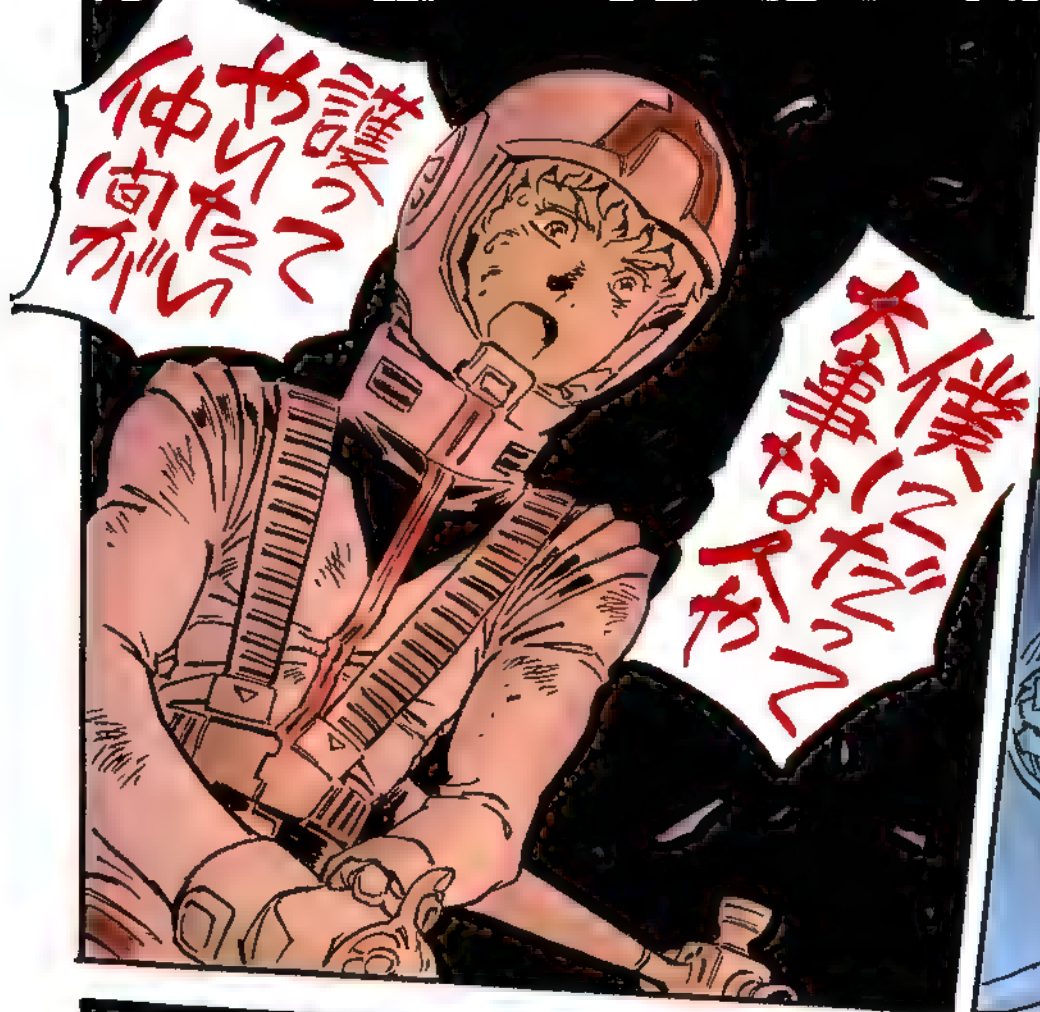
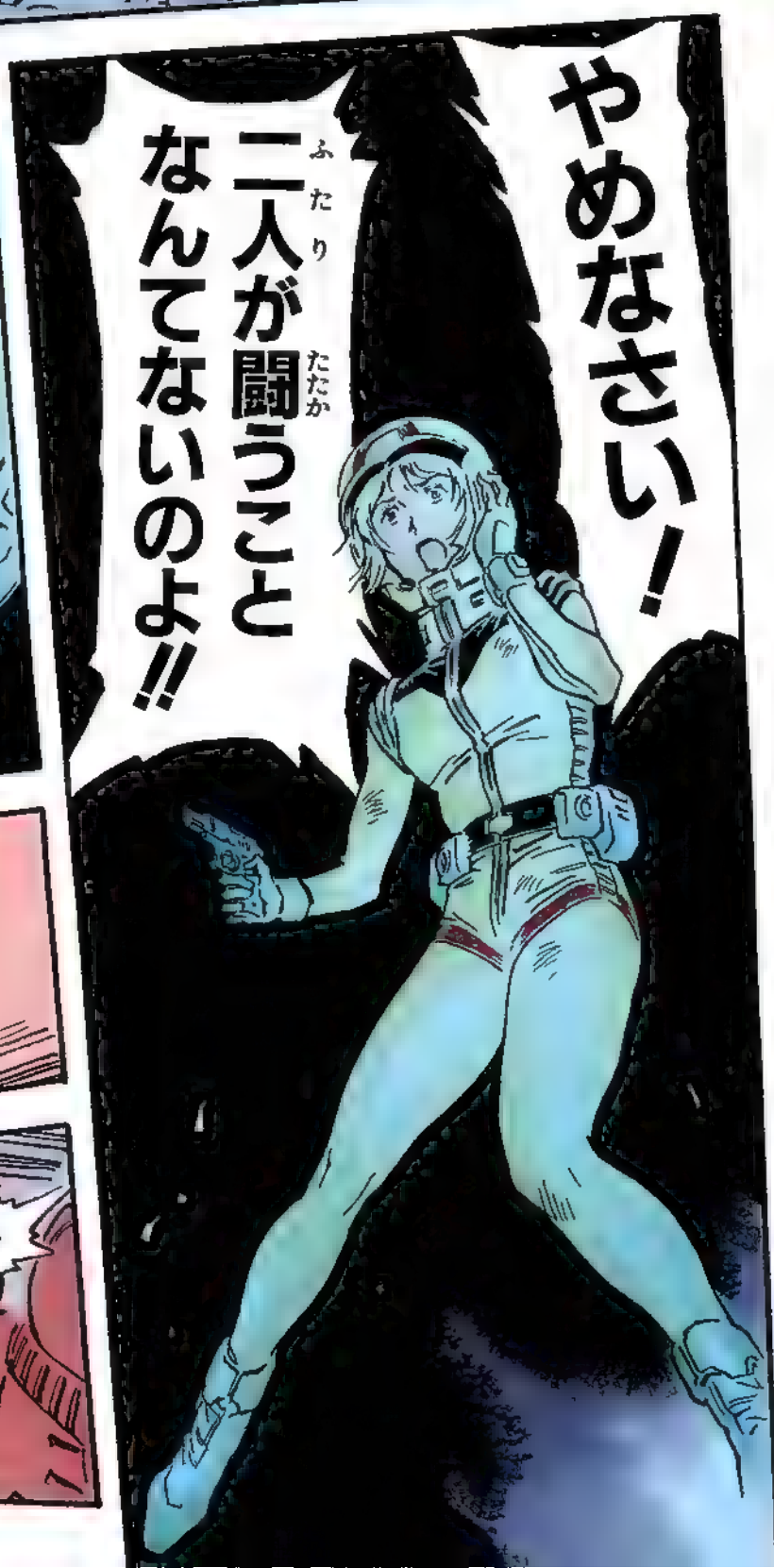
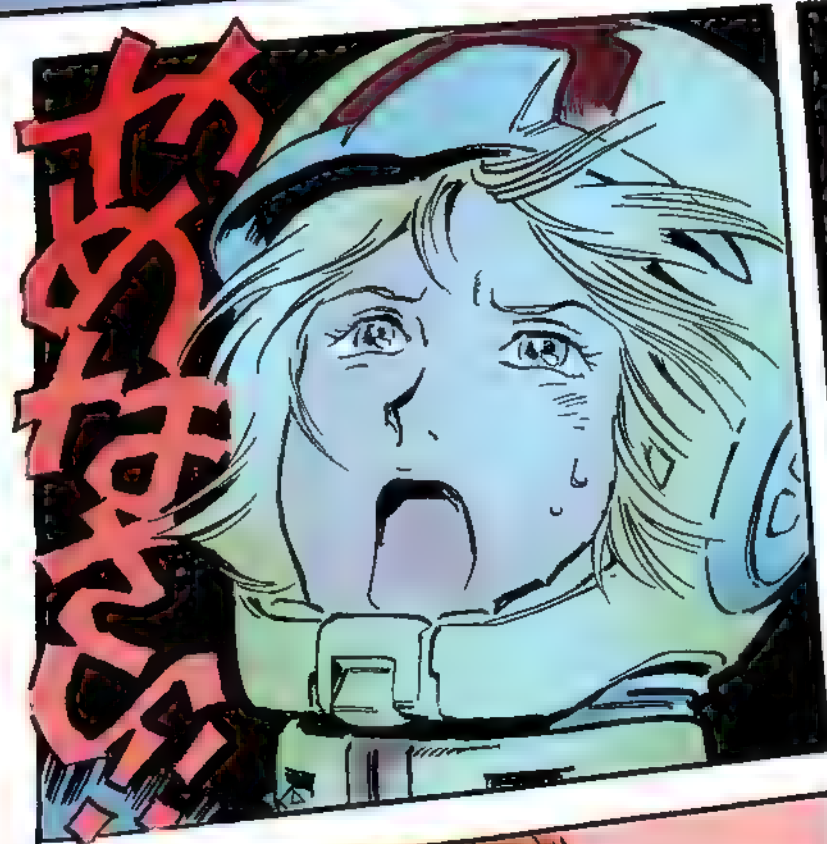
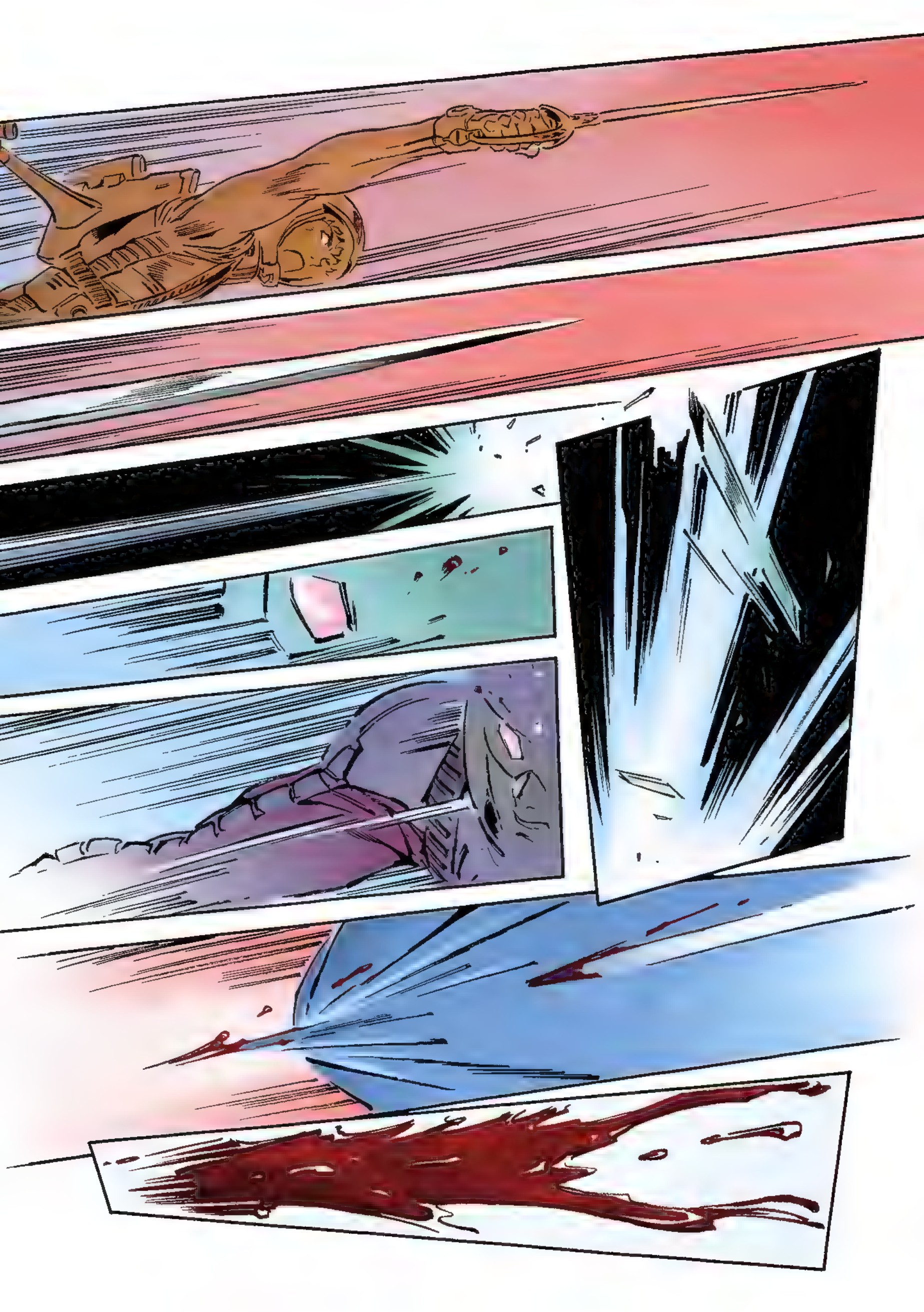
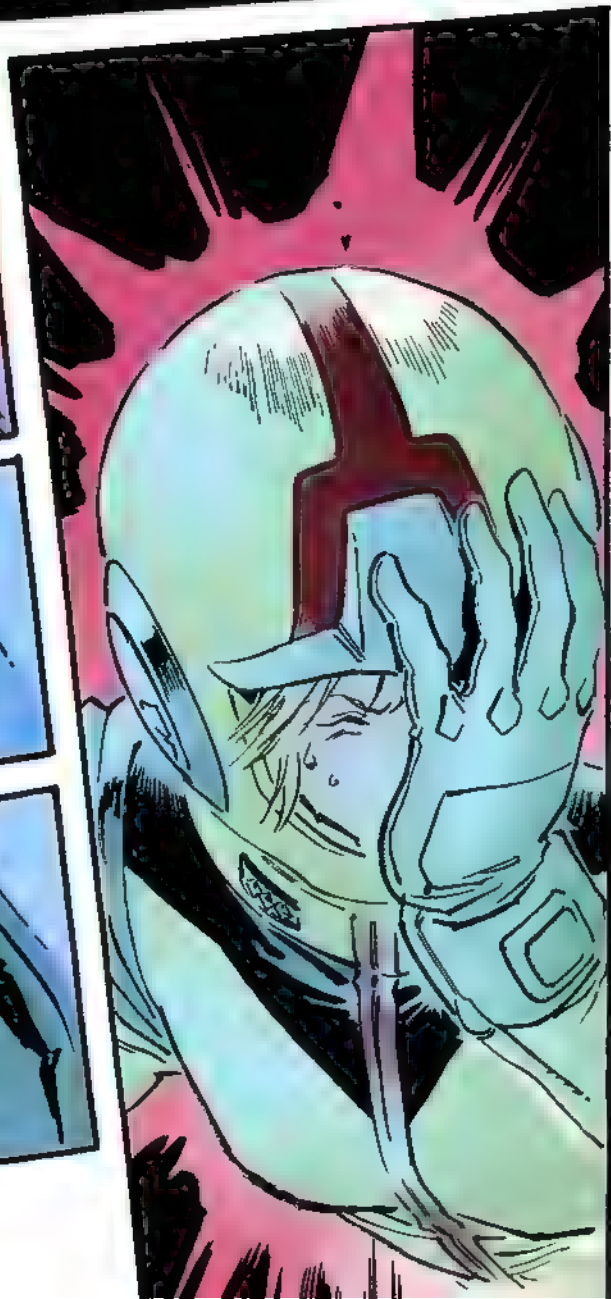
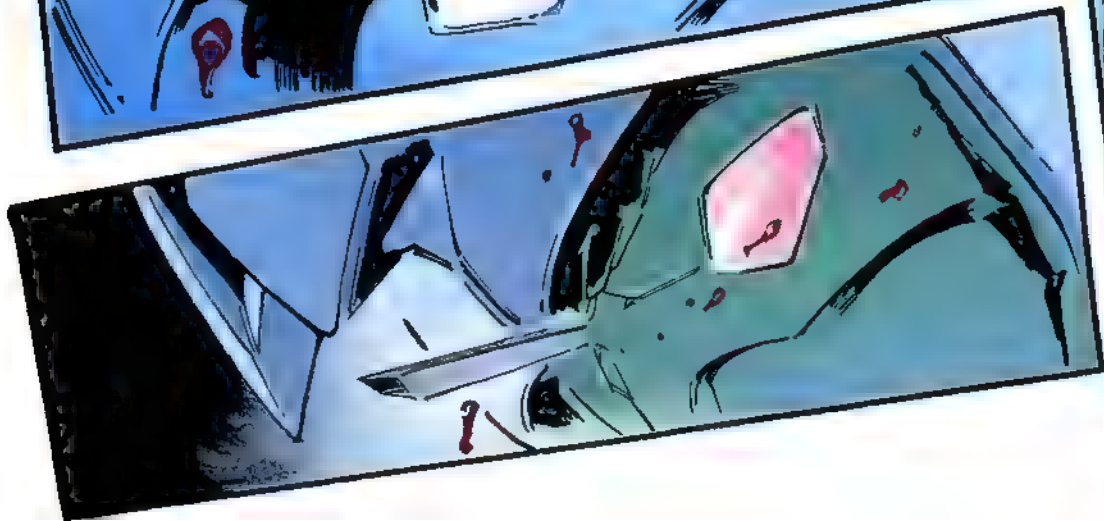
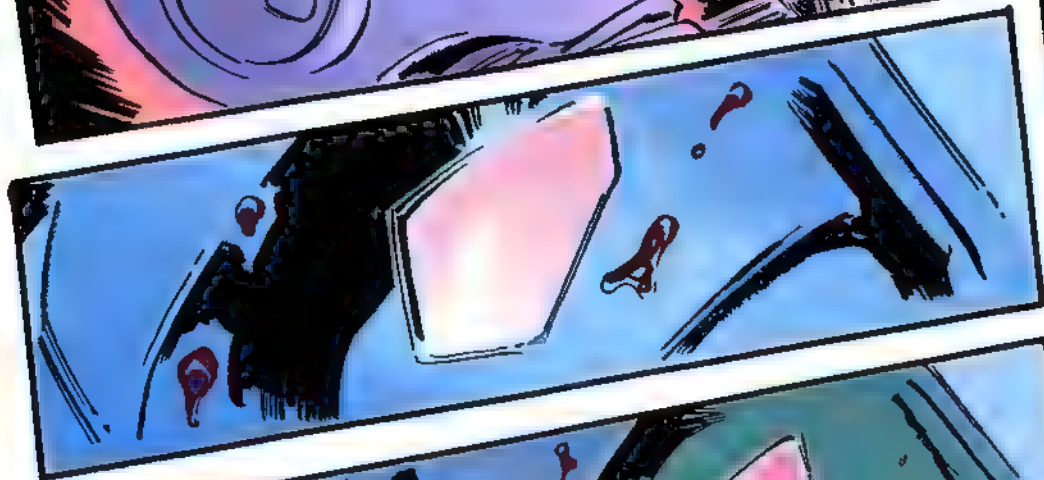
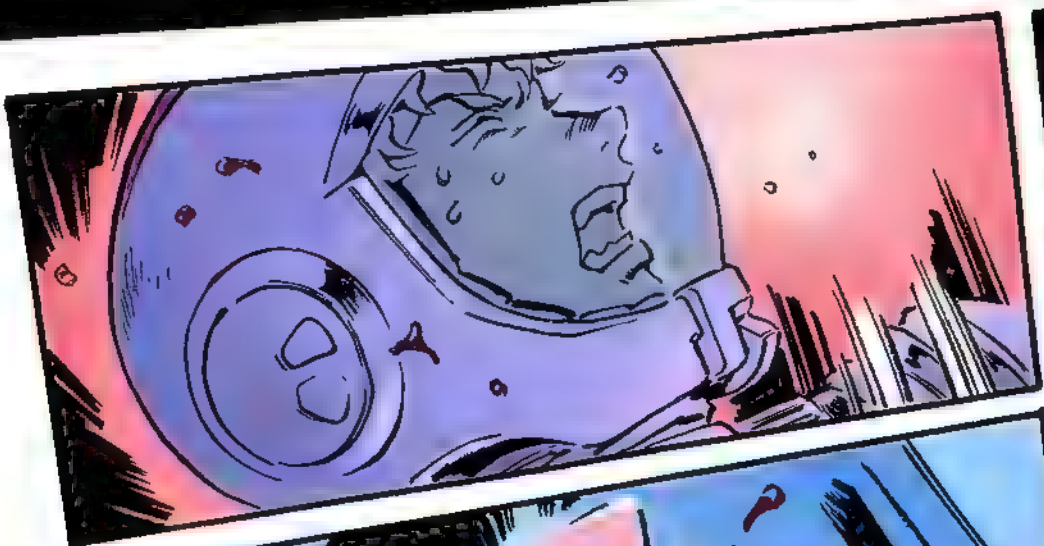
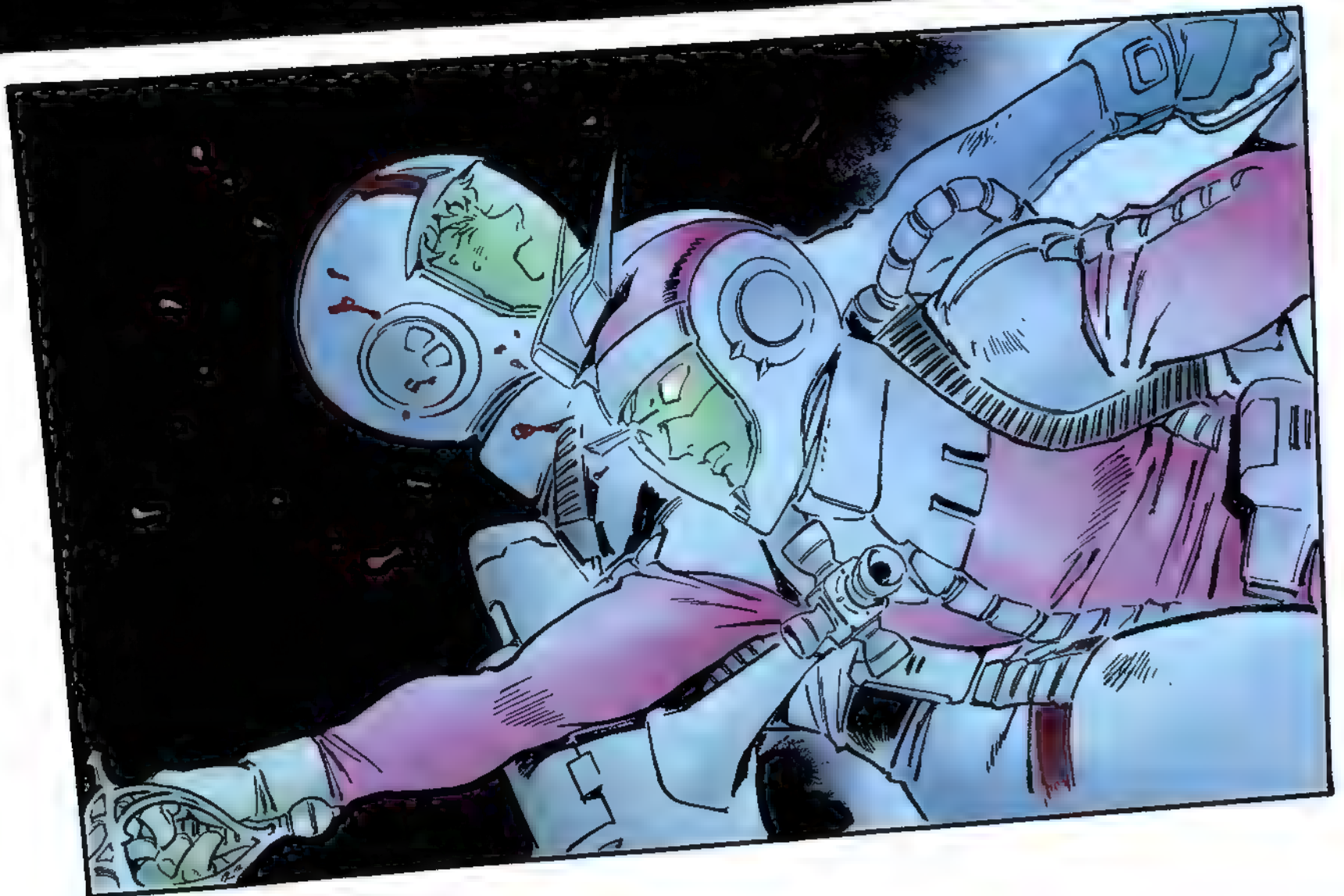
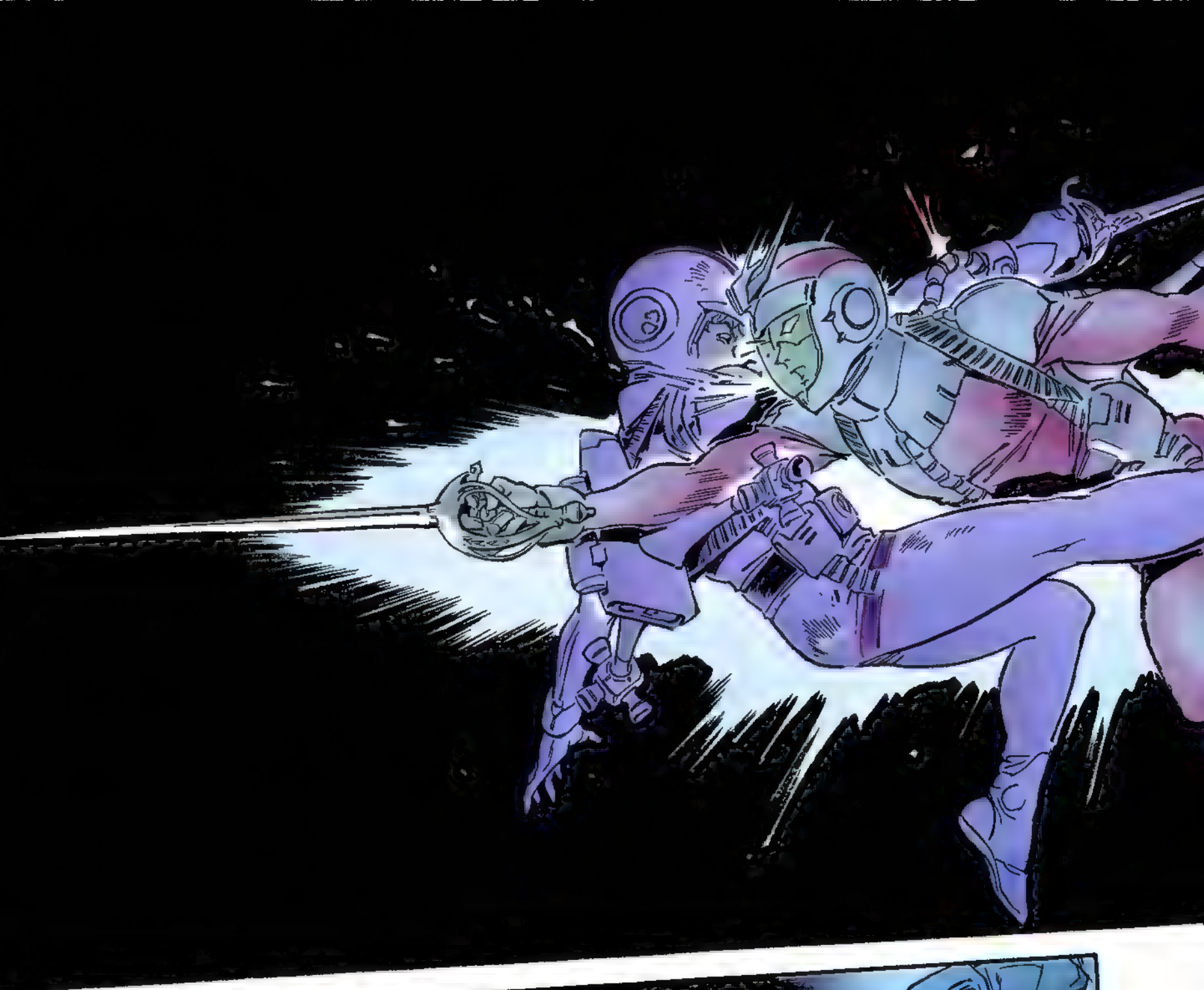
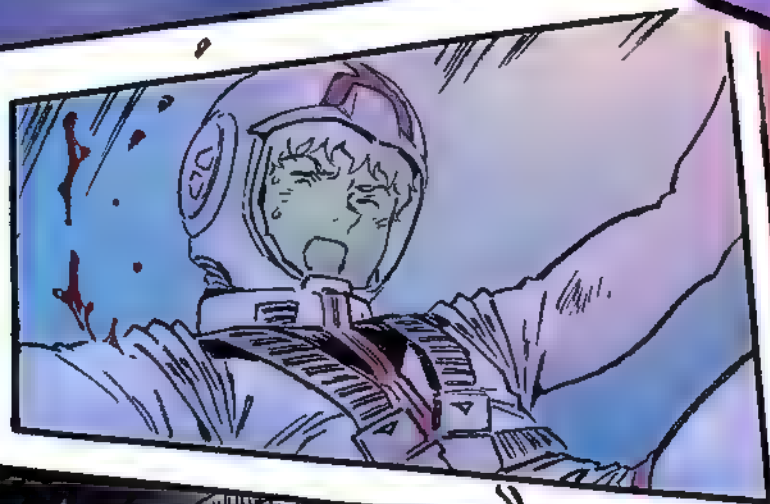
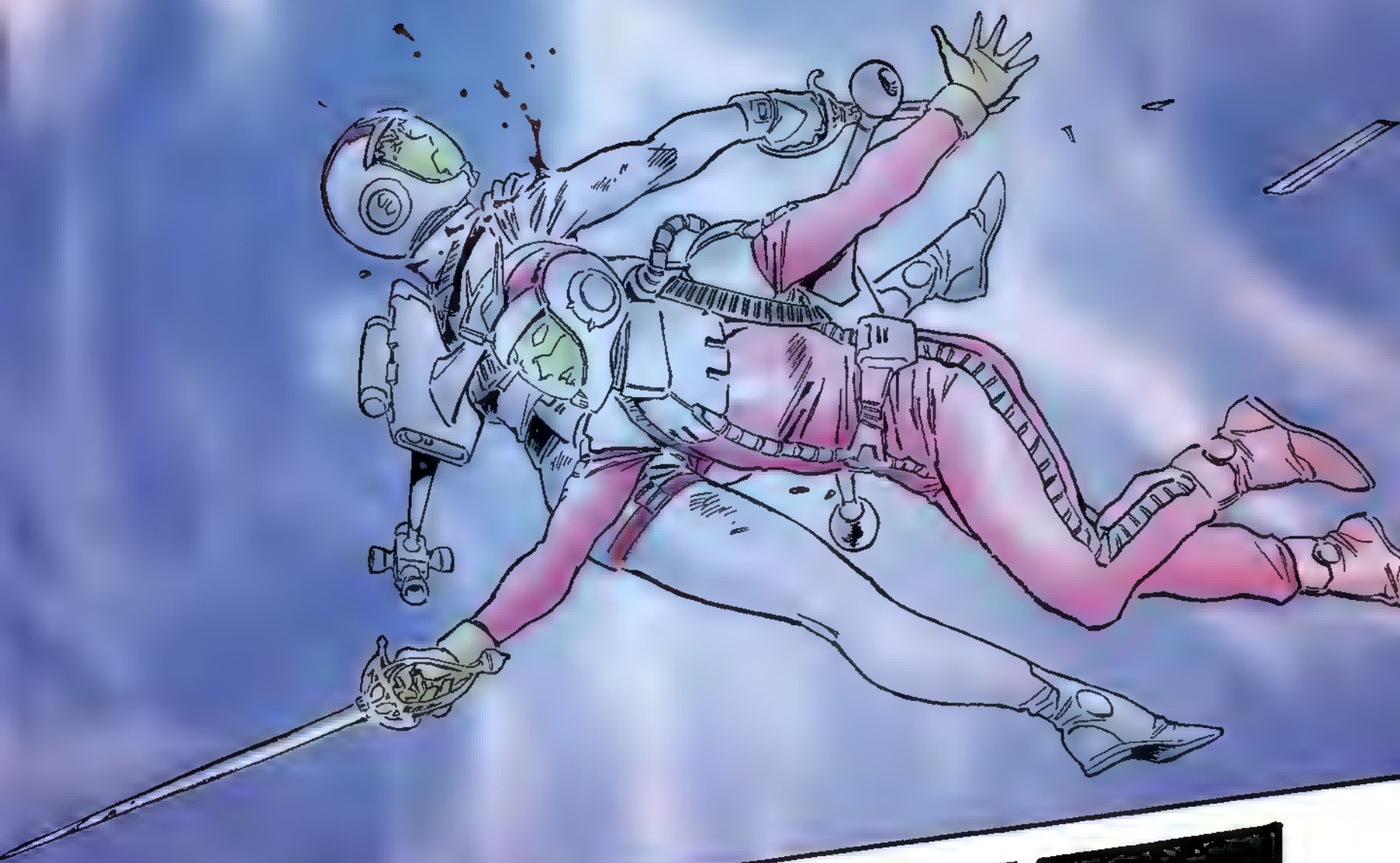
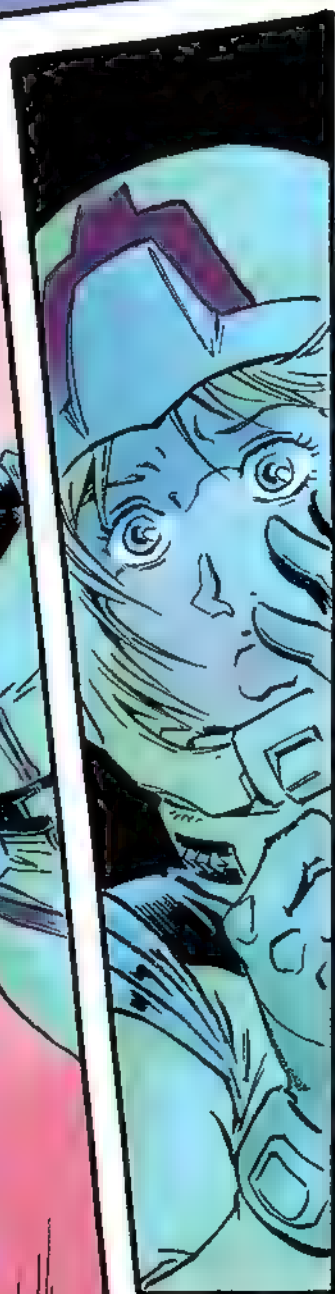
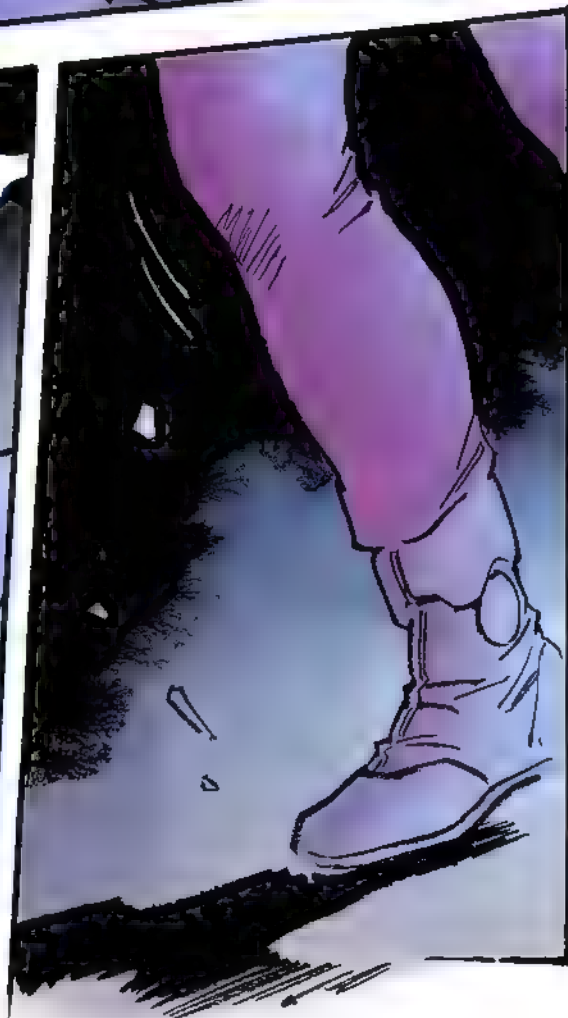
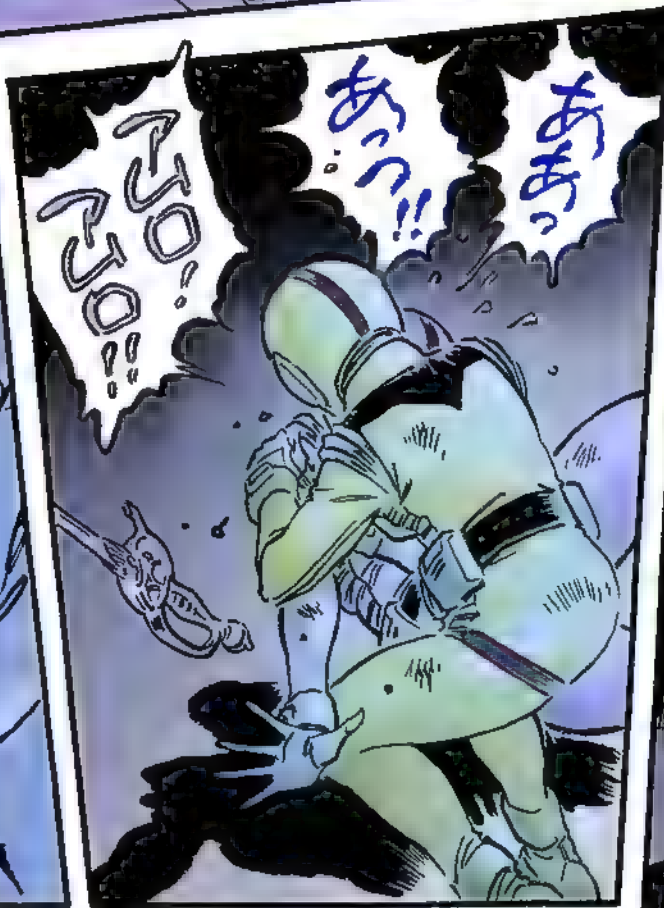
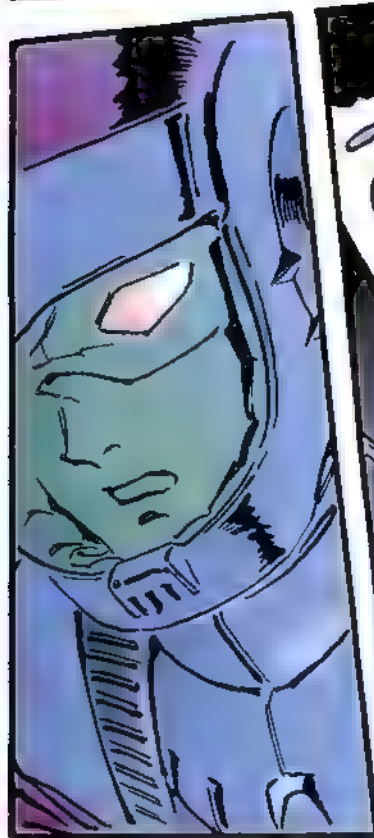
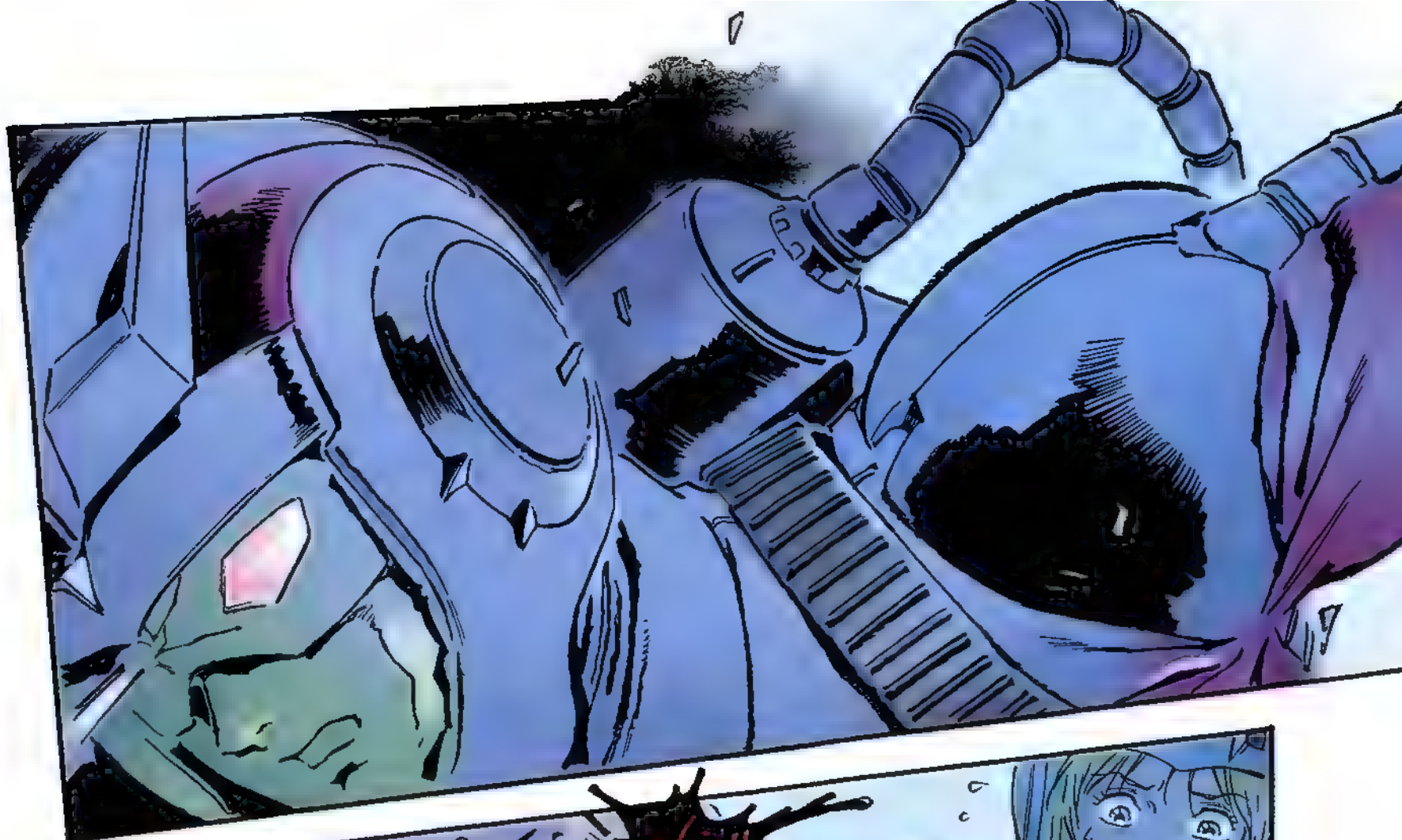
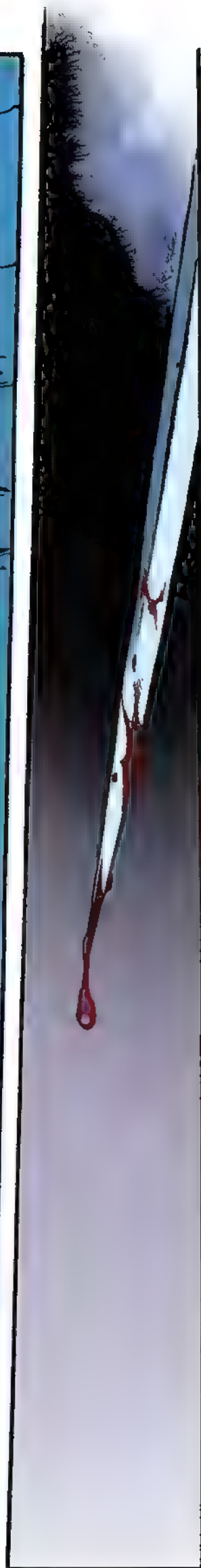
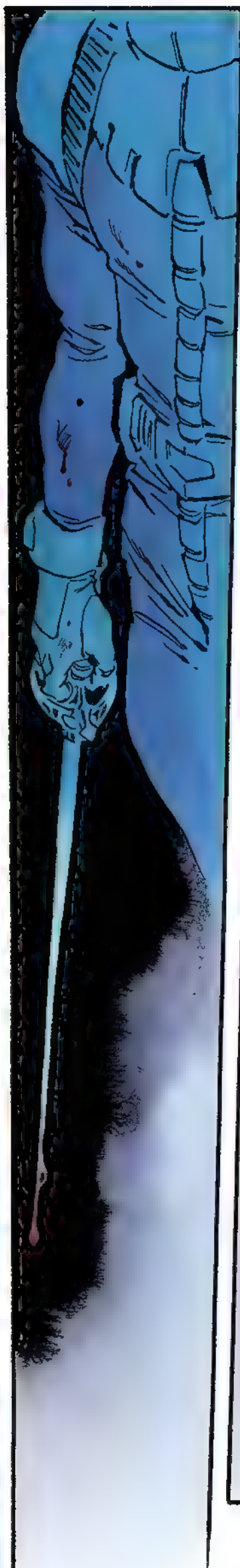
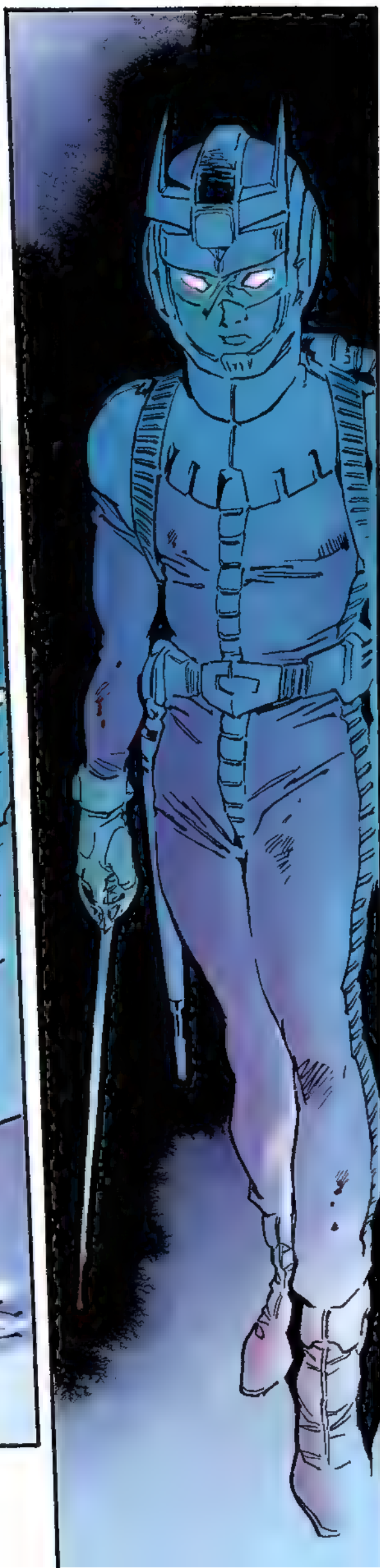
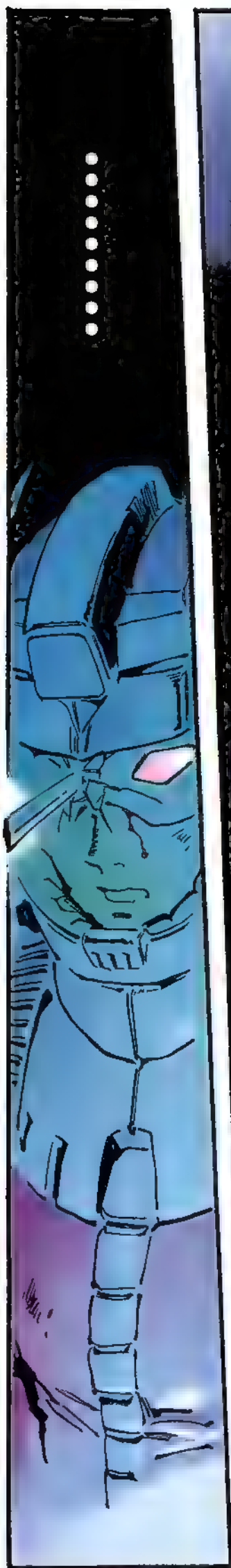
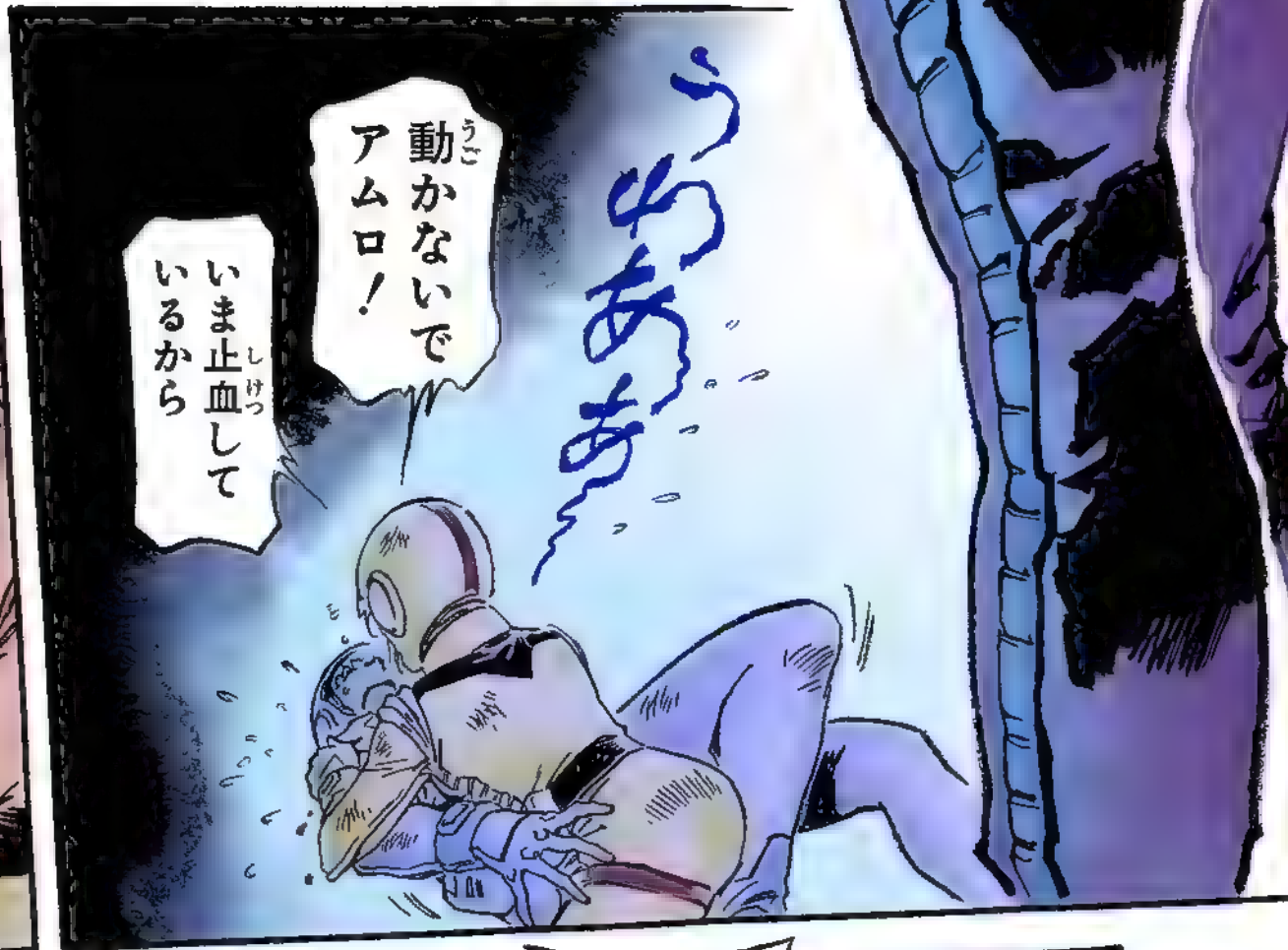
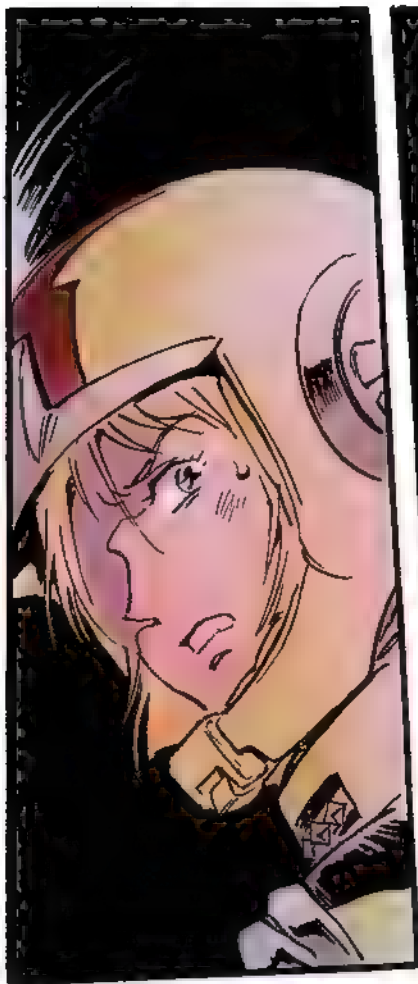
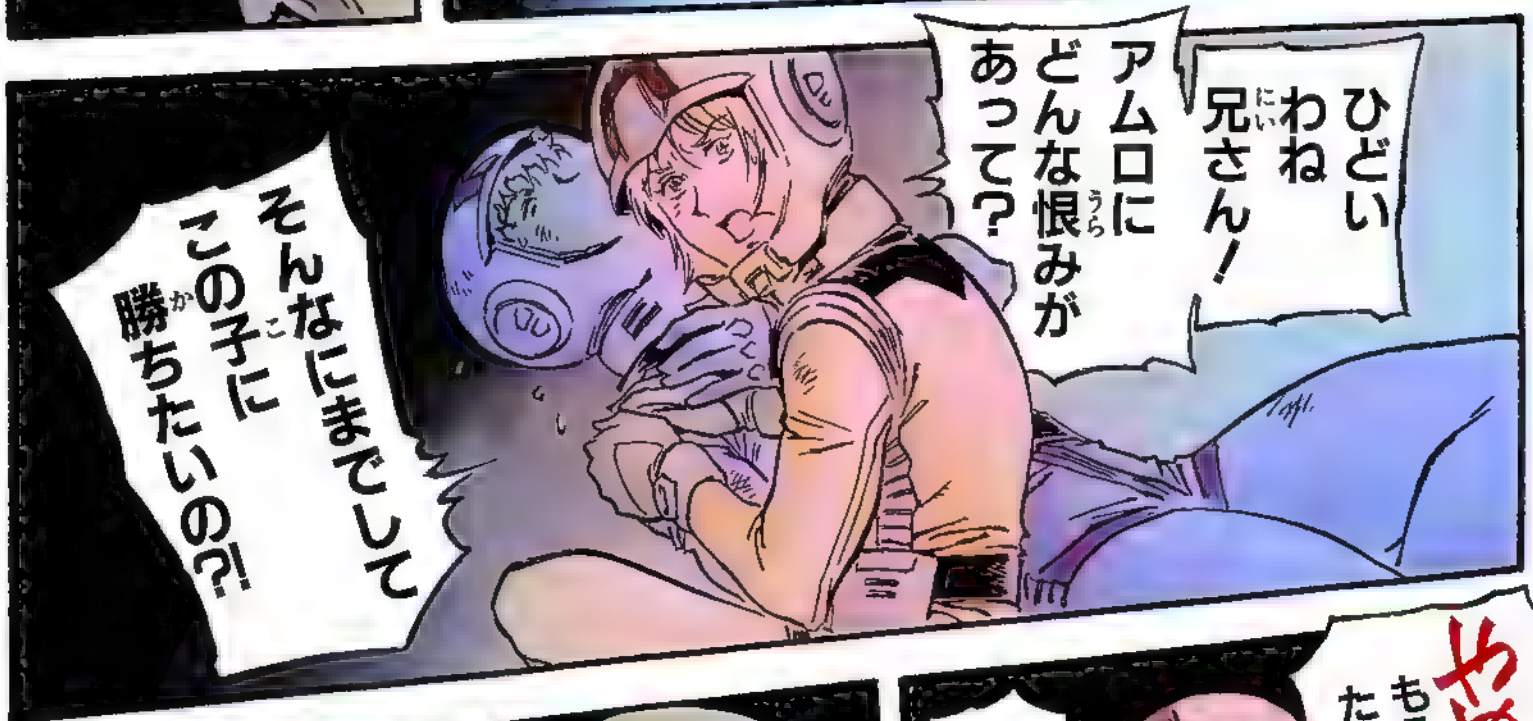
僕にだってえええっ

ド!!

僕にだって大事な人が
護ってやりたい仲間がい
いるんだああっ!!
!!

やめなさい!
二人(ふたり)が闘(たたか)うことなんてないのよ!!
やめなさい!!
ちいっ

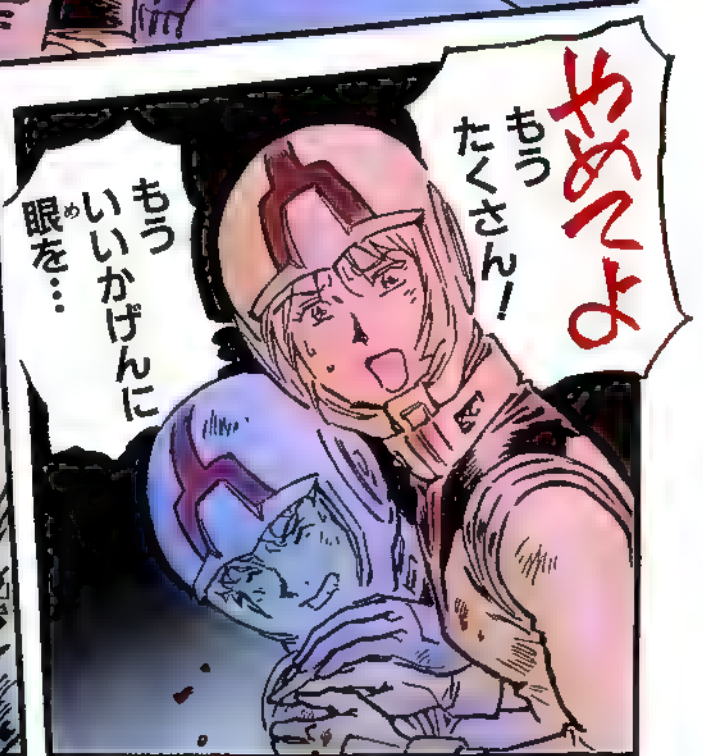
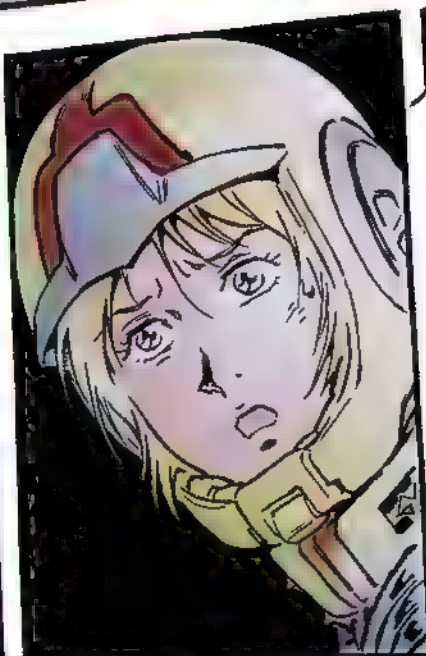
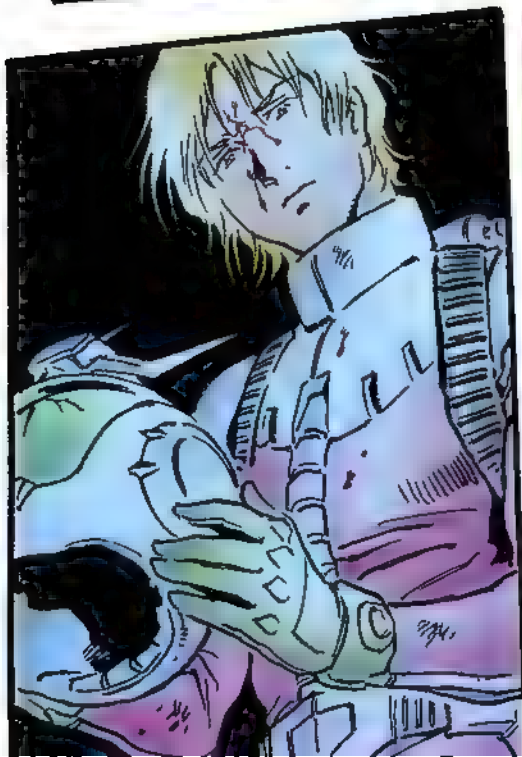
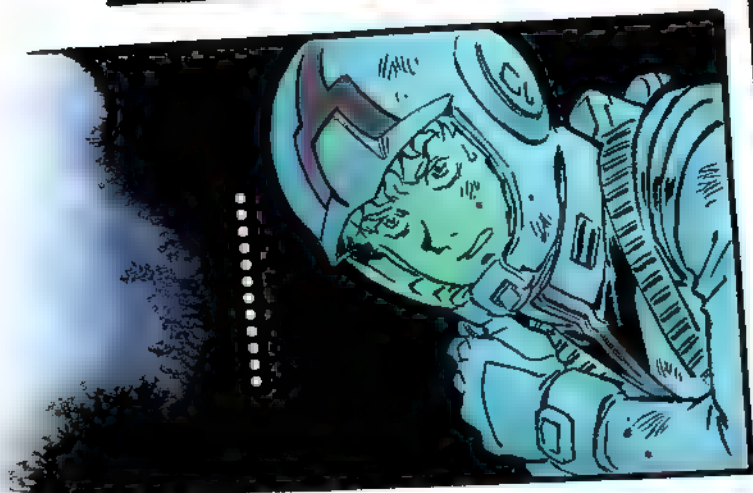
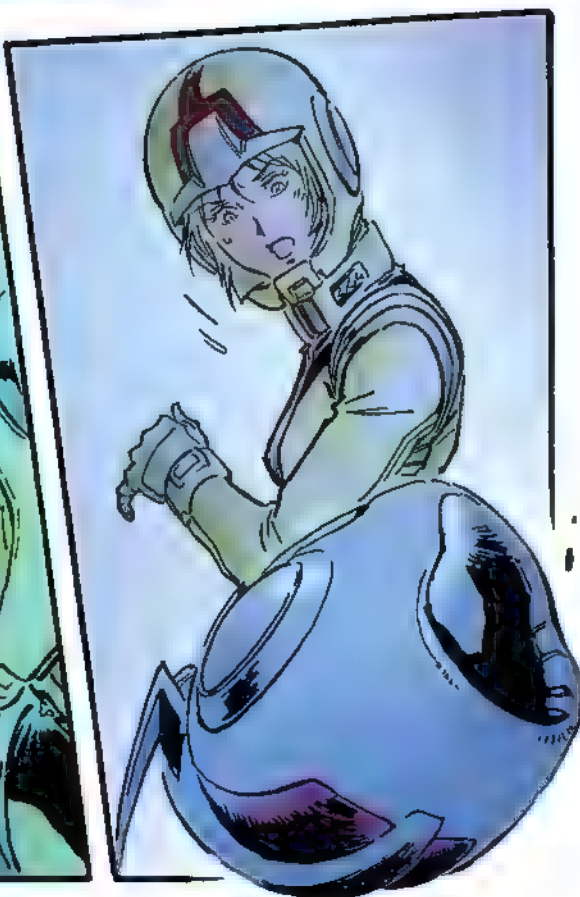
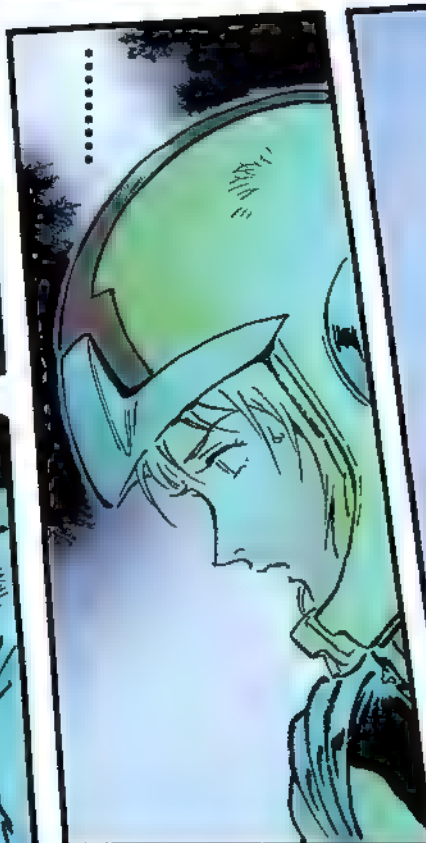
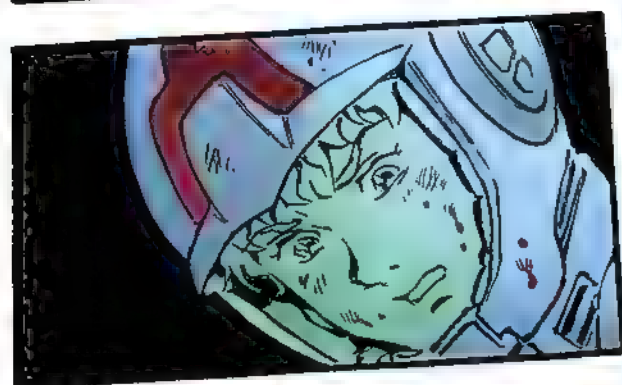
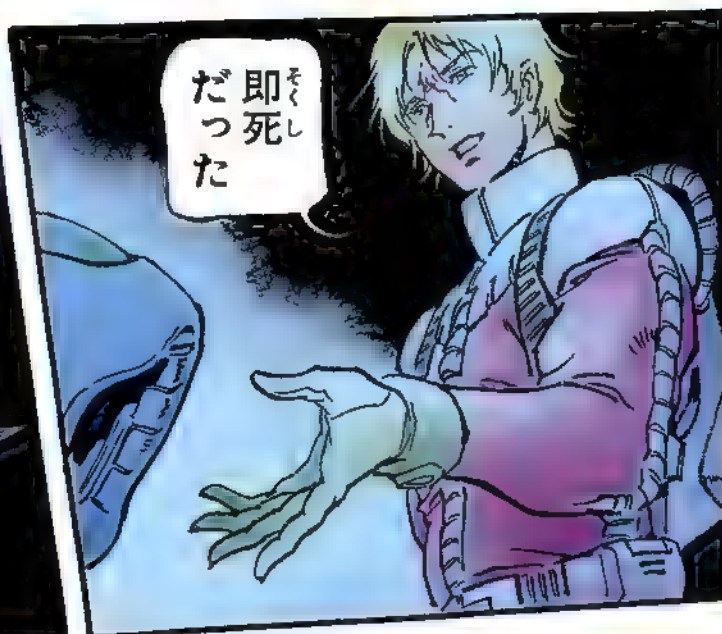
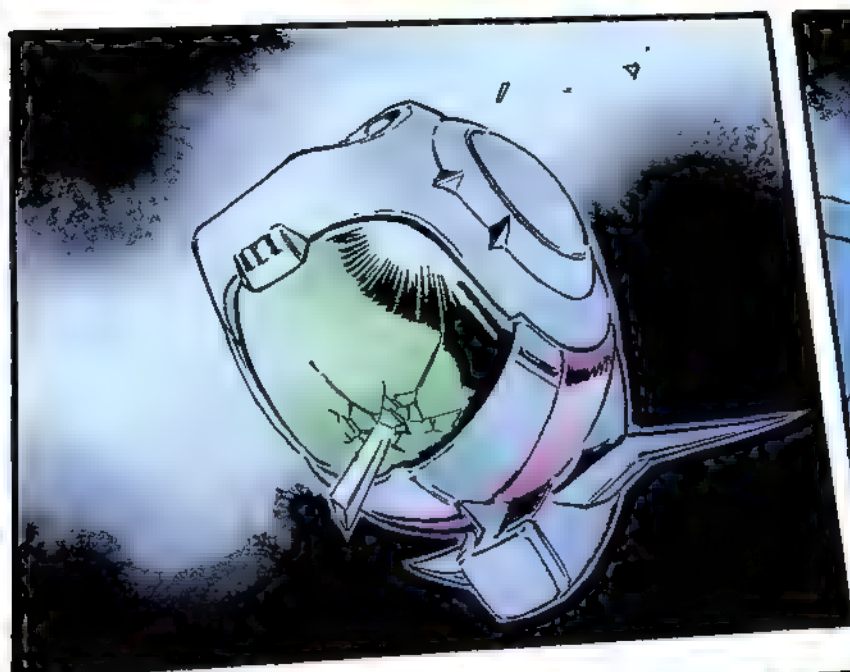
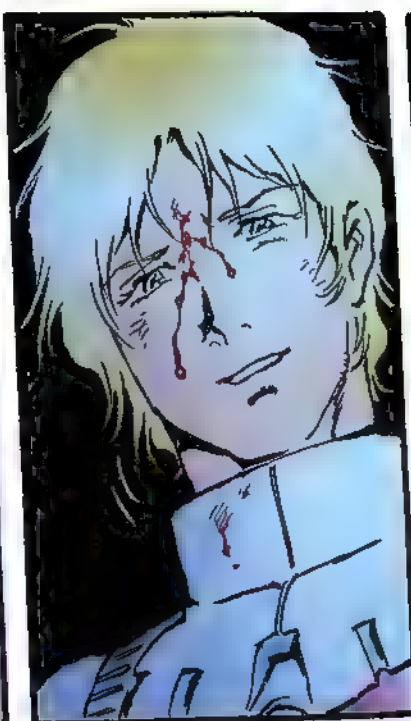
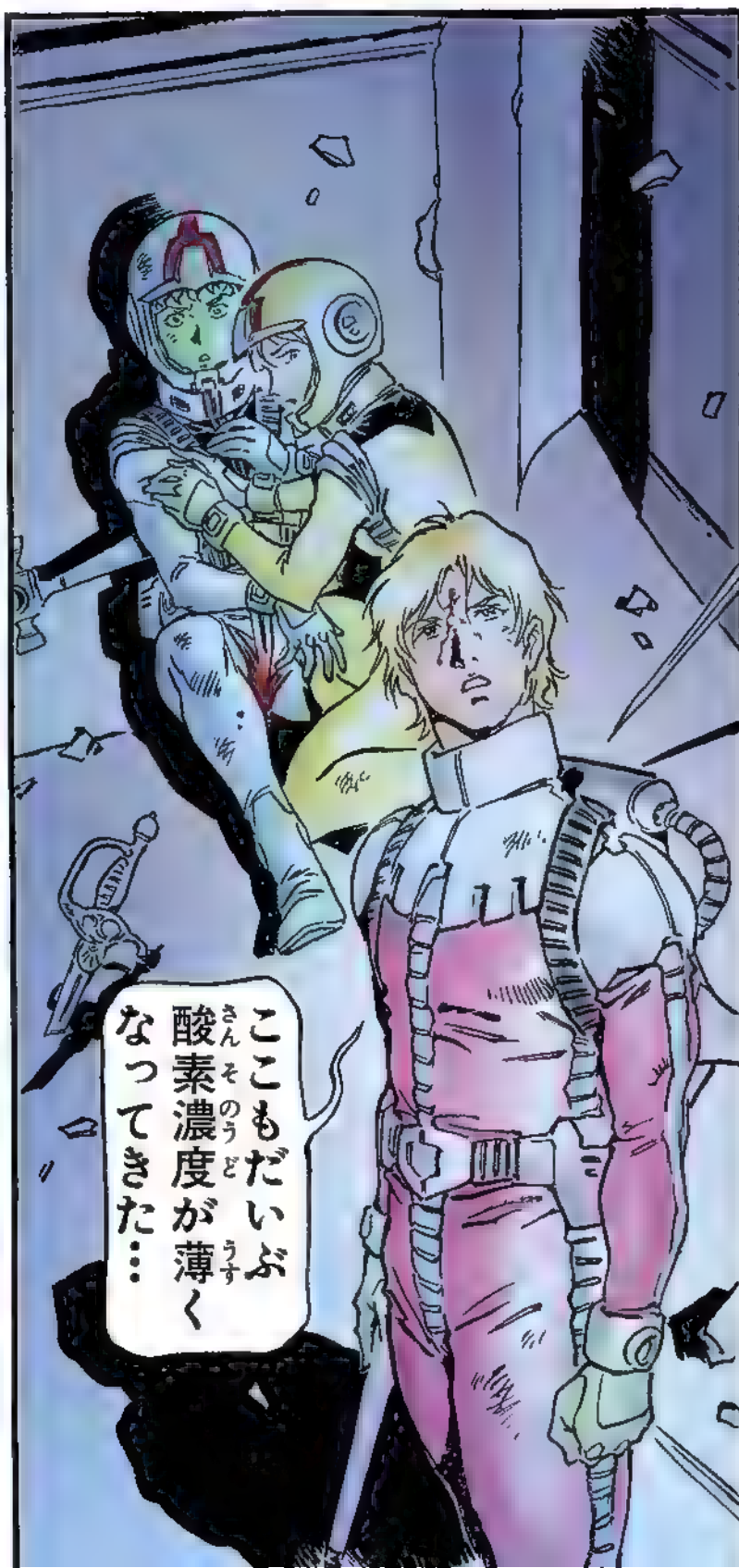
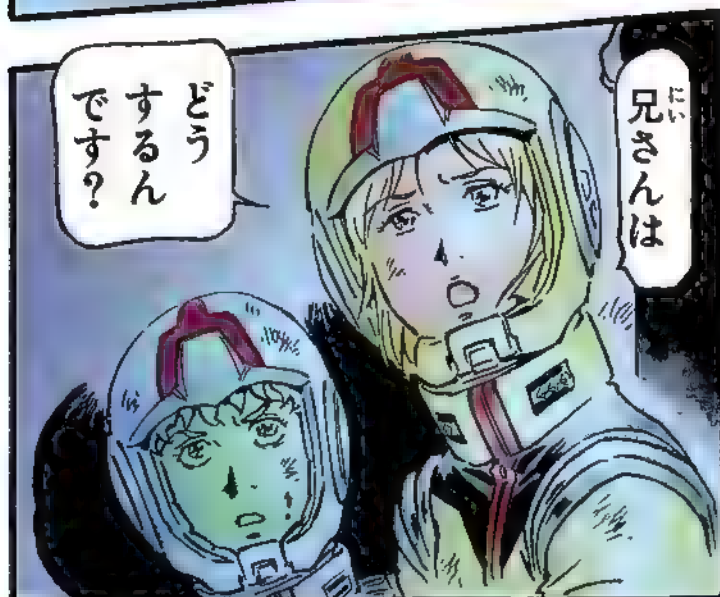
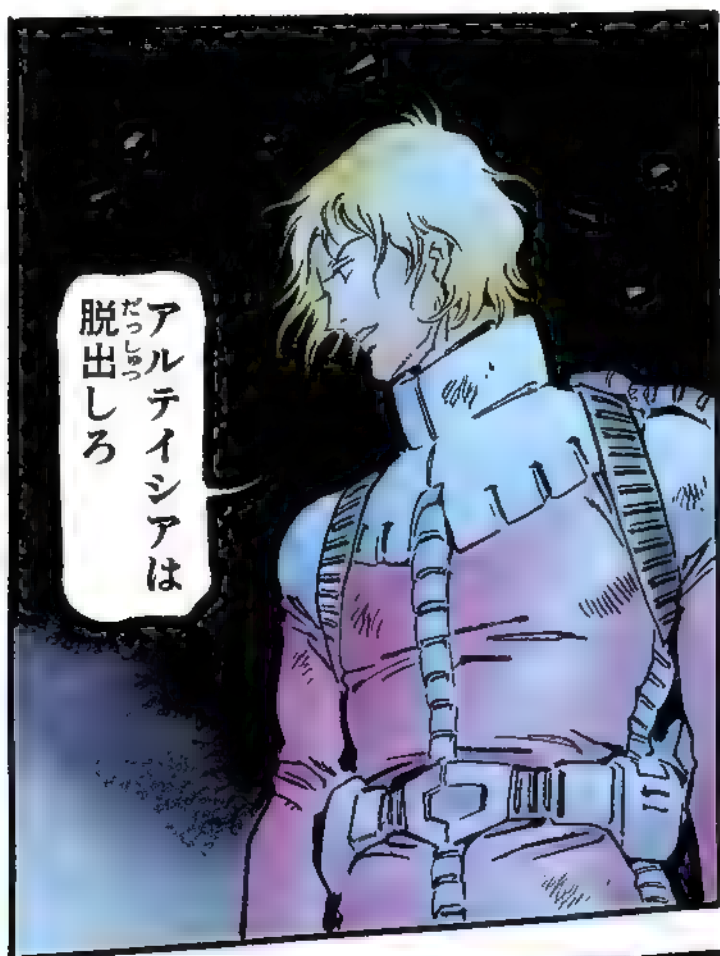
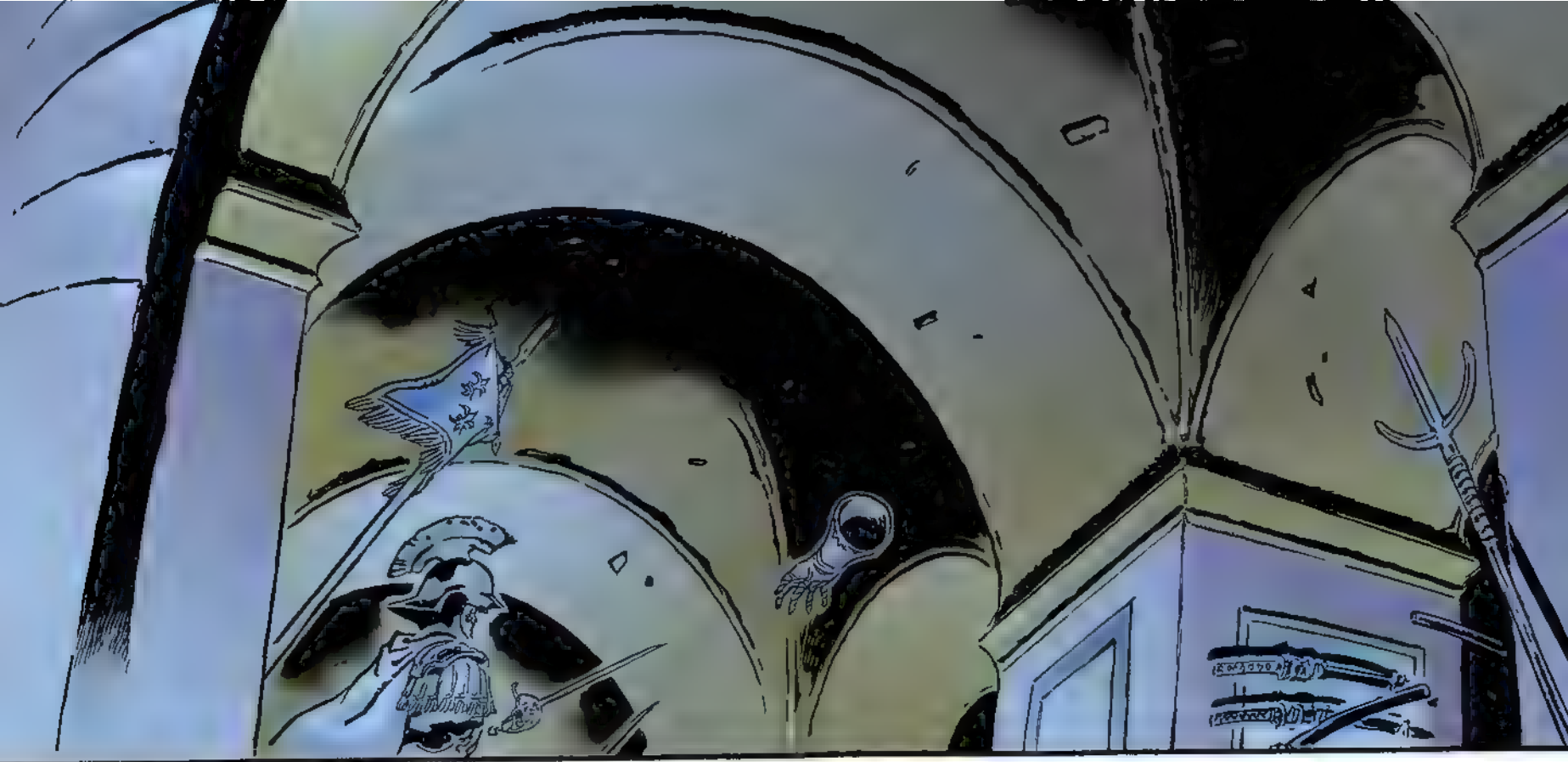
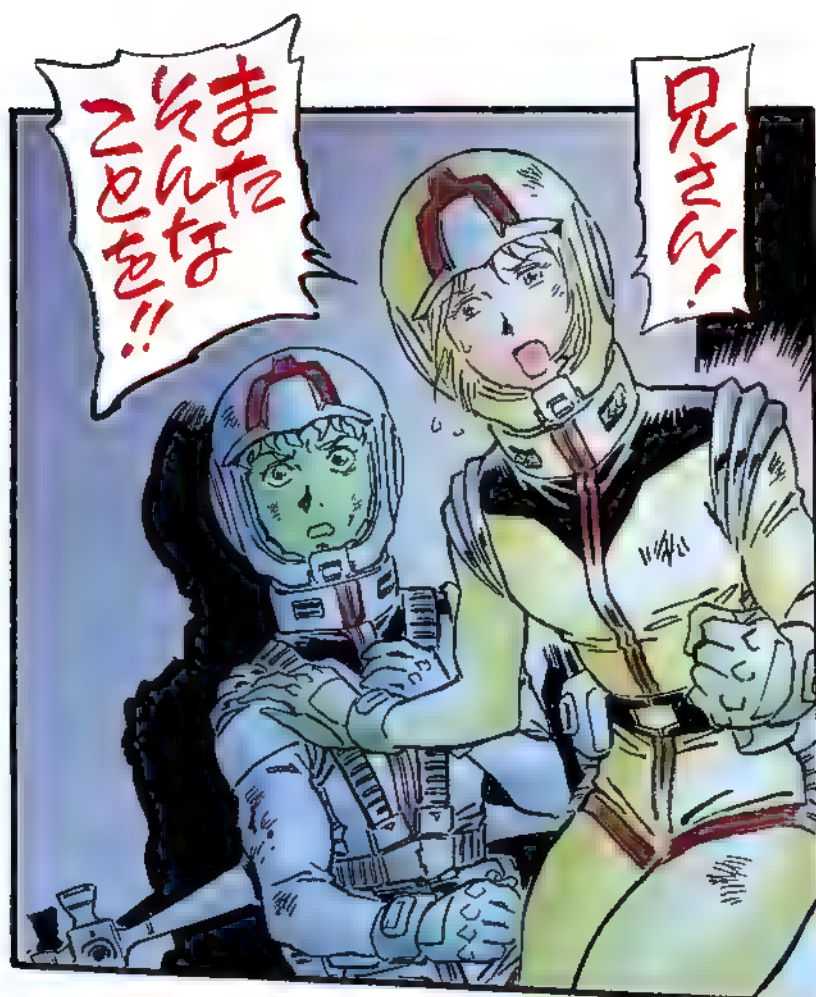
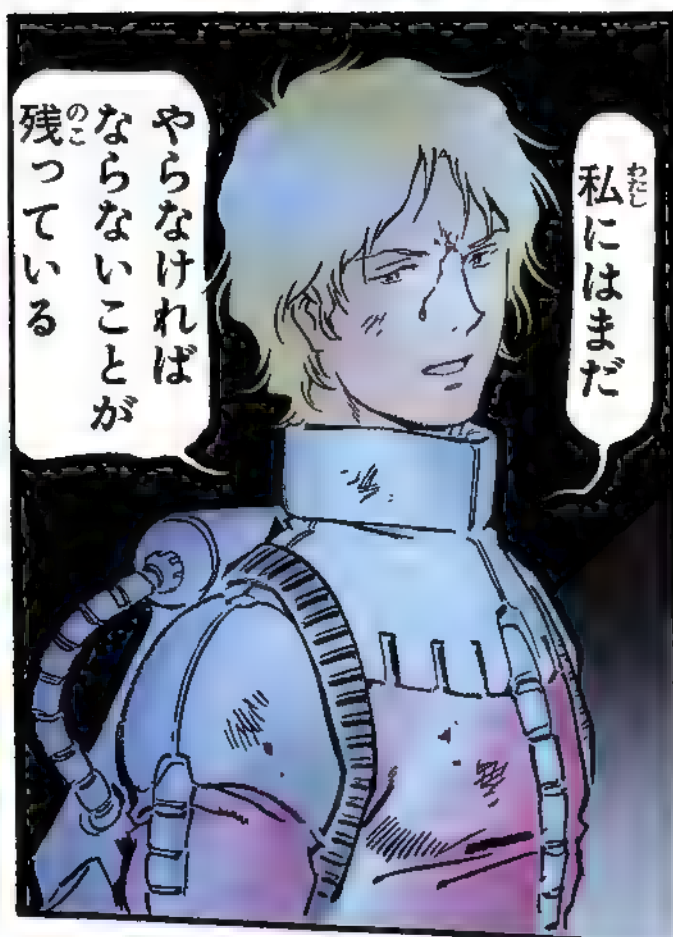
プル
ロ!!
大丈夫っ!!

ガッ!!
あぁっ
あっっ!!
アムロ!!アムロ!!

うわああぁ～
動かないでアムロ！
いま止血しているから
ひどいわね兄さん！
アムロにどんな恨みがあって？
そんなにまでしてこの子に勝ちたいの?!
やめてよ
もうたくさん！
もういいかげんに眼を…

兄さん!
額の傷は?!
ヘルメットが
なければ…
即死だった
……
……

ここもだいぶ酸素濃度が薄くなってきた…

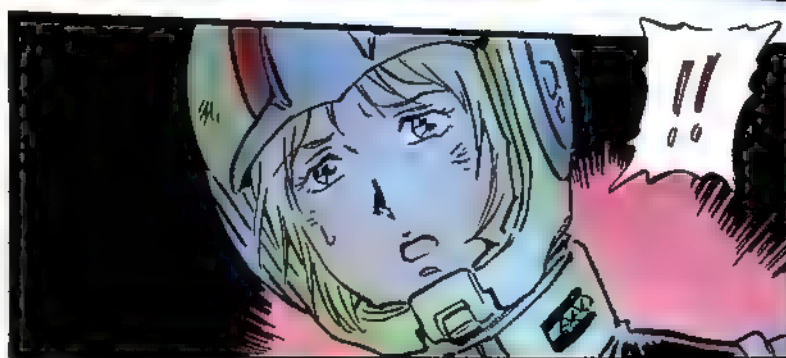
アルテイシアは脱出しろ

兄さんは
どうするんです？

私にはまだ
やらなければならないことが残っている

兄さん!
またそんなことを!!

アルテイシア
私はただひとつのことのために生きてきたのだ……

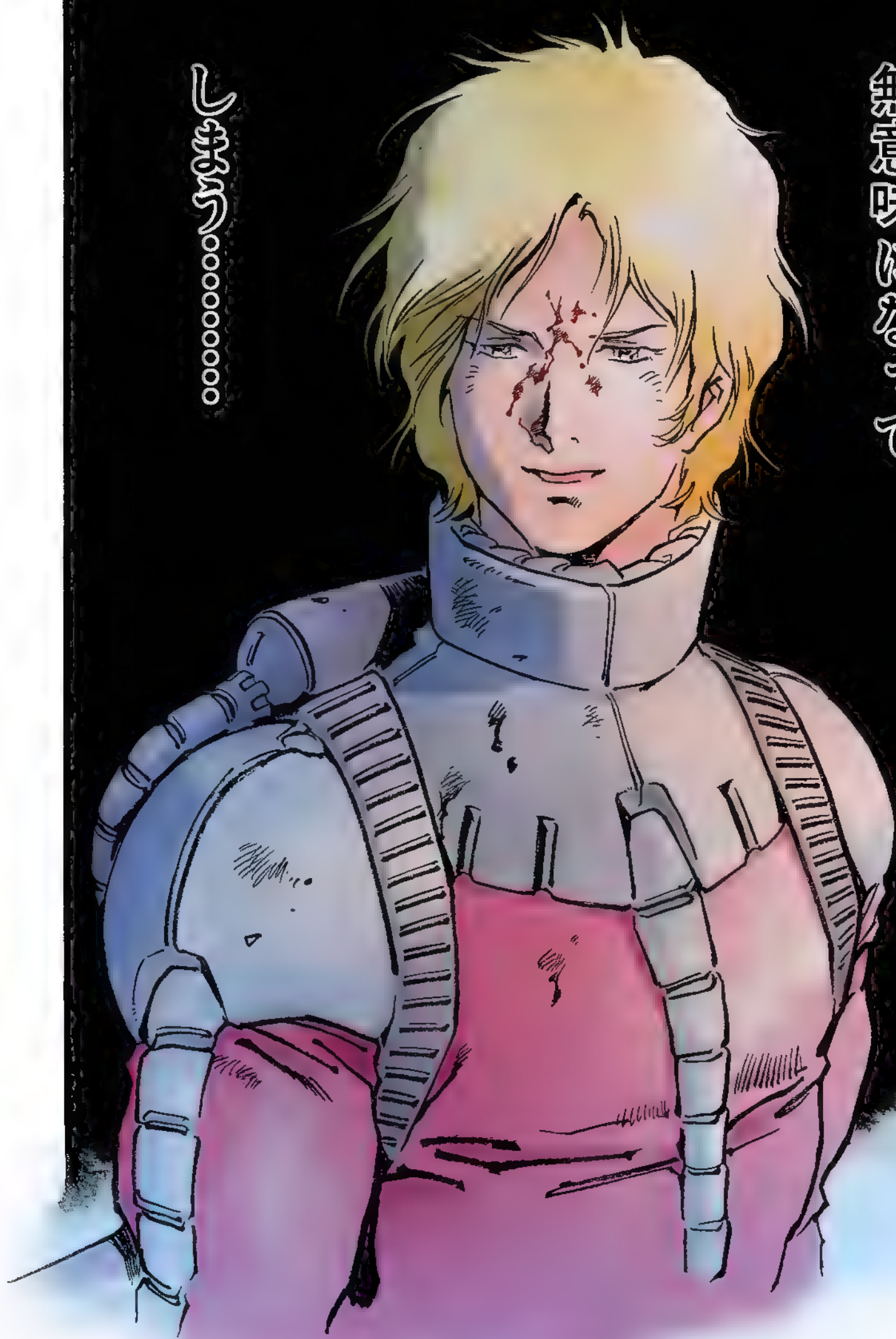
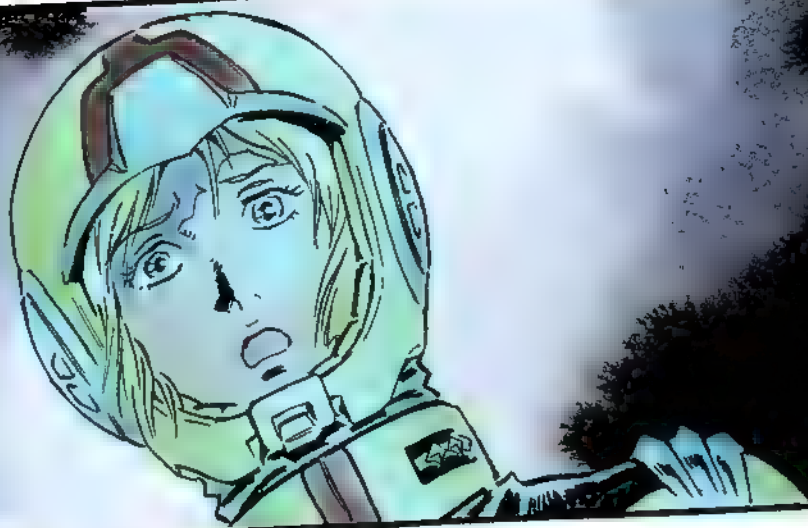
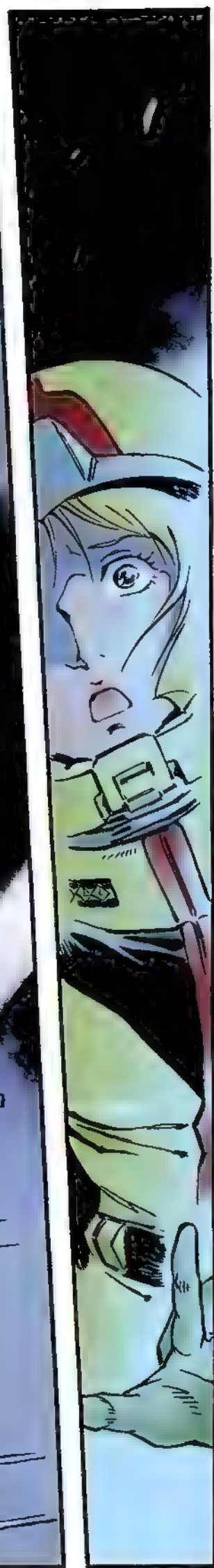
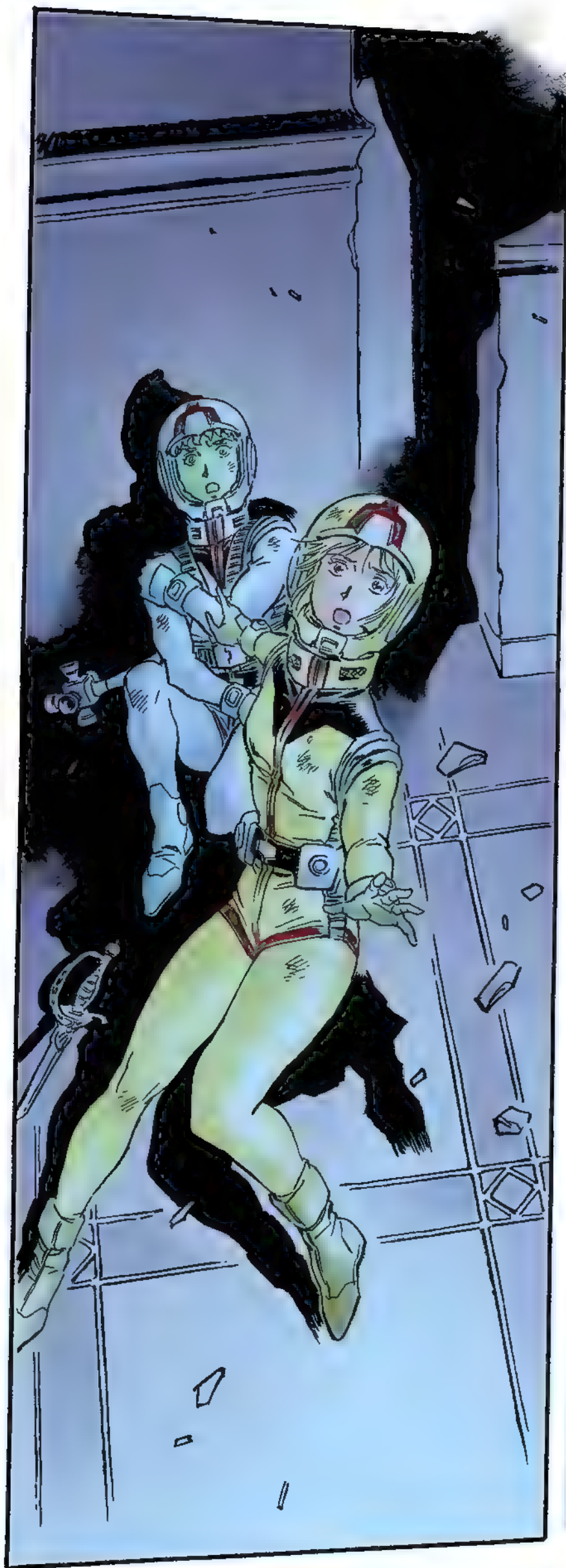
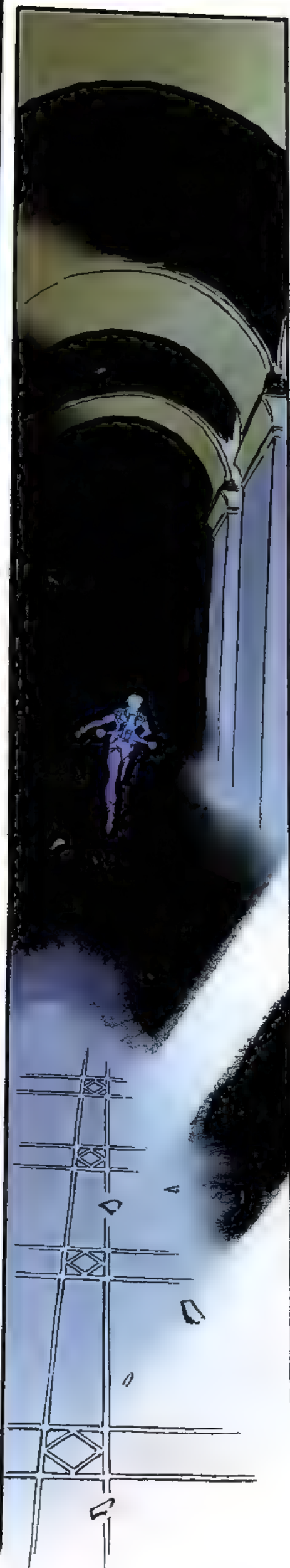
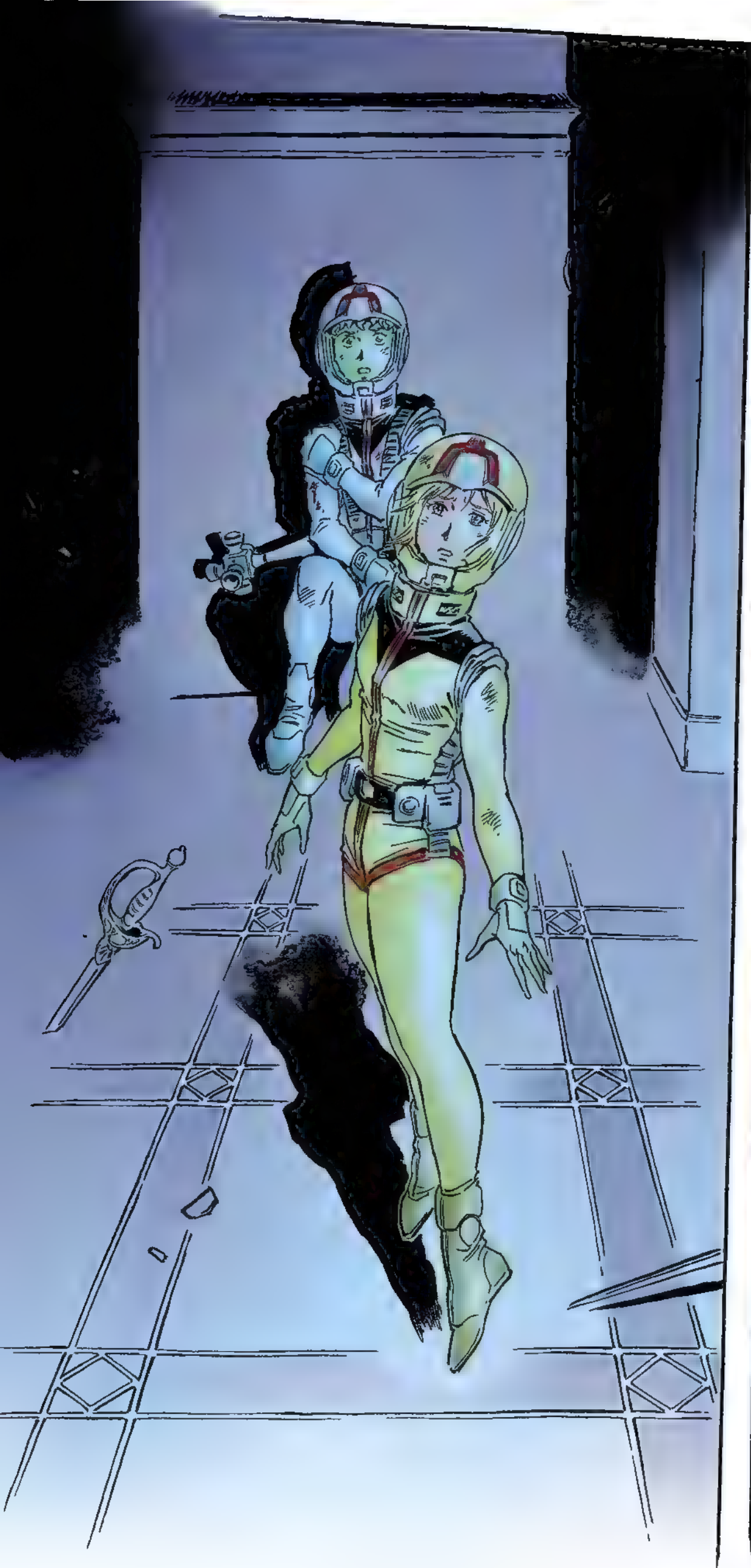
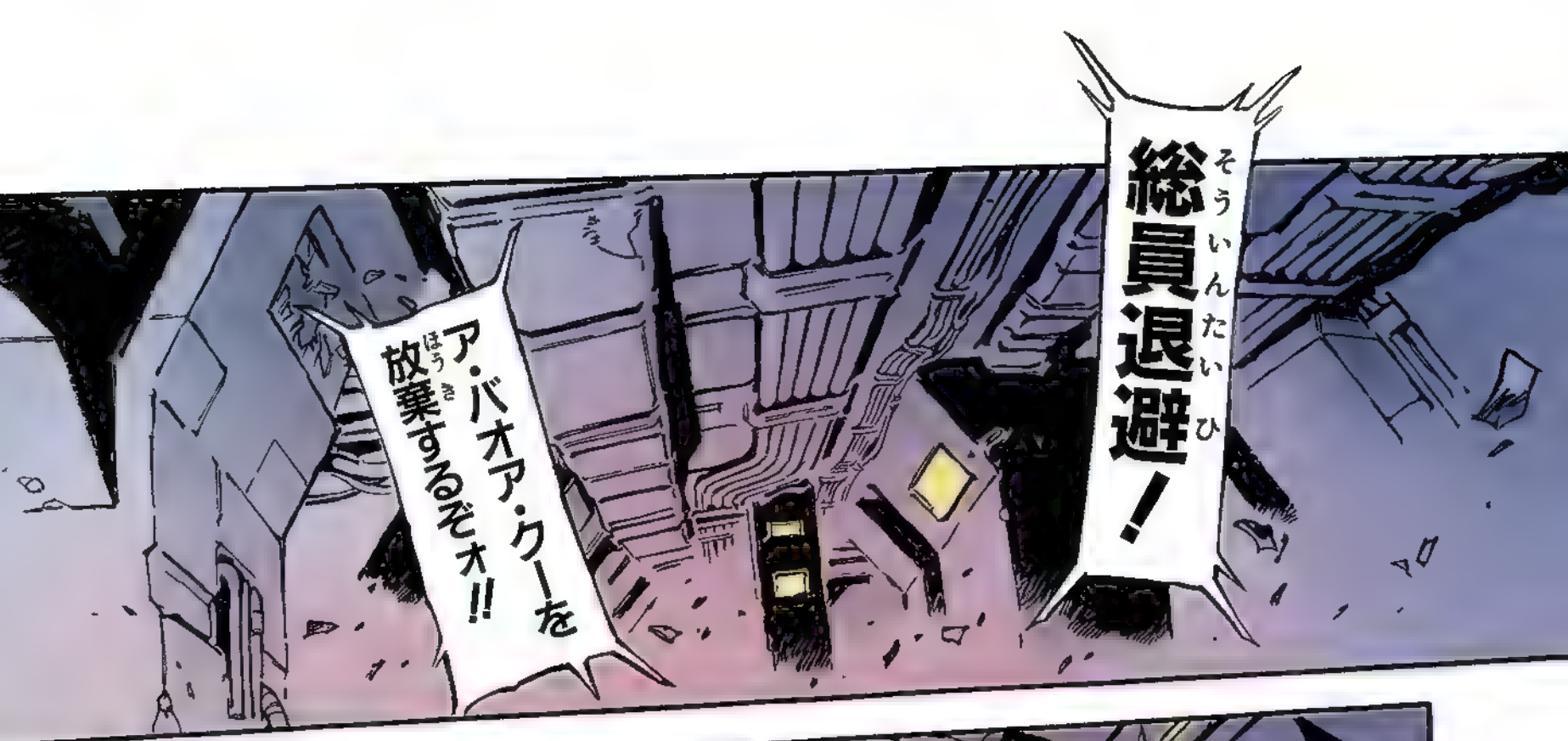
!!

これまで為してきた様々なことが

それを捨ててしまったら

無意味になって
しまう………

アムロ君を
よく介抱してやれ

あ

いい女に
なるのだな

総員退避！
ア・バオア・クーを放棄するぞォ!!
あと5分で酸素濃度がレッドゾーンだ
Nフィールドもうレッドをきってまあす
全ゲートひらけ!!!
オレにもハンドジェットをくれえ
撤収！
撤収ゥ!!

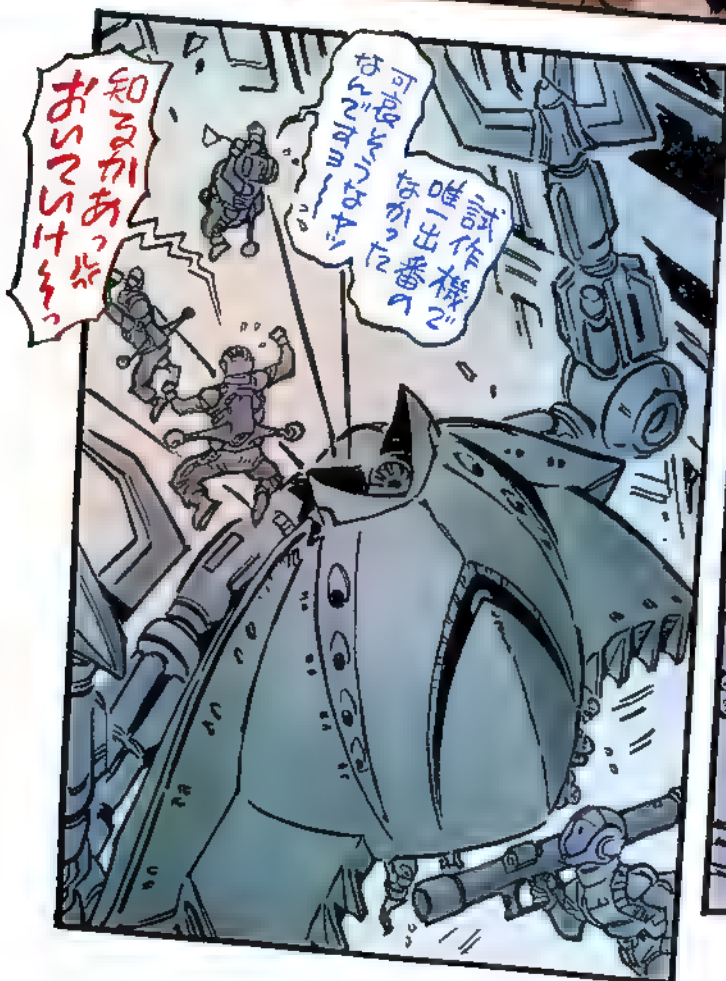
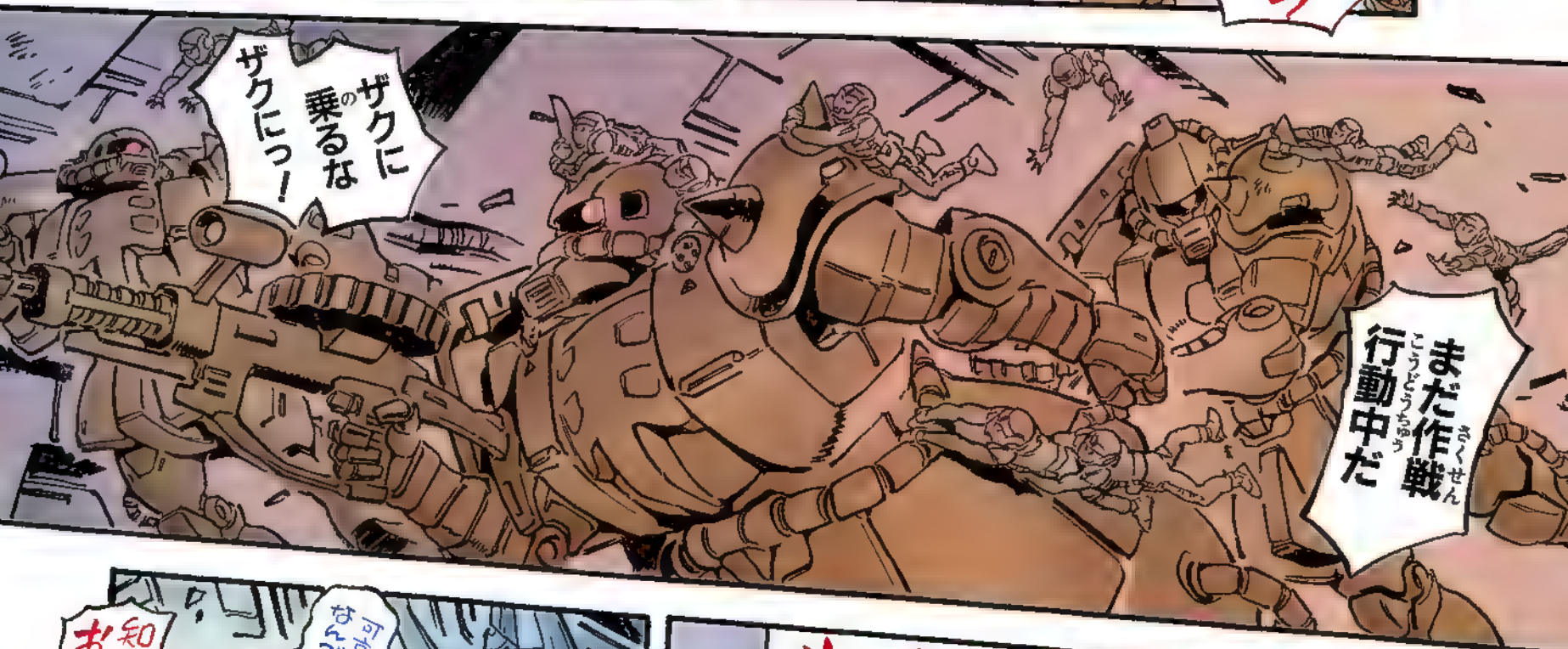
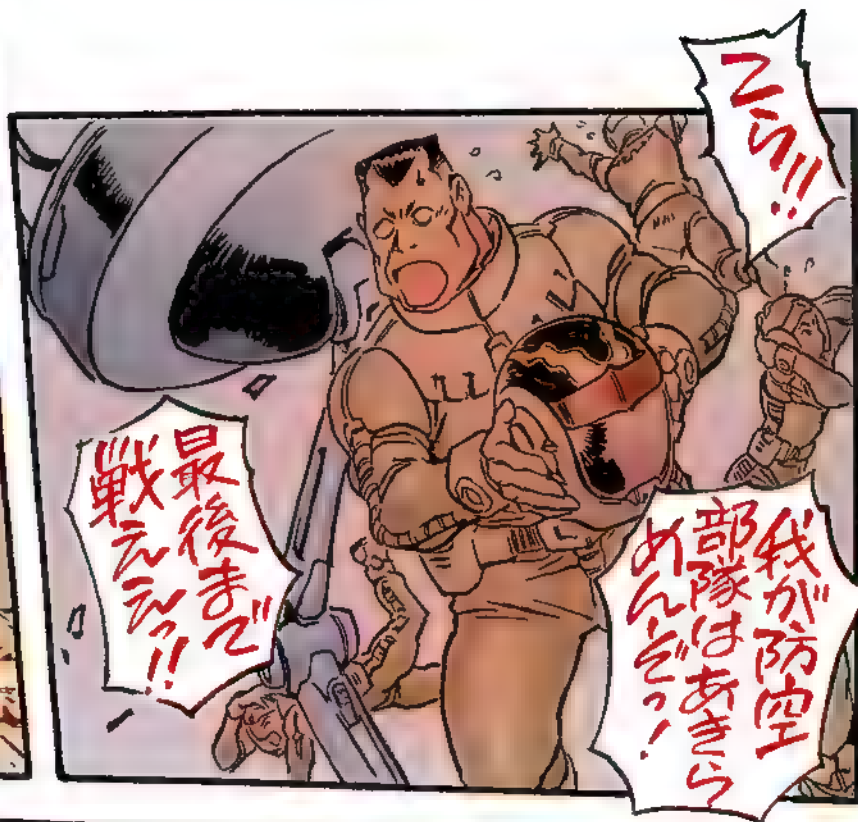
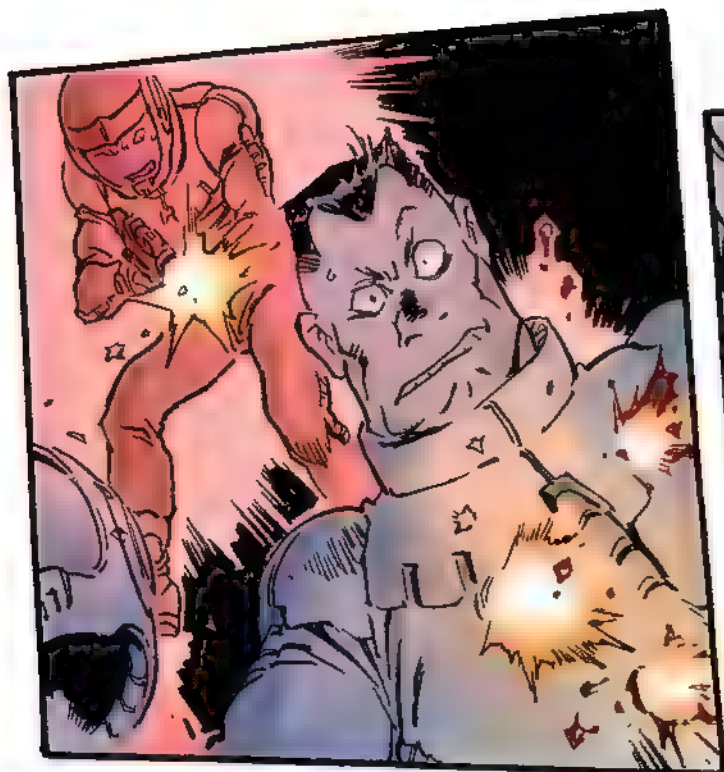
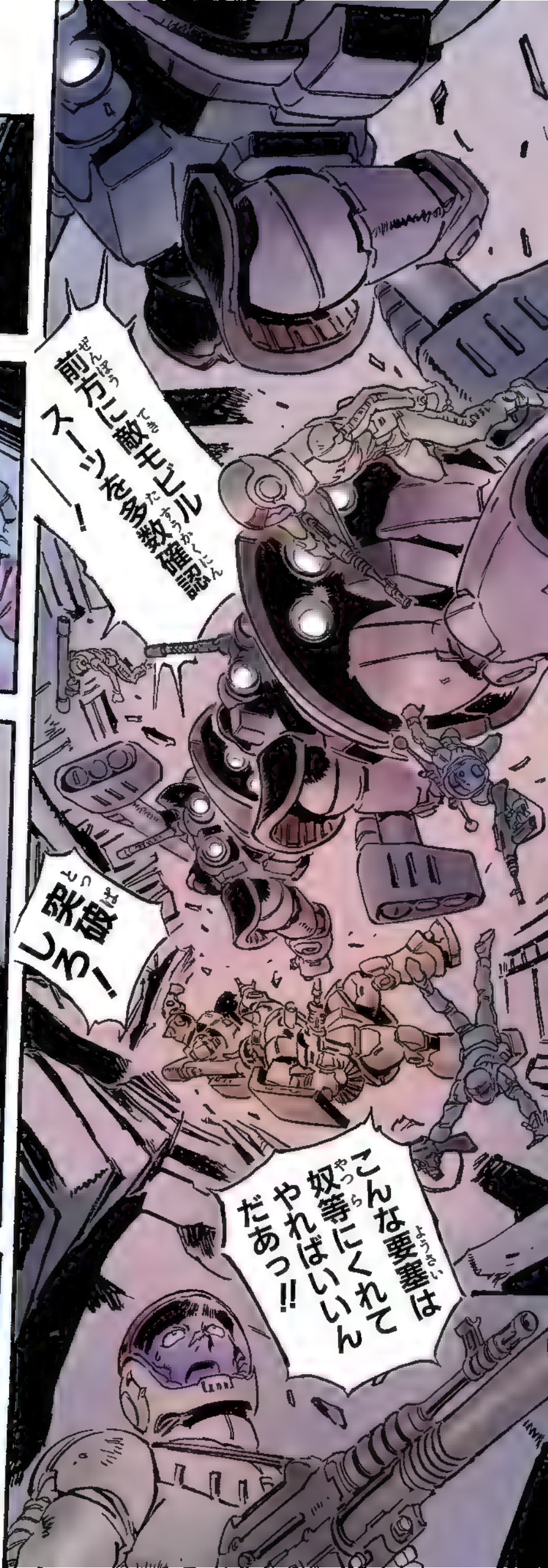
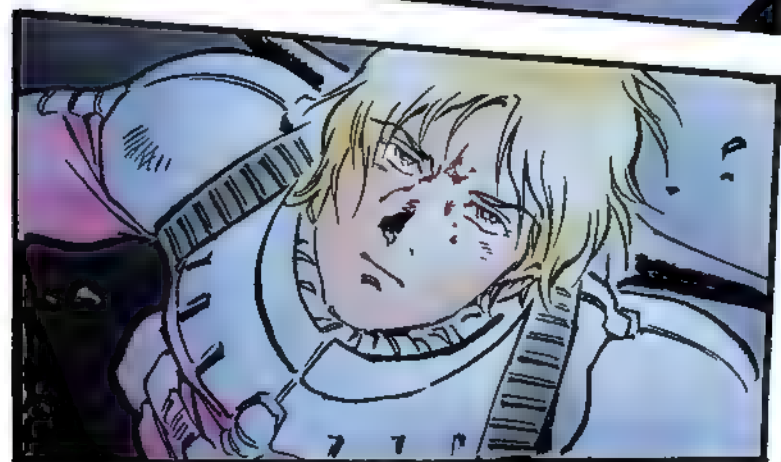
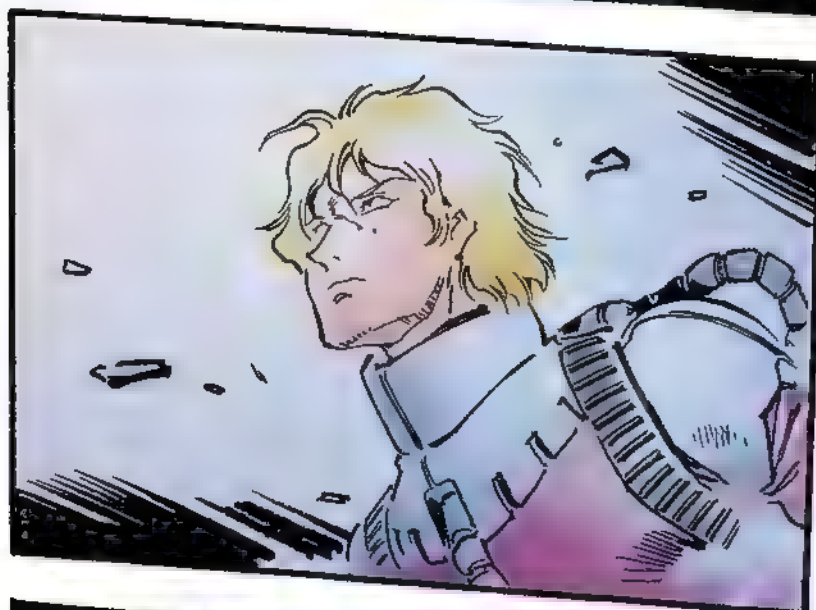
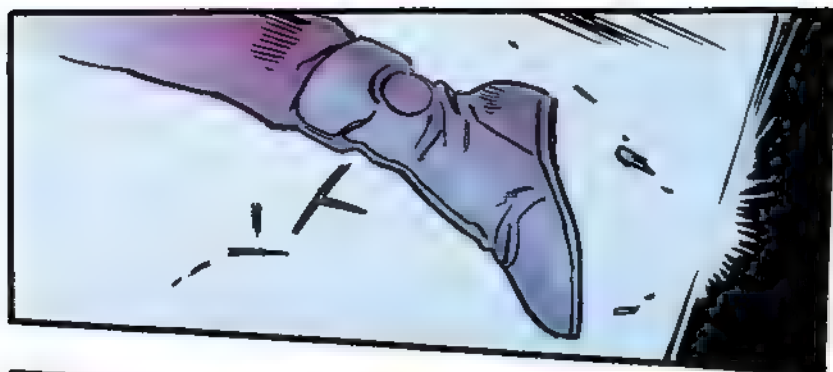
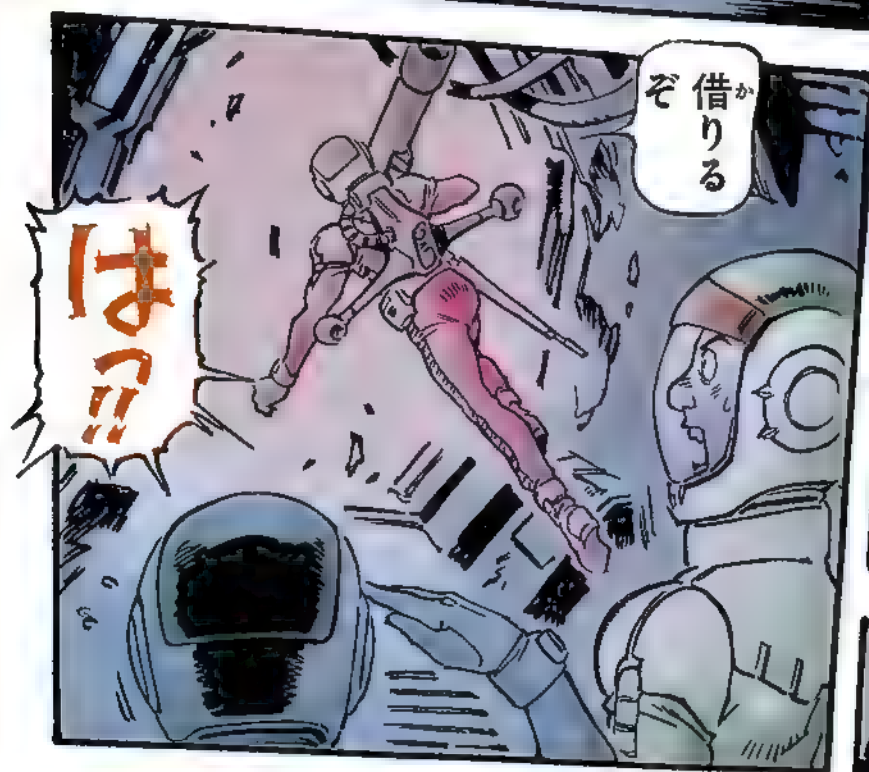
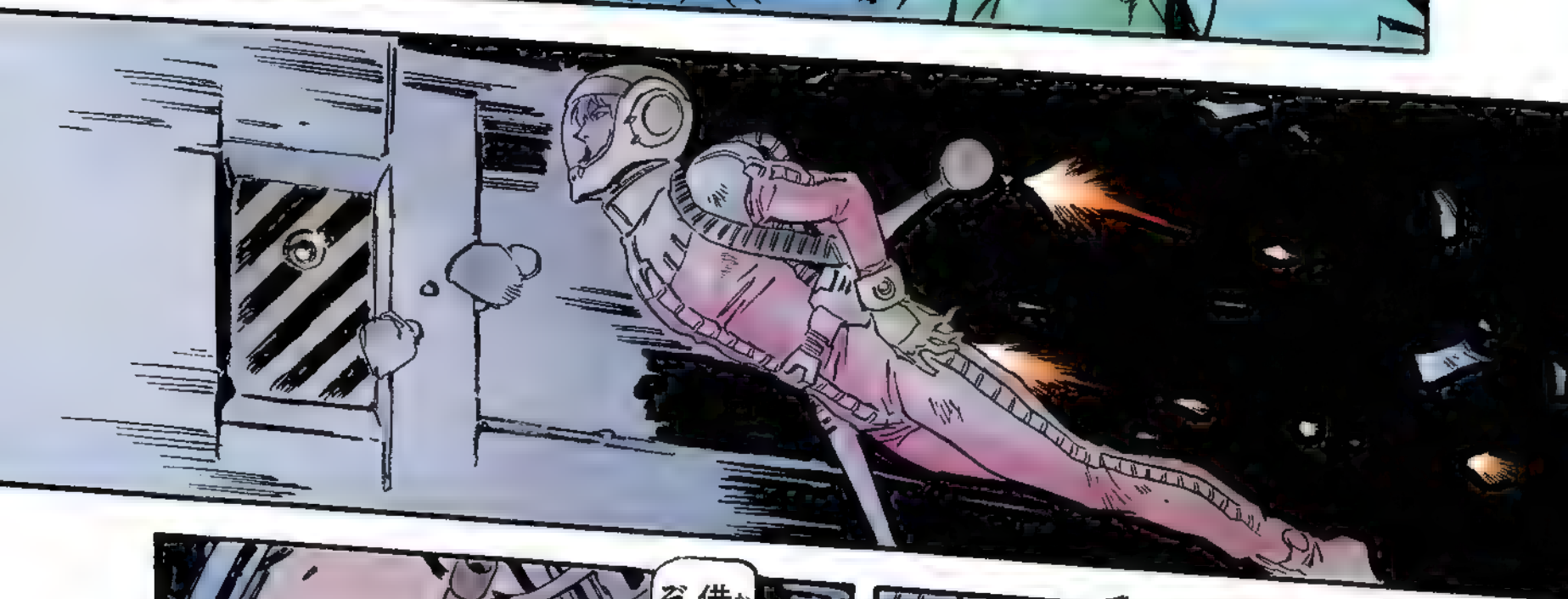
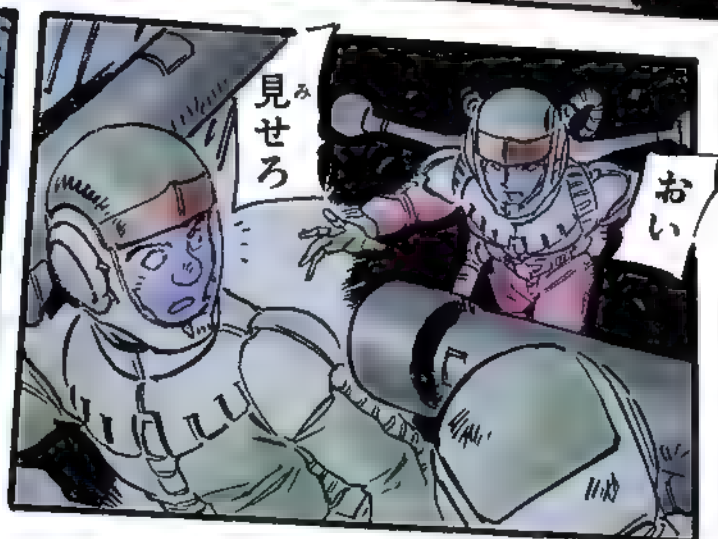
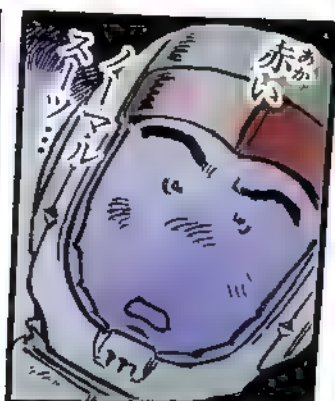
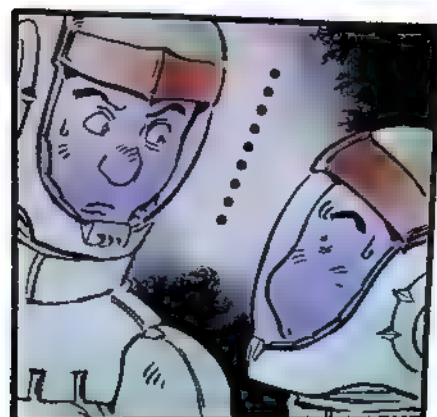
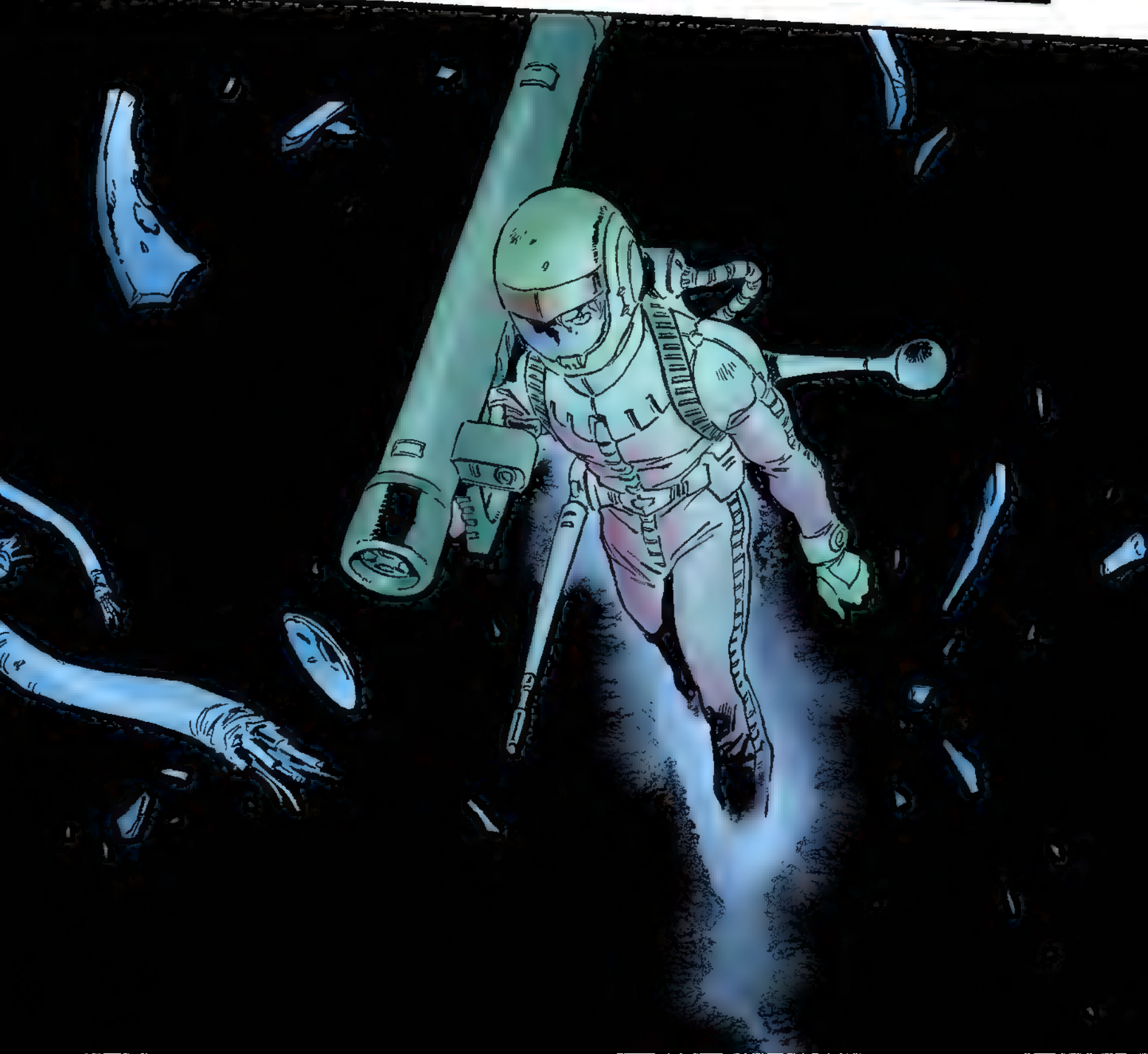
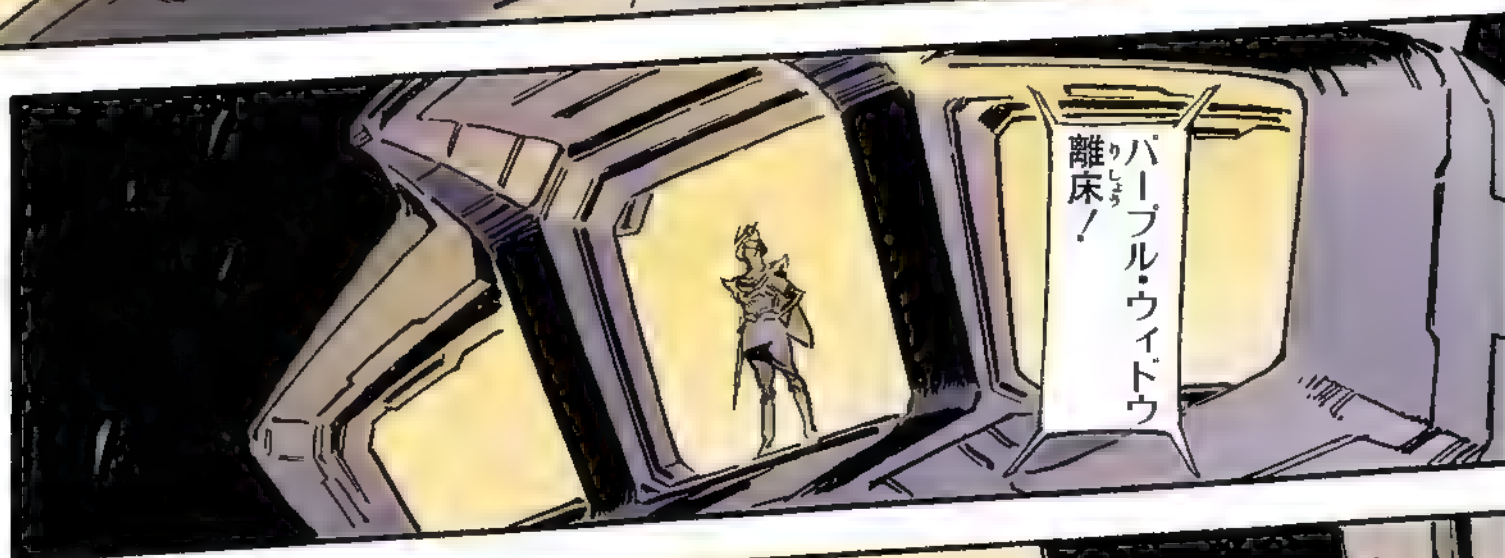
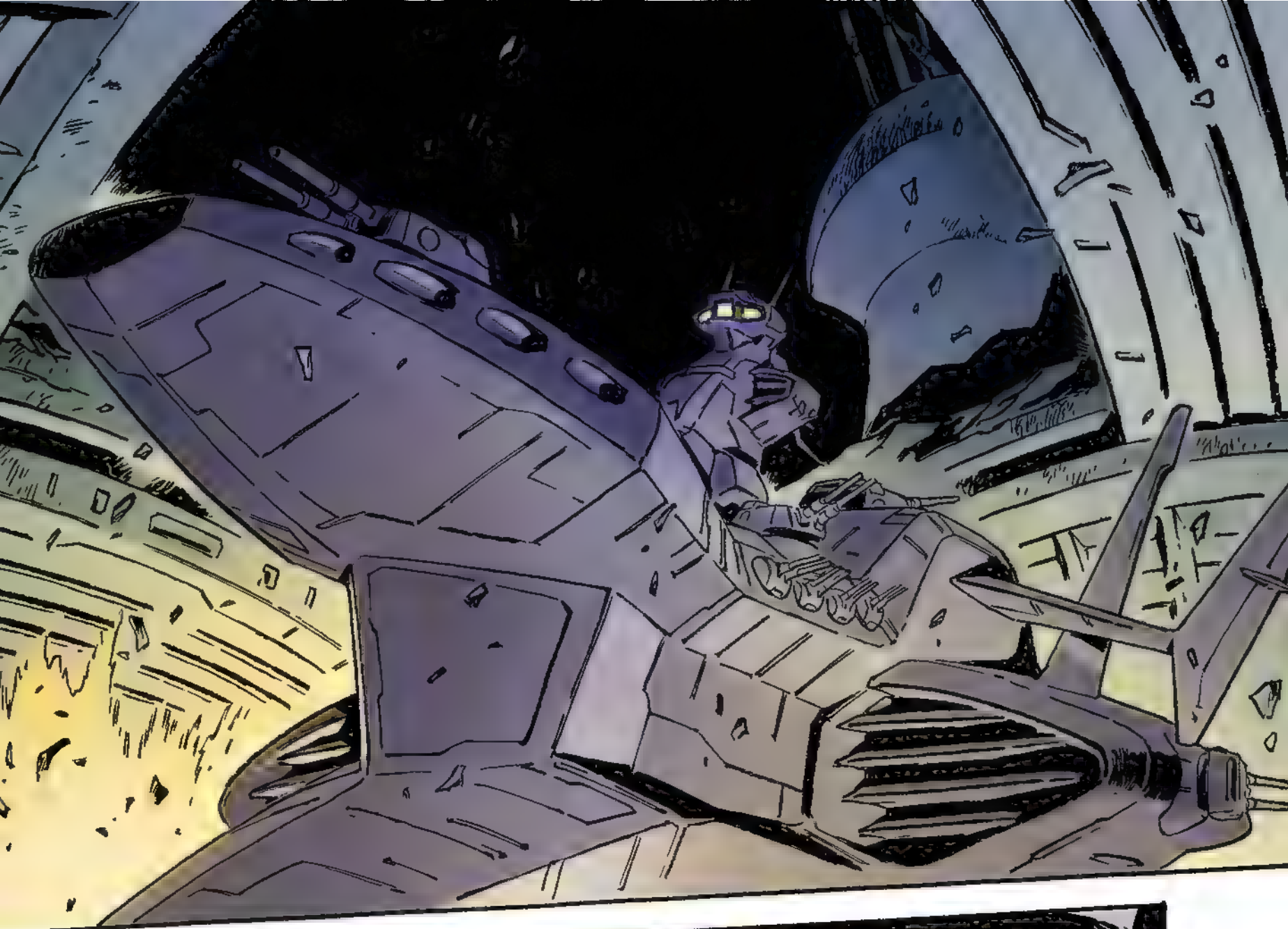
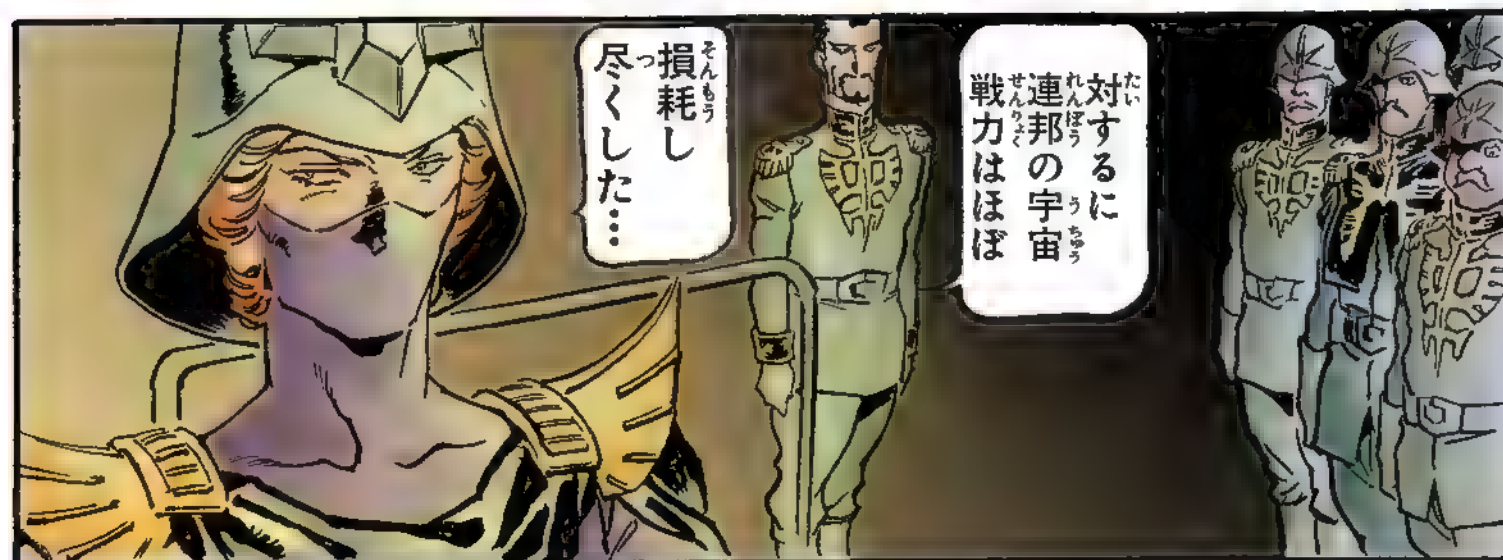
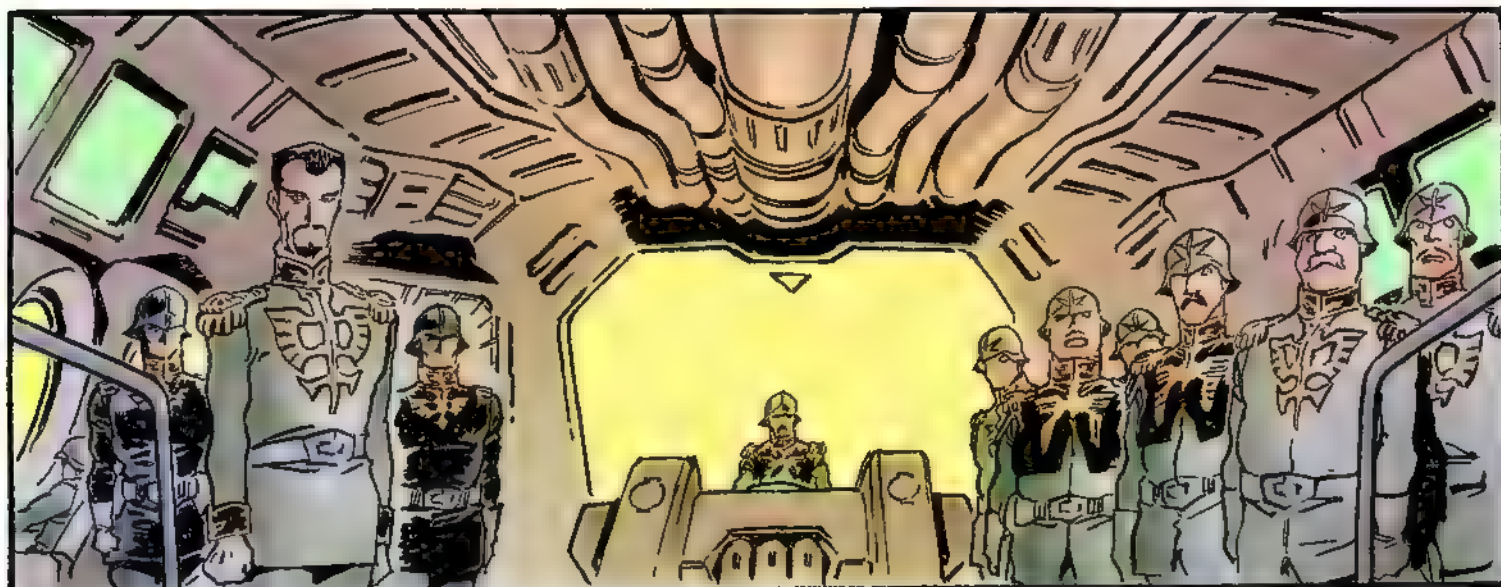
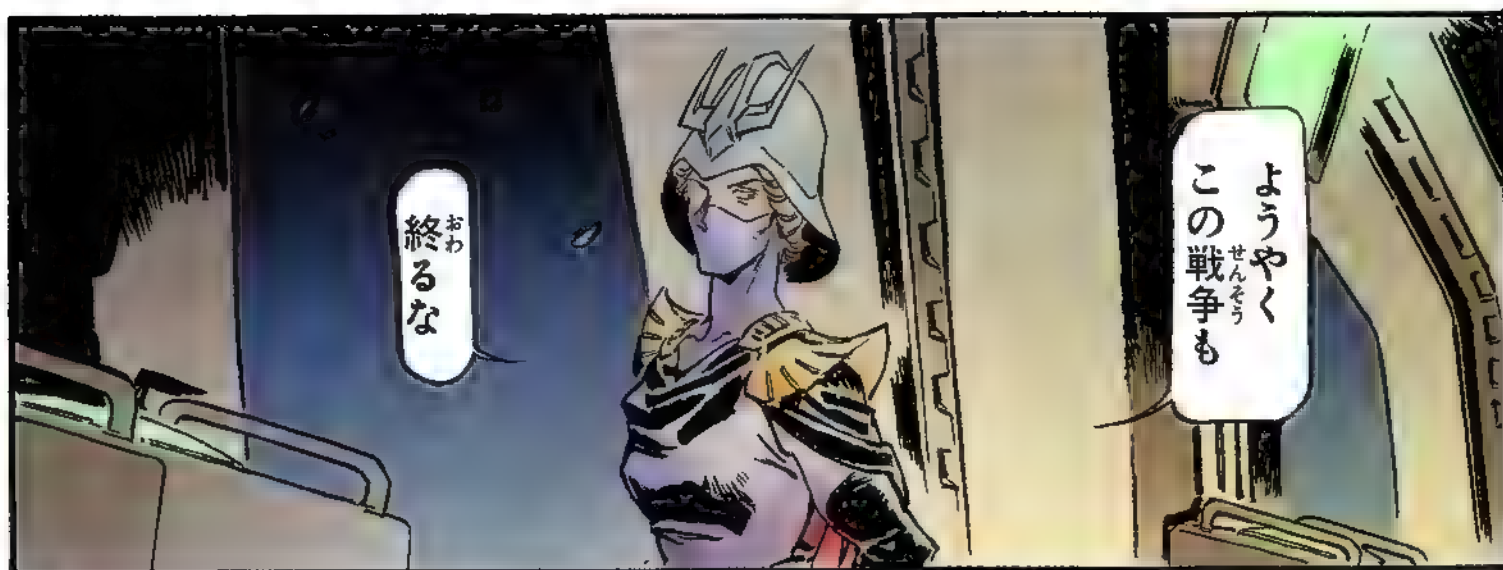
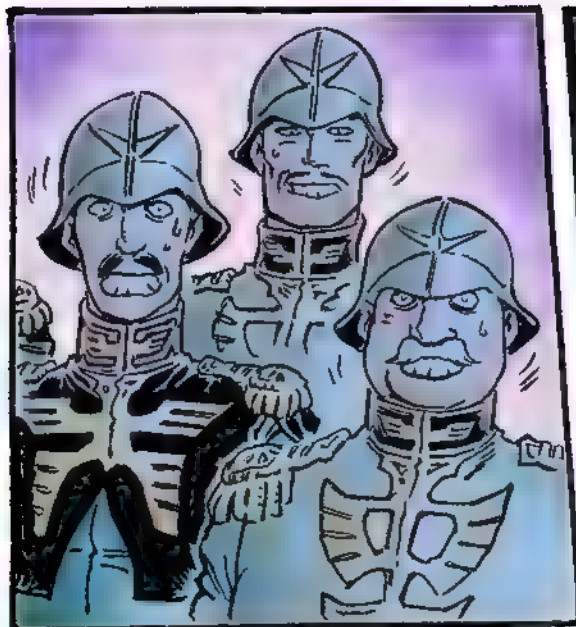
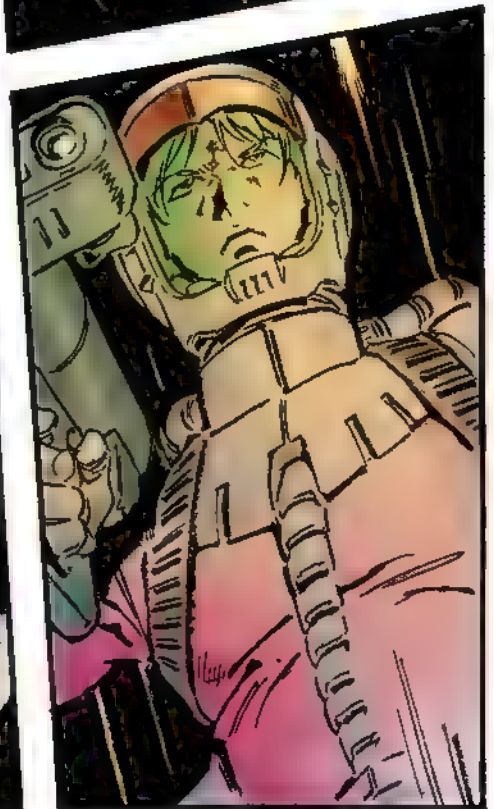
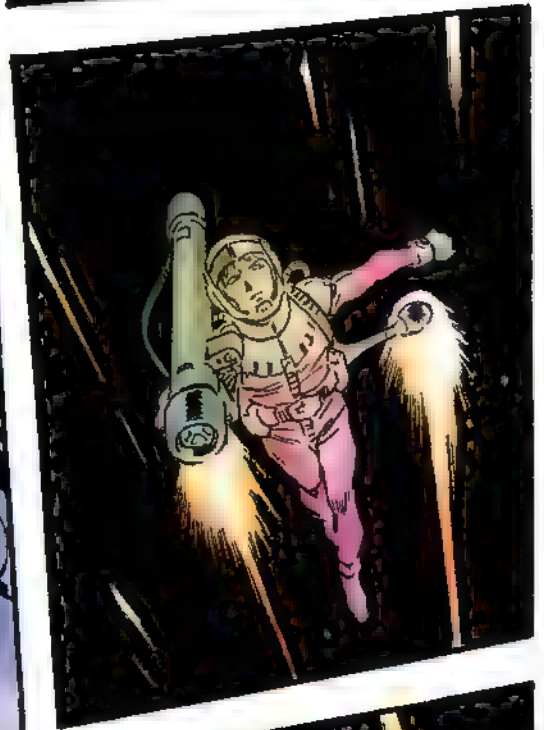
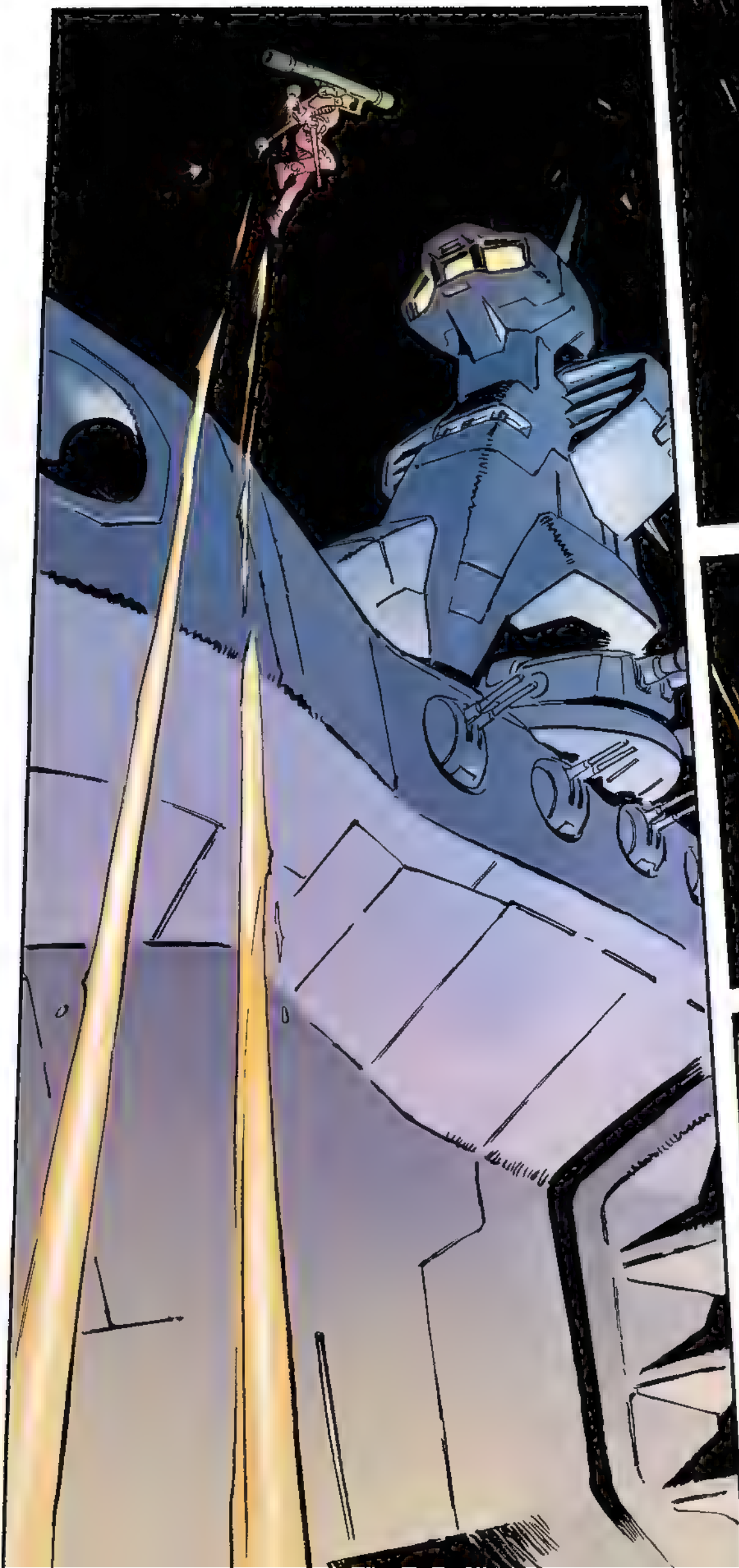
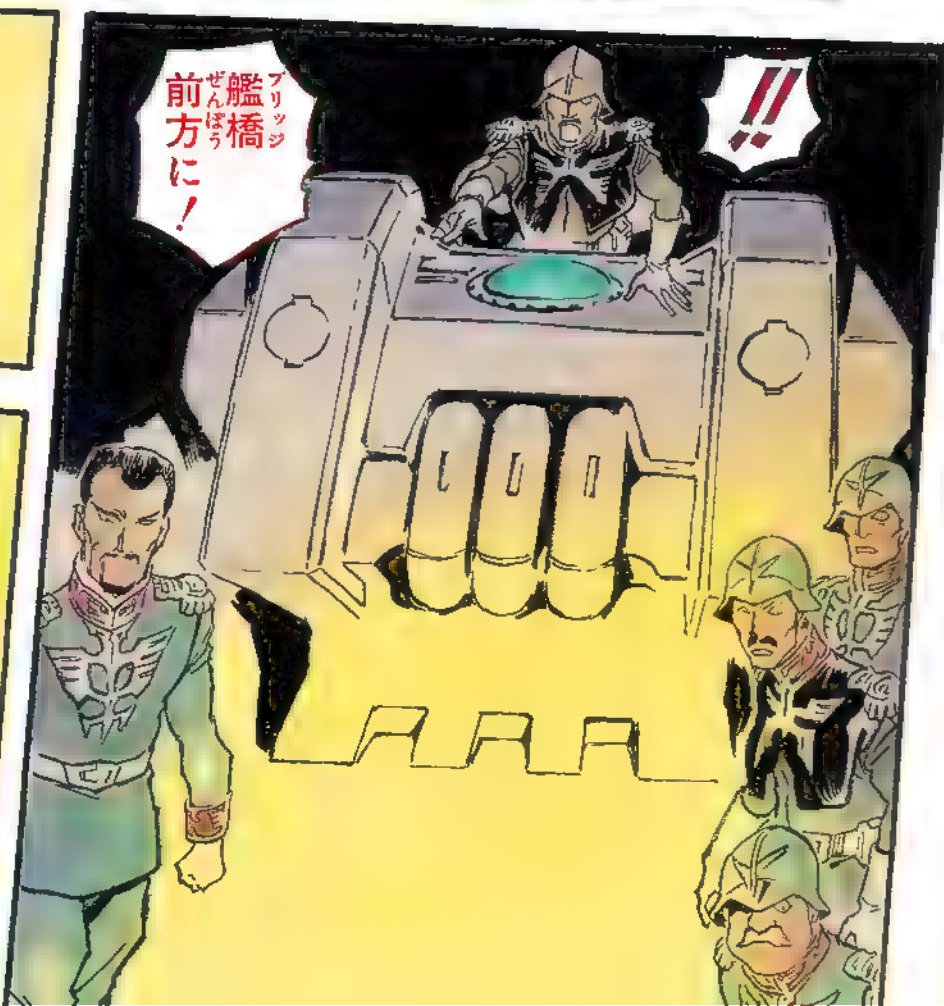
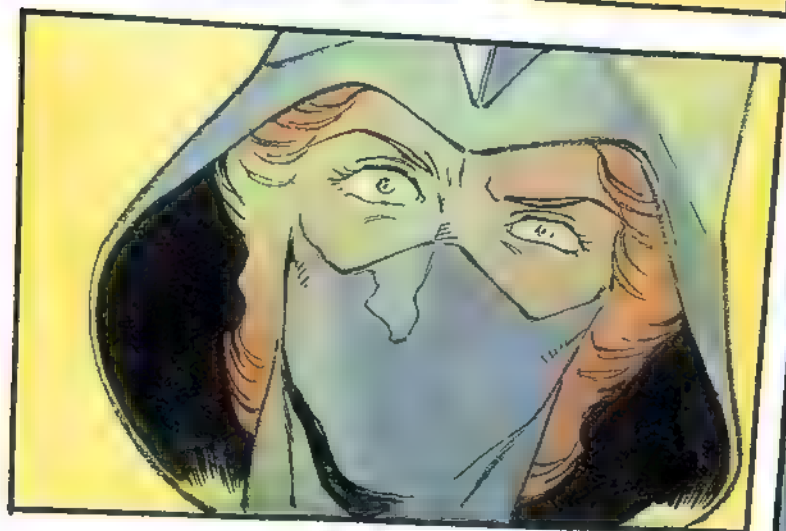
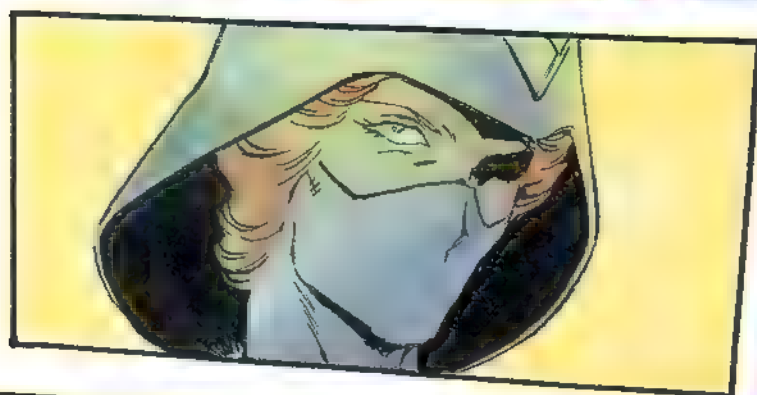
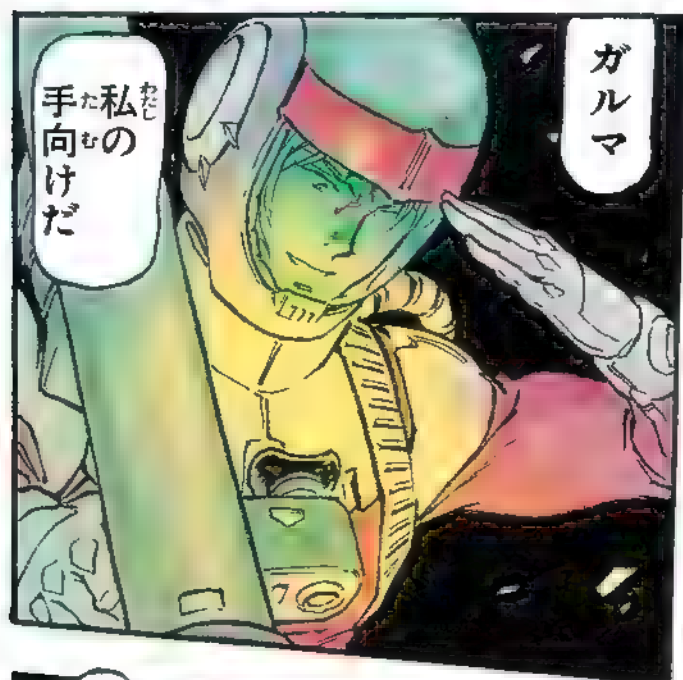
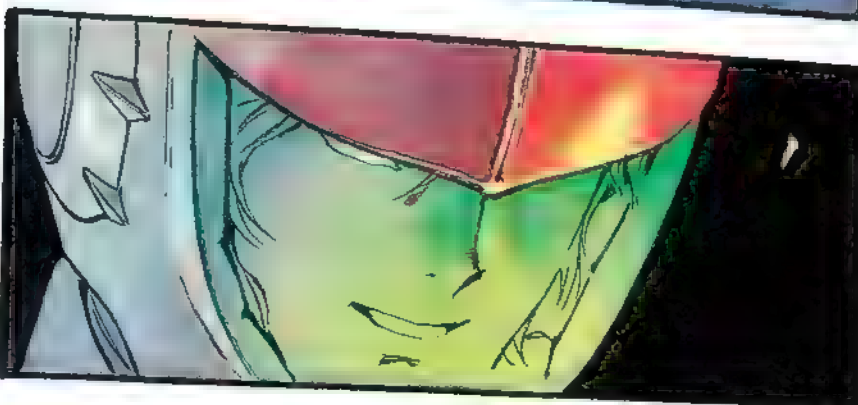
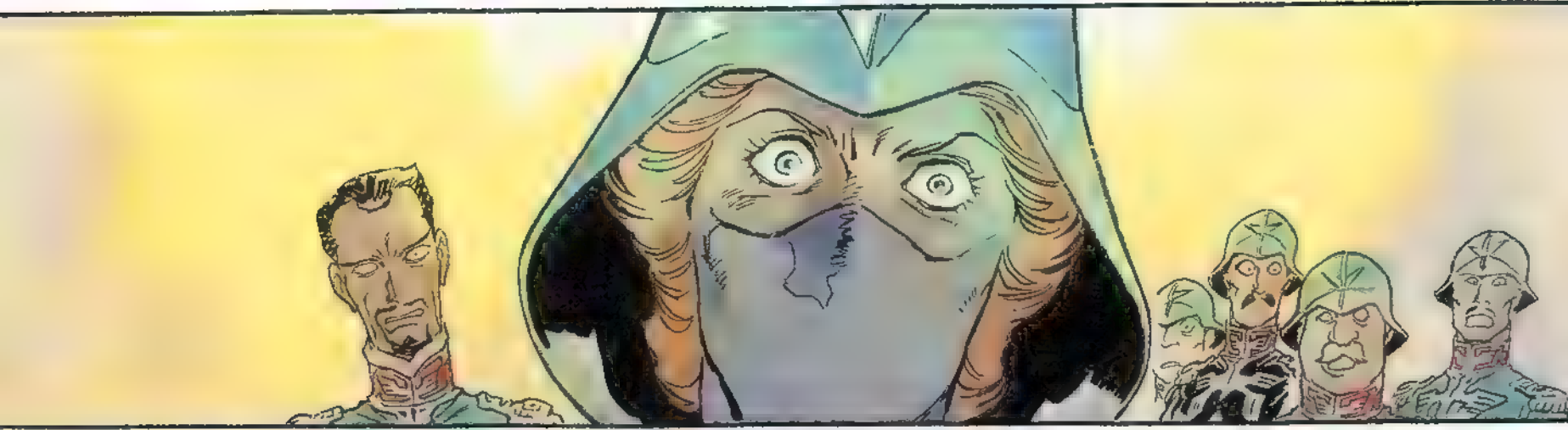
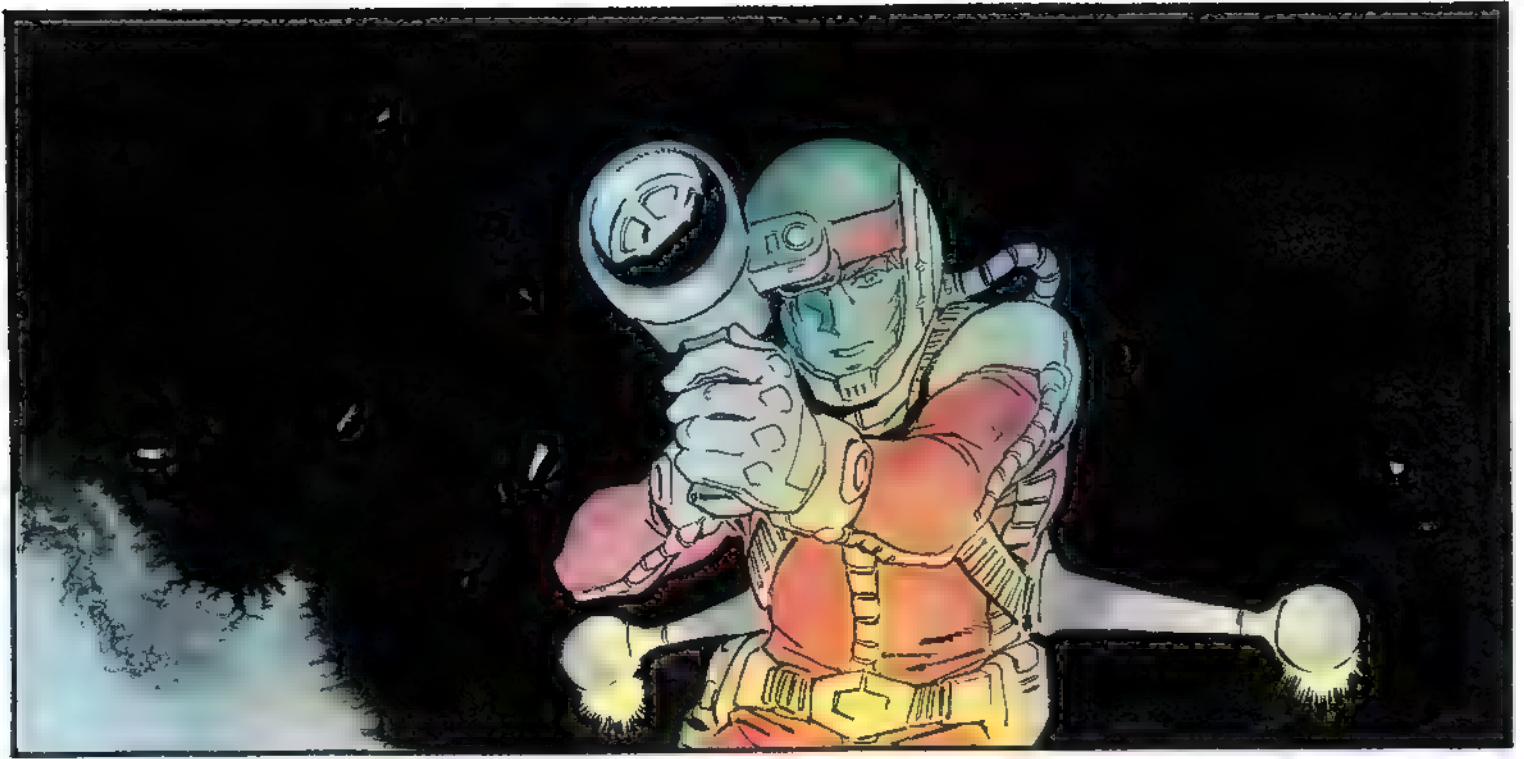
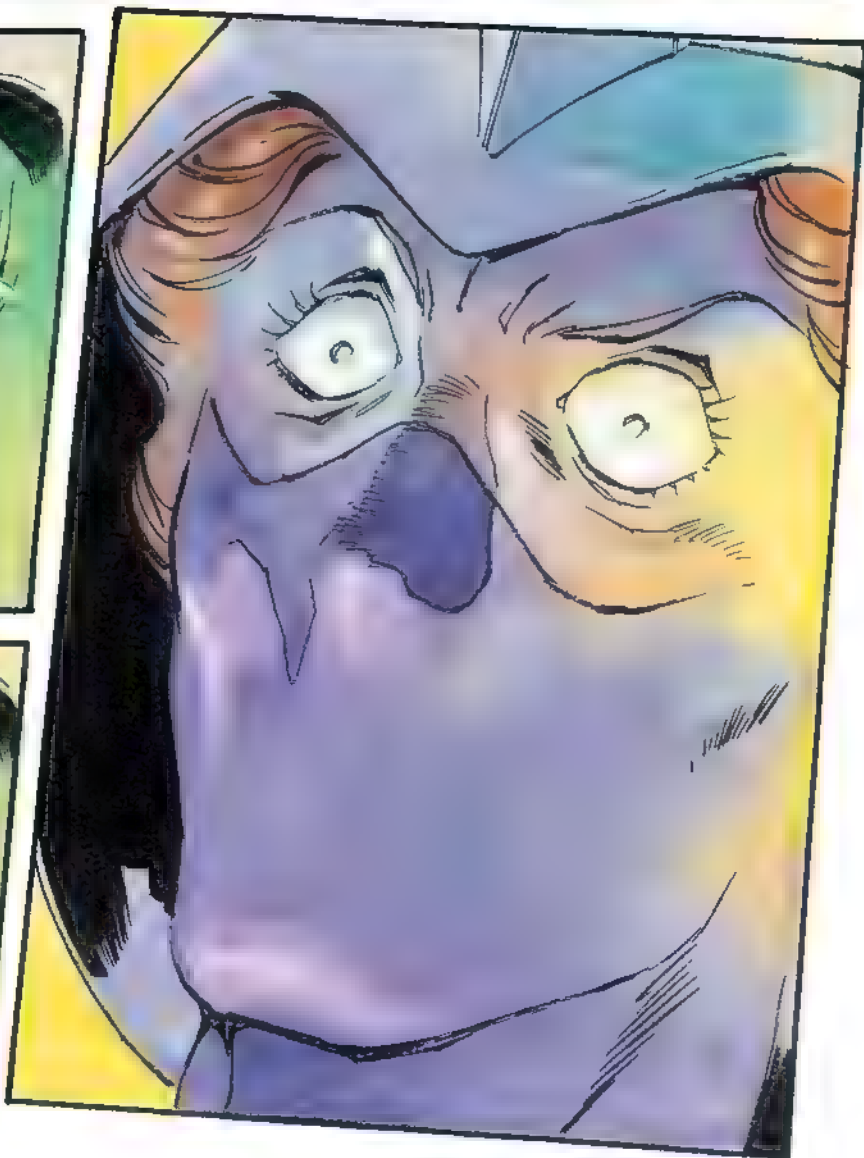
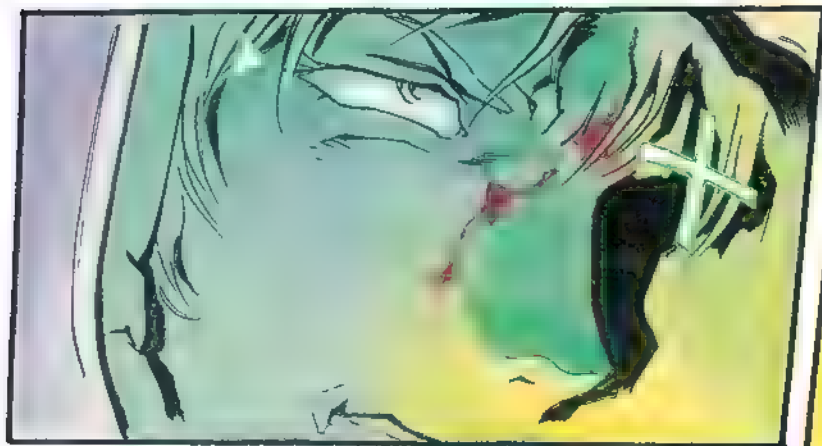
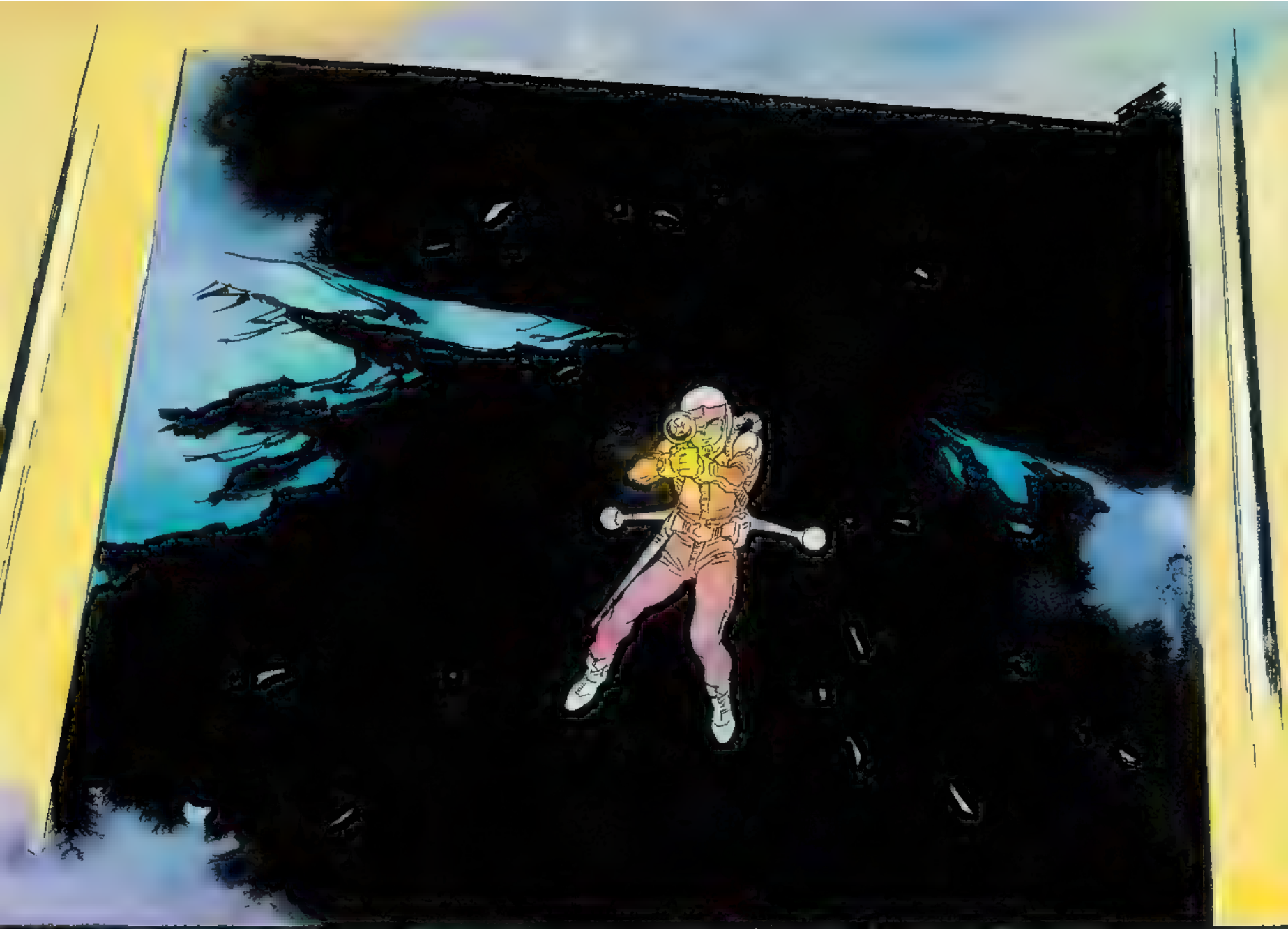
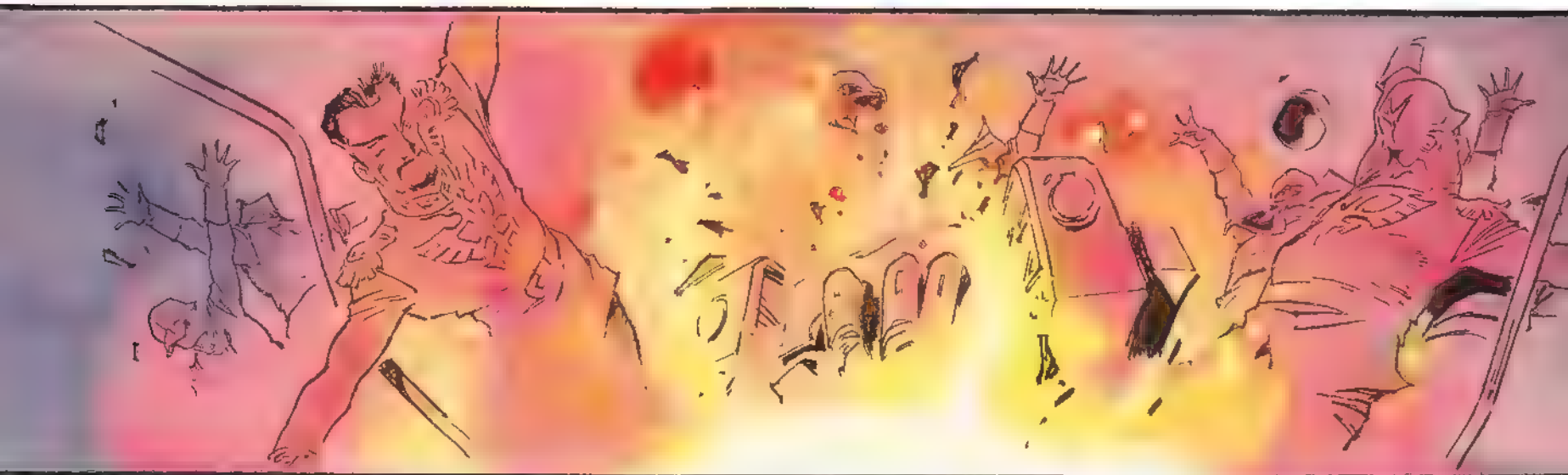
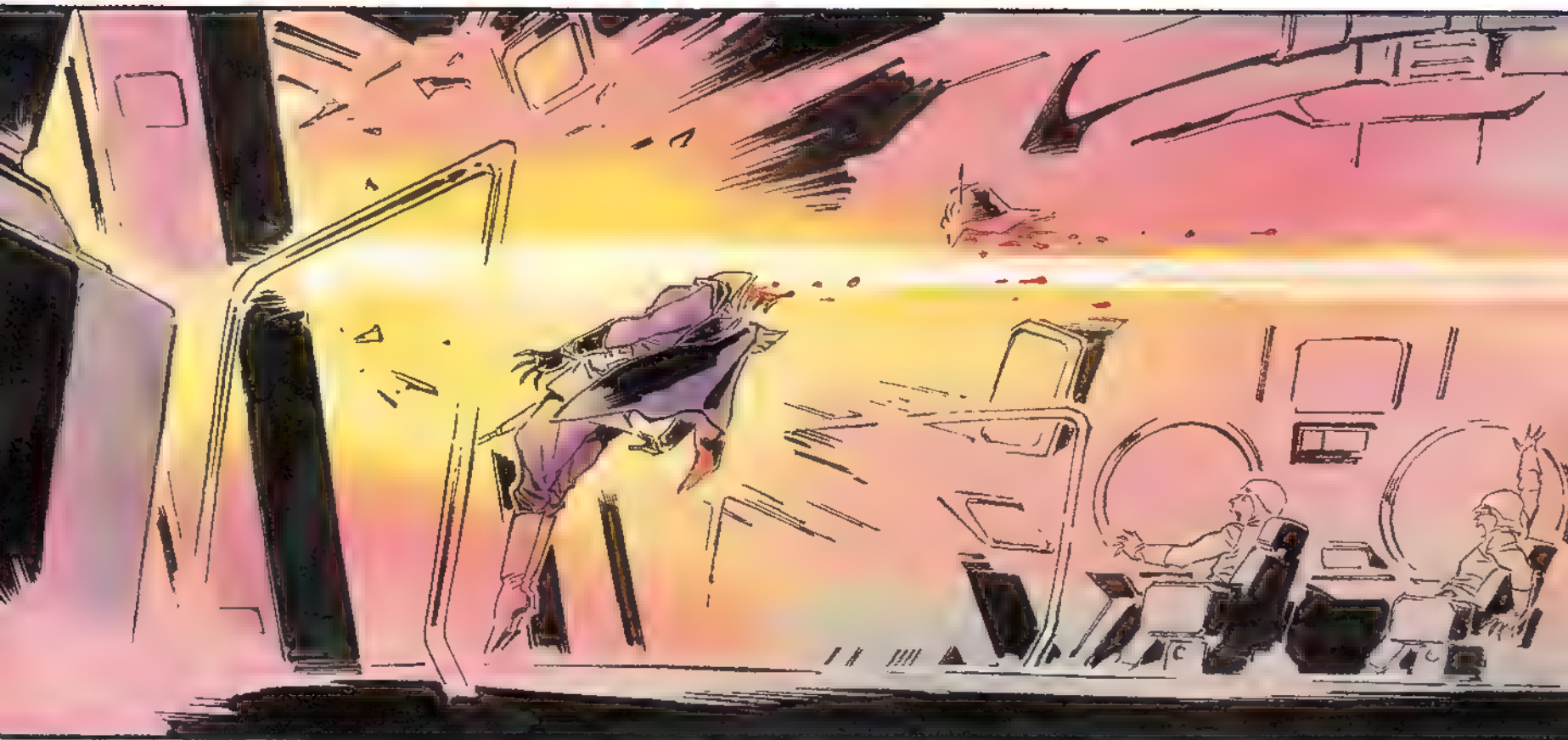
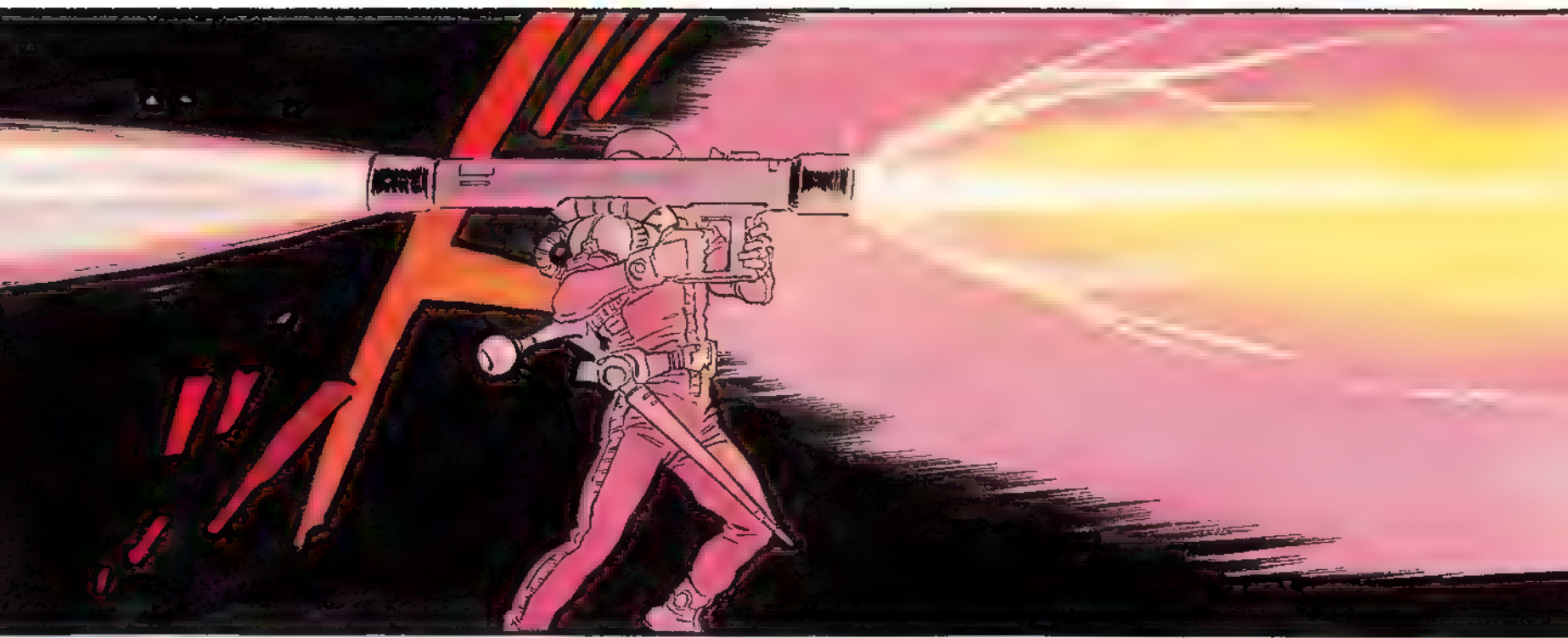
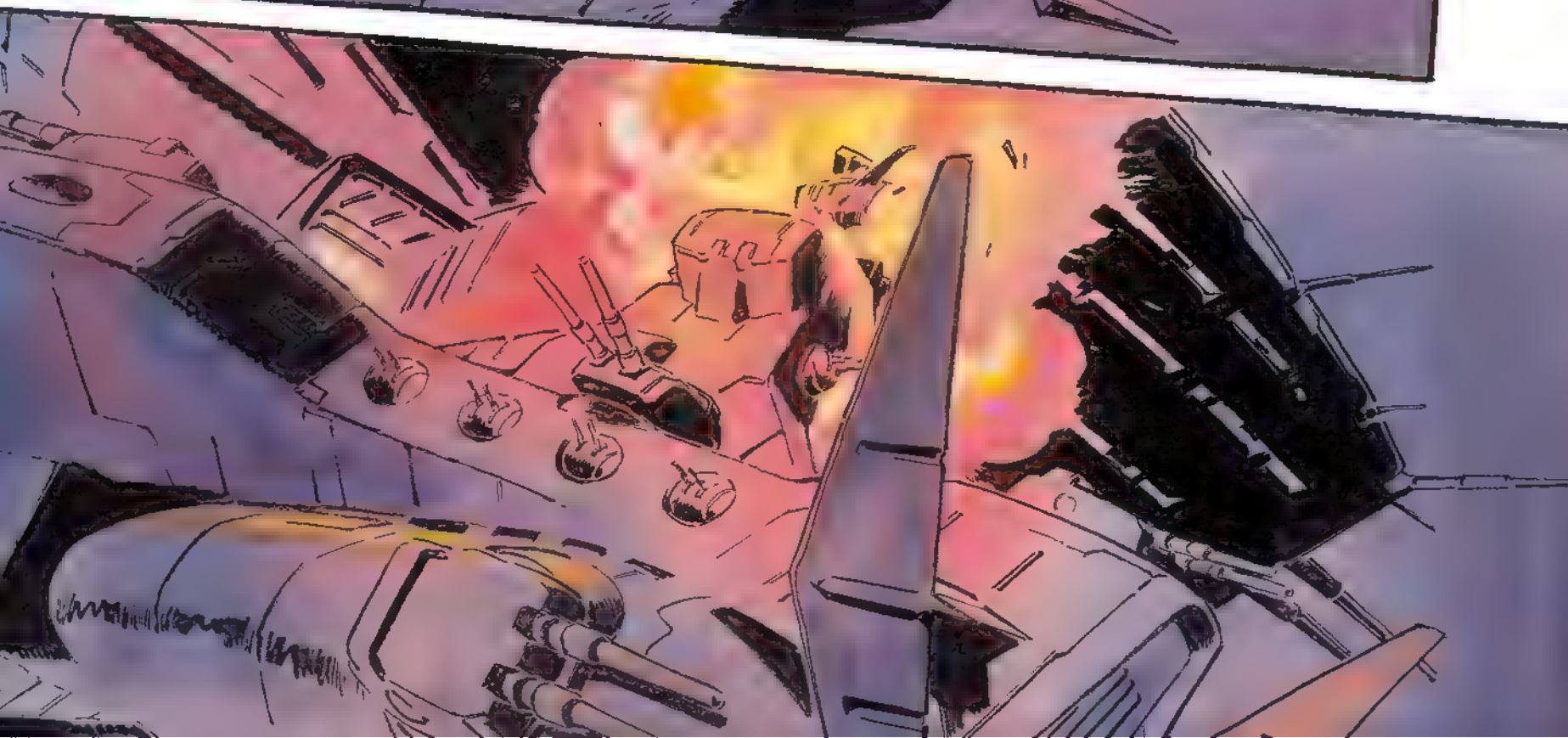
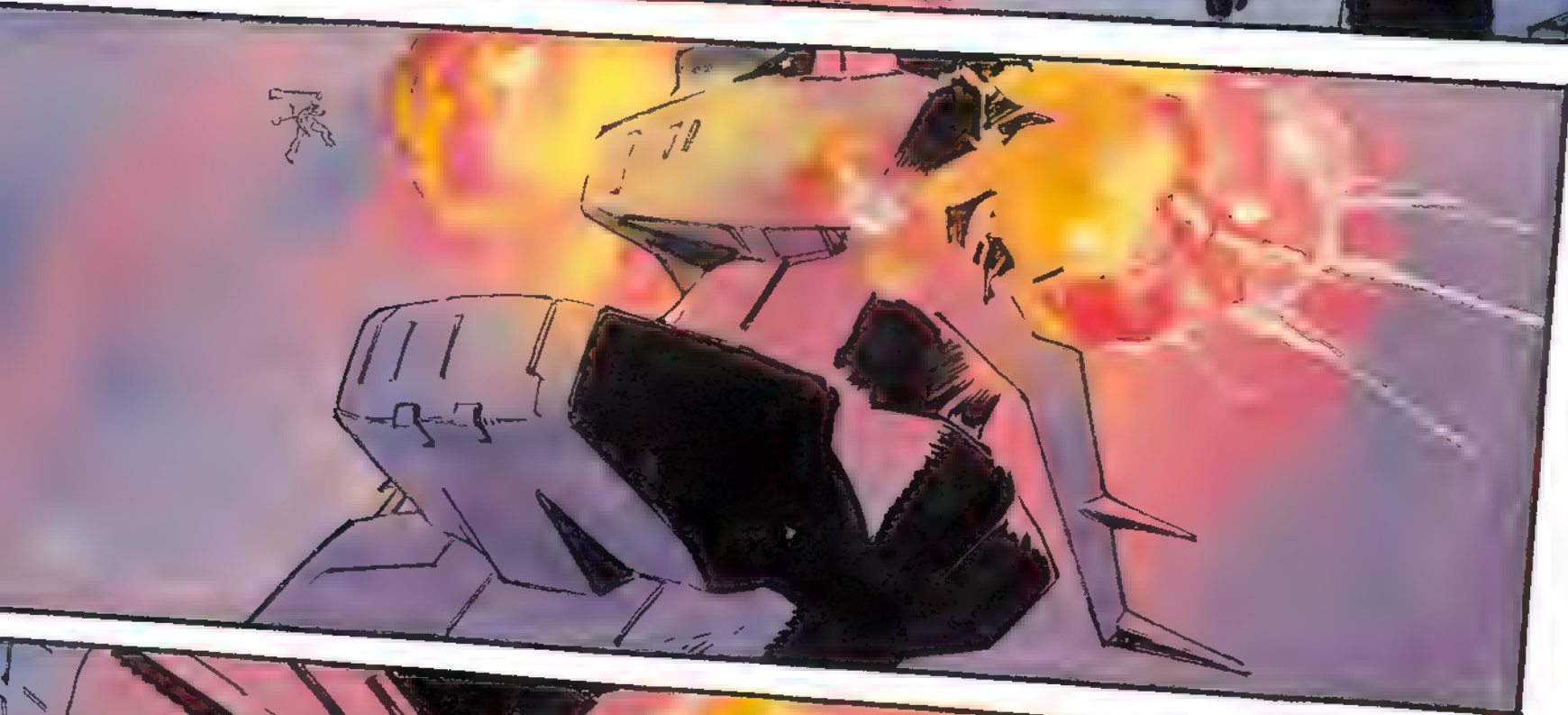
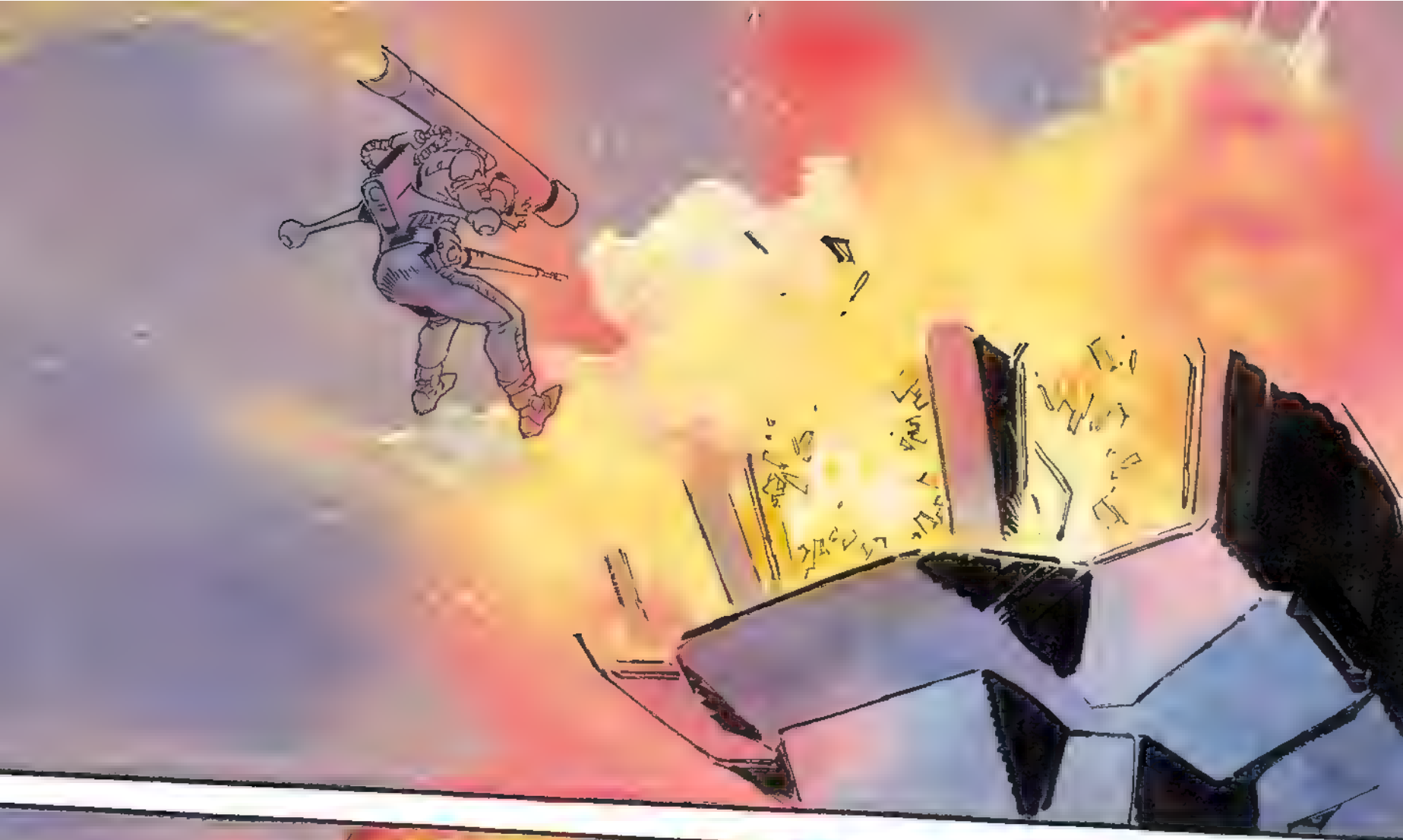
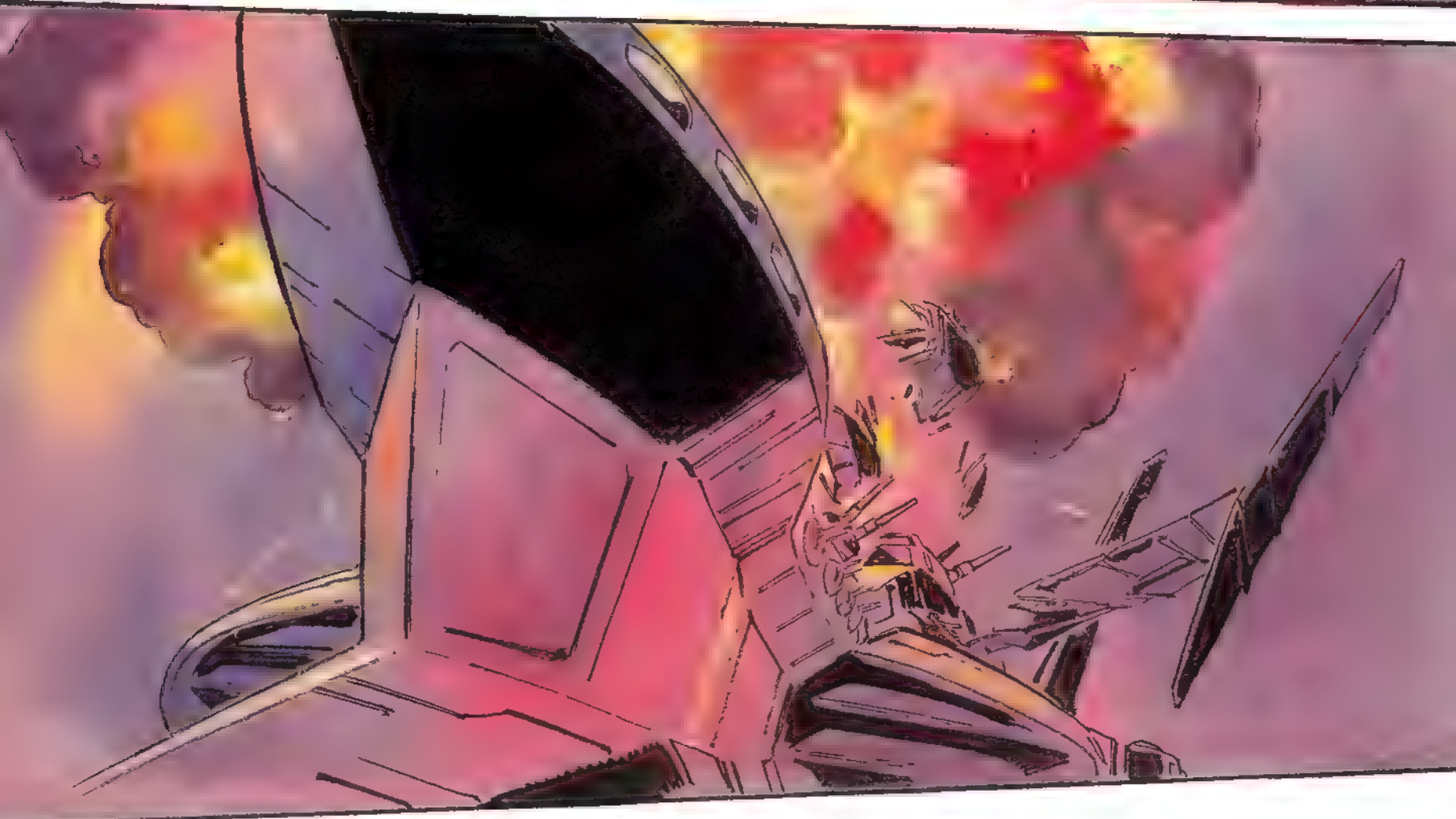
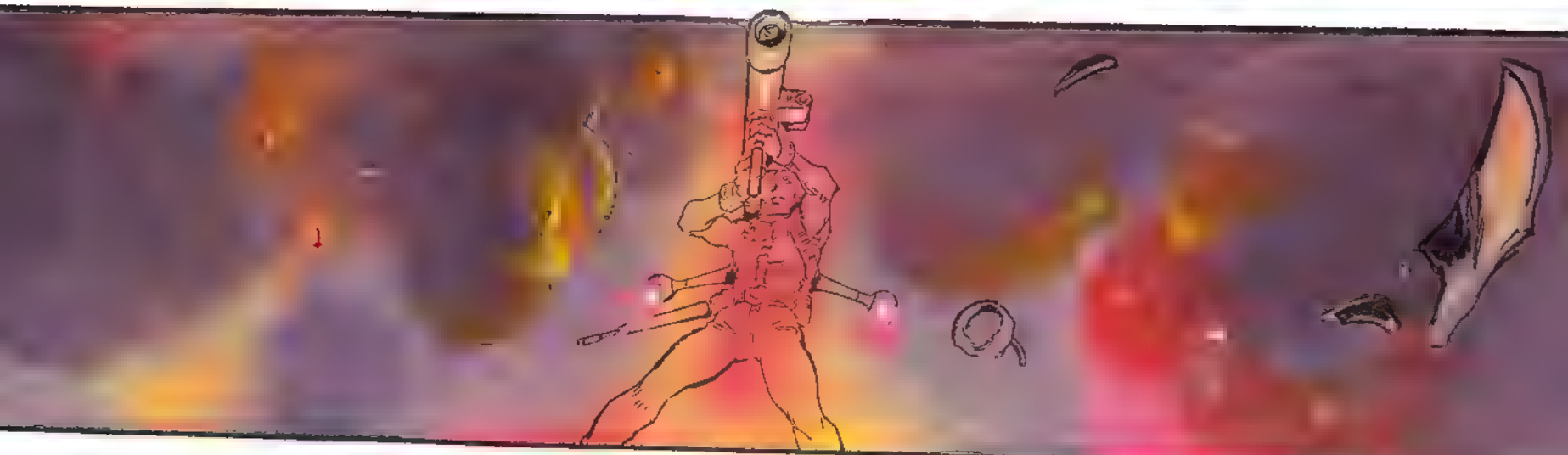
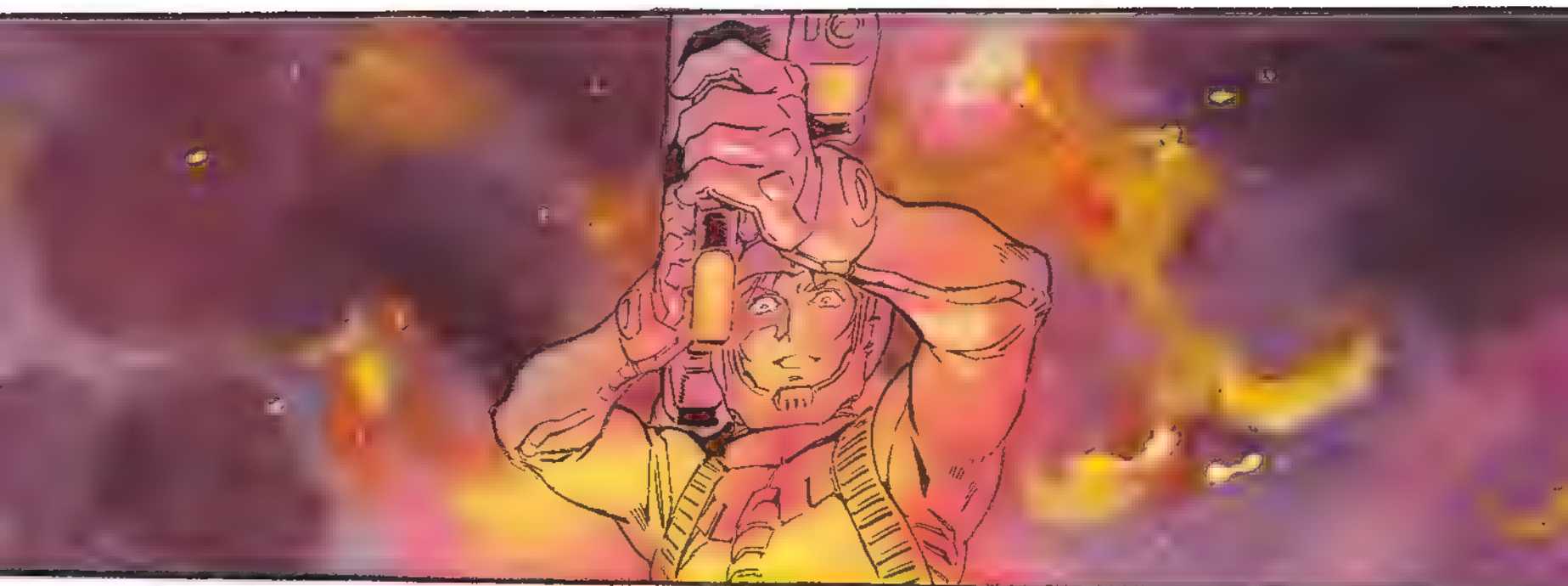
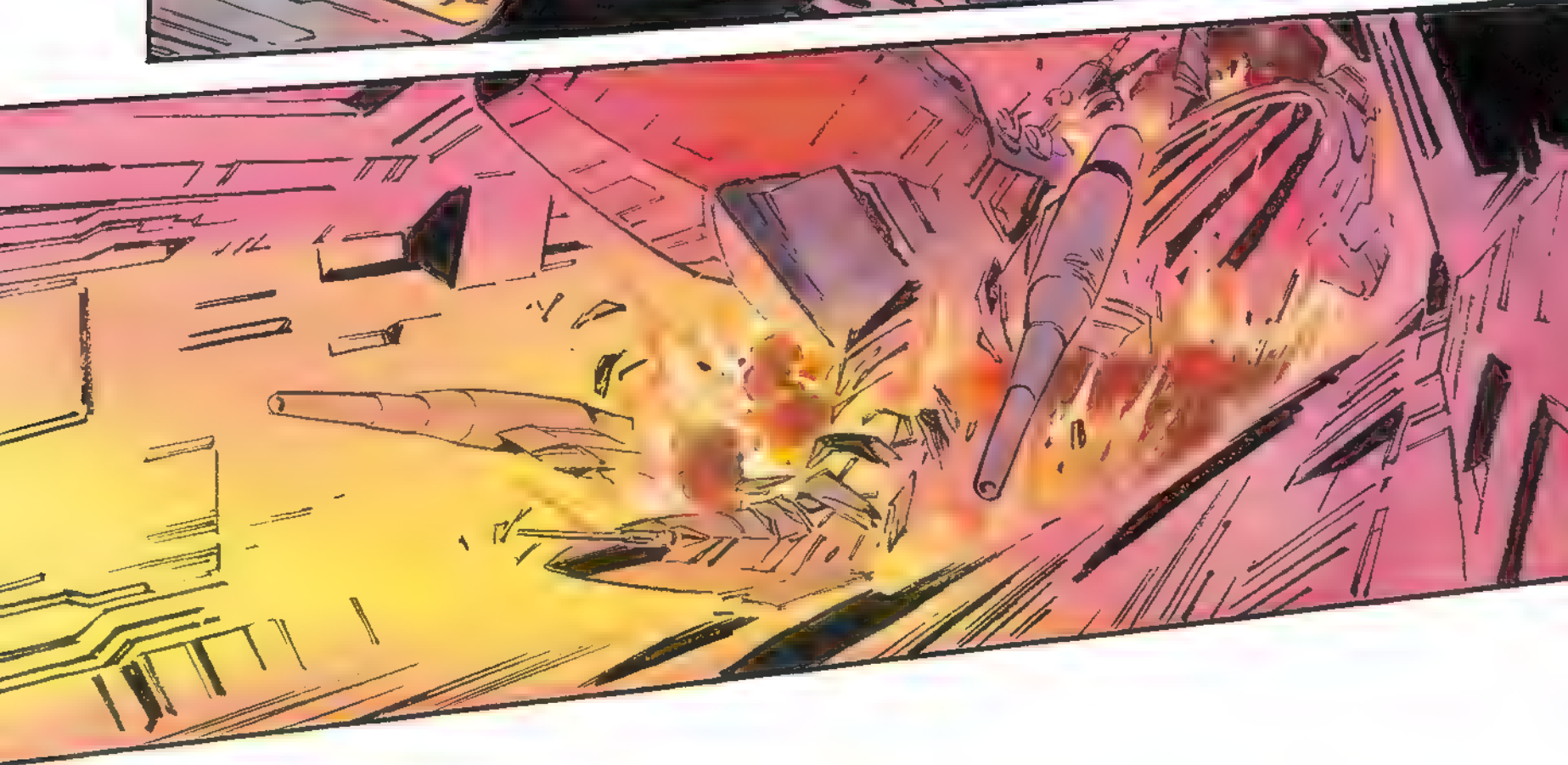
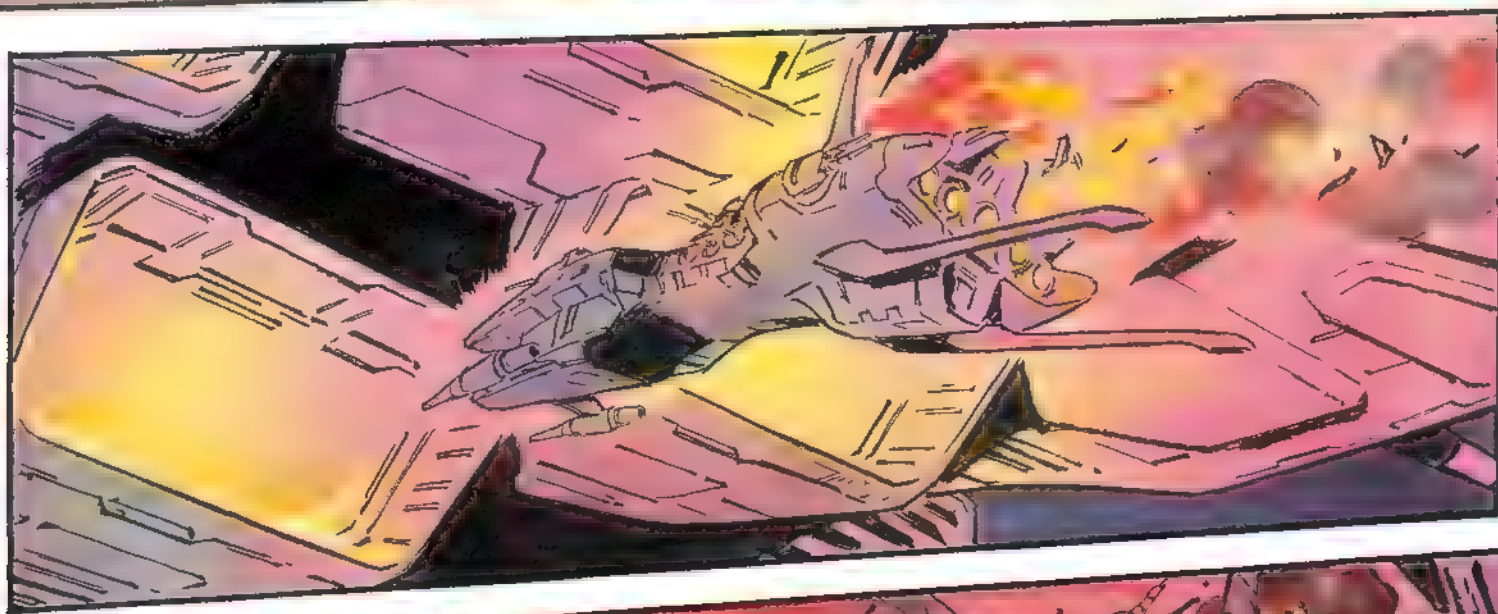
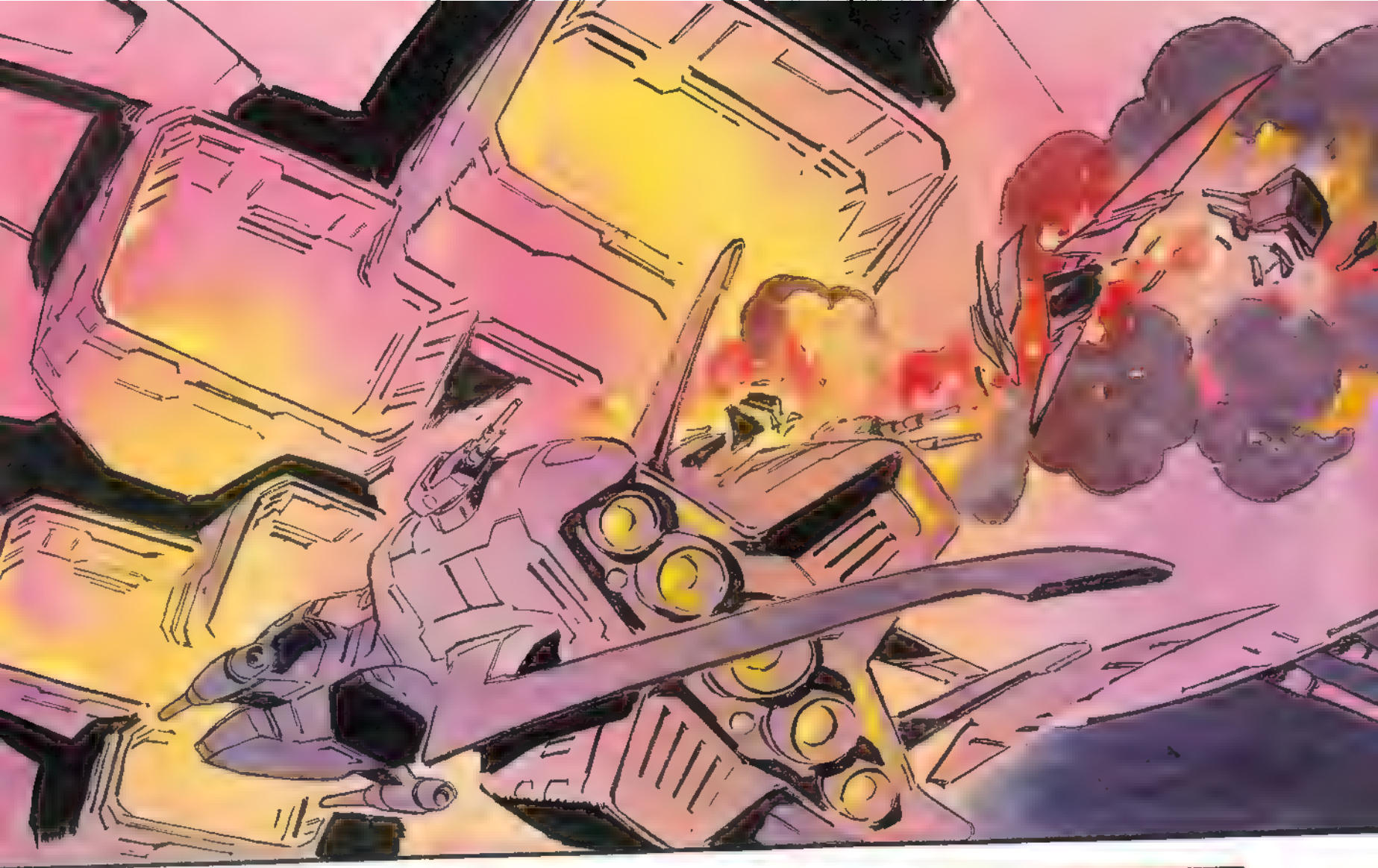
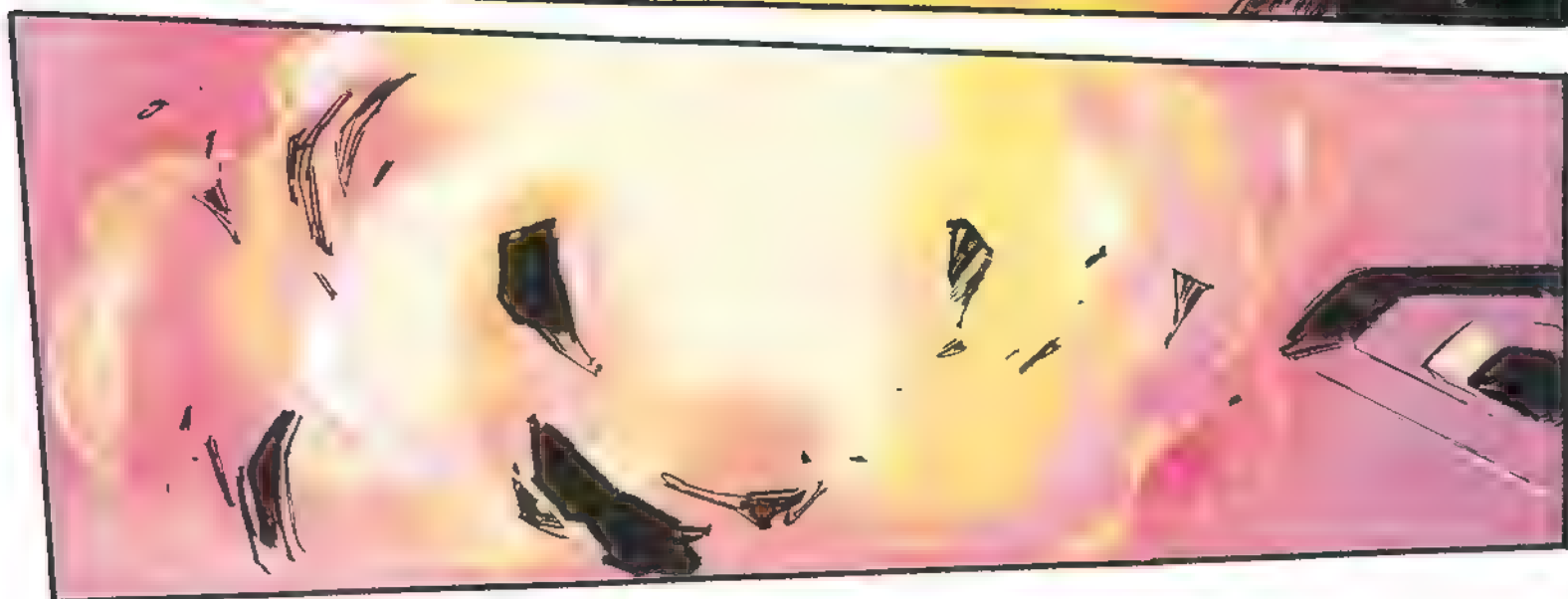
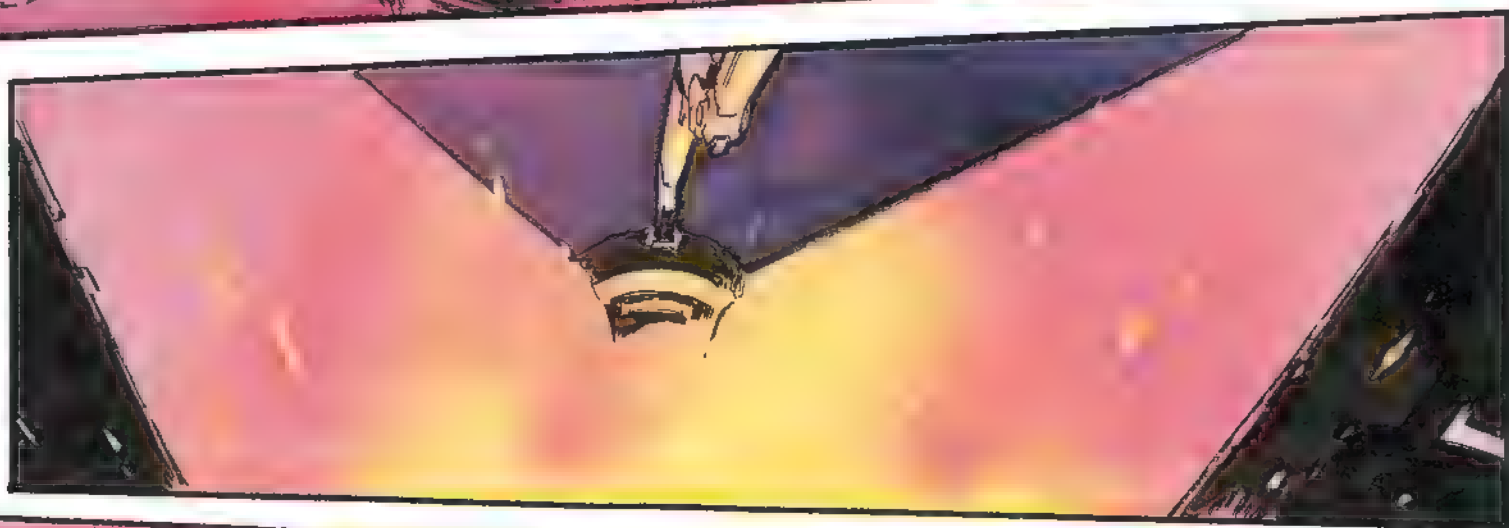
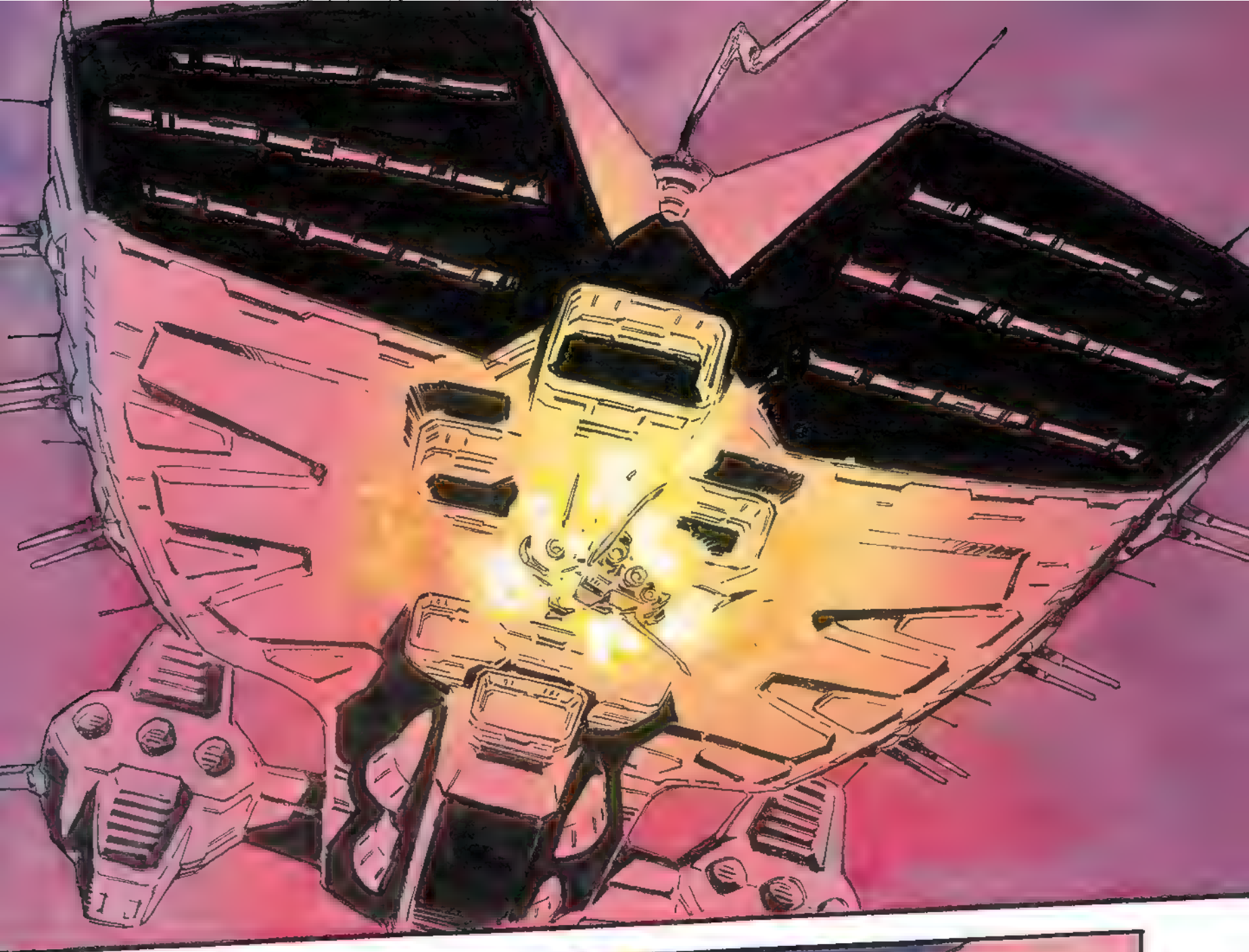
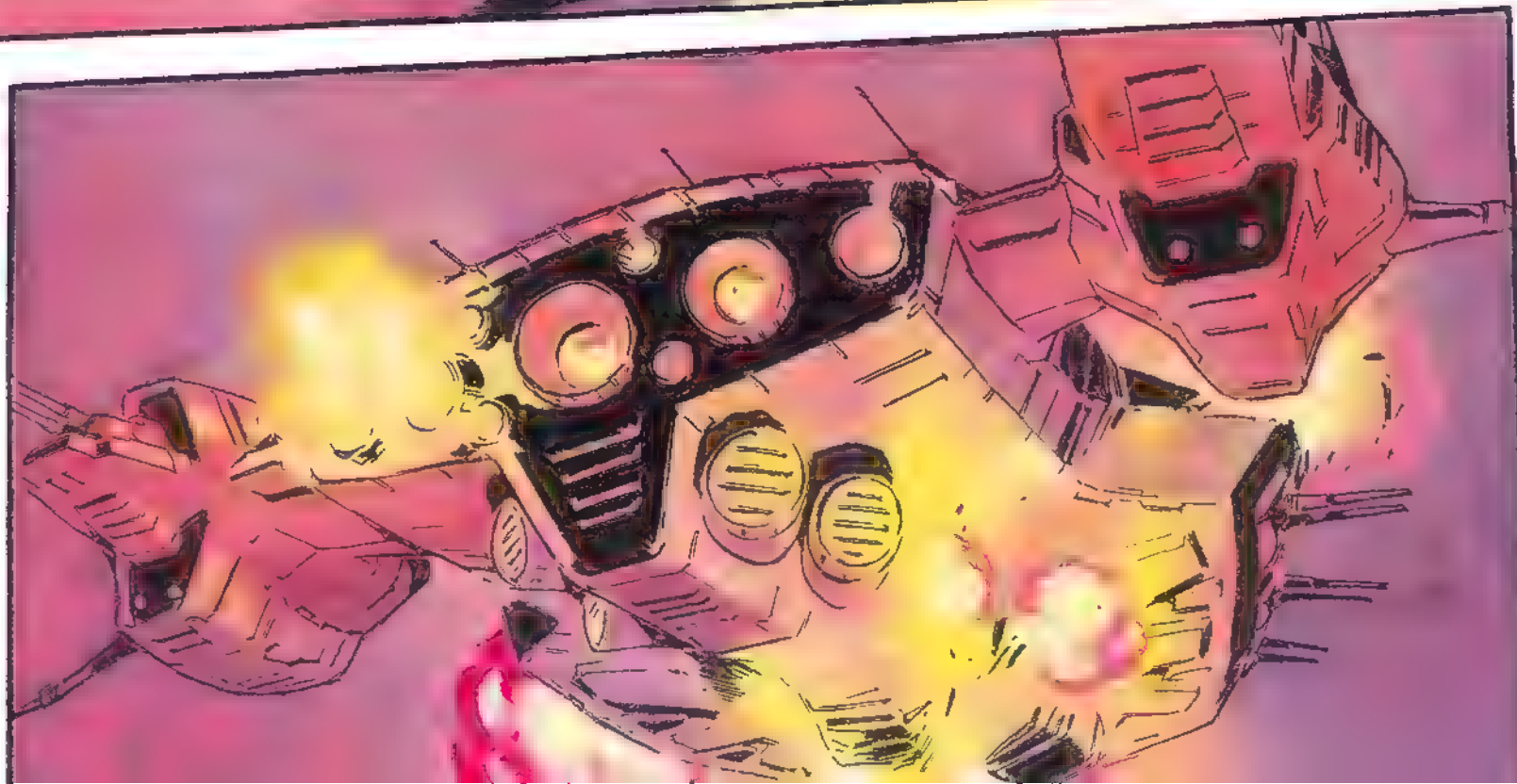
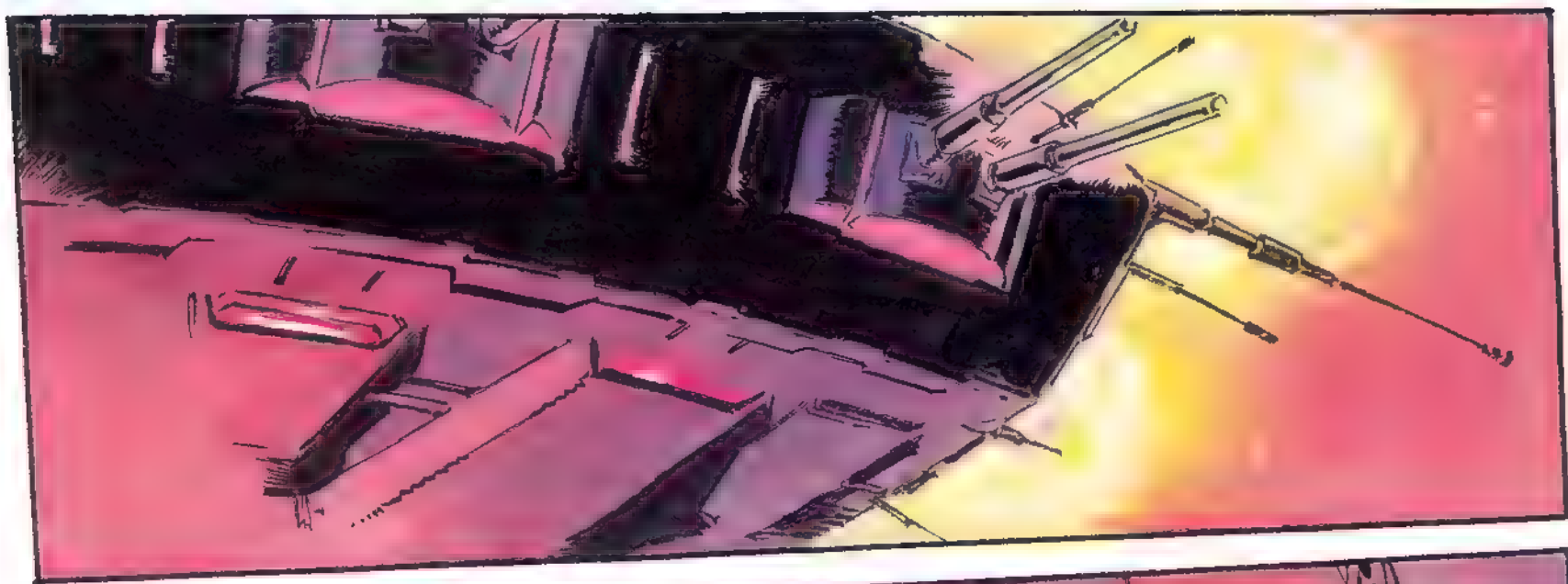
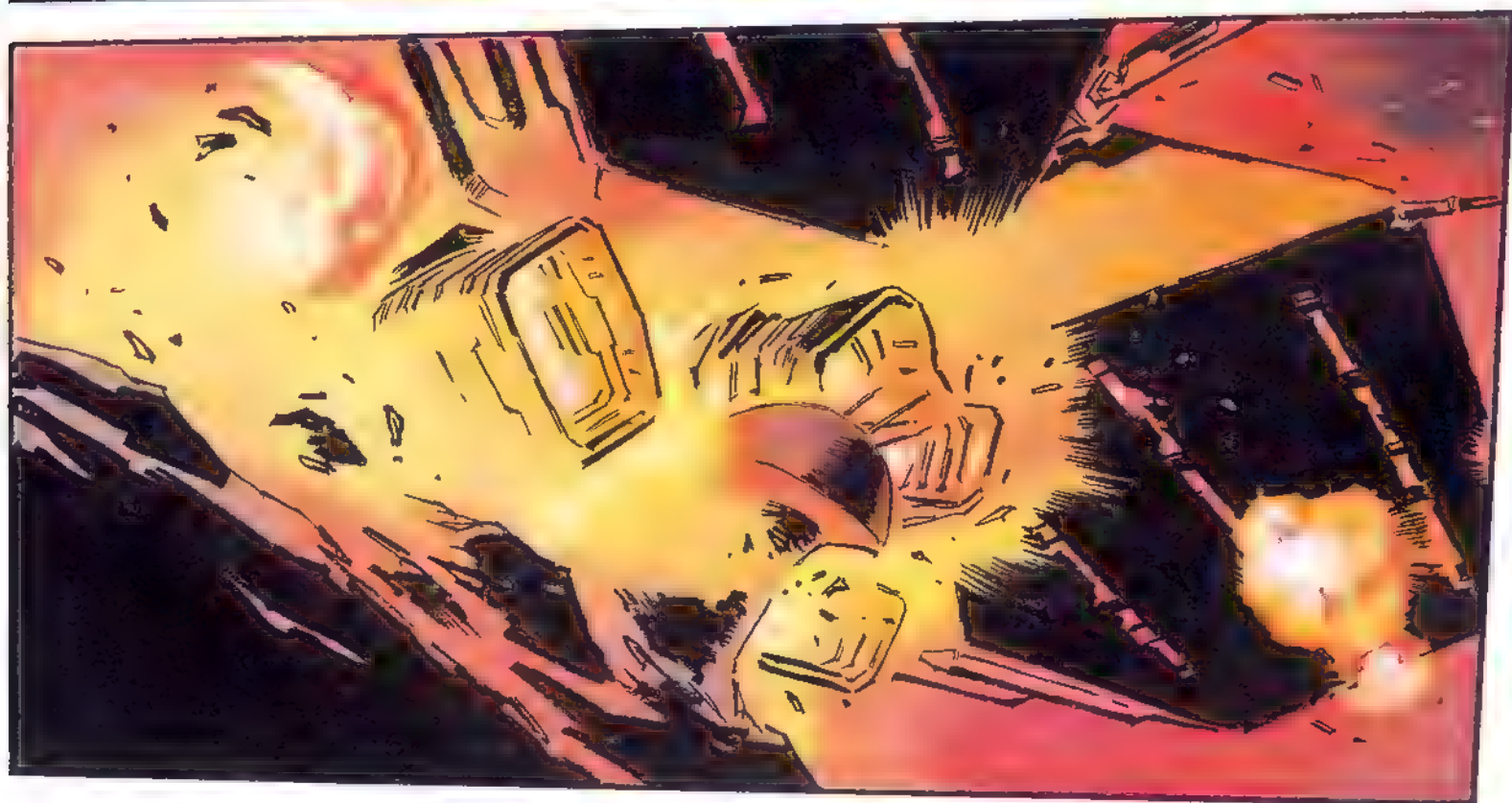
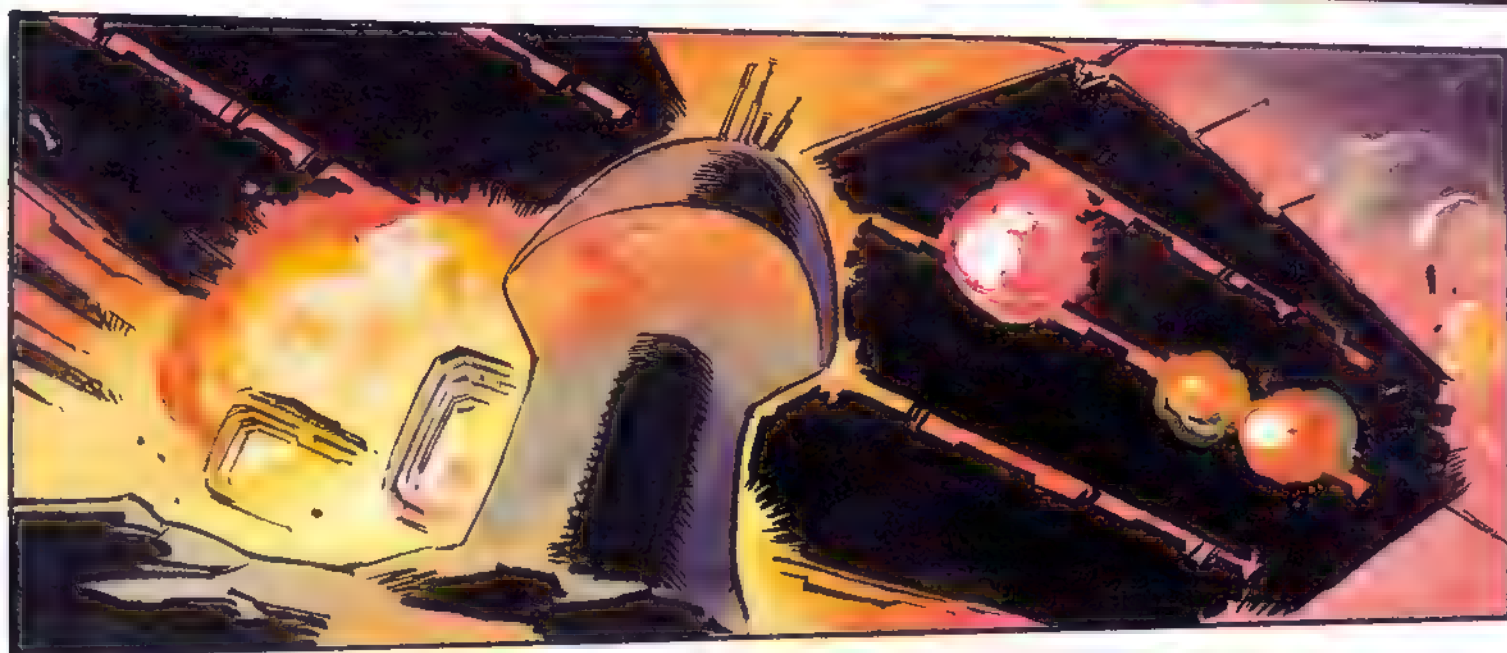
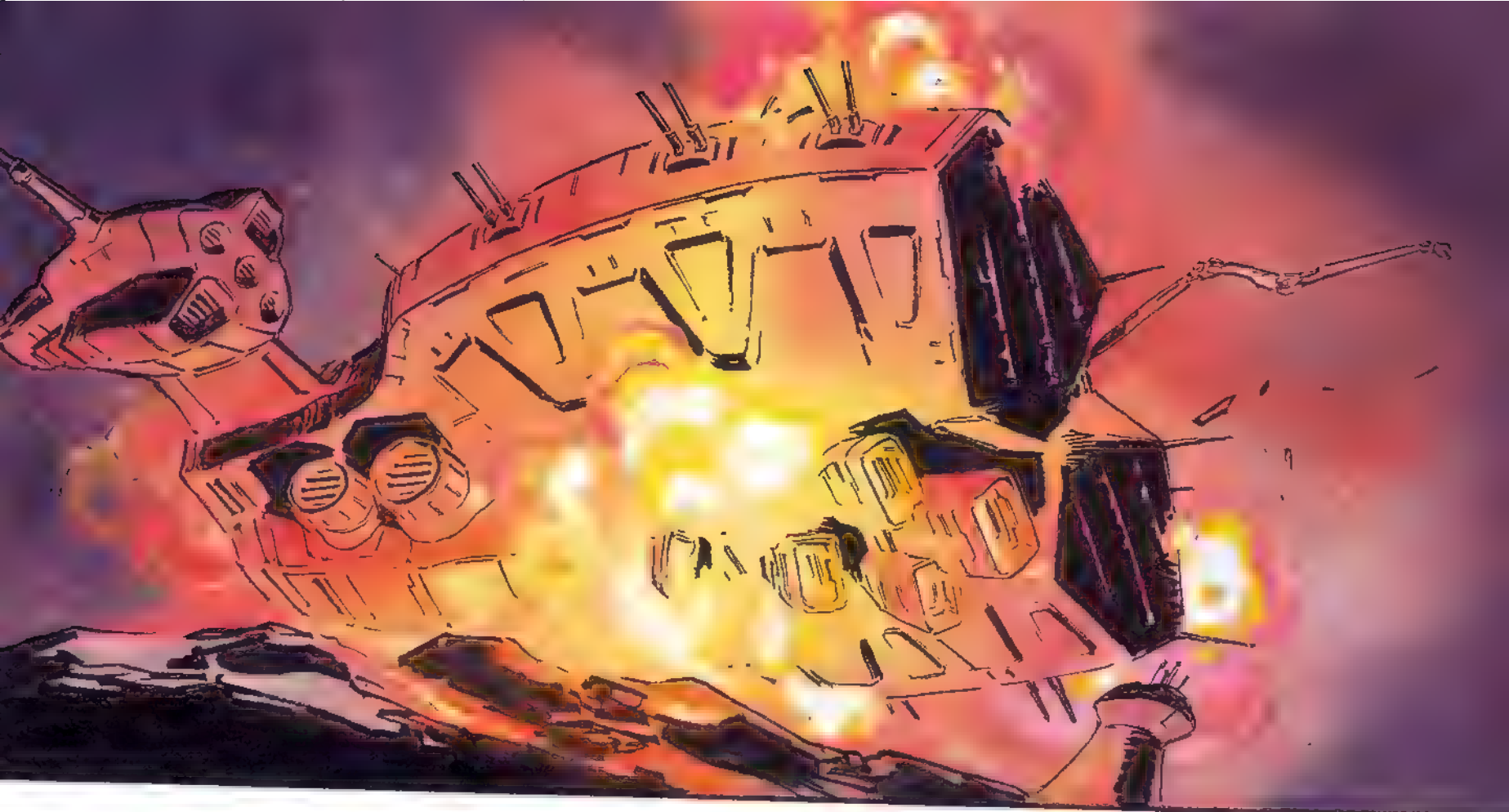
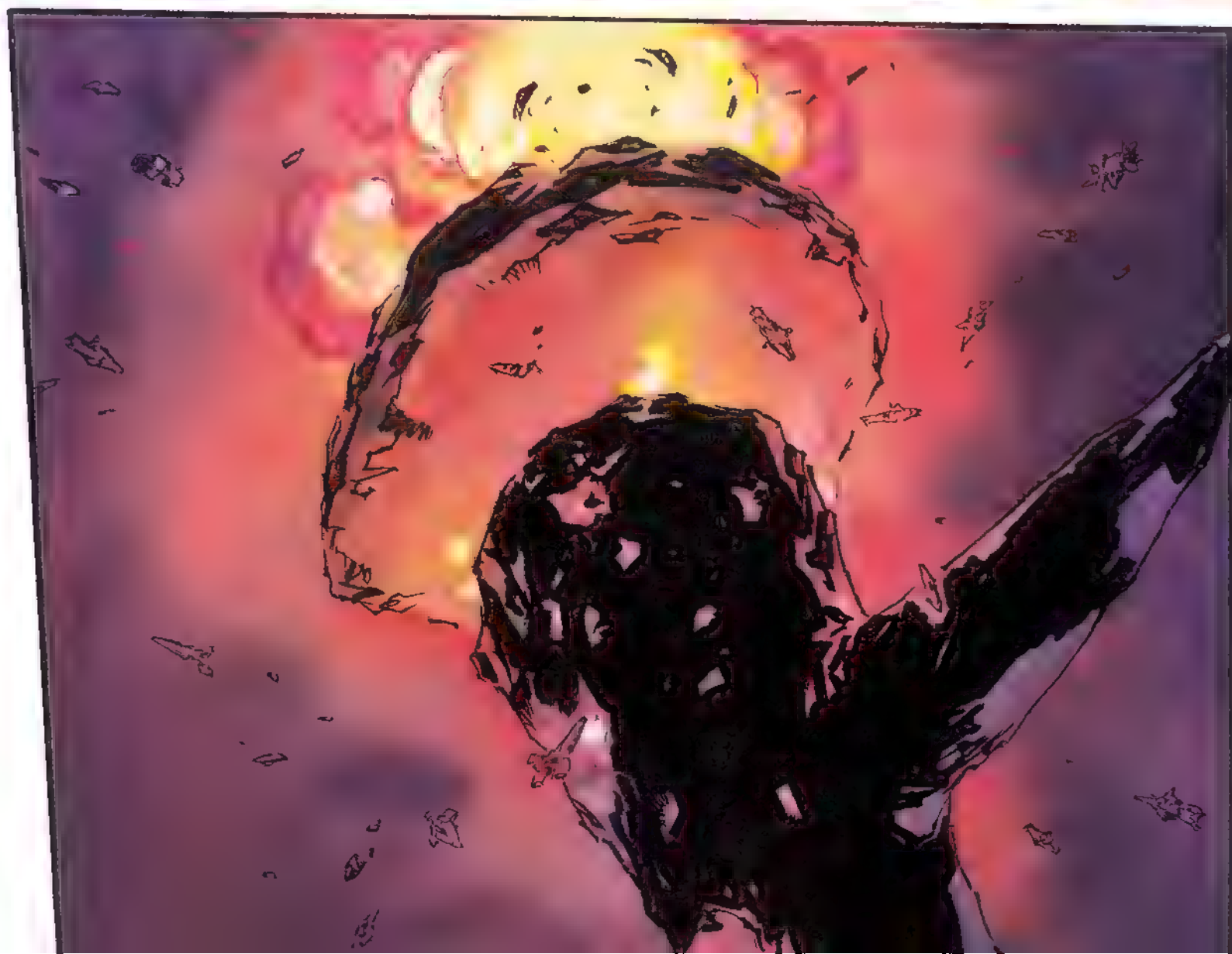
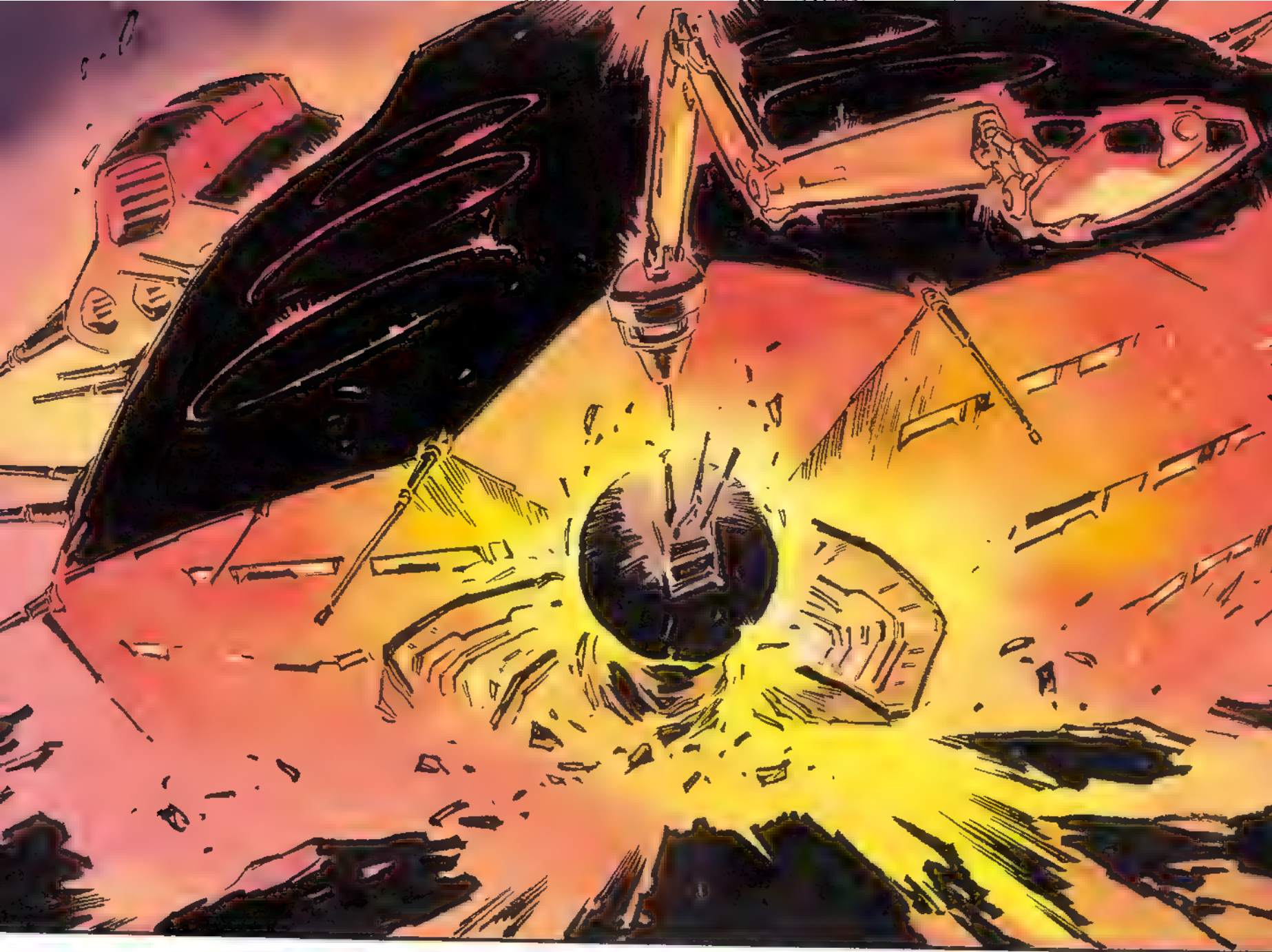
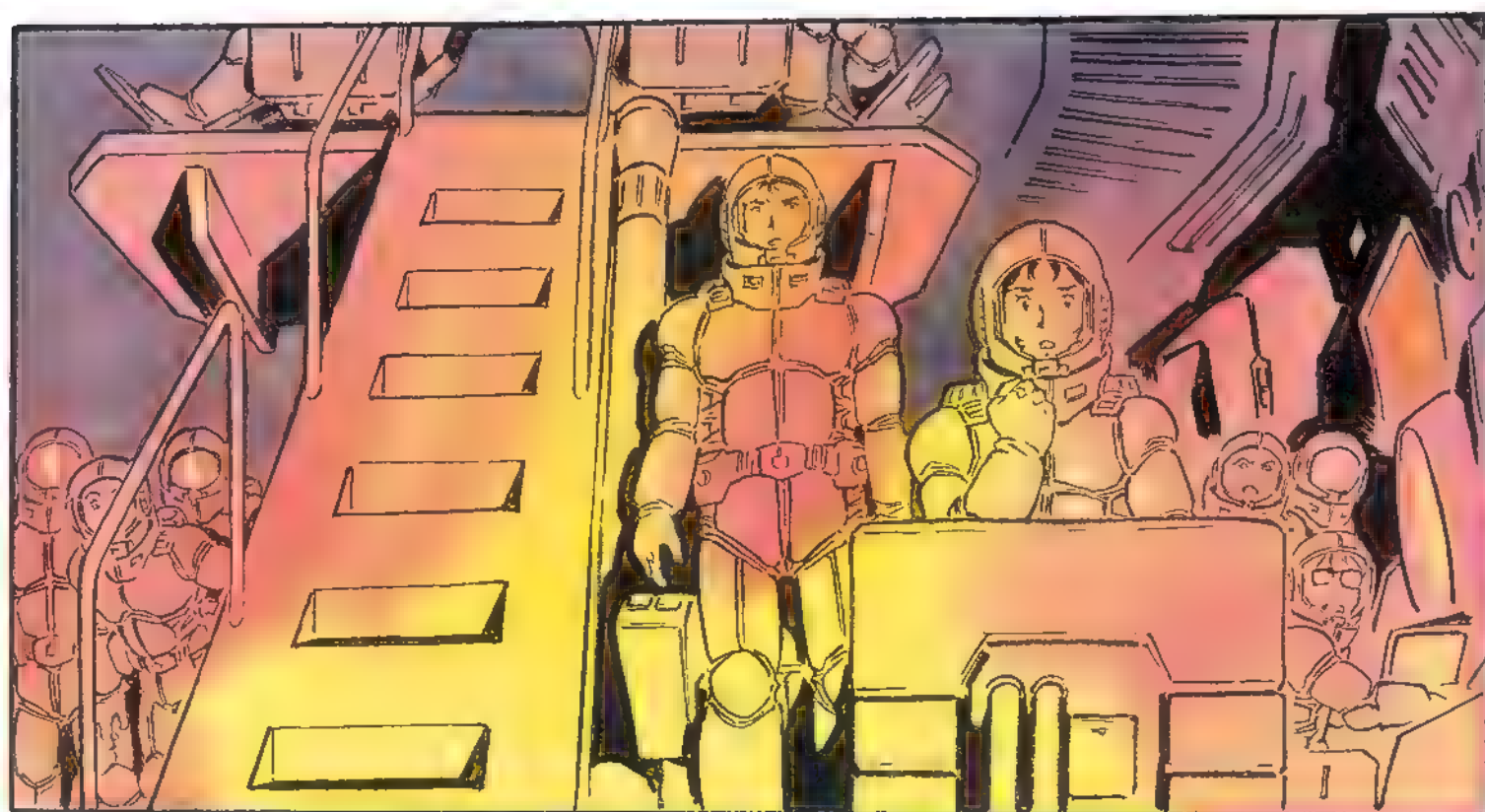
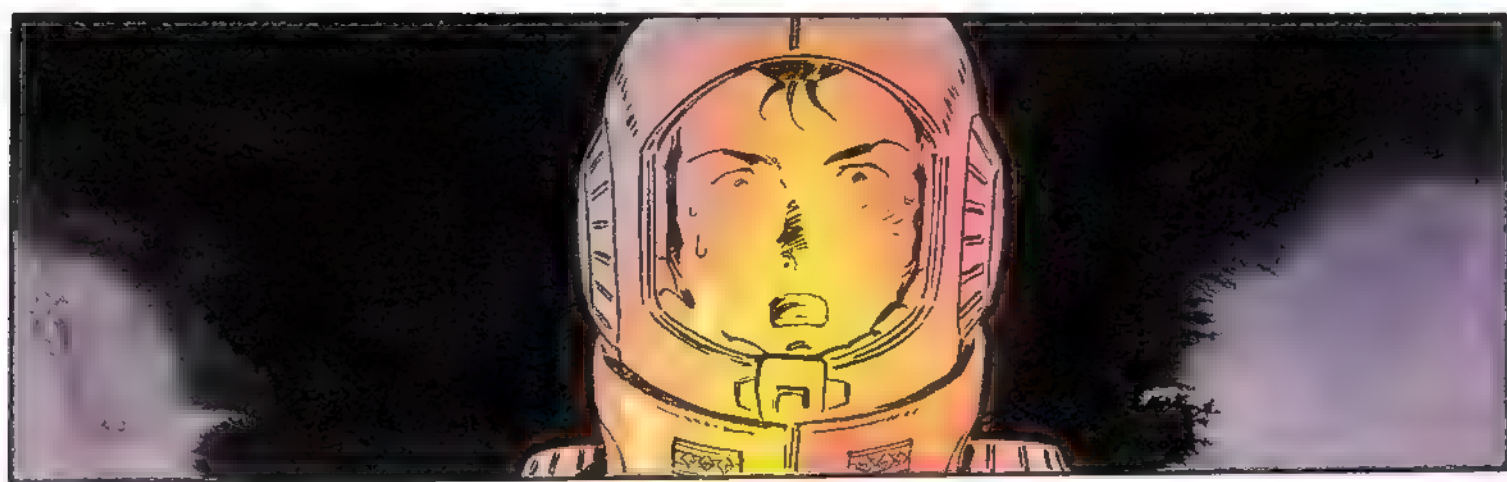
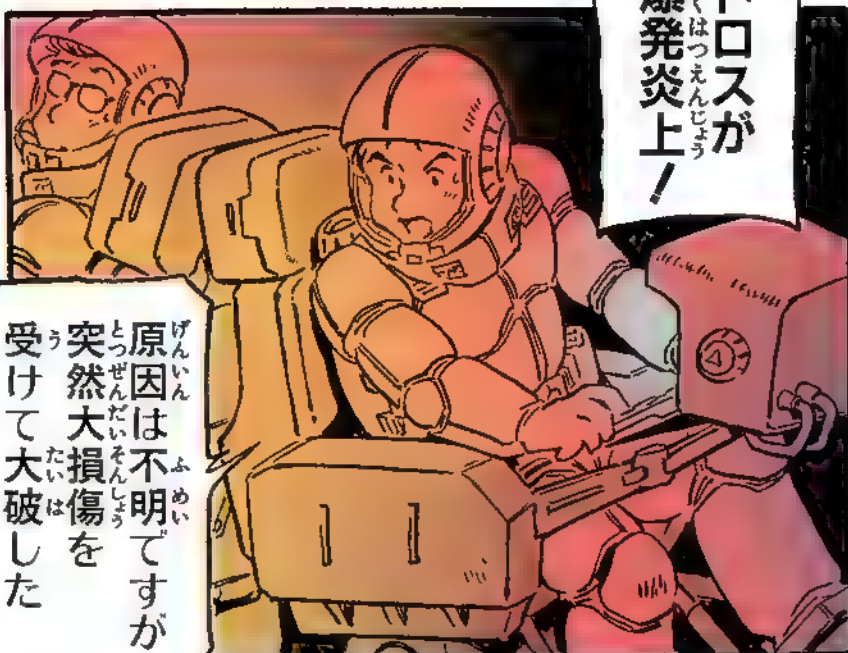
こらっ!!
我が防空部隊はあきらめんぞっ!
最後まで戦えぇっ!!
まだ作戦行動中だ
ザクに乗るなザクにっ!
こらあサキオカ少尉!!
そんなものは持ち出さんでいいっ!!
えぇ〜っだってコレ
試作機で唯一出番のなかった可哀そうなヤツなんですヨ〜っ
知るかあっ おいていけ〜っ

前方に敵モビルスーツを多数確認ーーー！
突破しろ！
こんな要塞は奴等にくれてやればいいんだあっ!!

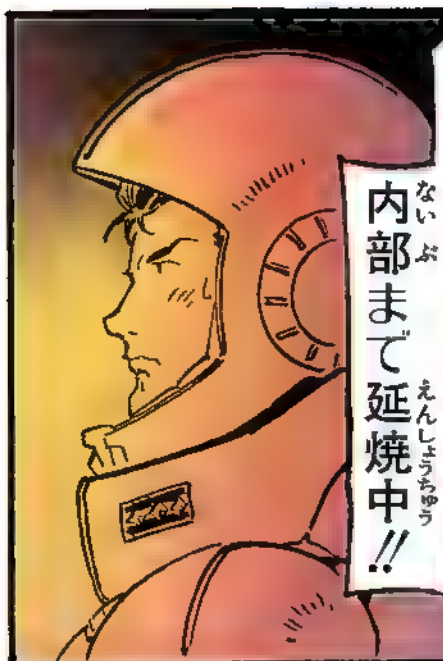
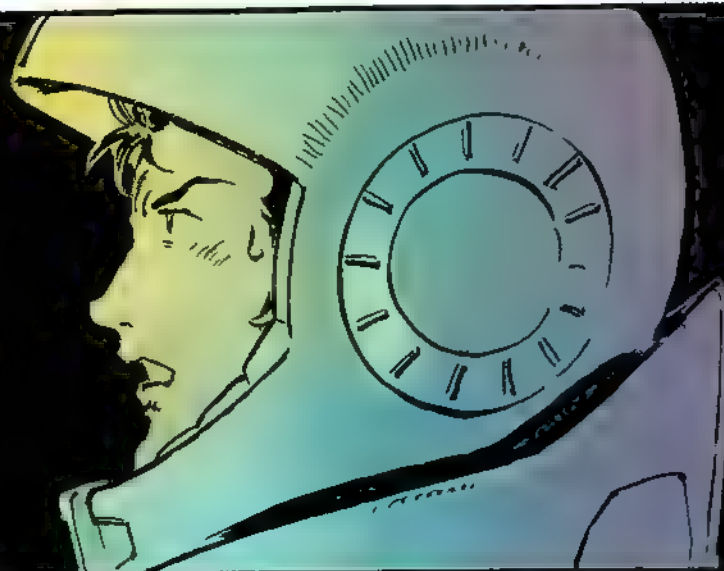
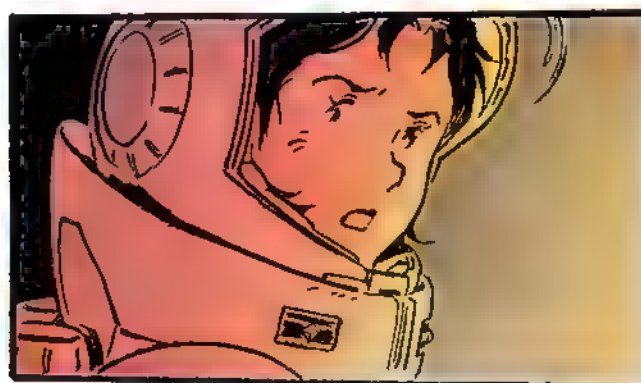
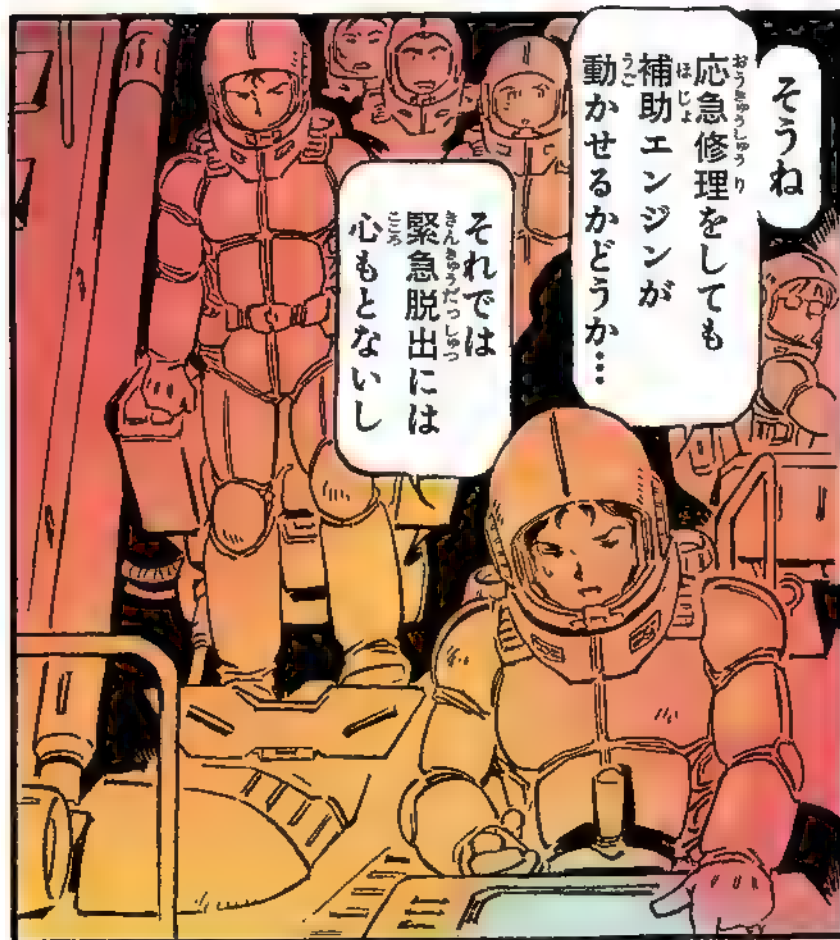
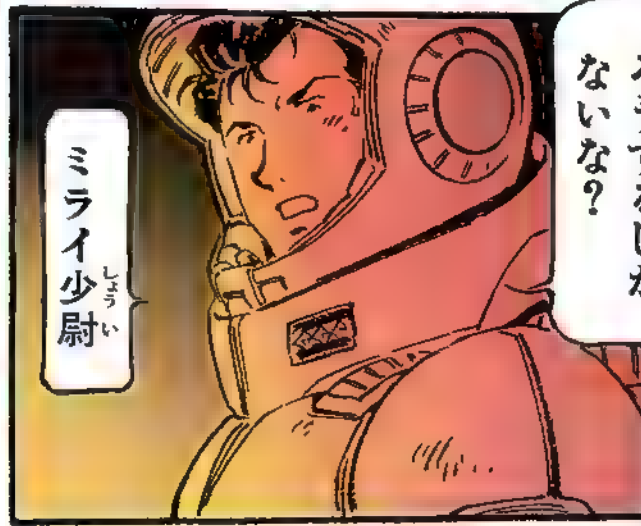
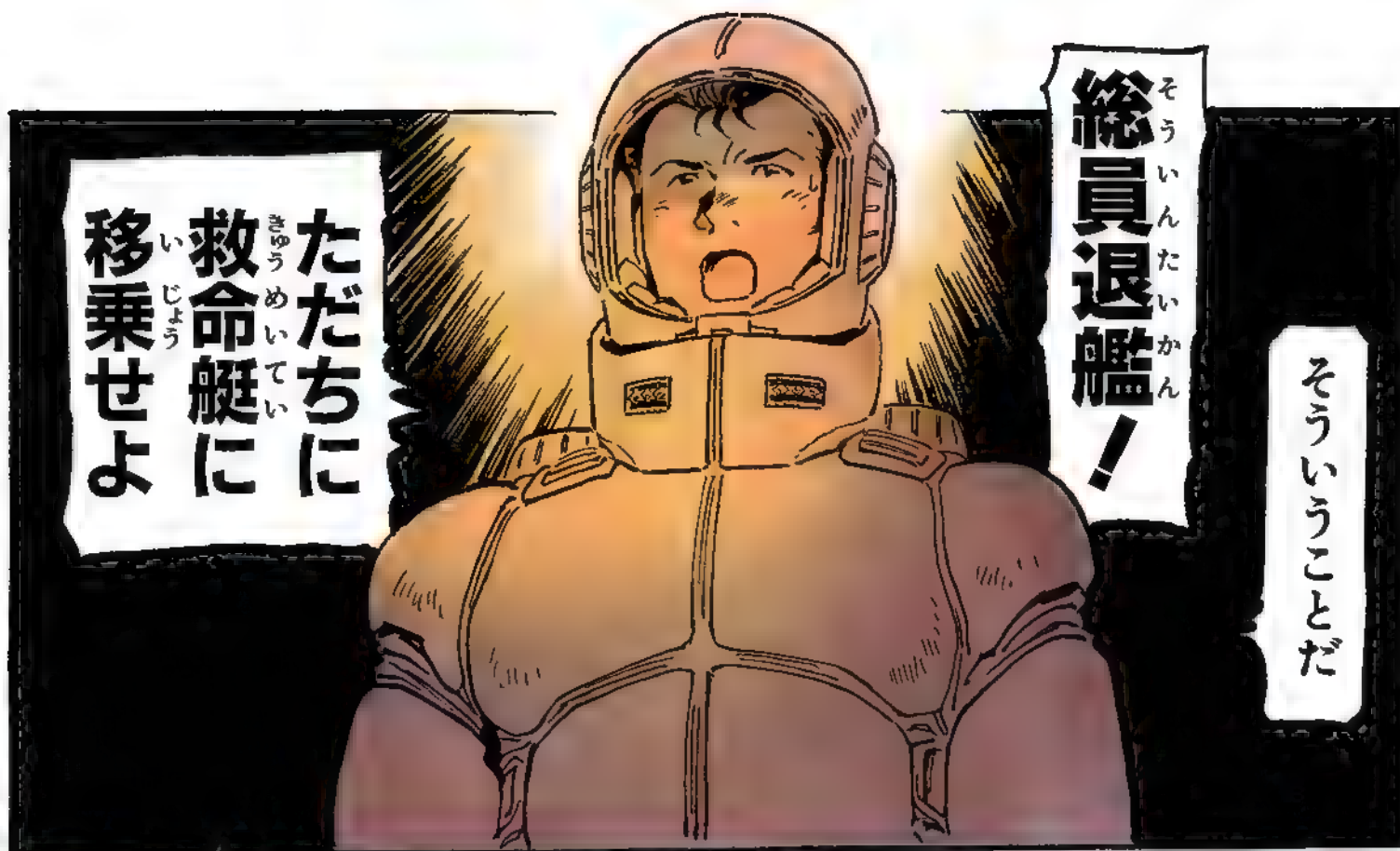
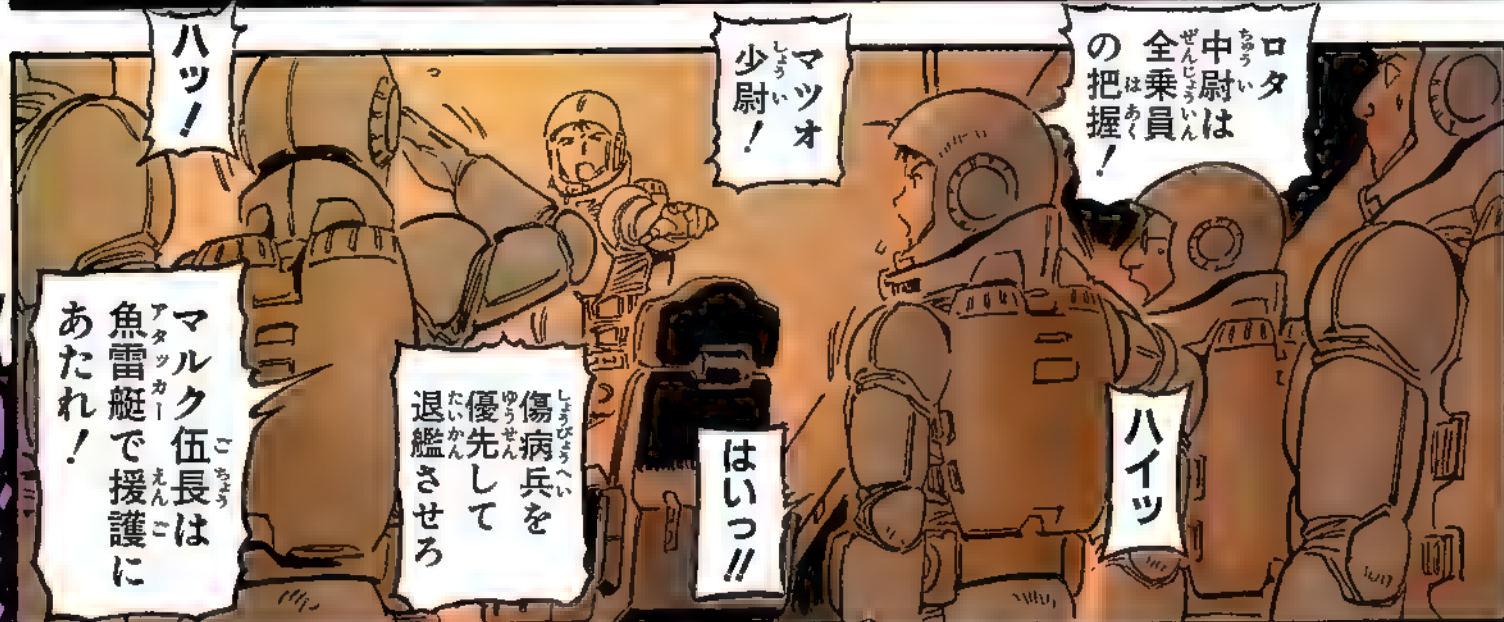
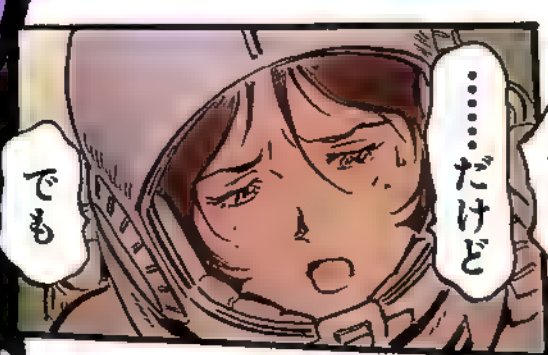
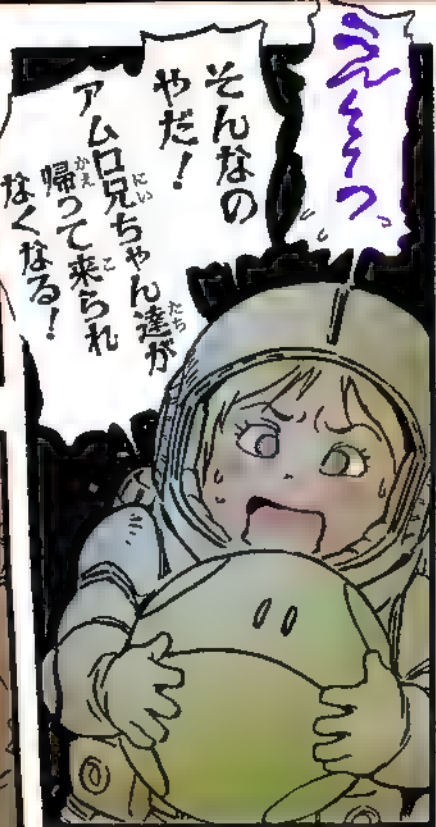
おい
見せろ
借りるぞ
はっ!!
赤い
ノーマルスーツ…
……

メインゲート
フルオープン
パープル・ウィトウが出るんだ！
いいから早く開けっ

パープル・ウィドウ離床！

ようやくこの戦争も
終るな
此処を失っても まだ我が方には ドロスの戦力と 無傷のグラナダ
加えて
ジオン本国がある
対するに 連邦の宇宙 戦力はほぼ
損耗し 尽くした…

怯懦な連邦政府のことだ
おそらく早々に無条件に近い停戦を申し入れてくるだろう

ガルマ
私の手向けだ
姉上となかよく
暮らすがいい
!!
艦橋前方に！

―めぐりあ
宇宙編
V

ドロスが
爆発炎上！
原因は不明ですが
突然大損傷を
受けて大破した
ようです
なお要塞の上部
構造物が崩壊
内部まで延焼中!!

ホワイト
ベースを
放棄
する

そうね
応急修理をしても
補助エンジンが
動かせるかどうか…
それでは
緊急脱出には
心もとないし

そうするしか
ないな？
ミライ少尉

そういうことだ
総員退艦！
ただちに救命艇に移乗せよ
ロタ中尉は全乗員の把握！
マツオ少尉！
ハッ！
ハイッ
はいっ!!
傷病兵を優先して退艦させろ
マルク伍長は魚雷艇で援護にあたれ！
ソーイン タイカンって？
みんなが艦から降りることよ
うえ〜っ
そんなのやだ！
アムロ兄ちゃん達が帰って来られなくなる！
……だけど
でも
しかたがないのよ
やだぁ〜

いやだ おアスネ おりやおいっ
おりやないぃぃ

上の方で大きな爆発があったようね
そのようですね……
……
……

大丈夫アムロ？

ええ
すこし……っていうかかなり
痛いですけど

しばらくがまんして
この先でメインルートに出るはずだから
判るんですか
セイラさん

ええ
あなたよりは
たぶん

すこしは
この内部のこと…

セイラさん!!

いけっ ハヤト!
今度はおまえだ!!
はいっ カイさん!!
ゴォォオオ…

うう……
……だめか
やっぱり外へは……

おフネ
降りるの
やだぁ〜〜っ
ねっ
ねっ
いい子
だから
キッカ
いやだあ〜〜っ
乗んない〜〜っ

キッカ
イイコ
イイコ
ったく
こいつ
いいかげんに
しょうがないんだからァ

退艦はほぼ順調に進行しています

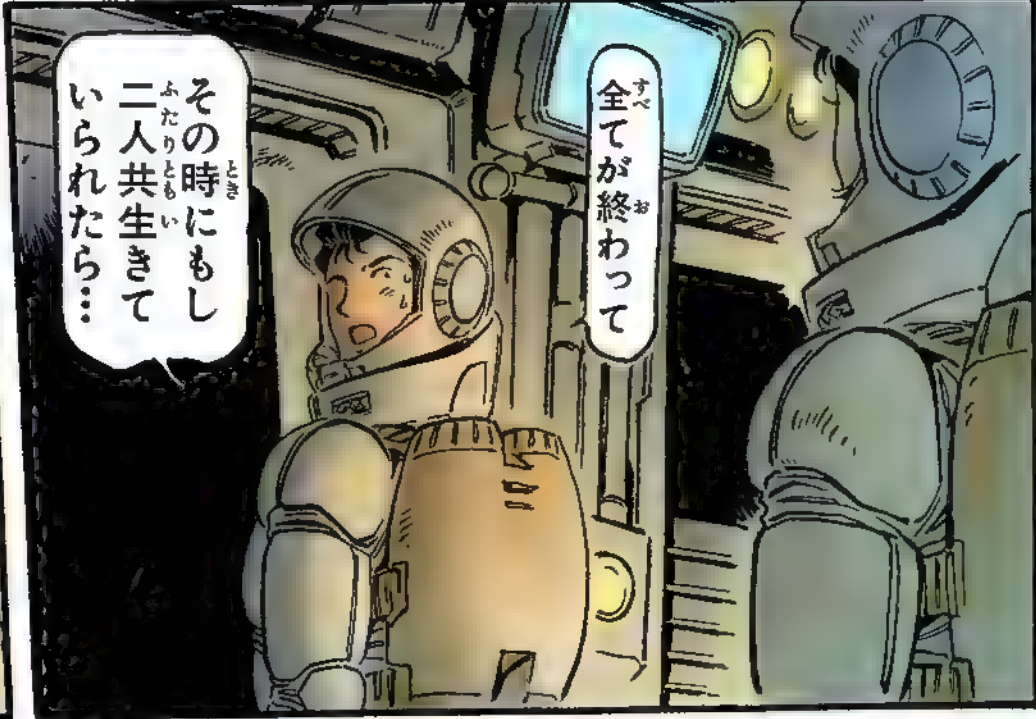
今のところ敵の攻撃や妨害はありません
艇の収容能力は足りています

ズ

ブライト艦長
ミライ少尉
まだ離艦していなかったのか
艦長をお待ちしていたのよ
航法担当士官として
どうなさったの?
艦長としての責務?
それとも
名残おしさ?
さああ
両方——かな……

……!?
え
艦長
?!
これまで
ごくろうさま
きみが……
いてくれたから……
いいや
それは

——そうだ
なあ ミライ少尉

まだ これから どうなるかも わからない こんな時に
こんなことを 言うのは
不謹慎かも しれないけど…

全てが終わって
その時にもし 二人共生きて いられたら…

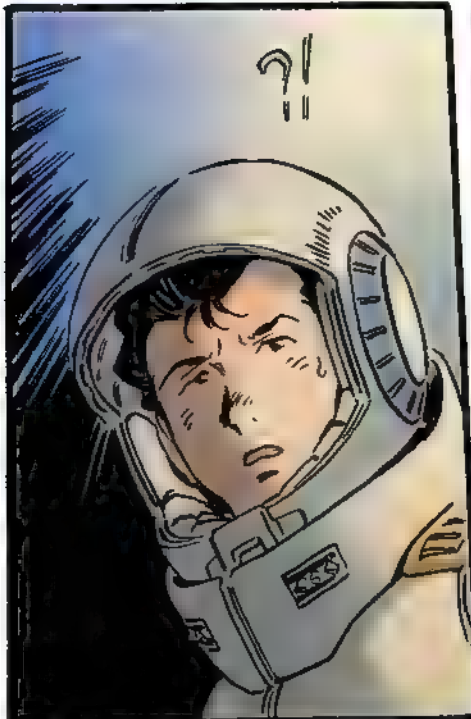
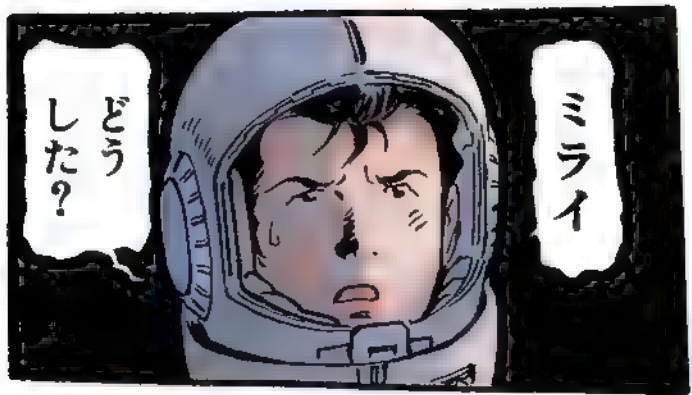
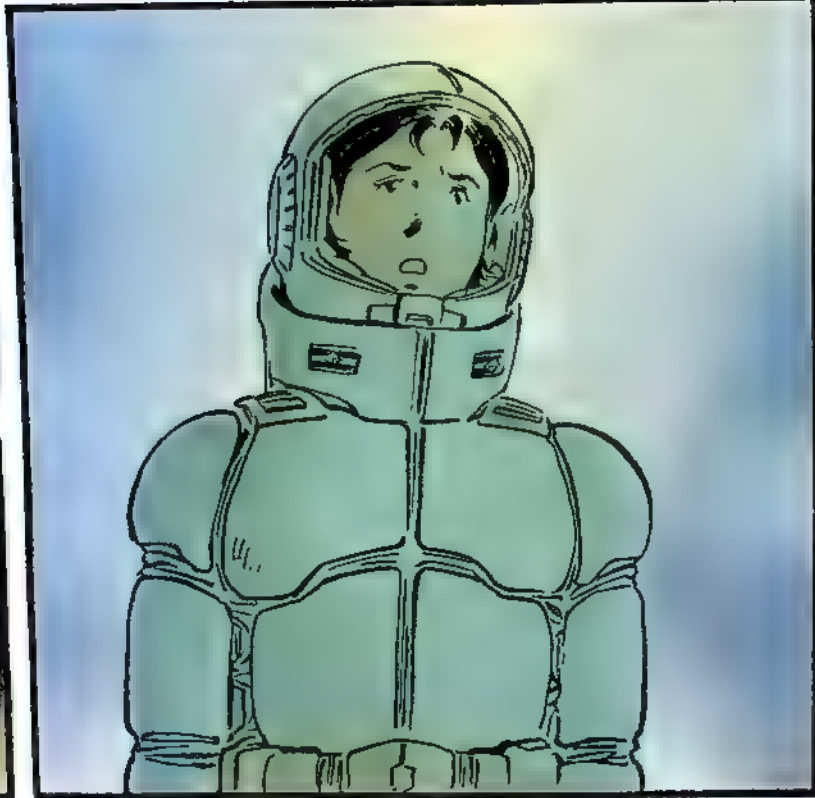
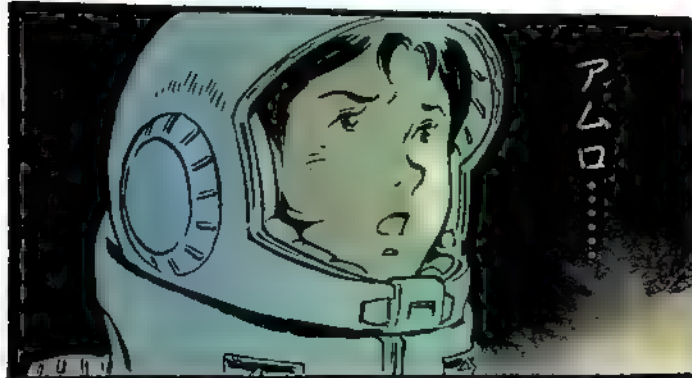
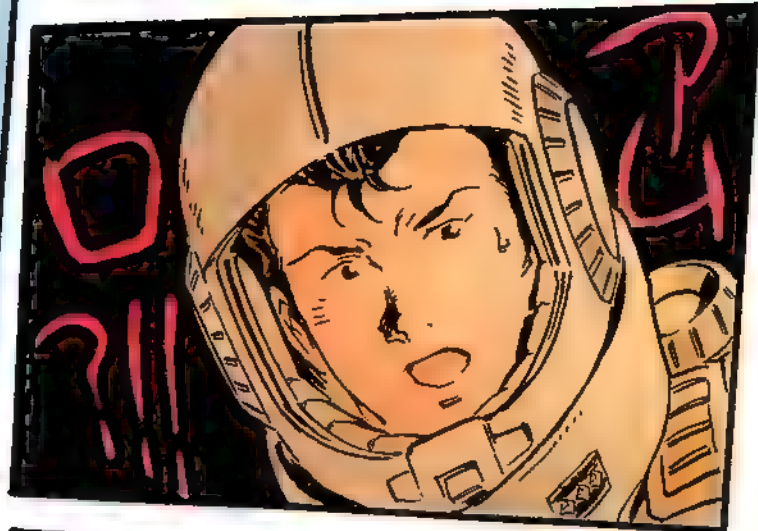
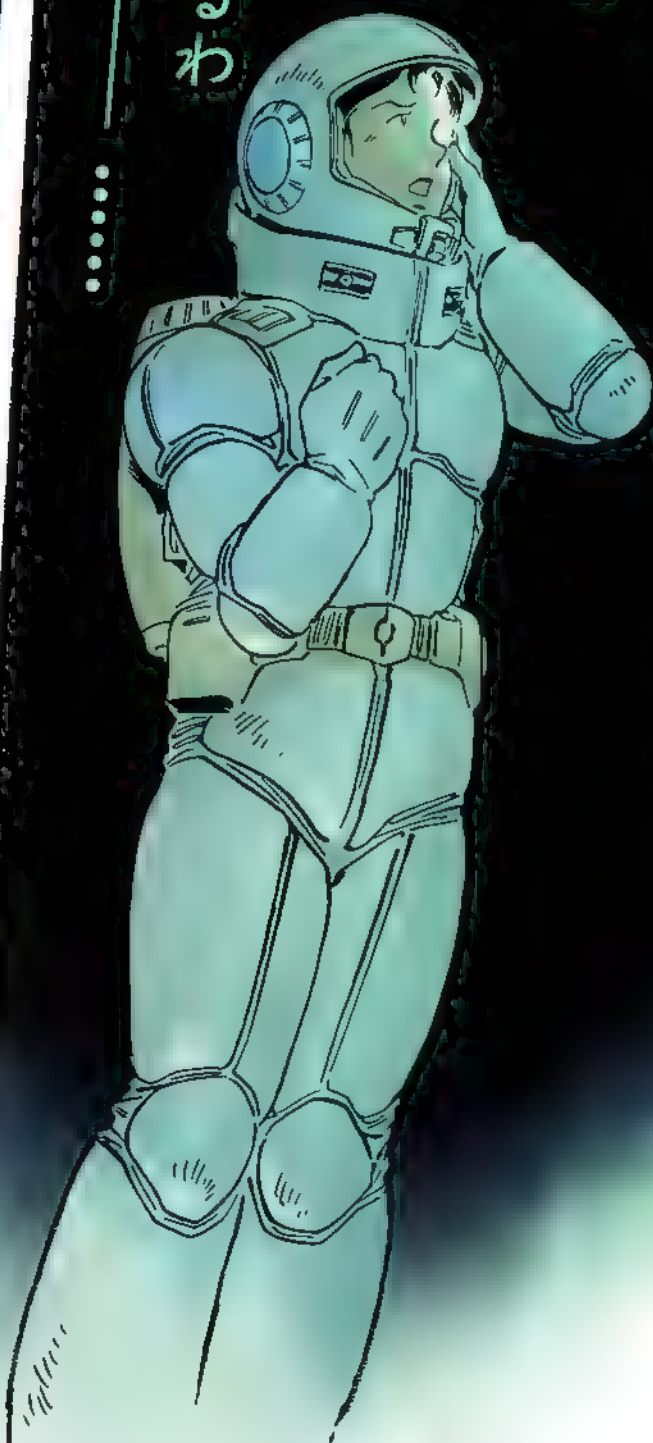
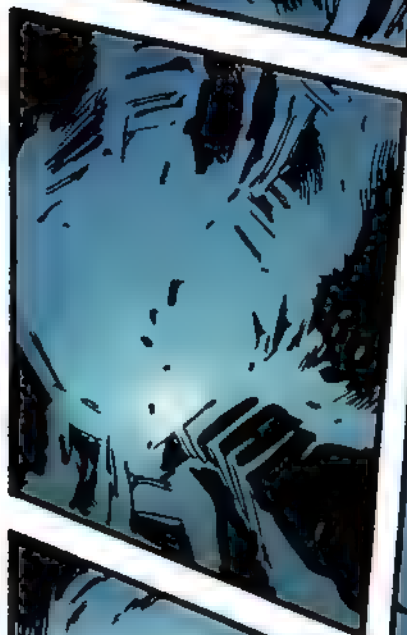
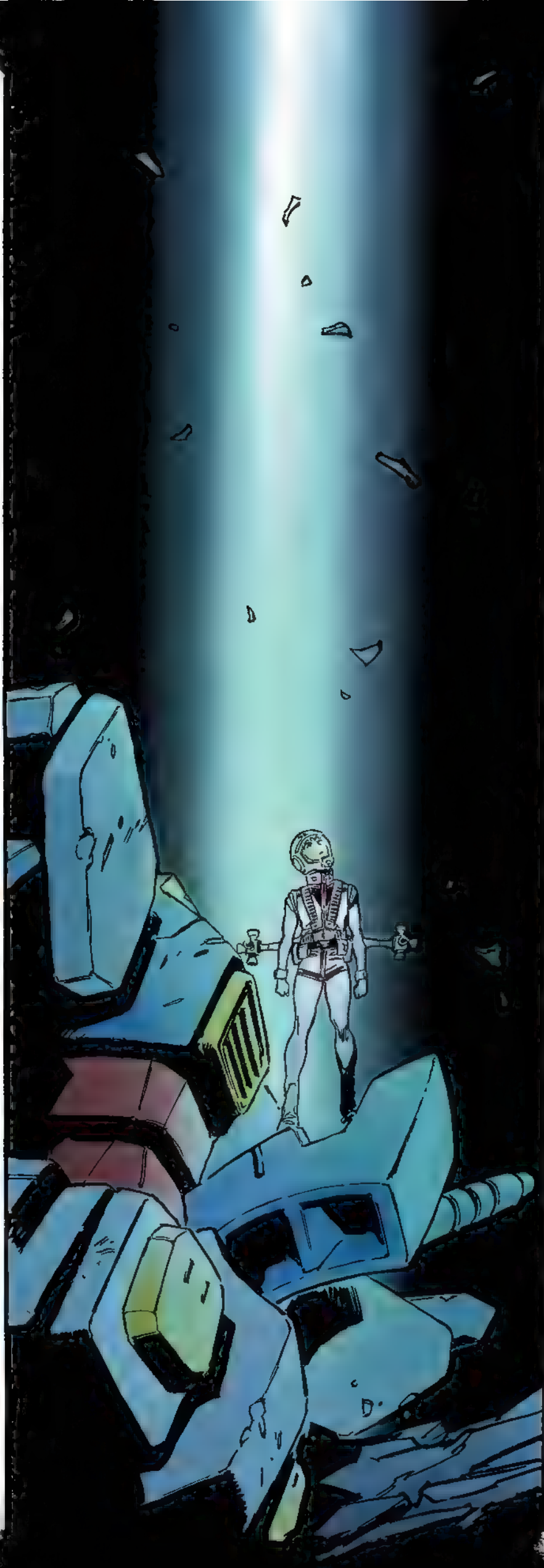
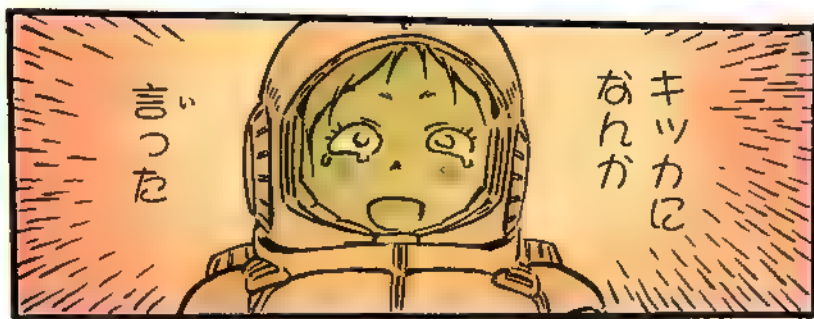
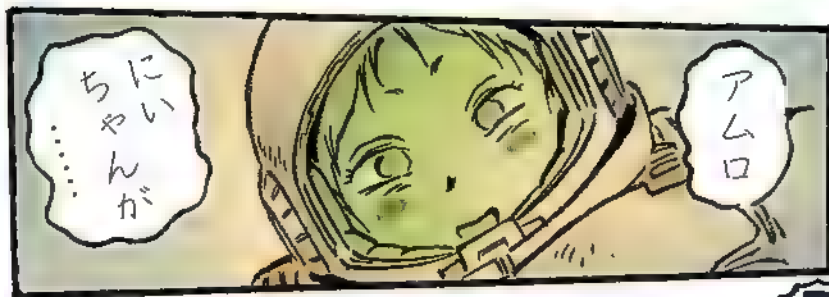
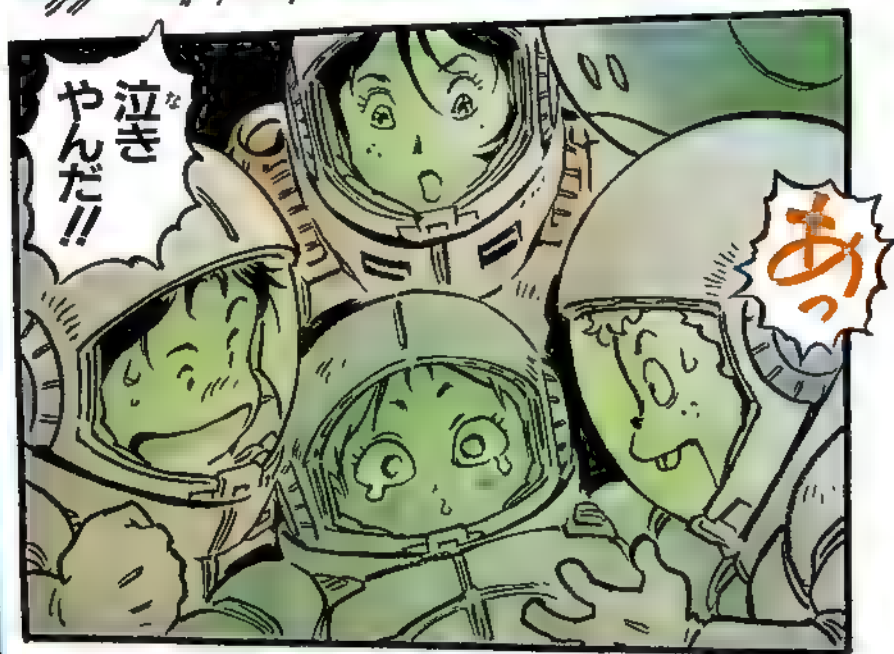
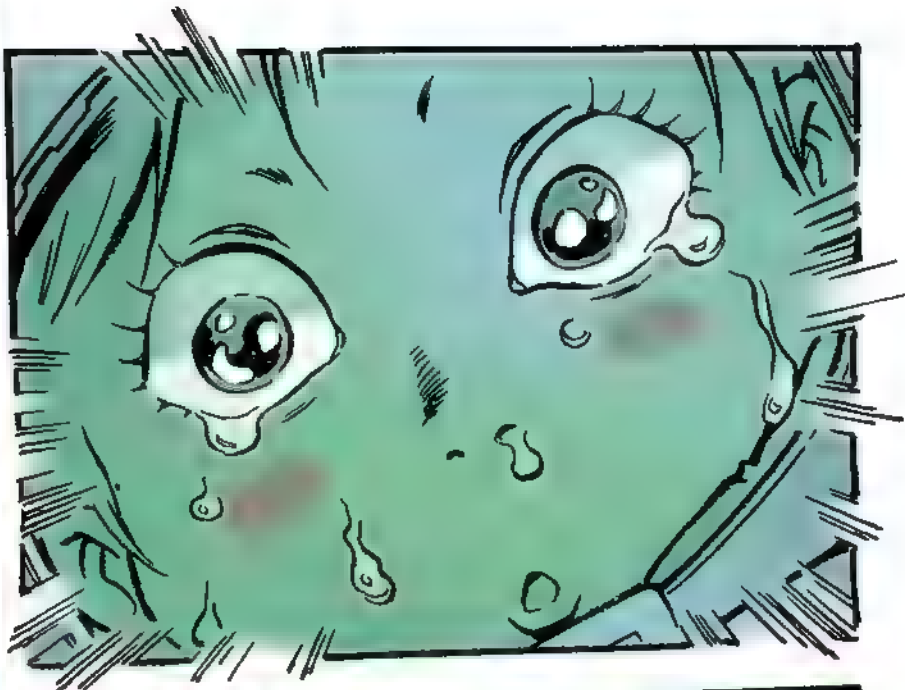
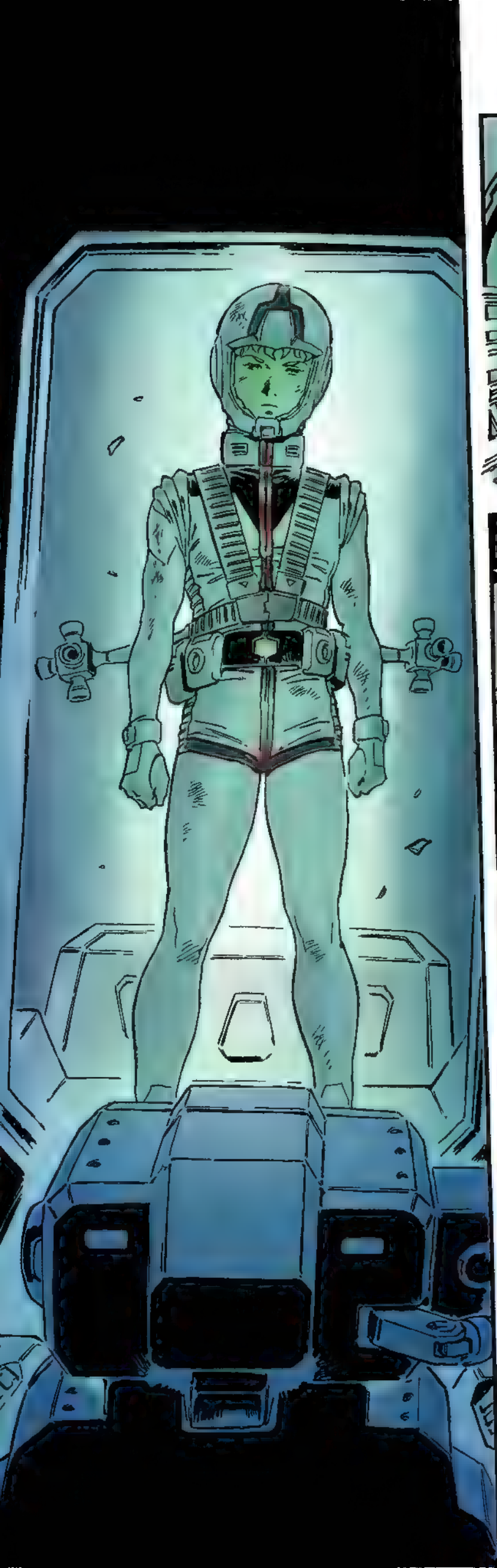
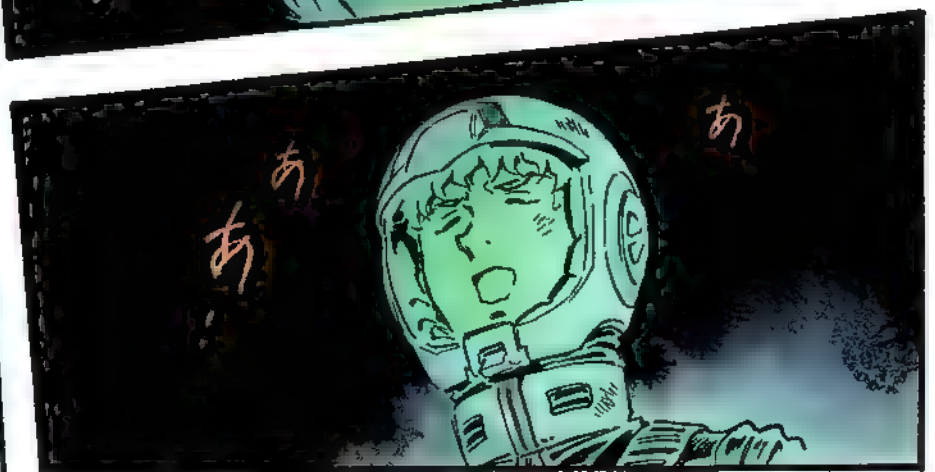
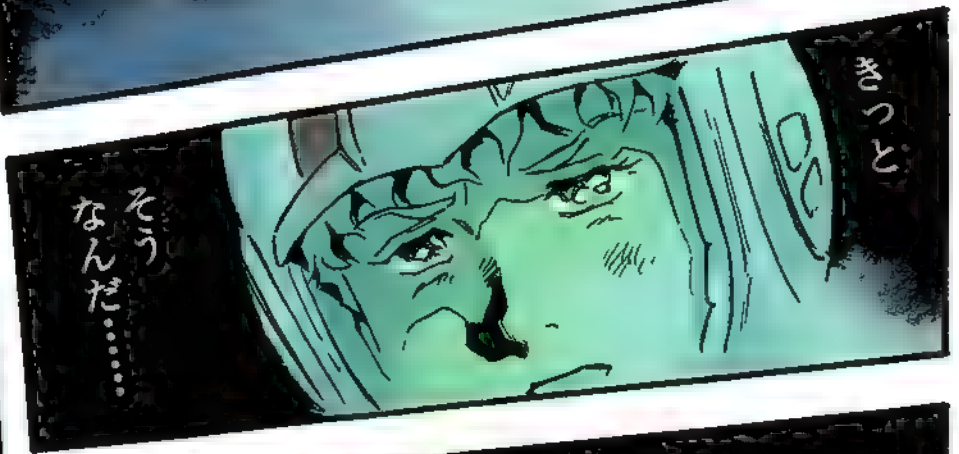
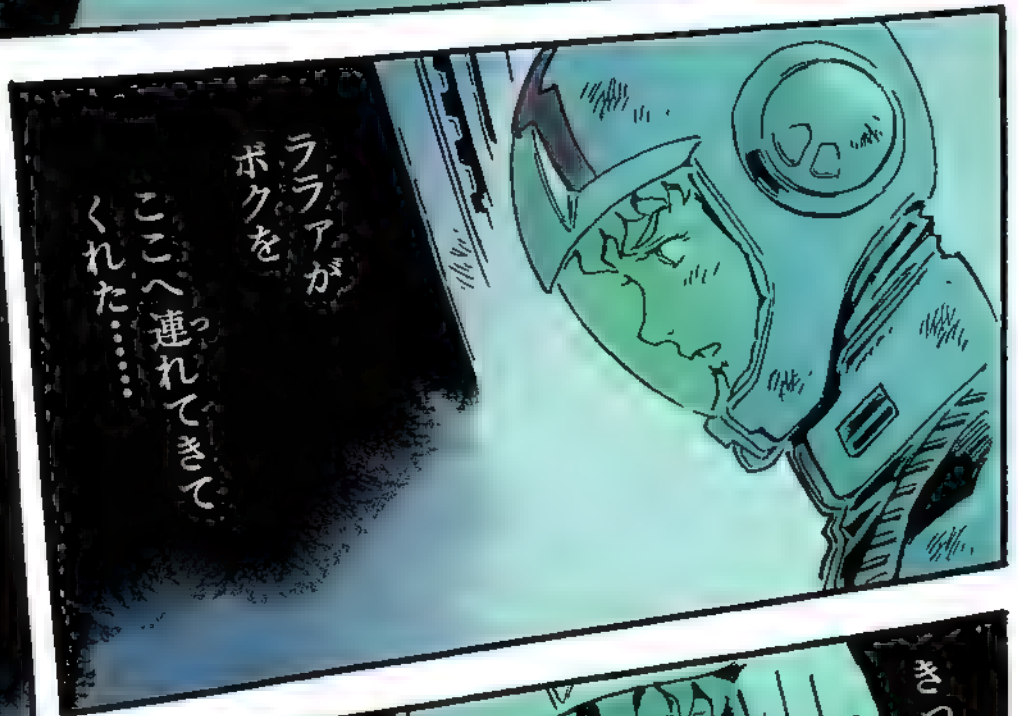
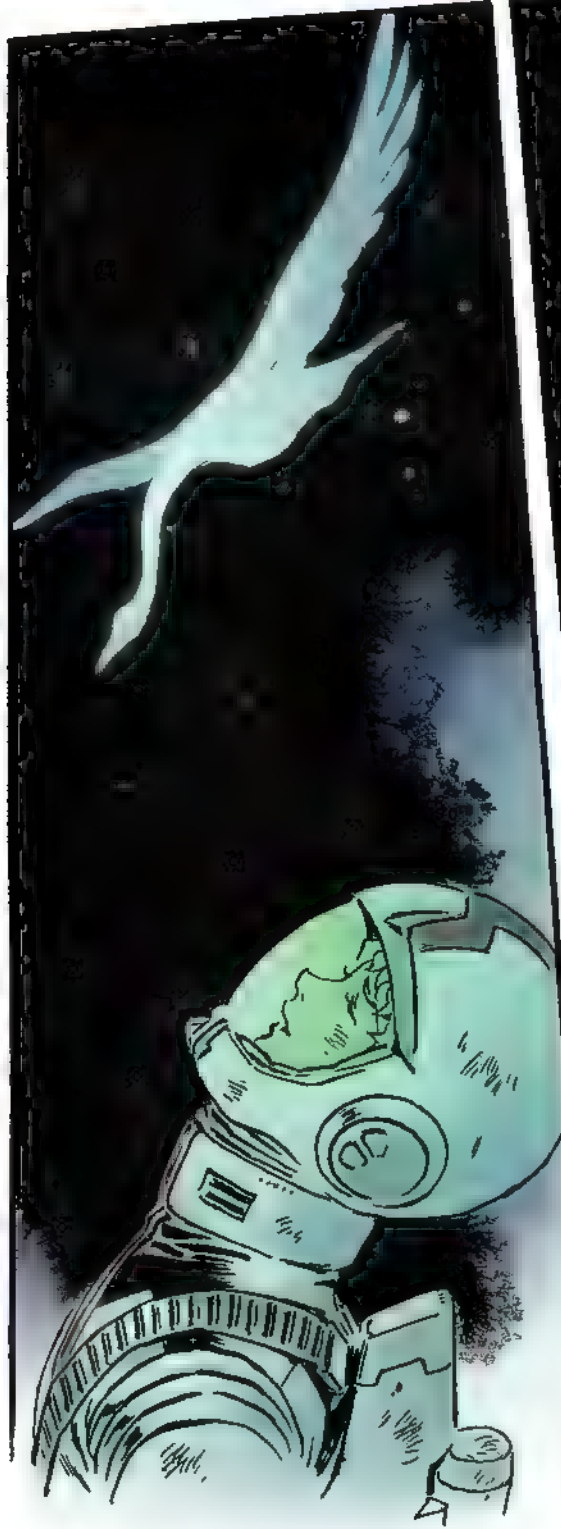
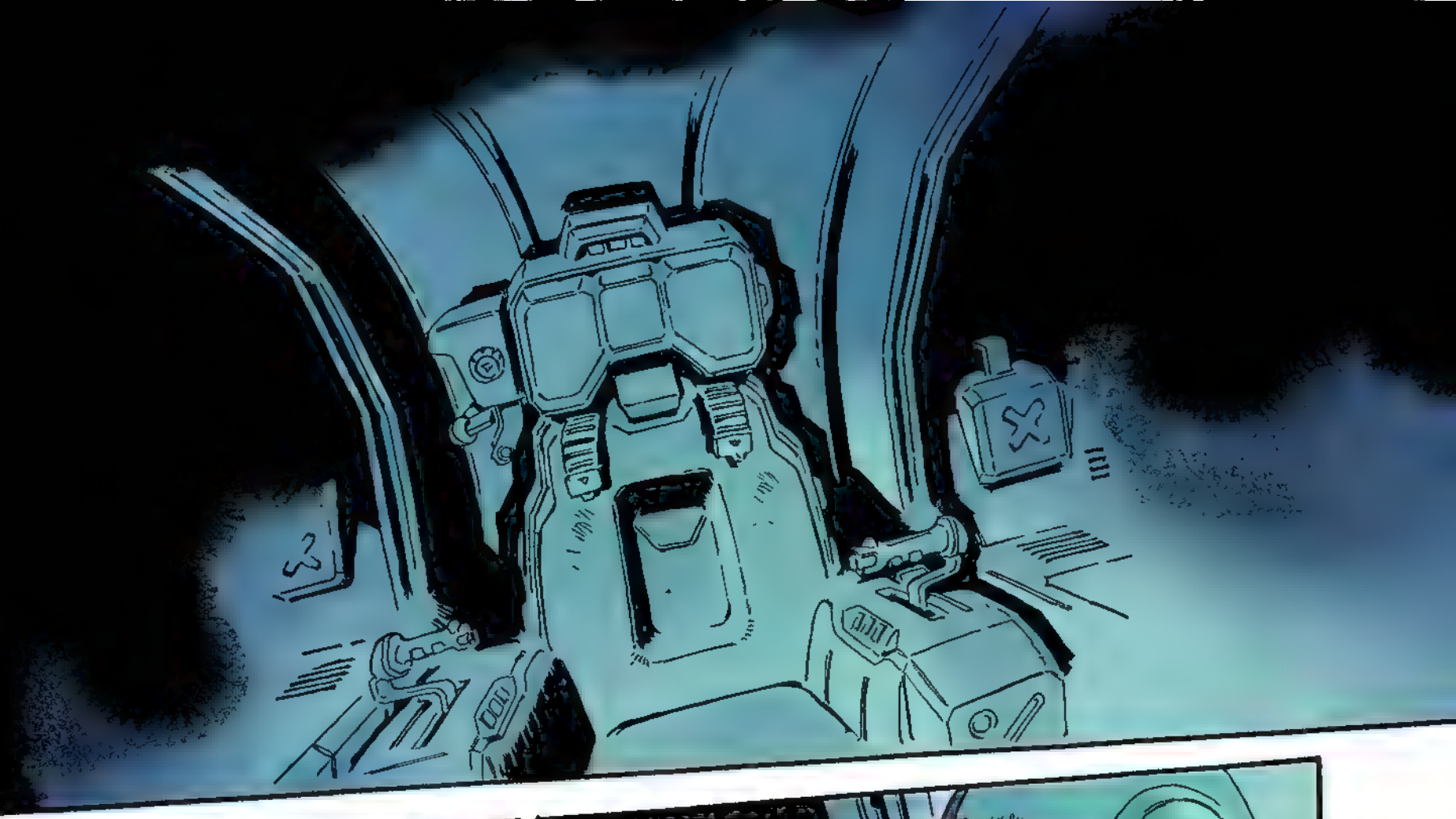
?!

ミライ
どう した?

アムロ……

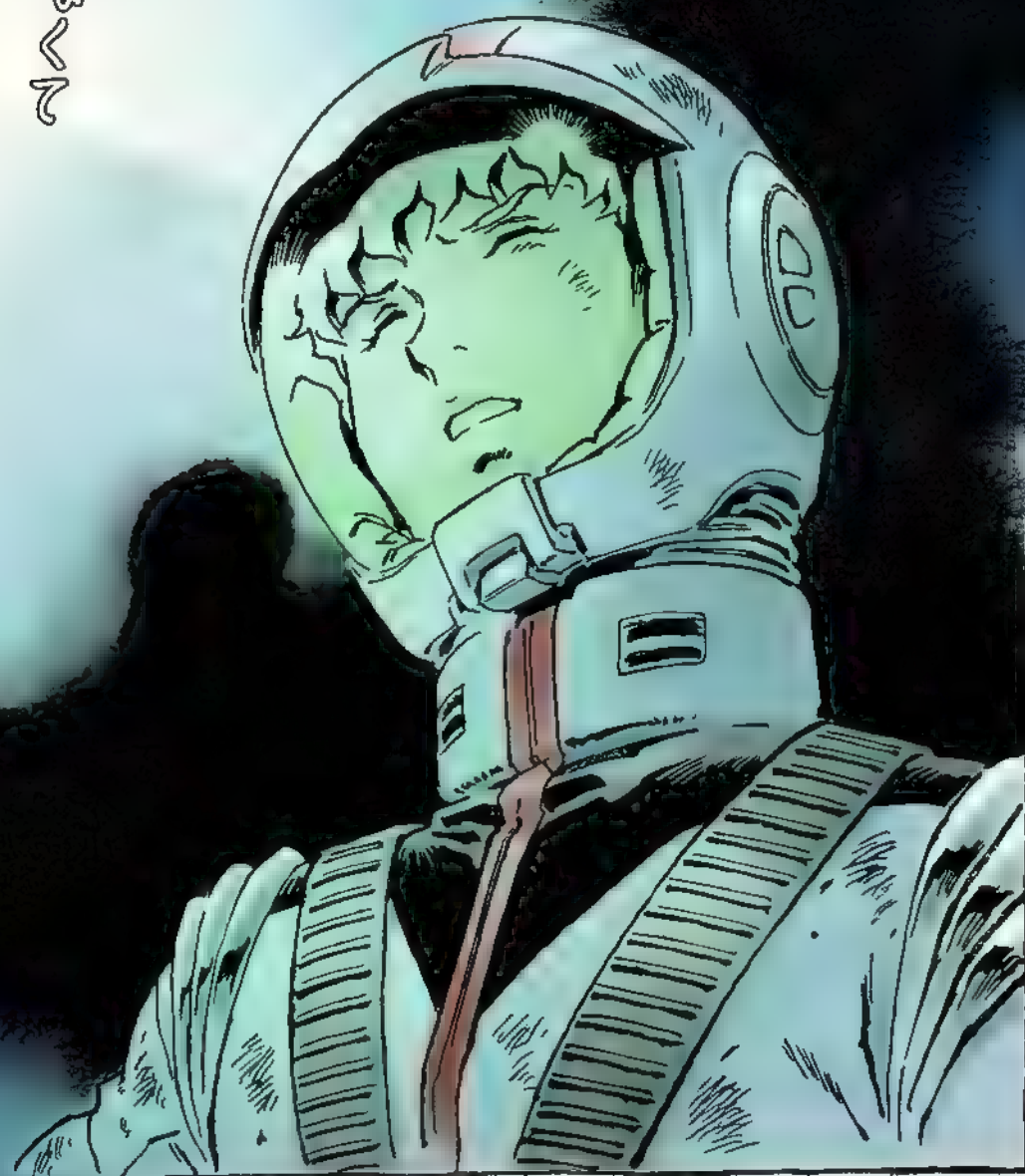
アムロ?!!
アムロを
感じるわ
――・・・・・・

あっ
泣きやんだ!!
アムロ
にいちゃんが……
え
アムロ?!
キッカになんか言った

ララァが
ボクを
ここへ連れてきて
くれた……
きっと
そう
なんだ……
あ
あ
あ

おかえり
アムロ

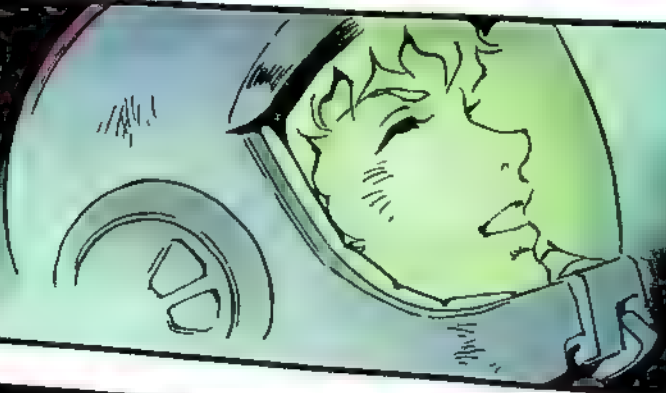
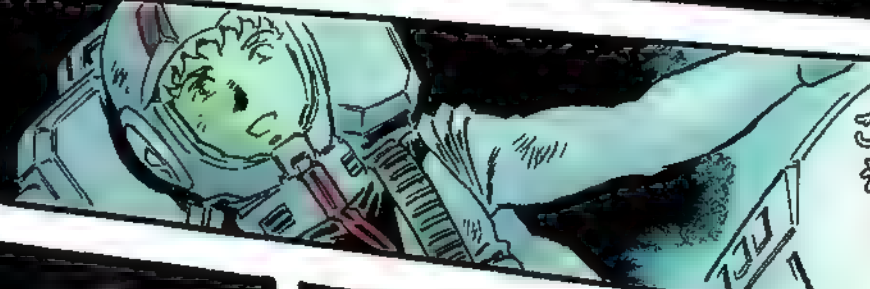
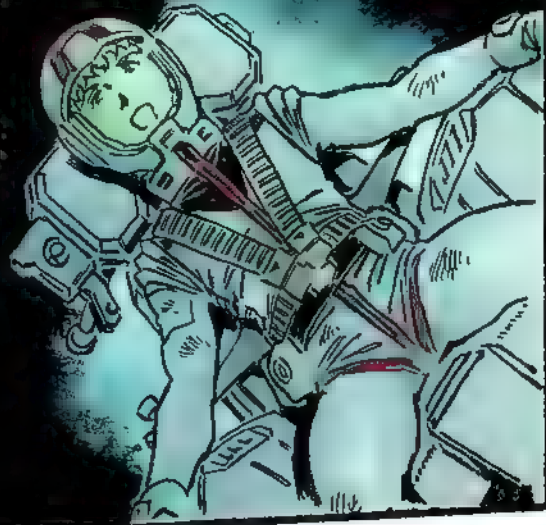
もう
いいの

アムロは
もう
たたかわなくて
いい

ニュータイプは
殺しあわないの

ああ
そうだ

そう
なんだ……

ボクは
これから

どこへ
行くんだ？

ララァの
ところへ
行くのか
？

ちがうわ
あなたは
みんなのところへ
いくの

みんなの
ところ
——?!

そうよ
ウフフ……
アムロとは
いつでも
あそべる
から
ああ……
そうだね
これからは
いつでも……
あ…

見えるよ ラララァ！
ホワイトベースのみんなが!!
05
051
02
12

早く艦を離れて！
爆発に巻き込まれてしまう……

泣いてちゃダメだキッカ！
フラウの言うことをよく聞いて

カツとレツちゃんとフラウを援けて
そう！いいお兄ちゃんだ

がんばれっ泣くな！
ボクの好きなフラウ
君はいつだって最高のおかあさんだ!!

セイラさん!
セイラさん!!
立って
立って
くださいっ
あきらめないで
助かりますから
立って
立って
立って!!

アムロ?!

聞こえる!
あなたの声
聞こえるけど

アムロなの!?

でも
ここが
何処だか
わからないのよ

ここを!?
まっすぐ?

そう!
カイさんたちがすぐ近くまで来ています

本当に?!

そのまま五〇〇メートル
そうしたら太い幹線に出るから
そこを右へ!

急いで!
ケーブルとかに気をつけてっ

ズド!!ム!

どわ〃
出たっ
ハヤト援護!!
戦うより逃げるのが大事かあっ
ぐらっ

せめてこのカイ・シデン様と勝負してから行けえ!!
卑怯者オオッ!!
カイさん
ちょっと…
状況がマジで最悪になってきてませんかコレ……!?
ドォーン…
最上層で爆発があってそれで全域に火が廻って……
ゴオオオオォー…!
我々もそろそろ退避しないと……
ナニッ
馬鹿!!
オレ達はまだ
アムロもセイラさんも見つけていないんだぞ!
いったいどんな顔で
それはそう
ですけど……

ん
どうした?
ハヤト
カイさん
ほら!
あそこ!!
セイラさん!!
わあぁっ

よかったね
セイラさん

ボクも帰れるかな
みんなの所まで

ダメかもしれないけど……
やってみる
あきらめたくない……

セイラさんに教わった
あの方法……

カチッ

01
17

艦長(かんちょう)!
カイさんとハヤトから通信(つうしん)が
セイラさんを収容(しゅうよう)して帰投(きとう)するそうです!
!!
まあよかった!

よかった!
よかったわ
無事で!!

あああ
ホワイトベースが……

沈む
…………

あの時アムロが呼び醒ましてくれなかったらわたしは
あの火の中で灼かれていたわ……
アムロが
どうしたの？セイラ！
アムロ?!
このランチにアムロは
いないの?!!
それでどうしたのアムロは!?
アムロと内部で会ったのか!?
どこで？
えっそれじゃあ

いない――
アムロはいない
探してくれ！

ニュータイプなら何かを
感じるんじゃないのか？

え？
ええ…
たしかにさっきは

……僕には何も判らない――でも

アムロの感じで……
早く……

早く退艦してって
言ってくれたように思うんだけど

ダメ……
……わからない

アムロにいちゃん
今帰ってくるヨ
え??!
ねっ
だよねっ
あ?
ああ…
あ!
ん!
ねっ!!
ねっ
ハロ!
ハロ!!
ちょっと!
あなたたちっ
!!
ほらっ
来るよっ
来るよ!

あっ
今角をまがった

!!0
ゼロ

わあああ!!

07

はぁあ

ああ……

ごめんよ
ボクにはまだ帰(かえ)れるところがあるんだ
こんな嬉(うれ)しいことはない……
わかってくれるよね……
ララァにはいつでも会(あ)いに行(い)けるから──

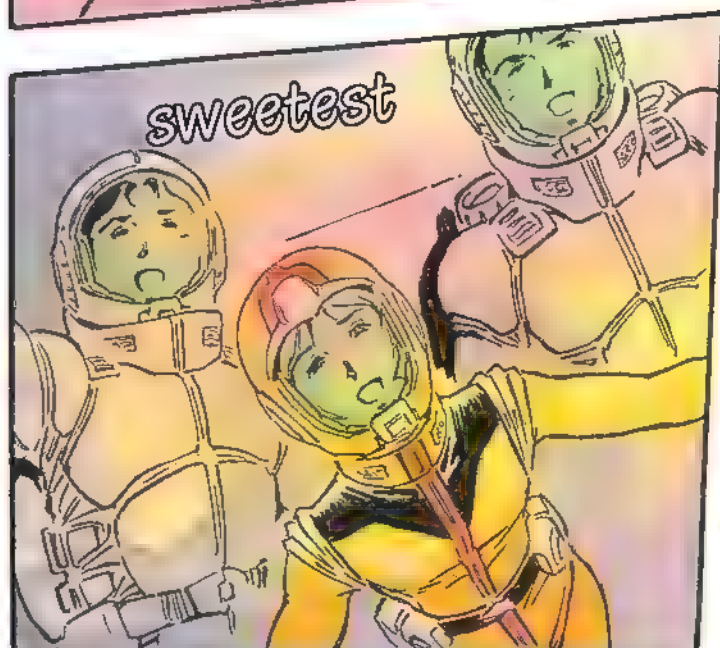
Believe!
人は悲しみ重ねて
大人になる
いま
寂しさに震えてる
愛しい人の

その哀しみを
胸に抱いたままで
Believe!
涙よ
海へ
還れ
07

恋しくて

つのる想い

宙(そら)

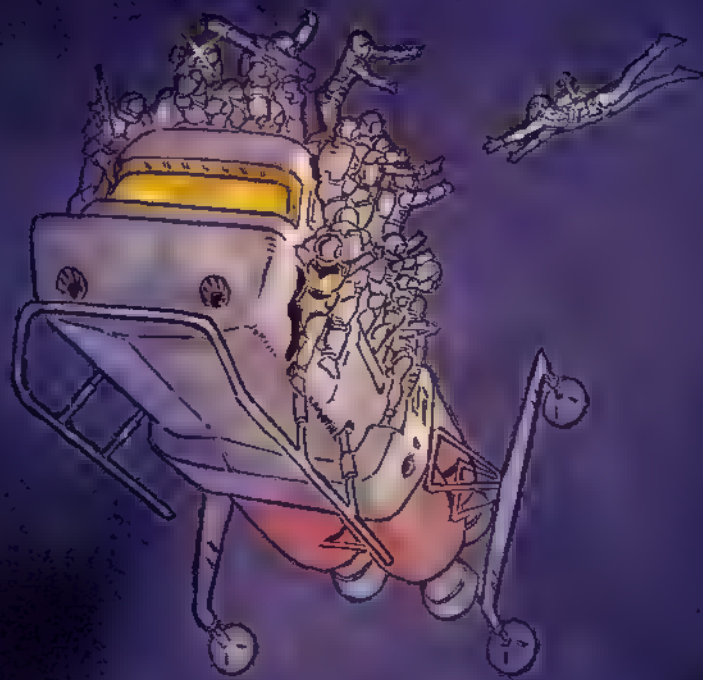
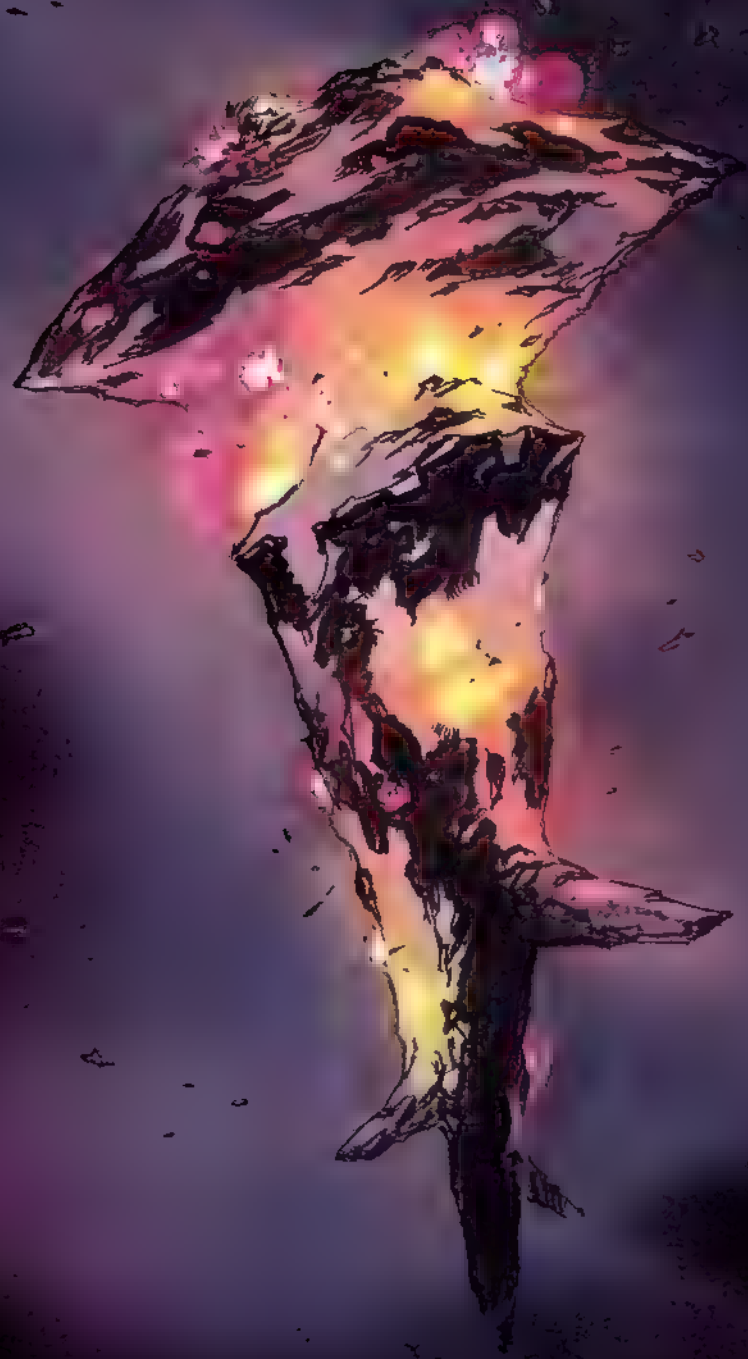
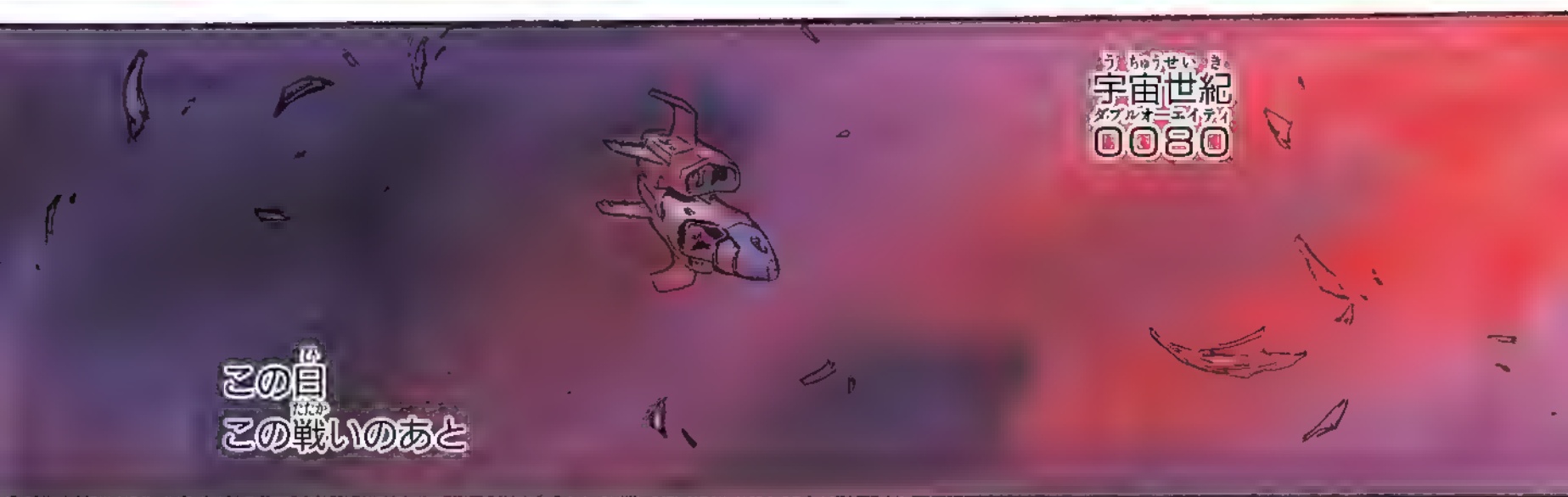
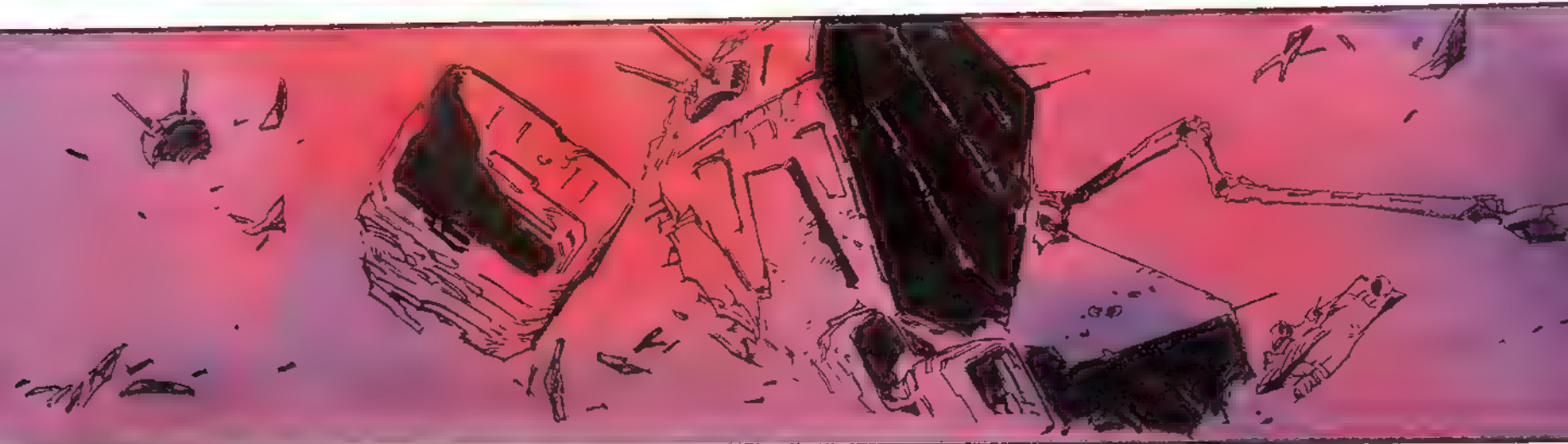
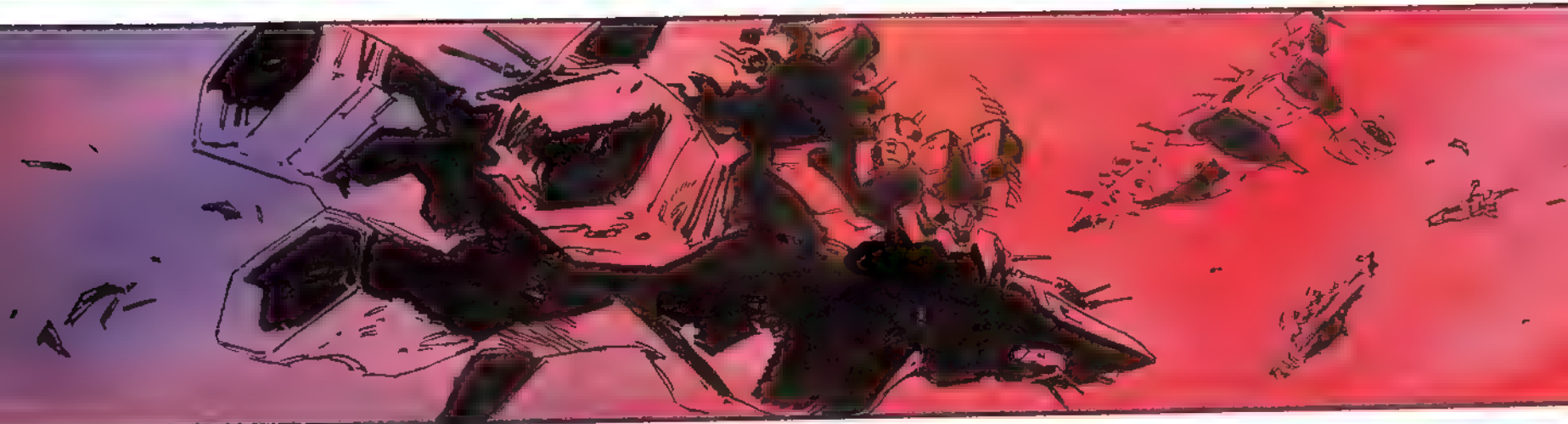
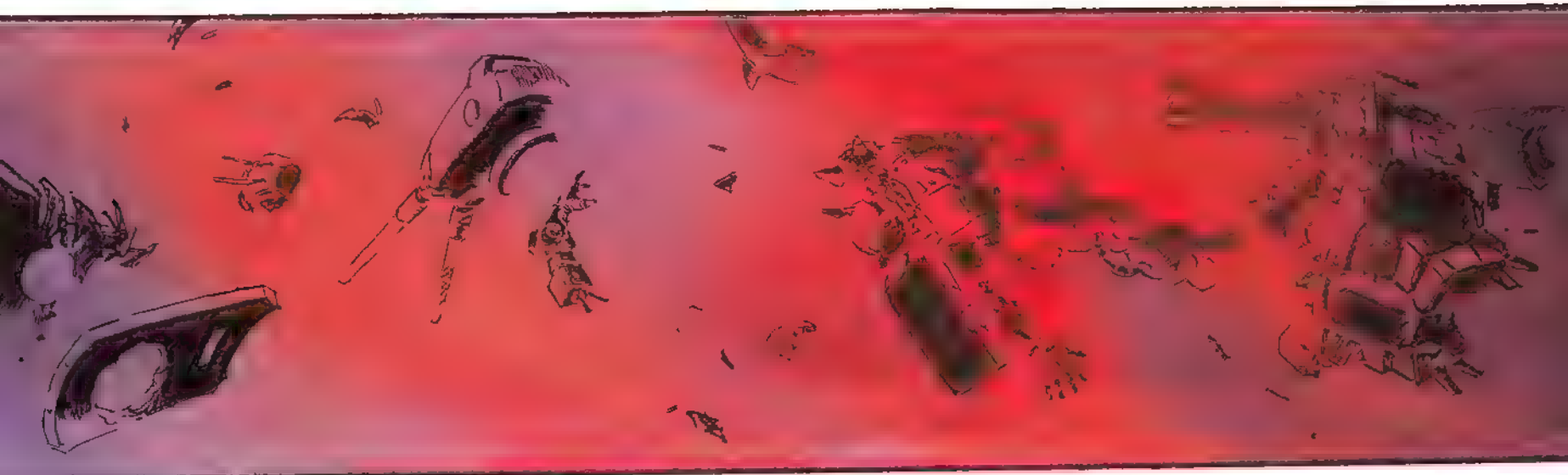
茜色に染めてく

I wanna get back
where you were

愛しいひとよ

もう一度

Yes my sweet

Yes my sweetest

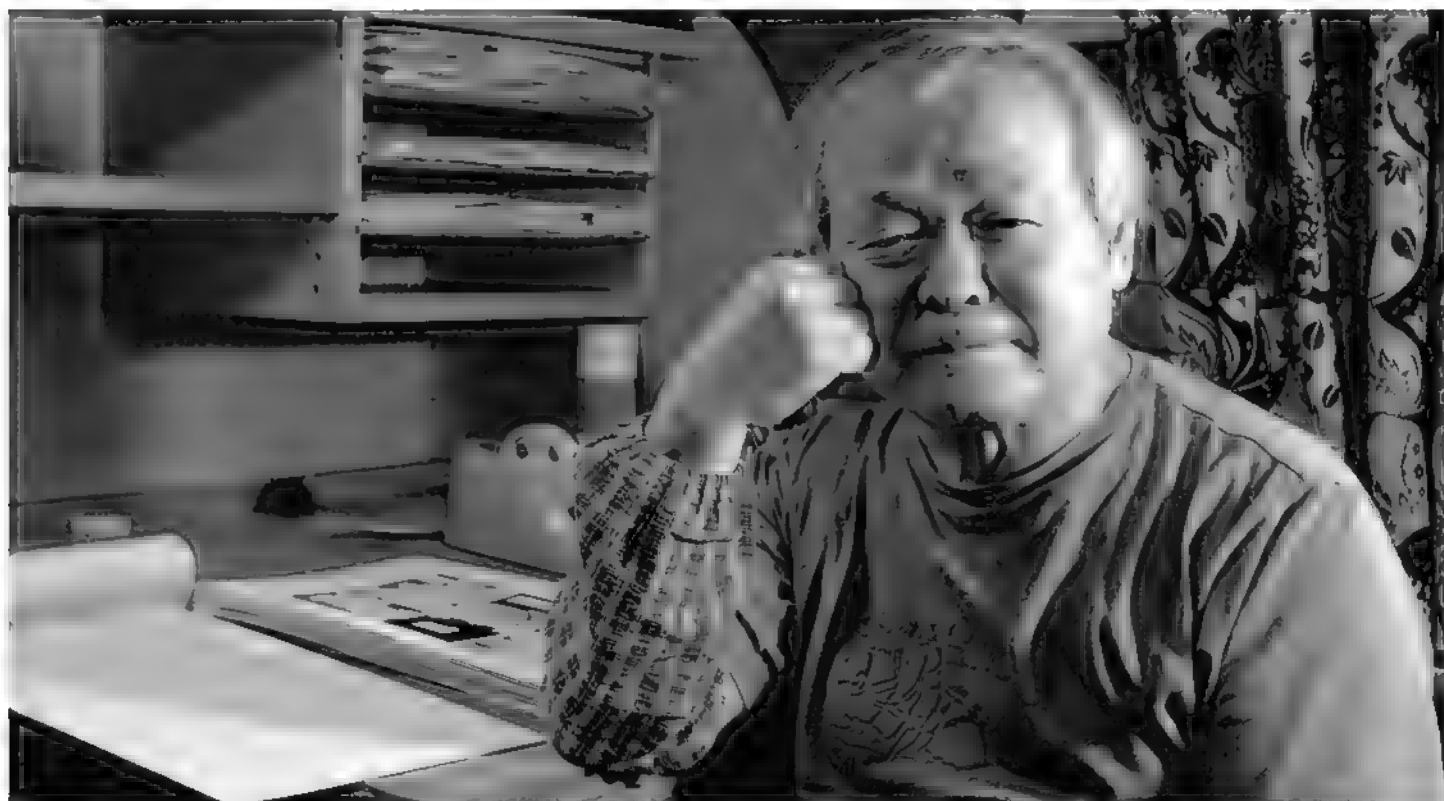
I wanna get back where you were

誰もひとりでは　生きられない

宇宙世紀
0080
この日
この戦いのあと

地球連邦政府と
ジオン公国の間に
休戦協定が
結ばれた

END

THE ORIGIN 完結記念

安彦良和ロングインタビュー

総計4,883ページ、執筆期間10年、全100回にわたる連載を経て『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』が本巻でついに完結いたしました。ここでは描き上げた直後の安彦良和氏に伺った「今だから話せるTHE ORIGINのこと」を、これまで応援してくださった読者の皆さまへお伝えいたします。

二〇一一年六月十七日、ガンダムエースの編集長と担当、そしてカメラマンの三人が、『機動戦士ガンダム ジ オリジン』最終回を描きあげた安彦良和氏の仕事場へ原稿を受け取りに伺った。

完結直後の心境

――最終回の今回は一カ月でカラー二十五ページ、モノクロ四〇ページの分量を描いていただいたあとなので、かなりお疲れではないかと心配してきたのですが、全くいつも通りですね。

安彦 作画自体は昨晩のうちに終わっていたから。今日は朝起きて犬の散歩に行って、最後に渡す原稿のチェックと簡単な修正をしただけなんだよ。

――今回だけはスケジュール面を心配していたのですが、まったく無用の心配でした。ついに今回『ジ オリジン』を描き終えられた訳ですが特

ジオン共和国との終戦協定
『ジ オリジン』ではジオン公国との休戦協定に変更されている。

シャアとアムロが交錯するところ
ファーストガンダムのシャアは途中から左手で剣を握っているのに対し、『ジ オリジン』では右手のままであることを指す。

ククルス・ドアンの島
TV版ファーストガンダムの第15話『ククルス・ドアンの島』のこと。ジオン軍の脱走兵ドアンの姿が描かれている。

※本稿はガンダムエース2011年9月号初出の記事に加筆修正を加えたものです。

別な感慨や安堵感などはありましたか。

安彦　どうだろう、まだあんまりそういう自覚はないなあ。だけど達成感や安堵感が強すぎて急に力が抜けたりしてもまずいから、それはそれでいいんじゃないかとも思うけど。

　ただ物語が終盤にきてからも例によって予測がズレちゃって。「23巻にしましょう」って編集長に言われてたのに「しません！ 絶対に22巻で終わります!!」なんてエラそうに断言してたのに終わらなかった。でもその結果ちょうど一〇周年記念号で、連載一〇〇回目で終わった。結果的には良かったんじゃないだろうか。

――そうですね。もっと描いていただいても、編集部としてはまったく問題ないのですが（笑）。

安彦　いやいや（苦笑）。

――編集部に届く読者の皆さんのハガキを読んでいると、ファーストガンダムの結末を変えないで欲しいという声と『ジ オリジン』独自の展開でのラストシーンを期待する声が拮抗していました。

安彦　あのエンディングは変えられないですよ。僕自身も好きな終わり方ですし、変える意味もないし。

――大枠はほぼそのままですね。そういえばコア・ポッドのキャノピーが吹き飛ぶ描写が描き加えられていました。

安彦　そんなのはそれこそ些末なことで……、でもまあアレは当時からちょっと気になっていたので足しておきました。ほかにもジオン共和国との終戦協定とか――（★）、気になった箇所をすこしずつ修正してはいますが、おおきな流れは一切変えていません。

――気になった箇所というとフェンシングのシーンでシャアとアムロが交錯するところ（★）とか……ですが細部の意図はこれから先もお訊きする機会があるでしょうから、今は長期連載を終えた直後のお気持ちについてもっと伺いたいと思います。

　いま安彦さんが一番なさりたいことはなんでしょう？

安彦　うーん。長い旅に出たいとか、なにかそれらしい事を言えればいいんだけど……。だいたいあなたたちに頼まれた仕事がまだ残ってるし。ね、いろいろと……（笑）。せいぜい久しぶりに同窓会に出ようかなあとか、それくらいで。

ベストエピソード

――すみません……。すこし話が変わりますが、連載が終わった今だから明かせる話、というのはありますでしょうか。例えば『始動編』から『めぐりあい宇宙編』までを通して、これが安彦さんにとってのベストエピソードだというようなものは？

安彦　難しい質問だねえ。それはひとつには絞れないですよ。それぞれにストーリー全体の中での意味や役割があるわけだし。

　だから質問の趣旨とはすこし違う

ボトルエピソード
米国のTVドラマシリーズにおいて予算やスタッフ、制作期間を効率的に運用するために、本編と切り離して一話単独で制作されるエピソードのこと。ボトルショウとも呼ばれる。

古林氏
ガンダムエース初代編集長古林英明のこと。ファンの間ではガルシア・ロメオのモデルとして知られる。現在は角川書店メディア局の局長をつとめる。

だろうけど『ジ オリジン』とファーストガンダムを並べてみたときに、ある部分をより描き込んだりとかあるいは表現を変えたりとか——それを比較対照してもらえると『ジ オリジン』の〝オリジナル〟であるファーストガンダムに対する、僕なりのスタンスが判るはずなんですよ。

非常に気を遣ってファーストガンダムからなるべく変えまいとしているところ、そこは全面的に支持しているエピソードなんです。変えているところは当時の状況や色々な理由で足りていない部分で、だから違った表現にしなければとか描き込まなければとか、その両方があるんですよ。そしてまったく出てこないところは、単に無視している（笑）。

——無視ですか（苦笑）。ですが、その中にも読者の皆さんから、是非安彦さんの解釈で読んでみたいというリクエストが多いエピソードがあります。たとえば『ククルス・ドアンの島』（★）なんですが。

安彦 ククルス・ドアンは面白いエピソードだと思うし、解釈というかやりようはあるけど、あれはメインのストーリーから完全に独立した話になっていたので外しました。だから無視というのとはちょっと違うかな。

——確かにいわゆるボトルエピソード（★）で、メインストーリーにはまったく影響がない回ですね。

安彦 ああいう話をそんなふうにいうの？ へえぇ。制作当時のシナリオか何かでも、たしか第X回となっていてどこに挟んでもいいように作っていたはずなんだよね。でもククルス・ドアンはいい話ですよ。

——そうですね。今だから言える話ということで、あれは失敗したなあという事があったりはしますか。

安彦 あれは冷や汗モンだって言うのはほとんどメカデザイン関係だね。大河原さんにはお詫びしなくてはいけないことが多々あって、あとからコア・ポッドをお願いした事とかWB前面のハッチとか……大河原さんのデザインは素晴らしいのに僕の元々のリクエストが良くなかったとかいう、そういう失敗がありました。

——これは、もしもの話なんですが、一〇年前の安彦さんご自身に会えるとしたら、なにか伝えておきたいことはありますか。

安彦 デザインだねえ、やっぱり。「最初にちゃんと設定しろよ」と言ってやりたい。でも、しないだろうな（笑）。

——この一〇年の連載期間のなかで、今にして思えばあれが大きな区切りだったとかエポックになったというような事があれば教えてください。

安彦 それは……。やっぱり過去編に入らせてもらったというのが大きかったねえ。あのときは僕から当時の編集長だった古林氏（★）に話をして、おおがかりなブレインストーミングをやって、いつになくちゃんとレジュメもつくって。こないだ付録でつけたアレね。

アシスタントをしてくれた息子
唯一人のアシスタントMASATO氏は、安彦氏の実子でもある。元アニメーターで料理の腕も確かだとか。

旭プロダクションの八木さん
株式会社旭プロダクションの八木寛文氏のこと。現在は同社常務取締役技術部長。

マルチ
マルチプレーン・カメラのこと。二次元的な素材を使って擬似的に三次元的な表現を行う機材やその手法を指す。

――一〇〇号目の付録〝ガンダムエース ゼロ号〟ですね、レジュメのダイジェストを掲載しました。公式ガイド3にも収録いたします。それでは過去編自体は当初からあった構想ではなかったんですか。

安彦 ああいう過去の話が入るとは欠片も思っていなかったねえ。

連載を支えた人々

――先ほどブレインストーミングの話が出ましたが、サポート的な作業や設定考証などで『ジ オリジン』を支えてきてくれたスタッフの皆さんになにかメッセージがあればお聞かせください。

安彦 実は一番世話になったのはアシスタントをしてくれた息子(★)なんですよ。作画面でのアシスタントのほかにも、細かい設定なんかを気軽に訊けるので大変便利だった。「そんなのまったく聞いたことがないぞ」というような設定までどこからか探してきてくれるし。これは〝ガンダム〟を知らない、というか忘れかけていた僕としては本当に助かった。

旭プロダクションの八木さん(★)がCGでやってくれた特殊効果については非常に感謝していて、僕のほうからオーダーしたことに関しては毎回100%応えてくれました。でもこちらが頼んだ指定自体がそれで良かったんだろうかというのは今もちょっと気になっていて、たとえば元の映像がマルチ(★)だったので同じような効果をかけてもらったけど漫画としてどうだったのかとか。元々が映像作品だけに引っ張られるんですよ。悩ましいところです。

宇宙世紀の設定全般をみてくれた岡崎氏(★)は、実はオタク的なガンダムファンの反応をはかるバロメーターになってもらっていました。ブレストのときにも実は彼の発言にはすごく注目していて、ファンの代表というか、岡崎氏が納得するかどうかで世のオタク的なガンダムファンの反応を見極めていたところがあります。

小倉さん(★)も同じように、単なるSF考証だけでなく世のSFファンたちがひっかかる場所を教えても

これまでの連載をふりかえる安彦氏と本誌編集長。創刊当初の思い出から今後の展開まで、話題がつきることはなかった。

岡崎氏 ライターの岡崎昭行氏のこと。サキオカ技術少尉のモデルである。主著に『データガンダム キャラクター列伝 I~II』（角川書店刊）がある。

小倉さん 企画コンサルタント小倉信也氏のこと。サンライズ作品をはじめ多数のタイトルで設定考証や舞台設定に携わっている。

永野さん デザイナー永野護氏のこと。現在制作中の監督作品、劇場長編アニメーション『花の詩女(うため) ゴティックメード』

らいたいと思っていて——ほかにもコロニーの人口は一体どのくらいなんだとか、そのあたりはある意味非常に危険な部分なんですよ。ファーストガンダム本編で触れられていないコロニーはどうなっていたのかと、どうでもいいようで非常にデリケートな部分を固めるのに力を貸していただいて感謝しています。

　ブレストの時に彼らから「それは認められない」とか抗議されたら、それはシビアな問題になるだろうなと思っていました。それでも強行突破するかどうかは問題になった箇所の重要性次第だと思っていたんだけど、結果的にはそこまで深刻な意見の対立が生じることはなかったのでそこは幸いだったな、と。

　そしてもちろん応援してくれた読者の皆さんの声があったから連載を続けてこられたわけで、非常に感謝しています。

完結、そしてこれから——

——連載開始当初、CGによるデジタル表現を安彦さんが導入されたことに驚いたファンがかなり居たと聞いています。一方今回のこれはアナログでの表現ですが——最終回では宇宙空間の塗り方がこれまでと違っていました。これはなぜでしょうか？

安彦　戦闘シーンだから宇宙空間が赤く染まってる……なんてのはいつものことなんだけど、最終回はそこからグラデーションをかけてリアル宇宙になるわけ。それがいざとなると案外ムズかしくて。

　いつもならああいう〝黒〟はガッシュで塗るんだけど、今回は境界がないから最後のコマまで透明水彩でやってみた。透明水彩の群青と赤を大量に混ぜて。月刊ニュータイプで永野さん（★）の『FSS』（★）のイラストを描いたときにもやってたんですよ。それで判ってたから。「充分に黒くなる」って。

　星はあえて入れていません。星を入れること自体は簡単なんだけどすこし悩んで、ここはないほうが表現としていいだろう、と。

——六月七日に先行してカラーパートの原稿をお預かりしたとき、このタイミングで新しい表現に取り組まれたことに驚きました。

　最後にこの一〇年間で安彦さんが得た物と失った物がもしあれば、教えてください。

安彦　また難しい質問を——失ったもの……若さとか（苦笑）。でも正直な話、一日に描ける原稿の枚数とか体力的な部分は以前からまったく変わっていないんですよ。得た物も特に思い当たらない……あ、体重はだいぶん得た（笑）。正直いって両方とも特にないなあ。僕自身は一〇年前と変わっていないんです、本当に。

——心強いです。是非これからの一〇年も素晴らしい作品を産み出してください。本当にありがとうございました。

【終】

が二〇一二年春公開予定。

『FSS』　一九八六年より月刊ニュータイプに連載されている『ファイブスター物語』のこと。

写真:可児保彦[i/o studio]
文責:鶴田真人[ガンダムエース編集部]
※この記事は2011年6月17日及び7月1日に行ったインタビューをもとに構成いたしました。

角川コミックス・エース

フルカラー版 機動戦士ガンダムTHE ORIGIN㉓

著者　安彦良和
原案　矢立肇・富野由悠季
メカニックデザイン　大河原邦男

2022年4月26日　発行
ver.001

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました
『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』
(Comic Walker掲載)

発行者　青柳昌行
発行　株式会社ＫＡＤＯＫＡＷＡ
https://www.kadokawa.co.jp/

●お問い合わせ
https://www.kadokawa.co.jp/　(「お問い合わせ」へお進みください)
※内容によっては、お答えできない場合があります。
※サポートは日本国内のみとさせていただきます。
※Japanese text only

装丁・デザイン　福島トオル(Smile Studio)
カラーリスト　凸版印刷株式会社